エラーメッセージ

バージョン 16.0

2013 年 2 月

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.0

バージョン 16.0
2013 年 2 月

© 2013 SAP AG or an SAP affiliate company.All rights reserved.

次の条件に従うかぎり、このマニュアルの全部または一部を使用、印刷、再生、配布することができます。1) マニュアルの全部または一部にかかわらず、すべてのコピーにこの情報またはマニュアル内のその他の版権と商標の表示を含めること。2) マニュアルに変更を加えないこと。3) SAP 以外の人間がマニュアルの著者または情報源であるかのように示す行為をしないこと。ここに記載された情報は事前の通知なしに変更されることがあります。

SAP AG およびディストリビュータが販売しているソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダー独自のソフトウェアコンポーネントが含まれているものがあります。国内製品の仕様は変わることがあります。

これらの資料は SAP AG および関連会社 (SAP グループ) が情報のみを目的として提供するものであり、いかなる種類の表明または保証も行うものではなく、SAP グループはこの資料に関する誤りまたは脱落について責任を負わないものとします。SAP グループの製品およびサービスに関する保証は、かかる製品およびサービスに付属している明確な保証文書がある場合、そこで明記されている保証に限定されます。ここに記載されているいかなる内容も、追加保証を構成するものとして解釈されるものではありません。

ここに記載された SAP および他の SAP 製品とサービス、ならびに対応するロゴは、ドイツおよび他の国における SAP AG の商標または登録商標です。http://www.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.epx#trademark を参照してください。

目次

はじめに v

SQL Anywhere のエラーメッセージ 1

SQL Anywhere のエラーメッセージ (SQLCODE 順) 1
SQL Anywhere のエラーメッセージ (SQLSTATE 順) 74
SQL Anywhere のエラーメッセージ (Sybase エラーコード順) 147
SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、英数字) 243
SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、あ～さ) 341
SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、た～は) 569
SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、ま～わ) 755
SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、特殊文字) 820

SQL プリプロセッサのエラーメッセージ 865

SQL プリプロセッサのエラーメッセージ (エラーコード順) 865
SQL プリプロセッサのエラーメッセージ (五十音順) 869

Mobile Link サーバのエラーメッセージ 889

Mobile Link サーバのエラーメッセージ (エラーコード順) 889
Mobile Link サーバのエラーメッセージ (五十音順) 910

Mobile Link サーバの警告メッセージ 1029

Mobile Link サーバの警告メッセージ (エラーコード順) 1029
Mobile Link サーバの警告メッセージ (五十音順) 1038

Mobile Link 通信エラーメッセージ 1073

Mobile Link 通信エラーメッセージ (エラーコード順) 1073
Mobile Link 通信エラーメッセージ (五十音順) 1081

Mobile Link Replay ユーティリティのエラーメッセージ 1139

Mobile Link Replay ユーティリティのエラーメッセージ (エラーコード順) . 1139
Mobile Link Replay ユーティリティのエラーメッセージ (五十音順) 1144

Mobile Link Replay ユーティリティの警告メッセージ 1165

Mobile Link Replay ユーティリティの警告メッセージ (エラーコード順) 1165
Mobile Link Replay ユーティリティの警告メッセージ (五十音順) 1167

Relay Server のエラーメッセージ 1173

Relay Server のエラーメッセージ (エラーコード順) 1173
Relay Server のエラーメッセージ (五十音順) 1184

Relay Server の警告メッセージ 1235

Relay Server の警告メッセージ (エラーコード順) 1235
Relay Server の警告メッセージ (五十音順) 1236

Outbound Enabler エラーメッセージ 1239

Outbound Enabler エラーメッセージ (エラーコード順) 1239
Outbound Enabler エラーメッセージ (五十音順) 1245

Outbound Enabler 警告メッセージ 1275

Outbound Enabler 警告メッセージ (エラーコード順) 1275
Outbound Enabler 警告メッセージ (五十音順) 1275

はじめに

このマニュアルでは、SQL Anywhere エラーメッセージの完全なリストを示し、その診断情報を説明します。

SQL Anywhere のエラーメッセージ

各エラーには SQLCODE という数値エラーコードがあります。負数のコードはエラー、正数のコードは警告を示します。SQLCODE が 0 の場合、操作が成功したことを示します。

多くのエラーメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメータに置き換えられてエラーメッセージに表示されます。

SQL Anywhere のエラーメッセージ (SQLCODE 順)

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1714	「dbmlsync サーバに十分なデータベースパーミッションがありませんでした。」
-1710	「行 %2 の '%1' 付近の INSERT の値が無効です」
-1709	「行 %2 の '%1' 付近の DEFAULT の値が無効です」
-1704	「リモート カラム %1 は、間違って指定されました。」
-1703	「指定するユーザ名は、現在の接続のユーザ名である必要があります。」
-1702	「コレクションタイプがサポートされていません。」
-1701	「RSA の暗号化されたパスワードを使用した TDS ログイン要求は、ノンスも使用する必要があります。」
-1700	「暗号化されていないパスワードを使用した TDS ログイン要求は許可されていません。」
-1698	「change_password_dual_control はこのユーザでは有効です。パスワードを変更するには、ALTER USER を使用します。」
-1696	「%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のキーは、MANAGE_FEATURES 機能と MANAGE_KEYS 機能を持つ最後のキーです。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1695	「%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のセキュア機能キーに指定された認証キーが不正です。」
-1694	「%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のセキュア機能キーは存在しません。」
-1693	「%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のセキュア機能キーがすでに存在しています。」
-1692	「%1 への呼び出しが失敗しました。最大数のセキュア機能キーがすでに作成されました。」
-1691	「%1 を使用して、'%2' という名前のセキュア機能キーを変更する権限がありません。」
-1690	「%1 を使用して、セキュア機能に機能リスト '%2' を割り当てる権限がありません。」
-1689	「%1 への呼び出しで、無効なセキュア機能リスト '%2' が指定されました。」
-1688	「%1 への呼び出しで、無効な認証キーが指定されました。」
-1687	「セキュア機能のキー名 '%2' は、%1 への呼び出しでは有効でありません。」
-1686	「%1 への呼び出しで無効なパラメータが使用されました。」
-1685	「%1 の操作を完了するのに十分なメモリがありませんでした。」
-1684	「トレースターゲットオプション '%1' は、すでに使用されているオプション '%2' と競合します。」
-1683	「ミラーサーバタイプを %1 から %2 に変更できません。」
-1681	「プロシージャは現在変更中または削除中です。」
-1680	「無効な変数またはタイプ」

 Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.0

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1679	「オフセット '%1' でのエラー : オブジェクトまたは配列ターミネータが一致しません」
-1678	「オフセット '%1' でのエラー : 予期された JSON の名前と値のペア」
-1677	「オフセット '%1' でのエラー : 予期されたトークン '%2'」
-1676	「オフセット '%1' でのエラー : 無効なデータ」
-1675	「オフセット '%1' でのエラー : 予期しない後続テキスト」
-1674	「オフセット '%1' でのエラー : 予期しないトークン '%2'」
-1673	「ファイル '%1' のフルパスを見つけるときに、データベース '%1' でディスクサンドボックスエラーが発生しました。」
-1672	「ファイル '%2' のディスクサンドボックスのステータスを決定するときに、データベース '%1' でディスクサンドボックスエラーが発生しました。」
-1671	「ディスクサンドボックス機能がデータベース '%2' で有効になっている場合、ファイル '%1' は無効です。」
-1666	「式は配列ではありません。」
-1665	「change_password_dual_control プロセスが進行中であるため、パスワードを変更できません。」
-1664	「唯一の LDAP サーバであり、login_mode の値が "LDAPUA" であるため、LDAP サーバ "%1" の削除が妨げられました。」
-1663	「LDAP サーバでの唯一のログインポリシーであるログインポリシー "%1" によって参照され、login_mode の値が "LDAPUA" であるため、LDAP サーバの削除が妨げられました。」
-1662	「%1 と %2 は同じである必要があります」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1661	「%1 はディレクトリではありません」
-1660	「%1 と %2 の比較に失敗しました」
-1659	「ファイルまたはディレクトリ %1 が見つかりません」
-1655	「ログインポリシーオプション "%1" の値が無効です。」
-1652	「トレースイベントセッション '%1' はすでに存在します。」
-1651	「トレースイベントセッション '%1' にはトレースイベント '%2' がありません。」
-1650	「トレースイベントセッション '%1' にはトレースイベント '%2' がありません。」
-1649	「トレースイベントセッション '%1' にはすでにターゲットタイプ '%2' があります。」
-1648	「ターゲットタイプ '%2' にオプション '%1' が指定されていません。」
-1647	「ターゲットタイプ '%2' に不明なオプション '%1' が指定されています。」
-1646	「指定されたターゲットタイプ '%1' は無効です」
-1645	「トレースイベントセッション '%1' にはすでにトレースイベント '%2' があります。」
-1644	「トレースイベントセッション '%1' はすでに停止しています。」
-1643	「トレースイベントセッション '%1' の開始に失敗しました。」
-1642	「トレースイベントセッション '%1' の 1 つ以上のターゲットが開始に失敗しました。」
-1641	「トレースイベントセッション '%1' はすでにアクティブです。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1640	「アクティブなトレースイベントセッションが多すぎます。」
-1639	「データベースの変更に失敗しました : %1」
-1638	「トレースイベント '%1' の引数が多すぎます。」
-1637	「トレースイベントセッション '%1' はアクティブです。アクティブなセッションを停止してからセッションを削除してください。」
-1636	「トレースイベント '%1' が 1 つ以上のセッションによって参照されています。参照しているセッションを先に削除してください。」
-1635	「トレースイベント '%1' はすでに存在します」
-1634	「指定されたセッション名 '%1' は無効です」
-1633	「トレースイベント '%1' は無効です」
-1632	「監視サーバ "%1" を削除または変更するにはパートナへの接続が必要です。」
-1631	「テーブル権限 '%1' の使用は、現在のデータベースでサポートされていません。」
-1629	「IDENTIFIED BY の値を 1 つだけ指定できます。」
-1627	「TLS ON は、URL %1 と一緒には使用できません。」
-1625	「Ultra Light データベース展開ファイルが無効です (コード : %1、ファイル : %2)」
-1624	「指定された値が長すぎます。%1 バイトの制限を超えています。」
-1623	「LDAP サーバ %1 での検索は、一致する結果なしで完了しました。」
-1622	「パスワードなしでの LDAP サーバ %1 とのバインドは許可されていません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1621	「LDAP サーバ %1 は、匿名のバインドを受け入れない可能性があります。」
-1620	「指定された値は必要な範囲 %1 ～ %2 にありません。」
-1617	「%1 リモートデータアクセスクラスはサポートされなくなりました。代わりに %2 を使用してください。」
-1613	「タグ ID :'%1' は、配列によってバインドされていない値を指定します。」
-1612	「LDAP サーバがアクティブな状態のとき、LDAP サーバ '%1' を変更できません。」
-1611	「ファイル %1 をコピーできません」
-1610	「ディレクトリ %1 を作成できません」
-1609	「ファイル %1 はすでに存在します」
-1608	「ファイル %1 を削除できません」
-1607	「外部参照は TPF 入力テーブルで許可されていません。」
-1606	「複数のテーブルパラメータはサポートされていません。」
-1605	「Table Parameterized ファンクションと V4 TableUDF は、このデータベースではサポートされていません。」
-1603	「1 つ以上の無効な値が設定されているため、'%1' を使用した検索が失敗しました。」
-1602	「指定された識別名 '%1' は、検索結果 '%2' と一致しません。」
-1601	「パスワードの暗号化が失敗しました。エラーメッセージ '%1'。」
-1600	「URL '%1' とのバインドは失敗しました。報告されたもっとも新しい LDAP API エラーは、'%2' です。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1599	「コレクションタイプの使用が無効です。」
-1598	「配列要素エラー : 配列インデックス '%1' が範囲から外れています。」
-1597	「プライマリサーバにクォーラムがないため、トランザクションがコミットされない可能性があります」
-1596	「データベースには、'SYS_' プレフィクスと '_ROLE' サフィックスを持つユーザが含まれています。」
-1595	「カラム '%1' が変数 '%2' に見つかりません。」
-1594	「"%1" の LDAP サーバの定義は不完全です。検索 URL、アクセス識別名、パスワード、認証 URL が必要です。」
-1593	「ファイル %1 を送信先 %2 にコピーできません」
-1592	「このデータベースでは、マテリアライズドビューのテキストインデックスはサポートされていません。」
-1591	「テキストクエリで、BEFORE 演算子の使用が無効です。」
-1590	「リモート接続を確立するときに、セキュリティトークンを使用できません」
-1589	「証明書 '%1' が見つかりません」
-1588	「指定された証明書は有効ではありません。」
-1587	「証明書の保存はこのデータベースではサポートされていません。」
-1586	「マテリアライズドビュー "%2" のインデックス "%1" の再表示タイプの修正エラー」
-1585	「セキュリティトークンを生成する場合のツール名または管理ユーザが無効です」
-1584	「dbrsakp 共有オブジェクトをロードできません」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1582	「NODETYPE=DIRECT のクラウドデータベースサーバに接続する場合は、サーバ名のみを指定できます」
-1581	「クラウドデータベースサーバに接続するときにデータベース名を指定する必要があります」
-1580	「Mobile Link クライアントサポートライブラリのロードに失敗しました。」
-1579	「外部プロシージャまたはファンクションは、どのサーバタイプについても許可されません。」
-1578	「テーブルパラメータ化ファンクションはどのサーバタイプについても許可されません。」
-1576	「LDAP サーバ "%1" は、ログインポリシー "%2" によって使用されています。」
-1574	「MIRROR サーバクラスを使用するには、データベースをアップグレードする必要があります。」
-1573	「MIRROR サーバクラスは IQ データベースではサポートされていません。」
-1572	「LDAP ユーザ認証機能は、このデータベースではサポートされていません。」
-1571	「LDAP サーバ "%1" を削除しようとして失敗しました。削除するには、サーバを中断します。」
-1570	「LDAP サーバ "%1" にメモリを割り付けようとして、失敗しました。」
-1569	「LDAP サーバ "%1" がすでに存在しています。」
-1567	「外部プロセスが起動時に終了したため、外部環境を開始できません。」
-1566	「ランタイムサーバでは、外部環境オブジェクトを持つロールを削除できません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1565	「ランタイムサーバでは、Web サービスを持つロールを削除できません。」
-1564	「ランタイムサーバでは、イベントを持つロールを削除できません。」
-1563	「ランタイムサーバでは、シーケンスを持つロールを削除できません。」
-1562	「ロール '%1' は他のユーザまたはロールに付与されるため、削除されませんでした。削除するには、'WITH REVOKE' オプションを使用します。」
-1561	「WITH DROP OBJECTS の使用は '%1' では許可されていません。」
-1560	「指定されたロール '%1' は、ロールとして拡張されたユーザです。」
-1559	「指定されたロール '%1' は、ロールとして拡張されたユーザではありません。」
-1558	「指定されたユーザ '%1' はロールです。」
-1557	「データベースを起動中に外部環境を起動することはできません。」
-1556	「%1 秒間で外部環境は起動に失敗し接続を確立できませんでした。」
-1555	「文はマテリアライズドビューのテキストインデックスでは許可されていません。」
-1554	「指定された LDAP サーバ '%1' が見つかりません。」
-1553	「指定された操作を実行できません。ユーザの設定条件の違反です。」
-1552	「マテリアライズドビューのテキストインデックスタイプが無効です。」
-1551	「接続を完了するためにログインリダイレクションが必要ですが、クライアントではサポートされていません」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1541	「指定されたシステム権限 '%1' は無効です。」
-1540	「この操作はロール循環を起こします。」
-1539	「WITH NO SYSTEM PRIVILEGE INHERITANCE OPTION の使用は、%1 では許可されていません。」
-1538	「ユーザまたはロール ID '%1' は存在していません。」
-1537	「ロール "%1" がすでに存在しています。」
-1536	「無効なユーザ ID またはロール名 '%1' が指定されています。」
-1535	「システム権限とロールの機能はこのデータベースではサポートされていません。」
-1532	「ポイント %1 の変換に失敗しました (エラー %2)」
-1531	「ジオメトリ式は、ORDER BY 句では使用できません ('%1' 付近)。」
-1530	「フォーマット '%1' は、UNLOAD 文ではサポートされていません」
-1529	「DML 派生テーブルで許可されていない外部参照」
-1528	「ロールの付与は許可されていません。」
-1527	「タスク '%1' は許可されていません」
-1526	「テキストインデックス %1 は、テキストプロシージャ %2 では使用できません」
-1525	「指定された操作を実行できません。ロール '%1' の管理者の人数は、min_role_admins オプションの値よりも小さくなります。」
-1522	「テキストインデックスが含まれる外部ライブラリの使用をサポートするには、データベースのアップグレードが必要です。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1516	「ST_CircularString セグメントの %1 と %2 の間の中間点 (%3) は同一直線上にありますが、開始点と終了点の間にはありません。」
-1515	「この CPU では、空間のサポートは利用できません。」
-1512	「外部事前フィルタを使用したテキストインデックスには、バイナリと文字列の両方のカラムを含めることができません」
-1511	「サーバタイプではテキストインデックスが許可されません。」
-1510	「シーケンス %1 の次の値を除外する範囲は指定できません」
-1509	「OUTER JOIN の保護側にあるテーブルのプライマリキーカラムが SELECT リストに存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
-1508	「OUTER JOIN の NULL 入力側にある NULL 入力不可のカラムが SELECT リストに 1 つ以上存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
-1507	「ON 条件は OUTER JOIN の NULL 入力側および保護側にないテーブルを参照しているため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
-1506	「照合 '%1' を認識できません。」
-1505	「タイプ COPY で定義されたミラーサーバ "%1" には、親定義は含まれていません。」
-1504	「外部ライブラリからエラーが発生しました : -%1: %2」
-1503	「交差要素を持つ ST_GeomCollection では、操作はサポートされていません ("%1" 付近)。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1502	「ST_MultiSurface には、交点が無効な要素が含まれています ("%1" 付近)。」
-1501	「座標系 %1 で無効な境界です ("BETWEEN %2 AND %3" の付近)」
-1500	「許容値 %1 は無効です。」
-1499	「グリッドサイズ %1 は無効です。」
-1498	「'%1' は認識できないプロパティです。」
-1497	「Mobile Link が値 '%2' の認証ステータス '%1' を返したため、同期に失敗しました。」
-1496	「LOAD TABLE エラー : データファイルのロー %1 で無効なコンテンツが検出されました」
-1495	「空間参照系 %1 では、CircularString のジオメトリはサポートされていません。」
-1494	「CircularString のジオメトリはサポートされていません ("%1" 付近)。」
-1493	「カラム "%1" で外部事前フィルタライブラリのあるテキストインデックスを作成できませんでした。」
-1492	「カラム "%1" で外部事前フィルタライブラリのないテキストインデックスを作成できませんでした。」
-1491	「ポイント 3 つの CircularString が、ポイント 5 つの CircularString に変換されました。」
-1490	「多角形のリングの順序が再設定されました。」
-1489	「位置 %1 が無効です (有効な値は %2～%3)。」
-1488	「無効な多角形です : リングが SRID=%1 で許可されている値を超えています ('%2' 付近)。」
-1487	「無効な多角形です : 曲線がリンクではありません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1486	「無効な多角形です : リングにゼロ領域があります ('%1' 付近)。」
-1485	「無効な多角形です : リングが閉じていません ('%1' 付近)。」
-1484	「値 %1 は座標系 %2 の範囲外です (SRS の境界 [%3, %4] を 50% 以上超過)」
-1483	「LineString には少なくとも 2 つのポイントを含める必要があります ('%1' 付近)。」
-1482	「曲線には、ほぼ対蹠点の %1 と %2 が含まれています ('%3' 付近)。」
-1480	「空間ライブラリで内部エラーが発生しました。」
-1479	「タイプ %1 の式は、タイプ %2 とは和両立しません。」
-1478	「ST_Geometry 引数は、SQL 関数 %1 ではサポートされていません。」
-1477	「SRID %1 は、地理空間参照系を識別しません。」
-1476	「SRID %1 は、ドメイン "%3"."%2" によって参照されています。」
-1475	「SRID %1 は、プロシージャ '%3' のパラメータ '%2' によって参照されています。」
-1474	「SRID %1 は、テーブル '%3' のカラム '%2' によって参照されています。」
-1473	「空間測定単位 "%1" は予約されています。」
-1472	「空間参照系 "%1" は予約されています。」
-1471	「空間参照系 %1 は、使用中のため修正できません」
-1470	「記憶フォーマット '%1' は無効です。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1469	「指定した多角形フォーマット '%1' は、このタイプの空間参照系ではサポートされていません。」
-1468	「このタイプの空間参照系では、指定した軸順序はサポートされていません。」
-1467	「座標 %1 の座標バウンドがありません。」
-1466	「非地理空間参照系に楕円パラメータが指定されていません。」
-1465	「地理空間参照系に楕円パラメータがありません。」
-1464	「空間参照系のタイプはサポートされていません ('%1')。」
-1463	「定義文字列 '%1' の解析エラーです。」
-1462	「空間参照系は使用する SRID を指定する必要があります。」
-1461	「空間参照系 '%1' はすでに存在しています。」
-1460	「測定単位 '%1' はすでに存在しています。」
-1459	「空間参照系 '%1' が見つかりません。」
-1458	「測定単位 '%1' が見つかりません。」
-1457	「文字列 '%1' は、有効な座標名ではありません。」
-1456	「文字列 '%1' は、有効な軸順序ではありません。」
-1455	「測定単位を作成する場合は、CONVERT USING 句を指定する必要があります。」
-1454	「空間カラム '%1' は単一の SRID に制約されていないため、インデックスに含めることはできません」
-1453	「空間カラム '%1' はプライマリキーまたはユニークインデックスに含めることはできません」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1452	「テーブル '%1' には空間カラム '%2' は含まれていますが、プライマリキーはありません。」
-1451	「多角形が無効です : 外部リングが複数あります。」
-1450	「多角形のネストが無効です。」
-1449	「多角形が無効です : 外部リングがありません。」
-1448	「多角形のフォーマット '%1' が無効です。」
-1447	「測定単位 "%1" は角度単位ではありません。」
-1446	「測定単位 "%1" は距離単位ではありません。」
-1445	「SRID %1 からの変換はサポートされていません。」
-1444	「SRID %1 から %2 への変換はサポートされていません。」
-1443	「変換定義が長すぎます。」
-1442	「変換定義 '%1' は無効です。」
-1441	「空間参照系の Well-Known-Text (WKT) は無効です。」
-1440	「比較 '%1' はジオメトリでは使用できません。」
-1439	「設定名 %1 は無効です。」
-1438	「設定ファイルを読み込み中にエラーが発生しました。」
-1436	「ポイントのないジオメトリ間の距離を算出する際、SRID=%1 のジオメトリはサポートされていません。」
-1435	「SRID=%1 のジオメトリは、メソッド %2 ではサポートされていません。」
-1434	「データのフォーマットが認識できません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1433	「値 '%2' は、'%1' フォーマット指定オプションの有効な設定ではありません。」
-1432	「'%1' は認識されないフォーマット指定オプションです。」
-1431	「フォーマット指定構文が無効です。」
-1430	「'%1' フォーマットの入力文字列はここでは使用できません。」
-1429	「フォーマットタイプ '%1' はここでは使用できません。」
-1428	「'%1' は認識されないフォーマットタイプです。」
-1427	「埋め込まれた SRID が矛盾しています (%1 と %2)。」
-1426	「埋め込まれた SRID (%1) が指定された SRID (%2) と競合しています。」
-1425	「マルチパッチのシェイプファイルの形状はサポートされていません。」
-1424	「シェイプファイルのファイル名が無効です。」
-1423	「シェイプファイル属性の解析エラーです。」
-1422	「シェイプファイルレコードの解析エラーです。」
-1421	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 で無効なバイト順マーク %1 です」
-1420	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。」
-1419	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : 入力の終わりが予期されているものと異なります。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1418	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が親の有効なサブタイプではありません。」
-1417	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が無効です。」
-1415	「オフセット %1 のジオメトリ内部直列化の解析エラーです。」
-1414	「Well-Known-Text (WKT) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。」
-1413	「空間機能 %1 はサポートされていません。」
-1412	「このデータベースでは、空間のサポートは利用できません。」
-1411	「%1 から %2 に変換できません (%3 付近)。」
-1410	「ST_CircularString は、%1 ポイントからは構築できません ('%2' 付近)。」
-1409	「空間参照系が認識できません (%1)。」
-1408	「座標次元が混在しています。」
-1407	「オフセット %1 の Well-Known-Binary (WKB) の解析エラーです。」
-1406	「オフセット %2 の Well-Known-Text (WKT) スキャニング '%1' の解析エラーです。」
-1405	「ジオメトリの変換に失敗しました (エラー %1)。」
-1404	「測定単位 '%1' が認識できません。」
-1403	「'%1' 付近に非連続の曲線があります。」
-1402	「空間参照系 %1 と %2 が混在しています (%3 付近)。」
-1401	「要素は空セットです ('%1' 付近)。」
-1400	「ポイントが %1 と重複しています。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1399	「交点マトリックス '%1' は無効です。」
-1398	「VERIFY と RENAME を同時に使用することはできません。」
-1397	「テンポラリテーブル '%1' が、前回使用後から変更されました。」
-1396	「外部事前フィルタの初期化中にエラーが発生しました。」
-1395	「指定した外項ブレーカーは無効です。」
-1394	「指定した外部事前フィルタ名は無効です。」
-1393	「外項ブレーカーの初期化中にエラーが発生しました。」
-1392	「このデータベースでは、WITH NULLS NOT DISTINCT 句のユニークインデックスはサポートされていません」
-1391	「ストップリストの値が無効です。」
-1390	「増分リフレッシュは、ハンドルが不足しているときには実行できません。」
-1389	「ストップリストの値には NULL は指定できません。」
-1388	「Dbmlsync サーバの起動に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
-1387	「Dbmlsync サーバのシャットダウンに失敗しました。詳細については、Dbmlsync のログファイルを確認してください。」
-1386	「Dbmlsync サーバへの接続に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
-1385	「同期に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1384	「指定されたデータベースを停止できません : %1」
-1383	「タイプ COPY のミラーサーバが、ライセンスが付与された最大数を超えました。」
-1382	「ローの値が無効またはサポートされていないため、ダウンロードに失敗しました。」
-1381	「データベースサーバ名 '%1' に、プライマリまたはミラーサーバと同じ名前を指定することはできません。」
-1380	「クライアントが複数回リダイレクトされました。」
-1379	「Dbmlsync サーバがタイムリーなシャットダウンに失敗しました。」
-1378	「データベースサーバが dbmlsync サーバのシャットダウンに失敗しました。」
-1377	「SYNCHRONIZE 文がタイムアウトになりました。」
-1376	「Dbmlsync サーバへの接続に失敗しました。」
-1375	「Dbmlsync サーバの起動に失敗しました。」
-1374	「同期に失敗しました。詳細については、sp_get_last_synchronize_result (%1) への呼び出しの結果を確認してください。」
-1373	「同期に失敗し、内部エラー %1 が返されました。」
-1372	「サーバは TCP/IP 接続を構築できません。」
-1371	「ON 条件は OUTER JOIN の両側を参照する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
-1370	「テキストクエリーには 300 語以上含めることはできません。」
-1369	「このデータベースでは、シーケンスジェネレーターはサポートされていません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1367	「ユーザは使用中のシーケンスを所有しています。」
-1366	「シーケンス '%1' は別の接続で使用中です。」
-1363	「この接続のシーケンス '%1' には 'currval' 演算子はまだ定義されていません。」
-1362	「値 '%1' をタイプ %2 として処理することはできません。動的タイプは %3 です。」
-1361	「TREAT AS は拡張タイプでのみ使用できます。%1 を %2 として処理することはできません。」
-1360	「自動ミラーサーバの親を割り当てることができません。」
-1359	「シーケンス '%1' が見つかりません。」
-1358	「シーケンス名 '%1' があいまいです。」
-1357	「シーケンス '%1' で同一のオプションに複数の設定が指定されています」
-1356	「シーケンス '%1' の定義が無効です。」
-1355	「シーケンス %1 で使用できる値はありません。」
-1354	「シーケンス '%1' はすでに存在します。」
-1353	「シーケンス '%1' に対する操作 '%2' は無効です。」
-1352	「タイプ '%1' のミラーサーバはすでに定義されています。」
-1351	「ミラー子サーバの作成に失敗しました。」
-1350	「このミラーサーバの親は、プライマリサーバではありません。」
-1349	「このミラーサーバの親サーバは現在接続されていません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1348	「ミラーサーバ名 '%1' は、現在のサーバ名に一致しません。」
-1344	「blocking_others_timeout によりロールバックが発生しました。」
-1343	「'%1' の機能は、同期が進行中のためロックされています。」
-1342	「同期スキーマ変更では、データを修正することはできません。」
-1341	「インスタンス化 '%1' は過負荷に一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。」
-1340	「タイプ '%1' は、%2 引数でインスタンス化することはできません ('%3' 付近)。」
-1339	「メソッド '%1' は、%2 引数で呼び出すことはできません ('%3' 付近)。」
-1338	「タイプ '%1' はインスタンス化可能ではありません ('%2' 付近)。」
-1337	「メソッド呼び出し '%1' は過負荷と一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。」
-1336	「タイプ '%1' には '%2' というメソッドはありません ('%3' 付近)。」
-1335	「タイプ '%1' はメソッド呼び出しをサポートしていません ('%2' 付近)。」
-1334	「'%1' の機能は、別の接続によってロックされています。」
-1333	「'%1' の機能は、この接続によってロックされていません。」
-1332	「'%1' の機能は認識できないか無効です。」
-1331	「関数 '%1' では '%2' 句の使用が必須です。」
-1330	「関数 '%1' での '%2' 句の使用は許可されません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1329	「この操作は、同期スキーマ変更内でしか実行できません。」
-1328	「テーブル '%1' をパブリケーション '%2' に含めるには同期する必要があります。」
-1327	「SELECT リストに NULL 入力可能な式に対する SUM 関数は含まれていますが、同じ式に対する COUNT 関数が含まれていないため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません」
-1326	「サブスクリプション '%1' が見つかりません。」
-1325	「パブリケーション '%2' のテーブル '%1' のカラムサブセットが、パブリケーション '%3' データベース指定した値と一致しません。」
-1324	「この文を実行中に接続でテーブルロックを保持することはできません。」
-1323	「'%2' のパブリケーション '%1' に対するサブスクリプションが文から除外されました。」
-1322	「同期スキーマ変更はすでに進行中です。」
-1321	「テーブルまたはビュー '%1' はこの文では使用できません。」
-1319	「このデータベースでは、同期スキーマ変更およびスクリプトバージョンはサポートされていません。」
-1318	「パブリケーション '%1' から定義されているよりも多いアーティクルを削除しようとしています。」
-1315	「スクリプトファイルの行の区切りに文デリミタ "go" がありません」
-1314	「現在のサーバが preferred とマーク付けされている場合は、フェイルオーバーを実行することはできません。」
-1313	「最大文字列長を超えました。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1312	「ミラーサーバ "%1" は有効な親サーバではありません。」
-1311	「プリンシパルミラーサーバはすでに定義されています。」
-1310	「ミラーサーバ "%1" は別のサーバによって参照されています。」
-1309	「ミラーサーバ "%1" はすでに存在します。」
-1308	「ミラーサーバ "%1" が見つかりません。」
-1307	「このデータベースでは、データベースミラーリングオプションはサポートされていません。」
-1305	「Mobile Link 通信エラー : コード : %1、パラメータ : %2、システムコード : %3」
-1304	「"%1" と同じ設定でこのテーブルに新しいテキストを作成できませんでした。」
-1303	「MESSAGE...FOR CONNECTION メッセージが多すぎます」
-1290	「FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句は、DECLARE CURSOR ではなく PREPARE で指定する必要があります。」
-1289	「LOAD TABLE オプション '%1' はフォーマット %2 とは併用できません。」
-1288	「ミラーリングされたデータベースに対して '%1' 文を使用することはできません」
-1286	「即時マテリアライズドビューの定義に NULL 入力可能な式に対する SUM 関数を含めることはできません。」
-1283	「ビューまたは派生テーブル '%1' では、CONTAINS クエリは許可されません。」
-1281	「他の接続が '%1' のローをロックしています」
-1280	「'%1' の変換中にアンダーフローが発生しました」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1279	「操作 '%1' は次の理由で失敗しました : '%2'」
-1278	「操作は許可されていません」
-1277	「パラメータ '%1' に NULL は指定できません」
-1276	「使用中の設定は変更できません」
-1275	「無効なドメイン '%1'」
-1274	「インデックス '%1' にはカラムがありません」
-1273	「テーブル '%1' にはカラムがありません」
-1272	「同期はすでに進行中です」
-1271	「同期ダウンロードは完了しませんでした」
-1270	「テーブル '%1' を参照する即時ビューを作成するには、テーブルを所有している必要があります。」
-1269	「サービス文定義が無効であるか、サポートされていません。」
-1268	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に不正な構成体が含まれています。」
-1267	「イベントパラメータ '%1' が見つかりません」
-1266	「タイムアウトするまでに、キュー '%1' で通知がありませんでした」
-1265	「'%1' という名前のイベントオブジェクトはすでに存在します」
-1264	「イベントオブジェクト名 '%1' は無効です」
-1263	「イベント通知キュー '%1' が見つかりません」
-1262	「このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません」
-1261	「このサーバには、'%1' 接続をサポートするためのライセンスが付与されていません」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1260	「このサーバには、'%1' 機能をサポートするためのライセンスが付与されていません」
-1259	「ハッシュエラー : %1」
-1254	「テーブル '%1' の MERGE 文は失敗しました。文で RAISERROR が指定されています」
-1253	「テキストインデックス %1 を再表示する必要があります。」
-1244	「データベース '%1' の復号化に失敗しました」
-1243	「データベース '%1' の暗号化に失敗しました」
-1241	「TRUNCATE の後に value-sensitive カーソルが使用されています」
-1240	「指定したストップリストが長すぎます。」
-1237	「プロシージャ結果セットのカラムが多すぎます」
-1236	「GROUP BY リストの式が多すぎます」
-1235	「SELECT リストのカラムが多すぎます」
-1233	「マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。NULL 入力不可なカラムにユニークなインデックスがありません。」
-1232	「トランザクションで 2 つ目のスナップショットの起動を試みています。」
-1231	「文がタイムアウトになりました : '%1'」
-1230	「オープンカーソルが多すぎます」
-1229	「テーブルの再編成はすでにテーブル "%1" で実行中です」
-1226	「外部キーカラムがプライマリキーまたは "%1" の一意性制約に一致しません」
-1225	「このデータベースに対して同期プロファイルはサポートされていません」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1224	「同期プロファイル '%1' に無効なパラメータ '%2' があります」
-1223	「同期プロファイル '%1' はすでに存在します」
-1221	「CREATE DATABASE 文では重複オプションは許可されていません」
-1220	「このユーザには外部ログインが存在するため、削除できません。」
-1219	「依存する即時マテリアライズドビューのメンテナンスに失敗しました。」
-1218	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません」
-1217	「同期プロファイル '%1' が見つかりません」
-1216	「このプロシージャに対する引数はリテラル文字列である必要があります。」
-1215	「外部ライブラリ '%1' をロードできませんでした」
-1214	「外部ライブラリ '%1' は使用中です」
-1213	「外部環境は結果セットをサポートしていません。」
-1212	「このユーザのログインポリシーにより接続は許可されませんでした」
-1211	「テーブル '%1' に、MERGE 文の ANSI カーディナリティ違反があります」
-1207	「テキストクエリで、NEAR 演算子の使用が無効です。」
-1206	「このデータベースでは、外部環境はサポートされていません。」
-1205	「外部環境 '%1' が見つかりませんでした。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1204	「INSERT...ON EXISTING UPDATE は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
-1203	「WRITETEXT は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
-1202	「依存する即時マテリアライズドビューがあるテーブルでは、オペレーションは認められません。」
-1201	「クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') を開く際にエラーが発生したことが報告されました」
-1200	「クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') にアクセスする際にパーミッションエラーが発生したことが報告されました」
-1199	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。COUNT(*) が SELECT リストの一部に必要です。」
-1198	「ユーザ '%1' はすでに存在します」
-1197	「ログインポリシー "%1" は使用中です」
-1196	「このデータベースに対してログインポリシーはサポートされていません」
-1195	「ログインポリシー "%1" が見つかりません」
-1194	「ログインポリシー '%1' はすでに存在します」
-1193	「TRUNCATE TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
-1192	「即時マテリアライズドビュー %1 が依存している複数のテーブルを更新できません。」
-1191	「LOAD TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1190	「マテリアライズドビュー %1 では、LOAD TABLE は許可されません」
-1189	「指定した UTF-16 エンディアンは、データで見つかった Byte Order Mark に一致しません」
-1188	「LOAD TABLE エラー : %1」
-1187	「圧縮または暗号化の使用中は付加できません」
-1186	「データベースページの検証は次のコードで失敗しました : %1」
-1185	「テーブル %1、インデックス %2 のインデックスの検証は次のコードで失敗しました : %3」
-1184	「即時マテリアライズドビューの最後のユニークインデックスを削除できません。」
-1183	「このデータベースでは、DB 領域のパーミッションのサポートを利用できません」
-1182	「IMMEDIATE REFRESH テキストインデックスには文を使用できません。」
-1181	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に複数のクエリブロックを含めることはできません。」
-1180	「オプションウォッチリストに含まれているため、データベースオプション "%1" を設定できません」
-1179	「データベースサーバを起動できません : ライセンスファイルがありません」
-1178	「トランザクションログミラーリングは、データベースミラーリングで使用できません」
-1177	「プランがありません。このタイプの文またはデータベースでは、HTML_PLAN 関数はサポートされていません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1176	「使用できるプランがありません。このタイプの文に対しては、NOEXEC プランは生成できません。」
-1175	「指定した時間内でテーブルロックを取得できません。」
-1174	「テキスト設定 '%1' を作成できません。オプション '%2' に不適切な設定があります。」
-1173	「クライアントライブラリで、転送中のデータにアクセスする際にエラーが発生したことが報告されました ('%1')」
-1172	「クライアントアプリケーションで、データの転送が許可されませんでした ('%1')」
-1171	「クライアントアプリケーションでは、データの転送は許可されていません ('%1')」
-1170	「マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。すでに初期化されています。」
-1169	「テキストインデックスの一部であるテーブルにはアクセスできません。」
-1168	「テキストインデックスにより参照されているテキスト設定を変更または削除することはできません。」
-1167	「テキスト設定を所有しているユーザは削除できません。」
-1166	「このデータベースではテキストインデックスはサポートされていません。」
-1165	「テーブル '%2' のテキストインデックス '%1' を作成するときにエラーが発生しました。」
-1164	「テキストクエリパーサエラー : %1」
-1163	「照合が無効です : "%1"」
-1162	「単語の長さが許容範囲を超えています。」
-1161	「テキスト設定 "%1" はすでに存在します。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1160	「テキスト設定 "%1"."%2" が見つかりません。」
-1159	「テキストクエリ文字列が定数ではないか、不明です。」
-1158	「一致するテキストインデックスがありません。」
-1157	「すべてのカラム参照引数は、同じテーブルを参照しなければなりません。」
-1156	「引数 "%1" はカラム参照である必要があります。」
-1155	「テーブル "%1" のカーソルを閉じることができません。LOAD TABLE は実行できません。」
-1154	「トレーシングしたクエリ (%1、%2) は存在しません。」
-1153	「パスワードの有効期限が切れていますが、変更できません。データベースは読み込み専用です。」
-1152	「パスワードの有効期限が切れています。」
-1151	「指定したロギングタイプ ('%1') は無効か、サポートされていないか、または互換性がありません。」
-1150	「SQL スクリプト DLL をロードできません。」
-1149	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_cant_change_platform.html を参照してください。」
-1148	「クライアントバージョンまたはクライアントインタフェースではサポートされていない機能です。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1147	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_corruption_warning.html を参照してください。」
-1146	「別のテーブルからの外部キー参照があるテンポラリテーブルには、LOAD TABLE は使用できません。」
-1145	「接続できません : サーバは要求された暗号化タイプを受け入れませんでした。」
-1144	「'%1' を '%2' データのエンコード指定として使用することはできません。」
-1143	「暗号化が有効になっていません。」
-1142	「機能 '%2' を必要とする文 '%1' の使用は許可されません。」
-1141	「データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。」
-1140	「データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。」
-1139	「リモートデータアクセス機能はこのプラットフォームではサポートされていません」
-1138	「ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。」
-1137	「エスケープ文字 '%1' が矛盾しています。」
-1136	「エスケープ文字 '%1' の使用が無効です。」
-1135	「正規表現 '%2' 中の '%1' が無効です。」
-1134	「マテリアライズドビュー '%1' でトリガを作成できません。」
-1133	「ビュー '%1' のトリガタイプが無効です。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1132	「テーブル '%1' の最大ローサイズを超過します。」
-1131	「属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。」
-1130	「'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。」
-1129	「'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。」
-1128	「繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。」
-1127	「INSTEAD OF トリガのあるビューで位置付け更新しようとしました。」
-1126	「テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガがあるため、操作に失敗しました。」
-1125	「ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガと WITH CHECK OPTION が競合しています。」
-1124	「dbicu ライブラリとサーバのバージョンが一致しません。」
-1123	「MIME タイプ '%1' が不正です。」
-1122	「最大パラメータ数 '%1' を超えました。」
-1121	「要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。」
-1120	「DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。」
-1119	「'%1' プロパティはサポートされなくなりました。」
-1118	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。」
-1117	「ローがデータベースのページサイズを超えているため、ローを格納できません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1116	「照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。」
-1115	「テーブル '%1' には、ROWID 関数への無効な参照が含まれています。」
-1114	「SOAP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」
-1113	「相関名 '%1' は、ROWID 関数では使用できません。」
-1112	「データベース '%1' に対して指定したファイルシステムボリュームが見つかりません」
-1111	「同期の情報が指定されていません」
-1110	「同期がすでに進行中のため、Ultra Light は同期できません」
-1109	「このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません」
-1108	「デバイス上のファイルシステムにアクセスできません」
-1107	「BLOB への参照が多すぎます」
-1106	「オペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます」
-1104	「データベースのユーザが多すぎます」
-1103	「部分ダウンロードが見つかりませんでした」
-1102	「ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません」
-1101	「カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません」
-1100	「操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません」
-1099	「Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1098	「トレース接続はすでにアクティブになっています」
-1097	「ATTACH TRACING は、トレースデータベースに接続できませんでした」
-1096	「指定した HTTP ヘッダは不正です」
-1095	「指定した HTTP ヘッダに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています」
-1094	「HTTP ヘッダ '%1' は予約されているため変更できません」
-1093	「文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。」
-1092	「呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。」
-1091	「制約 '%1' の違反です : テーブル '%2' の値が無効です。」
-1090	「ファンクション '%1' に無効なパラメータ '%2' ('%3') があります。」
-1089	「共有テンポラリテーブルに対して無効なコミットアクションです。」
-1088	「ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。」
-1087	「トレースを再表示できません : ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります」
-1085	「重複キーカラム (%1)」
-1084	「機能 '%1' の使用は許可されません。」
-1083	「トレースを再表示できません : ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。」
-1082	「トレースを再表示できません : sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1081	「トレースを再表示できません : 少なくとも 1 つの有効化されているトレースレベルを指定する必要があります。」
-1080	「ユーザ '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。」
-1079	「バックアップはデータベースファイル '%1' を開けません。」
-1078	「計算カラムの依存に循環があります。」
-1077	「マテリアライズドビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。」
-1076	「dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません」
-1075	「文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。」
-1074	「ログインモード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。」
-1073	「'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。」
-1072	「'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セットエンコードではありません。」
-1071	「FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません」
-1070	「Kerberos ログインはサポートされていません。」
-1069	「Kerberos ログインが失敗しました。」
-1068	「デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。」
-1066	「ファイルシステムエラー : %1」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1065	「スナップショットアイソレーションを非スナップショットトランザクションで使用しようとしました。」
-1064	「スナップショットトランザクションで更新の競合が発生しました。」
-1063	「データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み込み専用モードを使用できません。」
-1062	「スナップショット中は文を使用できません」
-1061	「スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました」
-1060	「パブリケーションタイプで操作が競合しています。」
-1057	「BACKUP 句 '%1' が '%2' と競合します」
-1054	「スナップショットアイソレーションが無効または保留になっています」
-1053	「'%1' は '%2' に対して無効な値です。」
-1052	「マテリアライズドビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」
-1051	「マテリアライズドビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」
-1050	「要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。」
-1047	「このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません」
-1046	「不正なカラム定義 : %1」
-1045	「無効なバックアップパラメータ値です。」
-1044	「無効なパスワード : %1」
-1043	「タイムアウトになったため、要求が中断されました。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1042	「ローカルテンポラリとして宣言されたテーブルにコメントを追加できません。」
-1041	「マテリアライズドビュー '%1' が見つかりません。」
-1040	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。」
-1039	「ミラーサーバに接続できません。サーバ名 '%1' を使用してプライマリサーバを探してください。」
-1038	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。」
-1037	「オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。」
-1036	「DBN/DBF パラメータが、この代替サーバ名のデータベースと一致しません。」
-1035	「LOAD TABLE ...WITH FILE NAME LOGGING はミラーリングされたテーブルで許可されていません」
-1034	「プロシージャタイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。」
-1033	「データベースサーバを起動することができません。サーバに致命的なエラーが発生しました。」
-1032	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に次の不正な構成体が含まれています : '%2'」
-1031	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューの定義では次の構成体を使用できません : '%2'」
-1030	「安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1029	「マテリアライズドビューのサポートは、このデータベースでは利用できません」
-1028	「BACKUP を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。」
-1027	「サービスタイプでは、属性 '%1' は許可されません。」
-1026	「USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。」
-1025	「サービスに重複した属性 '%1' があります。」
-1024	「USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。」
-1023	「サービスの属性 '%1' の値がありません。」
-1022	「サービスの属性 '%1' の値が無効です。」
-1021	「無効なバックアップ操作です。」
-1020	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いためです。」
-1019	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはデータベースファイルがログファイルよりも後に使用されているためです。」
-1018	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。」
-1017	「指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクションログファイル が見つかりません」
-1016	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログファイルがデータベースファイルよりも後に使用されているためです。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1012	「指定されたデータベースを開始できません。このサーバで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)」
-1011	「指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです」
-1010	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログで、'%1' は操作を予期していません。」
-1009	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。」
-1008	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログミラーです。」
-1007	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログです。」
-1006	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベースファイルではありません。」
-1005	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。」
-1004	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。」
-1003	「統合されたユーザに対する個別のグループマッピングが多すぎます。」
-1002	「オプション '%1' が認識されません」
-1001	「プロシージャまたは関数 '%2' のパラメータ '%1' にデフォルト値がありません。」
-1000	「テンポラリ領域の制限を超えています。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-999	「行 %1 に無効な要求ログフォーマットがあります。」
-998	「現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません」
-997	「ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。」
-996	「指定されたローカル接続 ID が見つかりません。」
-995	「SELECT INTO を最適化しているときに検出された警告はエラーとして処理されます。」
-994	「関数またはプロシージャ '%1' に引数が多すぎます。」
-993	「テンポラリテーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。」
-992	「指定されたリスナを登録できませんでした。」
-991	「句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。」
-990	「リモートホストへの安全な接続に失敗しました : %1」
-989	「プロシージャタイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。」
-988	「HTTP サーバからの応答が無効です。」
-987	「タイプ '%2' のプロシージャサブタイプ '%1' が無効です。」
-986	「プロシージャタイプ '%1' が無効です。」
-985	「データベース名 'utility_db' はユーティリティデータベース用に予約されています。」
-984	「暗号化 DLL を初期化できませんでした : '%1'」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-983	「HTTP 要求に失敗しました。ステータスコード '%1'」
-982	「接続がタイムアウトしました。」
-981	「'%1' で指定されたリモートホストに接続できません。」
-980	「URI '%1' が無効です。」
-979	「出力ファイルを書き込めません。」
-978	「出力ファイルのディレクトリが存在しません。」
-976	「暗号化 DLL "%1" をロードできません。」
-975	「'%1' のボリューム ID が不正です。」
-974	「'%1' のファイル I/O に失敗しました。」
-973	「文字列が長すぎます (%1)。」
-972	「データベースのページサイズが小さすぎます : %1」
-971	「チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。」
-970	「テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。」
-969	「必要な演算子が含まれていません。」
-968	「ユーザ '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを付与されています。」
-967	「バックアップファイル '%1' はすでに存在します。」
-966	「複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。」
-965	「Window 関数には ORDER BY が必要です。」
-964	「Window 関数が述語に使用されています。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-963	「パスワードに不正な文字が含まれています。」
-962	「集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループカラムである必要があります。」
-961	「入力文字列は base64 でエンコードされていません。」
-960	「解凍エラー : %1」
-959	「圧縮エラー : %1」
-958	「パスワードの長さは %1 文字以内です。」
-957	「OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。」
-956	「同期の情報が不完全か無効です。'%1' を確認してください。」
-955	「この接続はすでに存在します。」
-954	「データベース '%1' が見つかりませんでした。」
-953	「スキーマのアップグレードは現在有効ではありません。」
-952	「最後の同期アップロードのステータスは不明です。」
-951	「スキーマファイル '%1' にアクセスできません。」
-950	「ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。」
-949	「ウィンドウ '%1' では、ORDER BY は許可されません。」
-948	「ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。」
-947	「ウィンドウ '%1' が見つかりません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-946	「'%1' では結果セットは許可されません。」
-945	「再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。」
-944	「ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます」
-943	「ワークロードキャプチャは現在行われていません。」
-942	「ワークロードキャプチャ (%1) はすでに進行中です。」
-941	「jConnect は暗号化をサポートしていません。」
-940	「HTTP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」
-939	「HTTP オプション '%1' の設定が無効です。」
-938	「RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。」
-937	「制約 '%1' への参照または操作が無効です。」
-936	「データベースの制約が多すぎます。」
-935	「指定されたデータベースを起動できません : ログファイルエラー」
-934	「指定されたデータベースを起動できません : データベース %1 を起動するにはサーバをアップグレードする必要があります。」
-933	「IQ データベースにはログが必要です。」
-931	「AUTHORIZATION が OFF の場合、サービス定義には文が必要です。」
-930	「名前付きの制約が存在するのに名前のないカラム制約の変更が試みられました。」
-929	「制約 '%1' が見つかりません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-928	「GROUP BY 句には定数式を使用できません。」
-927	「サービス文定義とサービスタイプが矛盾しています。」
-926	「サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。」
-925	「サービス名 '%1' は無効です。」
-924	「サービス '%1' は使用中です。」
-923	「再帰反復が多すぎます。」
-922	「再帰クエリのカラムリストがありません。」
-921	「再帰クエリが無効です。」
-920	「サービス '%1' が見つかりません。」
-919	「サービス '%1' はすでに存在します。」
-918	「AUTHORIZATION が Off の場合はユーザ名を指定する必要があります。」
-916	「'%1' は認識されていないサービスタイプです。」
-915	「CREATE SERVICE にはサービスタイプが必要です。」
-914	「共通テーブル式参照に循環があります。」
-913	「監査用のトランザクションログファイルが必要です。」
-912	「OPENXML クエリのメモリが足りません。」
-911	「XML 出力に制御文字があります。」
-910	「システムコマンドが失敗し、リターンコード %1 が返されました。」
-908	「閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-907	「引数の名前がありません。」
-906	「XMLGEN 評価が失敗しました。」
-905	「XQuery コンストラクタが無効です。」
-904	「集約関数の ORDER BY が不正です。」
-903	「CDATA に名前が必要です。」
-902	「カラム数が少なすぎます。」
-901	「宣言されていないタグ ID : '%1'」
-900	「親が開いていません : '%1'」
-899	「不正なカラム名 : '%1'」
-898	「不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ : '%1'」
-897	「不正なタグ値 : '%1'」
-896	「ユーザ設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。」
-895	「暗号化エラー : %1」
-894	「このタイプの文に対してプランを生成することはできません。」
-893	「OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。」
-892	「XPath パーサエラー : %1」
-891	「要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。」
-890	「文のサイズまたは複雑度がサーバの制限を超えています。」
-889	「文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。」
-888	「XML パーサエラー : %1」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-887	「仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています」
-883	「シングルバイトコンバーターの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。」
-881	「%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。」
-879	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」
-878	「インデックス '%1' をクラスタできません。」
-877	「プロシージャ、トリガ、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。」
-876	「クライアントでメモリが不足しています。」
-875	「'%1' にジョインする方法がありません。」
-874	「カラム名は %1 でなければなりません。」
-873	「%1 から複数の結果セットが返されました。」
-872	「%1 から結果セットが返されません。」
-870	「要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。」
-869	「データベースサーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。」
-868	「'%1' は認識できない文字セットエンコードラベルです。」
-867	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません」
-866	「%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。」
-865	「テンポラリテーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリキーが必要です。」

 Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.0

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-864	「文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。」
-863	「グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。」
-862	「集約式 '%1' は SELECT リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります」
-861	「集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。」
-860	「指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした」
-858	「CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。」
-857	「サーバ %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。」
-856	「SQLDA に不正な sqllen フィールドがあります。」
-855	「トリガ名 '%1' はあいまいです。」
-854	「ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。」
-853	「カーソルが有効な状態にありません。」
-852	「テーブル名 '%1' はあいまいです。」
-851	「復号化エラー : %1」
-850	「キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリテーブルである必要があります。グローバルテンポラリテーブルの場合は、どちらか一方のテーブルが共有されていれば、他方のテーブルも共有されている必要があります。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-849	「テンポラリテーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。」
-846	「カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。」
-845	「修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は相関名 '%2' と一致していません。」
-843	「'%1' という名前の同期ユーザが見つかりません。」
-840	「暗号化キーが不正であるか、見つかりません。」
-839	「テーブル '%1' の既存のロー (ロー : %2) と競合しているため、ダウンロードに失敗しました」
-838	「サーバ上で TLS の初期化に失敗しました。」
-837	「テーブル '%1' のトリガまたは外部キーは有効でなくなりました。」
-836	「プロシージャ '%1' は有効でなくなりました。」
-835	「イベント '%1' は使用中です。」
-834	「テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。」
-833	「テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガで修正または削除されました。」
-832	「接続エラー : %1」
-831	「エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。」
-830	「エイリアス '%1' がユニークではありません。」
-829	「TLS ハンドシェイクに失敗しました。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-828	「dbmlsync ダウンロードフェーズとの競合が検出されました。」
-827	「データベースのアップグレードができません。ユーザテーブルに、システムテーブル範囲のテーブル ID が設定されています。」
-826	「データベースのアップグレードができません。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。」
-825	「前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。」
-824	「相関名 '%1' への参照が不正です。」
-823	「ストアドプロシージャ内のリモートテーブルに関わる式を処理できません。」
-822	「テーブル '%1' はすでにインクルードされています。」
-821	「テーブル '%1' の DB 領域が見つかりません。」
-820	「スクロール位置 '%1' が不正です。」
-819	「テーブル '%1' は同期サブスクリプションの一部であり、同期スキーマ変更内でしか変更できません。」
-818	「現在のコンテキストでは、外部関数呼び出し '%2' によって使用されるバージョン 'V%1' のインタフェースの実行はサポートされていません。」
-817	「接続しているテンポラリテーブルが多すぎます。」
-816	「指定されたデータベースファイルはすでに使用されています。」
-815	「SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません」
-814	「ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-813	「FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました」
-812	「派生テーブル '%1' の SELECT リストに '%2' と一致する式がありません」
-811	「JAR '%1' が見つかりません。」
-810	「外部オブジェクト '%1' が見つかりません。」
-809	「同期オプションが長すぎます。」
-807	「ホスト変数はバッチで使用できません。」
-806	「システムのイベントタイプ '%1' が見つかりません。」
-805	「同期オプション '%1' が見つかりません。」
-804	「トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」
-803	「トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」
-802	「コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。」
-801	「トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。」
-800	「トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。」
-799	「DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。」
-797	「同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれているか、オプションが NULL です。」
-794	「同期サーバがアップロードのコミットに失敗しました。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-793	「イベント '%1' の開始日時が無効です。」
-792	「イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。」
-791	「イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。」
-790	「自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。」
-789	「登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。」
-788	「他の接続はすでに '%1' として登録されています。」
-787	「現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。」
-786	「アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。」
-785	「cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。」
-784	「アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。」
-783	「他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。」
-782	「他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。」
-780	「パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリキーを更新できません。」
-779	「BLOB プライマリキーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。」
-778	「同期処理ではテーブル '%1' にプライマリキーを含める必要があります。」
-777	「プライマリキーがないためテーブル '%1' と同期できません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-774	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。」
-773	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。」
-772	「イベント '%1' がすでに存在します。」
-771	「イベント '%1' が見つかりません。」
-770	「ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーションエントリを変更できません。」
-769	「ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。」
-768	「'%1' にサブスクリプションを作成できません。」
-767	「'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。」
-766	「ビューがテンポラリオブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。」
-765	「同期メッセージタイプ '%1' が見つかりません。」
-764	「サーバが見つからないため自動起動できません。」
-761	「サーバ機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。」
-760	「SQL の識別子が無効です。」
-759	「SQLDA のデータ型が無効です。」
-757	「読み込み専用データベースに対しての修正は禁止されています。」
-755	「コミットされていないトランザクションとの同期またはアップグレードはできません。」
-754	「解析エラー : %1」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-751	「ユーザは使用中のテーブルを所有しています。」
-750	「ユーザは使用中のプロシージャを所有しています。」
-749	「Ultra Light では使用できない機能です。」
-746	「System V リソースを割り当てることができません。」
-745	「IQ メモリマネージャを初期化できません : %1」
-744	「IQ データベースコマンドラインの不正なオプションまたはパラメータ値 : %1」
-740	「通信環境を作成できませんでした。」
-739	「db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。」
-738	「パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。」
-737	「シグネチャ '%1' はプロシージャのパラメータと一致しません。」
-736	「カラムまたは変数 '%1' のデータ型はサポートされていません」
-735	「不正なパラメータです。」
-734	「テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。」
-733	「NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。」
-732	「計算カラムを使用したリモートテーブルの作成はサポートされていません。」
-731	「レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザを削除できません。」
-730	「不正な JAR ファイルです。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-729	「指定された外部キー (%1) は使用できません。」
-728	「更新できないリモートクエリに対して、更新しようとしました。」
-727	「オプティマイザは有効なアクセスプランを構成できませんでした。」
-726	「テーブル仕様 '%1' が複数のリモートテーブルを指定しています。」
-725	「Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。」
-724	「NULL 属性はカラム '%1' に適合しません。」
-723	「カラム '%1' に指定された長さは実際の長さと異なります。」
-722	「カラム '%1' はリモートテーブルに存在しません。」
-721	「カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。」
-720	「VALIDATE 文はベーステーブルを参照しなければなりません。」
-719	「RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。」
-718	「RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。」
-717	「RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。」
-716	「バックアップファイルのフォーマットが無効です。」
-715	「バックアップファイルの内容が矛盾しています。」
-712	「サーバ '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-711	「データベースストア DLL (%1) のバージョンが不正です。」
-710	「不正な比較です。」
-709	「計算カラムはこのデータベースではサポートされません。」
-708	「READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。」
-707	「パススルーモードでは文を使用できません。」
-706	「リモートサーバにはこの文をサポートする機能がありません。」
-705	「プロシージャ '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。」
-704	「Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。」
-703	「計算カラム '%1' を挿入または更新できません。」
-702	「TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。」
-700	「SQLDA フィールドがマルチロー SQLDA と矛盾しています。」
-698	「リモートサーバはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。」
-697	「バックアップ／リストア中にエラーが発生しました : %1」
-692	「バックアップ／リストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できませんでした」
-691	「バックアップ／リストア用 DLL "%1" をロードできません。」
-689	「入力パラメータインデックスが範囲外です。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-687	「構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。」
-686	「Java VM を開始するキャッシュが足りません。」
-685	「%1 のリソースガバナーが制限を超えています。」
-684	「プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。」
-683	「カーソル名 '%1' はすでに存在します。」
-682	「%1」
-681	「Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョインタイプが無効です。」
-680	「Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。」
-678	「インデックス名 '%1' があいまいです。」
-677	「テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。」
-676	「指定されたトランザクションの独立性が不正です。」
-675	「'%1' が見つからないため、外部環境を起動できませんでした。」
-674	「文のサイズの制限値が無効です」
-673	「データベースのアップグレードができません。」
-672	「データベースのアップグレードに失敗しました。」
-670	「クラスのバイトコードが不正です。」
-669	「メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-668	「カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。」
-667	「テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。」
-666	「リモートテーブル '%1' が見つかりませんでした。」
-665	「データベース "%1" をリカバリする必要があります。」
-664	「データベースはアクティブです。」
-663	「Java オブジェクトをデシリアライズできません。」
-662	「クラス '%1' を使用して Java オブジェクトをシリアル化できません。」
-661	「後方スクロールカーソルはリモートオブジェクトではサポートされません。」
-660	「サーバ '%1': %2」
-659	「リモートサーバ '%1' が見つかりませんでした。」
-658	「リモートサーバ '%1' は現在読み込み専用に設定されています。」
-657	「接続できません。サーバ定義が循環しています。」
-656	「サーバ '%1' に接続できません : %2」
-655	「接続パラメータ文字列の解析エラーです。」
-654	「接続パラメータファイルが見つかりません。」
-653	「クラス '%1' を削除できません : JAR のメンバーです。」
-652	「クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-651	「データベース '%1' の削除に失敗しました。」
-650	「'%1' のインデックスの型の指定は不正です。」
-649	「クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。」
-648	「指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。」
-647	「ストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できません」
-646	「ストア DLL "%1" をロードできません。」
-645	「データベースの作成に失敗しました : %1」
-644	「無効なデータベースページサイズです。」
-643	「UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。」
-642	「SQL 記述子名が正しくありません。」
-641	「割り当てのエラー」
-640	「記述子のインデックスが正しくありません。」
-639	「プロシージャ '%1' の呼び出しに必要なパラメータ名がありません。」
-638	「文字列データの右側がトランケートされます。」
-637	「挿入したカラムが重複しています。」
-636	「参照カラムが重複しています。」
-635	「ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。」
-634	「C 言語の文字列が完結していません。」
-633	「読み込み専用のカーソルを更新しようとしました。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-632	「ベーステーブル '%1' の挿入／更新に対して WITH CHECK OPTION が違反しています。」
-631	「RAISERROR が実行されました : %1」
-630	「エスケープシーケンス '%1' が無効です。」
-629	「エスケープ文字 '%1' が無効です。」
-628	「ゼロで除算しようとしました。」
-627	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。」
-626	「内部用のスレッドが起動できませんでした。」
-625	「この外部プロシージャの呼び出しには、パラメータ数が多すぎます。」
-624	「式にサポートされていないデータ型があります。」
-623	「プロシージャまたはトリガ内では、データ定義文は使用できません。」
-622	「外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。」
-621	「ダイナミックライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。」
-620	「ダイナミックライブラリ '%1' をロードできませんでした。」
-619	「ダイナミックライブラリ名が必要です。」
-618	「外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティングシステムが一致しません。」
-617	「データベースサーバ外の関数呼び出しはサポートされていません。」
-616	「テーブルのカラム数が多すぎます。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-615	「プロシージャ '%2' にパラメータ '%1' がありません。」
-614	「メッセージまたはデータ型を所有するユーザは削除できません。」
-613	「ユーザ定義データ型 '%1' が見つかりません。」
-612	「ユーザメッセージ %1 が見つかりません。」
-611	「Transact-SQL 機能がサポートされていません。」
-610	「ユーザメッセージ %1 はすでに存在しています。」
-609	「WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。」
-608	「WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。」
-607	「データベースサーバを停止できません。」
-606	「パターンが長すぎます。」
-605	「サーバが DB 領域の最大ファイルサイズを超えてページにアクセスしようとしました。」
-604	「DB 領域が最大ファイルサイズに達しています。」
-602	「ファイル '%1' にアクセスできません -- %2」
-601	「'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。」
-313	「ログイン ID '%1' はどのデータベースユーザ ID にもマップされていません。」
-312	「ユーザ '%1' はすでにグループ '%2' のメンバーです。」
-311	「内部ロールバックログが破損しています。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-309	「メモリエラー -- トランザクションはロールバックされました。」
-308	「接続が切断されました。」
-307	「すべてのスレッドがブロックされています。」
-306	「デッドロックが検出されました。」
-305	「I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。」
-304	「ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。」
-303	「ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」
-302	「ユーザによって中断させられました -- トランザクションはロールバックされました。」
-301	「データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。」
-300	「実行時 SQL エラーです -- %1」
-299	「文の実行がユーザによって中断させられました。」
-298	「アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。」
-297	「ユーザ定義の例外が通知されました。」
-296	「RAISERROR のエラー番号 %1 は、17000 未満にしないでください。」
-295	「カーソルでローをユニークに識別できません。」
-294	「フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。」
-289	「複数の統合ユーザを定義することはできません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-288	「リモートの文が失敗しました。」
-287	「パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。」
-286	「リモートメッセージタイプ '%1' が見つかりません。」
-285	「ユーザ '%1' はこのデータベースのリモートユーザではありません。」
-284	「ユーザ '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャです。」
-283	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。」
-282	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。」
-281	「テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。」
-280	「パブリケーション '%1' が見つかりません。」
-274	「プロシージャまたはトリガの呼び出しのネストが深すぎます。」
-273	「トリガアクション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」
-272	「トリガ定義中の REFERENCES 句が無効です。」
-271	「トリガの定義が既存のトリガと矛盾しています。」
-270	「ランタイムサーバでは、プロシージャを持つユーザを削除できません。」
-269	「トリガの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。」
-268	「トリガ '%1' が見つかりません。」
-267	「アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-265	「プロシージャ '%1' は見つかりません。」
-264	「FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。」
-263	「FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。」
-262	「ラベル '%1' は見つかりません。」
-261	「'%1' という変数はすでに存在します。」
-260	「変数 '%1' が見つかりません。」
-251	「テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。」
-250	「識別子 '%1' が長すぎます。」
-249	「ログイン ID '%1' はすでにユーザ ID '%2' にマップされています。」
-248	「sys または public ユーザ ID にログイン ID をマップすることはできません。」
-247	「統合化ログイン ID ゲストは、ゲストデータベースのユーザ ID に対してのみマップできます。」
-246	「このデータベースに対して統合化ログインはサポートされていません。」
-245	「統合化ログインが失敗しました。」
-244	「トランザクションログはトランケートされました。」
-243	「データベースファイルが削除できません。」
-242	「トランザクションが終了していないため、トランザクションログの名前の変更はできません。」
-241	「データベースのバックアップを起動できません。」
-240	「不明なバックアップ操作です。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-231	「クライアントサーバのバージョンとデータベースサーバのバージョンが適合しません。」
-230	「埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサと、データベースインタフェースライブラリのバージョンが適合しません。」
-222	「アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。」
-221	「ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。」
-220	「セーブポイント '%1' が見つかりません。」
-218	「認証に失敗しました。」
-217	「オプション '%1' はプロシージャ内から設定できません。」
-216	「オプション '%1' はテンポラリオプションとしてのみ設定できます。」
-215	「プロシージャは '%1' によって使用されています。」
-214	「テーブルは使用されています。」
-213	「セーブポイントには、ロールバックログが必要です。」
-212	「CHECKPOINT 文にはロールバックログが必要です。」
-211	「'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。」
-210	「'%2' のローは、ユーザ '%1' によってロックされています。」
-209	「制約 '%1' の違反です : テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。」
-208	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。操作はキャンセルされました。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-207	「INSERT 文に指定した値の数が正しくありません。」
-206	「統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。」
-205	「統合化ログインが許可されていません。」
-204	「'%1' システム権限またはオプション '%2' を設定する権限がありません。」
-203	「ユーザ '%1'に対するテンポラリオプションを設定することはできません。」
-202	「オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。」
-201	「オプション '%1' の設定が無効です。」
-200	「オプション '%1' が無効です -- PUBLIC 設定がありません。」
-199	「カーソルの INSERT/DELETE は、1 つのテーブルしか変更できません。」
-198	「テーブル '%1' 内のローのプライマリキーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。」
-197	「カーソルの現在のローがありません。」
-196	「テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。」
-195	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。」
-194	「テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリキーの値がありません。」
-193	「テーブル '%1' のプライマリキーがユニークではありません : プライマリキー値 ('%2')」
-192	「更新できないクエリに対して、更新しようとしました。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-191	「テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。」
-190	「式を更新できません。」
-189	「テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。」
-188	「ホスト変数が足りません。」
-187	「不正なカーソル処理をしようとしました。」
-186	「サブクエリは複数行を返すことはできません。」
-185	「SELECT 文が複数行を返しています。」
-184	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データファイルの行 %3 で LOAD TABLE に無効なデータが指定されました。」
-183	「インデックス '%1' が見つかりません。」
-182	「SQLDA 中のフィールドが足りません。」
-181	「NULL に対して、インジケータ変数が用意されていません。」
-180	「カーソルが開きません。」
-172	「カーソルはすでに開いています。」
-171	「カーソルのオープンがエラーになりました。」
-170	「カーソルが宣言されていません。」
-165	「内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました : %1」
-164	「内部関数でネームスペースのヒープが足りなくなりました : %1」
-163	「派生テーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-162	「%1 を %2 に変換できません。データファイルのロー %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています」
-161	「DESCRIBE 文で無効な型が指定されました。」
-160	「SELECT 文以外は記述できません。」
-159	「カラム番号が無効です。」
-158	「値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。」
-157	「値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。」
-156	「'%1' 付近に無効な式があります。」
-155	「無効なホスト変数です。」
-154	「関数 '%1' のパラメータ数が誤りです。」
-153	「UNION、INTERSECT、または EXCEPT の Select リストの長さが一致していません。」
-152	「ORDER BY 句の指定が不正です。」
-151	「SELECT リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています」
-150	「集合関数の使用が無効です。」
-149	「'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。」
-148	「関数 '%1' は不明です。」
-147	「'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。」
-146	「'%1' を '%2' にジョインできません。」
-145	「外部キー '%1' は見つかりません。」
-144	「カラム '%1' が複数のテーブルで見つかったか、SELECT リストの中に 2 つ以上使用されています。相関名が必要です」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-143	「カラム '%1' が見つかりません。」
-142	「相関名 '%1' が見つかりません。」
-141	「テーブル '%1' が見つかりません。」
-140	「'%1' というユーザ ID はありません。」
-139	「'%1' は複数のテーブルで使用されています。」
-138	「DB 領域 '%1' が見つかりません。」
-137	「テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。」
-136	「テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。」
-135	「言語仕様が変更されました。」
-134	「'%1' の機能は実装されていません。」
-133	「準備文の種類が無効です。」
-132	「SQL 文にエラーがあります。」
-131	「'%1' %2 の近くに構文エラーがあります。」
-130	「文が無効です。」
-128	「ランタイムシステムでは、テーブルを所有しているユーザを削除することはできません。」
-127	「インデックスのカラムを変更することはできません。」
-126	「テーブルに 2 つのプライマリキーを定義することはできません。」
-125	「ALTER 句が矛盾しています。」
-124	「テーブル '%1' からすべてのカラムを削除することは許可されていません。」
-123	「ユーザ '%1' はユーザグループではありません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-122	「この操作はグループ循環を起こします。」
-121	「パーミッションがありません : %1」
-120	「ユーザ '%1' にはすでに GRANT OPTION が付与されています」
-119	「プライマリキーカラム '%1' はすでに定義されています。」
-118	「テーブル '%1' にはプライマリキーが定義されていません。」
-116	「テーブルは空でなければなりません。」
-114	「ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。」
-113	「外部キーのカラム '%1' にプライマリキーと異なる定義があります。」
-112	「テーブルにはすでにプライマリキーが定義されています。」
-111	「インデックス名 '%1' はユニークではありません。」
-110	「アイテム '%1' はすでに存在しています。」
-109	「まだデータベースに接続されています。」
-108	「接続が見つかりません。」
-107	「トランザクションログファイルへの書き込みエラーが発生しました。」
-106	「トランザクションログファイルを開けません -- %1」
-105	「データベースが起動できません -- %1」
-104	「モジュールの前処理でのユーザ ID またはパスワードが無効です。」
-103	「ユーザ ID またはパスワードが無効です。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-102	「データベースサーバに接続できる限界数を超えています。」
-101	「データベースに接続されていません。」
-100	「データベースサーバが見つかりません。」
-99	「データベースに接続できません。」
-98	「認証違反です。」
-97	「データベースのページサイズが大きすぎます : %1」
-96	「データベースサーバはすでに起動しています。」
-95	「解析エラー : %1」
-94	「フィールドに対して不正な型を参照しました。」
-93	「クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。」
-92	「'%1' は有効なクラスファイルではありません。」
-91	「プロシージャ '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。」
-90	「プロシージャ '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。」
-89	「データベースサーバはマルチユーザモードで実行していません。」
-88	「クライアント／サーバの通信プロトコルのバージョンが違います。」
-87	「サーバを起動するには、データベース名が必要です。」
-86	「起動するのに必要なメモリが不足しています。」
-85	「通信エラーが発生しました。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-84	「指定されたデータベースは無効です。」
-83	「指定されたデータベースが見つかりません。」
-82	「指定されたデータベースを起動できません : %1」
-81	「データベースサーバのコマンドラインが無効です。」
-80	「データベースサーバを起動することができません。」
-79	「ローカルデータベースオプションが無効です。」
-78	「動的メモリが足りません。」
-77	「データベース名がユニークではありません。」
-76	「アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。」
-75	「データベースの起動／停止の要求は拒否されました。」
-74	「選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。」
-72	「データベースファイルが指定されていません。」
0	「(メッセージなし)」
100	「ローが見つかりません。」
101	「値がトランケートされました。」
102	「テンポラリテーブルが使用されました。」
103	「不正なデータ変換」
104	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
105	「プロシージャが完了しました。」
106	「テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。」
107	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。」
109	「集合関数では、NULL 値は無視されます。」
110	「トランザクションログバックアップページの一部だけが、満杯になっています。」
111	「文を実行することができませんでした。」
112	「もっと情報が必要です。」
113	「ユーザ '%2' に対するデータベースオプション '%1' は不正な設定です。」
114	「'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。」
115	「データベースサーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。変換が正しくない可能性があります。」
116	「言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。」
117	「文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。」
118	「無効なユーザ選択性の評価が指定されました。」
119	「バックアップログ '%1' が開けません。」
120	「'%1' は認識できないオプションです。」
121	「カーソルオプションの値が変更されました。」
122	「非決定的な結果が返されました」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
124	「不正なデータ変換 : ロー %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。」
125	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」
127	「%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。」
129	「プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります」
130	「ローが新しいスキーマフォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。」
132	「文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。」
133	「Ultra Light の接続がリストアされました。」
134	「Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。」
136	「データベースが作成されました」
137	「参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。」
138	「パブリケーションの述部は評価されませんでした」
139	「オプション '%1' が複数回指定されています」
140	「暗号化が有効になっていません。」
142	「Ultra Light データベースステータスがリストアされました。」
143	「破損したページ (ページ '%1') の読み込みをリトライしています。」
144	「ミラーファイルには、これより高い checksum_level が必要です。」
145	「同じプライマリキーを持つ 2 つのローが、テーブル '%1' 用にダウンロードされています」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
146	「イベント通知キュー '%1' が満杯なため、通知は破棄されました」
147	「キュー '%1' でイベント通知が失われました」
148	「イベント通知キュー '%1' に警告は見つかりません」
149	「自動データベースアップグレードが適用されました」
150	「同期するテーブルがデータベースに含まれていません。」
151	「Ultra Light の起動時にデータベースリカバリが実行されました」
200	「警告 : %1」
201	「ICU 照合 '%1' は他の照合にデフォルト設定されました。」

SQL Anywhere のエラーメッセージ (SQLSTATE 順)

SQLSTATE	メッセージテキスト
00000	「(メッセージなし)」
01000	「警告 : %1」
01003	「集合関数では、NULL 値は無視されます。」
01004	「値がトランケートされました。」
01005	「暗号化が有効になっていません。」
01F01	「位置 %1 が無効です (有効な値は %2～%3)。」
01FW1	「多角形のリングの順序が再設定されました。」
01FW2	「ポイント 3 つの CircularString が、ポイント 5 つの CircularString に変換されました。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
01S02	「カーソルオプションの値が変更されました。」
01W01	「不正なデータ変換 : ロー %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。」
01W02	「テンポラリテーブルが使用されました。」
01W03	「不正なデータ変換」
01W04	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。」
01W05	「プロシージャが完了しました。」
01W06	「テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。」
01W07	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。」
01W08	「文を実行することができませんでした。」
01W09	「もっと情報が必要です。」
01W10	「トランザクションログバックアップページの一部だけが、満杯になっています。」
01W11	「ユーザ '%2' に対するデータベースオプション '%1' は不正な設定です。」
01W12	「'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。」
01W13	「データベースサーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。変換が正しくない可能性があります。」
01W14	「言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。」
01W15	「文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。」
01W16	「無効なユーザ選択性の評価が指定されました。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
01W17	「'%1' は認識できないオプションです。」
01W18	「非決定的な結果が返されました」
01W20	「プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります」
01W21	「ローが新しいスキーマフォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。」
01W23	「文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。」
01W24	「参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。」
01W25	「パブリケーションの述部は評価されませんでした」
01W26	「オプション '%1' が複数回指定されています」
01W27	「同じプライマリキーを持つ 2 つのローが、テーブル '%1' 用にダウンロードされています」
01W28	「同期するテーブルがデータベースに含まれていません。」
01WC1	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」
01WC3	「%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。」
01WC4	「ICU 照合 '%1' は他の照合にデフォルト設定されました。」
02000	「ローが見つかりません。」
04W07	「DB 領域が最大ファイルサイズに達しています。」
04W08	「サーバが DB 領域の最大ファイルサイズを超えてページにアクセスしようとしました。」
07001	「ホスト変数が足りません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
07002	「SQLDA 中のフィールドが足りません。」
07003	「カーソルのオープンがエラーになりました。」
07005	「SELECT 文以外は記述できません。」
07009	「記述子のインデックスが正しくありません。」
07W01	「DESCRIBE 文で無効な型が指定されました。」
07W02	「文が無効です。」
07W03	「準備文の種類が無効です。」
07W04	「SQLDA フィールドがマルチロー SQLDA と矛盾しています。」
07W05	「SQLDA のデータ型が無効です。」
07W06	「SQL の識別子が無効です。」
07W07	「ホスト変数はバッチで使用できません。」
07W08	「SQLDA に不正な sqllen フィールドがあります。」
08001	「データベースが起動できません -- %1」
08003	「データベースに接続されていません。」
08004	「'%1' というユーザ ID はありません。」
08005	「パスワードに不正な文字が含まれています。」
08S01	「%1 の操作を完了するのに十分なメモリがありませんでした。」
08S02	「%1 への呼び出しで無効なパラメータが使用されました。」
08S03	「セキュア機能のキー名 '%2' は、%1 への呼び出しでは有効でありません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
08S04	「%1 への呼び出しで、無効な認証キーが指定されました。」
08S05	「%1 への呼び出しで、無効なセキュア機能リスト '%2' が指定されました。」
08S06	「%1 を使用して、セキュア機能に機能リスト '%2' を割り当てる権限がありません。」
08S07	「%1 を使用して、'%2' という名前のセキュア機能キーを変更する権限がありません。」
08S08	「%1 への呼び出しが失敗しました。最大数のセキュア機能キーがすでに作成されました。」
08S09	「%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のセキュア機能キーがすでに存在しています。」
08S10	「%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のセキュア機能キーは存在しません。」
08S11	「%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のセキュア機能キーに指定された認証キーが不正です。」
08S12	「%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のキーは、MANAGE_FEATURES 機能と MANAGE_KEYS 機能を持つ最後のキーです。」
08W01	「データベースサーバが見つかりません。」
08W02	「接続が見つかりません。」
08W03	「データベースサーバに接続できる限界数を超えています。」
08W04	「データベースに接続できません。」
08W05	「トランザクションログファイルを開けません -- %1」
08W06	「まだデータベースに接続されています。」
08W07	「データベースサーバを起動することができません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
08W08	「データベースサーバのコマンドラインが無効です。」
08W09	「指定されたデータベースを起動できません : %1」
08W10	「指定されたデータベースが見つかりません。」
08W11	「指定されたデータベースは無効です。」
08W12	「通信エラーが発生しました。」
08W13	「起動するのに必要なメモリが不足しています。」
08W14	「サーバを起動するには、データベース名が必要です。」
08W15	「クライアント／サーバの通信プロトコルのバージョンが違います。」
08W16	「データベースサーバはマルチユーザモードで実行していません。」
08W17	「トランザクションログファイルへの書き込みエラーが発生しました。」
08W18	「埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサと、データベースインタフェースライブラリのバージョンが適合しません。」
08W19	「クライアントサーバのバージョンとデータベースサーバのバージョンが適合しません。」
08W20	「データベース名 'utility_db' はユーティリティデータベース用に予約されています。」
08W21	「認証違反です。」
08W22	「データベースのページサイズが大きすぎます : %1」
08W23	「データベースサーバはすでに起動しています。」
08W24	「不正なパラメータです。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
08W25	「ローカルデータベースオプションが無効です。」
08W26	「動的メモリが足りません。」
08W27	「データベース名がユニークではありません。」
08W28	「アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。」
08W29	「データベースの起動／停止の要求は拒否されました。」
08W30	「選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。」
08W32	「無効なデータベースページサイズです。」
08W33	「データベースの作成に失敗しました : %1」
08W34	「ストア DLL "%1" をロードできません。」
08W35	「ストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できません」
08W36	「指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。」
08W37	「接続パラメータファイルが見つかりません。」
08W38	「接続パラメータ文字列の解析エラーです。」
08W39	「データベースファイルが指定されていません。」
08W40	「データベースはアクティブです。」
08W41	「データベース "%1" をリカバリする必要があります。」
08W42	「データベースのアップグレードに失敗しました。」
08W43	「データベースのアップグレードができません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
08W44	「バックアップ／リストア用 DLL "%1" をロードできません。」
08W45	「バックアップ／リストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できませんでした」
08W46	「バックアップ／リストア中にエラーが発生しました : %1」
08W47	「データベースストア DLL (%1) のバージョンが不正です。」
08W48	「認証に失敗しました。」
08W49	「解析エラー : %1」
08W51	「IQ データベースコマンドラインの不正なオプションまたはパラメータ値 : %1」
08W52	「IQ メモリマネージャを初期化できません : %1」
08W53	「System V リソースを割り当てることができません。」
08W54	「解析エラー : %1」
08W55	「サーバが見つからないため自動起動できません。」
08W56	「指定されたデータベースファイルはすでに使用されています。」
08W57	「データベースのアップグレードができません。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。」
08W58	「データベースのアップグレードができません。ユーザテーブルに、システムテーブル範囲のテーブル ID が設定されています。」
08W59	「TLS ハンドシェイクに失敗しました。」
08W60	「接続エラー : %1」
08W61	「サーバ上で TLS の初期化に失敗しました。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
08W62	「暗号化キーが不正であるか、見つかりません。」
08W63	「復号化エラー : %1」
08W64	「データベースサーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。」
08W65	「クライアントでメモリが不足しています。」
08W66	「暗号化エラー : %1」
08W67	「指定されたデータベースを起動できません : データベース %1 を起動するにはサーバをアップグレードする必要があります。」
08W68	「指定されたデータベースを起動できません : ログファイルエラー」
08W69	「jConnect は暗号化をサポートしていません。」
08W70	「暗号化 DLL "%1" をロードできません。」
08W71	「プロシージャまたは関数 '%2' のパラメータ '%1' にデフォルト値がありません。」
08W72	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログミラーです。」
08W73	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。」
08W74	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログで、'%1' は操作を予期していません。」
08W75	「指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです」
08W76	「指定されたデータベースを開始できません。このサーバで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)」

SQLSTATE	メッセージテキスト
08W80	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログファイルがデータベースファイルよりも後に使用されているためです。」
08W81	「指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクションログファイル が見つかりません」
08W82	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。」
08W83	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはデータベースファイルがログファイルよりも後に使用されているためです。」
08W84	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いためです。」
08W85	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。」
08W86	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。」
08W87	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベースファイルではありません。」
08W88	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログです。」
08W89	「データベースサーバを起動することができません。サーバに致命的なエラーが発生しました。」
08W90	「DBN/DBF パラメータが、この代替サーバ名のデータベースと一致しません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
08W91	「ミラーサーバに接続できません。サーバ名 '%1' を使用してプライマリサーバを探してください。」
08W92	「ハッシュエラー : %1」
08W93	「データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み込み専用モードを使用できません。」
08W94	「ファンクション '%1' に無効なパラメータ '%2' ('%3') があります。」
08W95	「ATTACH TRACING は、トレースデータベースに接続できませんでした」
08W96	「トレース接続はすでにアクティブになっています」
08W97	「接続できません : サーバは要求された暗号化タイプを受け入れませんでした。」
08W98	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_corruption_warning.html を参照してください。」
08W99	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_cant_change_platform.html を参照してください。」
08WA0	「パスワードの有効期限が切れています。」
08WA1	「パスワードの有効期限が切れていますが、変更できません。データベースは読み込み専用です。」
08WA2	「データベースサーバを起動できません : ライセンスファイルがありません」
08WA3	「サーバは TCP/IP 接続を構築できません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
08WA4	「クライアントが複数回リダイレクトされました。」
08WA5	「指定されたデータベースを停止できません : %1」
08WA6	「接続を完了するためにログインリダイレクションが必要ですが、クライアントではサポートされていません」
08WA7	「クラウドデータベースサーバに接続するときにデータベース名を指定する必要があります」
08WA8	「NODETYPE=DIRECT のクラウドデータベースサーバに接続する場合は、サーバ名のみを指定できます」
08WA9	「dbrsakp 共有オブジェクトをロードできません」
08WB1	「セキュリティトークンを生成する場合のツール名または管理ユーザが無効です」
08WB2	「ファイル %1 を送信先 %2 にコピーできません」
08WB3	「データベースには、'SYS_' プレフィクスと '_ROLE' サフィックスを持つユーザが含まれています。」
08WB4	「ファイル %1 を削除できません」
08WB5	「ファイル %1 はすでに存在します」
08WB6	「ディレクトリ %1 を作成できません」
08WB7	「ファイル %1 をコピーできません」
08WB8	「データベースの変更に失敗しました : %1」
08WB9	「ファイルまたはディレクトリ %1 が見つかりません」
08WC1	「%1 と %2 の比較に失敗しました」
08WC2	「%1 はディレクトリではありません」

SQLSTATE	メッセージテキスト
08WC3	「%1 と %2 は同じである必要があります」
09W02	「不正なカーソル処理をしようとしました。」
09W03	「'%1' では結果セットは許可されません。」
09W04	「カーソルの INSERT/DELETE は、1 つのテーブルしか変更できません。」
09W05	「カーソルでローをユニークに識別できません。」
09W06	「カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。」
09W07	「文のサイズの制限値が無効です」
09W08	「テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。」
0A000	「'%1' の機能は実装されていません。」
0A001	「呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。」
0A002	「このサーバには、'%1' 機能をサポートするためのライセンスが付与されていません」
0A003	「このサーバには、'%1' 接続をサポートするためのライセンスが付与されていません」
0A004	「このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません」
0A007	「テーブル権限 '%1' の使用は、現在のデータベースでサポートされていません。」
0AQ48	「IQ データベースにはログが必要です。」
0AW01	「言語仕様が変更されました。」
0AW02	「Transact-SQL 機能がサポートされていません。」
0AW03	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
0AW05	「パススルーモードでは文を使用できません。」
0AW06	「計算カラムはこのデータベースではサポートされません。」
0AW07	「Ultra Light では使用できない機能です。」
0AW08	「コミットされていないトランザクションとの同期またはアップグレードはできません。」
0AW09	「同期サーバがアップロードのコミットに失敗しました。」
0AW10	「DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。」
0AW11	「テーブル '%1' の既存のロー (ロー : %2) と競合しているため、ダウンロードに失敗しました」
0AW12	「サーバ %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。」
0AW13	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません」
0AW14	「このタイプの文に対してプランを生成することはできません。」
0AW15	「マテリアライズドビューのサポートは、このデータベースでは利用できません」
0AW16	「FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません」
0AW17	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。」
0AW18	「リモートデータアクセス機能はこのプラットフォームではサポートされていません」
0AW19	「クライアントバージョンまたはクライアントインタフェースではサポートされていない機能です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
0AW20	「使用できるプランがありません。このタイプの文に対しては、NOEXEC プランは生成できません。」
0AW21	「プランがありません。このタイプの文またはデータベースでは、HTML_PLAN 関数はサポートされていません。」
0AW22	「このデータベースでは、DB 領域のパーミッションのサポートを利用できません」
0AW23	「同期ダウンロードは完了しませんでした」
0AW24	「同期はすでに進行中です」
0AW26	「ローの値が無効またはサポートされていないため、ダウンロードに失敗しました。」
0AW27	「システム権限とロールの機能はこのデータベースではサポートされていません。」
0AW28	「コレクションタイプがサポートされていません。」
0AWD5	「Mobile Link 通信エラー : コード : %1、パラメータ : %2、システムコード : %3」
0EW00	「テーブル '%1' にはカラムがありません」
0EW01	「インデックス '%1' にはカラムがありません」
21000	「SELECT 文が複数行を返しています。」
21W01	「サブクエリは複数行を返すことはできません。」
22001	「文字列データの右側がトランケートされます。」
22002	「NULL に対して、インジケータ変数が用意されていません。」
22003	「値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。」
22005	「割り当てのエラー」
2200B	「エスケープ文字 '%1' が矛盾しています。」

 Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.0

SQLSTATE	メッセージテキスト
2200C	「エスケープ文字 '%1' の使用が無効です。」
22012	「ゼロで除算しようとしました。」
22019	「エスケープ文字 '%1' が無効です。」
2201B	「正規表現 '%2' 中の '%1' が無効です。」
22024	「C 言語の文字列が完結していません。」
22025	「エスケープシーケンス '%1' が無効です。」
2202E	「配列要素エラー : 配列インデックス '%1' が範囲から外れています。」
22030	「要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。」
22W02	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。操作はキャンセルされました。」
22W03	「WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。」
22X13	「OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。」
23501	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データファイルの行 %3 で LOAD TABLE に無効なデータが指定されました。」
23502	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。」
23503	「テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリキーの値がありません。」
23504	「NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。」
23505	「テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。」
23506	「制約 '%1' の違反です : テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
23507	「指定された外部キー (%1) は使用できません。」
23508	「制約 '%1' の違反です : テーブル '%2' の値が無効です。」
23509	「テーブル '%1' に、MERGE 文の ANSI カーディナリティ違反があります」
23510	「テーブル '%1' の MERGE 文は失敗しました。文で RAISERROR が指定されています」
23W01	「テーブル '%1' のプライマリキーがユニークではありません : プライマリキー値 ('%2')」
23W05	「テーブル '%1' 内のローのプライマリキーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。」
24000	「カーソルが有効な状態にありません。」
24001	「TRUNCATE の後に value-sensitive カーソルが使用されています」
24501	「カーソルが開きません。」
24502	「カーソルはすでに開いています。」
24503	「カーソルの現在のローがありません。」
24504	「スクロール位置 '%1' が不正です。」
24W01	「カーソルが宣言されていません。」
26501	「SQL 文にエラーがあります。」
28000	「ロール '%1' は他のユーザまたはロールに付与されるため、削除されませんでした。削除するには、'WITH REVOKE' オプションを使用します。」
28000	「WITH DROP OBJECTS の使用は '%1' では許可されていません。」
28000	「指定されたロール '%1' は、ロールとして拡張されたユーザです。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
28000	「指定されたロール '%1' は、ロールとして拡張されたユーザではありません。」
28000	「指定されたユーザ '%1' はロールです。」
28000	「指定された LDAP サーバ '%1' が見つかりません。」
28000	「指定されたシステム権限 '%1' は無効です。」
28000	「この操作はロール循環を起こします。」
28000	「WITH NO SYSTEM PRIVILEGE INHERITANCE OPTION の使用は、%1 では許可されていません。」
28000	「ユーザまたはロール ID '%1' は存在していません。」
28000	「ロール "%1" がすでに存在しています。」
28000	「無効なユーザ ID またはロール名 '%1' が指定されています。」
28000	「ユーザ ID またはパスワードが無効です。」
28W01	「モジュールの前処理でのユーザ ID またはパスワードが無効です。」
28W02	「統合化ログインが許可されていません。」
28W03	「統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。」
28W04	「統合化ログインが失敗しました。」
28W05	「このデータベースに対して統合化ログインはサポートされていません。」
28W06	「統合化ログイン ID ゲストは、ゲストデータベースのユーザ ID に対してのみマップできます。」
28W07	「sys または public ユーザ ID にログイン ID をマップすることはできません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
28W08	「ログイン ID '%1' はすでにユーザ ID '%2' にマップされています。」
28W09	「ログイン ID '%1' はどのデータベースユーザ ID にもマップされていません。」
28W10	「統合されたユーザに対する個別のグループマッピングが多すぎます。」
28W11	「無効なパスワード : %1」
28W12	「Kerberos ログインが失敗しました。」
28W13	「Kerberos ログインはサポートされていません。」
28W14	「ログインモード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。」
28W15	「このユーザのログインポリシーにより接続は許可されませんでした」
28W17	「Mobile Link が値 '%2' の認証ステータス '%1' を返したため、同期に失敗しました。」
28W18	「タスク '%1' は許可されていません」
28W19	「ロールの付与は許可されていません。」
28W20	「change_password_dual_control プロセスが進行中であるため、パスワードを変更できません。」
28W21	「change_password_dual_control はこのユーザでは有効です。パスワードを変更するには、ALTER USER を使用します。」
28W22	「暗号化されていないパスワードを使用した TDS ログイン要求は許可されていません。」
28W23	「RSA の暗号化されたパスワードを使用した TDS ログイン要求は、ノンスも使用する必要があります。」
2D501	「トリガアクション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
2FF04	「交点マトリックス '%1' は無効です。」
2FF05	「ポイントが %1 と重複しています。」
2FF06	「要素は空セットです ('%1' 付近)。」
2FF10	「空間参照系 %1 と %2 が混在しています (%3 付近)。」
2FF11	「'%1' 付近に非連続の曲線があります。」
2FF14	「測定単位 '%1' が認識できません。」
2FF15	「ジオメトリの変換に失敗しました (エラー %1)。」
2FF16	「%1 から %2 に変換できません (%3 付近)。」
2FF17	「ポイント %1 の変換に失敗しました (エラー %2)」
2FF22	「オフセット %2 の Well-Known-Text (WKT) スキャニング '%1' の解析エラーです。」
2FF23	「オフセット %1 の Well-Known-Binary (WKB) の解析エラーです。」
2FF25	「座標次元が混在しています。」
2FF59	「空間参照系が認識できません (%1)。」
2FF71	「ST_CircularString は、%1 ポイントからは構築できません ('%2' 付近)。」
2FF72	「ST_CircularString セグメントの %1 と %2 の間の中間点 (%3) は同一直線上にありますが、開始点と終了点の間にはありません。」
2FW02	「このデータベースでは、空間のサポートは利用できません。」
2FW03	「空間機能 %1 はサポートされていません。」
2FW05	「Well-Known-Text (WKT) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
2FW06	「オフセット %1 のジオメトリ内部直列化の解析エラーです。」
2FW08	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が無効です。」
2FW09	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が親の有効なサブタイプではありません。」
2FW10	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : 入力の終わりが予期されているものと異なります。」
2FW11	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。」
2FW12	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 で無効なバイト順マーク %1 です」
2FW13	「シェイプファイルレコードの解析エラーです。」
2FW14	「シェイプファイル属性の解析エラーです。」
2FW15	「シェイプファイルのファイル名が無効です。」
2FW16	「マルチパッチのシェイプファイルの形状はサポートされていません。」
2FW19	「埋め込まれた SRID (%1) が指定された SRID (%2) と競合しています。」
2FW20	「埋め込まれた SRID が矛盾しています (%1 と %2)。」
2FW21	「'%1' は認識されないフォーマットタイプです。」
2FW22	「フォーマットタイプ '%1' はここでは使用できません。」
2FW23	「'%1' フォーマットの入力文字列はここでは使用できません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
2FW24	「フォーマット指定構文が無効です。」
2FW25	「'%1' は認識されないフォーマット指定オプションです。」
2FW26	「値 '%2' は、'%1' フォーマット指定オプションの有効な設定ではありません。」
2FW27	「データのフォーマットが認識できません。」
2FW28	「SRID=%1 のジオメトリは、メソッド %2 ではサポートされていません。」
2FW29	「ポイントのないジオメトリ間の距離を算出する際、SRID=%1 のジオメトリはサポートされていません。」
2FW31	「設定ファイルを読み込み中にエラーが発生しました。」
2FW32	「設定名 %1 は無効です。」
2FW33	「比較 '%1' はジオメトリでは使用できません。」
2FW34	「空間参照系の Well-Known-Text (WKT) は無効です。」
2FW35	「変換定義 '%1' は無効です。」
2FW36	「変換定義が長すぎます。」
2FW37	「SRID %1 から %2 への変換はサポートされていません。」
2FW38	「SRID %1 からの変換はサポートされていません。」
2FW39	「測定単位 "%1" は距離単位ではありません。」
2FW40	「測定単位 "%1" は角度単位ではありません。」
2FW41	「多角形のフォーマット '%1' が無効です。」
2FW42	「多角形が無効です : 外部リングがありません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
2FW43	「多角形のネストが無効です。」
2FW44	「多角形が無効です : 外部リングが複数あります。」
2FW45	「テーブル '%1' には空間カラム '%2' は含まれていますが、プライマリキーはありません。」
2FW46	「空間カラム '%1' はプライマリキーまたはユニークインデックスに含めることはできません」
2FW47	「空間カラム '%1' は単一の SRID に制約されていないため、インデックスに含めることはできません」
2FW48	「測定単位を作成する場合は、CONVERT USING 句を指定する必要があります。」
2FW49	「文字列 '%1' は、有効な軸順序ではありません。」
2FW50	「文字列 '%1' は、有効な座標名ではありません。」
2FW51	「測定単位 '%1' が見つかりません。」
2FW52	「空間参照系 '%1' が見つかりません。」
2FW53	「測定単位 '%1' はすでに存在しています。」
2FW54	「空間参照系 '%1' はすでに存在しています。」
2FW55	「空間参照系は使用する SRID を指定する必要があります。」
2FW56	「定義文字列 '%1' の解析エラーです。」
2FW57	「空間参照系のタイプはサポートされていません ('%1')。」
2FW58	「地理空間参照系に楕円パラメータがありません。」
2FW59	「非地理空間参照系に楕円パラメータが指定されていません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
2FW60	「座標 %1 の座標バウンドがありません。」
2FW61	「このタイプの空間参照系では、指定した軸順序はサポートされていません。」
2FW62	「指定した多角形フォーマット '%1' は、このタイプの空間参照系ではサポートされていません。」
2FW63	「記憶フォーマット '%1' は無効です。」
2FW64	「空間参照系 %1 は、使用中のため修正できません」
2FW65	「空間参照系 "%1" は予約されています。」
2FW66	「空間測定単位 "%1" は予約されています。」
2FW67	「SRID %1 は、テーブル '%3' のカラム '%2' によって参照されています。」
2FW68	「SRID %1 は、プロシージャ '%3' のパラメータ '%2' によって参照されています。」
2FW69	「SRID %1 は、ドメイン "%3"."%2" によって参照されています。」
2FW70	「SRID %1 は、地理空間参照系を識別しません。」
2FW71	「ST_Geometry 引数は、SQL 関数 %1 ではサポートされていません。」
2FW72	「タイプ %1 の式は、タイプ %2 とは和両立しません。」
2FW73	「空間ライブラリで内部エラーが発生しました。」
2FW77	「曲線には、ほぼ対蹠点の %1 と %2 が含まれています ('%3' 付近)。」
2FW78	「LineString には少なくとも 2 つのポイントを含める必要があります ('%1' 付近)。」
2FW79	「値 %1 は座標系 %2 の範囲外です (SRS の境界 [%3, %4] を 50% 以上超過)」

SQLSTATE	メッセージテキスト
2FW80	「無効な多角形です : リングが閉じていません ('%1' 付近)。」
2FW81	「無効な多角形です : リングにゼロ領域があります ('%1' 付近)。」
2FW82	「無効な多角形です : 曲線がリンクではありません。」
2FW83	「無効な多角形です : リングが SRID=%1 で許可されている値を超えています ('%2' 付近)。」
2FW84	「CircularString のジオメトリはサポートされていません ("%1" 付近)。」
2FW85	「空間参照系 %1 では、CircularString のジオメトリはサポートされていません。」
2FW86	「グリッドサイズ %1 は無効です。」
2FW87	「許容値 %1 は無効です。」
2FW88	「座標系 %1 で無効な境界です ("BETWEEN %2 AND %3" の付近)」
2FW89	「ST_MultiSurface には、交点が無効な要素が含まれています ("%1" 付近)。」
2FW90	「交差要素を持つ ST_GeomCollection では、操作はサポートされていません ("%1" 付近)。」
2FW91	「この CPU では、空間のサポートは利用できません。」
2FW92	「ジオメトリ式は、ORDER BY 句では使用できません ('%1' 付近)。」
33000	「SQL 記述子名が正しくありません。」
37505	「関数 '%1' のパラメータ数が誤りです。」
38W01	「システムコマンドが失敗し、リターンコード %1 が返されました。」
3B001	「セーブポイント '%1' が見つかりません。」

 Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.0

SQLSTATE	メッセージテキスト
3B002	「ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。」
3BW01	「セーブポイントには、ロールバックログが必要です。」
3BW02	「アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。」
40000	「実行時 SQL エラーです -- %1」
40001	「デッドロックが検出されました。」
40W01	「データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。」
40W02	「ユーザによって中断させられました -- トランザクションはロールバックされました。」
40W03	「ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。」
40W04	「I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。」
40W05	「ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」
40W06	「すべてのスレッドがブロックされています。」
40W07	「接続が切断されました。」
40W08	「メモリエラー -- トランザクションはロールバックされました。」
42501	「パーミッションがありません : %1」
42R01	「テンポラリテーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42R02	「キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリテーブルである必要があります。グローバルテンポラリテーブルの場合は、どちらか一方のテーブルが共有されていれば、他方のテーブルも共有されている必要があります。」
42R03	「テンポラリテーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリキーが必要です。」
42R04	「外部キーカラムがプライマリキーまたは "%1" の一意性制約に一致しません」
42U00	「ビューがテンポラリオブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。」
42U01	「相関名 '%1' への参照が不正です。」
42U02	「修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は相関名 '%2' と一致していません。」
42U03	「カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。」
42U04	「制約 '%1' が見つかりません。」
42U05	「名前付きの制約が存在するのに名前のないカラム制約の変更が試みられました。」
42U06	「制約 '%1' への参照または操作が無効です。」
42U07	「テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。」
42U08	「CREATE DATABASE 文では重複オプションは許可されていません」
42U09	「DML 派生テーブルで許可されていない外部参照」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42W01	「ユーザ '%1' にはすでに GRANT OPTION が付与されています」
42W02	「この操作はグループ循環を起こします。」
42W03	「ユーザ '%1' はユーザグループではありません。」
42W04	「'%1' %2 の近くに構文エラーがあります。」
42W05	「関数 '%1' は不明です。」
42W06	「集合関数の使用が無効です。」
42W07	「無効なホスト変数です。」
42W08	「'%1' 付近に無効な式があります。」
42W09	「プロシージャ、トリガ、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。」
42W10	「行 %2 の '%1' 付近の DEFAULT の値が無効です」
42W11	「行 %2 の '%1' 付近の INSERT の値が無効です」
42W13	「カラム番号が無効です。」
42W14	「変数 '%1' が見つかりません。」
42W15	「'%1' という変数はすでに存在します。」
42W16	「オプション '%1' が無効です -- PUBLIC 設定がありません。」
42W17	「オプション '%1' の設定が無効です。」
42W18	「'%2' のローは、ユーザ '%1' によってロックされています。」
42W19	「'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。」
42W20	「CHECKPOINT 文にはロールバックログが必要です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42W21	「テーブルは使用されています。」
42W22	「アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。」
42W23	「プロシージャは '%1' によって使用されています。」
42W24	「ラベル '%1' は見つかりません。」
42W25	「FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。」
42W26	「FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。」
42W28	「アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」
42W29	「プロシージャまたはトリガの呼び出しのネストが深すぎます。」
42W30	「読み込み専用のカーソルを更新しようとしました。」
42W31	「更新できないクエリに対して、更新しようとしました。」
42W32	「テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。」
42W33	「テーブル '%1' が見つかりません。」
42W34	「ユーザ '%1' はすでにグループ '%2' のメンバーです。」
42W35	「更新できないリモートクエリに対して、更新しようとしました。」
42W36	「FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました」
42W37	「ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません」
42W38	「SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42W39	「ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガと WITH CHECK OPTION が競合しています。」
42W3A	「テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガがあるため、操作に失敗しました。」
42W3B	「INSTEAD OF トリガのあるビューで位置付け更新しようとしました。」
42W3C	「ビュー '%1' のトリガタイプが無効です。」
42W3D	「マテリアライズドビュー '%1' でトリガを作成できません。」
42W40	「参照カラムが重複しています。」
42W41	「挿入したカラムが重複しています。」
42W42	「プロシージャ '%1' の呼び出しに必要なパラメータ名がありません。」
42W43	「オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。」
42W44	「テーブル '%1' からすべてのカラムを削除することは許可されていません。」
42W45	「ユーザ '%1'に対するテンポラリオプションを設定することはできません。」
42W46	「'%1' システム権限またはオプション '%2' を設定する権限がありません。」
42W47	「プロシージャ '%2' にパラメータ '%1' がありません。」
42W48	「構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。」
42W49	「TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。」
42W50	「READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。」
42W51	「VALIDATE 文はベーステーブルを参照しなければなりません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42W52	「オプション '%1' はテンポラリオプションとしてのみ設定できます。」
42W53	「オプション '%1' はプロシージャ内から設定できません。」
42W54	「シグネチャ '%1' はプロシージャのパラメータと一致しません。」
42W55	「ユーザは使用中のプロシージャを所有しています。」
42W56	「ユーザは使用中のテーブルを所有しています。」
42W57	「外部オブジェクト '%1' が見つかりません。」
42W58	「JAR '%1' が見つかりません。」
42W59	「派生テーブル '%1' の SELECT リストに '%2' と一致する式がありません」
42W60	「エイリアス '%1' がユニークではありません。」
42W61	「エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。」
42W62	「テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガで修正または削除されました。」
42W63	「プロシージャ '%1' は有効でなくなりました。」
42W64	「テーブル '%1' のトリガまたは外部キーは有効でなくなりました。」
42W65	「ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。」
42W66	「トリガ名 '%1' はあいまいです。」
42W67	「CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。」
42W68	「集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42W69	「集約式 '%1' は SELECT リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります」
42W70	「グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。」
42W71	「文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。」
42W73	「'%1' にジョインする方法がありません。」
42W74	「インデックス '%1' をクラスタできません。」
42W75	「同期プロファイル '%1' が見つかりません」
42W76	「同期プロファイル '%1' はすでに存在します」
42W77	「同期プロファイル '%1' に無効なパラメータ '%2' があります」
42W78	「このデータベースに対して同期プロファイルはサポートされていません」
42W79	「文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。」
42W80	「他の接続が '%1' のローをロックしています」
42W82	「ユーザ設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。」
42W83	「HTTP オプション '%1' の設定が無効です。」
42W84	「HTTP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」
42W85	「'%1' は '%2' に対して無効な値です。」
42W86	「SOAP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」
42W89	「パブリケーション '%1' から定義されているよりも多いアーティクルを削除しようとしています。」
42W90	「集約関数の ORDER BY が不正です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42W91	「監査用のトランザクションログファイルが必要です。」
42W92	「CREATE SERVICE にはサービスタイプが必要です。」
42W93	「共通テーブル式参照に循環があります。」
42W94	「'%1' は認識されていないサービスタイプです。」
42W95	「サービス名 '%1' は無効です。」
42W96	「AUTHORIZATION が Off の場合はユーザ名を指定する必要があります。」
42W97	「サービス '%1' はすでに存在します。」
42W98	「サービス '%1' が見つかりません。」
42W99	「再帰クエリが無効です。」
42W9A	「再帰クエリのカラムリストがありません。」
42W9B	「サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。」
42W9C	「サービス文定義とサービスタイプが矛盾しています。」
42W9D	「GROUP BY 句には定数式を使用できません。」
42W9E	「AUTHORIZATION が OFF の場合、サービス定義には文が必要です。」
42WA0	「RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。」
42WA1	「ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます」
42WA2	「再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。」
42WA3	「ウィンドウ '%1' が見つかりません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42WA4	「ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。」
42WA5	「ウィンドウ '%1' では、ORDER BY は許可されません。」
42WA6	「ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。」
42WA7	「集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループカラムである必要があります。」
42WA8	「Window 関数が述語に使用されています。」
42WA9	「Window 関数には ORDER BY が必要です。」
42WAA	「複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。」
42WAB	「ユーザ '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを付与されています。」
42WAC	「関数またはプロシージャ '%1' に引数が多すぎます。」
42WAD	「サービスの属性 '%1' の値が無効です。」
42WAE	「サービスの属性 '%1' の値がありません。」
42WAF	「USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。」
42WB0	「サービスに重複した属性 '%1' があります。」
42WB1	「USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。」
42WB2	「サービスタイプでは、属性 '%1' は許可されません。」
42WB3	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューの定義では次の構成体を使用できません : '%2'」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42WB4	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に次の不正な構成体が含まれています : '%2'」
42WB5	「マテリアライズドビュー '%1' が見つかりません。」
42WB6	「マテリアライズドビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」
42WB7	「マテリアライズドビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」
42WB8	「スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました」
42WB9	「スナップショット中は文を使用できません」
42WBA	「スナップショットトランザクションで更新の競合が発生しました。」
42WBB	「スナップショットアイソレーションを非スナップショットトランザクションで使用しようとしました。」
42WBC	「マテリアライズドビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。」
42WBD	「計算カラムの依存に循環があります。」
42WBE	「ユーザ '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。」
42WBF	「相関名 '%1' は、ROWID 関数では使用できません。」
42WC0	「重複キーカラム (%1)」
42WC1	「テーブル '%1' には、ROWID 関数への無効な参照が含まれています。」
42WC2	「'%1' プロパティはサポートされなくなりました。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42WC3	「マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。すでに初期化されています。」
42WC4	「指定した時間内でテーブルロックを取得できません。」
42WC5	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に複数のクエリブロックを含めることはできません。」
42WC6	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。COUNT(*) が SELECT リストの一部に必要です。」
42WC7	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません」
42WC8	「依存する即時マテリアライズドビューのメンテナンスに失敗しました。」
42WC9	「トランザクションで 2 つ目のスナップショットの起動を試みています。」
42WCA	「マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。NULL 入力不可なカラムにユニークなインデックスがありません。」
42WCB	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に不正な構成体が含まれています。」
42WCC	「サービス文定義が無効であるか、サポートされていません。」
42WCD	「即時マテリアライズドビューの定義に NULL 入力可能な式に対する SUM 関数を含めることはできません。」
42WCE	「SELECT リストに NULL 入力可能な式に対する SUM 関数は含まれていますが、同じ式に対する COUNT 関数が含まれていないため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42WD3	「テーブル '%1' を参照する即時ビューを作成するには、テーブルを所有している必要があります。」
42WD4	「FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句は、DECLARE CURSOR ではなく PREPARE で指定する必要があります。」
42WD5	「指定するユーザ名は、現在の接続のユーザ名である必要があります。」
42WE0	「関数 '%1' での '%2' 句の使用は許可されません。」
42WE1	「関数 '%1' では '%2' 句の使用が必須です。」
42WE2	「ユーザは使用中のシーケンスを所有しています。」
42WE3	「シーケンス '%1' は別の接続で使用中です。」
42WE4	「ON 条件は OUTER JOIN の両側を参照する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
42WE5	「VERIFY と RENAME を同時に使用することはできません。」
42WE6	「タイプ COPY で定義されたミラーサーバ "%1" には、親定義は含まれていません。」
42WE7	「ON 条件は OUTER JOIN の NULL 入力側および保護側にないテーブルを参照しているため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
42WE8	「OUTER JOIN の NULL 入力側にある NULL 入力不可のカラムが SELECT リストに 1 つ以上存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42WE9	「OUTER JOIN の保護側にあるテーブルのプライマリキーカラムが SELECT リストに存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
42WF0	「プロシージャは現在変更中または削除中です。」
42WF2	「ミラーサーバタイプを %1 から %2 に変更できません。」
42X00	「タイプ '%1' はメソッド呼び出しをサポートしていません ('%2' 付近)。」
42X01	「タイプ '%1' には '%2' というメソッドはありません ('%3' 付近)。」
42X02	「メソッド呼び出し '%1' は過負荷と一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。」
42X03	「タイプ '%1' はインスタンス化可能ではありません ('%2' 付近)。」
42X04	「メソッド '%1' は、%2 引数で呼び出すことはできません ('%3' 付近)。」
42X05	「タイプ '%1' は、%2 引数でインスタンス化することはできません ('%3' 付近)。」
42X06	「インスタンス化 '%1' は過負荷に一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。」
42X07	「式は配列ではありません。」
44000	「ベーステーブル '%1' の挿入／更新に対して WITH CHECK OPTION が違反しています。」
52002	「カラム '%1' が複数のテーブルで見つかったか、SELECT リストの中に 2 つ以上使用されています。相関名が必要です」
52003	「カラム '%1' が見つかりません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
52004	「派生テーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。」
52005	「テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。」
52006	「カラム '%1' が変数 '%2' に見つかりません。」
52009	「プライマリキーカラム '%1' はすでに定義されています。」
52010	「アイテム '%1' はすでに存在しています。」
52012	「'%1' は複数のテーブルで使用されています。」
52W02	「相関名 '%1' が見つかりません。」
52W03	「インデックス '%1' が見つかりません。」
52W04	「インデックス名 '%1' はユニークではありません。」
52W05	「テーブルに 2 つのプライマリキーを定義することはできません。」
52W06	「テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。」
52W07	「外部キー '%1' は見つかりません。」
52W08	「'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。」
52W09	「プロシージャ '%1' は見つかりません。」
52W10	「トリガ '%1' が見つかりません。」
52W11	「トリガの定義が既存のトリガと矛盾しています。」
52W12	「トリガ定義中の REFERENCES 句が無効です。」
52W13	「DB 領域 '%1' が見つかりません。」
52W14	「テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
52W15	「テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。」
52W16	「ユーザメッセージ %1 はすでに存在しています。」
52W17	「ユーザメッセージ %1 が見つかりません。」
52W18	「ユーザ定義データ型 '%1' が見つかりません。」
52W19	「テーブル '%1' の DB 領域が見つかりません。」
52W20	「テーブルのカラム数が多すぎます。」
52W21	「プロシージャまたはトリガ内では、データ定義文は使用できません。」
52W22	「ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。」
52W23	「Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。」
52W24	「Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョインタイプが無効です。」
52W25	「不正な比較です。」
52W26	「共有テンポラリテーブルに対して無効なコミットアクションです。」
52W40	「インデックス名 '%1' があいまいです。」
52W41	「接続しているテンポラリテーブルが多すぎます。」
52W42	「テーブル名 '%1' はあいまいです。」
52W43	「デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。」
52W44	「シーケンス '%1' が見つかりません。」
52W45	「シーケンス名 '%1' があいまいです。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
52W46	「シーケンス '%1' に対する操作 '%2' は無効です。」
52W47	「シーケンス '%1' はすでに存在します。」
52W48	「シーケンス %1 で使用できる値はありません。」
52W49	「シーケンス '%1' の定義が無効です。」
52W50	「シーケンス '%1' で同一のオプションに複数の設定が指定されています」
52W51	「この接続のシーケンス '%1' には 'currval' 演算子はまだ定義されていません。」
52W52	「このデータベースでは、シーケンスジェネレーターはサポートされていません。」
52W53	「このデータベースでは、WITH NULLS NOT DISTINCT 句のユニークインデックスはサポートされていません」
52W54	「シーケンス %1 の次の値を除外する範囲は指定できません」
53002	「INSERT 文に指定した値の数が正しくありません。」
53003	「'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。」
53005	「ORDER BY 句の指定が不正です。」
53011	「ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。」
53017	「%1 を %2 に変換できません。データファイルのロー %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています」
53018	「値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。」
53019	「プロシージャ '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
53020	「TREAT AS は拡張タイプでのみ使用できます。%1 を %2 として処理することはできません。」
53021	「値 '%1' をタイプ %2 として処理することはできません。動的タイプは %3 です。」
53023	「SELECT リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています」
53026	「UNION、INTERSECT、または EXCEPT の Select リストの長さが一致していません。」
53030	「外部キーのカラム '%1' にプライマリキーと異なる定義があります。」
53W01	「ALTER 句が矛盾しています。」
53W02	「式を更新できません。」
53W04	「'%1' を '%2' にジョインできません。」
53W05	「インデックスのカラムを変更することはできません。」
53W06	「トリガの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。」
53W07	「RAISERROR のエラー番号 %1 は、17000 未満にしないでください。」
53W08	「フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。」
53W09	「WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。」
54003	「識別子 '%1' が長すぎます。」
54W01	「文のサイズまたは複雑度がサーバの制限を超えています。」
54W02	「データベースの制約が多すぎます。」
54W03	「データベースのページサイズが小さすぎます : %1」

SQLSTATE	メッセージテキスト
54W04	「指定されたリスナを登録できませんでした。」
54W05	「テンポラリ領域の制限を超えています。」
54W06	「文字列が長すぎます (%1)。」
54W07	「パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。」
54W08	「パスワードの長さは %1 文字以内です。」
54W09	「文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。」
54W10	「データベースのユーザが多すぎます」
54W11	「BLOB への参照が多すぎます」
54W12	「オープンカーソルが多すぎます」
54W13	「SELECT リストのカラムが多すぎます」
54W14	「GROUP BY リストの式が多すぎます」
54W15	「プロシージャ結果セットのカラムが多すぎます」
54W16	「MESSAGE...FOR CONNECTION メッセージが多すぎます」
54W17	「最大文字列長を超えました。」
54W50	「仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています」
54W51	「テーブルの再編成はすでにテーブル "%1" で実行中です」
54W52	「無効なドメイン '%1'」
55008	「テーブル '%1' にはプライマリキーが定義されていません。」
55013	「テーブルにはすでにプライマリキーが定義されています。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
55W02	「テーブルは空でなければなりません。」
55W03	「ランタイムシステムでは、テーブルを所有しているユーザを削除することはできません。」
55W04	「ランタイムサーバでは、プロシージャを持つユーザを削除できません。」
55W05	「メッセージまたはデータ型を所有するユーザは削除できません。」
55W06	「レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザを削除できません。」
55W07	「db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。」
55W08	「読み込み専用データベースに対しての修正は禁止されています。」
55W09	「トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。」
55W10	「トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。」
55W11	「コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。」
55W12	「テキスト設定を所有しているユーザは削除できません。」
55W14	「閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です」
55W15	「サービス '%1' は使用中です。」
55W16	「オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。」
55W17	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
55W18	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。」
55W19	「不正なカラム定義 : %1」
55W20	「このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません」
55W21	「即時マテリアライズドビューの最後のユニークインデックスを削除できません。」
55W23	「スナップショットアイソレーションが無効または保留になっています」
55W24	「トレースを再表示できません : 少なくとも 1 つの有効化されているトレースレベルを指定する必要があります。」
55W25	「Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。」
55W26	「DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。」
55W27	「暗号化が有効になっていません。」
55W28	「トレーシングしたクエリ (%1、%2) は存在しません。」
55W29	「即時マテリアライズドビュー %1 が依存している複数のテーブルを更新できません。」
55W30	「TRUNCATE TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
55W31	「依存する即時マテリアライズドビューがあるテーブルでは、オペレーションは認められません。」
55W32	「WRITETEXT は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
55W33	「INSERT...ON EXISTING UPDATE は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」

SQLSTATE	メッセージテキスト
55W34	「使用中の設定は変更できません」
55W36	「指定された操作を実行できません。ロール '%1' の管理者の人数は、min_role_admins オプションの値よりも小さくなります。」
55W37	「指定された操作を実行できません。ユーザの設定条件の違反です。」
55W38	「ランタイムサーバでは、シーケンスを持つロールを削除できません。」
55W39	「ランタイムサーバでは、イベントを持つロールを削除できません。」
55W40	「ランタイムサーバでは、Web サービスを持つロールを削除できません。」
55W41	「ランタイムサーバでは、外部環境オブジェクトを持つロールを削除できません。」
55W42	「証明書の保存はこのデータベースではサポートされていません。」
55W43	「指定された証明書は有効ではありません。」
55W44	「証明書 '%1' が見つかりません」
56001	「テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。」
57014	「文の実行がユーザによって中断させられました。」
57015	「再帰反復が多すぎます。」
57W01	「タイムアウトになったため、要求が中断されました。」
57W02	「機能 '%1' の使用は許可されません。」
57W03	「要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。」
57W04	「機能 '%2' を必要とする文 '%1' の使用は許可されません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
57W05	「文がタイムアウトになりました : '%1'」
57W06	「ディスクサンドボックス機能がデータベース '%2' で有効になっている場合、ファイル '%1' は無効です。」
57W07	「ファイル '%2' のディスクサンドボックスのステータスを決定するときに、データベース '%1' でディスクサンドボックスエラーが発生しました。」
57W08	「ファイル '%1' のフルパスを見つけるときに、データベース '%1' でディスクサンドボックスエラーが発生しました。」
5RW01	「パブリケーション '%1' が見つかりません。」
5RW02	「テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。」
5RW03	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。」
5RW04	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。」
5RW05	「ユーザ '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャです。」
5RW06	「ユーザ '%1' はこのデータベースのリモートユーザではありません。」
5RW07	「リモートメッセージタイプ '%1' が見つかりません。」
5RW08	「パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。」
5RW09	「リモートの文が失敗しました。」
5RW10	「複数の統合ユーザを定義することはできません。」
5RW11	「同期メッセージタイプ '%1' が見つかりません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
5RW12	「'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。」
5RW13	「'%1' にサブスクリプションを作成できません。」
5RW14	「ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。」
5RW15	「ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーションエントリを変更できません。」
5RW16	「プライマリキーがないためテーブル '%1' と同期できません。」
5RW17	「同期処理ではテーブル '%1' にプライマリキーを含める必要があります。」
5RW18	「BLOB プライマリキーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。」
5RW19	「パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリキーを更新できません。」
5RW21	「他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。」
5RW22	「他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。」
5RW23	「アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。」
5RW24	「cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。」
5RW25	「アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。」
5RW26	「現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。」
5RW27	「他の接続はすでに '%1' として登録されています。」
5RW28	「登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
5RW29	「自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。」
5RW32	「同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれているか、オプションが NULL です。」
5RW33	「同期オプション '%1' が見つかりません。」
5RW34	「同期オプションが長すぎます。」
5RW35	「テーブル '%1' は同期サブスクリプションの一部であり、同期スキーマ変更内でしか変更できません。」
5RW36	「テーブル '%1' はすでにインクルードされています。」
5RW37	「'%1' という名前の同期ユーザが見つかりません。」
5RW38	「パブリケーションタイプで操作が競合しています。」
5RW40	「サブスクリプション '%1' が見つかりません。」
5RW41	「この操作は、同期スキーマ変更内でしか実行できません。」
5RW42	「同期スキーマ変更では、データを修正することはできません。」
5RW43	「同期に失敗し、内部エラー %1 が返されました。」
5RW44	「同期に失敗しました。詳細については、sp_get_last_synchronize_result (%1) への呼び出しの結果を確認してください。」
5RW45	「Dbmlsync サーバの起動に失敗しました。」
5RW46	「Dbmlsync サーバへの接続に失敗しました。」
5RW47	「SYNCHRONIZE 文がタイムアウトになりました。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
5RW48	「データベースサーバが dbmlsync サーバのシャットダウンに失敗しました。」
5RW49	「Dbmlsync サーバがタイムリーなシャットダウンに失敗しました。」
5RW50	「dbmlsync サーバに十分なデータベースパーミッションがありませんでした。」
99999	「ユーザ定義の例外が通知されました。」
WB001	「不明なバックアップ操作です。」
WB002	「データベースのバックアップを起動できません。」
WB003	「トランザクションが終了していないため、トランザクションログの名前の変更はできません。」
WB004	「データベースファイルが削除できません。」
WB005	「トランザクションログはトランケートされました。」
WB006	「バックアップファイルの内容が矛盾しています。」
WB007	「バックアップファイルのフォーマットが無効です。」
WB008	「RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。」
WB009	「RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。」
WB010	「RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。」
WB011	「バックアップログ '%1' が開けません。」
WB012	「バックアップファイル '%1' はすでに存在します。」
WB013	「無効なバックアップ操作です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WB014	「BACKUP を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。」
WB015	「無効なバックアップパラメータ値です。」
WB016	「BACKUP 句 '%1' が '%2' と競合します」
WB017	「バックアップはデータベースファイル '%1' を開けません。」
WC001	「'%1' は認識できない文字セットエンコードラベルです。」
WC002	「要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。」
WC003	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」
WC004	「指定した UTF-16 エンディアンは、データで見つかった Byte Order Mark に一致しません」
WC005	「%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。」
WC007	「シングルバイトコンバーターの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。」
WC008	「要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。」
WC009	「'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セットエンコードではありません。」
WC010	「'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。」
WC011	「文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。」
WC012	「dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません」
WC013	「照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WC014	「dbicu ライブラリとサーバのバージョンが一致しません。」
WC015	「データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。」
WC016	「データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。」
WC017	「'%1' を '%2' データのエンコード指定として使用することはできません。」
WC018	「照合 '%1' を認識できません。」
WE001	「イベント '%1' が見つかりません。」
WE002	「イベント '%1' がすでに存在します。」
WE003	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。」
WE004	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。」
WE005	「イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。」
WE006	「イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。」
WE007	「イベント '%1' の開始日時が無効です。」
WE008	「システムのイベントタイプ '%1' が見つかりません。」
WE009	「イベント '%1' は使用中です。」
WE010	「繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。」
WE011	「イベント通知キュー '%1' が満杯なため、通知は破棄されました」
WE012	「キュー '%1' でイベント通知が失われました」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WE013	「イベント通知キュー '%1' に警告は見つかりません」
WE014	「イベント通知キュー '%1' が見つかりません」
WE015	「イベントオブジェクト名 '%1' は無効です」
WE016	「'%1' という名前のイベントオブジェクトはすでに存在します」
WE017	「タイムアウトするまでに、キュー '%1' で通知がありませんでした」
WE018	「イベントパラメータ '%1' が見つかりません」
WE019	「トレースイベント '%1' は無効です」
WE020	「指定されたセッション名 '%1' は無効です」
WE021	「トレースイベント '%1' はすでに存在します」
WE022	「トレースイベント '%1' が 1 つ以上のセッションによって参照されています。参照しているセッションを先に削除してください。」
WE023	「トレースイベントセッション '%1' はアクティブです。アクティブなセッションを停止してからセッションを削除してください。」
WE024	「トレースイベント '%1' の引数が多すぎます。」
WE025	「アクティブなトレースイベントセッションが多すぎます。」
WE026	「トレースイベントセッション '%1' はすでにアクティブです。」
WE027	「トレースイベントセッション '%1' の 1 つ以上のターゲットが開始に失敗しました。」
WE028	「トレースイベントセッション '%1' の開始に失敗しました。」
WE029	「トレースイベントセッション '%1' はすでに停止しています。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WE030	「トレースイベントセッション '%1' にはすでにトレースイベント '%2' があります。」
WE031	「指定されたターゲットタイプ '%1' は無効です」
WE032	「ターゲットタイプ '%2' に不明なオプション '%1' が指定されています。」
WE033	「ターゲットタイプ '%2' にオプション '%1' が指定されていません。」
WE034	「トレースイベントセッション '%1' にはすでにターゲットタイプ '%2' があります。」
WE035	「トレースイベントセッション '%1' にはトレースイベント '%2' がありません。」
WE036	「トレースイベントセッション '%1' にはトレースイベント '%2' がありません。」
WE037	「トレースイベントセッション '%1' はすでに存在します。」
WE038	「トレースターゲットオプション '%1' は、すでに使用されているオプション '%2' と競合します。」
WI002	「テーブル %1、インデックス %2 のインデックスの検証は次のコードで失敗しました : %3」
WI003	「データベースページの検証は次のコードで失敗しました : %1」
WI004	「内部ロールバックログが破損しています。」
WI005	「テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。」
WI009	「クラス '%1' を使用して Java オブジェクトをシリアル化できません。」
WI010	「オプティマイザは有効なアクセスプランを構成できませんでした。」
WI011	「必要な演算子が含まれていません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WJ001	「メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。」
WJ003	「指定されたトランザクションの独立性が不正です。」
WJ004	「カーソル名 '%1' はすでに存在します。」
WJ005	「入力パラメータインデックスが範囲外です。」
WJ030	「外部環境 '%1' が見つかりませんでした。」
WJ031	「外部環境は結果セットをサポートしていません。」
WL001	「'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。」
WL002	「ファイル '%1' にアクセスできません -- %2」
WL004	「UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。」
WL005	「トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」
WL006	「トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」
WL007	「テンポラリテーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。」
WL008	「LOAD TABLE ...WITH FILE NAME LOGGING はミラーリングされたテーブルで許可されていません」
WL009	「別のテーブルからの外部キー参照があるテンポラリテーブルには、LOAD TABLE は使用できません。」
WL010	「指定したロギングタイプ ('%1') は無効か、サポートされていないか、または互換性がありません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WL011	「テーブル "%1" のカーソルを閉じることができません。LOAD TABLE は実行できません。」
WL012	「圧縮または暗号化の使用中は付加できません」
WL013	「LOAD TABLE エラー : %1」
WL014	「マテリアライズドビュー %1 では、LOAD TABLE は許可されません」
WL015	「LOAD TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
WL016	「LOAD TABLE オプション '%1' はフォーマット %2 とは併用できません。」
WL017	「LOAD TABLE エラー : データファイルのロー %1 で無効なコンテンツが検出されました」
WL018	「フォーマット '%1' は、UNLOAD 文ではサポートされていません」
WO001	「サーバ '%1' に接続できません : %2」
WO002	「接続できません。サーバ定義が循環しています。」
WO003	「リモートサーバ '%1' は現在読み込み専用に設定されています。」
WO004	「リモートサーバ '%1' が見つかりませんでした。」
WO005	「サーバ '%1': %2」
WO006	「後方スクロールカーソルはリモートオブジェクトではサポートされません。」
WO007	「リモートテーブル '%1' が見つかりませんでした。」
WO008	「テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WO009	「テーブルパラメータ化ファンクションはどのサーバタイプについても許可されません。」
WO010	「%1」
WO011	「リモートサーバはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。」
WO012	「リモートサーバにはこの文をサポートする機能がありません。」
WO013	「サーバ '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。」
WO014	「サーバ機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。」
WO015	「カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。」
WO016	「カラム '%1' はリモートテーブルに存在しません。」
WO017	「カラム '%1' に指定された長さは実際の長さと異なります。」
WO018	「NULL 属性はカラム '%1' に適合しません。」
WO019	「Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。」
WO020	「テーブル仕様 '%1' が複数のリモートテーブルを指定しています。」
WO021	「計算カラムを使用したリモートテーブルの作成はサポートされていません。」
WO022	「カラムまたは変数 '%1' のデータ型はサポートされていません」
WO023	「ストアドプロシージャ内のリモートテーブルに関わる式を処理できません。」
WO024	「指定されたローカル接続 ID が見つかりません。」
WO025	「ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WO026	「現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません」
WO027	「ファイルシステムエラー : %1」
WO028	「このユーザには外部ログインが存在するため、削除できません。」
WO029	「MIRROR サーバクラスは IQ データベースではサポートされていません。」
WO030	「MIRROR サーバクラスを使用するには、データベースをアップグレードする必要があります。」
WO031	「外部プロシージャまたはファンクションは、どのサーバタイプについても許可されません。」
WO032	「リモート接続を確立するときに、セキュリティトークンを使用できません」
WO033	「%1 リモートデータアクセスクラスはサポートされなくなりました。代わりに %2 を使用してください。」
WO035	「リモート カラム %1 は、間違って指定されました。」
WP000	「プロシージャ '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。」
WP001	「プロシージャ '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。」
WP002	「'%1' は有効なクラスファイルではありません。」
WP003	「クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。」
WP004	「クラス '%1' を削除できません : JAR のメンバーです。」
WP005	「クラスのバイトコードが不正です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WP006	「'%1' が見つからないため、外部環境を起動できませんでした。」
WP007	「内部関数でネームスペースのヒープが足りなくなりました : %1」
WP008	「内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました : %1」
WP009	「%1 のリソースガバナーが制限を超えています。」
WP010	「不正な JAR ファイルです。」
WP011	「前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。」
WP012	「%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。」
WP013	「%1 から複数の結果セットが返されました。」
WP014	「%1 から結果セットが返されません。」
WP015	「Java VM を開始するキャッシュが足りません。」
WP016	「SELECT INTO を最適化しているときに検出された警告はエラーとして処理されます。」
WP017	「%1 秒間で外部環境は起動に失敗し接続を確立できませんでした。」
WP018	「データベースを起動中に外部環境を起動することはできません。」
WP019	「外部プロセスが起動時に終了したため、外部環境を開始できません。」
WP020	「Table Parameterized ファンクションと V4 TableUDF は、このデータベースではサポートされていません。」
WP021	「複数のテーブルパラメータはサポートされていません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WP022	「外部参照は TPF 入力テーブルで許可されていません。」
WT001	「引数 "%1" はカラム参照である必要があります。」
WT002	「すべてのカラム参照引数は、同じテーブルを参照しなければなりません。」
WT003	「一致するテキストインデックスがありません。」
WT004	「テキストクエリ文字列が定数ではないか、不明です。」
WT005	「テキスト設定 "%1"."%2" が見つかりません。」
WT006	「テキスト設定 "%1" はすでに存在します。」
WT007	「単語の長さが許容範囲を超えています。」
WT008	「照合が無効です : "%1"」
WT009	「テキストクエリパーサエラー : %1」
WT010	「テーブル '%2' のテキストインデックス '%1' を作成するときにエラーが発生しました。」
WT011	「このデータベースではテキストインデックスはサポートされていません。」
WT012	「テキストインデックスにより参照されているテキスト設定を変更または削除することはできません。」
WT013	「テキストインデックスの一部であるテーブルにはアクセスできません。」
WT014	「テキスト設定 '%1' を作成できません。オプション '%2' に不適切な設定があります。」
WT015	「IMMEDIATE REFRESH テキストインデックスには文を使用できません。」
WT016	「テキストクエリで、NEAR 演算子の使用が無効です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WT017	「このプロシージャに対する引数はリテラル文字列である必要があります。」
WT018	「指定したストップリストが長すぎます。」
WT019	「テキストインデックス %1 を再表示する必要があります。」
WT020	「ビューまたは派生テーブル '%1' では、CONTAINS クエリは許可されません。」
WT021	「"%1" と同じ設定でこのテーブルに新しいテキストを作成できませんでした。」
WT022	「テキストクエリーには 300 語以上含めることはできません。」
WT023	「ストップリストの値には NULL は指定できません。」
WT024	「増分リフレッシュは、ハンドルが不足しているときには実行できません。」
WT025	「ストップリストの値が無効です。」
WT026	「指定した外項ブレーカーは無効です。」
WT027	「外部事前フィルタの初期化中にエラーが発生しました。」
WT028	「外項ブレーカーの初期化中にエラーが発生しました。」
WT029	「指定した外部事前フィルタ名は無効です。」
WT030	「カラム "%1" で外部事前フィルタライブラリのないテキストインデックスを作成できませんでした。」
WT031	「カラム "%1" で外部事前フィルタライブラリのあるテキストインデックスを作成できませんでした。」
WT032	「外部ライブラリからエラーが発生しました : -%1: %2」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WT033	「サーバタイプではテキストインデックスが許可されません。」
WT034	「外部事前フィルタを使用したテキストインデックスには、バイナリと文字列の両方のカラムを含めることができません」
WT035	「テキストインデックスが含まれる外部ライブラリの使用をサポートするには、データベースのアップグレードが必要です。」
WT036	「テキストインデックス %1 は、テキストプロシージャ %2 では使用できません」
WT037	「マテリアライズドビューのテキストインデックスタイプが無効です。」
WT038	「文はマテリアライズドビューのテキストインデックスでは許可されていません。」
WT039	「マテリアライズドビュー "%2" のインデックス "%1" の再表示タイプの修正エラー」
WT040	「テキストクエリで、BEFORE 演算子の使用が無効です。」
WT041	「このデータベースでは、マテリアライズドビューのテキストインデックスはサポートされていません。」
WU001	「'%1' は認識できないプロパティです。」
WU002	「Ultra Light データベース展開ファイルが無効です (コード : %1、ファイル : %2)」
WW001	「パターンが長すぎます。」
WW002	「データベースサーバを停止できません。」
WW003	「データベースサーバ外の関数呼び出しはサポートされていません。」
WW004	「外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティングシステムが一致しません。」
WW005	「ダイナミックライブラリ名が必要です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW006	「ダイナミックライブラリ '%1' をロードできませんでした。」
WW007	「ダイナミックライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。」
WW008	「外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。」
WW009	「式にサポートされていないデータ型があります。」
WW010	「この外部プロシージャの呼び出しには、パラメータ数が多すぎます。」
WW011	「内部用のスレッドが起動できませんでした。」
WW012	「RAISERROR が実行されました : %1」
WW013	「クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。」
WW014	「フィールドに対して不正な型を参照しました。」
WW015	「クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。」
WW016	「'%1' のインデックスの型の指定は不正です。」
WW017	「データベース '%1' の削除に失敗しました。」
WW018	「Java オブジェクトをデシリアライズできません。」
WW019	「プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。」
WW020	「行 %1 に無効な要求ログフォーマットがあります。」
WW022	「Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW023	「計算カラム '%1' を挿入または更新できません。」
WW024	「通信環境を作成できませんでした。」
WW026	「現在のコンテキストでは、外部関数呼び出し '%2' によって使用されるバージョン 'V%1' のインタフェースの実行はサポートされていません。」
WW027	「dbmlsync ダウンロードフェーズとの競合が検出されました。」
WW028	「指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした」
WW029	「ワークロードキャプチャ (%1) はすでに進行中です。」
WW030	「ワークロードキャプチャは現在行われていません。」
WW031	「スキーマファイル '%1' にアクセスできません。」
WW032	「最後の同期アップロードのステータスは不明です。」
WW033	「スキーマのアップグレードは現在有効ではありません。」
WW034	「データベース '%1' が見つかりませんでした。」
WW035	「この接続はすでに存在します。」
WW036	「同期の情報が不完全か無効です。'%1' を確認してください。」
WW037	「圧縮エラー : %1」
WW038	「解凍エラー : %1」
WW039	「入力文字列は base64 でエンコードされていません。」
WW040	「Ultra Light の接続がリストアされました。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW041	「Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。」
WW042	「チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。」
WW043	「'%1' のファイル I/O に失敗しました。」
WW044	「'%1' のボリューム ID が不正です。」
WW045	「操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません」
WW046	「スクリプトファイルの行の区切りに文デリミタ "go" がありません」
WW047	「出力ファイルのディレクトリが存在しません。」
WW048	「出力ファイルを書き込めません。」
WW049	「URI '%1' が無効です。」
WW050	「'%1' で指定されたリモートホストに接続できません。」
WW051	「接続がタイムアウトしました。」
WW052	「HTTP 要求に失敗しました。ステータスコード '%1'」
WW053	「暗号化 DLL を初期化できませんでした : '%1'」
WW055	「プロシージャタイプ '%1' が無効です。」
WW056	「タイプ '%2' のプロシージャサブタイプ '%1' が無効です。」
WW057	「HTTP サーバからの応答が無効です。」
WW058	「プロシージャタイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。」
WW059	「リモートホストへの安全な接続に失敗しました : %1」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW060	「句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。」
WW061	「データベースが作成されました」
WW062	「オプション '%1' が認識されません」
WW063	「安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません」
WW064	「プロシージャタイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。」
WW065	「ローカルテンポラリとして宣言されたテーブルにコメントを追加できません。」
WW066	「トレースを再表示できません : sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。」
WW067	「トレースを再表示できません : ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。」
WW068	「トレースを再表示できません : ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります」
WW069	「ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。」
WW070	「HTTP ヘッダ '%1' は予約されているため変更できません」
WW071	「指定した HTTP ヘッダに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています」
WW072	「指定した HTTP ヘッダは不正です」
WW073	「カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません」
WW074	「ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません」
WW075	「部分ダウンロードが見つかりませんでした」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW077	「オペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます」
WW078	「デバイス上のファイルシステムにアクセスできません」
WW079	「このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません」
WW080	「同期がすでに進行中のため、Ultra Light は同期できません」
WW081	「同期の情報が指定されていません」
WW082	「データベース '%1' に対して指定したファイルシステムボリュームが見つかりません」
WW083	「ローがデータベースのページサイズを超えているため、ローを格納できません。」
WW084	「最大パラメータ数 '%1' を超えました。」
WW085	「MIME タイプ '%1' が不正です。」
WW086	「'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。」
WW087	「'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。」
WW088	「属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。」
WW089	「テーブル '%1' の最大ローサイズを超過します。」
WW090	「ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。」
WW091	「SQL スクリプト DLL をロードできません。」
WW092	「クライアントアプリケーションでは、データの転送は許可されていません ('%1')」
WW093	「クライアントアプリケーションで、データの転送が許可されませんでした ('%1')」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW094	「クライアントライブラリで、転送中のデータにアクセスする際にエラーが発生したことが報告されました ('%1')」
WW095	「トランザクションログミラーリングは、データベースミラーリングで使用できません」
WW096	「オプションウォッチリストに含まれているため、データベースオプション "%1" を設定できません」
WW097	「ログインポリシー '%1' はすでに存在します」
WW098	「ログインポリシー "%1" が見つかりません」
WW099	「このデータベースに対してログインポリシーはサポートされていません」
WW100	「ログインポリシー "%1" は使用中です」
WW101	「ユーザ '%1' はすでに存在します」
WW102	「クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') を開く際にエラーが発生したことが報告されました」
WW103	「クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') にアクセスする際にパーミッションエラーが発生したことが報告されました」
WW104	「このデータベースでは、外部環境はサポートされていません。」
WW108	「外部ライブラリ '%1' は使用中です」
WW109	「外部ライブラリ '%1' をロードできませんでした」
WW114	「Ultra Light データベースステータスがリストアされました。」
WW115	「破損したページ (ページ '%1') の読み込みをリトライしています。」
WW116	「ミラーファイルには、これより高い checksum_level が必要です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW118	「データベース '%1' の暗号化に失敗しました」
WW119	「データベース '%1' の復号化に失敗しました」
WW120	「ミラーリングされたデータベースに対して '%1' 文を使用することはできません」
WW130	「このデータベースでは、データベースミラーリングオプションはサポートされていません。」
WW131	「ミラーサーバ "%1" が見つかりません。」
WW132	「ミラーサーバ "%1" はすでに存在します。」
WW133	「ミラーサーバ "%1" は別のサーバによって参照されています。」
WW134	「プリンシパルミラーサーバはすでに定義されています。」
WW135	「ミラーサーバ "%1" は有効な親サーバではありません。」
WW136	「現在のサーバが preferred とマーク付けされている場合は、フェイルオーバーを実行することはできません。」
WW137	「このデータベースでは、同期スキーマ変更およびスクリプトバージョンはサポートされていません。」
WW138	「パブリケーション '%2' のテーブル '%1' のカラムサブセットが、パブリケーション '%3' データベース指定した値と一致しません。」
WW139	「テーブルまたはビュー '%1' はこの文では使用できません。」
WW140	「同期スキーマ変更はすでに進行中です。」
WW141	「'%2' のパブリケーション '%1' に対するサブスクリプションが文から除外されました。」
WW142	「この文を実行中に接続でテーブルロックを保持することはできません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW143	「テーブル '%1' をパブリケーション '%2' に含めるには同期する必要があります。」
WW144	「'%1' の機能は認識できないか無効です。」
WW145	「'%1' の機能は、この接続によってロックされていません。」
WW146	「'%1' の機能は、別の接続によってロックされています。」
WW147	「'%1' の機能は、同期が進行中のためロックされています。」
WW148	「blocking_others_timeout によりロールバックが発生しました。」
WW151	「ミラーサーバ名 '%1' は、現在のサーバ名に一致しません。」
WW152	「このミラーサーバの親サーバは現在接続されていません。」
WW153	「このミラーサーバの親は、プライマリサーバではありません。」
WW154	「ミラー子サーバの作成に失敗しました。」
WW155	「タイプ '%1' のミラーサーバはすでに定義されています。」
WW156	「自動ミラーサーバの親を割り当てることができません。」
WW159	「データベースサーバ名 '%1' に、プライマリまたはミラーサーバと同じ名前を指定することはできません。」
WW160	「タイプ COPY のミラーサーバが、ライセンスが付与された最大数を超えました。」
WW161	「同期に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW162	「Dbmlsync サーバへの接続に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
WW163	「Dbmlsync サーバのシャットダウンに失敗しました。詳細については、Dbmlsync のログファイルを確認してください。」
WW164	「Dbmlsync サーバの起動に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
WW165	「テンポラリテーブル '%1' が、前回使用後から変更されました。」
WW166	「プライマリサーバにクォーラムがないため、トランザクションがコミットされない可能性があります」
WW202	「LDAP サーバ "%1" がすでに存在しています。」
WW203	「LDAP サーバ "%1" にメモリを割り付けようとして、失敗しました。」
WW204	「LDAP サーバ "%1" を削除しようとして失敗しました。削除するには、サーバを中断します。」
WW205	「LDAP ユーザ認証機能は、このデータベースではサポートされていません。」
WW206	「LDAP サーバ "%1" は、ログインポリシー "%2" によって使用されています。」
WW207	「Mobile Link クライアントサポートライブラリのロードに失敗しました。」
WW208	「"%1" の LDAP サーバの定義は不完全です。検索 URL、アクセス識別名、パスワード、認証 URL が必要です。」
WW210	「コレクションタイプの使用が無効です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW211	「URL '%1' とのバインドは失敗しました。報告されたもっとも新しい LDAP API エラーは、'%2' です。」
WW212	「パスワードの暗号化が失敗しました。エラーメッセージ '%1'。」
WW213	「指定された識別名 '%1' は、検索結果 '%2' と一致しません。」
WW214	「1 つ以上の無効な値が設定されているため、'%1' を使用した検索が失敗しました。」
WW215	「LDAP サーバがアクティブな状態のとき、LDAP サーバ '%1' を変更できません。」
WW216	「指定された値が長すぎます。%1 バイトの制限を超えています。」
WW217	「指定された値は必要な範囲 %1 ～ %2 にありません。」
WW218	「LDAP サーバ %1 は、匿名のバインドを受け入れない可能性があります。」
WW219	「パスワードなしでの LDAP サーバ %1 とのバインドは許可されていません。」
WW220	「LDAP サーバ %1 での検索は、一致する結果なしで完了しました。」
WW229	「パラメータ '%1' に NULL は指定できません」
WW230	「操作は許可されていません」
WW231	「操作 '%1' は次の理由で失敗しました : '%2'」
WW232	「'%1' の変換中にアンダーフローが発生しました」
WW234	「自動データベースアップグレードが適用されました」
WW240	「TLS ON は、URL %1 と一緒には使用できません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW241	「IDENTIFIED BY の値を 1 つだけ指定できます。」
WW242	「監視サーバ "%1" を削除または変更するにはパートナへの接続が必要です。」
WW243	「ログインポリシーオプション "%1" の値が無効です。」
WW245	「LDAP サーバでの唯一のログインポリシーであるログインポリシー "%1" によって参照され、login_mode の値が "LDAPUA" であるため、LDAP サーバの削除が妨げられました。」
WW246	「唯一の LDAP サーバであり、login_mode の値が "LDAPUA" であるため、LDAP サーバ "%1" の削除が妨げられました。」
WW247	「Ultra Light の起動時にデータベースリカバリが実行されました」
WX001	「カラム名は %1 でなければなりません。」
WX002	「XML パーサエラー : %1」
WX003	「XPath パーサエラー : %1」
WX004	「OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。」
WX005	「不正なタグ値 : '%1'」
WX006	「不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ : '%1'」
WX007	「不正なカラム名 : '%1'」
WX008	「親が開いていません : '%1'」
WX009	「宣言されていないタグ ID : '%1'」
WX010	「カラム数が少なすぎます。」
WX011	「CDATA に名前が必要です。」
WX012	「XQuery コンストラクタが無効です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WX013	「XMLGEN 評価が失敗しました。」
WX014	「引数の名前がありません。」
WX015	「XML 出力に制御文字があります。」
WX016	「OPENXML クエリのメモリが足りません。」
WX017	「タグ ID :'%1' は、配列によってバインドされていない値を指定します。」
WX018	「オフセット '%1' でのエラー : 予期しないトークン '%2'」
WX019	「オフセット '%1' でのエラー : 予期しない後続テキスト」
WX020	「オフセット '%1' でのエラー : 無効なデータ」
WX021	「オフセット '%1' でのエラー : 予期されたトークン '%2'」
WX022	「オフセット '%1' でのエラー : 予期された JSON の名前と値のペア」
WX023	「オフセット '%1' でのエラー : オブジェクトまたは配列ターミネータが一致しません」
WX024	「無効な変数またはタイプ」

SQL Anywhere のエラーメッセージ (Sybase エラーコード順)

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
0	-631	「RAISERROR が実行されました : %1」
102	-171	「カーソルのオープンがエラーになりました。」
102	-199	「カーソルの INSERT/DELETE は、1 つのテーブルしか変更できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
102	-933	「IQ データベースにはログが必要です。」
102	-273	「トリガアクション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」
102	-131	「'%1' %2 の近くに構文エラーがあります。」
102	-687	「構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。」
102	-875	「'%1' にジョインする方法がありません。」
102	-145	「外部キー '%1' は見つかりません。」
102	-271	「トリガの定義が既存のトリガと矛盾しています。」
102	-272	「トリガ定義中の REFERENCES 句が無効です。」
102	-635	「ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。」
102	-151	「SELECT リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています」
102	-269	「トリガの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。」
103	-250	「識別子 '%1' が長すぎます。」
104	-854	「ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
108	-152	「ORDER BY 句の指定が不正です。」
133	-262	「ラベル '%1' は見つかりません。」
134	-261	「'%1' という変数はすでに存在します。」
137	-260	「変数 '%1' が見つかりません。」
154	-623	「プロシージャまたはトリガ内では、データ定義文は使用できません。」
155	-200	「オプション '%1' が無効です -- PUBLIC 設定がありません。」
174	-154	「関数 '%1' のパラメータ数が誤りです。」
176	-611	「Transact-SQL 機能がサポートされていません。」
176	-1702	「コレクションタイプがサポートされていません。」
176	-148	「関数 '%1' は不明です。」
182	-159	「カラム番号が無効です。」
201	-639	「プロシージャ '%1' の呼び出しに必要なパラメータ名がありません。」
201	-615	「プロシージャ '%2' にパラメータ '%1' がありません。」
201	-737	「シグネチャ '%1' はプロシージャのパラメータと一致しません。」
205	-153	「UNION、INTERSECT、または EXCEPT の Select リストの長さが一致していません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
207	-124	「テーブル '%1' からすべてのカラムを削除することは許可されていません。」
207	-143	「カラム '%1' が見つかりません。」
208	-142	「相関名 '%1' が見つかりません。」
209	-144	「カラム '%1' が複数のテーブルで見つかったか、SELECT リストの中に 2 つ以上使用されています。相関名が必要です」
209	-163	「派生テーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。」
213	-207	「INSERT 文に指定した値の数が正しくありません。」
217	-274	「プロシージャまたはトリガの呼び出しのネストが深すぎます。」
220	-158	「値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。」
230	-191	「テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。」
230	-190	「式を更新できません。」
233	-195	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。」
233	-733	「NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。」
257	-157	「値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
257	-705	「プロシージャ '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。」
262	-121	「パーミッションがありません : %1」
264	-637	「挿入したカラムが重複しています。」
285	-708	「READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。」
301	-147	「'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。」
301	-680	「Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。」
301	-146	「'%1' を '%2' にジョインできません。」
305	-681	「Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョインタイプが無効です。」
311	-295	「カーソルでローをユニークに識別できません。」
314	-122	「この操作はグループ循環を起こします。」
315	-136	「テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。」
315	-137	「テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。」
401	-134	「'%1' の機能は実装されていません。」
401	-135	「言語仕様が変更されました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
401	-156	「'%1' 付近に無効な式があります。」
401	-994	「関数またはプロシージャ '%1' に引数が多すぎます。」
404	-890	「文のサイズまたは複雑度がサーバの制限を超えています。」
409	109	「集合関数では、NULL 値は無視されます。」
409	-90	「プロシージャ '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。」
504	-265	「プロシージャ '%1' は見つかりません。」
509	-140	「'%1' というユーザ ID はありません。」
512	-186	「サブクエリは複数行を返すことはできません。」
518	103	「不正なデータ変換」
532	104	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。」
532	106	「テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。」
538	-627	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。」
546	-194	「テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリキーの値がありません。」
547	-198	「テーブル '%1' 内のローのプライマリキーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
547	-677	「テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。」
548	-196	「テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。」
548	-209	「制約 '%1' の違反です : テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。」
548	-1091	「制約 '%1' の違反です : テーブル '%2' の値が無効です。」
549	-729	「指定された外部キー (%1) は使用できません。」
550	-632	「ベーステーブル '%1' の挿入／更新に対して WITH CHECK OPTION が違反しています。」
553	-264	「FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。」
554	-208	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。操作はキャンセルされました。」
557	-853	「カーソルが有効な状態にありません。」
557	-170	「カーソルが宣言されていません。」
558	-172	「カーソルはすでに開いています。」
559	-180	「カーソルが開きません。」
560	100	「ローが見つかりません。」
560	-197	「カーソルの現在のローがありません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
573	-738	「パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。」
590	111	「文を実行することができませんでした。」
601	-642	「SQL 記述子名が正しくありません。」
708	-80	「データベースサーバを起動することができません。」
708	-86	「起動するのに必要なメモリが不足しています。」
708	-1179	「データベースサーバを起動できません : ライセンスファイルがありません」
709	-996	「指定されたローカル接続 ID が見つかりません。」
710	-997	「ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。」
711	-998	「現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません」
840	-82	「指定されたデータベースを起動できません : %1」
840	-87	「サーバを起動するには、データベース名が必要です。」
840	-1008	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログミラーです。」
840	-1009	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
840	-1010	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログで、'%1' は操作を予期していません。」
840	-1011	「指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです」
840	-1012	「指定されたデータベースを開始できません。このサーバで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)」
840	-1016	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログファイルがデータベースファイルよりも後に使用されているためです。」
840	-1017	「指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクションログファイルが見つかりません」
840	-1018	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。」
840	-1019	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはデータベースファイルがログファイルよりも後に使用されているためです。」
840	-1020	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いためです。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
840	-1004	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。」
840	-1005	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。」
840	-1006	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベースファイルではありません。」
840	-1007	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログです。」
840	-1063	「データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み込み専用モードを使用できません。」
840	-1147	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_corruption_warning.html を参照してください。」
840	-1149	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_cant_change_platform.html を参照してください。」
911	-83	「指定されたデータベースが見つかりません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
924	-816	「指定されたデータベースファイルはすでに使用されています。」
927	-97	「データベースのページサイズが大きすぎます : %1」
927	-644	「無効なデータベースページサイズです。」
928	-645	「データベースの作成に失敗しました : %1」
932	-311	「内部ロールバックログが破損しています。」
950	-76	「アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。」
950	-74	「選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。」
1205	-306	「デッドロックが検出されました。」
1205	-307	「すべてのスレッドがブロックされています。」
1205	-684	「プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。」
1601	-102	「データベースサーバに接続できる限界数を超えています。」
1602	-85	「通信エラーが発生しました。」
1602	-88	「クライアント／サーバの通信プロトコルのバージョンが違います。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
1702	-616	「テーブルのカラム数が多すぎます。」
1709	-849	「テンポラリテーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。」
1709	-850	「キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリテーブルである必要があります。グローバルテンポラリテーブルの場合は、どちらか一方のテーブルが共有されていれば、他方のテーブルも共有されている必要があります。」
1709	-865	「テンポラリテーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリキーが必要です。」
1719	-118	「テーブル '%1' にはプライマリキーが定義されていません。」
1721	-113	「外部キーのカラム '%1' にプライマリキーと異なる定義があります。」
1801	-77	「データベース名がユニークではありません。」
1802	-138	「DB 領域 '%1' が見つかりません。」
1909	-636	「参照カラムが重複しています。」
1909	-119	「プライマリキーカラム '%1' はすでに定義されています。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
1909	-251	「テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。」
1921	-111	「インデックス名 '%1' はユニークではありません。」
1921	-678	「インデックス名 '%1' があいまいです。」
1923	-126	「テーブルに 2 つのプライマリキーを定義することはできません。」
1923	-112	「テーブルにはすでにプライマリキーが定義されています。」
2561	-106	「トランザクションログファイルを開けません -- %1」
2601	-193	「テーブル '%1' のプライマリキーがユニークではありません : プライマリキー値 ('%2')」
2706	-141	「テーブル '%1' が見つかりません。」
2715	-613	「ユーザ定義データ型 '%1' が見つかりません。」
2727	-189	「テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。」
2732	-296	「RAISERROR のエラー番号 %1 は、17000 未満にしないでください。」
2748	-612	「ユーザメッセージ %1 が見つかりません。」
2749	-294	「フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
3013	-305	「I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。」
3013	-309	「メモリエラー -- トランザクションはロールバックされました。」
3206	-240	「不明なバックアップ操作です。」
3206	-241	「データベースのバックアップを起動できません。」
3206	-242	「トランザクションが終了していないため、トランザクションログの名前の変更はできません。」
3206	-1021	「無効なバックアップ操作です。」
3451	-672	「データベースのアップグレードに失敗しました。」
3451	-673	「データベースのアップグレードができません。」
3618	-302	「ユーザによって中断させられました -- トランザクションはロールバックされました。」
3618	-304	「ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。」
3619	-107	「トランザクションログファイルへの書き込みエラーが発生しました。」
3621	-299	「文の実行がユーザによって中断させられました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
3702	-214	「テーブルは使用されています。」
3702	-215	「プロシージャは '%1' によって使用されています。」
3702	-750	「ユーザは使用中のプロシージャを所有しています。」
3702	-751	「ユーザは使用中のテーブルを所有しています。」
3819	-160	「SELECT 文以外は記述できません。」
4001	-105	「データベースが起動できません -- %1」
4001	-84	「指定されたデータベースは無効です。」
4001	-72	「データベースファイルが指定されていません。」
4002	-103	「ユーザ ID またはパスワードが無効です。」
4002	-104	「モジュールの前処理でのユーザ ID またはパスワードが無効です。」
4002	-1497	「Mobile Link が値 '%2' の認証ステータス '%1' を返したため、同期に失敗しました。」
4224	-108	「接続が見つかりません。」
4224	-99	「データベースに接続できません。」
4224	-308	「接続が切断されました。」
4406	-703	「計算カラム '%1' を挿入または更新できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
4409	-114	「ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。」
4412	-766	「ビューがテンポラリオブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。」
4708	-702	「TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。」
4901	-116	「テーブルは空でなければなりません。」
4939	-127	「インデックスのカラムを変更することはできません。」
5006	-604	「DB 領域が最大ファイルサイズに達しています。」
5006	-605	「サーバが DB 領域の最大ファイルサイズを超えてページにアクセスしようとしました。」
5703	107	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。」
5849	-201	「オプション '%1' の設定が無効です。」
5849	-1053	「'%1' は '%2' に対して無効な値です。」
5864	-81	「データベースサーバのコマンドラインが無効です。」
5864	-735	「不正なパラメータです。」
5864	-79	「ローカルデータベースオプションが無効です。」
5864	-95	「解析エラー : %1」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
5864	-754	「解析エラー : %1」
5878	-204	「'%1' システム権限またはオプション '%2' を設定する権限がありません。」
5878	-216	「オプション '%1' はテンポラリオプションとしてのみ設定できます。」
5878	-217	「オプション '%1' はプロシージャ内から設定できません。」
6001	-109	「まだデータベースに接続されています。」
6004	-75	「データベースの起動／停止の要求は拒否されました。」
6226	-183	「インデックス '%1' が見つかりません。」
6259	-263	「FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。」
6267	-814	「ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません」
6401	-220	「セーブポイント '%1' が見つかりません。」
7123	-608	「WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。」
7139	-609	「WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。」
7201	-155	「無効なホスト変数です。」
7203	-89	「データベースサーバはマルチユーザモードで実行していません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
7301	-192	「更新できないクエリに対して、更新しようとしました。」
7301	-813	「FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました」
7321	-149	「'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。」
7337	101	「値がトランケートされました。」
7338	-728	「更新できないリモートクエリに対して、更新しようとしました。」
7364	-139	「'%1' は複数のテーブルで使用されています。」
7374	-676	「指定されたトランザクションの独立性が不正です。」
7705	-630	「エスケープシーケンス '%1' が無効です。」
7706	-606	「パターンが長すぎます。」
7707	-629	「エスケープ文字 '%1' が無効です。」
7732	-633	「読み込み専用のカーソルを更新しようとしました。」
7740	-815	「SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません」
7950	-100	「データベースサーバが見つかりません。」
7950	-96	「データベースサーバはすでに起動しています。」
8201	-640	「記述子のインデックスが正しくありません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
8205	-641	「割り当てのエラー」
8405	-210	「'%2' のローは、ユーザ '%1' によってロックされています。」
9119	-78	「動的メモリが足りません。」
9502	-638	「文字列データの右側がトランケートされます。」
9526	-187	「不正なカーソル処理をしようとしました。」
9819	-268	「トリガ '%1' が見つかりません。」
10356	-624	「式にサポートされていないデータ型があります。」
11205	-698	「リモートサーバはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。」
11205	-732	「計算カラムを使用したリモートテーブルの作成はサポートされていません。」
11205	-736	「カラムまたは変数 '%1' のデータ型はサポートされていません」
11206	-656	「サーバ '%1' に接続できません : %2」
11207	-667	「テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。」
11208	-722	「カラム '%1' はリモートテーブルに存在しません。」
11209	-721	「カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
11210	-723	「カラム '%1' に指定された長さは実際の長さと異なります。」
11211	-724	「NULL 属性はカラム '%1' に適合しません。」
11212	-725	「Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。」
11214	-659	「リモートサーバ '%1' が見つかりませんでした。」
11214	-666	「リモートテーブル '%1' が見つかりませんでした。」
11215	-726	「テーブル仕様 '%1' が複数のリモートテーブルを指定しています。」
11221	-712	「サーバ '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。」
11227	-706	「リモートサーバにはこの文をサポートする機能がありません。」
11248	-658	「リモートサーバ '%1' は現在読み込み専用に設定されています。」
12006	-110	「アイテム '%1' はすでに存在しています。」
12423	151	「Ultra Light の起動時にデータベースリカバリが実行されました」
12424	-1714	「dbmlsync サーバに十分なデータベースパーミッションがありませんでした。」
12431	-1709	「行 %2 の '%1' 付近の DEFAULT の値が無効です」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12432	-1710	「行 %2 の '%1' 付近の INSERT の値が無効です」
12432	-1704	「リモート カラム %1 は、間違って指定されました。」
12433	-1703	「指定するユーザ名は、現在の接続のユーザ名である必要があります。」
12434	-1701	「RSA の暗号化されたパスワードを使用した TDS ログイン要求は、ノンスも使用する必要があります。」
12435	-1700	「暗号化されていないパスワードを使用した TDS ログイン要求は許可されていません。」
12437	-1698	「change_password_dual_control はこのユーザでは有効です。パスワードを変更するには、ALTER USER を使用します。」
12439	-1685	「%1 の操作を完了するのに十分なメモリがありませんでした。」
12440	-1686	「%1 への呼び出しで無効なパラメータが使用されました。」
12440	-1684	「トレースターゲットオプション '%1' は、すでに使用されているオプション '%2' と競合します。」
12441	-1687	「セキュア機能のキー名 '%2' は、%1 への呼び出しでは有効でありません。」
12442	-1688	「%1 への呼び出しで、無効な認証キーが指定されました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12442	-1683	「ミラーサーバタイプを %1 から %2 に変更できません。」
12443	-1689	「%1 への呼び出しで、無効なセキュア機能リスト '%2' が指定されました。」
12443	-1680	「無効な変数またはタイプ」
12444	-1690	「%1 を使用して、セキュア機能に機能リスト '%2' を割り当てる権限がありません。」
12444	-1679	「オフセット '%1' でのエラー : オブジェクトまたは配列ターミネータが一致しません」
12445	-1691	「%1 を使用して、'%2' という名前のセキュア機能キーを変更する権限がありません。」
12445	-1678	「オフセット '%1' でのエラー : 予期された JSON の名前と値のペア」
12446	-1692	「%1 への呼び出しが失敗しました。最大数のセキュア機能キーがすでに作成されました。」
12446	-1677	「オフセット '%1' でのエラー : 予期されたトークン '%2'」
12447	-1693	「%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のセキュア機能キーがすでに存在しています。」
12447	-1676	「オフセット '%1' でのエラー : 無効なデータ」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12448	-1694	「%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のセキュア機能キーは存在しません。」
12448	-1675	「オフセット '%1' でのエラー : 予期しない後続テキスト」
12449	-1695	「%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のセキュア機能キーに指定された認証キーが不正です。」
12449	-1674	「オフセット '%1' でのエラー : 予期しないトークン '%2'」
12450	-1696	「%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のキーは、MANAGE_FEATURES 機能と MANAGE_KEYS 機能を持つ最後のキーです。」
12450	-1673	「ファイル '%1' のフルパスを見つけるときに、データベース '%1' でディスクサンドボックスエラーが発生しました。」
12451	-1672	「ファイル '%2' のディスクサンドボックスのステータスを決定するときに、データベース '%1' でディスクサンドボックスエラーが発生しました。」
12452	-1681	「プロシージャは現在変更中または削除中です。」
12452	-1671	「ディスクサンドボックス機能がデータベース '%2' で有効になっている場合、ファイル '%1' は無効です。」
12457	-1666	「式は配列ではありません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12458	-1665	「change_password_dual_control プロセスが進行中であるため、パスワードを変更できません。」
12459	-1664	「唯一の LDAP サーバであり、login_mode の値が "LDAPUA" であるため、LDAP サーバ "%1" の削除が妨げられました。」
12460	-1663	「LDAP サーバでの唯一のログインポリシーであるログインポリシー "%1" によって参照され、login_mode の値が "LDAPUA" であるため、LDAP サーバの削除が妨げられました。」
12461	-1659	「ファイルまたはディレクトリ %1 が見つかりません」
12462	-1660	「%1 と %2 の比較に失敗しました」
12463	-1661	「%1 はディレクトリではありません」
12464	-1662	「%1 と %2 は同じである必要があります」
12464	-1655	「ログインポリシーオプション "%1" の値が無効です。」
12467	-1640	「アクティブなトレースイベントセッションが多すぎます。」
12468	-1639	「データベースの変更に失敗しました : %1」
12468	-1641	「トレースイベントセッション '%1' はすでにアクティブです。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12469	-1634	「指定されたセッション名 '%1' は無効です」
12469	-1642	「トレースイベントセッション '%1' の 1 つ以上のターゲットが開始に失敗しました。」
12470	-1635	「トレースイベント '%1' はすでに存在します」
12470	-1643	「トレースイベントセッション '%1' の開始に失敗しました。」
12471	-1638	「トレースイベント '%1' の引数が多すぎます。」
12471	-1644	「トレースイベントセッション '%1' はすでに停止しています。」
12472	-1637	「トレースイベントセッション '%1' はアクティブです。アクティブなセッションを停止してからセッションを削除してください。」
12472	-1645	「トレースイベントセッション '%1' にはすでにトレースイベント '%2' があります。」
12473	-1633	「トレースイベント '%1' は無効です」
12473	-1646	「指定されたターゲットタイプ '%1' は無効です」
12474	-1647	「ターゲットタイプ '%2' に不明なオプション '%1' が指定されています。」
12474	-1632	「監視サーバ "%1" を削除または変更するにはパートナへの接続が必要です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12475	-1631	「テーブル権限 '%1' の使用は、現在のデータベースでサポートされていません。」
12475	-1648	「ターゲットタイプ '%2' にオプション '%1' が指定されていません。」
12476	-1636	「トレースイベント '%1' が 1 つ以上のセッションによって参照されています。参照しているセッションを先に削除してください。」
12476	-1649	「トレースイベントセッション '%1' にはすでにターゲットタイプ '%2' があります。」
12477	-1650	「トレースイベントセッション '%1' にはトレースイベント '%2' がありません。」
12477	-1629	「IDENTIFIED BY の値を 1 つだけ指定できます。」
12478	-1651	「トレースイベントセッション '%1' にはトレースイベント '%2' がありません。」
12479	-1652	「トレースイベントセッション '%1' はすでに存在します。」
12479	-1627	「TLS ON は、URL %1 と一緒には使用できません。」
12481	-1625	「Ultra Light データベース展開ファイルが無効です (コード : %1、ファイル : %2)」
12482	-1624	「指定された値が長すぎます。%1 バイトの制限を超えています。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12483	-1623	「LDAP サーバ %1 での検索は、一致する結果なしで完了しました。」
12484	-1622	「パスワードなしでの LDAP サーバ %1 とのバインドは許可されていません。」
12485	-1621	「LDAP サーバ %1 は、匿名のバインドを受け入れない可能性があります。」
12486	-1620	「指定された値は必要な範囲 %1 ～ %2 にありません。」
12489	-1617	「%1 リモートデータアクセスクラスはサポートされなくなりました。代わりに %2 を使用してください。」
12493	-1613	「タグ ID :'%1' は、配列によってバインドされていない値を指定します。」
12494	-1612	「LDAP サーバがアクティブな状態のとき、LDAP サーバ '%1' を変更できません。」
12495	-1611	「ファイル %1 をコピーできません」
12496	-1610	「ディレクトリ %1 を作成できません」
12497	-1609	「ファイル %1 はすでに存在します」
12498	-1608	「ファイル %1 を削除できません」
12499	-1607	「外部参照は TPF 入力テーブルで許可されていません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12500	-1605	「Table Parameterized ファンクションと V4 TableUDF は、このデータベースではサポートされていません。」
12501	-1606	「複数のテーブルパラメータはサポートされていません。」
12503	-1603	「1 つ以上の無効な値が設定されているため、'%1' を使用した検索が失敗しました。」
12504	-1602	「指定された識別名 '%1' は、検索結果 '%2' と一致しません。」
12505	-1601	「パスワードの暗号化が失敗しました。エラーメッセージ '%1'。」
12506	-1600	「URL '%1' とのバインドは失敗しました。報告されたもっとも新しい LDAP API エラーは、'%2' です。」
12507	-1599	「コレクションタイプの使用が無効です。」
12508	-1598	「配列要素エラー : 配列インデックス '%1' が範囲から外れています。」
12509	-1597	「プライマリサーバにクォーラムがないため、トランザクションがコミットされない可能性があります」
12510	-1596	「データベースには、'SYS_' プレフィクスと '_ROLE' サフィックスを持つユーザが含まれています。」
12511	-1594	「"%1" の LDAP サーバの定義は不完全です。検索 URL、アクセス識別名、パスワード、認証 URL が必要です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12512	-1593	「ファイル %1 を送信先 %2 にコピーできません」
12513	-1592	「このデータベースでは、マテリアライズドビューのテキストインデックスはサポートされていません。」
12514	-1591	「テキストクエリで、BEFORE 演算子の使用が無効です。」
12515	-1590	「リモート接続を確立するときに、セキュリティトークンを使用できません」
12516	-1589	「証明書 '%1' が見つかりません」
12517	-1588	「指定された証明書は有効ではありません。」
12518	-1587	「証明書の保存はこのデータベースではサポートされていません。」
12519	-1586	「マテリアライズドビュー "%2" のインデックス "%1" の再表示タイプの修正エラー」
12520	-1585	「セキュリティトークンを生成する場合のツール名または管理ユーザが無効です」
12521	-1584	「dbrsakp 共有オブジェクトをロードできません」
12523	-1582	「NODETYPE=DIRECT のクラウドデータベースサーバに接続する場合は、サーバ名のみを指定できます」
12524	-1581	「クラウドデータベースサーバに接続するときにデータベース名を指定する必要があります」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12525	-1580	「Mobile Link クライアントサポートライブラリのロードに失敗しました。」
12526	-1579	「外部プロシージャまたはファンクションは、どのサーバタイプについても許可されません。」
12527	-1578	「テーブルパラメータ化ファンクションはどのサーバタイプについても許可されません。」
12529	-1576	「LDAP サーバ "%1" は、ログインポリシー "%2" によって使用されています。」
12531	-1574	「MIRROR サーバクラスを使用するには、データベースをアップグレードする必要があります。」
12532	-1573	「MIRROR サーバクラスは IQ データベースではサポートされていません。」
12533	-1572	「LDAP ユーザ認証機能は、このデータベースではサポートされていません。」
12534	-1571	「LDAP サーバ "%1" を削除しようとして失敗しました。削除するには、サーバを中断します。」
12535	-1570	「LDAP サーバ "%1" にメモリを割り付けようとして、失敗しました。」
12536	-1569	「LDAP サーバ "%1" がすでに存在しています。」
12538	-1567	「外部プロセスが起動時に終了したため、外部環境を開始できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12539	-1566	「ランタイムサーバでは、外部環境オブジェクトを持つロールを削除できません。」
12540	-1565	「ランタイムサーバでは、Web サービスを持つロールを削除できません。」
12541	-1564	「ランタイムサーバでは、イベントを持つロールを削除できません。」
12542	-1563	「ランタイムサーバでは、シーケンスを持つロールを削除できません。」
12543	-1562	「ロール '%1' は他のユーザまたはロールに付与されるため、削除されませんでした。削除するには、'WITH REVOKE' オプションを使用します。」
12544	-1561	「WITH DROP OBJECTS の使用は '%1' では許可されていません。」
12545	-1560	「指定されたロール '%1' は、ロールとして拡張されたユーザです。」
12546	-1559	「指定されたロール '%1' は、ロールとして拡張されたユーザではありません。」
12547	-1558	「指定されたユーザ '%1' はロールです。」
12548	-1557	「データベースを起動中に外部環境を起動することはできません。」
12549	-1556	「%1 秒間で外部環境は起動に失敗し接続を確立できませんでした。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12550	-1555	「文はマテリアライズドビューのテキストインデックスでは許可されていません。」
12551	-1554	「指定された LDAP サーバ '%1' が見つかりません。」
12552	-1553	「指定された操作を実行できません。ユーザの設定条件の違反です。」
12553	-1552	「マテリアライズドビューのテキストインデックスタイプが無効です。」
12554	-1551	「接続を完了するためにログインリダイレクションが必要ですが、クライアントではサポートされていません」
12564	-1541	「指定されたシステム権限 '%1' は無効です。」
12565	-1540	「この操作はロール循環を起こします。」
12566	-1539	「WITH NO SYSTEM PRIVILEGE INHERITANCE OPTION の使用は、%1 では許可されていません。」
12567	-1538	「ユーザまたはロール ID '%1' は存在していません。」
12568	-1537	「ロール "%1" がすでに存在しています。」
12569	-1536	「無効なユーザ ID またはロール名 '%1' が指定されています。」
12570	-1535	「システム権限とロールの機能はこのデータベースではサポートされていません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12573	-1532	「ポイント %1 の変換に失敗しました (エラー %2)」
12574	-1531	「ジオメトリ式は、ORDER BY 句では使用できません ('%1' 付近)。」
12575	-1530	「フォーマット '%1' は、UNLOAD 文ではサポートされていません」
12576	-1529	「DML 派生テーブルで許可されていない外部参照」
12577	-1528	「ロールの付与は許可されていません。」
12578	-1527	「タスク '%1' は許可されていません」
12579	-1525	「指定された操作を実行できません。ロール '%1' の管理者の人数は、min_role_admins オプションの値よりも小さくなります。」
12579	-1526	「テキストインデックス %1 は、テキストプロシージャ %2 では使用できません」
12582	-1522	「テキストインデックスが含まれる外部ライブラリの使用をサポートするには、データベースのアップグレードが必要です。」
12588	-1516	「ST_CircularString セグメントの %1 と %2 の間の中間点 (%3) は同一直線上にありますが、開始点と終了点の間にはありません。」
12589	-1515	「この CPU では、空間のサポートは利用できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12592	-1512	「外部事前フィルタを使用したテキストインデックスには、バイナリと文字列の両方のカラムを含めることができません」
12593	-1511	「サーバタイプではテキストインデックスが許可されません。」
12594	-1509	「OUTER JOIN の保護側にあるテーブルのプライマリキーカラムが SELECT リストに存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
12595	-1508	「OUTER JOIN の NULL 入力側にある NULL 入力不可のカラムが SELECT リストに 1 つ以上存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
12596	-1507	「ON 条件は OUTER JOIN の NULL 入力側および保護側にないテーブルを参照しているため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
12597	-1506	「照合 '%1' を認識できません。」
12598	150	「同期するテーブルがデータベースに含まれていません。」
12599	-1398	「VERIFY と RENAME を同時に使用することはできません。」
13075	102	「テンポラリテーブルが使用されました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13080	-1510	「シーケンス %1 の次の値を除外する範囲は指定できません」
13081	-1491	「ポイント 3 つの CircularString が、ポイント 5 つの CircularString に変換されました。」
13082	-1490	「多角形のリングの順序が再設定されました。」
13083	-1489	「位置 %1 が無効です (有効な値は %2～%3)。」
13084	-1488	「無効な多角形です : リングが SRID=%1 で許可されている値を超えています ('%2' 付近)。」
13085	-1487	「無効な多角形です : 曲線がリンクではありません。」
13086	-1486	「無効な多角形です : リングにゼロ領域があります ('%1' 付近)。」
13087	-1485	「無効な多角形です : リングが閉じていません ('%1' 付近)。」
13088	-1484	「値 %1 は座標系 %2 の範囲外です (SRS の境界 [%3, %4] を 50% 以上超過)」
13089	-1483	「LineString には少なくとも 2 つのポイントを含める必要があります ('%1' 付近)。」
13090	-1482	「曲線には、ほぼ対蹠点の %1 と %2 が含まれています ('%3' 付近)。」
13092	-1480	「空間ライブラリで内部エラーが発生しました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13093	-1479	「タイプ %1 の式は、タイプ %2 とは和両立しません。」
13094	-1478	「ST_Geometry 引数は、SQL 関数 %1 ではサポートされていません。」
13095	-1477	「SRID %1 は、地理空間参照系を識別しません。」
13096	-1476	「SRID %1 は、ドメイン "%3"."%2" によって参照されています。」
13097	-1475	「SRID %1 は、プロシージャ '%3' のパラメータ '%2' によって参照されています。」
13098	-1474	「SRID %1 は、テーブル '%3' のカラム '%2' によって参照されています。」
13099	-1473	「空間測定単位 "%1" は予約されています。」
13100	-1472	「空間参照系 "%1" は予約されています。」
13101	-1471	「空間参照系 %1 は、使用中のため修正できません」
13102	-1470	「記憶フォーマット '%1' は無効です。」
13103	-1469	「指定した多角形フォーマット '%1' は、このタイプの空間参照系ではサポートされていません。」
13104	-1468	「このタイプの空間参照系では、指定した軸順序はサポートされていません。」
13105	-1467	「座標 %1 の座標バウンドがありません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13106	-1466	「非地理空間参照系に楕円パラメータが指定されていません。」
13107	-1465	「地理空間参照系に楕円パラメータがありません。」
13108	-1464	「空間参照系のタイプはサポートされていません ('%1')。」
13109	-1463	「定義文字列 '%1' の解析エラーです。」
13110	-1462	「空間参照系は使用する SRID を指定する必要があります。」
13111	-1461	「空間参照系 '%1' はすでに存在しています。」
13112	-1460	「測定単位 '%1' はすでに存在しています。」
13113	-1459	「空間参照系 '%1' が見つかりません。」
13114	-1458	「測定単位 '%1' が見つかりません。」
13115	-1457	「文字列 '%1' は、有効な座標名ではありません。」
13116	-1456	「文字列 '%1' は、有効な軸順序ではありません。」
13117	-1455	「測定単位を作成する場合は、CONVERT USING 句を指定する必要があります。」
13118	-1454	「空間カラム '%1' は単一の SRID に制約されていないため、インデックスに含めることはできません」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13119	-1453	「空間カラム '%1' はプライマリキーまたはユニークインデックスに含めることはできません」
13120	-1452	「テーブル '%1' には空間カラム '%2' は含まれていますが、プライマリキーはありません。」
13121	-1451	「多角形が無効です : 外部リングが複数あります。」
13122	-1450	「多角形のネストが無効です。」
13123	-1449	「多角形が無効です : 外部リングがありません。」
13124	-1448	「多角形のフォーマット '%1' が無効です。」
13125	-1447	「測定単位 "%1" は角度単位ではありません。」
13126	-1446	「測定単位 "%1" は距離単位ではありません。」
13127	-1445	「SRID %1 からの変換はサポートされていません。」
13128	-1444	「SRID %1 から %2 への変換はサポートされていません。」
13129	-1443	「変換定義が長すぎます。」
13130	-1442	「変換定義 '%1' は無効です。」
13131	-1441	「空間参照系の Well-Known-Text (WKT) は無効です。」
13132	-1440	「比較 '%1' はジオメトリでは使用できません。」
13133	-1439	「設定名 %1 は無効です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13134	-1438	「設定ファイルを読み込み中にエラーが発生しました。」
13135	-1505	「タイプ COPY で定義されたミラーサーバ "%1" には、親定義は含まれていません。」
13136	-1436	「ポイントのないジオメトリ間の距離を算出する際、SRID=%1 のジオメトリはサポートされていません。」
13137	-1435	「SRID=%1 のジオメトリは、メソッド %2 ではサポートされていません。」
13138	-1434	「データのフォーマットが認識できません。」
13139	-1433	「値 '%2' は、'%1' フォーマット指定オプションの有効な設定ではありません。」
13140	-1432	「'%1' は認識されないフォーマット指定オプションです。」
13141	-1431	「フォーマット指定構文が無効です。」
13142	-1430	「'%1' フォーマットの入力文字列はここでは使用できません。」
13143	-1429	「フォーマットタイプ '%1' はここでは使用できません。」
13144	-1428	「'%1' は認識されないフォーマットタイプです。」
13145	-1427	「埋め込まれた SRID が矛盾しています (%1 と %2)。」
13146	-1426	「埋め込まれた SRID (%1) が指定された SRID (%2) と競合しています。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13147	-1425	「マルチパッチのシェイプファイルの形状はサポートされていません。」
13148	-1424	「シェイプファイルのファイル名が無効です。」
13149	-1423	「シェイプファイル属性の解析エラーです。」
13150	-1422	「シェイプファイルレコードの解析エラーです。」
13151	-1421	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 で無効なバイト順マーク %1 です」
13152	-1420	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。」
13153	-1419	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : 入力の終わりが予期されているものと異なります。」
13154	-1418	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が親の有効なサブタイプではありません。」
13155	-1417	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が無効です。」
13156	-1504	「外部ライブラリからエラーが発生しました : -%1: %2」
13157	-1415	「オフセット %1 のジオメトリ内部直列化の解析エラーです。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13158	-1414	「Well-Known-Text (WKT) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。」
13159	-1413	「空間機能 %1 はサポートされていません。」
13160	-1412	「このデータベースでは、空間のサポートは利用できません。」
13161	-1411	「%1 から %2 に変換できません (%3 付近)。」
13162	-1410	「ST_CircularString は、%1 ポイントからは構築できません ('%2' 付近)。」
13163	-1409	「空間参照系が認識できません (%1)。」
13164	-1408	「座標次元が混在しています。」
13165	-1407	「オフセット %1 の Well-Known-Binary (WKB) の解析エラーです。」
13166	-1406	「オフセット %2 の Well-Known-Text (WKT) スキャニング '%1' の解析エラーです。」
13167	-1405	「ジオメトリの変換に失敗しました (エラー %1)。」
13168	-1404	「測定単位 '%1' が認識できません。」
13169	-1403	「'%1' 付近に非連続の曲線があります。」
13170	-1402	「空間参照系 %1 と %2 が混在しています (%3 付近)。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13171	-1401	「要素は空セットです ('%1' 付近)。」
13172	-1400	「ポイントが %1 と重複しています。」
13173	-1399	「交点マトリックス '%1' は無効です。」
13174	-1397	「テンポラリテーブル '%1' が、前回使用後から変更されました。」
13175	-1395	「指定した外項ブレーカーは無効です。」
13176	-1394	「指定した外部事前フィルタ名は無効です。」
13177	-1393	「外項ブレーカーの初期化中にエラーが発生しました。」
13178	-1392	「このデータベースでは、WITH NULLS NOT DISTINCT 句のユニークインデックスはサポートされていません」
13178	-1396	「外部事前フィルタの初期化中にエラーが発生しました。」
13179	-1389	「ストップリストの値には NULL は指定できません。」
13180	-1390	「増分リフレッシュは、ハンドルが不足しているときには実行できません。」
13180	-1388	「Dbmlsync サーバの起動に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
13181	-1391	「ストップリストの値が無効です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13181	-1387	「Dbmlsync サーバのシャットダウンに失敗しました。詳細については、Dbmlsync のログファイルを確認してください。」
13182	-1386	「Dbmlsync サーバへの接続に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
13183	-1385	「同期に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
13184	-1384	「指定されたデータベースを停止できません : %1」
13185	-1383	「タイプ COPY のミラーサーバが、ライセンスが付与された最大数を超えました。」
13186	-1382	「ローの値が無効またはサポートされていないため、ダウンロードに失敗しました。」
13187	-1381	「データベースサーバ名 '%1' に、プライマリまたはミラーサーバと同じ名前を指定することはできません。」
13188	-1380	「クライアントが複数回リダイレクトされました。」
13189	-1373	「同期に失敗し、内部エラー %1 が返されました。」
13190	-1372	「サーバは TCP/IP 接続を構築できません。」
13190	-1374	「同期に失敗しました。詳細については、sp_get_last_synchronize_result (%1) への呼び出しの結果を確認してください。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13191	-1371	「ON 条件は OUTER JOIN の両側を参照する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
13191	-1375	「Dbmlsync サーバの起動に失敗しました。」
13192	-1376	「Dbmlsync サーバへの接続に失敗しました。」
13192	-1370	「テキストクエリーには 300 語以上含めることはできません。」
13193	-1369	「このデータベースでは、シーケンスジェネレーターはサポートされていません。」
13193	-1377	「SYNCHRONIZE 文がタイムアウトになりました。」
13194	-1378	「データベースサーバが dbmlsync サーバのシャットダウンに失敗しました。」
13195	-1367	「ユーザは使用中のシーケンスを所有しています。」
13195	-1379	「Dbmlsync サーバがタイムリーなシャットダウンに失敗しました。」
13196	-1366	「シーケンス '%1' は別の接続で使用中です。」
13197	-1503	「交差要素を持つ ST_GeomCollection では、操作はサポートされていません ("%1" 付近)。」
13198	-1492	「カラム "%1" で外部事前フィルタライブラリのないテキストインデックスを作成できませんでした。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13199	-1363	「この接続のシーケンス '%1' には 'currval' 演算子はまだ定義されていません。」
13200	-1362	「値 '%1' をタイプ %2 として処理することはできません。動的タイプは %3 です。」
13201	-1361	「TREAT AS は拡張タイプでのみ使用できます。%1 を %2 として処理することはできません。」
13202	-1360	「自動ミラーサーバの親を割り当てることができません。」
13203	-1357	「シーケンス '%1' で同一のオプションに複数の設定が指定されています」
13204	-150	「集合関数の使用が無効です。」
13204	-1356	「シーケンス '%1' の定義が無効です。」
13205	-1355	「シーケンス %1 で使用できる値はありません。」
13205	-1352	「タイプ '%1' のミラーサーバはすでに定義されています。」
13206	-1354	「シーケンス '%1' はすでに存在します。」
13206	-1351	「ミラー子サーバの作成に失敗しました。」
13207	-1353	「シーケンス '%1' に対する操作 '%2' は無効です。」
13207	-1350	「このミラーサーバの親は、プライマリサーバではありません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13208	-1358	「シーケンス名 '%1' があいまいです。」
13208	-1349	「このミラーサーバの親サーバは現在接続されていません。」
13209	-1359	「シーケンス '%1' が見つかりません。」
13209	-1348	「ミラーサーバ名 '%1' は、現在のサーバ名に一致しません。」
13210	-1493	「カラム "%1" で外部事前フィルタライブラリのあるテキストインデックスを作成できませんでした。」
13212	-1344	「blocking_others_timeout によりロールバックが発生しました。」
13213	-1343	「'%1' の機能は、同期が進行中のためロックされています。」
13214	-1342	「同期スキーマ変更では、データを修正することはできません。」
13215	-1341	「インスタンス化 '%1' は過負荷に一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。」
13216	-1340	「タイプ '%1' は、%2 引数でインスタンス化することはできません ('%3' 付近)。」
13217	-1339	「メソッド '%1' は、%2 引数で呼び出すことはできません ('%3' 付近)。」
13218	-1338	「タイプ '%1' はインスタンス化可能ではありません ('%2' 付近)。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13219	-1337	「メソッド呼び出し '%1' は過負荷と一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。」
13220	-1336	「タイプ '%1' には '%2' というメソッドはありません ('%3' 付近)。」
13221	-1335	「タイプ '%1' はメソッド呼び出しをサポートしていません ('%2' 付近)。」
13222	-1334	「'%1' の機能は、別の接続によってロックされています。」
13223	-1333	「'%1' の機能は、この接続によってロックされていません。」
13224	-1332	「'%1' の機能は認識できないか無効です。」
13225	-1331	「関数 '%1' では '%2' 句の使用が必須です。」
13226	-1330	「関数 '%1' での '%2' 句の使用は許可されません。」
13227	-1329	「この操作は、同期スキーマ変更内でしか実行できません。」
13228	-1328	「テーブル '%1' をパブリケーション '%2' に含めるには同期する必要があります。」
13229	-1327	「SELECT リストに NULL 入力可能な式に対する SUM 関数は含まれていますが、同じ式に対する COUNT 関数が含まれていないため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13230	-1326	「サブスクリプション '%1' が見つかりません。」
13231	-1325	「パブリケーション '%2' のテーブル '%1' のカラムサブセットが、パブリケーション '%3' データベース指定した値と一致しません。」
13232	-1324	「この文を実行中に接続でテーブルロックを保持することはできません。」
13233	-1323	「'%2' のパブリケーション '%1' に対するサブスクリプションが文から除外されました。」
13234	-1322	「同期スキーマ変更はすでに進行中です。」
13235	-1321	「テーブルまたはビュー '%1' はこの文では使用できません。」
13237	-1319	「このデータベースでは、同期スキーマ変更およびスクリプトバージョンはサポートされていません。」
13238	-1318	「パブリケーション '%1' から定義されているよりも多いアーティクルを削除しようとしています。」
13241	-1315	「スクリプトファイルの行の区切りに文デリミタ "go" がありません」
13242	-1314	「現在のサーバが preferred とマーク付けされている場合は、フェイルオーバーを実行することはできません。」
13243	-1267	「イベントパラメータ '%1' が見つかりません」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13244	-1266	「タイムアウトするまでに、キュー '%1' で通知がありませんでした」
13245	-1265	「'%1' という名前のイベントオブジェクトはすでに存在します」
13246	-1264	「イベントオブジェクト名 '%1' は無効です」
13247	-1263	「イベント通知キュー '%1' が見つかりません」
13248	148	「イベント通知キュー '%1' に警告は見つかりません」
13249	147	「キュー '%1' でイベント通知が失われました」
13250	-1269	「サービス文定義が無効であるか、サポートされていません。」
13251	-1262	「このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません」
13252	-1261	「このサーバには、'%1' 接続をサポートするためのライセンスが付与されていません」
13253	-1260	「このサーバには、'%1' 機能をサポートするためのライセンスが付与されていません」
13254	145	「同じプライマリキーを持つ 2 つのローが、テーブル '%1' 用にダウンロードされています」
13255	-1259	「ハッシュエラー : %1」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13259	-1254	「テーブル '%1' の MERGE 文は失敗しました。文で RAISERROR が指定されています」
13260	-1253	「テキストインデックス %1 を再表示する必要があります。」
13261	-1151	「指定したロギングタイプ ('%1') は無効か、サポートされていないか、または互換性がありません。」
13266	-1313	「最大文字列長を超えました。」
13267	-1312	「ミラーサーバ "%1" は有効な親サーバではありません。」
13270	-1244	「データベース '%1' の復号化に失敗しました」
13271	-1243	「データベース '%1' の暗号化に失敗しました」
13273	-1241	「TRUNCATE の後に value-sensitive カーソルが使用されています」
13274	144	「ミラーファイルには、これより高い checksum_level が必要です。」
13275	143	「破損したページ (ページ '%1') の読み込みをリトライしています。」
13276	142	「Ultra Light データベースステータスがリストアされました。」
13277	-1240	「指定したストップリストが長すぎます。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13278	-1311	「プリンシパルミラーサーバはすでに定義されています。」
13281	-1237	「プロシージャ結果セットのカラムが多すぎます」
13282	-1236	「GROUP BY リストの式が多すぎます」
13283	-1235	「SELECT リストのカラムが多すぎます」
13284	-1233	「マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。NULL 入力不可なカラムにユニークなインデックスがありません。」
13285	-1232	「トランザクションで 2 つ目のスナップショットの起動を試みています。」
13286	-1231	「文がタイムアウトになりました : '%1'」
13287	-1230	「オープンカーソルが多すぎます」
13288	-1229	「テーブルの再編成はすでにテーブル "%1" で実行中です」
13291	-1226	「外部キーカラムがプライマリキーまたは "%1" の一意性制約に一致しません」
13292	-1225	「このデータベースに対して同期プロファイルはサポートされていません」
13293	-1224	「同期プロファイル '%1' に無効なパラメータ '%2' があります」
13294	-1223	「同期プロファイル '%1' はすでに存在します」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13296	-1221	「CREATE DATABASE 文では重複オプションは許可されていません」
13297	-1216	「このプロシージャに対する引数はリテラル文字列である必要があります。」
13298	-1219	「依存する即時マテリアライズドビューのメンテナンスに失敗しました。」
13299	-1218	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません」
13300	-1220	「このユーザには外部ログインが存在するため、削除できません。」
13301	-1213	「外部環境は結果セットをサポートしていません。」
13302	-1217	「同期プロファイル '%1' が見つかりません」
13303	-1212	「このユーザのログインポリシーにより接続は許可されませんでした」
13304	-1211	「テーブル '%1' に、MERGE 文の ANSI カーディナリティ違反があります」
13308	-1207	「テキストクエリで、NEAR 演算子の使用が無効です。」
13309	-1206	「このデータベースでは、外部環境はサポートされていません。」
13310	-1205	「外部環境 '%1' が見つかりませんでした。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13311	-1204	「INSERT...ON EXISTING UPDATE は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
13312	-1203	「WRITETEXT は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
13313	-1202	「依存する即時マテリアライズドビューがあるテーブルでは、オペレーションは認められません。」
13314	-1201	「クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') を開く際にエラーが発生したことが報告されました」
13315	-1200	「クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') にアクセスする際にパーミッションエラーが発生したことが報告されました」
13316	-1199	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。COUNT(*) が SELECT リストの一部に必要です。」
13317	-1198	「ユーザ '%1' はすでに存在します」
13318	-1197	「ログインポリシー "%1" は使用中です」
13319	-1196	「このデータベースに対してログインポリシーはサポートされていません」
13320	-1195	「ログインポリシー "%1" が見つかりません」
13321	-1194	「ログインポリシー '%1' はすでに存在します」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13322	-1193	「TRUNCATE TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
13323	-1192	「即時マテリアライズドビュー %1 が依存している複数のテーブルを更新できません。」
13324	-1191	「LOAD TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
13325	-1190	「マテリアライズドビュー %1 では、LOAD TABLE は許可されません」
13326	-1189	「指定した UTF-16 エンディアンは、データで見つかった Byte Order Mark に一致しません」
13327	-1188	「LOAD TABLE エラー : %1」
13328	-1187	「圧縮または暗号化の使用中は付加できません」
13329	-1186	「データベースページの検証は次のコードで失敗しました : %1」
13330	-1185	「テーブル %1、インデックス %2 のインデックスの検証は次のコードで失敗しました : %3」
13331	-1184	「即時マテリアライズドビューの最後のユニークインデックスを削除できません。」
13332	-1183	「このデータベースでは、DB 領域のパーミッションのサポートを利用できません」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13333	-1182	「IMMEDIATE REFRESH テキストインデックスには文を使用できません。」
13334	-1181	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に複数のクエリブロックを含めることはできません。」
13335	-1180	「オプションウォッチリストに含まれているため、データベースオプション "%1" を設定できません」
13336	-1178	「トランザクションログミラーリングは、データベースミラーリングで使用できません」
13337	-1176	「使用できるプランがありません。このタイプの文に対しては、NOEXEC プランは生成できません。」
13338	-1175	「指定した時間内でテーブルロックを取得できません。」
13339	-1174	「テキスト設定 '%1' を作成できません。オプション '%2' に不適切な設定があります。」
13340	-1173	「クライアントライブラリで、転送中のデータにアクセスする際にエラーが発生したことが報告されました ('%1')」
13341	-1172	「クライアントアプリケーションで、データの転送が許可されませんでした ('%1')」
13342	-1171	「クライアントアプリケーションでは、データの転送は許可されていません ('%1')」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13343	-1170	「マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。すでに初期化されています。」
13344	-1169	「テキストインデックスの一部であるテーブルにはアクセスできません。」
13345	-1168	「テキストインデックスにより参照されているテキスト設定を変更または削除することはできません。」
13346	-1167	「テキスト設定を所有しているユーザは削除できません。」
13347	-1166	「このデータベースではテキストインデックスはサポートされていません。」
13348	-1165	「テーブル '%2' のテキストインデックス '%1' を作成するときにエラーが発生しました。」
13349	-1164	「テキストクエリパーサエラー : %1」
13350	-1163	「照合が無効です : "%1"」
13351	-1162	「単語の長さが許容範囲を超えています。」
13352	-1161	「テキスト設定 "%1" はすでに存在します。」
13353	-1160	「テキスト設定 "%1"."%2" が見つかりません。」
13354	-1159	「テキストクエリ文字列が定数ではないか、不明です。」
13355	-1158	「一致するテキストインデックスがありません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13356	-1157	「すべてのカラム参照引数は、同じテーブルを参照しなければなりません。」
13357	-1156	「引数 "%1" はカラム参照である必要があります。」
13358	-1155	「テーブル "%1" のカーソルを閉じることができません。LOAD TABLE は実行できません。」
13359	-1154	「トレーシングしたクエリ (%1、%2) は存在しません。」
13360	-1153	「パスワードの有効期限が切れていますが、変更できません。データベースは読み込み専用です。」
13361	-1152	「パスワードの有効期限が切れています。」
13362	-1150	「SQL スクリプト DLL をロードできません。」
13363	-1148	「クライアントバージョンまたはクライアントインタフェースではサポートされていない機能です。」
13364	-1310	「ミラーサーバ "%1" は別のサーバによって参照されています。」
13365	-1309	「ミラーサーバ "%1" はすでに存在します。」
13366	-1146	「別のテーブルからの外部キー参照があるテンポラリテーブルには、LOAD TABLE は使用できません。」
13367	-1145	「接続できません : サーバは要求された暗号化タイプを受け入れませんでした。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13368	-1144	「'%1' を '%2' データのエンコード指定として使用することはできません。」
13369	140	「暗号化が有効になっていません。」
13370	-1143	「暗号化が有効になっていません。」
13371	-1142	「機能 '%2' を必要とする文 '%1' の使用は許可されません。」
13372	-1141	「データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。」
13373	-1140	「データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。」
13374	-1139	「リモートデータアクセス機能はこのプラットフォームではサポートされていません」
13375	-1138	「ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。」
13376	-1137	「エスケープ文字 '%1' が矛盾しています。」
13377	-1136	「エスケープ文字 '%1' の使用が無効です。」
13378	-1135	「正規表現 '%2' 中の '%1' が無効です。」
13379	-1134	「マテリアライズドビュー '%1' でトリガを作成できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13380	-1133	「ビュー '%1' のトリガタイプが無効です。」
13381	-1132	「テーブル '%1' の最大ローサイズを超過します。」
13382	-1131	「属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。」
13383	-1130	「'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。」
13384	-1129	「'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。」
13385	-1128	「繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。」
13386	-1127	「INSTEAD OF トリガのあるビューで位置付け更新しようとしました。」
13387	-1126	「テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガがあるため、操作に失敗しました。」
13388	-1125	「ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガと WITH CHECK OPTION が競合しています。」
13389	-1124	「dbicu ライブラリとサーバのバージョンが一致しません。」
13390	-1123	「MIME タイプ '%1' が不正です。」
13391	-1122	「最大パラメータ数 '%1' を超えました。」
13392	-1121	「要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13393	-1120	「DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。」
13394	-1119	「'%1' プロパティはサポートされなくなりました。」
13395	-1118	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。」
13396	-1117	「ローがデータベースのページサイズを超えているため、ローを格納できません。」
13397	201	「ICU 照合 '%1' は他の照合にデフォルト設定されました。」
13398	-1116	「照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。」
13399	-1115	「テーブル '%1' には、ROWID 関数への無効な参照が含まれています。」
13400	-1114	「SOAP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」
13401	-1113	「相関名 '%1' は、ROWID 関数では使用できません。」
13402	-1112	「データベース '%1' に対して指定したファイルシステムボリュームが見つかりません」
13403	-1111	「同期の情報が指定されていません」
13404	-1110	「同期がすでに進行中のため、Ultra Light は同期できません」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13405	-1109	「このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません」
13406	-1108	「デバイス上のファイルシステムにアクセスできません」
13407	-1107	「BLOB への参照が多すぎます」
13408	-1106	「オペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます」
13409	-1308	「ミラーサーバ "%1" が見つかりません。」
13410	-1104	「データベースのユーザが多すぎます」
13411	-1103	「部分ダウンロードが見つかりませんでした」
13412	-1102	「ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません」
13413	-1101	「カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません」
13414	-1100	「操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません」
13415	139	「オプション '%1' が複数回指定されています」
13416	-1099	「Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。」
13417	-1098	「トレース接続はすでにアクティブになっています」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13418	-1097	「ATTACH TRACING は、トレースデータベースに接続できませんでした」
13419	-1096	「指定した HTTP ヘッダは不正です」
13420	-1095	「指定した HTTP ヘッダに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています」
13421	-1094	「HTTP ヘッダ '%1' は予約されているため変更できません」
13422	-1093	「文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。」
13423	138	「パブリケーションの述部は評価されませんでした」
13424	-1090	「ファンクション '%1' に無効なパラメータ '%2' ('%3') があります。」
13425	-1089	「共有テンポラリテーブルに対して無効なコミットアクションです。」
13426	-1088	「ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。」
13427	-1087	「トレースを再表示できません : ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります」
13429	-1085	「重複キーカラム (%1)」
13430	-1084	「機能 '%1' の使用は許可されません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13431	-1083	「トレースを再表示できません : ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。」
13432	-1082	「トレースを再表示できません : sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。」
13433	-1081	「トレースを再表示できません : 少なくとも 1 つの有効化されているトレースレベルを指定する必要があります。」
13434	-1080	「ユーザ '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。」
13435	-1079	「バックアップはデータベースファイル '%1' を開けません。」
13436	-1078	「計算カラムの依存に循環があります。」
13437	-1077	「マテリアライズドビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。」
13438	-1076	「dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません」
13439	-1075	「文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。」
13440	-1074	「ログインモード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。」
13441	-1072	「'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セットエンコードではありません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13442	-1092	「呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。」
13442	-1071	「FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません」
13442	-1073	「'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。」
13443	-1307	「このデータベースでは、データベースミラーリングオプションはサポートされていません。」
13444	-1070	「Kerberos ログインはサポートされていません。」
13445	-1069	「Kerberos ログインが失敗しました。」
13446	-1068	「デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。」
13448	-1066	「ファイルシステムエラー : %1」
13449	-1065	「スナップショットアイソレーションを非スナップショットトランザクションで使用しようとしました。」
13450	-1064	「スナップショットトランザクションで更新の競合が発生しました。」
13451	-1062	「スナップショット中は文を使用できません」
13452	-1061	「スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13453	-1060	「パブリケーションタイプで操作が競合しています。」
13454	-1305	「Mobile Link 通信エラー : コード : %1、パラメータ : %2、システムコード : %3」
13455	-1304	「"%1" と同じ設定でこのテーブルに新しいテキストを作成できませんでした。」
13456	-1057	「BACKUP 句 '%1' が '%2' と競合します」
13457	-1303	「MESSAGE...FOR CONNECTION メッセージが多すぎます」
13459	-1054	「スナップショットアイソレーションが無効または保留になっています」
13460	-1051	「マテリアライズドビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」
13461	-1050	「要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。」
13461	-1052	「マテリアライズドビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」
13464	-1047	「このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません」
13465	-1046	「不正なカラム定義 : %1」
13466	-1045	「無効なバックアップパラメータ値です。」
13467	-1044	「無効なパスワード : %1」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13468	-1043	「タイムアウトになったため、要求が中断されました。」
13469	-1042	「ローカルテンポラリとして宣言されたテーブルにコメントを追加できません。」
13470	-1041	「マテリアライズドビュー '%1' が見つかりません。」
13471	-1040	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。」
13472	-1039	「ミラーサーバに接続できません。サーバ名 '%1' を使用してプライマリサーバを探してください。」
13473	-1038	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。」
13474	-1037	「オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。」
13475	-1036	「DBN/DBF パラメータが、この代替サーバ名のデータベースと一致しません。」
13476	-1035	「LOAD TABLE ...WITH FILE NAME LOGGING はミラーリングされたテーブルで許可されていません」
13477	-1034	「プロシージャタイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。」
13478	-1033	「データベースサーバを起動することができません。サーバに致命的なエラーが発生しました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13479	-1031	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューの定義では次の構成体を使用できません : '%2'」
13480	-1032	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に次の不正な構成体が含まれています : '%2'」
13480	-1030	「安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません」
13481	-1029	「マテリアライズドビューのサポートは、このデータベースでは利用できません」
13482	-1028	「BACKUP を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。」
13483	-1027	「サービスタイプでは、属性 '%1' は許可されません。」
13484	-1026	「USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。」
13485	-1025	「サービスに重複した属性 '%1' があります。」
13486	-1024	「USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。」
13487	-1023	「サービスの属性 '%1' の値がありません。」
13488	-1022	「サービスの属性 '%1' の値が無効です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13489	137	「参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。」
13490	-1003	「統合されたユーザに対する個別のグループマッピングが多すぎます。」
13491	-1001	「プロシージャまたは関数 '%2' のパラメータ '%1' にデフォルト値がありません。」
13492	-1000	「テンポラリ領域の制限を超えています。」
13493	-999	「行 %1 に無効な要求ログフォーマットがあります。」
13494	136	「データベースが作成されました」
13494	-1002	「オプション '%1' が認識されません」
13495	-995	「SELECT INTO を最適化しているときに検出された警告はエラーとして処理されます。」
13496	-993	「テンポラリテーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。」
13497	-992	「指定されたリスナを登録できませんでした。」
13498	-991	「句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。」
13499	-990	「リモートホストへの安全な接続に失敗しました : %1」
13500	-989	「プロシージャタイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13501	-988	「HTTP サーバからの応答が無効です。」
13502	-987	「タイプ '%2' のプロシージャサブタイプ '%1' が無効です。」
13503	-986	「プロシージャタイプ '%1' が無効です。」
13504	-985	「データベース名 'utility_db' はユーティリティデータベース用に予約されています。」
13505	-984	「暗号化 DLL を初期化できませんでした : '%1'」
13506	-983	「HTTP 要求に失敗しました。ステータスコード '%1'」
13507	-982	「接続がタイムアウトしました。」
13508	-981	「'%1' で指定されたリモートホストに接続できません。」
13509	-980	「URI '%1' が無効です。」
13510	-979	「出力ファイルを書き込めません。」
13511	-978	「出力ファイルのディレクトリが存在しません。」
13513	-976	「暗号化 DLL "%1" をロードできません。」
13515	-973	「文字列が長すぎます (%1)。」
13516	-972	「データベースのページサイズが小さすぎます : %1」
13517	-971	「チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13518	134	「Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。」
13519	133	「Ultra Light の接続がリストアされました。」
13520	-970	「テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。」
13521	-969	「必要な演算子が含まれていません。」
13522	-968	「ユーザ '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを付与されています。」
13523	-967	「バックアップファイル '%1' はすでに存在します。」
13524	-966	「複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。」
13525	-965	「Window 関数には ORDER BY が必要です。」
13526	-964	「Window 関数が述語に使用されています。」
13527	-962	「集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループカラムである必要があります。」
13528	-963	「パスワードに不正な文字が含まれています。」
13528	-961	「入力文字列は base64 でエンコードされていません。」
13529	-959	「圧縮エラー : %1」
13530	-958	「パスワードの長さは %1 文字以内です。」
13530	-960	「解凍エラー : %1」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13531	-957	「OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。」
13532	-956	「同期の情報が不完全か無効です。'%1' を確認してください。」
13533	-955	「この接続はすでに存在します。」
13534	-954	「データベース '%1' が見つかりませんでした。」
13535	-953	「スキーマのアップグレードは現在有効ではありません。」
13536	-952	「最後の同期アップロードのステータスは不明です。」
13537	-951	「スキーマファイル '%1' にアクセスできません。」
13538	-950	「ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。」
13539	-949	「ウィンドウ '%1' では、ORDER BY は許可されません。」
13540	-948	「ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。」
13541	-947	「ウィンドウ '%1' が見つかりません。」
13542	-946	「'%1' では結果セットは許可されません。」
13543	-945	「再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13544	-944	「ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます」
13545	-943	「ワークロードキャプチャは現在行われていません。」
13546	-942	「ワークロードキャプチャ (%1) はすでに進行中です。」
13547	-940	「HTTP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」
13548	-941	「jConnect は暗号化をサポートしていません。」
13548	-939	「HTTP オプション '%1' の設定が無効です。」
13549	-938	「RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。」
13550	-937	「制約 '%1' への参照または操作が無効です。」
13551	-936	「データベースの制約が多すぎます。」
13552	-934	「指定されたデータベースを起動できません : データベース %1 を起動するにはサーバをアップグレードする必要があります。」
13553	-935	「指定されたデータベースを起動できません : ログファイルエラー」
13554	-931	「AUTHORIZATION が OFF の場合、サービス定義には文が必要です。」
13555	-930	「名前付きの制約が存在するのに名前のないカラム制約の変更が試みられました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13556	-929	「制約 '%1' が見つかりません。」
13557	-928	「GROUP BY 句には定数式を使用できません。」
13558	-927	「サービス文定義とサービスタイプが矛盾しています。」
13559	-926	「サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。」
13560	-925	「サービス名 '%1' は無効です。」
13561	-923	「再帰反復が多すぎます。」
13562	-922	「再帰クエリのカラムリストがありません。」
13563	-921	「再帰クエリが無効です。」
13564	-920	「サービス '%1' が見つかりません。」
13565	-919	「サービス '%1' はすでに存在します。」
13566	-918	「AUTHORIZATION が Off の場合はユーザ名を指定する必要があります。」
13567	-924	「サービス '%1' は使用中です。」
13568	-916	「'%1' は認識されていないサービスタイプです。」
13569	-915	「CREATE SERVICE にはサービスタイプが必要です。」
13570	-914	「共通テーブル式参照に循環があります。」
13571	-913	「監査用のトランザクションログファイルが必要です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13572	-912	「OPENXML クエリのメモリが足りません。」
13573	-911	「XML 出力に制御文字があります。」
13574	-910	「システムコマンドが失敗し、リターンコード %1 が返されました。」
13575	-908	「閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です」
13576	-907	「引数の名前がありません。」
13577	-906	「XMLGEN 評価が失敗しました。」
13578	-905	「XQuery コンストラクタが無効です。」
13579	-904	「集約関数の ORDER BY が不正です。」
13580	-901	「宣言されていないタグ ID : '%1'」
13580	-903	「CDATA に名前が必要です。」
13581	-900	「親が開いていません : '%1'」
13581	-902	「カラム数が少なすぎます。」
13582	-899	「不正なカラム名 : '%1'」
13583	-898	「不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ : '%1'」
13584	-897	「不正なタグ値 : '%1'」
13585	132	「文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。」
13587	-896	「ユーザ設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13588	130	「ローが新しいスキーマフォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。」
13589	-895	「暗号化エラー : %1」
13589	-894	「このタイプの文に対してプランを生成することはできません。」
13590	-893	「OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。」
13591	-892	「XPath パーサエラー : %1」
13592	-891	「要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。」
13593	-657	「接続できません。サーバ定義が循環しています。」
13594	-889	「文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。」
13595	-888	「XML パーサエラー : %1」
13596	129	「プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります」
13597	-887	「仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています」
13600	0	「(メッセージなし)」
13601	-1502	「ST_MultiSurface には、交点が無効な要素が含まれています ("%1" 付近)。」
13602	-1501	「座標系 %1 で無効な境界です ("BETWEEN %2 AND %3" の付近)」
13603	-1500	「許容値 %1 は無効です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13604	-1499	「グリッドサイズ %1 は無効です。」
13605	-1498	「'%1' は認識できないプロパティです。」
13606	-1496	「LOAD TABLE エラー : データファイルのロー %1 で無効なコンテンツが検出されました」
13607	-1495	「空間参照系 %1 では、CircularString のジオメトリはサポートされていません。」
13608	-1494	「CircularString のジオメトリはサポートされていません ("%1" 付近)。」
13613	114	「'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。」
13614	115	「データベースサーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。変換が正しくない可能性があります。」
13615	116	「言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。」
13616	117	「文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。」
13617	118	「無効なユーザ選択性の評価が指定されました。」
13618	105	「プロシージャが完了しました。」
13619	200	「警告 : %1」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13620	-98	「認証違反です。」
13621	-218	「認証に失敗しました。」
13622	-101	「データベースに接続されていません。」
13623	-125	「ALTER 句が矛盾しています。」
13624	-610	「ユーザメッセージ %1 はすでに存在しています。」
13625	-120	「ユーザ '%1' にはすでに GRANT OPTION が付与されています」
13626	-123	「ユーザ '%1' はユーザグループではありません。」
13627	-312	「ユーザ '%1' はすでにグループ '%2' のメンバーです。」
13628	-130	「文が無効です。」
13629	-132	「SQL 文にエラーがあります。」
13630	-133	「準備文の種類が無効です。」
13631	-707	「パススルーモードでは文を使用できません。」
13632	-614	「メッセージまたはデータ型を所有するユーザは削除できません。」
13633	-731	「レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザを削除できません。」
13634	-161	「DESCRIBE 文で無効な型が指定されました。」
13635	-181	「NULL に対して、インジケータ変数が用意されていません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13636	-182	「SQLDA 中のフィールドが足りません。」
13637	-185	「SELECT 文が複数行を返しています。」
13638	-188	「ホスト変数が足りません。」
13640	-267	「アトミックなオペレーション内での COMMIT/ ROLLBACK は許可されません。」
13641	-270	「ランタイムサーバでは、プロシージャを持つユーザを削除できません。」
13642	-280	「パブリケーション '%1' が見つかりません。」
13643	-281	「テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。」
13644	-282	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。」
13645	-283	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。」
13646	-284	「ユーザ '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャです。」
13647	-285	「ユーザ '%1' はこのデータベースのリモートユーザではありません。」
13648	-286	「リモートメッセージタイプ '%1' が見つかりません。」
13649	-287	「パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13650	-288	「リモートの文が失敗しました。」
13651	-1290	「FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句は、DECLARE CURSOR ではなく PREPARE で指定する必要があります。」
13652	-211	「'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。」
13653	-212	「CHECKPOINT 文にはロールバックログが必要です。」
13654	-221	「ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。」
13655	-222	「アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。」
13656	-213	「セーブポイントには、ロールバックログが必要です。」
13657	-230	「埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサと、データベースインタフェースライブラリのバージョンが適合しません。」
13658	-231	「クライアントサーバのバージョンとデータベースサーバのバージョンが適合しません。」
13659	-1289	「LOAD TABLE オプション '%1' はフォーマット %2 とは併用できません。」
13660	-243	「データベースファイルが削除できません。」
13661	-244	「トランザクションログはトランケートされました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13662	-297	「ユーザ定義の例外が通知されました。」
13663	-298	「アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。」
13664	-300	「実行時 SQL エラーです -- %1」
13665	-301	「データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。」
13666	-1288	「ミラーリングされたデータベースに対して '%1' 文を使用することはできません」
13668	-1286	「即時マテリアライズドビューの定義に NULL 入力可能な式に対する SUM 関数を含めることはできません。」
13669	-601	「'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。」
13670	-602	「ファイル '%1' にアクセスできません -- %2」
13672	-643	「UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。」
13673	-607	「データベースサーバを停止できません。」
13674	-617	「データベースサーバ外の関数呼び出しはサポートされていません。」
13675	-618	「外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティングシステムが一致しません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13676	-619	「ダイナミックライブラリ名が必要です。」
13677	-620	「ダイナミックライブラリ '%1' をロードできませんでした。」
13678	-621	「ダイナミックライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。」
13679	-622	「外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。」
13680	-625	「この外部プロシージャの呼び出しには、パラメータ数が多すぎます。」
13681	-626	「内部用のスレッドが起動できませんでした。」
13682	-634	「C 言語の文字列が完結していません。」
13683	110	「トランザクションログバックアップページの一部だけが、満杯になっています。」
13684	149	「自動データベースアップグレードが適用されました」
13685	-202	「オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。」
13686	112	「もっと情報が必要です。」
13687	-203	「ユーザ '%1'に対するテンポラリオプションを設定することはできません。」
13688	113	「ユーザ '%2' に対するデータベースオプション '%1' は不正な設定です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13689	-205	「統合化ログインが許可されていません。」
13690	-206	「統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。」
13691	-245	「統合化ログインが失敗しました。」
13694	-246	「このデータベースに対して統合化ログインはサポートされていません。」
13695	-247	「統合化ログイン ID ゲストは、ゲストデータベースのユーザ ID に対してのみマップできます。」
13696	-248	「sys または public ユーザ ID にログイン ID をマップすることはできません。」
13697	-249	「ログイン ID '%1' はすでにユーザ ID '%2' にマップされています。」
13698	-313	「ログイン ID '%1' はどのデータベースユーザ ID にもマップされていません。」
13699	-646	「ストア DLL "%1" をロードできません。」
13700	-647	「ストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できません」
13701	-711	「データベースストア DLL (%1) のバージョンが不正です。」
13702	-648	「指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13703	-93	「クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。」
13704	-650	「'%1' のインデックスの型の指定は不正です。」
13705	-651	「データベース '%1' の削除に失敗しました。」
13706	-654	「接続パラメータファイルが見つかりません。」
13707	-655	「接続パラメータ文字列の解析エラーです。」
13708	-664	「データベースはアクティブです。」
13709	-665	「データベース "%1" をリカバリする必要があります。」
13710	-668	「カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。」
13711	-669	「メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。」
13713	-674	「文のサイズの制限値が無効です」
13714	-683	「カーソル名 '%1' はすでに存在します。」
13715	-685	「%1 のリソースガバナーが制限を超えています。」
13717	-689	「入力パラメータインデックスが範囲外です。」
13718	-691	「バックアップ／リストア用 DLL "%1" をロードできません。」
13719	-692	「バックアップ／リストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できませんでした」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13720	-697	「バックアップ／リストア中にエラーが発生しました : %1」
13721	-700	「SQLDA フィールドがマルチロー SQLDA と矛盾しています。」
13722	-709	「計算カラムはこのデータベースではサポートされません。」
13723	-761	「サーバ機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。」
13724	-715	「バックアップファイルの内容が矛盾しています。」
13725	-716	「バックアップファイルのフォーマットが無効です。」
13726	-717	「RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。」
13727	-718	「RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。」
13728	-719	「RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。」
13729	-720	「VALIDATE 文はベーステーブルを参照しなければなりません。」
13730	-727	「オプティマイザは有効なアクセスプランを構成できませんでした。」
13731	-128	「ランタイムシステムでは、テーブルを所有しているユーザを削除することはできません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13732	-660	「サーバ '%1': %2」
13733	-661	「後方スクロールカーソルはリモートオブジェクトではサポートされません。」
13734	-682	「%1」
13735	-91	「プロシージャ '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。」
13736	-92	「'%1' は有効なクラスファイルではありません。」
13737	-730	「不正な JAR ファイルです。」
13738	-94	「フィールドに対して不正な型を参照しました。」
13739	-164	「内部関数でネームスペースのヒープが足りなくなりました : %1」
13740	-165	「内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました : %1」
13741	-649	「クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。」
13742	-652	「クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。」
13743	-653	「クラス '%1' を削除できません : JAR のメンバーです。」
13744	-662	「クラス '%1' を使用して Java オブジェクトをシリアル化できません。」
13745	-663	「Java オブジェクトをデシリアライズできません。」
13746	-670	「クラスのバイトコードが不正です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13747	-675	「'%1' が見つからないため、外部環境を起動できませんでした。」
13748	-704	「Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。」
13749	-710	「不正な比較です。」
13750	-734	「テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。」
13751	120	「'%1' は認識できないオプションです。」
13752	-739	「db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。」
13753	-740	「通信環境を作成できませんでした。」
13754	-1270	「テーブル '%1' を参照する即時ビューを作成するには、テーブルを所有している必要があります。」
13757	-744	「IQ データベースコマンドラインの不正なオプションまたはパラメータ値 : %1」
13758	-745	「IQ メモリマネージャを初期化できません : %1」
13759	-746	「System V リソースを割り当てることができません。」
13762	-749	「Ultra Light では使用できない機能です。」
13765	-755	「コミットされていないトランザクションとの同期またはアップグレードはできません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13767	-289	「複数の統合ユーザを定義することはできません。」
13768	-757	「読み込み専用データベースに対しての修正は禁止されています。」
13770	-759	「SQLDA のデータ型が無効です。」
13771	-760	「SQL の識別子が無効です。」
13774	-764	「サーバが見つからないため自動起動できません。」
13775	-765	「同期メッセージタイプ '%1' が見つかりません。」
13776	119	「バックアップログ '%1' が開けません。」
13777	-767	「'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。」
13778	-768	「'%1' にサブスクリプションを作成できません。」
13779	-769	「ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。」
13780	-770	「ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーションエントリを変更できません。」
13781	-771	「イベント '%1' が見つかりません。」
13782	-772	「イベント '%1' がすでに存在します。」
13783	-773	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13784	-774	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。」
13785	146	「イベント通知キュー '%1' が満杯なため、通知は破棄されました」
13786	-1268	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に不正な構成体が含まれています。」
13787	-777	「プライマリキーがないためテーブル '%1' と同期できません。」
13788	-778	「同期処理ではテーブル '%1' にプライマリキーを含める必要があります。」
13789	-779	「BLOB プライマリキーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。」
13790	-780	「パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリキーを更新できません。」
13791	-1283	「ビューまたは派生テーブル '%1' では、CONTAINS クエリは許可されません。」
13792	-782	「他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。」
13793	-783	「他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。」
13794	-784	「アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13795	-785	「cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。」
13796	-786	「アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。」
13797	-787	「現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。」
13798	-788	「他の接続はすでに '%1' として登録されています。」
13799	-789	「登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。」
13800	-790	「自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。」
13801	-791	「イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。」
13802	-792	「イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。」
13803	-793	「イベント '%1' の開始日時が無効です。」
13804	-794	「同期サーバがアップロードのコミットに失敗しました。」
13805	-1281	「他の接続が '%1' のローをロックしています」
13806	-1280	「'%1' の変換中にアンダーフローが発生しました」
13807	-797	「同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれているか、オプションが NULL です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13808	-1279	「操作 '%1' は次の理由で失敗しました : '%2'」
13809	-799	「DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。」
13810	-800	「トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。」
13811	-801	「トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。」
13812	-802	「コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。」
13813	-803	「トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」
13814	-804	「トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」
13815	-805	「同期オプション '%1' が見つかりません。」
13816	-806	「システムのイベントタイプ '%1' が見つかりません。」
13817	-807	「ホスト変数はバッチで使用できません。」
13819	-809	「同期オプションが長すぎます。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13820	-810	「外部オブジェクト '%1' が見つかりません。」
13821	-811	「JAR '%1' が見つかりません。」
13822	-812	「派生テーブル '%1' の SELECT リストに '%2' と一致する式がありません」
13823	-817	「接続しているテンポラリテーブルが多すぎます。」
13824	-818	「現在のコンテキストでは、外部関数呼び出し '%2' によって使用されるバージョン 'V %1' のインタフェースの実行はサポートされていません。」
13825	-819	「テーブル '%1' は同期サブスクリプションの一部であり、同期スキーマ変更内でしか変更できません。」
13826	-820	「スクロール位置 '%1' が不正です。」
13827	-821	「テーブル '%1' の DB 領域が見つかりません。」
13828	-822	「テーブル '%1' はすでにインクルードされています。」
13829	-823	「ストアドプロシージャ内のリモートテーブルに関わる式を処理できません。」
13830	-824	「相関名 '%1' への参照が不正です。」
13831	-825	「前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13832	-826	「データベースのアップグレードができません。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。」
13833	-827	「データベースのアップグレードができません。ユーザテーブルに、システムテーブル範囲のテーブル ID が設定されています。」
13834	-828	「dbmlsync ダウンロードフェーズとの競合が検出されました。」
13835	-829	「TLS ハンドシェイクに失敗しました。」
13836	-830	「エイリアス '%1' がユニークではありません。」
13837	-831	「エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。」
13838	-832	「接続エラー : %1」
13839	-833	「テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガで修正または削除されました。」
13840	-834	「テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。」
13841	-835	「イベント '%1' は使用中です。」
13842	-836	「プロシージャ '%1' は有効でなくなりました。」
13843	-837	「テーブル '%1' のトリガまたは外部キーは有効でなくなりました。」
13844	-838	「サーバ上で TLS の初期化に失敗しました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13845	-839	「テーブル '%1' の既存のロー (ロー : %2) と競合しているため、ダウンロードに失敗しました」
13846	-1278	「操作は許可されていません」
13849	-843	「'%1' という名前の同期ユーザが見つかりません。」
13851	-845	「修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は相関名 '%2' と一致していません。」
13852	-846	「カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。」
13853	-1595	「カラム '%1' が変数 '%2' に見つかりません。」
13855	-851	「復号化エラー : %1」
13856	-852	「テーブル名 '%1' はあいまいです。」
13857	121	「カーソルオプションの値が変更されました。」
13858	-855	「トリガ名 '%1' はあいまいです。」
13859	-856	「SQLDA に不正な sqllen フィールドがあります。」
13860	-857	「サーバ %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。」
13861	-858	「CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。」
13862	-1277	「パラメータ '%1' に NULL は指定できません」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13863	-1276	「使用中の設定は変更できません」
13864	-860	「指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした」
13865	-861	「集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。」
13866	-862	「集約式 '%1' は SELECT リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります」
13867	-863	「グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。」
13868	-303	「ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」
13869	-864	「文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。」
13870	-866	「%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。」
13871	-867	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません」
13872	-868	「'%1' は認識できない文字セットエンコードラベルです。」
13873	-869	「データベースサーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13874	-870	「要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。」
13876	-872	「%1 から結果セットが返されません。」
13877	-873	「%1 から複数の結果セットが返されました。」
13878	-686	「Java VM を開始するキャッシュが足りません。」
13880	-874	「カラム名は %1 でなければなりません。」
13881	-1275	「無効なドメイン '%1'」
13882	-876	「クライアントでメモリが不足しています。」
13883	122	「非決定的な結果が返されました」
13884	-1274	「インデックス '%1' にはカラムがありません」
13885	-184	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データファイルの行 %3 で LOAD TABLE に無効なデータが指定されました。」
13886	124	「不正なデータ変換 : ロー %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。」
13887	-162	「%1 を %2 に変換できません。データファイルのロー %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています」
13888	-877	「プロシージャ、トリガ、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13889	-878	「インデックス '%1' をクラスタできません。」
13890	-879	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」
13891	-1273	「テーブル '%1' にはカラムがありません」
13892	125	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」
13893	-1272	「同期はすでに進行中です」
13894	-881	「%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。」
13895	-1215	「外部ライブラリ '%1' をロードできませんでした」
13896	127	「%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。」
13897	-1214	「外部ライブラリ '%1' は使用中です」
13898	-883	「シングルバイトコンバーターの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。」
13899	-1271	「同期ダウンロードは完了しませんでした」
13959	-974	「'%1' のファイル I/O に失敗しました。」
13960	-975	「'%1' のボリューム ID が不正です。」
16846	-840	「暗号化キーが不正であるか、見つかりません。」
36007	-628	「ゼロで除算しようとしました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
1333336	-1177	「プランがありません。このタイプの文またはデータベースでは、HTML_PLAN 関数はサポートされていません。」

SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、英数字)

1 つ以上の無効な値が設定されているため、'%1' を使用した検索が失敗しました。

エラー定数	SQLE_LDAPUA_SEARCHFAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	検索を指定する LDAP サーバ名または検索 URL。
重大度	16
SQLCODE	-1603
SQLSTATE	WW214
Sybase エラーコード	12503

考えられる原因

LDAPUA の検索または検証が失敗し、無効な設定が原因で、LDAP_INVALID_CREDENTIALS、LDAP_INSUFFICIENT_ACCESS、LDAP_INVALID_DN_SYNTAX、LDAP_NO_SUCH_OBJECT、または LDAP_FILTER_ERROR を返しました。アクセスアカウント値を調べ、名前付き LDAP サーバまたは検索 URL がないか確認してください。

ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_MODIFY_SYNC_AS_PUB
ODBC 2 ステータス	42000

ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-769
SQLSTATE	5RW14
Sybase エラーコード	13779

考えられる原因

ALTER PUBLICATION 文を使用して、同期エントリを修正しようとしました。

ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーションエントリを変更できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_MODIFY_PUB_AS_SYNC
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-770
SQLSTATE	5RW15
Sybase エラーコード	13780

考えられる原因

ALTER SYNCHRONIZATION 文を使用して、パブリケーションエントリを修正しようとしました。

ALTER 句が矛盾しています。

エラー定数	SQLE_ALTER_CLAUSE_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15

SQLCODE	-125
SQLSTATE	53W01
Sybase エラーコード	13623

考えられる原因

PRIMARY KEY 句、FOREIGN KEY 句、または UNIQUE 句は、ALTER TABLE 文のただ 1 つの句である必要があります。

その他の情報

- 「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。

エラー定数	SQLE_NO_LOCAL_CONNECTIONS_TO_ENCRYPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1088
SQLSTATE	WW069
Sybase エラーコード	13426

考えられる原因

ローカルデータベースは強力に暗号化されているので、ATTACH TRACING 文の LOCAL DATABASE 句を使用できません。接続文字列でデータベースの暗号化キーを指定する必要があります。

その他の情報

- 「ATTACH TRACING 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「DatabaseKey (DBKEY) 接続パラメータ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

ATTACH TRACING は、トレースデータベースに接続できませんでした

エラー定数	SQLE_ATTACH_TRACING_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1097
SQLSTATE	08W95
Sybase エラーコード	13418

考えられる原因

トレーシングデータベースへの接続を確立できませんでした。接続文字列を確認し、他のクライアントが接続できることを確認してください。別のサーバにトレーシングを追加しようとしている場合は、接続がファイアウォールでブロックされている可能性があります。

その他の情報

運用データベースまたはトレーシングデータベースのいずれかで TCP/IP プロトコルが使用されていない場合にも、このエラーが表示される可能性があります。

- 「ATTACH TRACING 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「-x データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

AUTHORIZATION が OFF の場合、サービス定義には文が必要です。

エラー定数	SQLE_SERVICE_AUTH_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-931
SQLSTATE	42W9E
Sybase エラーコード	13554

考えられる原因

AUTHORIZATION が Off に設定されている場合、指定したサービスタイプのサービス定義には、文の指定が必要です。

AUTHORIZATION が Off の場合はユーザ名を指定する必要があります。

エラー定数	SQLE_SERVICE_REQUIRES_USER_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-918
SQLSTATE	42W96
Sybase エラーコード	13566

考えられる原因

AUTHORIZATION が Off の場合は、有効なユーザ名を指定する必要があります。

その他の情報

- 「CREATE SERVICE 文 [HTTP Web サービス]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「CREATE SERVICE 文 [SOAP Web サービス]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「ALTER SERVICE 文 [HTTP Web サービス]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「ALTER SERVICE 文 [SOAP Web サービス]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

BACKUP 句 '%1' が '%2' と競合します

エラー定数	SQLE_INVALID_BACKUP_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	最初の BACKUP 句。
パラメータ 2	2 番目の BACKUP 句。
重大度	16

SQLCODE	-1057
SQLSTATE	WB016
Sybase エラーコード	13456

考えられる原因

BACKUP 文で指定した句が相互に排他的です。

BACKUP を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。

エラー定数	SQLE_BACKUP_HAS_UNCOMMITTED_TRANS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1028
SQLSTATE	WB014
Sybase エラーコード	13482

考えられる原因

BACKUP...WAIT BEFORE START または BACKUP...WAIT AFTER END を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。COMMIT または ROLLBACK を実行してからバックアップを実行する必要があります。

BLOB プライマリキーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。

エラー定数	SQLE_BLOB_IN_SYNC_TABLE_PK
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16

SQLCODE	-779
SQLSTATE	5RW18
Sybase エラーコード	13789

考えられる原因

BLOB プライマリキーでテーブルの同期エントリを作成しようとしました。

BLOB への参照が多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_BLOB_REFS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1107
SQLSTATE	54W11
Sybase エラーコード	13407

考えられる原因

特定の BLOB への参照の最大数を超えました。Ultra Light では、単一の BLOB への参照は最大で 256 です。

blocking_others_timeout によりロールバックが発生しました。

エラー定数	SQLE_BLOCKING_OTHERS_ROLLBACK
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-1344
SQLSTATE	WW148

Sybase エラーコード	13212

考えられる原因

blocking_others_timeout オプション設定よりも長時間、この接続によって別の接続がブロックされたため、この接続はロールバックされました。この接続が切断されるまで、この接続のすべての要求はこのエラーを受け取ります。

その他の情報

- 「blocking_others_timeout オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- blocking_others_timeout 接続プロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

C 言語の文字列が完結していません。

エラー定数	SQLE_UNTERMINATED_C_STR
ODBC 2 ステータス	22024
ODBC 3 ステータス	22024
重大度	16
SQLCODE	-634
SQLSTATE	22024
Sybase エラーコード	13682

考えられる原因

C 文字列ホスト変数の最後のバイトには、NULL 文字が含まれている必要があります。

CDATA に名前が必要です。

エラー定数	SQLE_FOR_XML_EXPLICIT_NAMED_CDATA
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-903
SQLSTATE	WX011

Sybase エラーコード	13580

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT クエリの CDATA ディレクティブに、名前が指定されていません。

change_password_dual_control はこのユーザでは有効です。パスワードを変更するには、ALTER USER を使用します。

エラー定数	SQLE_CHANGE_PWD_DUAL_CONTROL_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1698
SQLSTATE	28W21
Sybase エラーコード	12437

考えられる原因

このユーザ用に change_password_dual_control オプションが設定されている状態でパスワードを変更しようとしました。このオプションが設定されている場合、ALTER USER 文を使用して二重パスワードを変更する必要があります。

その他の情報

- 「二重制御パスワード」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

change_password_dual_control プロセスが進行中であるため、パスワードを変更できません。

エラー定数	SQLE_CHANGE_PWD_DUAL_CONTROL_INPROGRESS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1665

SQLSTATE	28W20
Sybase エラーコード	12458

考えられる原因

change_password_dual_control オプションによるパスワードの変更中に、パスワードを変更しようとしました。

CHECKPOINT 文にはロールバックログが必要です。

エラー定数	SQLE_CHECKPOINT_REQUIRES_UNDO
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-212
SQLSTATE	42W20
Sybase エラーコード	13653

考えられる原因

データベースサーバがロールバックログなしのバルクモードで実行されているときは、CHECKPOINT 文は使用できません。

CircularString のジオメトリはサポートされていません ("%1" 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_CIRCULAR_METHOD
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	CircularString が検出されたメソッドまたはコンテキスト。
重大度	16
SQLCODE	-1494
SQLSTATE	2FW84

Sybase エラーコード	13608

考えられる原因

このメソッドまたは操作では、CircularString 要素を持つジオメトリがサポートされていません。

cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。

エラー定数	SQLE_DEREG_APP_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-785
SQLSTATE	5RW24
Sybase エラーコード	13795

考えられる原因

アプリケーションが正常に登録されていないか、すでに登録が解除されています。

CREATE DATABASE 文では重複オプションは許可されていません

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_CREATE_DB_OPTION
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-1221
SQLSTATE	42U08
Sybase エラーコード	13296

考えられる原因

CREATE DATABASE 文を実行するときに、オプションのいずれかを複数回指定しました。

CREATE SERVICE にはサービスタイプが必要です。

エラー定数	SQLE_SERVICE_TYPE_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-915
SQLSTATE	42W92
Sybase エラーコード	13569

考えられる原因

CREATE SERVICE 文では、サービスタイプを指定する必要があります。

CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。

エラー定数	SQLE_HISTOGRAMS_NOT_SUPPORTED_ON_OBJECT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-858
SQLSTATE	42W67
Sybase エラーコード	13861

考えられる原因

CREATE/DROP STATISTICS を使用して、ビューまたはリモートテーブルなど、仮想データベースオブジェクトの 1 つ以上のヒストグラムを作成／削除しようとしました。CREATE STATISTICS 文および DROP STATISTICS 文が参照できるのは、接続している SQL Anywhere

データベースにあるベーステーブル、ローカルテンポラリテーブル、またはグローバルテンポラリテーブルのみです。

DB 領域 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_DBSPACE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかった DB 領域の名前。
重大度	11
SQLCODE	-138
SQLSTATE	52W13
Sybase エラーコード	1802

考えられる原因

データベースサーバが見つけることができない DB 領域にアクセスしようとしました。

DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。

エラー定数	SQLE_DBSPACE_CONTAINS_TABLES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	DB 領域の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1120
SQLSTATE	55W26
Sybase エラーコード	13393

考えられる原因

DB 領域を削除しようとしましたが、この DB 領域にはテーブルまたはインデックスが含まれます。テーブルかインデックスまたはその両方を削除してから、DB 領域を削除してください。

DB 領域が最大ファイルサイズに達しています。

エラー定数	SQLE_DBSPACE_FULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-604
SQLSTATE	04W07
Sybase エラーコード	5006

考えられる原因

DB 領域がディスクページの最大数に達しました。DB 領域は通常、オペレーティングシステムの最大ファイルサイズに制限されています。これは致命的なエラーです。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「追加の DB 領域の考慮事項」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「SQL Anywhere のサイズと数の制限」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light および Ultra Light Java Edition データベースの制限事項」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません

エラー定数	SQLE_ICU_NOT_AVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1076
SQLSTATE	WC012

Sybase エラーコード	13438

考えられる原因

このデータベースに必要な ICU コンポーネントをサーバにロードできません。dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていることを確認してください。

dbicu ライブラリとサーバのバージョンが一致しません。

エラー定数	SQLE_ICU_DLL_VERSION_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1124
SQLSTATE	WC014
Sybase エラーコード	13389

考えられる原因

このデータベースに必要な ICU コンポーネントをサーバにロードできません。dbicu ライブラリの適切なバージョンがインストールされていることを確認してください。

Dbmlsync サーバがタイムリーなシャットダウンに失敗しました。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_SHUTDOWN_SLOW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1379
SQLSTATE	5RW49
Sybase エラーコード	13195

考えられる原因

SYNCHRONIZE 文を処理するために新しい dbmlsync サーバがデータベースサーバによって起動され、そのプロセスのシャットダウン要求は成功しましたが、指定されたタイムアウト値の範囲内で、そのプロセスがシャットダウンしませんでした。

dbmlsync サーバに十分なデータベースパーミッションがありませんでした。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_CANT_ACCESS_RESULT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1714
SQLSTATE	5RW50
Sybase エラーコード	12424

考えられる原因

SYNCHRONIZE コマンドを使用して、synchronize_results テーブルと synchronize_parameters テーブルに同期の結果を格納しようとしました。コマンドを実行したユーザ、または SYNCHRONIZE コマンドの USER 句に指定したユーザには、これらのテーブルにローを挿入するためのパーミッションが必要です。

その他の情報

- 「SYNCHRONIZE 文 [Mobile Link]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

Dbmlsync サーバの起動に失敗しました。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_START_SERVER_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1375
SQLSTATE	5RW45

Sybase エラーコード	13191

考えられる原因

データベースサーバが、新しい dbmlsync プロセスの起動に失敗したか、または SYNCHRONIZE 文で指定されたポート番号上で稼働している既存の dbmlsync サーバへの接続に失敗しました。

Dbmlsync サーバの起動に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

エラー定数	SQLE_MLA_SYNC_START_SERVER_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1388
SQLSTATE	WW164
Sybase エラーコード	13180

考えられる原因

Mobile Link エージェントアダプタが新しい dbmlsync プロセスの起動に失敗したか、またはタイムアウトまでにサーバが要求の処理を開始しませんでした。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

Dbmlsync サーバのシャットダウンに失敗しました。詳細については、Dbmlsync のログファイルを確認してください。

エラー定数	SQLE_MLA_SYNC_SHUTDOWN_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1387
SQLSTATE	WW163

Sybase エラーコード	13181

考えられる原因

Mobile Link エージェントアダプタがサーバをシャットダウンしようとしたときにエラーが発生しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

Dbmlsync サーバへの接続に失敗しました。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_CONNECT_SERVER_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1376
SQLSTATE	5RW46
Sybase エラーコード	13192

考えられる原因

データベースサーバが dbmlsync サーバへの接続に失敗しました。

Dbmlsync サーバへの接続に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

エラー定数	SQLE_MLA_SYNC_CONNECT_SERVER_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1386
SQLSTATE	WW162
Sybase エラーコード	13182

考えられる原因

Mobile Link エージェントアダプタが dbmlsync サーバへの接続に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

dbmlsync ダウンロードフェーズとの競合が検出されました。

エラー定数	SQLE_RECORDING_CONFLICT_DETECTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-828
SQLSTATE	WW027
Sybase エラーコード	13834

考えられる原因

Dbmlsync はこのエラーを使用して、他の接続によって修正されたローとのダウンロードフェーズ競合を検出します。

DBN/DBF パラメータが、この代替サーバ名のデータベースと一致しません。

エラー定数	SQLE_WRONG_DB_ON_ALT_SERVER_NAME
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-1036
SQLSTATE	08W90
Sybase エラーコード	13475

考えられる原因

指定した DBN または DBF パラメータが、指定した代替サーバ名を使用しているデータベースと一致しません。

dbrsakp 共有オブジェクトをロードできません

エラー定数	SQLE_RSA_LOAD_FAILED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-1584
SQLSTATE	08WA9
Sybase エラーコード	12521

考えられる原因

サーバは、Windows プラットフォームに dbrsakp DLL を、または UNIX プラットフォームに libdbrsakp 共有オブジェクトをロードできませんでした。

db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。

エラー定数	SQLE_DB_INIT_NOT_CALLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-739
SQLSTATE	55W07
Sybase エラーコード	13752

考えられる原因

dblib エントリポイントに渡された SQLCA が db_init の呼び出しによって初期化されていないか、db_init の呼び出しが失敗しました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「db_init 関数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- SQL Anywhere： 「SQLCA (SQL Communication Area)」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

DESCRIBE 文で無効な型が指定されました。

エラー定数	SQLE_INVALID_DESCRIBE_TYPE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	16
SQLCODE	-161
SQLSTATE	07W01
Sybase エラーコード	13634

考えられる原因

DESCRIBE 文で指定した Java タイプに、対応する SQL タイプがありません。

DML 派生テーブルで許可されていない外部参照

エラー定数	SQLE_SELECT_DML_OUTER_REFERENCE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1529
SQLSTATE	42U09
Sybase エラーコード	12576

考えられる原因

INSERT、UPDATE、DELETE, または MERGE 文に基づいた派生テーブルでは、外部参照の使用は許可されません。これらの派生テーブルは非相関サブクエリでのみ表示できます。

DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_DTC_TRANSACTIONS_NOT_SUPPORTED

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-799
SQLSTATE	0AW10
Sybase エラーコード	13809

考えられる原因

DTC トランザクションをサポートしていないプラットフォームにこの機能を登録しようとしました。

FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_FETCH_POSITION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-263
SQLSTATE	42W25
Sybase エラーコード	6259

考えられる原因

無効か NULL のオフセットを FETCH 文で指定しました。

FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。

エラー定数	SQLE_WRONG_NUM_OF_FETCH_VARIABLES
ODBC 2 ステータス	S1002
ODBC 3 ステータス	07009
重大度	16

SQLCODE	-264
SQLSTATE	42W26
Sybase エラーコード	553

考えられる原因

FETCH 文で指定した変数の数が、SELECT リストの項目数と一致しません。

FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません

エラー定数	SQLE_FIPS_NOT_AVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	アルゴリズムの名前。
重大度	19
SQLCODE	-1071
SQLSTATE	0AW16
Sybase エラーコード	13442

考えられる原因

サーバが FIPS モードで実行されているときは、指定したアルゴリズムを使用できません。

FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました

エラー定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_CURSOR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-813
SQLSTATE	42W36

Sybase エラーコード	7301

考えられる原因

更新可能でないクエリに対し、カーソル FOR UPDATE を宣言しようとしました。DISTINCT、GROUP BY、HAVING、INTERSECT、EXCEPT、UNION を含むクエリや、集合関数を含むクエリは、読み込み専用です。ansi_update_constraints オプションがオンの場合は、ジョインを含むクエリは、読み込み専用になります。クエリがビューを参照する場合は、そのビューが更新不可になる場合があります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「ansi_update_constraints オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句は、DECLARE CURSOR ではなく PREPARE で指定する必要があります。

エラー定数	SQLE_CURSOR_UPDATABILITY_CHANGED
ODBC 2 ステータス	S1009
ODBC 3 ステータス	HY092
重大度	16
SQLCODE	-1290
SQLSTATE	42WD4
Sybase エラーコード	13651

考えられる原因

DECLARE CURSOR 文に FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句を指定しました。FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句は、DECLARE CURSOR 文ではなく、PREPARE 文で指定する必要があります。

GROUP BY 句には定数式を使用できません。

エラー定数	SQLE_NO_CONSTANTS_IN_GROUP_BY
ODBC 2 ステータス	37000

ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-928
SQLSTATE	42W9D
Sybase エラーコード	13557

考えられる原因

GROUP BY 句で定数を使用しました。定数は、クエリの GROUP BY 句に使用しないでください。GROUP BY 句では、定数であるビュー内のカラムを参照することができます。また、定数であるビューのカラムを使用する式を使用できます。

GROUP BY リストの式が多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_IN_GROUPBY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1236
SQLSTATE	54W14
Sybase エラーコード	13282

考えられる原因

GROUP BY リスト内の式が多すぎる文を実行しました。GROUP BY リスト内の式の数は 60000 個までに制限されています。

HTTP オプション '%1' の設定が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_HTTP_OPTION_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な HTTP オプションの名前。

重大度	16
SQLCODE	-939
SQLSTATE	42W83
Sybase エラーコード	13548

考えられる原因

無効な値を HTTP オプションに指定しました。数値だけを許可するオプションや、On と Off の値だけを許可するオプションがあります。

HTTP サーバからの応答が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_HTTP_RESPONSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-988
SQLSTATE	WW057
Sybase エラーコード	13501

考えられる原因

リモート HTTP サーバからの応答が無効でした。空か、形式が間違っているか、ヘッダ情報が欠けていた可能性があります。

HTTP ヘッダ '%1' の設定が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_HTTP_HEADER_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な HTTP ヘッダの名前。
重大度	16

SQLCODE	-940
SQLSTATE	42W84
Sybase エラーコード	13547

考えられる原因

無効な値を HTTP ヘッダに指定しました。

HTTP ヘッダ '%1' は予約されているため変更できません

エラー定数	SQLE_HTTP_HEADER_ATTRIBUTE_RESERVED_XXX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの原因となっているヘッダ。
重大度	16
SQLCODE	-1094
SQLSTATE	WW070
Sybase エラーコード	13421

考えられる原因

指定した HTTP ヘッダは予約されてるため変更できません。

HTTP 要求に失敗しました。ステータスコード '%1'

エラー定数	SQLE_HTTP_REQUEST_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	HTTP ステータスコード。
重大度	19
SQLCODE	-983

SQLSTATE	WW052
Sybase エラーコード	13506

考えられる原因

HTTP 要求から失敗を示すステータスコードが返されました。

I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_DEVICE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	24
SQLCODE	-305
SQLSTATE	40W04
Sybase エラーコード	3013

考えられる原因

SQL Anywhere がハードディスクに障害を検出しました。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

ICU 照合 '%1' は他の照合にデフォルト設定されました。

エラー定数	SQLE_COLLATION_DEFAULT_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	ICU 照合の指定子。
重大度	10
SQLCODE	201

SQLSTATE	01WC4
Sybase エラーコード	13397

考えられる原因

指定された ICU 照合は使用できません。他の照合が代用されました。これによって、適した結果が生成される場合もあれば、そうでない場合もあります。ICU の構造のために、使用された照合は認識されていませんが、指定された照合に対する最善の代替照合でした。このデータベースが他のプラットフォームで使用されている場合、異なる照合が選択されることがあり、操作は異なる結果を生成することがあります。

その他の情報

- 「ICU とは何か、いつ必要になるか」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

IDENTIFIED BY の値を 1 つだけ指定できます。

エラー定数	SQLE_LDAPUA_TOO_MANY_IDENTBY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1629
SQLSTATE	WW241
Sybase エラーコード	12477

考えられる原因

LDAP に複数のパスワードが指定されているか、または IDENTIED BY と IDENTIFIED BY ENCRYPTED の両方が指定されています。パスワードは 1 つだけ設定してください。

Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。

エラー定数	SQLE_OMNI_IDENTITY_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	カラムの名前。

重大度	16
SQLCODE	-725
SQLSTATE	WO019
Sybase エラーコード	11212

考えられる原因

CREATE EXISTING 文で指定したカラムの identity 属性が実際のカラムの identity 属性と異なります。

IMMEDIATE REFRESH テキストインデックスには文を使用できません。

エラー定数	SQLE_TEXT_IMMEDIATE_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1182
SQLSTATE	WT015
Sybase エラーコード	13333

考えられる原因

immediate refresh を指定して作成されたインデックスには、REFRESH TEXT INDEX および TRUNCATE TEXT INDEX を使用できません。テキストインデックスを、immediate refresh を使用するように変更することや、immediate refresh の使用を停止するように変更することはできません。

INSERT 文に指定した値の数が正しくありません。

エラー定数	SQLE_WRONG_NUM_OF_INSERT_COLS
ODBC 2 ステータス	21S01
ODBC 3 ステータス	21S01

重大度	16
SQLCODE	-207
SQLSTATE	53002
Sybase エラーコード	213

考えられる原因

挿入しようとする値の数が、INSERT 文で指定したカラム数と一致しません。またはカラムが指定されていない場合は、テーブル内のカラム数と一致しません。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「INSERT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「INSERT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

INSERT...ON EXISTING UPDATE は許可されません：即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています

エラー定数	SQLE_UPDATE_ON_EXISTING_DEP_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	依存している即時マテリアライズドビューの名前。
パラメータ 2	挿入が実行されたベーステーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1204
SQLSTATE	55W33
Sybase エラーコード	13311

考えられる原因

依存している初期化された即時マテリアライズドビューがベーステーブルにある場合は、そのベーステーブルに対して ON EXISTING 句を含む Insert 文を使用することはできません。

INSTEAD OF トリガのあるビューで位置付け更新しようとしました。

エラー定数	SQLE_INSTEAD_TRIGGER_POSITIONED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-1127
SQLSTATE	42W3B
Sybase エラーコード	13386

考えられる原因

ビューの INSTEAD OF トリガ (ネストされている可能性あり) が含まれる位置付け更新、位置付け削除、プット、ワイド挿入操作を試行しました。これらの操作は、ビューの INSTEAD OF トリガでサポートされていません。

IQ データベースコマンドラインの不正なオプションまたはパラメータ値 : %1

エラー定数	SQLE_IQ_INVALID_COMMAND_LINE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	無効なコマンドラインオプション。
重大度	18
SQLCODE	-744
SQLSTATE	08W51
Sybase エラーコード	13757

考えられる原因

無効なコマンドラインオプションが使用されました。オプションは -iq で始まっていますが、オプションが無効か、不正なパラメータが含まれています。

IQ データベースにはログが必要です。

エラー定数	SQLE_IQ_LOG_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-933
SQLSTATE	0AQ48
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

IQ データベースには、トランザクションログファイルを使用する必要があります。

IQ メモリマネージャを初期化できません : %1

エラー定数	SQLE_IQ_MEMORY_MANAGER_FAILED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	18
SQLCODE	-745
SQLSTATE	08W52
Sybase エラーコード	13758

考えられる原因

System V 共有メモリが要求されましたが、割り当てることができませんでした。

JAR '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_JAR_NOT_FOUND

ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	JAR の名前。
重大度	16
SQLCODE	-811
SQLSTATE	42W58
Sybase エラーコード	13821

考えられる原因

この名前の JAR はデータベースには存在しません。

Java VM を開始するキャッシュが足りません。

エラー定数	SQLE_JAVA_VM_INSUFFICIENT_CACHE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-686
SQLSTATE	WP015
Sybase エラーコード	13878

考えられる原因

使用できるキャッシュが不足しているために Java VM を起動できませんでした。キャッシュサイズを大きくしてデータベースサーバを再起動してください。

Java オブジェクトをデシリアライズできません。

エラー定数	SQLE_JAVA_DESERIALIZATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-663
SQLSTATE	WW018
Sybase エラーコード	13745

考えられる原因

永続的な Java オブジェクトをデータベースカラムから読み込むことはできません。オブジェクトのクラスが削除されたか、修正された可能性があります。

Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_INDEX_ON_JAVA_CLASS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	クラスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-704
SQLSTATE	WW022
Sybase エラーコード	13748

考えられる原因

Java クラスの型でインデックスを作成しようとしました。このようなインデックスを必要とする操作を行おうとしました。

jConnect は暗号化をサポートしていません。

エラー定数	SQLE_NO_ENCRYPTION_FOR_JCONNECT
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	18

SQLCODE	-941
SQLSTATE	08W69
Sybase エラーコード	13548

考えられる原因

jConnect を使用して、接続の暗号化タイプを指定しました。jConnect は暗号化をサポートしていません。

Kerberos ログインが失敗しました。

エラー定数	SQLE_KERBEROS_LOGON_FAILED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1069
SQLSTATE	28W12
Sybase エラーコード	13445

考えられる原因

Kerberos ログインに失敗しました。クライアントでユーザのプリンシパルを KDC に対して認証できなかったか、サーバでクライアントを認証できませんでした。考えられる主な原因は、Kerberos のプリンシパルがサインインしていないか、プリンシパルのチケットの期限が切れているか、クライアント、サーバ、または KDC のシステム時刻の差が数分を超えていることです。LogFile 接続パラメータまたはサーバの -z オプションを使用すると、詳細情報を確認できます。

Kerberos ログインはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_KERBEROS_LOGONS_UNSUPPORTED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1070

SQLSTATE	28W13
Sybase エラーコード	13444

考えられる原因

クライアントかサーバまたはその両方で Kerberos ログインがサポートされていません。Kerberos がプラットフォームでサポートされていないか、GSS-API ランタイムを含む Kerberos クライアントソフトウェアがクライアントにインストールされていない、またはクライアントで見つからないか、Kerberos がサーバで有効になっていません。LogFile 接続パラメータまたはサーバの -z オプションを使用すると、詳細情報を確認できます。

LDAP サーバ "%1" がすでに存在しています。

エラー定数	SQLE_LDAPSERVER_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	LDAP サーバの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1569
SQLSTATE	WW202
Sybase エラーコード	12536

考えられる原因

データベースにすでに存在する LDAP サーバを作成しようとしました。

LDAP サーバ "%1" にメモリを割り付けようとして、失敗しました。

エラー定数	SQLE_LDAPSERVER_ALLOC_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	LDAP サーバの名前。

重大度	16
SQLCODE	-1570
SQLSTATE	WW203
Sybase エラーコード	12535

考えられる原因

LDAP サーバのクラスオブジェクトにメモリを割り付けようとして失敗しました。

LDAP サーバ "%1" は、ログインポリシー "%2" によって使用されています。

エラー定数	SQLE_LDAPSERVER_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	LDAP サーバの名前。
パラメータ 2	ログインポリシーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1576
SQLSTATE	WW206
Sybase エラーコード	12529

考えられる原因

名前付きログインポリシーは LDAP サーバを参照します。LDAP サーバの削除が可能になる前に LDAP サーバを参照するのを回避するには、ログインポリシーを変更してください。または、DROP LDAP SERVER <サーバ名> WITH DROP ALL REFERENCES を使用して LDAP サーバへのログインポリシーの参照を削除してください。

LDAP サーバ "%1" を削除しようとして失敗しました。削除するには、サーバを中断します。

エラー定数	SQLE_INVALID_STATE_CHANGE

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	LDAP サーバの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1571
SQLSTATE	WW204
Sybase エラーコード	12534

考えられる原因

LDAP サーバを削除しようとしましたが、READY または ACTIVE 状態であるため、エラーとなりました。WITH SUSPEND を使用して状態を変更してから、サーバを削除してください。

LDAP サーバ %1 での検索は、一致する結果なしで完了しました。

エラー定数	SQLE_LDAPUA_NO_SEARCH_RESULTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	検索を指定する LDAP サーバ名または検索 URL。
重大度	16
SQLCODE	-1623
SQLSTATE	WW220
Sybase エラーコード	12483

考えられる原因

LDAPUA の検索または検証が失敗し、LDAP_NO_RESULTS_RETURNED を返しました。このエラーは、ユーザが LDAP サーバに存在しない場合に発生が想定されています。

LDAP サーバ %1 は、匿名のバインドを受け入れない可能性があります。

エラー定数	SQLE_LDAPUA_ANONBINDERR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	検索を指定する LDAP サーバ名または検索 URL。
重大度	16
SQLCODE	-1621
SQLSTATE	WW218
Sybase エラーコード	12485

考えられる原因

LDAPUA の検索または検証が失敗し、ターゲットの LDAP サーバの無効な設定が原因で LDAP_INAPPROPRIATE_AUTH を返しました。アクセスアカウント値を調べ、名前付き LDAP サーバまたは検索 URL がないか確認してください。

LDAP サーバがアクティブな状態のとき、LDAP サーバ '%1' を変更できません。

エラー定数	SQLE_LDAPSERVER_IS_ACTIVE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	LDAP サーバの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1612
SQLSTATE	WW215
Sybase エラーコード	12494

考えられる原因

LDAP サーバがアクティブである場合、WITH SUSPEND 句を指定してサーバをサスペンド状態にしないと、ALTER 文で LDAP サーバオプションを変更することはできません。これは無効な LDAP サーバ状態の変更です。

LDAP サーバでの唯一のログインポリシーであるログインポリシー "%1" によって参照され、login_mode の値が "LDAPUA" であるため、LDAP サーバの削除が妨げられました。

エラー定数	SQLE_ONLY_LDAP_POLICY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ログインポリシーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1663
SQLSTATE	WW245
Sybase エラーコード	12460

考えられる原因

サーバ全体の login_mode オプションの設定が LDAPUA になっているため、ロックアウトされるユーザが接続できないようにするには、LDAPUA 参照削除をサポートするログインポリシーのみを防止してください。login_mode を変更してから DROP LDAP SERVER <サーバ名> WITH DROP ALL REFERENCES を実行します。

LDAP ユーザ認証機能は、このデータベースではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_LDAPUA_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1572

SQLSTATE	WW205
Sybase エラーコード	12533

考えられる原因

現在のデータベースが古いデータベースで、LDAP ユーザ認証機能用のカタログサポートを持っていません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

LineString には少なくとも 2 つのポイントを含める必要があります ('%1' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_LINESTRING_MIN_POINTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1483
SQLSTATE	2FW78
Sybase エラーコード	13089

考えられる原因

LineString に単一ポイントのみが含まれています。

その他の情報

- 「サポートされる空間データ型とその階層」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』

LOAD TABLE ...WITH FILE NAME LOGGING はミラーリングされたテーブルで許可されていません

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_ON_MIRRORED_DB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1035
SQLSTATE	WL008
Sybase エラーコード	13476

考えられる原因

LOAD TABLE ...WITH FILE NAME LOGGING 文はデータベースをミラーリングしているときは使用できません。ロード対象のファイルが、他方のサーバからアクセスできない可能性があります。

LOAD TABLE エラー : %1

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	検出されたエラーの説明
重大度	16
SQLCODE	-1188
SQLSTATE	WL013
Sybase エラーコード	13327

考えられる原因

LOAD TABLE 文が失敗しました。メッセージによって、発生した実際の問題が特定されます。

その他の情報

- SQL Anywhere : 「LOAD TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light : 「LOAD TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

LOAD TABLE エラー : データファイルのロー %1 で無効なコンテンツが検出されました

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_DATA_FILE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なコンテンツが発生したデータファイルの行番号。
重大度	16
SQLCODE	-1496
SQLSTATE	WL017
Sybase エラーコード	13606

考えられる原因

LOAD TABLE 文は、指定されたデータファイルの、示された行でスキャンエラーが発生したため、失敗しました。このことは、行がトランケートされている場合や、デリミタがない場合などに発生する場合があります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「LOAD TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere:「テーブルのインポート (Interactive SQL インポートウィザードの場合)」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- Ultra Light： 「LOAD TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

LOAD TABLE オプション '%1' はフォーマット %2 とは併用できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOAD_TABLE_OPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	オプションの名前。
パラメータ 2	LOAD TABLE フォーマット。
重大度	16
SQLCODE	-1289
SQLSTATE	WL016
Sybase エラーコード	13659

考えられる原因

指定された LOAD TABLE オプションは、LOAD TABLE FORMAT では有効でありません。

LOAD TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_WITH_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	依存している初期化された即時マテリアライズドビューの名前。
パラメータ 2	ロードが実行されたテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1191
SQLSTATE	WL015
Sybase エラーコード	13324

考えられる原因

依存している初期化された即時マテリアライズドビューがあるテーブルでは、LOAD TABLE は許可されません。

MESSAGE...FOR CONNECTION メッセージが多すぎます

エラー定数	SQLE_CONNECTION_MESSAGE_QUEUE_FULL
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
重大度	19
SQLCODE	-1303
SQLSTATE	54W16
Sybase エラーコード	13457

考えられる原因

MESSAGE...FOR CONNECTION 文を実行しましたが、接続に対して最大数のメッセージがすでにキューイングされています。

MIME タイプ '%1' が不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_MIMETYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	MIME タイプの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1123
SQLSTATE	WW085
Sybase エラーコード	13390

考えられる原因

MIME タイプの指定子が不正です。

MIRROR サーバクラスは IQ データベースではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_OMNI_NO_MIRROR_FOR_IQ
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1573
SQLSTATE	WO029
Sybase エラーコード	12532

考えられる原因

IQ データベースに接続した状態でミラー型のリモートデータアクセスサーバを作成しようとしました。ミラーサーバクラスは IQ データベースではサポートされていません。

MIRROR サーバクラスを使用するには、データベースをアップグレードする必要があります。

エラー定数	SQLE_OMNI_MIRROR_NEEDS_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1574
SQLSTATE	WO030
Sybase エラーコード	12531

考えられる原因

古いソフトウェアで作成したデータベースに接続した状態でミラー型のリモートデータアクセスサーバを作成しようとしました。ミラーサーバクラスを使用するには、データベースをアップグレードする必要があります。

Mobile Link が値 '%2' の認証ステータス '%1' を返したため、同期に失敗しました。

エラー定数	SQLE_MOBILINK_AUTHENTICATION_FAILED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	認証ステータスの番号。
パラメータ 2	認証値の番号。
重大度	14
SQLCODE	-1497
SQLSTATE	28W17

Sybase エラーコード	4002

考えられる原因

Mobile Link によって、失敗を示す認証ステータスがリモートデータベースに返されました。ステータスと値の番号は、認証が失敗した理由を示しています。たとえば、パスワードが無効であった、リモートの同期がすでに進行中である、などの理由が示されます。

その他の情報

- 「authenticate_parameters 接続イベント」『Mobile Link サーバ管理』
- 「authenticate_user 接続イベント」『Mobile Link サーバ管理』
- 「認証処理」『Mobile Link クライアント管理』

Mobile Link クライアントサポートライブラリのロードに失敗しました。

エラー定数	SQLE_COULD_NOT_LOAD_SYNC_LIBRARY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1580
SQLSTATE	WW207
Sybase エラーコード	12525

考えられる原因

SYNCHRONIZE コマンドを使用するには、データベースサーバが実行されているのと同じコンピュータに、Mobile Link クライアントをインストールする必要があります。

Mobile Link 通信エラー：コード：%1、パラメータ：%2、システムコード：%3

エラー定数	SQLE_MOBILINK_COMMUNICATIONS_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

パラメータ 1	Mobile Link 通信エラーコード。
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーのパラメータ (存在する場合)。
パラメータ 3	システムエラーコード。
重大度	16
SQLCODE	-1305
SQLSTATE	0AWD5
Sybase エラーコード	13454

考えられる原因

Mobile Link サーバとの通信中にエラーが発生しました。

その他の情報

- 「Mobile Link 通信エラーメッセージ (エラーコード順)」1073 ページ

NODETYPE=DIRECT のクラウドデータベースサーバに接続する場合は、サーバ名のみを指定できます

エラー定数	SQLE_SERVER_NAME_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-1582
SQLSTATE	08WA8
Sybase エラーコード	12523

考えられる原因

クラウドデータベースサーバに接続するときは、NODETYPE=DIRECT の場合にのみ、接続文字列でサーバ名を指定できます。クラウドデータベースサーバへの接続に、その他の NODETYPE 値を使用するときは、サーバ名を指定できません。通常、クラウドデータベースサーバへの接続では、1 つ以上のクラウドデータベースサーバを指定するために、HOST 接続パラメータまたは HOST プロトコルオプションが使用されます。

NULL 属性はカラム '%1' に適合しません。

エラー定数	SQLE_OMNI_NULL_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	カラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-724
SQLSTATE	WO018
Sybase エラーコード	11211

考えられる原因

CREATE EXISTING 文で指定したカラムの NULL 属性が実際のカラムの NULL 属性と異なります。

NULL に対して、インジケータ変数が用意されていません。

エラー定数	SQLE_NO_INDICATOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-181
SQLSTATE	22002
Sybase エラーコード	13635

考えられる原因

データベースから NULL の値を検索しようとしましたが、その値にインジケータ変数を指定しませんでした。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「インジケータ変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- SQL Anywhere： 「インジケータ変数値のまとめ」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- Ultra Light： 「インジケータ変数」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_NULL_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
重大度	16
SQLCODE	-733
SQLSTATE	23504
Sybase エラーコード	233

考えられる原因

NULL が許可されるカラム数がそのカラムに許可されている制限を超えるように、テーブル定義を作成または変更しようとしました。制限値はデータベースページサイズの機能で、約 8*(page-size - 30) です。

OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_FRAME_BOUNDARY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-957
SQLSTATE	22X13
Sybase エラーコード	13531

考えられる原因

先頭または最後のサイズの式が、NULL または負の値に評価されました。

ON 条件は OUTER JOIN の NULL 入力側および保護側にないテーブルを参照しているため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_OUTERREFERENCE_ON_CONDITION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1507
SQLSTATE	42WE7
Sybase エラーコード	12596

考えられる原因

定義に不正な ON 条件が含まれているマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

その他の情報

- 「マテリアライズドビュー」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「ALTER MATERIALIZED VIEW 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「マテリアライズドビューの制限」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

ON 条件は OUTER JOIN の両側を参照する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_PSNS_ON_CONDITION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1371
SQLSTATE	42WE4

Sybase エラーコード	13191

考えられる原因

定義に不正な ON 条件が含まれているマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

OPENXML クエリのメモリが足りません。

エラー定数	SQLE_XQUERY_MEMORY_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-912
SQLSTATE	WX016
Sybase エラーコード	13572

考えられる原因

OPENXML クエリによって使用されるメモリは、単一のローによって返される要素または属性の最大距離に比例することがあります。たとえば、一部のローがドキュメントの最初と最後の両要素の値を使用しているクエリは、ドキュメントのサイズに比例したメモリを使用することがあります。解決法の 1 つとして、キャッシュサイズを増やすことが挙げられます。また、離れた要素を参照するクエリを複数のクエリに分割して、それぞれが近くの要素を参照するようにし、結果を結合する方法もあります。

OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。

エラー定数	SQLE_BAD_OPENXML_FLAG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-893
SQLSTATE	WX004

Sybase エラーコード	13590

考えられる原因

3 番目の引数として OPENXML に渡されるフラグ値は、1 (属性中心のマッピング) または 2 (要素中心のマッピング) でなければなりません。

ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ORDERBY_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ORDER BY 句内で、直接または式の中で参照されているカラムの名前。
重大度	15
SQLCODE	-854
SQLSTATE	42W65
Sybase エラーコード	104

考えられる原因

ORDER BY 句に関数またはカラムの参照を指定しましたが、セマンティック上無効です。たとえば、DISTINCT クエリでは ORDER BY 句で参照できるのはクエリの SELECT リスト内の項目のみです。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「GROUP BY 句」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「GROUP BY 句：クエリ結果のグループへの編成」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「MAX 関数 [集合]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません

エラー定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_ORDER_BY_COLUMN
ODBC 2 ステータス	42000

ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ORDER BY 句にあるカラムの名前。
重大度	15
SQLCODE	-814
SQLSTATE	42W37
Sybase エラーコード	6267

考えられる原因

ORDER BY 句にあるカラムを更新しようとしました。ansi_update_constraints オプションは、この更新が許可されるかどうかを制御します。

ORDER BY 句の指定が不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ORDER
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-152
SQLSTATE	53005
Sybase エラーコード	108

考えられる原因

ORDER BY リスト内で使用した整数が SELECT リストのカラム数を上回ったか、セマンティック上無効な ORDER BY 式を指定しました。たとえば、UNION、EXCEPT、および INTERSECT クエリの場合、結果の順序を指定するのに使用できるのは、整数または最初の SELECT クエリブロックのカラム名のみです。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

OUTER JOIN の NULL 入力側にある NULL 入力不可のカラムが SELECT リストに 1 つ以上存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_ISNOTNULL
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1508
SQLSTATE	42WE8
Sybase エラーコード	12595

考えられる原因

OUTER JOIN のいずれかの NULL 入力側に対する NULL 入力不可のカラムが 1 つも含まれていない SELECT リストを持つマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

その他の情報

- 「マテリアライズドビュー」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「ALTER MATERIALIZED VIEW 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

OUTER JOIN の保護側にあるテーブルのプライマリキーカラムが SELECT リストに存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_PK
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1509
SQLSTATE	42WE9
Sybase エラーコード	12594

考えられる原因

OUTER JOIN の保護側のいずれかのテーブルのプライマリキーカラムが含まれていない SELECT リストを持つマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

その他の情報

- 「マテリアライズドビュー」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「ALTER MATERIALIZED VIEW 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

RAISERROR が実行されました : %1

エラー定数	SQLE_RAISERROR_STMT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	RAISERROR メッセージ文字列。
重大度	16
SQLCODE	-631
SQLSTATE	WW012
Sybase エラーコード	0

考えられる原因

RAISERROR 文が実行されました。RAISERROR 文に関連する文字列がエラーメッセージの本文に含まれます。

RAISERROR のエラー番号 %1 は、17000 未満にしないでください。

エラー定数	SQLE_ERROR_NUMBER_OUT_OF_RANGE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	エラー番号。
重大度	16

SQLCODE	-296
SQLSTATE	53W07
Sybase エラーコード	2732

考えられる原因

RAISERROR 文に無効なエラー番号を指定しました。番号は、17000 以上にしてください。

READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。

エラー定数	SQLE_TEXT_OPERATION_ON_VIEW
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-708
SQLSTATE	42W50
Sybase エラーコード	285

考えられる原因

Transact-SQL READTEXT 文または WRITETEXT 文がビュー内のテキストカラムを参照できません。ビューの参照をベーステーブルの名前と置き換えてください。

RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。

エラー定数	SQLE_RECURSIVE_KEYWORD_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-938
SQLSTATE	42WA0
Sybase エラーコード	13549

考えられる原因

再帰クエリの共通テーブル式は、WITH RECURSIVE 句を使用して定義する必要があります。

RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。

エラー定数	SQLE_RESTORE_UNABLE_TO_START
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベースファイルのファイル名。
重大度	21
SQLCODE	-719
SQLSTATE	WB010
Sybase エラーコード	13728

考えられる原因

RESTORE を実行したデータベースが起動できませんでした。

RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。

エラー定数	SQLE_RESTORE_UNABLE_TO_WRITE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベースファイルのファイル名。
重大度	21
SQLCODE	-718
SQLSTATE	WB009
Sybase エラーコード	13727

考えられる原因

RESTORE がデータベースファイルの 1 つに書き込みができませんでした。

RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。

エラー定数	SQLE_RESTORE_UNABLE_TO_OPEN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベースファイルのファイル名。
重大度	21
SQLCODE	-717
SQLSTATE	WB008
Sybase エラーコード	13726

考えられる原因

RESTORE がデータベースファイルの 1 つを開けませんでした。

ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。

エラー定数	SQLE_ROLLBACK_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-221
SQLSTATE	3B002
Sybase エラーコード	13654

考えられる原因

アトミック操作内で、ROLLBACK TO SAVEPOINT をアトミック操作前に確立されたセーブポイントに対して実行しようとしました。

ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_GROUPING_EXPRESSIONS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-944
SQLSTATE	42WA1
Sybase エラーコード	13544

考えられる原因

要求された ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対して、GROUP BY リストで指定した式が多すぎます。SQL Anywhere を実行している現在の環境では、この数の式は、要求した操作に対して GROUP BY リストで使用できません。

RSA の暗号化されたパスワードを使用した TDS ログイン要求は、ノンスも使用する必要があります。

エラー定数	SQLE_RSA_ENCRYPTED_TDS_LOGIN_MUST_HAVE_NONCE
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1701
SQLSTATE	28W23
Sybase エラーコード	12434

考えられる原因

RSA 暗号化された臨時のパスワードを使用しないクライアントで TDS ログインを実行しようとしました。現在の TDS ログイン設定では、臨時ではない RSA 暗号化 TDS ログイン要求は行えません。tdsl サーバオプション設定を変更するか、または RSA 暗号化された臨時のパスワードをサポートする TDS クライアントを使用して接続してください。

その他の情報

- 「-tdsl データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

SELECT INTO を最適化しているときに検出された警告はエラーとして処理されます。

エラー定数	SQLE_SELECT_INTO_WARNING_TREATED_AS_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-995
SQLSTATE	WP016
Sybase エラーコード	13495

考えられる原因

クエリの最適化中に警告が検出された場合、SELECT...INTO #TEMPTABLE 文を続行できません。この問題を修正するには、INTO 句を削除してクエリをテストし、報告された警告を解決してください。

SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません

エラー定数	SQLE_UPDATE_NOT_IN_SELECT
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	SELECT 句にないカラムの名前。
重大度	15
SQLCODE	-815
SQLSTATE	42W38
Sybase エラーコード	7740

考えられる原因

SELECT リストに明示的にないカラムを更新しようとしました。ansi_update_constraints オプションは、この更新が許可されるかどうかを制御します。

SELECT 文以外は記述できません。

エラー定数	SQLE_DESCRIBE_NONSELECT
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	16
SQLCODE	-160
SQLSTATE	07005
Sybase エラーコード	3819

考えられる原因

C 言語インタフェースで、SELECT 文以外の文の SELECT リストを記述しようとしました。Ultra Light では、SELECT 以外の文のスキーマを取り出そうとするとこのエラーが発生する可能性があります。

その他の情報

- 「DESCRIBE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

SELECT 文が複数行を返しています。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_RECORDS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-185
SQLSTATE	21000
Sybase エラーコード	13637

考えられる原因

SELECT 文をカーソルなしで使用しようとしましたが、文カーソルは複数のローを返しました。このコンテキストでは、単一のローの SELECT 文だけを使用できます。

SELECT リストに NULL 入力可能な式に対する SUM 関数は含まれていますが、同じ式に対する COUNT 関数が含まれていないため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_COUNT_NULL_EXPR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1327
SQLSTATE	42WCE
Sybase エラーコード	13229

考えられる原因

定義に NULL 入力可の式に対する SUM 関数が含まれているが、同じ式に対する COUNT 関数は含まれていないマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

SELECT リストのカラムが多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_IN_SELECT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1235
SQLSTATE	54W13
Sybase エラーコード	13283

考えられる原因

SELECT リスト内の式が多すぎる文を実行しました。SELECT リスト内の式の数は 60000 個までに制限されています。

SELECT リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています

エラー定数	SQLE_SUBQUERY_SELECT_LIST
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-151
SQLSTATE	53023
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

複数のカラムを持つサブクエリを SELECT リストに入力しました。カラムが 1 つだけになるように SELECT リストを変更してください。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「サブクエリの使用」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- Ultra Light： 「式のサブクエリ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

SOAP ヘッダ '%1' の設定が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_SOAP_HEADER_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な SOAP ヘッダの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1114
SQLSTATE	42W86
Sybase エラーコード	13400

考えられる原因

無効な値を SOAP ヘッダに指定しました。

SQL 記述子名が正しくありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_DESCRIPTOR_NAME
ODBC 2 ステータス	33000
ODBC 3 ステータス	33000
重大度	21
SQLCODE	-642
SQLSTATE	33000
Sybase エラーコード	601

考えられる原因

まだ割り当てられていない記述子を解除しようとしました。

その他の情報

- 「DEALLOCATE DESCRIPTOR 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

SQL スクリプト DLL をロードできません。

エラー定数	SQLE_INVALID_SCRIPT_DLL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1150
SQLSTATE	WW091
Sybase エラーコード	13362

考えられる原因

SQL スクリプト DLL をロードできません。DLL がないか、見つかったバージョンが使用中のデータベースサーバのバージョンと一致しない可能性があります。

SQL の識別子が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_SQL_IDENTIFIER
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07W06
重大度	16
SQLCODE	-760
SQLSTATE	07W06
Sybase エラーコード	13771

考えられる原因

C 言語インタフェースを通して、無効な識別子を指定しました。たとえば、カーソル名に NULL 文字列を指定した可能性があります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「SQL Anywhere C API のサポート」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- SQL Anywhere： 「識別子」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light の識別子」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

SQL 文にエラーがあります。

エラー定数	SQLE_STATEMENT_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-132
SQLSTATE	26501
Sybase エラーコード	13629

考えられる原因

準備文の識別子が無効です。Embedded SQL では、OPEN または EXECUTE はエラーになります。

SQLDA 中のフィールドが足りません。

エラー定数	SQLE_SQLDA_TOO_SMALL
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07002
重大度	16
SQLCODE	-182
SQLSTATE	07002
Sybase エラーコード	13636

考えられる原因

要求された値をすべて検索するだけのフィールドが SQLDA にありません。

SQLDA に不正な sqllen フィールドがあります。

エラー定数	SQLE_INVALID_SQLLEN
ODBC 2 ステータス	HY090
ODBC 3 ステータス	HY090
重大度	16
SQLCODE	-856
SQLSTATE	07W08
Sybase エラーコード	13859

考えられる原因

SQLDA の sqllen フィールドに指定された長さが無効です。可変長のデータ型の長さには負の数を指定しないでください。DT_BINARY 型と DT_VARCHAR 型の長さは 1 より大きい必要があります。

SQLDA のデータ型が無効です。

エラー定数	SQLE_SQLDA_INVALID_DATATYPE

ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07W05
重大度	16
SQLCODE	-759
SQLSTATE	07W05
Sybase エラーコード	13770

考えられる原因

SQLDA 変数に指定したデータ型が無効です。

SQLDA フィールドがマルチロー SQLDA と矛盾しています。

エラー定数	SQLE_SQLDA_INCONSISTENT
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07W04
重大度	16
SQLCODE	-700
SQLSTATE	07W04
Sybase エラーコード	13721

考えられる原因

マルチロー SQLDA のローの一部または全部が、配列操作 (挿入、フェッチ、実行) に対して同等に定義されていません。指定されたカラムは、個々のローでは同じ (型、長さ) に定義する必要があります。

SRID %1 から %2 への変換はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_NO_XFORM_DEF
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	値の SRID。
パラメータ 2	変換対象の SRID。
重大度	16
SQLCODE	-1444
SQLSTATE	2FW37
Sybase エラーコード	13128

考えられる原因

値の空間参照系を指定されたターゲットに変換する方法はありません。

その他の情報

2 つの空間参照系の間で ST_Transform を呼び出そうとしたときに、片方または両方の SRS 定義に TRANSFORM DEFINITION (ALTER SPATIAL REFERENCE SYSTEM 文で TRANSFORMATION DEFINITION 句を使用した、PROJ.4 による投射記述を使用して指定) が存在しない場合に、このエラーが発生する可能性があります。また、ある SRID から別の SRID に CAST を実行するときにも、このエラーが発生する可能性があります。関連する SRS に TRANSFORMATION DEFINITION を追加する必要があります。または、両方の SRID で同じ座標系が使用されている場合には、ST_SRID メソッドを使用すれば、値そのものを変更することなく値の SRID を変更できます。

SRID %1 からの変換はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_NO_SRC_XFORM_DEF
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	値の SRID。
重大度	16
SQLCODE	-1445
SQLSTATE	2FW38
Sybase エラーコード	13127

考えられる原因

指定された空間参照系の値から変換する方法はありません。

その他の情報

- SQL Anywhere： ST_Geometry タイプの ST_SRID メソッド『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』
- SQL Anywhere： 「ALTER SPATIAL REFERENCE SYSTEM 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「空間データ型」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

SRID %1 は、地理空間参照系を識別しません。

エラー定数	SQLE_SLERR_NOT_GEOGRAPHIC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	空間参照系の識別子。
重大度	16
SQLCODE	-1477
SQLSTATE	2FW70
Sybase エラーコード	13095

考えられる原因

メソッド ST_Lat() と ST_Long() は、地理空間参照系に対してのみ使用できます。

SRID %1 は、テーブル '%3' のカラム '%2' によって参照されています。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRS_INUSE_TAB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	空間参照系の識別子。
パラメータ 2	参照カラムの名前。
パラメータ 3	参照元テーブルの名前。
重大度	16

SQLCODE	-1474
SQLSTATE	2FW67
Sybase エラーコード	13098

考えられる原因

指定された空間参照系は、テーブルのカラムによって使用されており、変更できません。

SRID %1 は、ドメイン "%3"."%2" によって参照されています。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRS_INUSE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	空間参照系の識別子。
パラメータ 2	ドメインの所有者。
パラメータ 3	ドメインの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1476
SQLSTATE	2FW69
Sybase エラーコード	13096

考えられる原因

指定された空間参照系は、ユーザ定義ドメインによって使用されており、変更できません。

SRID %1 は、プロシージャ '%3' のパラメータ '%2' によって参照されています。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRS_INUSE_PROC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	空間参照系の識別子。

パラメータ 2	参照するパラメータ名。
パラメータ 3	参照するプロシージャ名。
重大度	16
SQLCODE	-1475
SQLSTATE	2FW68
Sybase エラーコード	13097

考えられる原因

指定された空間参照系は、プロシージャのパラメータによって使用されており、変更できません。

SRID=%1 のジオメトリは、メソッド %2 ではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_ROUND_EARTH_UNSUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ジオメトリの SRID。
パラメータ 2	この SRID がサポートされていないメソッドの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1435
SQLSTATE	2FW28
Sybase エラーコード	13137

考えられる原因

指定されたメソッドでは、特定の空間参照系でのジオメトリがサポートされていません。たとえば、このメソッドでは曲面データがサポートされていない可能性があります。

ST_CircularString セグメントの %1 と %2 の間の中間点 (%3) は同一直線上にありますが、開始点と終了点の間にはありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_CIRC_COLLINEAR_MIDPOINT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ST_CircularString セグメントの開始ポイント。
パラメータ 2	ST_CircularString セグメントの終了ポイント。
パラメータ 3	ST_CircularString セグメントの指定された中間ポイント。
重大度	16
SQLCODE	-1516
SQLSTATE	2FF72
Sybase エラーコード	12588

考えられる原因

CircularString セグメントの中間ポイントが開始ポイントと終了ポイントを持つ共線である場合、その結果は開始ポイントと終了ポイント間の直線として解釈されます。この場合、中間ポイントは、開始ポイントと終了ポイント間の行セグメント上に位置している必要があります。

ST_CircularString は、%1 ポイントからは構築できません ('%2' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_CIRC_NUM_POINTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定された不正なポイント数。
パラメータ 2	エラーが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1410

SQLSTATE	2FF71
Sybase エラーコード	13162

考えられる原因

circularstring ジオメトリは、3 つのポイントと、オプションで指定できる任意の数のポイントペアで構成されている必要があります。

ST_Geometry 引数は、SQL 関数 %1 ではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_SPATIAL_IN_BUILTIN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	SQL 関数の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1478
SQLSTATE	2FW71
Sybase エラーコード	13094

考えられる原因

指定された SQL 関数では、ジオメトリパラメータはサポートされていません。

ST_MultiSurface には、交点が無効な要素が含まれています ("%1" 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_MULTISURF_I
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な ST_MultiSurface が検出されたメソッドまたはコンテキスト。
重大度	16

SQLCODE	-1502
SQLSTATE	2FW89
Sybase エラーコード	13601

考えられる原因

ST_MultiSurface の 2 つの ST_Surface 値の内部は、交差できません。ST_MultiSurface の任意の 2 つの要素の境界は、有限な数のポイント (行セグメントなどではなく) で交差できます。

その他の情報

- 「ST_Surface タイプ」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』
- 「ST_MultiSurface タイプ」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』

SYNCHRONIZE 文がタイムアウトになりました。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1377
SQLSTATE	5RW47
Sybase エラーコード	13193

考えられる原因

SYNCHRONIZE 文が、指定されたタイムアウト値内に完了しませんでした。詳細については、sp_get_last_synchronize_result() の呼び出し結果をチェックしてください。

sys または public ユーザ ID にログイン ID をマップすることはできません。

エラー定数	SQLE_LOGON_SYSMAP
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000

重大度	16
SQLCODE	-248
SQLSTATE	28W07
Sybase エラーコード	13696

考えられる原因

ログイン ID に SYS または PUBLIC を割り当てようとしました。

System V リソースを割り当てることができません。

エラー定数	SQLE_IQ_SYSTEM_V_FAILURE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	18
SQLCODE	-746
SQLSTATE	08W53
Sybase エラーコード	13759

考えられる原因

IQ が System V リソースを割り当てることができませんでした。使用していない System V セマフォと共有メモリのセグメントを削除するか、これらのリソースのオペレーティングシステム設定値を大きくしてください。

Table Parameterized ファンクションと V4 TableUDF は、このデータベースではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_TPF_UPGRADE_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1605

SQLSTATE	WP020
Sybase エラーコード	12500

考えられる原因

現在のデータベースにパラメータ化されたテーブル関数用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

TLS ON は、URL %1 と一緒には使用できません。

エラー定数	SQLE_LDAPUA_TLS_WITH_LDAPS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	セキュア LDAP を使用している LDAP URL。
重大度	16
SQLCODE	-1627
SQLSTATE	WW240
Sybase エラーコード	12479

考えられる原因

TLS ON で LDAP サーバが指定され、指定された LDAP URL でセキュア LDAP を使用しています。つまり、'ldap' ではなく 'ldaps' となっていますが、これは有効な組み合わせではありません。TLS ON か 'ldaps' の URL のどちらかを使用してください。

TLS ハンドシェイクに失敗しました。

エラー定数	SQLE_TLS_HANDSHAKE_FAILED
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-829
SQLSTATE	08W59

Sybase エラーコード	13835

考えられる原因

TLS ハンドシェイクプロセスでエラーが発生したため、接続に失敗しました。

Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。

エラー定数	SQLE_TSQL_OUTER_JOINS_DISABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1099
SQLSTATE	55W25
Sybase エラーコード	13416

考えられる原因

tsql_outer_joins 接続オプションの設定によって、クエリで Transact-SQL の外部ジョインを指定する機能が現在無効になっています。Transact-SQL の外部ジョインは、このリリースの SQL Anywhere では推奨されなくなりました。

Transact-SQL 機能がサポートされていません。

エラー定数	SQLE_TSQL_FEATURE_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-611
SQLSTATE	0AW02
Sybase エラーコード	176

考えられる原因

SQL Anywhere でサポートされていない Transact-SQL 機能を使用しようとしました。

Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョインタイプが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_TSQL_JOIN_TYPE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-681
SQLSTATE	52W24
Sybase エラーコード	305

考えられる原因

無効なジョインタイプが、Transact-SQL 外部ジョイン比較演算子のあるクエリによって使用されました。

Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_TSQL_OJ_EXPRESSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-680
SQLSTATE	52W23
Sybase エラーコード	301

考えられる原因

Transact-SQL 構文を使用するクエリの WHERE 句の式の中に、別のテーブルからカラムを参照しているサブクエリや式と、NULL 入力テーブルのカラムの比較が含まれています。

TREAT AS は拡張タイプでのみ使用できます。%1 を %2 として処理することはできません。

エラー定数	SQLE_TREAT_AS_ONLY_EXTENDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	変換できなかった値。
パラメータ 2	変換の対象となるデータ型の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1361
SQLSTATE	53020
Sybase エラーコード	13201

考えられる原因

値を別のデータ型として処理しようとしているときにエラーが発生しました。

TRUNCATE TABLE は許可されません：初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています

エラー定数	SQLE_TRUNCATE_TABLE_WITH_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	依存している初期化された即時マテリアライズドビューの名前。
パラメータ 2	TRUNCATE TABLE が実行されたテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1193
SQLSTATE	55W30
Sybase エラーコード	13322

考えられる原因

依存している初期化された即時マテリアライズドビューがあるテーブルでは、TRUNCATE TABLE は許可されません。

TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_TRUNCATE_VIEW
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-702
SQLSTATE	42W49
Sybase エラーコード	4708

考えられる原因

ビューに TRUNCATE TABLE を使用しようとしました。TRUNCATE TABLE はビューに使用できません。

TRUNCATE の後に value-sensitive カーソルが使用されています

エラー定数	SQLE_HOLD_CURSOR_AFTER_TRUNCATE
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-1241
SQLSTATE	24001
Sybase エラーコード	13273

考えられる原因

TRUNCATE の後、または COMMIT によってすべてのローが ON COMMIT DELETE ROWS として宣言されたテンポラリテーブルから削除された後、WITH HOLD で開かれた value-sensitive カーソルを使用しようとしました。

Ultra Light では使用できない機能です。

エラー定数	SQLE_NOT_SUPPORTED_IN_ULTRALITE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-749
SQLSTATE	0AW07
Sybase エラーコード	13762

考えられる原因

Ultra Light データベースでサポートされていない文を実行したり、機能を使用したりしようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード

Ultra Light データベースステータスがリストアされました。

エラー定数	SQLE_DATABASE_STATE_RESTORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	142
SQLSTATE	WW114
Sybase エラーコード	13276

考えられる原因

テンポラリファイルからデータベースステータスがリストアされました。これには、サスペンドされた接続、トランザクション、カーソルが含まれます。

その他の情報

- 「テンポラリテーブルの管理」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

Ultra Light データベース展開ファイルが無効です (コード : %1、ファイル : %2)

エラー定数	SQLE_ULTRALITE_DEPLOY_FILE_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	診断コード。
パラメータ 2	存在する場合、関連付けられているファイル名。
重大度	16
SQLCODE	-1625
SQLSTATE	WU002
Sybase エラーコード	12481

考えられる原因

Ultra Light のデータベース展開ファイルが無効です。これは、不正なファイルが展開された場合やファイルが破損している場合に発生します。診断コード 1 は、ファイルが展開ファイルでないこと、またはその後に破損したことを示します。診断コード 2 は、ファイルのサイズが無効であることを示します。

Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。

エラー定数	SQLE_CURSOR_RESTORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK

重大度	10
SQLCODE	134
SQLSTATE	WW041
Sybase エラーコード	13518

考えられる原因

カーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) が正しく開き、カーソル位置がサスペンド状態からリストアされました。

Ultra Light の起動時にデータベースリカバリが実行されました

エラー定数	SQLE_DATABASE_RECOVERED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	151
SQLSTATE	WW247
Sybase エラーコード	12423

考えられる原因

データベースファイルが正常に停止しませんでした。コミットされていないローがロールバックされています。この場合、アプリケーションの終了時に閉じられていない接続があります。

Ultra Light の接続がリストアされました。

エラー定数	SQLE_CONNECTION_RESTORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	133

SQLSTATE	WW040
Sybase エラーコード	13519

考えられる原因

接続が正しく行われ、トランザクションがサスペンド状態からリストアされました。

UNION、INTERSECT、または EXCEPT の Select リストの長さが一致していません。

エラー定数	SQLE_INVALID_UNION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-153
SQLSTATE	53026
Sybase エラーコード	205

考えられる原因

UNION、INTERSECT、または EXCEPT を指定しましたが、その操作の SELECT 文が select リストにカラム数と同じ数を持っていません。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「UNION 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「INTERSECT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「EXCEPT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「UNION 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UNLOAD_A_VIEW
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-643
SQLSTATE	WL004
Sybase エラーコード	13672

考えられる原因

UNLOAD TABLE がビューの名前で指定されています。UNLOAD TABLE は、テーブルのアンロードにだけ使用できます。

URI '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_URI
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な URI。
重大度	16
SQLCODE	-980
SQLSTATE	WW049
Sybase エラーコード	13509

考えられる原因

指定した URI は無効です。

URL '%1' とのバインドは失敗しました。報告されたもっとも新しい LDAP API エラーは、'%2' です。

エラー定数	SQLE_LDAPUA_BINDFAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	bind() で使用する LDAP URL。
パラメータ 2	LDAP API のエラーメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-1600
SQLSTATE	WW211
Sybase エラーコード	12506

考えられる原因

メッセージは、LDAP API クライアントから、LDAP のユーザ認証方式のコンテキストで報告されます。LDAP 管理者または Sybase テクニカルサポートは、これらの低レベルメッセージを使用して問題の解決方法を DBA に指示する場合があります。

USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SERVICE_PARM_UNSUPPORTED_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サポートされていないプロパティの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1024
SQLSTATE	42WAF
Sybase エラーコード	13486

考えられる原因

サポートされていないプロパティの USING 属性がサービス定義に含まれています。

USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。

エラー定数	SQLE_SERVICE_ATTR_COEXIST

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1026
SQLSTATE	42WB1
Sybase エラーコード	13484

考えられる原因

指定したサービスタイプのサービス定義では、USING 属性を FORMAT または GROUP 属性と一緒に指定できません。

VALIDATE 文はベーステーブルを参照しなければなりません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_VALIDATE_OBJECT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-720
SQLSTATE	42W51
Sybase エラーコード	13729

考えられる原因

VALIDATE 文は、ローカルベーステーブルを参照する必要があります。ビュー、IQ テーブル、またはリモートサーバのオブジェクトは参照できません。

VERIFY と RENAME を同時に使用することはできません。

エラー定数	SQLE_RENAME_WITH_VERIFY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	15
SQLCODE	-1398
SQLSTATE	42WE5
Sybase エラーコード	12599

考えられる原因

VERIFY によって DB 領域に書き込まれることはないため、DB 領域の名前変更は、リストア検証中は実行できません。

Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKB_PARSE_INCONSISTENT_ZM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーが検出されたバイナリ文字列内のバイトオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1420
SQLSTATE	2FW11
Sybase エラーコード	13152

考えられる原因

Well-Known-Binary 文字列に含まれている複数のジオメトリ間で、座標次元の数が異なっています。たとえば、あるポイントには Z 値があり、別のポイントには Z 値がありません。

Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 で無効なバイト順マーク %1 です

エラー定数	SQLE_SLERR_WKB_PARSE_INVALID_BOM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	バイトオーダーマークの値。
パラメータ 2	エラーが検出されたバイナリ文字列内のバイトオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1421
SQLSTATE	2FW12
Sybase エラーコード	13151

考えられる原因

Well-Known-Binary 文字列に無効なバイトオーダーマークが含まれています。このことは、Well-Known-Binary 形式ではないバイナリ文字列が使用されている場合に発生する可能性があります。

Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が親の有効なサブタイプではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKB_PARSE_TYPE_NOT_PERMITTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サポートされていないタイプコード値。
パラメータ 2	エラーが検出されたバイナリ文字列内のバイトオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1418
SQLSTATE	2FW09
Sybase エラーコード	13154

考えられる原因

Well-Known-Binary 文字列に親ジオメトリ内の子ジオメトリが含まれており、その子は、親によって許可されているいずれのタイプでもありません。

Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー：オフセット %2 のタイプコード %1 が無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKB_PARSE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サポートされていないタイプコード値。
パラメータ 2	エラーが検出されたバイナリ文字列内のバイトオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1417
SQLSTATE	2FW08
Sybase エラーコード	13155

考えられる原因

Well-Known-Binary 文字列に、サポートされていないタイプコードが含まれています。

Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー：入力の終わりが予期されているものと異なります。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKB_PARSE_UNEXPECTED_EOF
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1419
SQLSTATE	2FW10
Sybase エラーコード	13153

考えられる原因

Well-Known-Binary 文字列が短すぎました。

Well-Known-Text (WKT) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKT_PARSE_INCONSISTENT_ZM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーが検出された Well-Known-Text 文字列内のオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1414
SQLSTATE	2FW05
Sybase エラーコード	13158

考えられる原因

指定されたオフセットで、座標次元が混在していることが検出されました。たとえば、コレクション内のあるジオメトリには Z 値があり、別のジオメトリには Z 値がありません。

Window 関数が述語に使用されています。

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_WINDOW_PREDICATE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-964
SQLSTATE	42WA8
Sybase エラーコード	13526

考えられる原因

Window 関数が、SELECT 文の WHERE 句または HAVING 句で使用されています。SELECT 文を抽出テーブルにする、Window 関数を抽出テーブルの SELECT リストに設定する、または導出カラムを参照するように述語を変更することを検討してください。

Window 関数には ORDER BY が必要です。

エラー定数	SQLE_OBSOLETE_ORDERBY_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-965
SQLSTATE	42WA9
Sybase エラーコード	13525

考えられる原因

RANK 関数と RANGE キーワードを使用する Window 関数には、ORDER BY 句を指定する必要があります。

WITH DROP OBJECTS の使用は '%1' では許可されていません。

エラー定数	SQLE_WITH_DROP_OBJECTS_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	削除されるロールの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1561
SQLSTATE	28000
Sybase エラーコード	12544

考えられる原因

ロールとして拡張されたユーザでは WITH DROP OBJECTS を使用できません。

WITH NO SYSTEM PRIVILEGE INHERITANCE OPTION の使用は、%1 では許可されていません。

エラー定数	SQLE_INVALID_ROLE_GRANT_OPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロールの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1539
SQLSTATE	28000
Sybase エラーコード	12566

考えられる原因

WITH NO SYSTEM PRIVILEGE INHERITANCE OPTION は、継承不可のレガシー権限に対応するユーザ定義のロールによってのみ指定できます。

WRITETEXT は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています

エラー定数	SQLE_WRITETEXT_TABLE_WITH_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	依存している即時マテリアライズドビューの名前。
パラメータ 2	ベーステーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1203
SQLSTATE	55W32
Sybase エラーコード	13312

考えられる原因

依存している初期化された即時マテリアライズドビューがあるベーステーブルでは、WRITETEXT は許可されません。依存している初期化された即時マテリアライズドビューがあるベーステーブルでは、トリガを起動しないオペレーションは許可されません。

WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_TEXTPTR_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-608
SQLSTATE	22W03
Sybase エラーコード	7123

考えられる原因

WRITETEXT または READTEXT 文に無効な TEXTPTR 値を指定しました。

WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_TEXT_IMAGE_DATATYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-609
SQLSTATE	53W09
Sybase エラーコード	7139

考えられる原因

テキスト (text) またはイメージ (image) データを格納するように定義されていないカラムを WRITETEXT または READTEXT 文で参照しました。

XML 出力に制御文字があります。

エラー定数	SQLE_CONTROL_CHARACTER_IN_XML_OUTPUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-911
SQLSTATE	WX015
Sybase エラーコード	13573

考えられる原因

XML コンテンツを生成するときに、16 進数の 20 未満のスペース以外の文字が検出されました。XML コンテンツとして使用する前に、制御文字を含む文字列を Base64 でエンコードすることを検討してください。そのためには、FOR XML クエリまたは SQLX 関数で、LONG BINARY などの型に文字列をキャストします。

XML パーサエラー : %1

エラー定数	SQLE_XML_PARSER_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	XML パーサによって返されたエラーメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-888
SQLSTATE	WX002
Sybase エラーコード	13595

考えられる原因

XML インスタンスが正しく解析されるのは、XML 1.0 仕様の定義に従った正しい形式である場合だけです。

XMLGEN 評価が失敗しました。

エラー定数	SQLE_XMLGEN_EVALUATION_FAILURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-906
SQLSTATE	WX013
Sybase エラーコード	13577

考えられる原因

XQuery コンストラクタで参照される変数のいずれかが、引数のリストで見つかりませんでした。

XPath パーサエラー : %1

エラー定数	SQLE_XQUERY_PARSER_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	XPath パーサによって返されたエラーメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-892
SQLSTATE	WX003
Sybase エラーコード	13591

考えられる原因

XPath の式が正しくないか、現在サポートされていない機能を使用しています。

XQuery コンストラクタが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_XQUERY_CONSTRUCTOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-905
SQLSTATE	WX012
Sybase エラーコード	13578

考えられる原因

XMLGEN に最初の引数として渡された XQuery コンストラクタが無効です。

SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、あ～さ)

アイテム '%1' はすでに存在しています。

エラー定数	SQLE_NAME_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	S0001
ODBC 3 ステータス	42S01
パラメータ 1	すでに存在するアイテムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-110
SQLSTATE	52010
Sybase エラーコード	12006

考えられる原因

ファイル、テーブル、ビュー、カラム、制約、外部キー、またはパブリケーションを、既存のものと同じ名前を使って作成しようとしました。

アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。

エラー定数	SQLE_REQUEST_DENIED_NO_DATABASES
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	14
SQLCODE	-76
SQLSTATE	08W28
Sybase エラーコード	950

考えられる原因

現在、稼働中のデータベースがないため、サーバは要求を拒否しました。

アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。

エラー定数	SQLE_DOUBLE_REQUEST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-298
SQLSTATE	42W22
Sybase エラーコード	13663

考えられる原因

Embedded SQL で、処理中の要求があるのにデータベースに要求を送信しようとしました。データベースにアクセスしている各スレッドに対して個別の SQLCA および接続を使用するか、スレッド同期呼び出しを使用して SQLCA が一度に 1 つのスレッドのみによってアクセスされるようにしてください。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「マルチスレッドまたは再入可能コードでの SQLCA 管理」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- SQL Anywhere： 「複数の SQLCA」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- SQL Anywhere： 「SQLCA (SQL Communication Area)」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- SQL Anywhere： 「変更のキャンセル」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- Ultra Light： 「複数の SQLCA を使用した複数のデータベース接続の管理」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。

エラー定数	SQLE_DEREG_APP_IN_USE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-786
SQLSTATE	5RW25
Sybase エラーコード	13796

考えられる原因

アプリケーションに登録されているアクティブな接続があるにもかかわらず、アプリケーションの登録を取り消そうとしました。

アクティブなトレースイベントセッションが多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_ACTIVE_TRACE_SESSIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-1640

SQLSTATE	WE025
Sybase エラーコード	12467

考えられる原因

アクティブなトレースセッションが多すぎます。

値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。

エラー定数	SQLE_OVERFLOW_ERROR
ODBC 2 ステータス	22003
ODBC 3 ステータス	22003
パラメータ 1	オーバーフローを引き起こした値。
重大度	16
SQLCODE	-158
SQLSTATE	22003
Sybase エラーコード	220

考えられる原因

送信先カラムまたはホスト変数に対して大きすぎる値が、データベースに入力されたか、データベースからフェッチされました。たとえば、値 10 が、DECIMAL (3,2) フィールドに与えられました。

その他の情報

- 「CAST 関数 [データ型変換]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「SQL データ型」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「データ型変換」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「C ホスト変数型」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

値 %1 は座標系 %2 の範囲外です (SRS の境界 [%3, %4] を 50% 以上超過)

エラー定数	SQLE_SLERR_OBJECT_OUT_OF_SRS_BOUNDS
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	定義されている境界の外にある値。
パラメータ 2	範囲外の座標名。
パラメータ 3	空間参照系で許可されている最小値。
パラメータ 4	空間参照系で許可されている最大値。
重大度	16
SQLCODE	-1484
SQLSTATE	2FW79
Sybase エラーコード	13088

考えられる原因

空間参照系で指定された境界の外にあるポイントがジオメトリに含まれています。

値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。

エラー定数	SQLE_CONVERSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメータ 1	変換できなかった値。
パラメータ 2	変換の対象となるデータ型の名前。
重大度	16
SQLCODE	-157
SQLSTATE	53018
Sybase エラーコード	257

考えられる原因

値を別のデータ型に変換しようとしたときにエラーが発生しました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「データ型変換」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light データ型変換関数」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

値 '%1' をタイプ %2 として処理することはできません。動的タイプは %3 です。

エラー定数	SQLE_TREAT_AS_DYNAMIC_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	変換できなかった値。
パラメータ 2	変換の対象となるデータ型の名前。
パラメータ 3	変換できなかった値の型。
重大度	16
SQLCODE	-1362
SQLSTATE	53021
Sybase エラーコード	13200

考えられる原因

値を別のデータ型として処理しようとしているときにエラーが発生しました。値の動的タイプが変換先の型と一致していません。

値 '%2' は、'%1' フォーマット指定オプションの有効な設定ではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_FORMAT_SPECIFICATION_OPTION_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な値。
パラメータ 2	フォーマット指定オプション。

重大度	16
SQLCODE	-1433
SQLSTATE	2FW26
Sybase エラーコード	13139

考えられる原因

指定オプションによって値が受け入れられませんでした。

値がトランケートされました。

エラー定数	SQLE_TRUNCATED
ODBC 2 ステータス	01004
ODBC 3 ステータス	01004
重大度	10
SQLCODE	101
SQLSTATE	01004
Sybase エラーコード	7337

考えられる原因

値に対して十分大きくないホスト変数または SQLDA 変数に、データをフェッチしようとしました。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「インジケータ変数：トランケートされた値」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

圧縮エラー：%1

エラー定数	SQLE_COMPRESSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーメッセージ。

重大度	16
SQLCODE	-959
SQLSTATE	WW037
Sybase エラーコード	13529

考えられる原因

圧縮中にエラーが発生しました。

圧縮または暗号化の使用中は付加できません

エラー定数	SQLE_UNLOAD_CANNOT_APPEND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1187
SQLSTATE	WL012
Sybase エラーコード	13328

考えられる原因

圧縮または暗号化の使用中は、UNLOAD 文によってファイルに付加することはできません。compressed キーワードまたは encrypted キーワードが指定されたか、付加先のファイルが圧縮または暗号化されています。

アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。

エラー定数	SQLE_ATOMIC_OPERATION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-267

SQLSTATE	42W28
Sybase エラーコード	13640

考えられる原因

アトミック操作中に、COMMIT または ROLLBACK 文を実行しようとしました。

アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。

エラー定数	SQLE_RESULT_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-222
SQLSTATE	3BW02
Sybase エラーコード	13655

考えられる原因

アトミック複合文内で、INTO 句のない SELECT 文、または RESULT CURSOR 文を使用しました。

アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_REG_CONN
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-784
SQLSTATE	5RW23
Sybase エラーコード	13794

考えられる原因

指定した cookie に対してアプリケーション登録が見つかりませんでした。

暗号化 DLL "%1" をロードできません。

エラー定数	SQLE_MISSING_ENCRYPTION_DLL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードできなかった暗号化 DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-976
SQLSTATE	08W70
Sybase エラーコード	13513

考えられる原因

暗号化 DLL をロードしようとしましたが、失敗しました。

暗号化 DLL を初期化できませんでした : '%1'

エラー定数	SQLE_ENCRYPTION_INITIALIZATION_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	初期化に失敗した理由 (理由が判明している場合)。
重大度	19
SQLCODE	-984
SQLSTATE	WW053
Sybase エラーコード	13505

考えられる原因

暗号化 DLL を初期化しようとしましたが、失敗しました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「Encryption (ENC) 接続パラメータ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「トランスポートレイヤセキュリティ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： ULEnableAesFipsDBEncryption メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』

暗号化エラー：%1

エラー定数	SQLE_ENCRYPT_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	発生したエラーの説明。
重大度	11
SQLCODE	-895
SQLSTATE	08W66
Sybase エラーコード	13589

考えられる原因

暗号化中にエラーが発生しました。

暗号化が有効になっていません。

エラー定数	SQLE_ENCRYPTION_NOT_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1143
SQLSTATE	55W27
Sybase エラーコード	13370

考えられる原因

暗号化を有効にしないで暗号化を使用しようとしました。ULEnableAesDBEncryption または ULEnableAesFipsDBEncryption を呼び出して暗号化を有効にしてください。

その他の情報

- 「Ultra Light データベースのキャッシュサイズの調整」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- ULEnableAesDBEncryption メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』

暗号化が有効になっていません。

エラー定数	SQLE_ENCRYPTION_NOT_ENABLED_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	140
SQLSTATE	01005
Sybase エラーコード	13369

考えられる原因

暗号化キーを指定したが暗号化が有効になっておらず、データベースも暗号化されていません。

その他の情報

- 「Ultra Light データベースのキャッシュサイズの調整」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「Ultra Light Embedded SQL でのデータの暗号化」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

暗号化キーが不正であるか、見つかりません。

エラー定数	SQLE_BAD_ENCRYPTION_KEY
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	21

SQLCODE	-840
SQLSTATE	08W62
Sybase エラーコード	16846

考えられる原因

データベースはキーで暗号化されています。データベースを起動するためのキーが指定されていないか、指定されたキーが間違っていました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「-ek データベースオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「DatabaseKey (DBKEY) 接続パラメータ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「データベースの暗号化と復号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light DBKEY 接続パラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「データベースセキュリティ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

暗号化されていないパスワードを使用した TDS ログイン要求は許可されていません。

エラー定数	SQLE_UNENCRYPTED_TDS_LOGIN_REQUESTS_NOT_PERMITTED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1700
SQLSTATE	28W22
Sybase エラーコード	12435

考えられる原因

パスワードの RSA 暗号化を使用しないで TDS ログインを実行しようとしました。現在の TDS ログイン設定では、暗号化されていない TDS ログイン要求は行えません。tdsl サーバオプション設定を変更するか、RSA 暗号化パスワードを使用して接続してください。

その他の情報

- 「-tdsl データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません

エラー定数	SQLE_SECURE_CONNECTION_UNAVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1030
SQLSTATE	WW063
Sybase エラーコード	13480

考えられる原因

安全な HTTP 接続が試行されましたが、このプラットフォームではサポートされていません。

依存する即時マテリアライズドビューがあるテーブルでは、オペレーションは認められません。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPERATION_FOR_TBL_WITH_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1202
SQLSTATE	55W31
Sybase エラーコード	13313

考えられる原因

依存する即時マテリアライズドビューがあるテーブルには、要求されたオペレーションは適用できません。

依存する即時マテリアライズドビューのメンテナンスに失敗しました。

エラー定数	SQLE_MAINTENANCE_OF_IMV_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1219
SQLSTATE	42WC8
Sybase エラーコード	13298

考えられる原因

ベーステーブルに依存する即時マテリアライズドビューのメンテナンスに失敗しました。

位置 %1 が無効です (有効な値は %2～%3)。

エラー定数	SQLE_SLWARN_INVALID_POSITION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定された位置。
パラメータ 2	サポートされている最小の位置。
パラメータ 3	サポートされている最大の位置。
重大度	16
SQLCODE	-1489
SQLSTATE	01F01
Sybase エラーコード	13083

考えられる原因

指定された位置が無効です。位置は、指定された最小値と最大値の間である必要があります。

一致するテキストインデックスがありません。

エラー定数	SQLE_TEXT_NO_MATCHING_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1158
SQLSTATE	WT003
Sybase エラーコード	13355

考えられる原因

CONTAINS クエリで参照されているすべてのカラムに単一のテキストインデックスが存在する必要があります。

イベント '%1' がすでに存在します。

エラー定数	SQLE_EVENT_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	すでに存在するイベントの名前。
重大度	16
SQLCODE	-772
SQLSTATE	WE002
Sybase エラーコード	13782

考えられる原因

データベースにすでに存在する名前でイベントを作成しようとしました。

イベント '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_EVENT_NOT_FOUND

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-771
SQLSTATE	WE001
Sybase エラーコード	13781

考えられる原因

データベースに存在しない名前でイベントを参照しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「イベント」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

イベント '%1' の開始日時が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_EVENT_START
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	15
SQLCODE	-793
SQLSTATE	WE007
Sybase エラーコード	13803

考えられる原因

イベントの開始日に無効な日付を指定しました。

イベント '%1' は使用中です。

エラー定数	SQLE_EVENT_IN_USE

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	使用中のイベントの名前。
重大度	16
SQLCODE	-835
SQLSTATE	WE009
Sybase エラーコード	13841

考えられる原因

現在使用中のイベントを削除しようとしました。

イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SCHEDULE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったスケジュールの名前。
パラメータ 2	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-773
SQLSTATE	WE003
Sybase エラーコード	13783

考えられる原因

指定したイベントに関して、データベースに存在していない名前でスケジュールを参照しようとしました。

イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_SCHEDULE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	すでに存在するスケジュールの名前。
パラメータ 2	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	16
SQLCODE	-774
SQLSTATE	WE004
Sybase エラーコード	13784

考えられる原因

指定したイベントに関して、データベースですでに存在する名前でスケジュールを作成しようとしました。

イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_EVENT_TIME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	時刻の値。
パラメータ 2	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	15
SQLCODE	-792
SQLSTATE	WE006
Sybase エラーコード	13802

考えられる原因

無効な起動時刻や終了時刻でスケジュールを作成しようとしました。

イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_EVENT_DAY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	曜日または日付。
パラメータ 2	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	15
SQLCODE	-791
SQLSTATE	WE005
Sybase エラーコード	13801

考えられる原因

無効な曜日または日付でスケジュール作成しようとしました。

イベントオブジェクト名 '%1' は無効です

エラー定数	SQLE_INVALID_EVENT_OBJECT_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	イベントオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1264
SQLSTATE	WE015
Sybase エラーコード	13246

考えられる原因

指定された名前は、イベントオブジェクト (通知キューまたはユーザイベント) では無効です。名前は、長さ 32 文字 (バイト) までに制限され、「*」や「@」など、特定の文字を使用することはできません。

その他の情報

- Ultra Light： 「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

イベント通知キュー '%1' が満杯なため、通知は破棄されました

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATION_QUEUE_FULL
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	イベント通知キューの名前。
重大度	10
SQLCODE	146
SQLSTATE	WE011
Sybase エラーコード	13785

考えられる原因

指定されたキューが満杯であり、キューから通知が読み込まれるまでイベント通知を受信しません。保留中の通知は廃棄されています。

その他の情報

- Ultra Light： 「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

イベント通知キュー '%1' が見つかりません

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATION_QUEUE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	イベント通知キューの名前。
重大度	11

SQLCODE	-1263
SQLSTATE	WE014
Sybase エラーコード	13247

考えられる原因

指定されたイベント通知キューは見つかりませんでした。操作が失敗しました。

その他の情報

- Ultra Light： 「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

イベント通知キュー '%1' に警告は見つかりません

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATION_QUEUE_NOT_FOUND_WARN
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	イベント通知キューの名前。
重大度	10
SQLCODE	148
SQLSTATE	WE013
Sybase エラーコード	13248

考えられる原因

指定されたイベント通知キューは見つかりませんでした。操作はスキップされます。

その他の情報

- Ultra Light： 「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

イベントパラメータ '%1' が見つかりません

エラー定数	SQLE_EVENT_PARAMETER_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	イベントパラメータの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1267
SQLSTATE	WE018
Sybase エラーコード	13243

考えられる原因

イベント通知に、指定されたイベントパラメータが見つかりませんでした。

その他の情報

- Ultra Light： 「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

インスタンス化 '%1' は過負荷に一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。

エラー定数	SQLE_METHOD_NO_CONSTRUCTOR_OVERLOAD
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	新しい指定で使用されるタイプ名とデータ型。
パラメータ 2	無効な式。
パラメータ 3	使用可能なコンストラクタのオーバロード。
重大度	11
SQLCODE	-1341
SQLSTATE	42X06
Sybase エラーコード	13215

考えられる原因

新しい指定と一致させようとしているときに、指定された引数タイプに一致する定義済みコンストラクタオーバロードが見つかりませんでした。CAST を使用して適切な呼び出しを選択することが必要となる場合があります。

インデックス '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_INDEX_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0012
ODBC 3 ステータス	42S12
パラメータ 1	見つからなかったインデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-183
SQLSTATE	52W03
Sybase エラーコード	6226

考えられる原因

存在しないインデックスを使用して、操作を実行しようとしました。スペルが間違っていないかチェックしてください。インデックス名をユーザ ID で修飾する必要があるかどうかをチェックしてください。

その他の情報

- 「データベースオブジェクトの名前とプレフィクス」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

インデックス '%1' にはカラムがありません

エラー定数	SQLE_INDEX_HAS_NO_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	インデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1274
SQLSTATE	0EW01
Sybase エラーコード	13884

考えられる原因

カラムなしのインデックスを作成しようとしました。

インデックス '%1' をクラスタできません。

エラー定数	SQLE_CLUSTERED_INDEX_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	クラスタドインデックスにできなかったインデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-878
SQLSTATE	42W74
Sybase エラーコード	13889

考えられる原因

クラスタドインデックス (キーインデックスを含む) を作成しようとしましたが、新しいインデックスを作成できませんでした。理由としては、たとえばテーブルにクラスタドインデックスがすでにあることが考えられます。

インデックスのカラムを変更することはできません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_IN_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-127
SQLSTATE	53W05
Sybase エラーコード	4939

考えられる原因

プライマリキーまたは外部キーの一部であるカラムの定義を、削除または修正しようとしました。インデックスのあるカラムを削除しようとしました。この場合は、インデックスまたはキーを削除し、ALTER 文を実行して、インデックスまたはキーを元に戻してください。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「プライマリキー」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「外部キー」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light のテーブルとカラム」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

インデックス名 '%1' があいまいです。

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_INDEX_NAME
ODBC 2 ステータス	S0011
ODBC 3 ステータス	42S11
パラメータ 1	あいまいなインデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-678
SQLSTATE	52W40
Sybase エラーコード	1921

考えられる原因

文がユニークでないインデックス名を参照しました。インデックス名には、はじめにテーブル名か所有者名またはその両方を付けてください。

その他の情報

- Ultra Light： 「CREATE INDEX 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

インデックス名 '%1' はユニークではありません。

エラー定数	SQLE_INDEX_NAME_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	S0011
ODBC 3 ステータス	42S11
パラメータ 1	無効なインデックスの名前。

重大度	16
SQLCODE	-111
SQLSTATE	52W04
Sybase エラーコード	1921

考えられる原因

既存のインデックスと同じ名前を使って、インデックスを作成しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「CREATE INDEX 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「CREATE INDEX 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ウィンドウ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_WINDOW_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったウィンドウの名前。
重大度	16
SQLCODE	-947
SQLSTATE	42WA3
Sybase エラーコード	13541

考えられる原因

SELECT 文のウィンドウリストで定義されていないウィンドウ名を参照しようとしました。

ウィンドウ '%1' では、ORDER BY は許可されません。

エラー定数	SQLE_ORDERBY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	ウィンドウの名前。
重大度	16
SQLCODE	-949
SQLSTATE	42WA5
Sybase エラーコード	13539

考えられる原因

インラインのウィンドウ指定から既存のウィンドウ名が参照されるときに、インラインのウィンドウまたは参照されるウィンドウのいずれかに ORDER BY がある場合があります。

ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。

エラー定数	SQLE_FRAME_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ウィンドウの名前。
重大度	16
SQLCODE	-950
SQLSTATE	42WA6
Sybase エラーコード	13538

考えられる原因

インラインのウィンドウ指定から参照されるウィンドウでは、フレームを使用できません。

ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。

エラー定数	SQLE_PARTITIONBY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	ウィンドウの名前。
重大度	16
SQLCODE	-948
SQLSTATE	42WA4
Sybase エラーコード	13540

考えられる原因

インラインのウィンドウ指定から既存のウィンドウ名が参照されるときは、インラインの指定に PARTITION BY 句を含めないでください。

埋め込まれた SRID (%1) が指定された SRID (%2) と競合しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRID_CONFLICT_EMBED_PARAM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	解析された文字列内の SRID。
パラメータ 2	パラメータとして指定された SRID。
重大度	16
SQLCODE	-1426
SQLSTATE	2FW19
Sybase エラーコード	13146

考えられる原因

空間メソッドの SRID パラメータとは異なる組み込み SRID を持つ文字列が、そのメソッドに対する呼び出しに含まれていました。

埋め込まれた SRID が矛盾しています (%1 と %2)。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRID_CONFLICT_EMBED_EMBED
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	1 番目の SRID。
パラメータ 2	2 番目の SRID。
重大度	16
SQLCODE	-1427
SQLSTATE	2FW20
Sybase エラーコード	13145

考えられる原因

文字列表現のジオメトリに、複数の異なる空間参照系のオブジェクトが含まれています。

埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサと、データベースインタフェースライブラリのバージョンが適合しません。

エラー定数	SQLE_PP_DBLIB_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	08801
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	21
SQLCODE	-230
SQLSTATE	08W18
Sybase エラーコード	13657

考えられる原因

実行プログラムが、データベースインタフェースライブラリと一致しないバージョンの sqlpp で前処理された Embedded SQL のソースファイルを保有しています。

エイリアス '%1' がユニークではありません。

エラー定数	SQLE_ALIAS_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	37000

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エイリアスの名前。
重大度	15
SQLCODE	-830
SQLSTATE	42W60
Sybase エラーコード	13836

考えられる原因

同じエイリアスが SELECT リストで 2 回以上使用されています。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「クエリ結果にある名前が変更されたカラム」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。

エラー定数	SQLE_ALIAS_NOT_YET_DEFINED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エイリアスの名前。
重大度	15
SQLCODE	-831
SQLSTATE	42W61
Sybase エラーコード	13837

考えられる原因

式にエイリアスへの参照が入っていますが、このエイリアスは、SELECT リストの後の部分で定義されています。エイリアスへの参照の前にエイリアスを定義してください。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「クエリ結果にある名前が変更されたカラム」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

エスケープシーケンス '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ESCAPE_SEQ
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	22025
パラメータ 1	エスケープ文字。
重大度	16
SQLCODE	-630
SQLSTATE	22025
Sybase エラーコード	7705

考えられる原因

LIKE パターンで使用されているエスケープ文字が無効です。エスケープ文字に続く文字は、特殊文字の '%'、'_'、'[' またはエスケープ文字そのものです。

エスケープ文字 '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ESCAPE_CHAR
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	22019
パラメータ 1	無効なエスケープ文字。
重大度	16
SQLCODE	-629
SQLSTATE	22019
Sybase エラーコード	7707

考えられる原因

エスケープ文字の文字長は 1 バイトにしてください。

エスケープ文字 '%1' が矛盾しています。

エラー定数	SQLE_ESCAPE_CHARACTER_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	2200B
パラメータ 1	無効なエスケープ文字。
重大度	16
SQLCODE	-1137
SQLSTATE	2200B
Sybase エラーコード	13376

考えられる原因

指定されたエスケープ文字は使用できません。

エスケープ文字 '%1' の使用が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_USE_OF_ESCAPE_CHARACTER
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	2200C
パラメータ 1	無効なエスケープ文字。
重大度	16
SQLCODE	-1136
SQLSTATE	2200C
Sybase エラーコード	13377

考えられる原因

指定されたエスケープ文字は使用できません。

同じプライマリキーを持つ 2 つのローが、テーブル '%1' 用にダウンロードされています

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_ROW_FOUND_IN_DOWNLOAD
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	ダウンロードするテーブルの名前。
重大度	10
SQLCODE	145
SQLSTATE	01W27
Sybase エラーコード	13254

考えられる原因

同期スクリプトが、ダウンロードで同じプライマリキーを持つ重複ローを生成しています。この動作は、一般に、同期スクリプトに問題があることを示しています。ダウンロードされたローのうちのどれがデータベースに適用されるかについての保証はありません。

その他の情報

- 「同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバ管理』

オフセット %1 の Well-Known-Binary (WKB) の解析エラーです。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKB_PARSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーが検出されたバイナリ文字列内のバイトオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1407
SQLSTATE	2FF23
Sybase エラーコード	13165

 Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.0

考えられる原因

ジオメトリの Well-Known-Binary を解析中に、エラーが検出されました。

オフセット %1 のジオメトリ内部直列化の解析エラーです。

エラー定数	SQLE_SLERR_SERIAL_PARSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	内部直列化内のバイトオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1415
SQLSTATE	2FW06
Sybase エラーコード	13157

考えられる原因

内部直列化文字列の解析中にエラーが発生しました。

オフセット %2 の Well-Known-Text (WKT) スキャニング '%1' の解析エラーです。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKT_PARSE_NEAR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	問題が検出されたテキスト。
パラメータ 2	問題が検出された入力文字列内のオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1406
SQLSTATE	2FF22
Sybase エラーコード	13166

考えられる原因

ジオメトリの Well-Known-Text を解析中に、エラーが検出されました。

オフセット '%1' でのエラー：オブジェクトまたは配列ターミネータが一致しません

エラー定数	SQLE_PARSE_JSON_MISMATCH_TERMINATOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーが発生したオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1679
SQLSTATE	WX023
Sybase エラーコード	12444

考えられる原因

JSON オブジェクトまたは配列のターミネータの不一致が発生しました。

その他の情報

- 「sa_parse_json システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「クエリ結果を JSON として取り出すための FOR JSON 句の使用」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

オフセット '%1' でのエラー：無効なデータ

エラー定数	SQLE_PARSE_JSON_INVALID_DATA
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーが発生したオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1676

SQLSTATE	WX020
Sybase エラーコード	12447

考えられる原因

JSON オブジェクトまたは配列に無効なデータが含まれています。

その他の情報

- 「sa_parse_json システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「クエリ結果を JSON として取り出すための FOR JSON 句の使用」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

オフセット '%1' でのエラー：予期された JSON の名前と値のペア

エラー定数	SQLE_PARSE_JSON_EXPECTED_PAIR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーが発生したオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1678
SQLSTATE	WX022
Sybase エラーコード	12445

考えられる原因

JSON オブジェクト内で名前／値のペアが予期されていました。

その他の情報

- 「sa_parse_json システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「クエリ結果を JSON として取り出すための FOR JSON 句の使用」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

オフセット '%1' でのエラー：予期されたトークン '%2'

エラー定数	SQLE_PARSE_JSON_EXPECTED_TOKEN

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーが発生したオフセット。
パラメータ 2	予期されたトークン。
重大度	16
SQLCODE	-1677
SQLSTATE	WX021
Sybase エラーコード	12446

考えられる原因

予期されたトークンが JSON データ内にありませんでした。

その他の情報

- 「sa_parse_json システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「クエリ結果を JSON として取り出すための FOR JSON 句の使用」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

オフセット '%1' でのエラー：予期しない後続テキスト

エラー定数	SQLE_PARSE_JSON_UNEXPECTED_TEXT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーが発生したオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1675
SQLSTATE	WX019
Sybase エラーコード	12448

考えられる原因

JSON データの解析後に後続テキストが出現しました。

その他の情報

- 「sa_parse_json システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「クエリ結果を JSON として取り出すための FOR JSON 句の使用」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

オフセット '%1' でのエラー：予期しないトークン '%2'

エラー定数	SQLE_PARSE_JSON_UNEXPECTED_TOKEN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーが発生したオフセット。
パラメータ 2	予期しないトークン。
重大度	16
SQLCODE	-1674
SQLSTATE	WX018
Sybase エラーコード	12449

考えられる原因

カンマ、角カッコ、大カッコなどの予期しないトークンが出現しました。

その他の情報

- 「sa_parse_json システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「クエリ結果を JSON として取り出すための FOR JSON 句の使用」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。

エラー定数	SQLE_OBJECT_HAS_DEPENDENTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	削除または修正できなかったオブジェクトの名前。

パラメータ 2	削除または修正できなかったオブジェクトに依存するオブジェクトのタイプ。
パラメータ 3	削除または修正できなかったオブジェクトに依存するオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1037
SQLSTATE	55W16
Sybase エラーコード	13474

考えられる原因

削除または修正しようとしたテーブルまたはカラムなどのオブジェクトは、マテリアライズドビューなど別のオブジェクトで使用されているので、自動的に無効にできません。このオブジェクトに依存しているオブジェクトを無効にするか、削除すると、このオブジェクトを削除または修正できます。

オプション '%1' が認識されません

エラー定数	SQLE_UNRECOGNIZED_OPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1002
SQLSTATE	WW062
Sybase エラーコード	13494

考えられる原因

指定したオプションが認識されませんでした。このオプションのスペルが間違っている可能性があります。

その他の情報

- 「Ultra Light 接続文字列とパラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「Ultra Light の同期パラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「Ultra Light のネットワークプロトコルのオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「同期プロファイルオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

オプション '%1' が複数回指定されています

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_OPTION
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	重複するオプションの名前。
重大度	10
SQLCODE	139
SQLSTATE	01W26
Sybase エラーコード	13415

考えられる原因

特定のオプションを複数回指定しました。オプションの最後のインスタンスだけが使用され、その前のインスタンスは無視されます。

その他の情報

- 「Ultra Light 接続文字列とパラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「Ultra Light の同期パラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「Ultra Light のネットワークプロトコルのオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「同期プロファイルオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

オプション '%1' が無効です -- PUBLIC 設定がありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPTION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

パラメータ 1	無効なオプションの名前。
重大度	15
SQLCODE	-200
SQLSTATE	42W16
Sybase エラーコード	155

考えられる原因

SET OPTION 文のオプション名が間違っている可能性があります。ユーザに対してオプションを設定できるのは、そのオプションにデータベース管理者が PUBLIC 値を与えている場合だけです。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「SET OPTION 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「データベースオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light データベースオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「SET OPTION 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

オプション '%1' の設定が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPTION_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効なオプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-201
SQLSTATE	42W17
Sybase エラーコード	5849

考えられる原因

SET 文のオプションに無効な値が指定されました。数値だけを許可するオプションや、On と Off の値だけを許可するオプションがあります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「SET OPTION 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「SET OPTION 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。

エラー定数	SQLE_NOT_PUBLIC_ID
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-202
SQLSTATE	42W43
Sybase エラーコード	13685

考えられる原因

SET OPTION 文に指定したオプションは PUBLIC だけです。このオプションを他のユーザに定義することはできません。

オプション '%1' はテンポラリオプションとしてのみ設定できます。

エラー定数	SQLE_OPTION_IS_TEMP_ONLY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	設定できなかったオプションの名前。
重大度	14
SQLCODE	-216
SQLSTATE	42W52
Sybase エラーコード	5878

考えられる原因

SET OPTION 文で指定したオプションは、テンポラリオプションとしてのみ設定できます。

オプション '%1' はプロシージャ内から設定できません。

エラー定数	SQLE_OPTION_IN_PROCEDURE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	設定できなかったオプションの名前。
重大度	14
SQLCODE	-217
SQLSTATE	42W53
Sybase エラーコード	5878

考えられる原因

SET OPTION 文に指定したオプションは、プロシージャ内から設定できません。

オプションウォッチリストに含まれているため、データベースオプション "%1" を設定できません

エラー定数	SQLE_OPTION_ON_WATCH_LIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1180
SQLSTATE	WW096
Sybase エラーコード	13335

考えられる原因

オプションウォッチリストに含まれているデータベースオプションを設定しようとしました。オプションウォッチリストは、削除されているか旧式になっているオプションの参照を検出しやすくするために使用されます。

オプティマイザは有効なアクセスプランを構成できませんでした。

エラー定数	SQLE_CANNOT_OPTIMIZE_QUERY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	18
SQLCODE	-727
SQLSTATE	WI010
Sybase エラーコード	13730

考えられる原因

データベースサーバは、指定された要求に対して有効なアクセスプランを作成できませんでした。これは SQL Anywhere の内部エラーです。再現できた場合は、SAP Sybase に連絡してください。クエリ文を変更することによって、この問題を回避できます。

オペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_PUBLICATIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1106
SQLSTATE	WW077
Sybase エラーコード	13408

考えられる原因

必要なオペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます。たとえば、最終ダウンロードタイムスタンプを取り出すときは、パブリケーションを 1 つだけ選択できます。

親が開いていません：'%1'

エラー定数	SQLE_EXPLICIT_TAG_NOT_OPEN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	開いているタグの中にない親のタグ ID。
重大度	16
SQLCODE	-900
SQLSTATE	WX008
Sybase エラーコード	13581

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT と FOR JSON EXPLICIT には、ローが読み込まれたときに開かれるローの親のタグが必要です。FOR XML EXPLICIT 句または FOR JSON EXPLICIT 句を削除した状態で、クエリによって返されるローの順序を確認してください。

その他の情報

- 「FOR XML EXPLICIT」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「FOR JSON EXPLICIT」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

オープンカーソルが多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_CURSORS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-1230
SQLSTATE	54W12

Sybase エラーコード	13287

考えられる原因

単一の Ultra Light データベースで開いていることが可能なカーソルの数を超えました。文を使用し終わったら文を解放していることを確認してください。

その他の情報

- 「Embedded SQL を使用した Ultra Light C++ アプリケーション開発」『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- 「複数ローのフェッチ」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

解析エラー : %1

エラー定数	SQLE_INVALID_PARSE_PARAMETER
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	解析エラーの説明。
重大度	18
SQLCODE	-95
SQLSTATE	08W49
Sybase エラーコード	5864

考えられる原因

接続文字列を解析中にエラーが発生しました。

解析エラー : %1

エラー定数	SQLE_INVALID_DSN_NAME
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	無効なデータソース名。
重大度	18

SQLCODE	-754
SQLSTATE	08W54
Sybase エラーコード	5864

考えられる原因

接続文字列で無効なデータソース名が使用されました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「接続パラメータと接続文字列」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「接続パラメータ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light 接続文字列とパラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light 接続パラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

解凍エラー：%1

エラー定数	SQLE_DECOMPRESSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-960
SQLSTATE	WW038
Sybase エラーコード	13530

考えられる原因

解凍中にエラーが発生しました。

仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_VIRTUAL_INDEX_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	仮想インデックスのカラムの最大数。
重大度	16
SQLCODE	-887
SQLSTATE	54W50
Sybase エラーコード	13597

考えられる原因

最大数を超えるカラム数で仮想インデックスを作成しようとしました。

カラム "%1" で外部事前フィルタライブラリのあるテキストインデックスを作成できませんでした。

エラー定数	SQLE_TEXT_INDEX_PREFILTER_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	外部事前フィルタライブラリが許可されていないカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1493
SQLSTATE	WT031
Sybase エラーコード	13210

考えられる原因

テキストインデックス内のいずれかのカラムがバイナリまたは文字列データ型でない場合、外部事前フィルタライブラリのないテキスト設定オブジェクトが必要です。

その他の情報

- 「テキスト設定オブジェクトの作成または変更時の指定項目」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「CREATE TEXT CONFIGURATION 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

カラム "%1" で外部事前フィルタライブラリのないテキストインデックスを作成できませんでした。

エラー定数	SQLE_TEXT_INDEX_NO_PREFILTER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	外部事前フィルタライブラリを必要とするカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1492
SQLSTATE	WT030
Sybase エラーコード	13198

考えられる原因

バイナリカラムにテキストインデックスを構築するには、指定された外部事前フィルタライブラリを持つテキスト設定オブジェクトが必要です。

その他の情報

- 「テキスト設定オブジェクトの作成または変更時の指定項目」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「CREATE TEXT CONFIGURATION 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

カラム '%1' が複数のテーブルで見つかったか、SELECT リストの中に 2 つ以上使用されています。相関名が必要です

エラー定数	SQLE_COLUMN_AMBIGUOUS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	あいまいなカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-144
SQLSTATE	52002

Sybase エラーコード	209

考えられる原因

クエリブロックで参照されている複数のテーブルに存在するか、またはクエリブロックの SELECT リストで複数回使用されているカラムに対して相関名を指定していません。このカラムに相関名を追加する必要があります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「複数の外部キー関係がある場合のキージョイン」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- Ultra Light： 「式内のカラム名」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

カラム '%1' が変数 '%2' に見つかりません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_NOT_FOUND_IN_VARIABLE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S22
パラメータ 1	見つからなかったカラムの名前。
パラメータ 2	カラムを含んでいると予想されたロー変数の名前
重大度	11
SQLCODE	-1595
SQLSTATE	52006
Sybase エラーコード	13853

考えられる原因

カラムまたは変数の名前のスペルが間違っているか、変数のスキーマが想定と異なります。

カラム '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S22
パラメータ 1	見つからなかったカラムの名前。

重大度	16
SQLCODE	-143
SQLSTATE	52003
Sybase エラーコード	207

考えられる原因

カラム名のスペルを間違えたか、探しているカラムは別のテーブルにあります。

カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。

エラー定数	SQLE_OMNI_DATATYPE_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラム名。
重大度	12
SQLCODE	-721
SQLSTATE	WO015
Sybase エラーコード	11209

考えられる原因

CREATE EXISTING 文で指定されたカラムのデータ型は、リモートテーブルにあるカラムの実際のデータ型と互換性がありません。

カラム '%1' に指定された長さは実際の長さと異なります。

エラー定数	SQLE_OMNI_LENGTH_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	カラム名。

重大度	16
SQLCODE	-723
SQLSTATE	WO017
Sybase エラーコード	11210

考えられる原因

CREATE EXISTING 文で指定されたカラムの長さがリモートテーブル内のカラムの長さと異なります。

カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_SET_CLAUSE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S03
パラメータ 1	無効な SET 句。
重大度	15
SQLCODE	-846
SQLSTATE	42U03
Sybase エラーコード	13852

考えられる原因

同じカラムに対して SET 句が複数あるなど、UPDATE 文に無効な SET 句が含まれています。

カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません

エラー定数	SQLE_COLUMN_NOT_INDEXED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	インデックスで見つからなかったカラムの名前。

重大度	16
SQLCODE	-1101
SQLSTATE	WW073
Sybase エラーコード	13413

考えられる原因

指定したカラムは、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません。

カラム '%1' はリモートテーブルに存在しません。

エラー定数	SQLE_OMNI_NOSUCH_COLUMN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラムの名前。
重大度	11
SQLCODE	-722
SQLSTATE	WO016
Sybase エラーコード	11208

考えられる原因

CREATE EXISTING 文内で指定されるカラムがリモートテーブルにありません。

カラム数が少なすぎます。

エラー定数	SQLE_FOR_XML_EXPLICIT_TOO_FEW_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-902

SQLSTATE	WX010
Sybase エラーコード	13581

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT と FOR JSON EXPLICIT には、タグのカラム、親のカラム、1 つ以上のデータカラムの 3 つのカラムが少なくとも必要です。

その他の情報

- 「FOR XML EXPLICIT」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

カラム番号が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_COLUMN_NUMBER
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-159
SQLSTATE	42W13
Sybase エラーコード	182

考えられる原因

無効なカラム番号を指定したか、探しているカラムは別のテーブルにあります。

カラムまたは変数 '%1' のデータ型はサポートされていません

エラー定数	SQLE_OMNI_UNSUPPORTED_DATATYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラムまたは変数の名前。
重大度	12
SQLCODE	-736

SQLSTATE	WO022
Sybase エラーコード	11205

考えられる原因

リモートテーブルでサポートされていないデータ型を使用してカラムが定義されています。または USING 句および LOCATION 句でサポートされていないデータ型を使用して変数が定義されています。

カラム名は %1 でなければなりません。

エラー定数	SQLE_NO_XML_IDENTIFIER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	名前を付ける必要があるカラムの番号。
重大度	16
SQLCODE	-874
SQLSTATE	WX001
Sybase エラーコード	13880

考えられる原因

名前のないカラムは、XML 要素名または属性名として使用できません。名前のない JSON カラムは、タグと親を定義する最上位レベルの SELECT 内でのみ使用できます。このコンテキストでは、名前のないカラムは特定のカラム用の JSON オブジェクトではなく、JSON 値を生成するためのディレクティブです。AS を使用して、SELECT リストの名前のないカラムに名前を付けてください。

その他の情報

- FOR XML 句： 「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- FOR JSON 句： 「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

監査用のトランザクションログファイルが必要です。

エラー定数	SQLE_AUDITING_WITHOUT_TRANSACTION_LOG
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-913
SQLSTATE	42W91
Sybase エラーコード	13571

考えられる原因

このデータベースは、トランザクションログファイルを使用せずに実行されています。トランザクションログユーティリティ (dblog) を使用してトランザクションログファイルを作成してから、監査を行ってください。

その他の情報

- 「データベースアクティビティの監査」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「トランザクションログユーティリティ (dblog)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

監視サーバ "%1" を削除または変更するにはパートナへの接続が必要です。

エラー定数	SQLE_MIRROR_DROP_ARBITER_REQUIRES_PARTNER_CONN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	監視サーバの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1632
SQLSTATE	WW242
Sybase エラーコード	12474

考えられる原因

パートナサーバに接続されていない監視に対する削除または変更が試行されました。

その他の情報

- 「監視サーバ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「ALTER MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「DROP MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

関数 '%1' での '%2' 句の使用は許可されません。

エラー定数	SQLE_FUNCTION_DOES_NOT_ALLOW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	関数の名前。
パラメータ 2	許可されていない SQL 句。
重大度	16
SQLCODE	-1330
SQLSTATE	42WE0
Sybase エラーコード	13226

考えられる原因

指定された SQL 句を使用しようとしましたが、この関数のコンテキストでは、このような使用方法は許可されていません。この関数は、クエリで直接使用されたか、名前付きウィンドウ内で間接的に使用された可能性があることに注意してください。

関数 '%1' では '%2' 句の使用が必須です。

エラー定数	SQLE_FUNCTION_REQUIRES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	関数の名前。
パラメータ 2	必須の SQL 句。
重大度	16
SQLCODE	-1331
SQLSTATE	42WE1
Sybase エラーコード	13225

考えられる原因

指定された関数を必須 SQL 句を使用せずにその関数のコンテキストで呼び出そうとしました。この関数は、クエリで直接使用されたか、名前付きウィンドウ内で間接的に使用された可能性があることに注意してください。

関数 '%1' のパラメータ数が誤りです。

エラー定数	SQLE_WRONG_PARAMETER_COUNT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	関数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-154
SQLSTATE	37505
Sybase エラーコード	174

考えられる原因

データベース関数に与えたパラメータの数が違っています。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「SQL 関数」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light SQL 関数」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

関数 '%1' は不明です。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_FUNC
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	データベース関数ではない関数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-148
SQLSTATE	42W05

Sybase エラーコード	176

考えられる原因

クエリ定義またはクエリカラム名中で、データベース関数の名前を間違えています。たとえば、MAX の代わりに MAXIMUM を使っています。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「SQL 関数」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light SQL 関数」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

関数またはプロシージャ '%1' に引数が多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_ARGUMENTS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	関数またはプロシージャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-994
SQLSTATE	42WAC
Sybase エラーコード	401

考えられる原因

データベースサーバで処理できない引数リストを指定しました。これは、関数またはストアドプロシージャの引数リストが長すぎる場合に起こることがあります。ページサーズを大きくしてデータベースを再構築すると、このエラーを防ぐことができます。

カーソルオプションの値が変更されました。

エラー定数	SQLE_CURSOR_OPTIONS_CHANGED
ODBC 2 ステータス	01S02
ODBC 3 ステータス	01S02
重大度	10
SQLCODE	121

SQLSTATE	01S02
Sybase エラーコード	13857

考えられる原因

関連するクエリに対して要求されたカーソルオプションの値が、データベースサーバでサポートされていませんでした。類似したオプション設定で置き換えられました。

カーソルが宣言されていません。

エラー定数	SQLE_CURSOR_NOT_DECLARED
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-170
SQLSTATE	24W01
Sybase エラーコード	557

考えられる原因

宣言されていないカーソルを OPEN しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere : 「カーソルの原則」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- SQL Anywhere : 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere : 「DECLARE CURSOR 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

カーソルが開きません。

エラー定数	SQLE_CURSOR_NOT_OPEN
ODBC 2 ステータス	34000
ODBC 3 ステータス	34000
重大度	16
SQLCODE	-180

SQLSTATE	24501
Sybase エラーコード	559

考えられる原因

開いていないカーソルを使用しようとしました。

その他の情報

- 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「カーソルの原則」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

カーソルが有効な状態にありません。

エラー定数	SQLE_CURSOR_INVALID_STATE
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-853
SQLSTATE	24000
Sybase エラーコード	557

考えられる原因

操作に対して有効な状態でないカーソルを使用しようとしました。たとえば、カーソルにエラーが発生している可能性があります。Ultra Light では、準備文の結果セット (カーソル) が開いている状態で、その文にパラメータを設定しようとすると、このエラーが発生します。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「カーソルの使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- SQL Anywhere： 「準備文」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- Ultra Light： ULPreparedStatement クラス [Ultra Light C++]『Ultra Light C/C++ プログラミング』

カーソルでローをユニークに識別できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UNIQUELY_IDENTIFY_ROWS
ODBC 2 ステータス	42000

ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-295
SQLSTATE	09W05
Sybase エラーコード	311

考えられる原因

ローをユニークに識別するカラムセットが作成できない SELECT 文で、UNIQUE カーソルを開きました。テーブルの 1 つがプライマリキーまたは一意性制約で定義できません。あるいは SELECT 文に UNION、INTERSECT、EXCEPT、または GROUP BY が含まれています。

カーソルの INSERT/DELETE は、1 つのテーブルしか変更できません。

エラー定数	SQLE_ONLY_ONE_TABLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-199
SQLSTATE	09W04
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

複数のテーブルの値を指定して、カーソルに INSERT を行おうとしました。またはジョインを含むカーソルから DELETE を行おうとしました。INSERT は一度に 1 つのテーブルに対して行ってください。DELETE の場合は、FROM 句を使ってどのテーブルから削除するのかを指定してください。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「INSERT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「DELETE 文 (位置付け) [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「カーソルの使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- Ultra Light： 「INSERT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「DELETE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

カーソルのオープンがエラーになりました。

エラー定数	SQLE_OPEN_CURSOR_ERROR
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	15
SQLCODE	-171
SQLSTATE	07003
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

SELECT、CALL、または EXEC ではない文でカーソルを開こうとしました。

カーソルの現在のローがありません。

エラー定数	SQLE_NO_CURRENT_ROW
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-197
SQLSTATE	24503
Sybase エラーコード	560

考えられる原因

カーソルの現在のローで操作をしようとしましたが、カーソルがロー上にありませんでした。カーソルは、カーソルの先頭のローの前か、末尾のローの後か、削除されたローの中にあります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「カーソルの使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- Ultra Light： 「複数ローのフェッチ」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。

エラー定数	SQLE_NO_SCROLL_CURSOR
ODBC 2 ステータス	S1106
ODBC 3 ステータス	HY106
重大度	16
SQLCODE	-668
SQLSTATE	09W06
Sybase エラーコード	13710

考えられる原因

NO SCROLL カーソルで無効な FETCH 操作が検出されました。前方専用カーソルの場合、許可されている FETCH 操作は FETCH RELATIVE 0 と FETCH NEXT (FETCH RELATIVE 1) だけです。

カーソルはすでに開いています。

エラー定数	SQLE_CURSOR_ALREADY_OPEN
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-172
SQLSTATE	24502
Sybase エラーコード	558

考えられる原因

すでに開いているカーソルを OPEN しようとしました。

その他の情報

- 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「カーソルの原則」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

カーソル名 '%1' はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_CURSOR_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カーソルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-683
SQLSTATE	WJ004
Sybase エラーコード	13714

考えられる原因

カーソルをすでに存在している名前で宣言しようとしました。カーソル名は 1 つの接続内で必ずユニークにしてください。

その他の情報

- 「カーソルの使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

外部オブジェクト '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_EXTENV_OBJECT_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	Java クラスまたは外部オブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-810
SQLSTATE	42W57
Sybase エラーコード	13820

考えられる原因

この名前の Java クラスまたは外部オブジェクトはデータベースには存在しません。

外部環境 '%1' が見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_EXTERN_ENV_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	外部環境の名前。
重大度	11
SQLCODE	-1205
SQLSTATE	WJ030
Sybase エラーコード	13310

考えられる原因

追加されていない外部環境に対してオブジェクトを定義しようとしました。

外部環境は結果セットをサポートしていません。

エラー定数	SQLE_EXTERN_ENV_NO_RESULT_SET_SUPPORT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-1213
SQLSTATE	WJ031
Sybase エラーコード	13301

考えられる原因

結果セットをサポートしていない外部環境に対して動的結果セットを定義しようとしました。

外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティングシステムが一致しません。

エラー定数	SQLE_EXTERNAL_PLATFORM_FAILURE

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-618
SQLSTATE	WW004
Sybase エラーコード	13675

考えられる原因

動的にロードされたモジュールの外部エントリポイント呼び出しに使われたオペレーティングシステムが、現在稼働中の OS と異なります。

外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。

エラー定数	SQLE_ERROR_CALLING_FUNCTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-622
SQLSTATE	WW008
Sybase エラーコード	13679

考えられる原因

オペレーティングシステムのリソースが不足しているため、外部関数を呼び出すことができませんでした。オペレーティングシステムでスレッドがサポートされている場合は、スレッド数を最大に増やしてください。

外部キー '%1' は見つかりません。

エラー定数	SQLE_FOREIGN_KEY_NAME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	37000

ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	存在しない外部キーの名前。
重大度	15
SQLCODE	-145
SQLSTATE	52W07
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

外部キーのスペルを間違えたか、外部キーが存在しません。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「外部キー」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「CREATE TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

外部キーカラムがプライマリキーまたは "%1" の一意性制約に一致しません

エラー定数	SQLE_NO_MATCHING_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プライマリテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1226
SQLSTATE	42R04
Sybase エラーコード	13291

考えられる原因

外部キーを作成しようとしましたが、指定されたカラムは参照先テーブルのプライマリキーまたは一意性制約に一致しません。

外部キーのカラム '%1' にプライマリキーと異なる定義があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_DEF
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	問題のあるカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-113
SQLSTATE	53030
Sybase エラーコード	1721

考えられる原因

外部キーのカラムのデータ型が、プライマリキーのカラムのデータ型と異なります。ALTER TABLE を使用して、いずれかのカラム定義を変更してください。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

外部参照は TPF 入力テーブルで許可されていません。

エラー定数	SQLE_TPF_OUTER_REFERENCES_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1607
SQLSTATE	WP022
Sybase エラーコード	12499

考えられる原因

TPF 入力テーブルの select リストでは、外部参照の使用は許可されません。

外部事前フィルタの初期化中にエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_ERROR_INITIALIZING_EXT_PREFILTER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1396
SQLSTATE	WT027
Sybase エラーコード	13178

考えられる原因

内部エラーが発生したため、外部事前フィルタを初期化できませんでした。

外部事前フィルタを使用したテキストインデックスには、バイナリと文字列の両方のカラムを含めることができません

エラー定数	SQLE_TEXT_INDEX_MIXED_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1512
SQLSTATE	WT034
Sybase エラーコード	12592

考えられる原因

テキストインデックスに指定された 1 つ以上 (ただしすべてではない) カラムのデータ型がバイナリであり、かつ、テキスト設定オブジェクトには、指定された事前フィルタライブラリが存在します。事前フィルタライブラリを使用するテキストインデックスでは、バイナリカラムまたは文字列データ型のいずれかを使用できますが、両方は使用できません。

その他の情報

- 「CREATE TEXT INDEX 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「テキストインデックスの概念と参照」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

外部プロシージャまたはファンクションは、どのサーバタイプについても許可されません。

エラー定数	SQLE_PROC_NOT_ALLOWED_ACROSS_SERVERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1579
SQLSTATE	WO031
Sybase エラーコード	12526

考えられる原因

クエリが full-passthrough モードで処理されていない場合は、サーバタイプを問わず、外部プロシージャまたは外部関数の呼び出しが許可されません。

外部プロセスが起動時に終了したため、外部環境を開始できません。

エラー定数	SQLE_EXTENV_PID_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1567
SQLSTATE	WP019
Sybase エラーコード	12538

考えられる原因

外部プロセスが起動時に終了されたため、外部環境を起動する要求を完了できませんでした。通常、この問題はクライアントの設定に関する問題によって発生します。

その他の情報

- 「START EXTERNAL ENVIRONMENT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「SQL Anywhere 外部環境のサポート」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

外部ライブラリ '%1' は使用中です

エラー定数	SQLE_EXTERNAL_LIBRARY_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	使用中の外部ライブラリ。
重大度	16
SQLCODE	-1214
SQLSTATE	WW108
Sybase エラーコード	13897

考えられる原因

外部ライブラリは、現在使用中であるため、アンロードできません。

外部ライブラリ '%1' をロードできませんでした

エラー定数	SQLE_EXTERNAL_LIBRARY_NOT_LOADED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードされていない外部ライブラリ。
重大度	16
SQLCODE	-1215
SQLSTATE	WW109

Sybase エラーコード	13895

考えられる原因

外部ライブラリは、現在ロードされていないため、アンロードできません。

外部ライブラリからエラーが発生しました : -%1: %2

エラー定数	SQLE_TEXT_USER_SPECIFIED_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	外部ライブラリによって指定されたエラー番号。
パラメータ 2	外部ライブラリによって指定されたエラーメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-1504
SQLSTATE	WT032
Sybase エラーコード	13156

考えられる原因

テキストインデックスで使用されている外部ライブラリによって、特定のエラーが報告されました。

その他の情報

- 「CREATE TEXT INDEX 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「テキストインデックスの概念と参照」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「テキスト設定オブジェクトに影響するデータベースオプション」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

記憶フォーマット '%1' は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_STGFORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な格納フォーマット文字列。

重大度	16
SQLCODE	-1470
SQLSTATE	2FW63
Sybase エラーコード	13102

考えられる原因

指定された格納フォーマット文字列は無効です。

記述子のインデックスが正しくありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_DESCRIPTOR_INDEX
ODBC 2 ステータス	S1002
ODBC 3 ステータス	07009
重大度	26
SQLCODE	-640
SQLSTATE	07009
Sybase エラーコード	8201

考えられる原因

記述子領域に関して使用されているインデックス番号が範囲を超えています。

その他の情報

- 「SQLDA (SQL descriptor area)」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

起動するのに必要なメモリが不足しています。

エラー定数	SQLE_NO_MEMORY
ODBC 2 ステータス	S1001
ODBC 3 ステータス	HY001
重大度	17
SQLCODE	-86

SQLSTATE	08W13
Sybase エラーコード	708

考えられる原因

データベースサーバを起動しましたが、十分なメモリがなかったため終了しました。

機能 '%1' の使用は許可されません。

エラー定数	SQLE_SECURE_FEATURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	SQL 文または機能の名前。
重大度	14
SQLCODE	-1084
SQLSTATE	57W02
Sybase エラーコード	13430

考えられる原因

使用しようとした機能は、データベースサーバの起動時にサーバの管理者によって無効にされています。

機能 '%2' を必要とする文 '%1' の使用は許可されません。

エラー定数	SQLE_SECURE_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	SQL 文の名前。
パラメータ 2	機能の名前。
重大度	14
SQLCODE	-1142

SQLSTATE	57W04
Sybase エラーコード	13371

考えられる原因

使用しようとした文は、データベースサーバの起動時にサーバの管理者によって無効にされている機能を必要とします。

キュー '%1' でイベント通知が失われました

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATIONS_LOST
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	イベント通知キューの名前。
重大度	10
SQLCODE	147
SQLSTATE	WE012
Sybase エラーコード	13249

考えられる原因

指定されたキューでイベント通知が失われています。この動作は、キューが破棄されるときに保留中の通知があった場合に発生します。保留中の通知は破棄されます。

その他の情報

- Ultra Light： 「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

共通テーブル式参照に循環があります。

エラー定数	SQLE_COMMON_TABLE_EXPRESSION_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-914

SQLSTATE	42W93
Sybase エラーコード	13570

考えられる原因

複数の共通テーブル式では、循環は許容されません。

共有テンポラリテーブルに対して無効なコミットアクションです。

エラー定数	SQLE_INVALID_SHARED_COMMIT_ACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1089
SQLSTATE	52W26
Sybase エラーコード	13425

考えられる原因

ON COMMIT PRESERVE ROWS または NOT TRANSACTIONAL としてグローバル共有テンポラリテーブルを宣言する必要があります。

曲線には、ほぼ対蹠点の %1 と %2 が含まれています ('%3' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_NEARLY_ANTIPODAL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	1 番目のポイント。
パラメータ 2	2 番目のポイント。
パラメータ 3	エラーが検出された値またはメソッド。

重大度	16
SQLCODE	-1482
SQLSTATE	2FW77
Sybase エラーコード	13090

考えられる原因

曲線には、ほぼ対蹠点の 2 つのポイントが含まれています。これらのポイントによって、曲面の空間参照系にあいまいなセグメントが定義されます。

その他の情報

- 「曲面空間参照系の制限」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』
- 「CREATE SPATIAL REFERENCE SYSTEM 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

許容値 %1 は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_TOLERANCE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な許容値。
重大度	16
SQLCODE	-1500
SQLSTATE	2FW87
Sybase エラーコード	13603

考えられる原因

指定された許容値は、空間参照系で使用できません。許容値は、領域の境界に基づいて選択する必要があります。

キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリテーブルである必要があります。グローバルテンポラリテーブルの場合は、どちらか一方のテーブルが共有されていれば、他方のテーブルも共有されている必要があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_TABLE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-850
SQLSTATE	42R02
Sybase エラーコード	1709

考えられる原因

キー制約関係にあるテーブルは、ともに永久ユーザテーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリテーブルである必要があります。ALTER TABLE を使用して、いずれか、または両方のテーブルの定義を変更してください。

行 %1 に無効な要求ログフォーマットがあります。

エラー定数	SQLE_INVALID_REQUEST_LOG_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ログファイル内の行番号。
重大度	16
SQLCODE	-999
SQLSTATE	WW020
Sybase エラーコード	13493

考えられる原因

要求ログファイルのフォーマットが無効です。この要求ログファイルはソフトウェアの古いバージョンを使って作成されている可能性があります。

行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。

エラー定数	SQLE_SYNTAX_EXTENSION_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	構文が検出された場所にある単語または記号。
パラメータ 2	行番号。
重大度	10
SQLCODE	107
SQLSTATE	01W07
Sybase エラーコード	5703

考えられる原因

実行している文に、SQL_FLAGGER_WARNING_LEVEL オプションの現在の設定では許可されていない構文が含まれます。文を修正するか、SQL_FLAGGER_WARNING_LEVEL オプションを別の値に設定してください。

その他の情報

- 「sql_flagger_warning_level オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。

エラー定数	SQLE_INVALID_SYNTAX_EXTENSION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	構文が検出された場所にある単語または記号。
パラメータ 2	行番号。

重大度	16
SQLCODE	-627
SQLSTATE	0AW03
Sybase エラーコード	538

考えられる原因

実行しようとしている文には、sql_flagger_error_level オプションの現在の設定では許可されていない構文が含まれます。文を修正するか、sql_flagger_error_level オプションを別の値に設定してください。

行 %2 の '%1' 付近の DEFAULT の値が無効です

エラー定数	SQLE_INVALID_DEFAULT_VALUE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な DEFAULT 値が検出された場所にある単語または記号
パラメータ 2	行番号。
重大度	15
SQLCODE	-1709
SQLSTATE	42W10
Sybase エラーコード	12431

考えられる原因

テーブルのカラムの作成または変更時に、無効な DEFAULT 値が指定されました。

行 %2 の '%1' 付近の INSERT の値が無効です

エラー定数	SQLE_INVALID_INSERT_VALUE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

パラメータ 1	無効な値が検出された場所にある単語または記号
パラメータ 2	行番号。
重大度	15
SQLCODE	-1710
SQLSTATE	42W11
Sybase エラーコード	12432

考えられる原因

INSERT 文の値に無効な値が指定されました。

句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_PROCEDURE_ATTRIBUTE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性。
パラメータ 2	属性の値またはエラーの原因。
重大度	16
SQLCODE	-991
SQLSTATE	WW060
Sybase エラーコード	13498

考えられる原因

プロシージャに指定した属性値が無効です。

空間カラム '%1' は単一の SRID に制約されていないため、インデックスに含めることはできません

エラー定数	SQLE_SLERR_CREATE_INDEX_NOSRID
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	空間カラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1454
SQLSTATE	2FW47
Sybase エラーコード	13118

考えられる原因

指定された空間カラムは、単一の空間参照系からの値を持つように制約されていないため、空間インデックスに含めることができません。カラム定義は "col ST_Geometry(SRID=0)" の形式とする必要があります。

空間カラム '%1' はプライマリキーまたはユニークインデックスに含めることはできません

エラー定数	SQLE_SLERR_CREATE_INDEX_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	空間カラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1453
SQLSTATE	2FW46
Sybase エラーコード	13119

考えられる原因

プライマリキーまたはユニークインデックスに空間カラムを含めることはできません。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「プライマリキー」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「CREATE TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

空間機能 %1 はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_NYI
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サポートされていない機能の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1413
SQLSTATE	2FW03
Sybase エラーコード	13159

考えられる原因

指定された機能はサポートされていません。

空間参照系 "%1" は予約されています。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_RESERVED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	予約された空間参照系の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1472
SQLSTATE	2FW65

Sybase エラーコード	13100

考えられる原因

指定された空間参照系は、システムで使用するために予約されています。

その他の情報

- 「CREATE SPATIAL REFERENCE SYSTEM 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

空間参照系 %1 では、CircularString のジオメトリはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_CIRCULAR_SRS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	曲面の空間参照系の SRID。
重大度	16
SQLCODE	-1495
SQLSTATE	2FW85
Sybase エラーコード	13607

考えられる原因

このメソッドでは、CircularString 要素を持つジオメトリがサポートされていません。

空間参照系 %1 と %2 が混在しています (%3 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_MIXED_SRS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	1 番目の空間参照系の SRID。
パラメータ 2	2 番目の空間参照系の SRID。
パラメータ 3	空間参照系の混在が検出された値またはメソッド。

重大度	16
SQLCODE	-1402
SQLSTATE	2FF10
Sybase エラーコード	13170

考えられる原因

このメソッドでは、空間参照系が異なる複数のジオメトリの操作はサポートされていません。

空間参照系 %1 は、使用中のため修正できません

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_INUSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	座標系の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1471
SQLSTATE	2FW64
Sybase エラーコード	13101

考えられる原因

この座標系は現在使用されており、削除できません。

その他の情報

- 「ALTER SPATIAL REFERENCE SYSTEM 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

空間参照系 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_NO_SRS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	空間参照系の名前。

重大度	16
SQLCODE	-1459
SQLSTATE	2FW52
Sybase エラーコード	13113

考えられる原因

指定された空間参照系は定義されていません。

空間参照系 '%1' はすでに存在しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	空間参照系の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1461
SQLSTATE	2FW54
Sybase エラーコード	13111

考えられる原因

指定された空間参照系はすでに存在します。

空間参照系が認識できません (%1)。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRID_UNKNOWN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	空間参照系の識別子。
重大度	16

SQLCODE	-1409
SQLSTATE	2FF59
Sybase エラーコード	13163

考えられる原因

指定された SRID は、定義されている空間参照系と一致しません。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「空間参照系 (SRS) と空間参照系識別子 (SRID)」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』
- SQL Anywhere： 「ST_Geometry タイプ」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』
- Ultra Light： 「ST_GEOMETRY データ型」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

空間参照系の Well-Known-Text (WKT) は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRS_PARSE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1441
SQLSTATE	2FW34
Sybase エラーコード	13131

考えられる原因

指定された文字列は、Well-Known-Text フォーマットでの有効な空間参照系定義を表していません。

空間参照系のタイプはサポートされていません ('%1')。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_BAD_SRS_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サポートされていない空間参照系タイプ。

重大度	16
SQLCODE	-1464
SQLSTATE	2FW57
Sybase エラーコード	13108

考えられる原因

指定された空間参照系タイプはサポートされていません。

空間参照系は使用する SRID を指定する必要があります。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_NOSRID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1462
SQLSTATE	2FW55
Sybase エラーコード	13110

考えられる原因

空間参照系を作成する場合、使用する SRID を指定するために、文で IDENTIFIED BY を指定する必要があります。

空間測定単位 "%1" は予約されています。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_UOM_RESERVED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	予約された測定単位の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1473

SQLSTATE	2FW66
Sybase エラーコード	13099

考えられる原因

指定された測定単位は、システムで使用するために予約されています。

その他の情報

- 「CREATE SPATIAL REFERENCE SYSTEM 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

空間ライブラリで内部エラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_SLERR_INTERNAL_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1480
SQLSTATE	2FW73
Sybase エラーコード	13092

考えられる原因

予期しないエラーが発生しました。

クライアントアプリケーションで、データの転送が許可されませんでした ('%1')

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_DISALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1172

SQLSTATE	WW093
Sybase エラーコード	13341

考えられる原因

クライアントアプリケーションで、サーバによって開始されたデータの転送が拒否されました。サーバによって開始されたデータの転送を許可するために、アプリケーションで、要求されたデータの転送を拒否する検証コールバックが登録されました。

クライアントアプリケーションでは、データの転送は許可されていません ('%1')

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_NO_VALIDATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1171
SQLSTATE	WW092
Sybase エラーコード	13342

考えられる原因

クライアントアプリケーションでは、サーバによって開始されたデータの転送は許可されていません。サーバによって開始されたデータの転送を許可するために、アプリケーションでは、クライアントライブラリに検証コールバックメカニズムを登録する必要があります。

クライアントが複数回リダイレクトされました。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_REDIRECTS
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21

SQLCODE	-1380
SQLSTATE	08WA4
Sybase エラーコード	13188

考えられる原因

プライマリサーバによって接続が別のサーバにリダイレクトされましたが、そのサーバもその接続をリダイレクトしようとしました。

クライアントサーバのバージョンとデータベースサーバのバージョンが適合しません。

エラー定数	SQLE_DBLIB_ENGINE_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	21
SQLCODE	-231
SQLSTATE	08W19
Sybase エラーコード	13658

考えられる原因

実行ファイルで、データベースサーバのバージョン番号に一致しないデータベースインタフェースライブラリが使用されました。

その他の情報

- 「SQL Anywhere サーバのアップグレード」『SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード』
- 「Ultra Light のアップグレード」『SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード』

クライアントでメモリが不足しています。

エラー定数	SQLE_CLIENT_OUT_OF_MEMORY
ODBC 2 ステータス	S1001
ODBC 3 ステータス	HY001

重大度	17
SQLCODE	-876
SQLSTATE	08W65
Sybase エラーコード	13882

考えられる原因

データベースクライアントがメモリを割り当てようとしたときに、エラーが発生しました。

クライアントバージョンまたはクライアントインタフェースではサポートされていない機能です。

エラー定数	SQLE_NOT_SUPPORTED_BY_CLIENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1148
SQLSTATE	0AW19
Sybase エラーコード	13363

考えられる原因

サーバによってサポートされているが、クライアントによってサポートされていない機能を使用しようとしました。この機能を使用するには、クライアントライブラリをアップグレードするか、他のクライアントインタフェースを使用する必要があります。いくつかの機能は、jConnect クライアントインタフェースおよび Open Client クライアントインタフェースによってサポートされていません。

クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') にアクセスする際にパーミッションエラーが発生したことが報告されました

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_PERMS_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1200
SQLSTATE	WW103
Sybase エラーコード	13315

考えられる原因

クライアントアプリケーションで、サーバからのデータ転送要求に対してオブジェクトにアクセスしようとしたときにパーミッションエラーが発生したことが報告されました。オブジェクトにアクセスするために必要なオペレーティングシステム認証がクライアントアプリケーションにない可能性があります。

クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') を開く際にエラーが発生したことが報告されました

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_OPEN_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1201
SQLSTATE	WW102
Sybase エラーコード	13314

考えられる原因

クライアントアプリケーションで、サーバからのデータ転送要求に対してオブジェクトを開こうとしたときにエラーが発生したことが報告されました。オブジェクトの名前が無効であることや、オブジェクトがないことなどの理由が考えられます。

クライアントライブラリで、転送中のデータにアクセスする際にエラーが発生したことが報告されました ('%1')

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_ACCESS_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1173
SQLSTATE	WW094
Sybase エラーコード	13340

考えられる原因

クライアントアプリケーションで、サーバからの転送要求に対してデータにアクセスしようとしたときにエラーが発生したことが報告されました。クライアントアプリケーションでデータオブジェクトに対するパーミッションが不足していることや、オペレーティングシステムで報告された他のエラーなどの理由が考えられます。

クライアント／サーバの通信プロトコルのバージョンが違います。

エラー定数	SQLE_PROTOCOL_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-88
SQLSTATE	08W15
Sybase エラーコード	1602

考えられる原因

クライアントとサーバのプロトコルバージョンが異なるため、接続に失敗しました。クライアントとサーバのソフトウェアバージョンは必ず同一にしてください。

クラウドデータベースサーバに接続するときにデータベース名を指定する必要があります

エラー定数	SQLE_NO_DEFAULT_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-1581
SQLSTATE	08WA7
Sybase エラーコード	12524

考えられる原因

クラウドデータベースサーバに接続するときは、接続文字列でデータベース名を指定する必要があります。クラウドデータベースサーバにはデフォルトのデータベースがありません。

クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。

エラー定数	SQLE_FIELD_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定したフィールドが見つからなかったクラスの名前。
パラメータ 2	見つからなかったフィールドの名前。
重大度	16
SQLCODE	-93
SQLSTATE	WW013
Sybase エラーコード	13703

考えられる原因

式が参照したフィールドは、存在しないか、パブリックではありません。

クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。

エラー定数	SQLE_CANNOT_DECOMPRESS_CLASS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	JAR 内のクラスファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-652
SQLSTATE	WP003
Sybase エラーコード	13742

考えられる原因

ZIP ファイルまたは JAR ファイルからクラスファイルが抽出されるには、Java ランタイムライブラリをインストールする必要があります。

クラス '%1' を削除できません : JAR のメンバーです。

エラー定数	SQLE_CLASS_MEMBER_OF_JAR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	削除できないクラスファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-653
SQLSTATE	WP004
Sybase エラーコード	13743

考えられる原因

まだ JAR の一部であるクラスファイルを削除しようとしました (クラスファイルは JAR とともに削除する必要があります)。

クラス '%1' を使用して Java オブジェクトをシリアル化できません。

エラー定数	SQLE_JAVA_SERIALIZATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	シリアル化できない値のクラス。
重大度	16
SQLCODE	-662
SQLSTATE	WI009
Sybase エラーコード	13744

考えられる原因

Java オブジェクトは、永続的なデータベースカラムとしてシリアル化できません。

クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。

エラー定数	SQLE_FIELD_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	NULL にできないフィールドの名前。
パラメータ 2	フィールドを持つクラスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-649
SQLSTATE	WW015
Sybase エラーコード	13741

考えられる原因

NULL 値にできない Java データ型の Java オブジェクトフィールドに SQL の NULL 値を保存しようとしました。たとえば、Java の 'int' データ型は NULL にできません。

クラスのバイトコードが不正です。

エラー定数	SQLE_BAD_CLASS_BYTE_CODE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-670
SQLSTATE	WP005
Sybase エラーコード	13746

考えられる原因

INSTALL JAVA 文に渡されたバイナリ式は、不正な Java クラスです。

繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。

エラー定数	SQLE_EVENT_START_TIME_IN_PAST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1128
SQLSTATE	WE010
Sybase エラーコード	13385

考えられる原因

イベントを開始する日付や時刻に、すでに過ぎた日時を設定しましたが、イベントは繰り返されません。

グリッドサイズ %1 は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_GRID_SIZE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なグリッドサイズ。
重大度	16
SQLCODE	-1499
SQLSTATE	2FW86
Sybase エラーコード	13604

考えられる原因

指定されたグリッドサイズは、空間参照系で使用できません。グリッドサイズは、領域の境界に基づいて選択する必要があります。

その他の情報

- 「「グリッドにスナップ」と許容度が空間の計算に与える影響」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』

グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。

エラー定数	SQLE_INVALID_DISTINCT_AGGREGATE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-863
SQLSTATE	42W70

Sybase エラーコード	13867

考えられる原因

複数の DISTINCT 集合関数が、グループ化された同じクエリに指定されています。これが許容されるのは、Hash Group By 演算子が使用できる場合だけです。Hash Group By 演算子が使用できない場合は、クエリブロックに含めることが可能な DISTINCT 集合関数は最大で 1 つです。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「クエリの集合関数」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「集合関数」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「集合式」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

警告：%1

エラー定数	SQLE_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	警告メッセージ。
重大度	10
SQLCODE	200
SQLSTATE	01000
Sybase エラーコード	13619

考えられる原因

警告が発生しました。警告の原因となった状況がメッセージに示されます。

計算カラム '%1' を挿入または更新できません。

エラー定数	SQLE_COMPUTED_COLUMN_WRITE_ATTEMPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラム名。
重大度	16

SQLCODE	-703
SQLSTATE	WW023
Sybase エラーコード	4406

考えられる原因

計算カラム値は明示的に修正できません。値は、計算式の値から暗黙的に決定されます。

計算カラムの依存に循環があります。

エラー定数	SQLE_COMPUTED_COLUMN_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1078
SQLSTATE	42WBD
Sybase エラーコード	13436

考えられる原因

テーブルの計算カラム間の依存に循環があります。循環は許可されていません。

計算カラムはこのデータベースではサポートされません。

エラー定数	SQLE_COMPUTED_COLUMNS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-709
SQLSTATE	0AW06
Sybase エラーコード	13722

考えられる原因

現在のデータベースが古いデータベースで、計算 (マテリアライズされた) カラム用のカタログサポートを持っていません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

計算カラムを使用したリモートテーブルの作成はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_OMNI_COMPUTED_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	12
SQLCODE	-732
SQLSTATE	WO021
Sybase エラーコード	11205

考えられる原因

計算カラムは、リモートロケーションを指定する CREATE TABLE 文ではサポートされません。

言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_LANGUAGE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	クライアントが要求した言語の名前。
パラメータ 2	サーバがメッセージ文字列を送信するために使用する言語の名前。
重大度	10
SQLCODE	116
SQLSTATE	01W14
Sybase エラーコード	13615

考えられる原因

アプリケーションが要求した言語は、アプリケーションが接続しているサーバではサポートされていません。代わりに、サーバは示されている言語でメッセージ文字列を送信します。

言語仕様が変更されました。

エラー定数	SQLE_LANGUAGE_EXTENSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-135
SQLSTATE	0AW01
Sybase エラーコード	401

考えられる原因

使用した SQL 文は特定のバージョンの SQL では有効かもしれませんが、SQL Anywhere では無効です。

現在のコンテキストでは、外部関数呼び出し '%2' によって使用されるバージョン 'V%1' のインタフェースの実行はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_INCOMPATIBLE_EXTERNAL_CALL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	呼び出された外部関数の API バージョン。
パラメータ 2	呼び出された外部関数の名前。
重大度	16
SQLCODE	-818
SQLSTATE	WW026

Sybase エラーコード	13824

考えられる原因

外部関数を呼び出そうとしました。関連するライブラリをロードしようとしましたが、サーバとの互換性がないため、失敗しました。ダイナミックライブラリが、サーバがサポートしていない外部関数 API や、サーバがサポートしているよりも新しい外部関数 API を使用しているため、互換性の不一致が発生しました。このことは、外部 API に現在のコンテキストのデータとの互換性がない場合にも発生する可能性があります。

現在のサーバが preferred とマーク付けされている場合は、フェイルオーバーを実行することはできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_FORCE_FAILOVER_ON_PREFERRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1314
SQLSTATE	WW136
Sybase エラーコード	13242

考えられる原因

ALTER DATABASE SET PARTNER FAILOVER を実行しようとしましたが、現在のサーバは preferred とマーク付けされています。このような場合にフェイルオーバの強制実行を試行することは許可されません。

現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません

エラー定数	SQLE_CANNOT_CLOSE_JDBC_CONNECTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-998

SQLSTATE	WO026
Sybase エラーコード	711

考えられる原因

リモート JDBC 接続を閉じようとするとき、指定する接続はローカル接続でなければなりません。

現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。

エラー定数	SQLE_CONN_ALREADY_REGISTERED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前。
パラメータ 2	登録済みの接続ラベル。
重大度	16
SQLCODE	-787
SQLSTATE	5RW26
Sybase エラーコード	13797

考えられる原因

この接続を 2 回以上登録しようとしました。

交差要素を持つ ST_GeomCollection では、操作はサポートされていません ("%1" 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_GEOM_COLL_INTERSECT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な ST_GeomCollection が検出されたメソッドまたはコンテキスト。
重大度	16

SQLCODE	-1503
SQLSTATE	2FW90
Sybase エラーコード	13197

考えられる原因

ST_GeomCollection には、ST_MultiSurface では無効な方法で交差する要素が含まれています。この操作は、このタイプのジオメトリではサポートされていません。

その他の情報

- 「ST_GeomCollection タイプ」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』
- 「ST_MultiSurface タイプ」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』

更新できないクエリに対して、更新しようとしました。

エラー定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_VIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-192
SQLSTATE	42W31
Sybase エラーコード	7301

考えられる原因

暗黙的に読み込み専用であるクエリを対象に、挿入、更新、または削除の操作を行おうとしました。DISTINCT、GROUP BY、HAVING、EXCEPT、INTERSECT、または UNION を含むクエリや、集合関数を含むクエリ、またはジョインを含むクエリは、暗黙的に読み込み専用です。クエリがビューを参照する場合は、そのビューが更新不可になる場合があります。

更新できないリモートクエリに対して、更新しようとしました。

エラー定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_EXT_TAB
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000

重大度	15
SQLCODE	-728
SQLSTATE	42W35
Sybase エラーコード	7338

考えられる原因

現在はサポートされていないリモートテーブル上で、更新または削除の操作を実行しようとしました。このような操作には、たとえば、位置付け更新、位置付け削除、およびローカルテーブルとプロキシテーブル間のジョインを含む更新または削除などがあります。また、異なるリモートサーバ上にある複数のプロキシテーブル間のジョインを含む更新や削除においても、このエラーが発生します。

交点マトリックス '%1' は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_RELATE_MATRIX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	インターセクションマトリックス文字列。
重大度	16
SQLCODE	-1399
SQLSTATE	2FF04
Sybase エラーコード	13173

考えられる原因

指定された値は、有効なインターセクションマトリックス文字列ではありません。有効な文字列は 9 文字で構成され、各文字は T、F、*、0、1、2 のいずれかになります。

構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。

エラー定数	SQLE_IQ_PATH_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000

ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-687
SQLSTATE	42W48
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

実行しようとしている文を、データベースサーバが理解できません。カラム名にキーワードを使う場合は、キーワードを引用符で囲んでください (たとえば DATE は "DATE")。

後方スクロールカーソルはリモートオブジェクトではサポートされません。

エラー定数	SQLE_OMNI_BACKWARDS_CURSOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-661
SQLSTATE	WO006
Sybase エラーコード	13733

考えられる原因

後方スクロールカーソルはリモートオブジェクトではサポートされません。前方スクロールカーソルだけを使用してください。

この CPU では、空間のサポートは利用できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_CPU_NEED_SSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1515
SQLSTATE	2FW91
Sybase エラーコード	12589

考えられる原因

32 ビット Windows と 32 ビット Linux の空間データサポートには、SSE2 命令をサポートする CPU が必要となります。

その他の情報

- 「空間データ」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』

この外部プロシージャの呼び出しには、パラメータ数が多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_PARAMETERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-625
SQLSTATE	WW010
Sybase エラーコード	13680

考えられる原因

32 ビット Windows の外部関数の呼び出しには、最大 256 のパラメータしか使用できません。

このサーバには、'%1' 機能をサポートするためのライセンスが付与されていません

エラー定数	SQLE_FEATURE_NOT_LICENSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ライセンスが付与されていない機能。

重大度	16
SQLCODE	-1260
SQLSTATE	0A002
Sybase エラーコード	13253

考えられる原因

この版の SQL Anywhere でライセンスが付与されていない操作を実行したり、機能を使用しようとしました。

このサーバには、'%1' 接続をサポートするためのライセンスが付与されていません

エラー定数	SQLE_CONNECTION_PROTOCOL_NOT_LICENSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ライセンスが付与されていない接続タイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1261
SQLSTATE	0A003
Sybase エラーコード	13252

考えられる原因

この版の SQL Anywhere でライセンスが付与されていない接続プロトコルまたは API を使用しようとしました。

この接続のシーケンス '%1' には 'currval' 演算子はまだ定義されていません。

エラー定数	SQLE_SEQUENCE_CURRVAL_NOT_DEFINED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000

パラメータ 1	シーケンスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1363
SQLSTATE	52W51
Sybase エラーコード	13199

考えられる原因

シーケンスジェネレータの currval 演算子は、現在の接続中に nextval がシーケンスに対して呼び出された場合にのみ定義されます。

この接続はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_CONNECTION_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-955
SQLSTATE	WW035
Sybase エラーコード	13533

考えられる原因

指定した SQLCA と名前の (または名前のない) 接続は、すでに存在します。接続する前に、既存の接続を切断するか、別の接続名を指定してください。

その他の情報

- 「CONNECT 文 [ESQL] [Interactive SQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

この操作は、同期スキーマ変更内でしか実行できません。

エラー定数	SQLE_REQUIRES_SYNC_SCHEMA_CHANGE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-1329
SQLSTATE	5RW41
Sybase エラーコード	13227

考えられる原因

同期スキーマ変更内でのみ許可される操作を実行しようとしました。

この操作はグループ循環を起こします。

エラー定数	SQLE_GROUP_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-122
SQLSTATE	42W02
Sybase エラーコード	314

考えられる原因

グループにメンバーを追加しようとしましたが、メンバーが自分自身に属する結果になっています。メンバーシップは直接と間接の場合があります。

この操作はロール循環を起こします。

エラー定数	SQLE_ROLE_CYCLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	14
SQLCODE	-1540
SQLSTATE	28000

Sybase エラーコード	12565

考えられる原因

被付与者にロールを付与しようとしましたが、被付与者が自分自身に属する結果になっています。ロールのメンバーシップは直接と間接の場合があります。

このタイプの空間参照系では、指定した軸順序はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_AXISORD
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1468
SQLSTATE	2FW61
Sybase エラーコード	13104

考えられる原因

指定された軸順序は、このタイプの空間参照系ではサポートされていません。

このタイプの文に対してプランを生成することはできません。

エラー定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_IN_PLAN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-894
SQLSTATE	0AW14
Sybase エラーコード	13589

考えられる原因

サポートされていない文のタイプの実行プランを表示しようとしました。

このデータベースでは、DB 領域のパーミッションのサポートを利用できません

エラー定数	SQLE_DBSPACE_PERMS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1183
SQLSTATE	0AW22
Sybase エラーコード	13332

考えられる原因

実行されている文には、DB 領域のパーミッションのサポートが必要ですが、使用されているデータベースにはこの機能がありません。DB 領域のパーミッションをサポートしているバージョンのサーバを使用して、データベースを再作成またはアップグレードしてください。

このデータベースでは、WITH NULLS NOT DISTINCT 句のユニークインデックスはサポートされていません

エラー定数	SQLE_UNIQUE_INDEX_NULLS_NOT_DISTINCT_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1392
SQLSTATE	52W53
Sybase エラーコード	13178

考えられる原因

現在のデータベースに NULLS NOT DISTINCT 句が指定されたユニークインデックス用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースでは、外部環境はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_EXTERN_ENV_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1206
SQLSTATE	WW104
Sybase エラーコード	13309

考えられる原因

現在のデータベースに外部環境用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースでは、空間のサポートは利用できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_NEED_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1412
SQLSTATE	2FW02
Sybase エラーコード	13160

考えられる原因

空間機能を使用するようにデータベースをアップグレードする必要があるため、空間サポートを伴う操作はこのデータベースで使用できません。

このデータベースでは、シーケンスジェネレーターはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SEQUENCES_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1369
SQLSTATE	52W52
Sybase エラーコード	13193

考えられる原因

現在のデータベースにシーケンスジェネレータ用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

その他の情報

- 「ユニークな値を生成するためのシーケンスの使用」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「CREATE SEQUENCE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

このデータベースでは、データベースミラーリングオプションはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_MIRRORING_OPTIONS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1307
SQLSTATE	WW130
Sybase エラーコード	13443

考えられる原因

現在のデータベースには、データベースミラーリングサーバおよびオプション用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースでは、同期スキーマ変更およびスクリプトバージョンはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SYNC_SCHEMA_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1319
SQLSTATE	WW137
Sybase エラーコード	13237

考えられる原因

現在のデータベースに同期スキーマの変更とスクリプトバージョン用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースでは、マテリアライズドビューのテキストインデックスはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_TEXT_MV_UPGRADE_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1592
SQLSTATE	WT041
Sybase エラーコード	12513

考えられる原因

現在のデータベースにマテリアライズドビューのテキストインデックス用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースではテキストインデックスはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_TEXT_UPGRADE_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1166
SQLSTATE	WT011
Sybase エラーコード	13347

考えられる原因

現在のデータベースにテキストインデックス用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースに対して統合化ログインはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_UNSUPPORTED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-246
SQLSTATE	28W05
Sybase エラーコード	13694

考えられる原因

現在のデータベースは古いバージョンのデータベースなので、統合化ログイン ID をデータベースユーザ ID にマッピングするための情報がありません。統合化ログインを使用するには、データベースをアップグレードする必要があります。

このデータベースに対して同期プロファイルはサポートされていません

エラー定数	SQLE_SYNC_PROFILE_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1225
SQLSTATE	42W78
Sybase エラーコード	13292

考えられる原因

現在のデータベースに同期プロファイル用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースに対してログインポリシーはサポートされていません

エラー定数	SQLE_LOGIN_POLICY_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1196
SQLSTATE	WW099
Sybase エラーコード	13319

考えられる原因

現在のデータベースにログインポリシー用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません

エラー定数	SQLE_ENCRYPTED_TABLES_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1047
SQLSTATE	55W20
Sybase エラーコード	13464

考えられる原因

暗号化がサポートされていないデータベースに、暗号化されたテーブルを作成しようとしました。

このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません

エラー定数	SQLE_KEYLESS_ENCRYPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1109
SQLSTATE	WW079
Sybase エラーコード	13405

考えられる原因

暗号化キーに対して要求した操作に失敗しました。この Ultra Light データベースでは、キーを使用しない暗号化が使用されています。このエラーは、難読化などにより、キーを使用しないデータベースの暗号化キーを変更しようとしたときに発生する可能性があります。

この文を実行中に接続でテーブルロックを保持することはできません。

エラー定数	SQLE_CONNECTION_HAS_LOCKS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1324
SQLSTATE	WW142
Sybase エラーコード	13232

考えられる原因

テーブルロックを保持している接続によって、文の実行が試みられました。文の実行が開始される前のロックも含めて、すべてのロックが解放されなかった場合には、文が実行される前にロックが解放される必要があります。

このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません

エラー定数	SQLE_PLATFORM_NOT_LICENSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1262
SQLSTATE	0A004
Sybase エラーコード	13251

考えられる原因

このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません。このプラットフォームで SQL Anywhere を使用するための異なるライセンスキーを使用してください。

このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_cant_change_platform.html を参照してください。

エラー定数	SQLE_DATABASE_ENDIAN_FAILURE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1149
SQLSTATE	08W99
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

データベースを現在のプラットフォームで起動すると、エンディアンに起因したデータベースファイルの破損が起こる可能性があるため、データベースを起動できないと判断されました。逆のエンディアンを使用したプラットフォームでは、問題なく起動処理が続行されます。詳細や作業を進めるための手順については、次を参照してください。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_cant_change_platform.html

その他の情報

- Possible database corruption when moving databases between platforms

このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_corruption_warning.html を参照してください。

エラー定数	SQLE_POSSIBLE_DATABASE_CORRUPTION

ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1147
SQLSTATE	08W98
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

データベースが破損している可能性があると判断されました。詳細や作業を進めるための手順については、次を参照してください。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_corruption_warning.html

その他の情報

- ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_corruption_warning.html

このプロシージャに対する引数はリテラル文字列である必要があります。

エラー定数	SQLE_TEXT_NEED_CONSTANT_ARGUMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1216
SQLSTATE	WT017
Sybase エラーコード	13297

考えられる原因

このプロシージャは、引数としてリテラル文字列のみを受け入れます。

このミラーサーバの親サーバは現在接続されていません。

エラー定数	SQLE_PARENT_NOT_CONNECTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1349
SQLSTATE	WW152
Sybase エラーコード	13208

考えられる原因

文を実行するには、ミラーサーバからその親への接続が必要ですが、親に現在接続されていません。

このミラーサーバの親は、プライマリサーバではありません。

エラー定数	SQLE_PARENT_NOT_PRIMARY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1350
SQLSTATE	WW153
Sybase エラーコード	13207

考えられる原因

文を実行するには、ミラーサーバから親サーバへの接続が必要ですが、親がプライマリサーバではありません。サーバの親への接続文字列が、プライマリサーバの接続文字列と一致しません。

このユーザには外部ログインが存在するため、削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_HAS_EXTERNLOGINS

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-1220
SQLSTATE	WO028
Sybase エラーコード	13300

考えられる原因

ユーザの外部ログインがまだ存在するため、削除できません。

このユーザのログインポリシーにより接続は許可されませんでした

エラー定数	SQLE_CONNECTION_DISALLOWED_BY_LOGIN_POLICY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1212
SQLSTATE	28W15
Sybase エラーコード	13303

考えられる原因

ユーザのログインポリシーに従って、接続試行は許可されませんでした。DBA 権限を持つユーザが ALTER USER 文を使用してこのユーザをリセットすることが必要な場合があります。

コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_ENLIST_WITH_UNCOMMITTED_DATA
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-802
SQLSTATE	55W11
Sybase エラーコード	13812

考えられる原因

コミットされていない保留中のデータがある状態では、接続をトランザクションにエンリストすることはできません。

コミットされていないトランザクションとの同期またはアップグレードはできません。

エラー定数	SQLE_UNCOMMITTED_TRANSACTIONS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-755
SQLSTATE	0AW08
Sybase エラーコード	13765

考えられる原因

Ultra Light データベースの同期またはスキーマのアップグレードを実行しようとしましたが、Ultra Light データベースの中にコミットされていない変更があります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「トランザクション」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- Ultra Light：「Ultra Light でのトランザクション処理」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

コレクションタイプがサポートされていません。

エラー定数	SQLE_COLLECTION_TYPES_NOT_SUPPORTED

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-1702
SQLSTATE	0AW28
Sybase エラーコード	176

考えられる原因

現在のデータベースが古いデータベースであり、ロー型と配列型をサポートしていません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

その他の情報

- 「複合データ型」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

コレクションタイプの使用が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_USE_OF_COLLECTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1599
SQLSTATE	WW210
Sybase エラーコード	12507

考えられる原因

サポートされていないコンテキストで ARRAY 型または ROW 型を使用しようとしました。これらの値をテーブルに格納したり、ODBC、ESQL、JDBC などのクライアントインタフェースから直接読み込んだりすることはできません。該当する個々の値を抽出する必要があります。

再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。

エラー定数	SQLE_BAD_RECURSIVE_COLUMN_CONVERSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	再帰サブクエリのカラム番号。
パラメータ 2	変換前のデータ。
パラメータ 3	変換後のデータ。
重大度	16
SQLCODE	-945
SQLSTATE	42WA2
Sybase エラーコード	13543

考えられる原因

再帰サブクエリの各カラムは、最初のサブクエリの対応するカラムのデータ型に、精度を失わずに変換できる必要があります。最初のサブクエリのカラムを適切なデータ型にキャストしてみてください。

再帰クエリが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_RECURSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-921
SQLSTATE	42W99
Sybase エラーコード	13563

考えられる原因

再帰クエリは、最初のクエリと反復クエリの UNION ALL で構成されている必要があります。反復クエリで使用できる唯一の集合操作が UNION ALL です。共通テーブル式の名前への再帰参照は、反復クエリにのみ使用可能であり、DISTINCT、ORDER BY、または集合関数を使用する SELECT 内では使用できません。また、再帰参照は、外部ジョインの NULL 入力テーブルやサブクエリでは使用できません。

再帰クエリのカラムリストがありません。

エラー定数	SQLE_NO_RECURSIVE_COLUMN_LIST
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-922
SQLSTATE	42W9A
Sybase エラーコード	13562

考えられる原因

再帰クエリを定義する共通テーブル式には、カラムリストがなければなりません。

再帰反復が多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_RECURSIVE_ITERATIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-923
SQLSTATE	57015
Sybase エラーコード	13561

考えられる原因

現在の max_recursive_iterations オプションの設定で許容されている回数よりも多くの反復を再帰クエリが実行しました。

最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。

エラー定数	SQLE_ROW_UPDATED_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	104
SQLSTATE	01W04
Sybase エラーコード	532

考えられる原因

SCROLL カーソルからローをフェッチしました。ローは以前同じカーソルからフェッチされており、その時点から、そのローの 1 つか複数のカラムが更新されています。更新されたカラムがカーソルによってフェッチされた可能性があります。この警告は単にテーブルのローが更新されていることを示しています。カーソルが複数のテーブルに関係している場合、複数のテーブルからのローが更新されています。

最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。操作はキャンセルされました。

エラー定数	SQLE_ROW_UPDATED_SINCE_READ
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-208
SQLSTATE	22W02
Sybase エラーコード	554

考えられる原因

SCROLL カーソルとして宣言されたカーソルに、UPDATE (位置付け) 操作または DELETE (位置付け) 操作を行おうとしましたが、変更するローは最後に読み出してから更新されています。このエラーは更新内容が失われる問題が発生するのを防ぎます。

その他の情報

- 「更新内容の消失」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「ローロック」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「カーソルを使用する利点」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「カーソルの感知性と独立性レベル」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「DECLARE CURSOR 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

最後の同期アップロードのステータスは不明です。

エラー定数	SQLE_SYNC_STATUS_UNKNOWN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-952
SQLSTATE	WW032
Sybase エラーコード	13536

考えられる原因

最後の同期アップロードのステータスは不明です。現在の操作は、成功したアップロードが同期されるまで実行できません。

その他の情報

- 「アップロードの処理方法」『Mobile Link クイックスタート』

最大パラメータ数 '%1' を超えました。

エラー定数	SQLE_INVALID_MAXIMUM_PARAMETERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	許容されるパラメータの最大数。
重大度	16
SQLCODE	-1122
SQLSTATE	WW084

Sybase エラーコード	13391

考えられる原因

当該 Web クライアントプロシージャまたはファンクションの許容される最大パラメータ数を超えました。

最大文字列長を超えました。

エラー定数	SQLE_MAX_STRING_LENGTH_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
重大度	15
SQLCODE	-1313
SQLSTATE	54W17
Sybase エラーコード	13266

考えられる原因

文字列操作で、サーバで許可されている最大長を超える文字列が作成されようとしました。

サブクエリは複数行を返すことはできません。

エラー定数	SQLE_SUBQUERY_RESULT_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-186
SQLSTATE	21W01
Sybase エラーコード	512

考えられる原因

単一のローだけが使用できるコンテキストで、複数行を返すサブクエリを使用しました。サブクエリが WHERE 句にある場合は、IN キーワードを使用できることがあります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「サブクエリの使用」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- Ultra Light： 「式のサブクエリ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

サブスクリプション '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SUBSCRIPTION_NAME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サブスクリプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1326
SQLSTATE	5RW40
Sybase エラーコード	13230

考えられる原因

存在しないサブスクリプションを変更 (ALTER)、削除 (DROP)、または参照しようとしました。

参照カラムが重複しています。

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_REFERENCING_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-636
SQLSTATE	42W40
Sybase エラーコード	1909

考えられる原因

参照している選択リストに重複したカラム名を指定しました。

参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。

エラー定数	SQLE_ROW_DELETED_TO_MAINTAIN_REFERENTIAL_INTEGRITY
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	テーブル名。
重大度	10
SQLCODE	137
SQLSTATE	01W24
Sybase エラーコード	13489

考えられる原因

ダウンロード中にプライマリローを削除したため、参照の整合性を保つためにその外部ローも削除されました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「外部キー」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- Ultra Light： 「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

サーバ %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。

エラー定数	SQLE_SERVER_SYNCHRONIZATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	サーバからのエラーの説明。
重大度	16
SQLCODE	-857
SQLSTATE	0AW12
Sybase エラーコード	13860

考えられる原因

サーバで同期が失敗しました。詳細については同期ログファイルを参照してください。

サーバ '%1' に接続できません : %2

エラー定数	SQLE_OMNI_CONNECT_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	接続できなかったサーバの名前。
パラメータ 2	サーバクラスドライバから返された、より詳しい原因の情報。
重大度	16
SQLCODE	-656
SQLSTATE	WO001
Sybase エラーコード	11206

考えられる原因

リモートサーバに接続しようとしました。リモートサーバが実行されているかどうかをチェックしてください。

サーバ '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_OMNI_EXTLOGIN_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモートサーバの名前。
重大度	11
SQLCODE	-712
SQLSTATE	WO013
Sybase エラーコード	11221

考えられる原因

サーバに外部ログインが行われましたが、ユーザが存在しません。

サーバ '%1': %2

エラー定数	SQLE_OMNI_REMOTE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモートサーバの名前。
パラメータ 2	リモートサーバからのメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-660
SQLSTATE	WO005
Sybase エラーコード	13732

考えられる原因

リモートサーバによってメッセージが生成されました。これには、メッセージテキストが含まれています。

サーバが DB 領域の最大ファイルサイズを超えてページにアクセスしようとしました。

エラー定数	SQLE_ACCESS_BEYOND_END_OF_MAX_DBSPACE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-605
SQLSTATE	04W08
Sybase エラーコード	5006

考えられる原因

データベースが、最大ディスクページを超えたページ番号にアクセスしようとしました。これは致命的な内部エラーです。

サーバが見つからないため自動起動できません。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_CONNECT_OR_START
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-764
SQLSTATE	08W55
Sybase エラーコード	13774

考えられる原因

サーバに接続できなかったため、クライアントはサーバの自動起動を実行できませんでした。データベースファイルが指定されなかったために自動起動が失敗した可能性があります。

その他の情報

- 「よくある質問 - SQL Anywhere」『SQL Anywhere 16 紹介』
- SQL Anywhere： 「データベースサーバ起動時のトラブルシューティング」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「SQL Anywhere データベースサーバの構文」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light エンジンユーティリティ (uleng16)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

サーバ機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_CAPABILITY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サーバ機能の名前。
重大度	16

SQLCODE	-761
SQLSTATE	WO014
Sybase エラーコード	13723

考えられる原因

ALTER SERVER 文が定義されていない機能に対して実行されました。

サーバ上で TLS の初期化に失敗しました。

エラー定数	SQLE_TLS_INIT_FAILED_ON_SRV
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-838
SQLSTATE	08W61
Sybase エラーコード	13844

考えられる原因

サーバで TLS ライブラリを初期化できなかったため、接続に失敗しました。

サーバタイプではテキストインデックスが許可されません。

エラー定数	SQLE_TEXT_NOT_ALLOWED_ACROSS_SERVERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1511
SQLSTATE	WT033
Sybase エラーコード	12593

考えられる原因

クエリが full-passthru モードで処理される場合、サーバタイプではテキストインデックスが許可されません。

その他の情報

- 「CREATE TEXT INDEX 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「テキストインデックスの概念と参照」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

サーバは TCP/IP 接続を構築できません。

エラー定数	SQLE_TCP_CONNECTIONS_NOT_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1372
SQLSTATE	08WA3
Sybase エラーコード	13190

考えられる原因

データベースサーバは、TCP/IP 接続を確立できません。パーソナルサーバ (dbeng) では、デフォルトで TCP/IP 接続が許可されません。このエラーは、ネットワークサーバ (dbsrv) が -xd コマンドラインオプションを指定して起動された場合にも発生する可能性があります。診断トレーシングとアプリケーションプロファイリングを使用するには、TCP/IP 接続を確立できる必要があります。

サーバを起動するには、データベース名が必要です。

エラー定数	SQLE_DATABASE_NAME_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-87
SQLSTATE	08W14

Sybase エラーコード	840

考えられる原因

データベース名が指定されていません。データベースサーバを起動するには、データベース名が必要です。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「データベースサーバの起動方法」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light エンジンユーティリティ (uleng16)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

サービス '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SERVICE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定したが、見つからなかったサービスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-920
SQLSTATE	42W98
Sybase エラーコード	13564

考えられる原因

データベースに存在しない名前でサービスを参照しようとしました。

サービス '%1' は使用中です。

エラー定数	SQLE_SERVICE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	使用中のサービスの名前。
重大度	16

SQLCODE	-924
SQLSTATE	55W15
Sybase エラーコード	13567

考えられる原因

現在使用中のサービスを削除しようとしました。

サービス '%1' はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_SERVICE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	すでに存在するサービスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-919
SQLSTATE	42W97
Sybase エラーコード	13565

考えられる原因

データベースにすでに存在する名前でサービスを作成しようとしました。

サービスタイプでは、属性 '%1' は許可されません。

エラー定数	SQLE_SERVICE_ATTR_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	許可されない属性の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1027

SQLSTATE	42WB2
Sybase エラーコード	13483

考えられる原因

指定したサービスタイプのサービス定義では、その属性を指定できません。

サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。

エラー定数	SQLE_HOSTVAR_MUST_BE_NAMED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-926
SQLSTATE	42W9B
Sybase エラーコード	13559

考えられる原因

名前のないホスト変数参照を使用してサービスを作成しようとしました。

サービスに重複した属性 '%1' があります。

エラー定数	SQLE_SERVICE_PARM_DUPLICATE_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	重複する属性の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1025
SQLSTATE	42WB0
Sybase エラーコード	13485

考えられる原因

サービス定義に重複する属性が含まれています。

サービスの属性 '%1' の値がありません。

エラー定数	SQLE_SERVICE_PARM_MISSING_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な属性の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1023
SQLSTATE	42WAE
Sybase エラーコード	13487

考えられる原因

値のない USING、FORMAT、または GROUP 属性がサービス定義に含まれています。

サービスの属性 '%1' の値が無効です。

エラー定数	SQLE_SERVICE_PARM_INVALID_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な属性の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1022
SQLSTATE	42WAD
Sybase エラーコード	13488

考えられる原因

サービス定義に無効な値の USING、FORMAT、または GROUP 属性が含まれています。

サービス文定義が無効であるか、サポートされていません。

エラー定数	SQLE_SERVICE_STATEMENT_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1269
SQLSTATE	42WCC
Sybase エラーコード	13250

考えられる原因

指定された文は無効か、サービスのコンテキスト内ではサポートされていません。

サービス文定義とサービスタイプが矛盾しています。

エラー定数	SQLE_SERVICE_STATEMENT_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-927
SQLSTATE	42W9C
Sybase エラーコード	13558

考えられる原因

文が必要なタイプのサービスに対して文が指定されていないか、そのサービスタイプに文を定義できないのに文を指定しました。

サービス名 '%1' は無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_SERVICE_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サービスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-925
SQLSTATE	42W95
Sybase エラーコード	13560

考えられる原因

無効な名前でサービスを作成しようとしました。使用できない文字が名前に含まれているか、サービスに指定された URL PATH 設定と名前が競合している可能性があります。

座標 %1 の座標バウンドがありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_MUSTBOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	座標名。
重大度	16
SQLCODE	-1467
SQLSTATE	2FW60
Sybase エラーコード	13105

考えられる原因

指定された座標のバウンドが指定されていません。

座標系 %1 で無効な境界です ("BETWEEN %2 AND %3" の付近)

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_BOUNDS
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な境界を持つ座標。
パラメータ 2	無効な境界の 1 番目の値。
パラメータ 3	無効な境界の 2 番目の値。
重大度	16
SQLCODE	-1501
SQLSTATE	2FW88
Sybase エラーコード	13602

考えられる原因

指定された座標の境界は無効です。

座標次元が混在しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_MIXED_DIM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1408
SQLSTATE	2FF25
Sybase エラーコード	13164

考えられる原因

このメソッドには、座標次元 (Z 値と M 値) が混在するジオメトリが含まれています。

シェイプファイル属性の解析エラーです。

エラー定数	SQLE_SLERR_SHAPE_PARSE_ATTRIBUTES
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1423
SQLSTATE	2FW14
Sybase エラーコード	13149

考えられる原因

シェイプファイルに無効な属性が含まれています。

シェイプファイルのファイル名が無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_SHAPE_INVALID_FILENAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1424
SQLSTATE	2FW15
Sybase エラーコード	13148

考えられる原因

指定されたシェイプファイルのファイル名が無効です。

シェイプファイルレコードの解析エラーです。

エラー定数	SQLE_SLERR_SHAPE_PARSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1422

SQLSTATE	2FW13
Sybase エラーコード	13150

考えられる原因

シェイプファイルに無効なレコードが含まれています。

式にサポートされていないデータ型があります。

エラー定数	SQLE_DATATYPE_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	14
SQLCODE	-624
SQLSTATE	WW009
Sybase エラーコード	10356

考えられる原因

サポートされていないパラメータまたは結果データ型で、外部関数または Java メソッドが宣言されました。または、サポートされていない結果データ型の Java フィールド参照を行おうとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「SQL データ型」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light SQL データ型」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

式は配列ではありません。

エラー定数	SQLE_NOT_AN_ARRAY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1666

SQLSTATE	42X07
Sybase エラーコード	12457

考えられる原因

配列を評価しない式に (二重角カッコを使用して) ARRAY 修飾参照を適用しようとしたか、UNNEST に ARRAY 型でない式を渡そうとしました。

その他の情報

- 「複合データ型」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「ARRAY コンストラクタ [複合]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

識別子 '%1' が長すぎます。

エラー定数	SQLE_IDENTIFIER_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	長すぎる識別子。
重大度	15
SQLCODE	-250
SQLSTATE	54003
Sybase エラーコード	103

考えられる原因

長さ 128 バイトを超える識別子を指定しました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「識別子」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light の識別子」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

式を更新できません。

エラー定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000

ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-190
SQLSTATE	53W02
Sybase エラーコード	230

考えられる原因

更新しようとしたクエリのカラムは、テーブルのカラムではなく、データベースの式です。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「式」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light の式」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

シグネチャ '%1' はプロシージャのパラメータと一致しません。

エラー定数	SQLE_SIGNATURE_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	シグネチャの値。
重大度	16
SQLCODE	-737
SQLSTATE	42W54
Sybase エラーコード	201

考えられる原因

シグネチャでのタイプの数はプロシージャパラメータの数と一致している必要があります。DYNAMIC RESULT SETS 句が指定されている場合、動的結果セットの数はシグネチャにある数と一致している必要があります。

システム権限とロールの機能はこのデータベースではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_ROLES_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1535
SQLSTATE	0AW27
Sybase エラーコード	12570

考えられる原因

現在のデータベースが古いデータベースで、システム権限とロールの機能用のカタログサポートを持っていません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

システムコマンドが失敗し、リターンコード %1 が返されました。

エラー定数	SQLE_SYSTEM_COMMAND_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リターンコードの値。
重大度	16
SQLCODE	-910
SQLSTATE	38W01
Sybase エラーコード	13574

考えられる原因

システムコマンドの実行時に、0 以外のリターンコードが返されました。

システムのイベントタイプ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_EVENT_TYPE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったシステムのイベントタイプの名前。
重大度	11
SQLCODE	-806
SQLSTATE	WE008
Sybase エラーコード	13816

考えられる原因

データベースに存在しないシステムのイベントタイプの名前でイベントを作成しようとしました。

指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_DBSPACE_FOR_CREATE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	作成できなかったアイテムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-648
SQLSTATE	08W36
Sybase エラーコード	13702

考えられる原因

指定した DB 領域が無効です。たとえば、インデックスは基本となるテーブルと同じ型の DB 領域に作成してください。

指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした

エラー定数	SQLE_DBSPACE_NOT_CALIBRATED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-860
SQLSTATE	WW028
Sybase エラーコード	13864

考えられる原因

開いていない DB 領域、または小さすぎる DB 領域を調整しようとしました。

指定された LDAP サーバ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_LDAP_SERVER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	LDAP サーバの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1554
SQLSTATE	28000
Sybase エラーコード	12551

考えられる原因

指定された LDAP サーバはデータベースに存在していません。

指定された値が長すぎます。%1 バイトの制限を超えています。

エラー定数	SQLE_LDAPUA_OPT_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	値の最大長。
重大度	16
SQLCODE	-1624
SQLSTATE	WW216
Sybase エラーコード	12482

考えられる原因

LDAP サーバオプションに指定された値が長すぎます。指定する文字列を短くしてください。

指定された値は必要な範囲 %1 ～ %2 にありません。

エラー定数	SQLE_LDAPUA_OPT_OUT_OF_RANGE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	このオプションの最小値。
パラメータ 2	このオプションの最大値。
重大度	16
SQLCODE	-1620
SQLSTATE	WW217
Sybase エラーコード	12486

考えられる原因

LDAP サーバオプションに指定された値が大きすぎるか小さすぎます。

指定された外部キー (%1) は使用できません。

エラー定数	SQLE_UNENFORCEABLE_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	外部キーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-729
SQLSTATE	23507
Sybase エラーコード	549

考えられる原因

実行できない外部キーを作成しようとしました。実行可能にするためには、指定されたキーに対するプライマリテーブルと外部テーブルが同じサーバ上に存在する必要があります。
UNENFORCED キーワードを使用して、実行できない外部キー仕様を作成できます。

指定された識別名 '%1' は、検索結果 '%2' と一致しません。

エラー定数	SQLE_LDAPUA_DN_NOMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	コマンド指定された、予期される識別名。
パラメータ 2	LDAP 検索で返される結果の識別名。
重大度	16
SQLCODE	-1602
SQLSTATE	WW213
Sybase エラーコード	12504

考えられる原因

VALIDATE LDAP SERVER コマンドでの検索によりユーザの識別名は正しく検索されましたが、コマンドで指定された予期される識別名と値が異なります。

指定されたシステム権限 '%1' は無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_SYSTEM_PRIVILEGE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	システム権限の名前。
重大度	14
SQLCODE	-1541
SQLSTATE	28000
Sybase エラーコード	12564

考えられる原因

指定されたシステム権限がデータベースに存在していません。

指定された証明書は有効ではありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_CERTIFICATE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1588
SQLSTATE	55W43
Sybase エラーコード	12517

考えられる原因

証明書の値が有効な証明書を示していません。

指定されたセッション名 '%1' は無効です

エラー定数	SQLE_INVALID_TRACE_EVENT_SESSION_NAME

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントのセッション名。
重大度	11
SQLCODE	-1634
SQLSTATE	WE020
Sybase エラーコード	12469

考えられる原因

指定したトレースイベントのセッション名は無効です。

指定された操作を実行できません。ユーザの設定条件の違反です。

エラー定数	SQLE_SET_USER_VIOLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1553
SQLSTATE	55W37
Sybase エラーコード	12552

考えられる原因

データベースで実行中の SET USER 文が無効になるため、指定の操作は実行できません。

その他の情報

- 「同一化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「GRANT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「SETUSER 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

指定された操作を実行できません。ロール '%1' の管理者の人数は、min_role_admins オプションの値よりも小さくなります。

エラー定数	SQLE_MIN_ROLE_ADMIN_VIOLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	管理者条件の最小数に違反したロールの名前
重大度	16
SQLCODE	-1525
SQLSTATE	55W36
Sybase エラーコード	12579

考えられる原因

指定のロール用の管理者の数がデータベースオプション min_role_admins で設定したスレッショルド値を下回るため、指定の操作を実行できません。

指定されたターゲットタイプ '%1' は無効です

エラー定数	SQLE_INVALID_TRACE_EVENT_TARGET_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントのターゲットタイプ。
重大度	11
SQLCODE	-1646
SQLSTATE	WE031
Sybase エラーコード	12473

考えられる原因

指定したトレースイベントのターゲットタイプは無効です。

指定されたデータベースが見つかりません。

エラー定数	SQLE_DATABASE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-83
SQLSTATE	08W10
Sybase エラーコード	911

考えられる原因

データベースサーバが、指定したデータベースを見つけられませんでした。データベースサーバが、開けないデータベースファイル、またはネットワークで見つからなかったデータベースファイルを起動しようとしました。稼働中でないデータベース名に接続しようとた可能性もあります。

指定されたデータベースは無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-84
SQLSTATE	08W11
Sybase エラーコード	4001

考えられる原因

指定したデータベースファイルは無効です。データベースサーバは停止しました。

指定されたデータベースファイルはすでに使用されています。

エラー定数	SQLE_FILE_IN_USE

ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	14
SQLCODE	-816
SQLSTATE	08W56
Sybase エラーコード	924

考えられる原因

ファイルがすでに使用されているため、データベースサーバは指定したデータベースを起動できませんでした。

その他の情報

- SQL Anywhere : 「ローカルコンピュータ上のデータベースの起動と接続 (Sybase Central または Interactive SQL の場合)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere : 「別のコンピュータ上のデータベースの起動と接続 (コマンドライン)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light : 「Ultra Light データベースへの接続」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。

エラー定数	SQLE_FILE_WRONG_VERSION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1005
SQLSTATE	08W86
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

指定されたデータベースファイルは別のバージョンのソフトウェアで作成されたので、このバージョンで読み込むことができません。

その他の情報

- SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード

指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。

エラー定数	SQLE_FILE_NOT_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1004
SQLSTATE	08W85
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

指定したファイルは有効なデータベースファイルではありません。

指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログです。

エラー定数	SQLE_CORRUPT_REDO
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクションログファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1007

SQLSTATE	08W88
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

指定したファイルは有効なトランザクションログではありません。

指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログミラーです。

エラー定数	SQLE_CORRUPT_REDO_MIRROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクションログのミラーファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1008
SQLSTATE	08W72
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

指定したファイルは有効なトランザクションログミラーではありません。

指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベースファイルではありません。

エラー定数	SQLE_FILE_BAD_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1006

SQLSTATE	08W87
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

指定したファイルは有効なデータベースではありません。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「データベースの開始と停止」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「データベースサーバの起動方法」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light データベースへの接続」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクションログファイル が見つかりません

エラー定数	SQLE_LOG_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクションログファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1017
SQLSTATE	08W81
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

トランザクションログファイルが見つかりませんでした。

指定されたデータベースを開始できません。このサーバで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)

エラー定数	SQLE_UPGRADE_DATABASE

ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースファイルの名前。
パラメータ 2	データベースファイルにない機能。
重大度	11
SQLCODE	-1012
SQLSTATE	08W76
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

このサーバで開始するには、指定したデータベースをアップグレードする必要があります。

指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。

エラー定数	SQLE_CORRUPT_REDO_OR_MIRROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクションログファイルの名前。
パラメータ 2	トランザクションログのミラーファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1009
SQLSTATE	08W73
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

トランザクションログがトランザクションログミラーと異なります。トランザクションログ、またはそのミラーが無効です。

指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログで、'%1' は操作を予期していません。

エラー定数	SQLE_EXPECTING_NO_REDO
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクションログファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1010
SQLSTATE	08W74
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

トランザクションログに操作が含まれますが、データベースサーバでは操作が想定されていませんでした。

指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_ENCRYPTION_ALGORITHM
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-1011
SQLSTATE	08W75
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

このサーバでサポートされていないアルゴリズムでデータベースが暗号化されています。

指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いためです。

エラー定数	SQLE_LOG_TOO_SHORT
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクションログファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1020
SQLSTATE	08W84
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

トランザクションログファイルが短すぎます。

指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。

エラー定数	SQLE_LOG_OFFSETS_DONT_MATCH
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクションログファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1018
SQLSTATE	08W82
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

トランザクションログファイルに、データベースファイルで予想していたオフセットと一致しないオフセットがあります。

指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはデータベースファイルがログファイルよりも後に使用されているためです。

エラー定数	SQLE_LOG_OLDER_THAN_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクションログファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1019
SQLSTATE	08W83
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

データベースファイルがトランザクションログファイルよりも最近使用されています。

指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログファイルがデータベースファイルよりも後に使用されているためです。

エラー定数	SQLE_LOG_NEWER_THAN_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクションログのミラーファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1016

SQLSTATE	08W80
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

トランザクションログファイルがデータベースファイルよりも最近使用されています。

指定されたデータベースを起動できません : %1

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースを起動できなかった理由 (理由が判明している場合)。
重大度	11
SQLCODE	-82
SQLSTATE	08W09
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

データベースサーバが、指定されたデータベースを起動できませんでした。詳細については、データベースサーバメッセージウィンドウを確認してください。サーバが自動的に起動されていた場合は、-o データベースサーバオプションを使用してデータベースサーバのメッセージを表示するか、またはサーバを手動で起動すると、データベースを起動できなかった理由に関する詳細情報を取得できることがあります。

指定されたデータベースを起動できません : データベース %1 を起動するにはサーバをアップグレードする必要があります。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_DATABASE_VER_NEWER
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001

パラメータ 1	起動できなかったデータベースの名前 (名前が判明している場合)。
重大度	11
SQLCODE	-934
SQLSTATE	08W67
Sybase エラーコード	13552

考えられる原因

データベースのバージョンがサーバのバージョンよりも新しいため、データベースサーバはデータベースを起動できませんでした。データベースを起動できるようにするには、データベースのバージョン以降にサーバをアップグレードする必要があります。

その他の情報

- SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード

指定されたデータベースを起動できません：ログファイルエラー

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_DATABASE_LOG_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-935
SQLSTATE	08W68
Sybase エラーコード	13553

考えられる原因

ログファイルが見つからないか別のデータベースのログファイルである、またはその他の理由により、データベースサーバはデータベースを起動できませんでした。詳細については、サーバメッセージウィンドウを確認してください。

指定されたデータベースを停止できません：%1

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_STOP_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースを停止できなかった理由 (理由が判明している場合)。
重大度	11
SQLCODE	-1384
SQLSTATE	08WA5
Sybase エラーコード	13184

考えられる原因

データベースサーバが、指定されたデータベースを停止できませんでした。

指定されたトランザクションの独立性が不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRANSACTION_ISOLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-676
SQLSTATE	WJ003
Sybase エラーコード	7374

考えられる原因

指定したトランザクション独立性は無効です。

指定されたユーザ '%1' はロールです。

エラー定数	SQLE_CAN_NOT_DROP_ROLE

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	削除されるユーザの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1558
SQLSTATE	28000
Sybase エラーコード	12547

考えられる原因

ロールを削除しようとしました。DROP ROLE 文を使用してください。

指定されたリスナを登録できませんでした。

エラー定数	SQLE_CANNOT_REGISTER_LISTENER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-992
SQLSTATE	54W04
Sybase エラーコード	13497

考えられる原因

リスナの最大数に達した、クラス名がすでに使用されている、またはシステムリソースがないために、指定したリスナを登録できませんでした。

指定されたローカル接続 ID が見つかりません。

エラー定数	SQLE_LOCAL_CONNECTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-996
SQLSTATE	WO024
Sybase エラーコード	709

考えられる原因

指定した接続 ID の接続がありません。

指定されたロール '%1' は、ロールとして拡張されたユーザです。

エラー定数	SQLE_AN_EXTENDED_USER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	削除されるロールの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1560
SQLSTATE	28000
Sybase エラーコード	12545

考えられる原因

指定されたロールはロールとして拡張されたユーザですが、FROM USER が DROP ROLE コマンドで指定されていません。

指定されたロール '%1' は、ロールとして拡張されたユーザではありません。

エラー定数	SQLE_NOT_AN_EXTENDED_USER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	削除されるロールの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1559
SQLSTATE	28000
Sybase エラーコード	12546

考えられる原因

指定されたロール名は、ロールとして拡張されたユーザではありません。このような場合、FROM USER 句を使用することはできません。

指定した HTTP ヘッダに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています

エラー定数	SQLE_HTTP_HEADER_ATTRIBUTE_ASCII
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1095
SQLSTATE	WW071
Sybase エラーコード	13420

考えられる原因

HTTP ヘッダには印刷可能な ASCII 文字が含まれる必要があります。

指定した HTTP ヘッダは不正です

エラー定数	SQLE_HTTP_HEADER_ATTRIBUTE_MALFORMED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1096
SQLSTATE	WW072
Sybase エラーコード	13419

考えられる原因

HTTP ヘッダにコロンの区切り文字がないか、折り返しの構造が間違っています。

指定した UTF-16 エンディアンは、データで見つかった Byte Order Mark に一致しません

エラー定数	SQLE_UTF16_ENDIAN_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1189
SQLSTATE	WC004
Sybase エラーコード	13326

考えられる原因

指定した UTF-16 エンコードは、データの予期されるエンディアンを明示的に指定していますが、データの最初で見つかった Byte Order Mark は、データが逆のエンディアンでエンコードされていることを示しています。

指定した外部事前フィルタ名は無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_EXT_PREFILTER_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1394
SQLSTATE	WT029

Sybase エラーコード	13176

考えられる原因

テキスト設定で指定された外部事前フィルタ名が無効です。

その他の情報

- 「テキスト設定オブジェクトの作成または変更時の指定項目」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「CREATE TEXT CONFIGURATION 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「ALTER TEXT CONFIGURATION 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

指定した時間内でテーブルロックを取得できません。

エラー定数	SQLE_LOCK_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	21
SQLCODE	-1175
SQLSTATE	42WC4
Sybase エラーコード	13338

考えられる原因

LOCK TABLE 文が、指定された時間内に一部のロックを取得できませんでした。

指定したストップリストが長すぎます。

エラー定数	SQLE_TEXT_STOPLIST_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1240
SQLSTATE	WT018

Sybase エラーコード	13277

考えられる原因

テキスト設定のストップリストは 8000 バイト未満にしてください。

指定した外項ブレーカーは無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_EXT_TERMBREAKER_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1395
SQLSTATE	WT026
Sybase エラーコード	13175

考えられる原因

テキスト設定で指定された外部の単語区切り名が無効です。

その他の情報

- 「テキスト設定オブジェクトの作成または変更時の指定項目」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「CREATE TEXT CONFIGURATION 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「ALTER TEXT CONFIGURATION 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

指定した多角形フォーマット '%1' は、このタイプの空間参照系ではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_POLYFORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	多角形フォーマット文字列。
重大度	16

SQLCODE	-1469
SQLSTATE	2FW62
Sybase エラーコード	13103

考えられる原因

指定された多角形フォーマットは、このタイプの空間参照系ではサポートされていません。

指定したロギングタイプ ('%1') は無効か、サポートされていないか、または互換性がありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOAD_LOGGING_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定されたロギングタイプ。
重大度	19
SQLCODE	-1151
SQLSTATE	WL010
Sybase エラーコード	13261

考えられる原因

LOAD TABLE に対して指定されたロギングタイプは、使用されているバージョンのデータベースではサポートされていないか、文の他の指定と互換性がないか、ロード先の特定のテーブルではサポートされていません。

指定するユーザ名は、現在の接続のユーザ名である必要があります。

エラー定数	SQLE_CREATE_SCHEMA_USER_DOES_NOT_MATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1703
SQLSTATE	42WD5
Sybase エラーコード	12433

考えられる原因

CREATE SCHEMA AUTHORIZATION 句に、現在の接続のユーザ名以外のユーザ名を指定しました。

その他の情報

- 「CREATE SCHEMA 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループカラムである必要があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_GROUPING_AGGREGATE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-962
SQLSTATE	42WA7
Sybase エラーコード	13527

考えられる原因

集合関数 GROUPING への引数として指定できるのは、グループカラムだけです。1 つのグループカラム式以外のものが含まれている引数は、使用できません。

集合関数では、NULL 値は無視されます。

エラー定数	SQLE_NULL_VALUE_ELIMINATED
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01003
重大度	10

SQLCODE	109
SQLSTATE	01003
Sybase エラーコード	409

考えられる原因

集合関数の式引数が、1 つまたは複数のローについて NULL と評価されました。

集合関数の使用が無効です。

エラー定数	SQLE_AGGREGATES_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-150
SQLSTATE	42W06
Sybase エラーコード	13204

考えられる原因

集合関数の使用が不適切です。たとえば、SELECT 文では、集合関数が外部参照を構成していないかぎり、その集合関数を WHERE 句の述部の中に指定できません。また、集合関数を、UPDATE 文の SET 句の中に指定したり、CHECK 制約の中で使用したりすることはできません。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「クエリ結果を要約する集合関数」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「集合関数」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light 集合関数」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は相関名 '%2' と一致していません。

エラー定数	SQLE_INVALID_COLUMN_QUALIFICATION
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02

パラメータ 1	カラム参照で指定された所有者名。
パラメータ 2	正しく参照されていない相関名。
重大度	15
SQLCODE	-845
SQLSTATE	42U02
Sybase エラーコード	13851

考えられる原因

テーブル名に対する、修飾されたカラム参照がクエリにありますが、相関名がそのテーブルについて使用されたか、テーブルの所有者がカラム参照で指定された所有者名と一致しません。所有者による修飾を削除し、相関名のみでカラム参照を修飾してください。

集約関数の ORDER BY が不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ORDERBY_IN_AGGREGATE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-904
SQLSTATE	42W90
Sybase エラーコード	13579

考えられる原因

集合関数で ORDER BY を使用できるのは、SELECT リストに DISTINCT 集合関数がないか、ORDER BY の最初のカラムと等しい DISTINCT カラムのある DISTINCT 集合関数が 1 つある場合だけです。また、ORDER BY 句が完全に同じでないかぎり、並べ替えた複数の集合関数を同じ SELECT リストの中で使用することはできません。

集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。

エラー定数	SQLE_MULTIPLE_AGGREGATE_COLUMNS

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	エラーになった集約式。
重大度	15
SQLCODE	-861
SQLSTATE	42W68
Sybase エラーコード	13865

考えられる原因

ネストされたクエリに含まれている subselect の中に、外部参照を含むパラメータを指定した集合関数があります。この場合、外部参照に指定できるのは式で参照されるカラムのみです。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「相関サブクエリと非相関サブクエリ」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「集合関数を使用できる場所」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「FROM 句」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「式のサブクエリ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「FROM 句 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

集約式 '%1' は SELECT リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります

エラー定数	SQLE_INVALID_AGGREGATE_PLACEMENT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	エラーになった集約式。
重大度	15
SQLCODE	-862
SQLSTATE	42W69
Sybase エラーコード	13866

考えられる原因

外部参照を含む集約式は、SELECT リスト式 (subselect) の中、または FROM 句の中に集約されるカラムを持つテーブルが含まれているクエリの HAVING 句サブクエリの中で使用する必要があります。

出力ファイルのディレクトリが存在しません。

エラー定数	SQLE_DIRECTORY_INACCESSIBLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-978
SQLSTATE	WW047
Sybase エラーコード	13511

考えられる原因

ディレクトリが存在しないので、ファイルを書き込むことができません。

出力ファイルを書き込めません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_WRITE_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-979
SQLSTATE	WW048
Sybase エラーコード	13510

考えられる原因

出力ファイルの作成または書き込みができません。ファイルがロックされているか、読み込み専用である可能性があります。

照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_COLLATION_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サポートされていない照合。
重大度	16
SQLCODE	-1116
SQLSTATE	WC013
Sybase エラーコード	13398

考えられる原因

指定した照合は、現在のプラットフォームではサポートされていません。

照合 '%1' を認識できません。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_COLLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース照合ではない名前。
重大度	16
SQLCODE	-1506
SQLSTATE	WC018
Sybase エラーコード	12597

考えられる原因

指定された照合は不明です。名前のスペルが正しいことを確認してください。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「代替照合」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「CREATE DATABASE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「初期化ユーティリティ (dbinit)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light collation 作成パラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light でサポートされている照合」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

照合が無効です："%1"

エラー定数	SQLE_TEXT_BAD_COLLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な照合文字列。
重大度	16
SQLCODE	-1163
SQLSTATE	WT008
Sybase エラーコード	13350

考えられる原因

照合が見つからなかったか、適合化オプションが無効でした。

証明書 '%1' が見つかりません

エラー定数	SQLE_CERTIFICATE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかった証明書の名前
重大度	16
SQLCODE	-1589

SQLSTATE	55W44
Sybase エラーコード	12516

考えられる原因

証明書の名前のスペルが間違っているか、証明書が存在しません。

証明書の保存はこのデータベースではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_CERTIFICATES_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1587
SQLSTATE	55W42
Sybase エラーコード	12518

考えられる原因

現在のデータベースに証明書用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

使用中の設定は変更できません

エラー定数	SQLE_CONFIG_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1276
SQLSTATE	55W34
Sybase エラーコード	13863

考えられる原因

開かれた接続によって使用されている設定オブジェクトを修正しようとしました。

使用できるプランがありません。このタイプの文に対しては、NOEXEC プランは生成できません。

エラー定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_FOR_NOEXEC_PLAN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1176
SQLSTATE	0AW20
Sybase エラーコード	13337

考えられる原因

IQ によって NOEXEC プランを生成できない文のタイプの NOEXEC プランを取得しようとしました。

シングルバイトコンバーターの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。

エラー定数	SQLE_CHARACTER_CONVERSION_REPORT_NOT_AVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-883
SQLSTATE	WC007
Sybase エラーコード	13898

考えられる原因

on_charset_conversion_failure オプションを設定し、警告またはエラーをレポートしようとしました。シングルバイトからシングルバイトへのコンバーターを使用する場合、この設定は使用できません。

シーケンス %1 で使用できる値はありません。

エラー定数	SQLE_SEQUENCE_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	シーケンスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1355
SQLSTATE	52W48
Sybase エラーコード	13205

考えられる原因

このシーケンスから取得できる値がありません。次に生成される値が最大値より大きくなるか、または最小値よりも小さくなり、かつ、シーケンスが NO CYCLE を使用して指定されています。

シーケンス %1 の次の値を除外する範囲は指定できません

エラー定数	SQLE_INVALID_ALTER_SEQUENCE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	シーケンスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1510
SQLSTATE	52W54
Sybase エラーコード	13080

考えられる原因

シーケンスの MINVAL または MAXVAL 境界を変更しようとしましたが、この値が適用されると、シーケンスの nextval 式の次の呼び出しが無効になります。これらの値に対する範囲境界を変更する場合は、RESTART WITH 句を使用して、新しい範囲内にある値を指定することも必要となります。

その他の情報

- 「ユニークな値を生成するためのシーケンスの使用」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「ALTER SEQUENCE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

シーケンス '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SEQUENCE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	シーケンスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1359
SQLSTATE	52W44
Sybase エラーコード	13209

考えられる原因

この名前のシーケンスはデータベースに存在しません。

シーケンス '%1' で同一のオプションに複数の設定が指定されています

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_SEQUENCE_OPTION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	シーケンスの名前。
重大度	16

SQLCODE	-1357
SQLSTATE	52W50
Sybase エラーコード	13203

考えられる原因

同一シーケンスオプションの複数の設定がシーケンス定義で指定されました。設定が同じである場合でも、各オプションは 1 回だけ指定できます。

シーケンス '%1' に対する操作 '%2' は無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_SEQUENCE_OPERATION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	試行した操作の名前。
パラメータ 2	シーケンスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1353
SQLSTATE	52W46
Sybase エラーコード	13207

考えられる原因

シーケンスオブジェクトに対して無効な操作が試行されました。シーケンスに対する有効な操作は、currval と nextval のみです。

シーケンス '%1' の定義が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_SEQUENCE_DEFINITION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	シーケンスの名前。

重大度	16
SQLCODE	-1356
SQLSTATE	52W49
Sybase エラーコード	13204

考えられる原因

無効な組み合わせの変更子がシーケンスに使用されました。MAXVAL が MINVAL より大きいこと、および START WITH が MINVAL と MAXVAL の間であることを確認してください。

シーケンス '%1' はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_SEQUENCE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	シーケンスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1354
SQLSTATE	52W47
Sybase エラーコード	13206

考えられる原因

指定された名前のシーケンスはすでに存在します。

その他の情報

- 「CREATE SEQUENCE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「ALTER SEQUENCE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

シーケンス '%1' は別の接続で使用中です。

エラー定数	SQLE_SEQUENCE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001

パラメータ 1	ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1366
SQLSTATE	42WE3
Sybase エラーコード	13196

考えられる原因

別の接続によって現在使用されているシーケンスを削除しようとしました。

シーケンス名 '%1' があいまいです。

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_SEQUENCE_NAME
ODBC 2 ステータス	S0013
ODBC 3 ステータス	42S13
パラメータ 1	あいまいなシーケンスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1358
SQLSTATE	52W45
Sybase エラーコード	13208

考えられる原因

ユニークでないシーケンス名が文によって参照されました。シーケンス名には、はじめに所有者名を付けてください。

ジオメトリ式は、ORDER BY 句では使用できません ('%1' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_GEOM_ORDER_BY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	ジオメトリ式。
重大度	16
SQLCODE	-1531
SQLSTATE	2FW92
Sybase エラーコード	12574

考えられる原因

ORDER BY 句ではジオメトリ式を使用できません。ORDER BY 句の指定では、ST_LinearHash() メソッドを使用すれば、空間インデックスに使用したのと同じ規則を使用してジオメトリ値を順序付けることができます。または、ST_AsText() などの変換メソッドを使用して、文字列表現でローを順序付けることもできます。

ジオメトリの変換に失敗しました (エラー %1)。

エラー定数	SQLE_SLERR_TRANSFORM_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	投影ライブラリからのエラーコード。
重大度	16
SQLCODE	-1405
SQLSTATE	2FF15
Sybase エラーコード	13167

考えられる原因

空間参照系を別の空間参照系に変換していたときにエラーが発生しました。このエラーは、最初のジオメトリ内のポイントが、変換定義の境界の範囲外にある場合に発生する可能性があります。このエラーは、特定の変換定義に関して報告されている可能性もあります。変換ライブラリの整数エラーコードが、変換定義の診断に使用されている可能性があります。

実行時 SQL エラーです -- %1

エラー定数	SQLE_ERROR

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの ID。
重大度	18
SQLCODE	-300
SQLSTATE	40000
Sybase エラーコード	13664

考えられる原因

内部データベースエラーが発生しました。再現できた場合は、SAP Sybase に連絡してください。関連するクエリ文を変更することによって、この問題を回避できます。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support のサポートセンタに問い合わせてください。

自動データベースアップグレードが適用されました

エラー定数	SQLE_DATABASE_UPGRADE_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	149
SQLSTATE	WW234
Sybase エラーコード	13684

考えられる原因

データベースが以前のバージョンのソフトウェアによるものです。起動中に自動データベースアップグレードが発生します。その後は、データベースを以前のバージョンのソフトウェアで開くことができません。

その他の情報

- 「Ultra Light のアップグレード」『SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード』

自動ミラーサーバの親を割り当てることができません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_ASSIGN_AUTO_PARENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1360
SQLSTATE	WW156
Sybase エラーコード	13202

考えられる原因

CREATE MIRROR SERVER または ALTER MIRROR SERVER 文によってミラーの親の自動割り当てを要求されましたが、親サーバが見つかりませんでした。auto_add_server オプションが設定されていないか、または無効なサーバ名に設定されている可能性があります。

その他の情報

- 「コピーノードへの親の自動割り当て」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「SET MIRROR OPTION 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。

エラー定数	SQLE_CONN_REG_AUTO_LABEL_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-790
SQLSTATE	5RW29
Sybase エラーコード	13800

考えられる原因

代わりに、指定のラベルを使用して登録できます。

重複キーカラム (%1)

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_KEY_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	重複するカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1085
SQLSTATE	42WC0
Sybase エラーコード	13429

考えられる原因

プライマリキー、外部キー、または一意性制約のキー、またはインデックスに対するカラムのリストで重複するカラム名を指定しました。

準備文の種類が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_STATEMENT_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-133
SQLSTATE	07W03
Sybase エラーコード	13630

考えられる原因

これは内部エラーです。再現できた場合は、SAP Sybase に連絡してください。

スキーマのアップグレードは現在有効ではありません。

エラー定数	SQLE_SCHEMA_UPGRADE_NOT_ALLOWED

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-953
SQLSTATE	WW033
Sybase エラーコード	13535

考えられる原因

データベースが同時に使用中であるため、スキーマをアップグレードできません。たとえば、すべてのカーソルを閉じないと、スキーマをアップグレードできません。

その他の情報

- SQL Anywhere : 「アンロードユーティリティ (dbunload)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere : 「アップグレードユーティリティ (dbupgrad)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere : 「SQL Anywhere サーバのアップグレード」『SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード』
- Ultra Light : 「Ultra Light のアップグレード」『SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード』

スキーマファイル '%1' にアクセスできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_SCHEMA_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイル名、または名前が指定されていないことを示す値。
重大度	16
SQLCODE	-951
SQLSTATE	WW031
Sybase エラーコード	13537

考えられる原因

現在の操作を実行するには、Ultra Light にスキーマファイルが必要です。スキーマファイルが指定されていない、指定したファイルにアクセスできない、または指定したファイルが破損しています。

スクリプトファイルの行の区切りに文デリミタ "go" がありません

エラー定数	SQLE_SCRIPT_MISSING_DELIMITER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1315
SQLSTATE	WW046
Sybase エラーコード	13241

考えられる原因

Ultra Light では、スクリプトファイル内でコメント化されていないすべての SQL 文 (最後の文を含む) の後に、独立した行で "go" を続ける必要があります。文字列の場合は、文を終了するために "¥ngo" を使用できます。

その他の情報

- 「Ultra Light 用 Interactive SQL ユーティリティ (dbisql)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

スクロール位置 '%1' が不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_POSITION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	不正なスクロール位置。
重大度	16
SQLCODE	-820

SQLSTATE	24504
Sybase エラーコード	13826

考えられる原因

サポートされていない場所へスクロールしようとしました。スクロールする場所は、-2147483647 と 2147483646 の間である必要があります。

ストア DLL "%1" をロードできません。

エラー定数	SQLE_STORE_NOT_LOADED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードできなかったストア DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-646
SQLSTATE	08W34
Sybase エラーコード	13699

考えられる原因

ストア DLL をロードしようとしましたが、失敗しました。

ストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できません

エラー定数	SQLE_STORE_ENTRY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エントリポイントが失敗したストア DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-647
SQLSTATE	08W35

Sybase エラーコード	13700

考えられる原因

ストア DLL エントリポイントを検索または実行しようとしましたが、失敗しました。

ストアドプロシージャ内のリモートテーブルに関わる式を処理できません。

エラー定数	SQLE_OMNI_EXPRESSION_IN_PROC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	12
SQLCODE	-823
SQLSTATE	WO023
Sybase エラーコード	13829

考えられる原因

ストアドプロシージャ内にリモートテーブルを含む式がサーバで発生しました。式が複雑すぎて処理できませんでした。

ストップリストの値が無効です。

エラー定数	SQLE_TEXT_INVALID_STOPLIST_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1391
SQLSTATE	WT025
Sybase エラーコード	13181

考えられる原因

ストップリストに指定された値が無効です。

ストップリストの値には NULL は指定できません。

エラー定数	SQLE_TEXT_STOPLIST_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1389
SQLSTATE	WT023
Sybase エラーコード	13179

考えられる原因

テキスト設定ストップリストの値を NULL にすることはできません。ストップリストを削除するには、ALTER TEXT CONFIGURATION...DROP STOPLIST 文を使用します。

スナップショットアイソレーションが無効または保留になっています

エラー定数	SQLE_SNAPSHOT_ISOLATION_DISABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1054
SQLSTATE	55W23
Sybase エラーコード	13459

考えられる原因

スナップショットアイソレーションが無効になっているか、そのアクティブ化が保留になっています。スナップショットアイソレーションを有効にしてから、使用してください。

スナップショットアイソレーションを非スナップショットトランザクションで使用しようとしました。

エラー定数	SQLE_NON_SNAPSHOT_TRANSACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1065
SQLSTATE	42WBB
Sybase エラーコード	13449

考えられる原因

トランザクションでスナップショットアイソレーションを使用しようとしましたが、このトランザクションはスナップショットアイソレーションを指定して開始されていません。

スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました

エラー定数	SQLE_SNAPSHOT_TABLE_CHANGED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1061
SQLSTATE	42WB8
Sybase エラーコード	13452

考えられる原因

スナップショットトランザクションで使用しようとしたテーブルは、トランザクション開始後に作成または変更されています。

スナップショット中は文を使用できません

エラー定数	SQLE_STATEMENT_NOT_ALLOWED_IN_SNAPSHOT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1062
SQLSTATE	42WB9
Sybase エラーコード	13451

考えられる原因

未完了のスナップショットがある接続で CREATE INDEX、DROP INDEX、ALTER INDEX、または ALTER TABLE を使用しようとしました。接続のカーソルがすべて閉じていることを確認してください。

スナップショットトランザクションで更新の競合が発生しました。

エラー定数	SQLE_SNAPSHOT_UPDATE_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1064
SQLSTATE	42WBA
Sybase エラーコード	13450

考えられる原因

スナップショットトランザクションで更新または削除しようとしたローは、スナップショットの開始後に別のトランザクションによって変更されています。

すべてのカラム参照引数は、同じテーブルを参照しなければなりません。

エラー定数	SQLE_TEXT_TOO_MANY_TABLE_REFERENCES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1157
SQLSTATE	WT002
Sybase エラーコード	13356

考えられる原因

CONTAINS クエリ内のすべてのカラム参照は、同じテーブルを参照しなければなりません。

その他の情報

- 「CONTAINS 探索条件」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

すべてのスレッドがブロックされています。

エラー定数	SQLE_THREAD_DEADLOCK
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-307
SQLSTATE	40W06
Sybase エラーコード	1205

考えられる原因

ローの読み込み／書き込みを行おうとしましたが、他のユーザがそのローをロックしています。また、他のすべてのスレッド (-gn サーバオプションを参照してください) は、ロックが解除されるのを待ってブロックされています。これはデッドロック状態であり、トランザクションがロールバックされるよう選択されました。

その他の情報

- 「-gn データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「トランザクションのブロックとデッドロック」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

正規表現 '%2' 中の '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_REGULAR_EXPRESSION
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	2201B
パラメータ 1	正規表現が無効である理由。
パラメータ 2	無効な正規表現。
重大度	16
SQLCODE	-1135
SQLSTATE	2201B
Sybase エラーコード	13378

考えられる原因

指定された正規表現は無効です。

制約 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_CONSTRAINT_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S23
パラメータ 1	見つからなかった制約の名前。
重大度	16
SQLCODE	-929
SQLSTATE	42U04
Sybase エラーコード	13556

考えられる原因

制約名のスペルを間違えたか、探している制約は別のテーブルにあります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「テーブルとカラム制約」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

制約 '%1' の違反です：テーブル '%2' の値が無効です。

エラー定数	SQLE_TABLE_CONSTRAINT_VIOLATED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	無効な値によって違反となった制約の名前 (定義されている場合)。
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1091
SQLSTATE	23508
Sybase エラーコード	548

考えられる原因

CHECK 制約に違反する挿入または更新をしようとしました。CHECK 制約は FALSE のとき違反になり、条件が TRUE または UNKNOWN と評価されるときはそのままの状態になります。

制約 '%1' の違反です：テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_COLUMN_VALUE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	23000

パラメータ 1	無効な値によって違反となった制約の名前 (定義されている場合)。
パラメータ 2	無効な値を割り当てられたカラムの名前。
パラメータ 3	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-209
SQLSTATE	23506
Sybase エラーコード	548

考えられる原因

CHECK 制約に違反する挿入または更新をしようとしました。CHECK 制約は FALSE のとき違反になり、条件が TRUE または UNKNOWN と評価されるときはそのままの状態になります。

制約 '%1' への参照または操作が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_CONSTRAINT_REF
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S23
パラメータ 1	指定された目的に使用できない制約の名前。
重大度	16
SQLCODE	-937
SQLSTATE	42U06
Sybase エラーコード	13550

考えられる原因

制約に対して無効な操作を指定しました。たとえば、主キー制約を変更しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「テーブルとカラム制約」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「CREATE TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

セキュア機能のキー名 '%2' は、%1 への呼び出しでは有効でありません。

エラー定数	SQLE_SFC_INVALID_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャ名。
パラメータ 2	セキュリティ機能キーの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1687
SQLSTATE	08S03
Sybase エラーコード	12441

考えられる原因

無効なセキュリティ機能キーの名前が指定のプロシージャに渡されました。

その他の情報

- 「セキュリティ機能」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sf データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「sa_server_option システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

セキュリティトークンを生成する場合のツール名または管理ユーザが無効です

エラー定数	SQLE_INVALID_TOOL_NAME_OR_ADMIN_USER
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-1585
SQLSTATE	08WB1
Sybase エラーコード	12520

考えられる原因

セキュリティトークンの生成用に指定したツール名または admin ユーザが無効です。

設定ファイルを読み込み中にエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_SLERR_CONFIG_FILE_ERR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1438
SQLSTATE	2FW31
Sybase エラーコード	13134

考えられる原因

空間サポート用の設定ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。このエラーは、"st_geometry_config.tgz" ファイルがインストールされていない場合に発生する可能性があります。

設定名 %1 は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_CONFIG_NO_SUBFILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な設定名。
重大度	16
SQLCODE	-1439
SQLSTATE	2FW32
Sybase エラーコード	13133

考えられる原因

指定された設定はサポートされていません。

接続エラー：%1

エラー定数	SQLE_CONNECTION_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	接続エラーの説明。
重大度	16
SQLCODE	-832
SQLSTATE	08W60
Sybase エラーコード	13838

考えられる原因

データベースサーバとの接続を確立しようとして、データベースとの接続を試みる前にエラーが発生しました。このエラーの例としては、接続時の通信リンクの初期化失敗があります。LogFile 接続パラメータを使用してデバッグログファイルを作成すると、詳細な情報が記載されている場合があります。

接続が切断されました。

エラー定数	SQLE_CONNECTION_TERMINATED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-308
SQLSTATE	40W07
Sybase エラーコード	4224

考えられる原因

データベース接続は終了され、トランザクションはロールバックされました。接続が終了した理由には、DBA が DROP CONNECTION 文を実行した、データベースサーバが停止した、またはデータベースサーバへのネットワーク接続で割り込みが発生した、などが考えられます。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「DROP CONNECTION 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「ROLLBACK 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「ROLLBACK 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

接続がタイムアウトしました。

エラー定数	SQLE_REMOTE_CONNECTION_TIMED_OUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-982
SQLSTATE	WW051
Sybase エラーコード	13507

考えられる原因

活動がないため、リモートホストへの接続がタイムアウトになりました。

接続が見つかりません。

エラー定数	SQLE_CONNECTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	08003
ODBC 3 ステータス	08003
重大度	16
SQLCODE	-108
SQLSTATE	08W02
Sybase エラーコード	4224

考えられる原因

DISCONNECT または SET CONNECTION 文で指定した接続名が無効です。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「DISCONNECT 文 [ESQL] [Interactive SQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「SET CONNECTION 文 [Interactive SQL] [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

接続しているテンポラリテーブルが多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_TEMP_TABLES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-817
SQLSTATE	52W41
Sybase エラーコード	13823

考えられる原因

CREATE TABLE または DECLARE LOCAL TEMPORARY TABLE 文でテンポラリテーブルを作成しようとしましたが、その結果テンポラリテーブルに使用される個別のテーブル ID の数が、現在の接続では制限を超えています。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「CREATE TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「DECLARE LOCAL TEMPORARY TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

接続できません：サーバは要求された暗号化タイプを受け入れませんでした。

エラー定数	SQLE_ENCRYPTION_TYPE_NOT_ACCEPTED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16

SQLCODE	-1145
SQLSTATE	08W97
Sybase エラーコード	13367

考えられる原因

サーバは特定の暗号化タイプのみを受け入れますが、接続の暗号化タイプは受け入れられるタイプのいずれでもありません。サーバが受け入れる暗号化タイプを設定するには、-ec サーバオプションを使用します。

接続できません。サーバ定義が循環しています。

エラー定数	SQLE_OMNI_CIRCULAR_CONNECT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-657
SQLSTATE	WO002
Sybase エラーコード	13593

考えられる原因

ローカルデータベースにマッピングされているリモートサーバに接続しようとしました。

接続パラメータファイルが見つかりません。

エラー定数	SQLE_NO_PROFILE_FILE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-654
SQLSTATE	08W37

Sybase エラーコード	13706

考えられる原因

接続プロファイルがある接続文字列を解析しようとしましたが、接続パラメータファイルが見つかりませんでした。

接続パラメータ文字列の解析エラーです。

エラー定数	SQLE_GEN_PARSE_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-655
SQLSTATE	08W38
Sybase エラーコード	13707

考えられる原因

接続文字列を解析できませんでした。文字列または接続パラメータファイルに構文エラーがあります。

接続を完了するためにログインリダイレクションが必要ですが、クライアントではサポートされていません

エラー定数	SQLE_LOGIN_REDIRECTION_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-1551
SQLSTATE	08WA6
Sybase エラーコード	12554

考えられる原因

別のサーバに接続がリダイレクトされる必要がありますが、使用しているバージョンのクライアントライブラリでは、ログインのリダイレクトがサポートされていません。ログインのリダイレクトを使用するには、クライアントライブラリをアップグレードする必要があります。または、別のサーバに接続するか、論理サーバの設定を変更します。

その他の情報

- 「START EXTERNAL ENVIRONMENT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「SQL Anywhere 外部環境のサポート」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

宣言されていないタグ ID : '%1'

エラー定数	SQLE_UNDECLARED_FOR_XML_EXPLICIT_TAG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	宣言されていないタグ ID の値。
重大度	16
SQLCODE	-901
SQLSTATE	WX009
Sybase エラーコード	13580

考えられる原因

テーブルの Tag カラムのそれぞれの値は、少なくとも 1 つのカラム名の TagNumber フィールドで宣言する必要があります。

選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。

エラー定数	SQLE_DATABASE_NOT_ACTIVE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	14
SQLCODE	-74
SQLSTATE	08W30

Sybase エラーコード	950

考えられる原因

選択されたデータベースはアクティブではありません。データベースは起動中か、停止中です。

セーブポイント '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SAVEPOINT_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	セーブポイントの名前。
重大度	16
SQLCODE	-220
SQLSTATE	3B001
Sybase エラーコード	6401

考えられる原因

存在しないセーブポイントへロールバックしようとしました。

セーブポイントには、ロールバックログが必要です。

エラー定数	SQLE_SAVEPOINTS_REQUIRE_UNDO
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-213
SQLSTATE	3BW01
Sybase エラーコード	13656

考えられる原因

データベースサーバが、ロールバックログなしでバルクモードで実行されているときは、セーブポイントは使用できません。

ゼロで除算しようとしました。

エラー定数	SQLE_DIV_ZERO_ERROR
ODBC 2 ステータス	22012
ODBC 3 ステータス	22012
重大度	16
SQLCODE	-628
SQLSTATE	22012
Sybase エラーコード	36007

考えられる原因

0 による除算を伴う操作が検出されました。

その他の情報

- 「divide_by_zero_error オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- divide_by_zero_error 接続プロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_CHANGE_ML_REMOTE_ID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1118
SQLSTATE	0AW17
Sybase エラーコード	13395

考えられる原因

Mobile Link サーバは、リモート ID を使用して同期の進行状況を追跡します。前回行われたアップロードのステータスが不明な場合は、この状態を解消してからリモート ID を変更してください。

その他の情報

- 「リモート ID」『Mobile Link クライアント管理』
- SQL Anywhere : 「リモート ID の設定」『Mobile Link クライアント管理』
- Ultra Light : 「Ultra Light ml_remote_id オプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません

エラー定数	SQLE_CANNOT_CHANGE_USER_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-867
SQLSTATE	0AW13
Sybase エラーコード	13871

考えられる原因

Mobile Link サーバは、user_name を使用して同期を追跡します。前回行われたアップロードのステータスが不明な場合は、この状態を解消してからユーザを変更してください。

その他の情報

- 「Mobile Link ユーザ」『Mobile Link クライアント管理』
- SQL Anywhere : 「Mobile Link ユーザ」『Mobile Link クライアント管理』
- Ultra Light : 「User Name 同期パラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。

エラー定数	SQLE_PREVIOUS_ERROR_LOST
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-825
SQLSTATE	WP011
Sybase エラーコード	13831

考えられる原因

ストアドプロシージャの例外ハンドラ中の RESIGNAL 文が実行されましたが、前回のエラーの内容が使用できませんでした。このエラーの原因としては、SELECT 文が例外ハンドラで結果セットを返していることが考えられます。

相関名 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_CORRELATION_NAME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	無効な相関名。
重大度	16
SQLCODE	-142
SQLSTATE	52W02
Sybase エラーコード	208

考えられる原因

相関名のスペルを間違えたか、相関名のかわりにテーブル名を使用しました。

相関名 '%1' は、ROWID 関数では使用できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_CORRELATION_FOR_ROWID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	無効な相関名。
重大度	15
SQLCODE	-1113
SQLSTATE	42WBF
Sybase エラーコード	13401

考えられる原因

使用した相関名は ROWID 関数に有効ではありませんでした。ROWID 関数には、ベーステーブル、テンポラリテーブル、グローバルテンポラリテーブル、またはプロキシテーブルの相関名だけを使用できます。ROWID 関数の引数では、ビュー、派生テーブル、共通テーブル式、またはプロシージャを参照できません。

相関名 '%1' への参照が不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_CORRELATION_NAME_REFERENCE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	正しく参照されていない相関名。
重大度	15
SQLCODE	-824
SQLSTATE	42U01
Sybase エラーコード	13830

考えられる原因

クエリのテーブル式に、そのテーブル式に入っていない相関名への参照が含まれています。

操作 '%1' は次の理由で失敗しました : '%2'

エラー定数	SQLE_ULTRALITEJ_OPERATION_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000

パラメータ 1	操作の名前。
パラメータ 2	障害の原因。
重大度	16
SQLCODE	-1279
SQLSTATE	WW231
Sybase エラーコード	13808

考えられる原因

要求された操作が失敗しました。

操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません

エラー定数	SQLE_COLUMN_NOT_STREAMABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	型が無効なカラムの番号。
重大度	16
SQLCODE	-1100
SQLSTATE	WW045
Sybase エラーコード	13414

考えられる原因

ストリーミングをサポートするカラムの型は、BINARY、LONG BINARY、VARCHAR、LONG VARCHAR だけです。このエラーは、同じカラムにストリームオブジェクトを 2 回割り付けた場合にも発生する可能性があります。

操作は許可されていません

エラー定数	SQLE_ULTRALITEJ_OPERATION_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1278
SQLSTATE	WW230
Sybase エラーコード	13846

考えられる原因

要求された操作は、スキーマの修正中には許可されていません。

挿入したカラムが重複しています。

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_INSERT_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-637
SQLSTATE	42W41
Sybase エラーコード	264

考えられる原因

Insert 文のカラム名のリストに重複したカラム名を指定しました。

即時マテリアライズドビュー %1 が依存している複数のテーブルを更新できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_TWO_TABLES_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	update 文で 2 つ以上のテーブルに依存しているビューの名前。
重大度	16

SQLCODE	-1192
SQLSTATE	55W29
Sybase エラーコード	13323

考えられる原因

初期化された即時マテリアライズドビューが依存している 2 つ以上のテーブルを同時に更新しようとしました。即時マテリアライズドビューが依存しているベーステーブルを文で複数更新することはできません。

即時マテリアライズドビューの最後のユニークインデックスを削除できません。

エラー定数	SQLE_DELETE_UPDATABLE_MATVIEW_INDEX_ERR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1184
SQLSTATE	55W21
Sybase エラーコード	13331

考えられる原因

即時マテリアライズドビューの、NULL 入力不可のカラムにある最後のユニークインデックスを削除しようとしました。即時マテリアライズドビューを有効にするには、NULL 入力不可のカラムにユニークインデックスが 1 つ以上必要です。

即時マテリアライズドビューの定義に NULL 入力可能な式に対する SUM 関数を含めることはできません。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_SUM_NULL_EXPR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15

SQLCODE	-1286
SQLSTATE	42WCD
Sybase エラーコード	13668

考えられる原因

定義に NULL 入力可の式に対する SUM 関数を含む即時マテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

測定単位 "%1" は角度単位ではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_UOM_NOT_ANGULAR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な測定単位の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1447
SQLSTATE	2FW40
Sybase エラーコード	13125

考えられる原因

指定された測定単位は、線形の測定単位ではありません。

測定単位 "%1" は距離単位ではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_UOM_NOT_LINEAR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な測定単位の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1446

SQLSTATE	2FW39
Sybase エラーコード	13126

考えられる原因

指定された測定単位は、線形の測定単位ではありません。

測定単位 '%1' が認識できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_UNKNOWN_UOM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	測定単位の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1404
SQLSTATE	2FF14
Sybase エラーコード	13168

考えられる原因

名前が、定義されている測定単位と一致しません。

測定単位 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_NO_UOM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	測定単位名。
重大度	16
SQLCODE	-1458
SQLSTATE	2FW51

Sybase エラーコード	13114

考えられる原因

指定された測定単位は、定義されていません。

測定単位 '%1' はすでに存在しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_UOM_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	測定単位の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1460
SQLSTATE	2FW53
Sybase エラーコード	13112

考えられる原因

指定された測定単位は、すでに定義されています。

測定単位を作成する場合は、CONVERT USING 句を指定する必要があります。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_UOM_NOFACT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1455
SQLSTATE	2FW48
Sybase エラーコード	13117

考えられる原因

CONVERT USING 句を指定せずに、CREATE SPATIAL UNIT OF MEASURE 文が使用されました。

外項ブレーカーの初期化中にエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_ERROR_INITIALIZING_EXT_TERMBREAKER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1393
SQLSTATE	WT028
Sybase エラーコード	13177

考えられる原因

内部エラーが発生したため、外部の単語区切りを初期化できませんでした。

増分リフレッシュは、ハンドルが不足しているときには実行できません。

エラー定数	SQLE_TEXT_HANDLES_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1390
SQLSTATE	WT024
Sybase エラーコード	13180

考えられる原因

MANUAL または AUTO REFRESH テキストインデックスの増分リフレッシュは、ハンドルが不足しているときには実行できません。テキストインデックスを再構築してから、増分リフレッシュを使用してください。

その他の情報

- 「REFRESH TEXT INDEX 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「テキストインデックスの再表示タイプ」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。

エラー定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_OPTIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性。
パラメータ 2	属性の 1 番目のオプション。
パラメータ 3	属性の 2 番目のオプション。
重大度	16
SQLCODE	-1131
SQLSTATE	WW088
Sybase エラーコード	13382

考えられる原因

この属性に指定されたオプションは互換性がありません。

SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、た～は)

タイプ %1 の式は、タイプ %2 とは和両立しません。

エラー定数	SQLE_SLERR_NOT_UNION_COMPAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	式 1 のタイプ。
パラメータ 2	式 2 のタイプ。

重大度	16
SQLCODE	-1479
SQLSTATE	2FW72
Sybase エラーコード	13093

考えられる原因

たとえば、UNION などの集合操作や COALESCE などの SQL 関数で、これらの 2 つのタイプは結合できません。

タイプ '%1' には '%2' というメソッドはありません ('%3' 付近)。

エラー定数	SQLE_METHOD_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	一致しないメソッドを持つタイプの名前。
パラメータ 2	一致しなかったメソッドの名前。
パラメータ 3	無効な式。
重大度	11
SQLCODE	-1336
SQLSTATE	42X01
Sybase エラーコード	13220

考えられる原因

メソッド呼び出しと一致させようとしているときに、適切な名前のメソッドが見つかりませんでした。スペルが間違っていないかチェックしてください。

タイプ '%1' のミラーサーバはすでに定義されています。

エラー定数	SQLE_MIRROR_SERVER_TYPE_ALREADY_DEFINED
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サーバタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1352
SQLSTATE	WW155
Sybase エラーコード	13205

考えられる原因

CREATE MIRROR SERVER 文で、すでに定義されているサーバタイプが指定されました。

タイプ '%1' は、%2 引数でインスタンス化することはできません ('%3' 付近)。

エラー定数	SQLE_METHOD_NO_CONSTRUCTOR_N_ARGS
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	インスタンス化できないタイプの名前。
パラメータ 2	指定された引数の数。
パラメータ 3	無効な式。
重大度	11
SQLCODE	-1340
SQLSTATE	42X05
Sybase エラーコード	13216

考えられる原因

NEW 式が、コンストラクタメソッドが定義されていないデータ型に使用されました。

タイプ '%1' はインスタンス化可能ではありません ('%2' 付近)。

エラー定数	SQLE_METHOD_NO_CONSTRUCTOR

ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	インスタンス化できないタイプの名前。
パラメータ 2	無効な式。
重大度	11
SQLCODE	-1338
SQLSTATE	42X03
Sybase エラーコード	13218

考えられる原因

NEW 式が、コンストラクタメソッドが定義されていないデータ型に使用されました。

タイプ '%1' はメソッド呼び出しをサポートしていません ('%2' 付近)。

エラー定数	SQLE_METHOD_ON_NON_EXT
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	データ型の名前。
パラメータ 2	無効な式。
重大度	11
SQLCODE	-1335
SQLSTATE	42X00
Sybase エラーコード	13221

考えられる原因

メソッドが定義されていないデータ型の値に対してメソッドを呼び出そうとしました。

タイプ '%2' のプロシージャサブタイプ '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_PROCEDURE_SUBTYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャのサブタイプ。
パラメータ 2	プロシージャのタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-987
SQLSTATE	WW056
Sybase エラーコード	13502

考えられる原因

関数またはプロシージャがそのプロシージャタイプに無効のサブタイプを使って指定されました。

タイプ COPY で定義されたミラーサーバ "%1" には、親定義は含まれていません。

エラー定数	SQLE_COPY_SERVER_NEEDS_PARENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ミラーサーバ名。
重大度	16
SQLCODE	-1505
SQLSTATE	42WE6
Sybase エラーコード	13135

考えられる原因

タイプが COPY であるサーバに対する CREATE MIRROR SERVER 文で、親サーバが定義されていません。

その他の情報

- 「CREATE MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「子コピーノードを追加する方法」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

タイプ COPY のミラーサーバが、ライセンスが付与された最大数を超えました。

エラー定数	SQLE_MIRROR_COPY_SERVER_LIMIT_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1383
SQLSTATE	WW160
Sybase エラーコード	13185

考えられる原因

定義可能なタイプ COPY のミラーサーバの最大数は、データベースサーバのライセンスによって制限されています。タイプ COPY のミラーサーバがすでに許可されている最大数存在しているにもかかわらず、新しく作成しようとしました。

タイムアウトするまでに、キュー '%1' で通知がありませんでした

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATION_QUEUE_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	イベント通知キューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1266
SQLSTATE	WE017
Sybase エラーコード	13244

考えられる原因

保留中の通知取得操作がタイムアウトしました。指定されたタイムアウトが経過する前に通知が届きませんでした。

その他の情報

- Ultra Light： 「ML_GET_SERVER_NOTIFICATION 関数 [システム]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

タイムアウトになったため、要求が中断されました。

エラー定数	SQLE_REQUEST_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1043
SQLSTATE	57W01
Sybase エラーコード	13468

考えられる原因

現在の要求は、データベースオプション request_timeout の値よりも長く実行されたので、実行中にキャンセルされました。データベースはロールバックなしで操作を停止できました。文が INSERT、UPDATE、または DELETE の場合、変更はすべてキャンセルされます。文がデータ定義文 (CREATE TABLE など) の場合、その文はキャンセルされますが、関連する動作として実行された COMMIT はキャンセルされません。

多角形が無効です：外部リングがありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_NO_EXT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1449
SQLSTATE	2FW42

Sybase エラーコード	13123

考えられる原因

指定された多角形は、外部リングを持たないため無効です。

多角形が無効です：外部リングが複数あります。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_MULT_EXT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1451
SQLSTATE	2FW44
Sybase エラーコード	13121

考えられる原因

複数の外部リングが存在し、それらのリングによって単一の有効な多角形が作成されません。

多角形のネストが無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_NESTING
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1450
SQLSTATE	2FW43
Sybase エラーコード	13122

考えられる原因

指定されたリングは、有効な多角形として解釈できません。

多角形のフォーマット '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_ORD
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な多角形フォーマット。
重大度	16
SQLCODE	-1448
SQLSTATE	2FW41
Sybase エラーコード	13124

考えられる原因

指定された多角形フォーマットは、有効なフォーマットではありません。

多角形のリングの順序が再設定されました。

エラー定数	SQLE_SLWARN_POLYGON_RING_REORIENTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1490
SQLSTATE	01FW1
Sybase エラーコード	13082

考えられる原因

多角形のリングが、入力時に自動的に再方向付けされました。これは単なる通知です。

タグ ID :'%1' は、配列によってバインドされていない値を指定します。

エラー定数	SQLE_FOR_JSON_EXPLICIT_NOT_IN_ARRAY

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	配列によって境界設定されていないタグ ID の値。
重大度	16
SQLCODE	-1613
SQLSTATE	WX017
Sybase エラーコード	12493

考えられる原因

クエリでオブジェクトと値の表記が混合されている場合、タグが同じ親に属する複数のクエリの共用体でこのエラーが発生することがあります。

その他の情報

- 「複合データ型」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「ARRAY コンストラクタ [複合]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

タスク '%1' は許可されていません

エラー定数	SQLE_SYSPRIV_CREATION_NOT_ALLLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ユーザによって提供された内部タスクの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1527
SQLSTATE	28W18
Sybase エラーコード	12578

考えられる原因

システム権限の作成は内部タスクであり、データベースの作成またはアップグレード中のみ行えます。

他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。

エラー定数	SQLE_SAME_APP_RUNNING
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-783
SQLSTATE	5RW22
Sybase エラーコード	13793

考えられる原因

排他アプリケーションを登録しようとしましたが、同じアプリケーションの他のインスタンスがすでに登録されています。

他の接続が '%1' のローをロックしています

エラー定数	SQLE_ROW_LOCKED
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	エラーを引き起こすテーブル。
重大度	21
SQLCODE	-1281
SQLSTATE	42W80
Sybase エラーコード	13805

考えられる原因

他の接続によってロックされているローの修正または削除を行おうとしました。その接続がコミットまたはロールバックすると、ローのロックが解除されます。

他の接続はすでに '%1' として登録されています。

エラー定数	SQLE_NOT_UNIQUE_CONN_REG_LABEL
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	登録済みの接続ラベル。
重大度	16
SQLCODE	-788
SQLSTATE	5RW27
Sybase エラーコード	13798

考えられる原因

同じアプリケーションですでに使用されているラベルで接続を登録しようとしました。

他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。

エラー定数	SQLE_SAME_EXCLUSIVE_APP_RUNNING
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-782
SQLSTATE	5RW21
Sybase エラーコード	13792

考えられる原因

アプリケーションを開こうとしましたが、同じアプリケーションの他の排他インスタンスがすでに登録されています。

単語の長さが許容範囲を超えています。

エラー定数	SQLE_TEXT_BAD_TERM_LENGTH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1162
SQLSTATE	WT007
Sybase エラーコード	13351

考えられる原因

単語の最小長と最大長はどちらも、0 より大きく、かつ 60 以下にしてください。

ターゲットタイプ '%2' にオプション '%1' が指定されていません。

エラー定数	SQLE_OPTION_FOR_TARGET_TYPE_NOT_SPECIFIED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	オプションの名前。
パラメータ 2	トレースイベントのターゲットタイプ。
重大度	11
SQLCODE	-1648
SQLSTATE	WE033
Sybase エラーコード	12475

考えられる原因

ターゲットタイプの必要なオプションが指定されませんでした。

ターゲットタイプ '%2' に不明なオプション '%1' が指定されています。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_OPTION_FOR_TARGET_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	オプションの名前。
パラメータ 2	トレースイベントのターゲットタイプ。
重大度	11
SQLCODE	-1647
SQLSTATE	WE032
Sybase エラーコード	12474

考えられる原因

特定のターゲットタイプに対して不明なオプション名が指定されました。

ダイナミックライブラリ '%1' をロードできませんでした。

エラー定数	SQLE_COULD_NOT_LOAD_LIBRARY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードできなかったダイナミックライブラリの名前。
重大度	19
SQLCODE	-620
SQLSTATE	WW006
Sybase エラーコード	13677

考えられる原因

このエラーは、通常、外部関数呼び出しで名前が指定されたダイナミックライブラリのロードに失敗した場合に発生します。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「SQL Anywhere 外部呼び出しインタフェース」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- Ultra Light： 「Ultra Light C++ アプリケーションの構築と配備」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

ダイナミックライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_COULD_NOT_FIND_FUNCTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかった関数の名前。
パラメータ 2	関数が見つからなかったダイナミックライブラリの名前。
重大度	19
SQLCODE	-621
SQLSTATE	WW007
Sybase エラーコード	13678

考えられる原因

ダイナミックライブラリ内に外部関数を見つけることができませんでした。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「SQL Anywhere 外部呼び出しインタフェース」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- Ultra Light： 「Ultra Light C++ アプリケーションの構築と配備」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

ダイナミックライブラリ名が必要です。

エラー定数	SQLE_REQUIRE_DLL_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	19
SQLCODE	-619
SQLSTATE	WW005
Sybase エラーコード	13676

考えられる原因

呼び出す外部関数の名前にライブラリ名指定子を指定する必要があります。

ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません

エラー定数	SQLE_DOWNLOAD_RESTART_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1102
SQLSTATE	WW074
Sybase エラーコード	13412

考えられる原因

Mobile Link サーバでダウンロードを再開できませんでした。Mobile Link サーバで完全なアップロードストリームが受信されていません。

その他の情報

- 「認証処理」『Mobile Link クライアント管理』
- 「ダウンロードの失敗の再開」『Mobile Link サーバ管理』

チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。

エラー定数	SQLE_CHECKSUMS_NOT_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-971
SQLSTATE	WW042
Sybase エラーコード	13517

考えられる原因

チェックサムが有効でないデータベースで、チェックサム検証を実行しようとしました。

地理空間参照系に楕円パラメータがありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_NOELLIPSOID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1465
SQLSTATE	2FW58
Sybase エラーコード	13107

考えられる原因

地理空間参照系を作成する場合は、楕円パラメータを DEFINITION 句で指定するか、または明示的に指定する必要があります。これらのパラメータは、ポイント間の距離を計算するために使用されます。

通信エラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_COMMUNICATIONS_ERROR
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-85

SQLSTATE	08W12
Sybase エラーコード	1602

考えられる原因

アプリケーションとサーバ間の通信に問題があります。

その他の情報

- 「通信プロトコル」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「ネットワーク通信のトラブルシューティング」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

通信環境を作成できませんでした。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_CREATE_STREAMS_ENV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-740
SQLSTATE	WW024
Sybase エラーコード	13753

考えられる原因

通信環境を作成できませんでした。環境を作成するためのリソースが不足しているか、言語リソースファイルが見つかりません。

定義文字列 '%1' の解析エラーです。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_BADWKT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	座標系の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1463

SQLSTATE	2FW56
Sybase エラーコード	13109

考えられる原因

指定された定義文字列は、その座標系の有効な既知のテキストではありません。

テキストインデックス %1 は、テキストプロシージャ %2 では使用できません

エラー定数	SQLE_TEXT_INVALID_INDEX_FOR_PROC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テキストインデックスの名前。
パラメータ 2	不正なインデックスが指定されたプロシージャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1526
SQLSTATE	WT036
Sybase エラーコード	12579

考えられる原因

指定されたテキストプロシージャはテキストインデックスでは使用できません。テキストプロシージャの文字セットとアクセスするテキストインデックスの文字セットを対応させる必要があります。

テキストインデックス %1 を再表示する必要があります。

エラー定数	SQLE_TEXT_MATCHING_INDEX_NOT_REFRESHED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	再表示する必要があるテキストインデックスの名前。
重大度	16

SQLCODE	-1253
SQLSTATE	WT019
Sybase エラーコード	13260

考えられる原因

クエリに一致するテキストインデックスがありますが、使用する前に再表示する必要があります。

テキストインデックスが含まれる外部ライブラリの使用をサポートするには、データベースのアップグレードが必要です。

エラー定数	SQLE_TEXT_EXT_UPGRADE_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1522
SQLSTATE	WT035
Sybase エラーコード	12582

考えられる原因

現在のデータベースには、事前フィルタおよび単語区切りの外部ライブラリ用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

その他の情報

- 「SQL Anywhere サーバのアップグレード」『SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード』
- 「テキストインデックスの概念と参照」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「高度：外部単語区切りライブラリと事前フィルタライブラリ」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

テキストインデックスにより参照されているテキスト設定を変更または削除することはできません。

エラー定数	SQLE_TEXT_CANNOT_ALTER_CONFIG

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1168
SQLSTATE	WT012
Sybase エラーコード	13345

考えられる原因

移植されたテキストインデックスにより参照されているテキスト設定や、テキストプロシージャにより現在使用されているテキスト設定を変更または削除することはできません。設定をコピーし、そのコピーを変更するか、テキストプロシージャですべてのカーソルを閉じ、設定を使用するすべてのインデックスをトランケートします。

テキストインデックスの一部であるテーブルにはアクセスできません。

エラー定数	SQLE_TEXT_CANNOT_USE_TEXT_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1169
SQLSTATE	WT013
Sybase エラーコード	13344

考えられる原因

テキストインデックスの一部として作成されたテーブルを直接操作することはできません。

テキストクエリで、BEFORE 演算子の使用が無効です。

エラー定数	SQLE_TEXT_INVALID_BEFORE
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1591
SQLSTATE	WT040
Sybase エラーコード	12514

考えられる原因

BEFORE 演算子の引数として使用できるのは単語とプレフィクスのみです。

テキストクエリで、NEAR 演算子の使用が無効です。

エラー定数	SQLE_TEXT_INVALID_NEAR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1207
SQLSTATE	WT016
Sybase エラーコード	13308

考えられる原因

NEAR 演算子の引数として使用できるのは単語とプレフィクスのみです。

テキストクエリパーサエラー：%1

エラー定数	SQLE_TEXT_PARSER_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テキストクエリパーサによって返されたエラーメッセージ。
重大度	16

SQLCODE	-1164
SQLSTATE	WT009
Sybase エラーコード	13349

考えられる原因

テキストクエリを解析できませんでした。

テキストクエリ文字列が定数ではないか、不明です。

エラー定数	SQLE_TEXT_QUERY_NOT_KNOWN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1159
SQLSTATE	WT004
Sybase エラーコード	13354

考えられる原因

CONTAINS クエリへのクエリ文字列引数は、定数にするか、変数で NULL 以外の値にしてください。

テキストクエリーには 300 語以上含めることはできません。

エラー定数	SQLE_TEXT_QUERY_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1370
SQLSTATE	WT022
Sybase エラーコード	13192

考えられる原因

テキストクエリには、300 以下の単語を使用してください。

テキスト設定 "%1" はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_TEXT_CONFIG_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テキスト設定名。
重大度	16
SQLCODE	-1161
SQLSTATE	WT006
Sybase エラーコード	13352

考えられる原因

指定されたテキスト設定名はすでに存在します。

テキスト設定 "%1"."%2" が見つかりません。

エラー定数	SQLE_TEXT_CONFIG_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テキスト設定の作成者。
パラメータ 2	テキスト設定名。
重大度	16
SQLCODE	-1160
SQLSTATE	WT005
Sybase エラーコード	13353

考えられる原因

指定されたテキスト設定は存在しません。

テキスト設定 '%1' を作成できません。オプション '%2' に不適切な設定があります。

エラー定数	SQLE_TEXT_BAD_OPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	設定の名前。
パラメータ 2	設定が間違っているオプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1174
SQLSTATE	WT014
Sybase エラーコード	13339

考えられる原因

テキスト設定のデータベースオプション設定を作成または変更する必要がある操作を実行しようとしましたが、オプションのいずれかが現在、テキスト設定に対して許可されていない値に設定されています。

テキスト設定を所有しているユーザは削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_TEXT_CONFIG
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1167
SQLSTATE	55W12
Sybase エラーコード	13346

考えられる原因

テキスト設定の作成者であるユーザを削除しようとしました。まず、テキスト設定を削除してください。

テンポラリテーブル '%1' が、前回使用後から変更されました。

エラー定数	SQLE_TEMP_TABLE_DEFINITION_CHANGED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブル名。
重大度	16
SQLCODE	-1397
SQLSTATE	WW165
Sybase エラーコード	13174

考えられる原因

テンポラリテーブルの定義が、ストアドプロシージャまたはトリガで最後に使用されてから変更されています。プロシージャを再コンパイルしてください。

テンポラリテーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリキーが必要です。

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_INDEX
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-865
SQLSTATE	42R03
Sybase エラーコード	1709

考えられる原因

結合されたインデックスをデータベースで使用している場合は、テンポラリテーブル間のキー制約には (一意性制約ではない) プライマリキーが必要です。ALTER TABLE を使用してプライマリテーブルの定義を変更するか、データベースを再構築してください。

テンポラリテーブルが使用されました。

エラー定数	SQLE_TEMPORARY_TABLE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
重大度	10
SQLCODE	102
SQLSTATE	01W02
Sybase エラーコード	13075

考えられる原因

クエリの条件を満たすためにテンポラリテーブルが作成されました。この警告は OPEN 文でのみ発生します。

その他の情報

- 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

テンポラリテーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_TEMP_TABLE_COMMIT_ACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-993
SQLSTATE	WL007
Sybase エラーコード	13496

考えられる原因

LOAD TABLE 文は完了時に自動的にコミットします。ロードされるテンポラリテーブルが ON COMMIT DELETE ROWS を使って宣言された場合、ローは完了時に破棄されます。

テンポラリテーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_ACTION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-849
SQLSTATE	42R01
Sybase エラーコード	1709

考えられる原因

テンポラリテーブルに対してサポートされていない参照整合性アクションを指定しようとしました。

テンポラリ領域の制限を超えています。

エラー定数	SQLE_TEMP_SPACE_LIMIT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1000
SQLSTATE	54W05
Sybase エラーコード	13492

考えられる原因

接続がテンポラリ領域の使用制限を越えました。この制限は、テンポラリファイルのあるドライブに残っている空き領域の容量にも基づきます。使用していないファイルをドライブから削除

するか、空き領域がこれより大きいドライブにテンポラリファイルを格納してください。テンポラリファイルのディレクトリを指定する -dt サーバオプションを確認してください。

テーブル "%1" のカーソルを閉じることができません。LOAD TABLE は実行できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_LOAD_TEMP_WITH_CURSOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブル名。
重大度	16
SQLCODE	-1155
SQLSTATE	WL011
Sybase エラーコード	13358

考えられる原因

オープンカーソルがあるテンポラリテーブルで LOAD TABLE を実行することはできません。カーソルを閉じようとしましたが、失敗しました。失敗した LOAD TABLE によって、テンポラリテーブル内のすべてのローが削除され、そのためにカーソルが無効になります。

テーブル %1、インデックス %2 のインデックスの検証は次のコードで失敗しました : %3

エラー定数	SQLE_CORRUPT_ULTRALITE_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブルの名前。
パラメータ 2	インデックスの名前。
パラメータ 3	見つかった破損の具体的な種類。
重大度	23

SQLCODE	-1185
SQLSTATE	WI002
Sybase エラーコード	13330

考えられる原因

Ultra Light データベース検証が、指定されたインデックスの検証中に失敗しました。コードによって、検証の失敗に関するより具体的な情報がわかります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「VALIDATE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「sa_validate システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「データベースの検証」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「検証ユーティリティ (dbvalid)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light データベースの検証」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light データベース検証ユーティリティ (ulvalid)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' からすべてのカラムを削除することは許可されていません。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_DELETED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	カラムが削除できなかったテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-124
SQLSTATE	42W44
Sybase エラーコード	207

考えられる原因

テーブル内のカラム数が 1 未満になることはありません。ALTER TABLE には、カラム削除を行う (DROP/DELETE) 句が現在のテーブル内のカラム数よりも多く存在します。

テーブル '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_TABLE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったテーブルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-141
SQLSTATE	42W33
Sybase エラーコード	2706

考えられる原因

テーブルの名前のスペルを間違えたか、テーブル名を所有者名で修飾しませんでした。たとえば、"DBA"."Employees" ではなく "Employees" を参照しています。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「データベースオブジェクトの名前とプレフィクス」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「ユーザ拡張ロール」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「FROM 句」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「FROM 句 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' 内のローのプライマリキーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。

エラー定数	SQLE_PRIMARY_KEY_VALUE_REF
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	修正されているローを含むテーブルの名前。
パラメータ 2	参照元テーブルの外部インデックス (またはロール) の名前。
パラメータ 3	プライマリローを参照する外部テーブルの名前。
重大度	16

SQLCODE	-198
SQLSTATE	23W05
Sybase エラーコード	547

考えられる原因

ローを削除または修正しようとしましたが、そのローのプライマリキー値がデータベースのどこかで参照されています。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「DELETE によるデータの削除」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「DELETE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「外部キーによる参照整合性の確保」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- Ultra Light： 「DELETE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' に、MERGE 文の ANSI カーディナリティ違反があります

エラー定数	SQLE_MERGE_CARDINALITY_VIOLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	更新するテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1211
SQLSTATE	23509
Sybase エラーコード	13304

考えられる原因

MERGE 文を実行しようとしていて、かつ同じローが複数回 WHEN MATCHED 句のターゲットになっています。

テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_HINT

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ヒントが指定されたテーブルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-970
SQLSTATE	42U07
Sybase エラーコード	13520

考えられる原因

現在の文で指定されたヒントが、このコンテキストでは無効です。1 つの文の中では、テーブルへのすべての参照は同じヒントを指定するか、ヒントをまったく指定しないでください。

テーブル '%1' には、ROWID 関数への無効な参照が含まれています。

エラー定数	SQLE_INVALID_ROWID_PLACEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な参照があるテーブルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1115
SQLSTATE	42WC1
Sybase エラーコード	13399

考えられる原因

計算カラム式または CHECK 制約内では ROWID 関数を使用できません。

テーブル '%1' にはカラムがありません

エラー定数	SQLE_TABLE_HAS_NO_COLUMNS

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1273
SQLSTATE	0EW00
Sybase エラーコード	13891

考えられる原因

カラムなしのテーブルを作成しようとしました。

テーブル '%1' には空間カラム '%2' は含まれていますが、プライマリキーはありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_UPDDEL_NO_PK
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	空間カラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1452
SQLSTATE	2FW45
Sybase エラーコード	13120

考えられる原因

UPDATE 文または DELETE 文は、テーブルにプライマリキーが定義されている場合を除き、空間カラムを含むテーブルに対しては実行できません。

テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。

エラー定数	SQLE_TABLE_HAS_REFACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	参照動作を伴うテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-677
SQLSTATE	56001
Sybase エラーコード	547

考えられる原因

テーブル名の変更ができませんでした。テーブルには参照動作の外部キーが含まれています。テーブル名を変更するには、外部キー制約を削除してください。

テーブル '%1' にはプライマリキーが定義されていません。

エラー定数	SQLE_NO_PRIMARY_KEY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	プライマリキーを持たないテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-118
SQLSTATE	55008
Sybase エラーコード	1719

考えられる原因

この操作を実行するには、参照テーブルにプライマリキーが必要です。たとえば、プライマリキーがないテーブルを参照しながら外部キーを追加したり、INSERT 文の ON EXISTING 句を使用したりした可能性があります。参照テーブルにプライマリキーを追加する必要があります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「プライマリキー」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- Ultra Light： 「Ultra Light のテーブルの作成」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light でのプライマリキーの一意性」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。

エラー定数	SQLE_CORRELATION_NAME_NEEDED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ユニークな相関名が必要なテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-137
SQLSTATE	52W15
Sybase エラーコード	315

考えられる原因

テーブルをそれ自身にジョインするジョインを指定しました。1 つのテーブルを複数回使用する場合は、ユニークな相関名が必要となります。

テーブル '%1' の DB 領域が見つかりません。

エラー定数	SQLE_DBSPACE_FOR_TABLE_UNAVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	DB 領域が見つからなかったテーブルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-821
SQLSTATE	52W19
Sybase エラーコード	13827

考えられる原因

データベースサーバが見つけることができない DB 領域のテーブルにアクセスしようとしました。ALTER DBSPACE 文を使用して、その DB 領域に関連するファイル名を変更することが必要な場合があります。

テーブル '%1' の MERGE 文は失敗しました。文で RAISERROR が指定されています

エラー定数	SQLE_MERGE_USER_SPECIFIED_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	マージ先のテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1254
SQLSTATE	23510
Sybase エラーコード	13259

考えられる原因

1 つ以上のマージ操作分岐で RAISERROR 句を含む MERGE 文を実行しようとしていて、かつ入力ローのいずれかがこれらの分岐のいずれかの条件を満たしています。

テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。

エラー定数	SQLE_OMNI_RMT_COLUMNS_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモートテーブルの完全な名前。
重大度	11
SQLCODE	-667
SQLSTATE	WO008
Sybase エラーコード	11207

考えられる原因

テーブルのカラム情報にアクセスできませんでした。テーブルのパーミッションをチェックしてください。

テーブル '%1' の既存のロー (ロー : %2) と競合しているため、ダウンロードに失敗しました

エラー定数	SQLE_DOWNLOAD_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	競合を伴うテーブルの名前
パラメータ 2	競合が発生したローのプライマリキーの値
重大度	16
SQLCODE	-839
SQLSTATE	0AW11
Sybase エラーコード	13845

考えられる原因

同期中に、ダウンロードストリーム内の 1 つ以上のローと Ultra Light データベースでローカルに変更されたローの間で競合が発生しました。ダウンロードはロールバックされました。ローカルデータベースでの変更と同期を協調させるか、またはローカルデータベースの変更が完了した時点で再同期することによって、このエラーを回避できます。

その他の情報

- 「競合検出」『Mobile Link サーバ管理』
- 「競合の検出と解決」『Mobile Link クイックスタート』
- 「競合の解決」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Ultra Light アプリケーションの同期の設定」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' の最大ローサイズを超過します。

エラー定数	SQLE_MAX_ROW_SIZE_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	テーブル名。
重大度	16
SQLCODE	-1132
SQLSTATE	WW089
Sybase エラーコード	13381

考えられる原因

最大ローサイズが 64 KB よりも大きいテーブルを作成または変更しようとしました。Ultra Light では、最大ローサイズ (各カラムの格納に必要なバイト数の合計) が 64 KB 未満になるようにテーブルを定義する必要があります。

その他の情報

- SQL Anywhere : 「SQL Anywhere のサイズと数の制限」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light : 「Ultra Light および Ultra Light Java Edition データベースの制限事項」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light : 「Ultra Light のテーブルとカラム」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light J : 「Ultra Light および Ultra Light Java Edition データベースの制限事項」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_NULL_ROW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	修正できないテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-734
SQLSTATE	09W08
Sybase エラーコード	13750

考えられる原因

指定したテーブル内のローを修正または削除しようとしました。そのローは、外部ジョインの NULL 入力テーブルの一部です。しかし、1 つ以上の ON 条件で評価が TRUE とならなかったために、このテーブルですべてが NULL のローが生成されました。現在カーソルはそのローに位置しています。UPDATE 文または DELETE 文が正しいことを確認してください。

テーブル '%1' のトリガまたは外部キーは有効でなくなりました。

エラー定数	SQLE_TRIGGER_NO_LONGER_VALID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-837
SQLSTATE	42W64
Sybase エラーコード	13843

考えられる原因

トリガ定義をカタログからロードできません。テーブルまたはカラムの名前が変更されていないか、予約語が使用されていないかを調べてください。外部キーの参照動作を施行するには、システム生成トリガを使用できます。

テーブル '%1' のプライマリキーがユニークではありません : プライマリキー値 ('%2')

エラー定数	SQLE_PRIMARY_KEY_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	問題が検出されたテーブルの名前。
パラメータ 2	エラーの原因となった、重複したプライマリキー値。
重大度	14

SQLCODE	-193
SQLSTATE	23W01
Sybase エラーコード	2601

考えられる原因

新しいローをテーブルに追加しようとしましたが、新しいローが既存のローと同じプライマリキー値を使っています。データベースは追加を行っていません。たとえば、学生番号 86004 の学生を追加しようとした場合で、すでに同じ番号の学生がいたときに起こります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「プライマリキー」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「INSERT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「LOAD TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「INSERT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「LOAD TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガで修正または削除されました。

エラー定数	SQLE_ROW_REMODIFIED_OR_DELETED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-833
SQLSTATE	42W62
Sybase エラーコード	13839

考えられる原因

BEFORE トリガがローを更新または削除したためにトリガが起動して、元のオペレーションを完了できませんでした。UPDATE 文または DELETE 文によってローが変更されないようにトリガを書き直してください。

テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。

エラー定数	SQLE_OUTER_JOIN_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	循環されるテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-136
SQLSTATE	52W14
Sybase エラーコード	315

考えられる原因

テーブルの循環を引き起こす外部ジョインを指定しました。

テーブル '%1' はすでにインクルードされています。

エラー定数	SQLE_TABLE_ALREADY_INCLUDED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-822
SQLSTATE	5RW36
Sybase エラーコード	13828

考えられる原因

パブリケーションまたは同期の定義を追加または更新しようとして、同じテーブルを 2 回含めました。

その他の情報

- SQL Anywhere : 「CREATE PUBLICATION 文 [Mobile Link] [SQL Remote]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere : 「ALTER PUBLICATION 文 [Mobile Link] [SQL Remote]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light : 「CREATE PUBLICATION 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light : 「ALTER PUBLICATION 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' は同期サブスクリプションの一部であり、同期スキーマ変更内でしか変更できません。

エラー定数	SQLE_SYNC_CONTAINS_TABLE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブル名。
重大度	16
SQLCODE	-819
SQLSTATE	5RW35
Sybase エラーコード	13825

考えられる原因

同期サブスクリプションに属するテーブルは変更できません。ただし、同期スキーマ変更内で変更する場合、および dbmlsync を使用して変更する場合を除きます。

テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。

エラー定数	SQLE_TABLE_HAS_PUBLICATIONS
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリケーションを持つテーブルの名前。
重大度	16

SQLCODE	-281
SQLSTATE	5RW02
Sybase エラーコード	13643

考えられる原因

パブリケーションが定義されているテーブルを削除しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「テーブルの削除」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- Ultra Light： 「Ultra Light テーブルの削除」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' を参照する即時ビューを作成するには、テーブルを所有している必要があります。

エラー定数	SQLE_NO_PERMS_FOR_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1270
SQLSTATE	42WD3
Sybase エラーコード	13754

考えられる原因

マテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしていて、かつ所有していないテーブルがビューによって参照されています。この操作を実行するには、マテリアライズドビューによって参照されているすべてのテーブルを所有しているか、DBA 権限を持っている必要があります。

テーブル '%1' をパブリケーション '%2' に含めるには同期する必要があります。

エラー定数	SQLE_TABLE_MUST_SYNCHRONIZE_IN_PUB

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブルの名前。
パラメータ 2	パブリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1328
SQLSTATE	WW143
Sybase エラーコード	13228

考えられる原因

パブリケーションには、SYNCHRONIZE OFF 制約を持つテーブルを含めることはできません。パブリケーション内のすべてのテーブルを同期してください。SYNCHRONIZE OFF 制約を持つテーブルをパブリケーションに追加しようとしたか、またはパブリケーションにすでに存在する、SYNCHRONIZE OFF が設定されたテーブルを変更しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_NOT_FOUND_IN_TABLE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S22
パラメータ 1	見つからなかったカラムの名前。
パラメータ 2	カラムを含んでいると予想されたテーブルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-834
SQLSTATE	52005
Sybase エラーコード	13840

考えられる原因

カラム名のスペルを間違えたか、探しているカラムは別のテーブルにあります。

テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。

エラー定数	SQLE_NOT_FOUND_IN_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なインデックスの名前。
パラメータ 2	無効なインデックスを持つテーブルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-189
SQLSTATE	WI005
Sybase エラーコード	2727

考えられる原因

これは内部エラーです。再現できた場合は、SAP Sybase に連絡してください。このインデックスを削除して再作成すれば、操作を続行できます。

テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。

エラー定数	SQLE_INDEX_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	ユニークにならないインデックスの名前。
パラメータ 2	そのインデックスがあるテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-196

SQLSTATE	23505
Sybase エラーコード	548

考えられる原因

挿入または更新しようとしたローと同じ値を持つローがカラム中に存在し、そのカラムには、複数のローが同じ値を持つことができない制約があります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「CREATE INDEX 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「INSERT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「CREATE INDEX 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「INSERT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。

エラー定数	SQLE_COLUMN_VALUE_CHANGED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	変更された値を含むカラムの名前。
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	10
SQLCODE	106
SQLSTATE	01W06
Sybase エラーコード	532

考えられる原因

レプリケートされた UPDATE によって、更新されたカラムの値がオリジナルの UPDATE を実行したときの値と一致しないことが検出されました。

テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_CANNOT_BE_NULL

ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	NULL であってはならないカラムの名前。
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-195
SQLSTATE	23502
Sybase エラーコード	233

考えられる原因

値が必要な場所にその値が指定されていません。カラム定義で NULL 値が禁止されているか、カラムは NOT NULL 外部キーの一部です。

テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データファイルの行 %3 で LOAD TABLE に無効なデータが指定されました。

エラー定数	SQLE_COLUMN_CANNOT_BE_NULL_LOAD_TABLE
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	NULL であってはならないカラムの名前。
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
パラメータ 3	無効なデータが含まれているデータファイルの行番号。
重大度	16
SQLCODE	-184
SQLSTATE	23501
Sybase エラーコード	13885

考えられる原因

値が必要な場合に値を指定しなかったか、データ変換が必要だったため、NULL 値になりました。カラム定義で NULL 値が禁止されているか、カラムは NOT NULL 外部キーの一部です。

テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_MODIFY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	変更できなかったカラムの名前。
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	14
SQLCODE	-191
SQLSTATE	42W32
Sybase エラーコード	230

考えられる原因

修正するパーミッションがないカラムを修正しようとしました。ビュー内で式 (たとえば column1 + column2) として定義されているカラムを修正しようとしました。

テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリキーの値がありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	外部キーの名前。
パラメータ 2	外部キーを持つテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-194

SQLSTATE	23503
Sybase エラーコード	546

考えられる原因

他のテーブルの外部キーがあるローに挿入または更新をしようとしました。外部キーの値は NULL ではなく、プライマリキーには対応する値がありません。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「INSERT 文の整合性検査」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「LOAD TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「INSERT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「LOAD TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「INSERT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	新しい外部キーの役割名。
パラメータ 2	外部キーを持つテーブル。
重大度	16
SQLCODE	-251
SQLSTATE	52W06
Sybase エラーコード	1909

考えられる原因

すでに存在する外部キーを定義しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「外部キー」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「CREATE TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%2' のテキストインデックス '%1' を作成するときにエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_TEXT_INDEX_CREATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テキストインデックスの名前。
パラメータ 2	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1165
SQLSTATE	WT010
Sybase エラーコード	13348

考えられる原因

テキストインデックスの作成中に内部エラーが発生しました。

テーブル権限 '%1' の使用は、現在のデータベースでサポートされていません。

エラー定数	SQLE_TABPRIV_LOAD_TRUNCATE_UNSUPPORTED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	テーブルの権限、ロード、またはトランケート
重大度	16
SQLCODE	-1631
SQLSTATE	0A007
Sybase エラーコード	12475

考えられる原因

現在のデータベースが古いデータベースであり、テーブル権限、ロード、またはトランケートをサポートする機能がありません。これらのテーブル権限を使用するには、データベースをアップグレードする必要があります。

テーブル仕様 '%1' が複数のリモートテーブルを指定しています。

エラー定数	SQLE_OMNI_RMT_TABLE_NOTUNIQUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモートテーブルの完全な名前。
重大度	11
SQLCODE	-726
SQLSTATE	WO020
Sybase エラーコード	11215

考えられる原因

指定したテーブル仕様に対して、リモートサーバ上で複数のテーブルが見つかりました。データベース名または所有者名を仕様に追加してください。

テーブルに 2 つのプライマリキーを定義することはできません。

エラー定数	SQLE_PRIMARY_KEY_TWICE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-126
SQLSTATE	52W05
Sybase エラーコード	1923

考えられる原因

CREATE TABLE 文中で、プライマリキーを 2 度指定しました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「CREATE TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブルにはすでにプライマリキーが定義されています。

エラー定数	SQLE_EXISTING_PRIMARY_KEY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-112
SQLSTATE	55013
Sybase エラーコード	1923

考えられる原因

プライマリキーがすでに定義されたテーブルにプライマリキーを追加しようとしました。新しいキーを追加する前に、現在のキーを削除してください。

テーブルのカラム数が多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_IN_TABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-616
SQLSTATE	52W20
Sybase エラーコード	1702

考えられる原因

CREATE TABLE または ALTER TABLE 文でテーブルにカラムを追加しようとしました。結果的にテーブル内に作成されたカラム数が現在のデータベースのページサイズの制限を超えています。

テーブルの再編成はすでにテーブル "%1" で実行中です

エラー定数	SQLE_REORG_ALREADY_IN_PROGRESS
ODBC 2 ステータス	54000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1229
SQLSTATE	54W51
Sybase エラーコード	13288

考えられる原因

このテーブルで実行されている REORGANIZE TABLE 文がすでに存在します。このような文は、1 つのテーブルに対して常に 1 つしか実行できません。

テーブルは使用されています。

エラー定数	SQLE_TABLE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-214
SQLSTATE	42W21
Sybase エラーコード	3702

考えられる原因

他のアクティブなユーザが使用中のテーブルを変更または削除しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「テーブル変更」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「テーブルの削除」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「DROP TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light のカラム定義の変更」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light テーブルの削除」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「DROP TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブルは空でなければなりません。

エラー定数	SQLE_TABLE_MUST_BE_EMPTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-116
SQLSTATE	55W02
Sybase エラーコード	4901

考えられる原因

テーブルを修正しようとしましたが、データベースサーバは、そのテーブルにローがない場合だけ修正できます。

テーブルパラメータ化ファンクションはどのサーバタイプについても許可されません。

エラー定数	SQLE_TPF_NOT_ALLOWED_ACROSS_SERVERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1578

SQLSTATE	WO009
Sybase エラーコード	12527

考えられる原因

クエリが full-passthrough モードで処理されていない場合は、どのサーバタイプであってもパラメータ化されたテーブル関数は許可されません。

テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガがあるため、操作に失敗しました。

エラー定数	SQLE_INSTEAD_TRIGGER
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	INSTEAD OF トリガのあるビューまたはテーブルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1126
SQLSTATE	42W3A
Sybase エラーコード	13387

考えられる原因

INSTEAD OF トリガがターゲットのテーブルまたはビュー (別のビューにネストされている場合あり) で定義されているため成功することはない操作を実行しようとしました。

その他の情報

- 「CREATE VIEW 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「ALTER VIEW 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

テーブルまたはビュー '%1' はこの文では使用できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_TABLE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1321
SQLSTATE	WW139
Sybase エラーコード	13235

考えられる原因

指定されたテーブルまたはビューは、この文で使用できません。たとえば、この文ではテンポラリテーブルやテンポラリビューを使用できない可能性があります。

テーブル名 '%1' はあいまいです。

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_TABLE_NAME
ODBC 2 ステータス	S0013
ODBC 3 ステータス	42S13
パラメータ 1	あいまいなテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-852
SQLSTATE	52W42
Sybase エラーコード	13856

考えられる原因

文がユニークでないテーブル名を参照しました。テーブル名には、はじめに所有者名を付けてください。

ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_DISK_WRITE_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	書き込めなかったファイルの名前。
重大度	21
SQLCODE	-303
SQLSTATE	40W05
Sybase エラーコード	13868

考えられる原因

ディスクへの書き込みに失敗しました。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

ディスクサンドボックス機能がデータベース '%2' で有効になっている場合、ファイル '%1' は無効です。

エラー定数	SQLE_DISKSANDBOX_INVALID_PATH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なファイルの名前。
パラメータ 2	ディスクサンドボックス機能が有効になっているデータベースの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1671
SQLSTATE	57W06
Sybase エラーコード	12452

考えられる原因

サンドボックス機能が有効になっている状態で無効なファイルが操作に渡されました。

その他の情報

- disk_sandbox 接続プロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- DiskSandbox サーバプロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- DiskSandbox データベースプロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sbx データベースオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sbx データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「disk_sandbox オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

ディレクトリ %1 を作成できません

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_CREATE_DIRECTORY
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	作成できなかったディレクトリのファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1610
SQLSTATE	08WB6
Sybase エラーコード	12496

考えられる原因

ディレクトリの作成要求に失敗しました。

デッドロックが検出されました。

エラー定数	SQLE_DEADLOCK
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-306
SQLSTATE	40001
Sybase エラーコード	1205

考えられる原因

ローの読み込み／書き込みを行おうとしましたが、他のユーザがそのローをロックしています。またそのユーザは直接的または間接的に、トランザクションによってブロックされています。これはデッドロック状態であり、トランザクションがロールバックされるよう選択されました。

デバイス上のファイルシステムにアクセスできません

エラー定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_FILESYSTEM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1108
SQLSTATE	WW078
Sybase エラーコード	13406

考えられる原因

Palm デバイスで VFS ファイルシステムを使用としましたが、この機能がデバイスで有効になっていませんでした。

デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_DEFAULT_DBSPACE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったデフォルトの DB 領域の名前。
重大度	11
SQLCODE	-1068
SQLSTATE	52W43
Sybase エラーコード	13446

考えられる原因

テーブルを作成するときに default_dbspace オプションで設定した DB 領域が見つかりませんでした。

データのフォーマットが認識できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_UNKOWNN_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1434
SQLSTATE	2FW27
Sybase エラーコード	13138

考えられる原因

指定された文字列のフォーマットは、ジオメトリを解析する場合には認識できません。

データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。

エラー定数	SQLE_CHAR_COLLATION_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース名。
重大度	16
SQLCODE	-1140
SQLSTATE	WC015
Sybase エラーコード	13373

考えられる原因

指定した CHAR 照合は、現在のプラットフォームではサポートされていません。

データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。

エラー定数	SQLE_NCHAR_COLLATION_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース名。
重大度	16
SQLCODE	-1141
SQLSTATE	WC016
Sybase エラーコード	13372

考えられる原因

指定した NCHAR 照合は、現在のプラットフォームではサポートされていません。

データベース "%1" をリカバリする必要があります。

エラー定数	SQLE_DATABASE_NEEDS_RECOVERY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リカバリが必要なデータベースのファイル名。
重大度	21
SQLCODE	-665
SQLSTATE	08W41
Sybase エラーコード	13709

考えられる原因

データベースは最後に使用されたときに異常終了しました。データベースリカバリを実行しなければなりません。

データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み込み専用モードを使用できません。

エラー定数	SQLE_AUDITING_DB_READ_ONLY
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1063
SQLSTATE	08W93
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

指定したデータベースは監査が有効になっているので、読み込み専用で起動できません。

データベース '%1' が見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_ULTRALITE_DATABASE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定されたデータベースの名前またはデフォルトのデータベース名。
重大度	16
SQLCODE	-954
SQLSTATE	WW034
Sybase エラーコード	13534

考えられる原因

指定されたデータベースが見つかりませんでした。接続文字列で、目的のデータベースを正しく指定してください。

その他の情報

- 「Ultra Light データベースへの接続」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベース '%1' に対して指定したファイルシステムボリュームが見つかりません

エラー定数	SQLE_FILE_VOLUME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベースの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1112
SQLSTATE	WW082
Sybase エラーコード	13402

考えられる原因

データベースファイル名で指定したファイルシステムボリュームが見つかりませんでした。ボリューム名または序数を確認してください。

データベース '%1' の暗号化に失敗しました

エラー定数	SQLE_ENCRYPT_DATABASE_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	暗号化できなかったデータベースの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1243
SQLSTATE	WW118
Sybase エラーコード	13271

考えられる原因

データベースファイルの暗号化に失敗しました。

データベース '%1' の削除に失敗しました。

エラー定数	SQLE_DROP_DATABASE_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	削除できなかったデータベースの名前。
重大度	16
SQLCODE	-651
SQLSTATE	WW017
Sybase エラーコード	13705

考えられる原因

データベースファイルの削除に失敗しました。実行中のデータベースを削除しようとしました。エラーが発生する前に、データベースの一部が削除されました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「データベースの削除 (Sybase Central の場合)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「DROP DATABASE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- SQL Anywhere： 「消去ユーティリティ (dberase)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light ユーティリティ消去 (ulerase)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベース '%1' の復号化に失敗しました

エラー定数	SQLE_DECRYPT_DATABASE_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	復号化できなかったデータベースの名前。
重大度	16

SQLCODE	-1244
SQLSTATE	WW119
Sybase エラーコード	13270

考えられる原因

データベースファイルの復号化に失敗しました。

データベースが起動できません -- %1

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_CONNECT
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースが起動できなかった理由。
重大度	11
SQLCODE	-105
SQLSTATE	08001
Sybase エラーコード	4001

考えられる原因

指定したデータベースが起動できません。そのデータベースが存在しない、データベースではない、破壊されている、またはサポートされていない古いフォーマットであるなどの原因が考えられます。

データベースが作成されました

エラー定数	SQLE_DATABASE_CREATED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	136

SQLSTATE	WW061
Sybase エラーコード	13494

考えられる原因

接続が開いたときに指定したスキーマを使用して、指定した Ultra Light データベースが作成されました。

データベースサーバが dbmlsync サーバのシャットダウンに失敗しました。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_SHUTDOWN_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1378
SQLSTATE	5RW48
Sybase エラーコード	13194

考えられる原因

SYNCHRONIZE 文を処理するために新しい dbmlsync サーバがデータベースサーバによって起動されましたが、そのプロセスをシャットダウンしようとしているときにエラーが発生しました。

データベースサーバ外の関数呼び出しはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_EXTERNAL_CALLS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-617

SQLSTATE	WW003
Sybase エラーコード	13674

考えられる原因

動的にロードされたモジュールに含まれる関数を呼び出すストアドプロシージャを呼び出そうとしました。ストアドプロシージャを呼び出したオペレーティングシステムでは、このような動作はサポートされていません。

データベースサーバが見つかりません。

エラー定数	SQLE_ENGINE_NOT_RUNNING
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-100
SQLSTATE	08W01
Sybase エラーコード	7950

考えられる原因

データベースサーバが実行されていないか、起動または停止の途中であるか、インタフェースライブラリでデータベースサーバを見つけることができません。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「トラブルシューティング：接続」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light エンジンユーティリティ (uleng16)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベースサーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_CHARACTER_SET_ERROR
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01

パラメータ 1	要求された文字セットの名前。
重大度	21
SQLCODE	-869
SQLSTATE	08W64
Sybase エラーコード	13873

考えられる原因

アプリケーションによって要求された文字セットがサポートされていないので、データベースサーバで、要求された文字セットとの間で文字データを変換できません。接続は失敗します。

データベースサーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。変換が正しくない可能性があります。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_CHARACTER_SET_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	要求された文字セットの名前。
重大度	10
SQLCODE	115
SQLSTATE	01W13
Sybase エラーコード	13614

考えられる原因

アプリケーションによって要求された文字セットがサポートされていないので、データベースサーバで、要求された文字セットとの間で文字データを変換できません。接続は成功しますが、すべての文字が正確に変換されない可能性があります。

その他の情報

- 「文字セット変換」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

データベースサーバに接続できる限界数を超えています。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_CONNECTIONS
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-102
SQLSTATE	08W03
Sybase エラーコード	1601

考えられる原因

サーバに接続できるコンピュータ数を超えてしまいました。ネットワークデータベースサーバを実行している場合は、制限数がライセンス契約に指定されています。サーバは少量のキャッシュを使用して実行されているため、これ以上のデータベース接続を受け入れることができません。パーソナルデータベースサーバの接続は、10 に制限されています。

その他の情報

- 「サーバライセンス取得ユーティリティ (dblic)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「エディションとライセンス」『SQL Anywhere 16 紹介』

データベースサーバのコマンドラインが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_COMMAND_LINE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	18
SQLCODE	-81
SQLSTATE	08W08
Sybase エラーコード	5864

考えられる原因

コマンドラインが無効だったため、データベースサーバを起動できませんでした。

その他の情報

- 「SQL Anywhere データベースサーバの構文」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

データベースサーバはすでに起動しています。

エラー定数	SQLE_ENGINE_ALREADY_RUNNING
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	HY000
重大度	18
SQLCODE	-96
SQLSTATE	08W23
Sybase エラーコード	7950

考えられる原因

同じ名前のサーバがすでに実行されているためデータベースサーバを起動できませんでした。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「トラブルシューティング：接続」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light エンジンユーティリティ (uleng16)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベースサーバはマルチユーザモードで実行していません。

エラー定数	SQLE_ENGINE_NOT_MULTIUSER
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-89
SQLSTATE	08W16
Sybase エラーコード	7203

考えられる原因

データベースサーバはバルクロード (-b オプション) 用に起動されており、ネットワークサーバとしては使用できません。データベースサーバを停止して、-b スイッチなしで再起動してください。

その他の情報

- 「-b データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

データベースサーバ名 '%1' に、プライマリまたはミラーサーバと同じ名前を指定することはできません。

エラー定数	SQLE_MIRROR_SERVER_NAME_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サーバ名。
重大度	16
SQLCODE	-1381
SQLSTATE	WW159
Sybase エラーコード	13187

考えられる原因

タイプ PRIMARY または MIRROR を使用して定義されたミラーサーバは、実際のサーバ名と同じ名前にすることはできません。

その他の情報

- 「CREATE MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- AlternateServerName データベースプロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

データベースサーバを起動することができません。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_ENGINE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17

SQLCODE	-80
SQLSTATE	08W07
Sybase エラーコード	708

考えられる原因

データベースサーバを起動できませんでした。データベースサーバの実行に十分なメモリがありません。実行プログラムが見つからなかった可能性もあります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「トラブルシューティング：接続」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light エンジンユーティリティ (uleng16)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベースサーバを起動することができません。サーバに致命的なエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_ENGINE_FATAL_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-1033
SQLSTATE	08W89
Sybase エラーコード	13478

考えられる原因

致命的なエラーまたはアサーションエラーが発生したため、データベースサーバの起動に失敗しました。詳細については、Windows のイベントログまたは UNIX のシステムログを参照するか、データベースサーバを手動で起動してください。

データベースサーバを起動できません：ライセンスファイルがありません

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_ENGINE_MISSING_LICENSE

ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-1179
SQLSTATE	08WA2
Sybase エラーコード	708

考えられる原因

サーバライセンスファイルが見つからなかったため、データベースサーバを起動できませんでした。サーバライセンスファイルはサーバ実行プログラムと同じ名前で拡張子 ".lic" が付いています。

その他の情報

たとえば、データベースサーバが *myserver.exe* という名前の実行ファイルであるときは、サーバは実行ファイルと同じディレクトリにある *myserver.lic* というライセンスファイルを参照します。

- 「サーバライセンス取得ユーティリティ (dblic)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「SQL Anywhere のファイル検索方法」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「データベースサーバの配備」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

データベースサーバを停止できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_STOP_SERVER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-607
SQLSTATE	WW002
Sybase エラーコード	13673

考えられる原因

サーバが、現時点ではサーバ自身を停止できないと決定しました。通常は、このエラーは発生しません。

データベースストア DLL (%1) のバージョンが不正です。

エラー定数	SQLE_STORE_VERSION_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベースストア DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-711
SQLSTATE	08W47
Sybase エラーコード	13701

考えられる原因

データベースストア DLL とサーバ DLL のバージョンが一致しません。

データベースに接続されていません。

エラー定数	SQLE_NOT_CONNECTED
ODBC 2 ステータス	08003
ODBC 3 ステータス	08003
重大度	16
SQLCODE	-101
SQLSTATE	08003
Sybase エラーコード	13622

考えられる原因

データベースに接続していません。または、DISCONNECT 文を実行した後、データベースに再接続していません。

データベースに接続できません。

エラー定数	SQLE_CONNECTIONS_DISABLED

ODBC 2 ステータス	08005
ODBC 3 ステータス	08005
重大度	16
SQLCODE	-99
SQLSTATE	08W04
Sybase エラーコード	4224

考えられる原因

ネットワークデータベースサーバへの接続が無効になりました。接続が有効になるまで、このエラーメッセージが表示されます。

データベースには、'SYS_' プレフィクスと '_ROLE' サフィックスを持つユーザが含まれています。

エラー定数	SQLE_INVALID_USER_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1596
SQLSTATE	08WB3
Sybase エラーコード	12510

考えられる原因

アップグレード対象のデータベースには、'SYS_' プレフィクスと '_ROLE' サフィックスを持つユーザが含まれています。データベースをアップグレードする前に、これらのユーザを削除または移行してください。

データベースのアップグレードができません。

エラー定数	SQLE_DATABASE_UPGRADE_NOT_POSSIBLE
ODBC 2 ステータス	08004

ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-673
SQLSTATE	08W43
Sybase エラーコード	3451

考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしましたが、失敗しました。データベースが古すぎるためアップグレードできません。

データベースのアップグレードができません。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。

エラー定数	SQLE_DBO_DOES_NOT_OWN_ROWGENERATOR
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-826
SQLSTATE	08W57
Sybase エラーコード	13832

考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしましたが、失敗しました。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。

データベースのアップグレードができません。ユーザテーブルに、システムテーブル範囲のテーブル ID が設定されています。

エラー定数	SQLE_USER_TABLES_IN_SYSTEM_RANGE
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004

重大度	21
SQLCODE	-827
SQLSTATE	08W58
Sybase エラーコード	13833

考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしましたが、失敗しました。ユーザテーブル ID がシステムテーブル ID の範囲内にあってはいけません。

データベースのアップグレードに失敗しました。

エラー定数	SQLE_DATABASE_UPGRADE_FAILED
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	20
SQLCODE	-672
SQLSTATE	08W42
Sybase エラーコード	3451

考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしましたが、失敗しました。これは、システムテーブル変更の定義に使用する SQL スクリプトファイルのいずれかを見つけられなかったために起こります。

データベースの起動／停止の要求は拒否されました。

エラー定数	SQLE_START_STOP_DATABASE_DENIED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-75

SQLSTATE	08W29
Sybase エラーコード	6004

考えられる原因

データベースを起動また停止するパーミッションがありません。必要なパーミッションはサーバコマンドラインで決定されます。

その他の情報

- 「データベースの開始と停止」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-gd データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-gk データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- StartDBPermission サーバプロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

データベースの作成に失敗しました：%1

エラー定数	SQLE_DATABASE_NOT_CREATED
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	データベースが作成されなかった理由。
重大度	14
SQLCODE	-645
SQLSTATE	08W33
Sybase エラーコード	928

考えられる原因

データベースファイルの初期化に失敗しました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「データベースの作成」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light 作成パラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light データベース初期化ユーティリティ (ulinit)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベースの制約が多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_CONSTRAINTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-936
SQLSTATE	54W02
Sybase エラーコード	13551

考えられる原因

対応するシステムテーブルがいっぱいであるため、新しい制約を作成できませんでした。データベースを再ロードすると、未使用の領域が解放されます。

データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_DATABASE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの ID。
重大度	18
SQLCODE	-301
SQLSTATE	40W01
Sybase エラーコード	13665

考えられる原因

内部データベースエラーが発生しました。再現できた場合は、SAP Sybase に連絡してください。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「ROLLBACK 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「ROLLBACK 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベースのバックアップを起動できません。

エラー定数	SQLE_BACKUP_NOT_STARTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-241
SQLSTATE	WB002
Sybase エラーコード	3206

考えられる原因

データベースのバックアップを開始できませんでした。バックアップがすでに実行中であるか、必要なシステム権限または権限 (BACKUP、DBA、または REMOTE DBA) がありません。

データベースの変更に失敗しました：%1

エラー定数	SQLE_DATABASE_NOT_ALTERED
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	データベースが変更されなかった理由
重大度	14
SQLCODE	-1639
SQLSTATE	08WB8
Sybase エラーコード	12468

考えられる原因

データベースを変更しようとしましたが、失敗しました。

データベースのページサイズが大きすぎます：%1

エラー定数	SQLE_PAGE_SIZE_TOO_BIG
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	データベース名。
重大度	14
SQLCODE	-97
SQLSTATE	08W22
Sybase エラーコード	927

考えられる原因

実行中のサーバの最大ページサイズを超えるページサイズのデータベースを起動しようとしました。コマンドラインからこのデータベースを指定するか、必要なページサイズで、サーバを再起動してください。

データベースのページサイズが小さすぎます：%1

エラー定数	SQLE_PAGE_SIZE_TOO_SMALL
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	データベース名。
重大度	14
SQLCODE	-972
SQLSTATE	54W03
Sybase エラーコード	13516

考えられる原因

ロードしようとした統計情報が、現在のデータベースのページサイズに対して大きすぎました。ページサイズを大きくしてこのデータベースを再構築すると、このエラーを防ぐことができます。

データベースのユーザが多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_USERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1104
SQLSTATE	54W10
Sybase エラーコード	13410

考えられる原因

データベースへのアクセスが許可されているユーザの最大数を超えました。単一の Ultra Light データベースへのアクセスが許可されているユーザの最大数は 4 です。

データベースはアクティブです。

エラー定数	SQLE_DATABASE_ACTIVE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-664
SQLSTATE	08W40
Sybase エラーコード	13708

考えられる原因

実行しようとした操作 (CREATE ENCRYPTED、CREATE DECRYPTED、ALTER DATABASE) は、データベースの実行中には行うことができません。データベースを停止すると、操作を行うことができます。

データベースファイルが削除できません。

エラー定数	SQLE_BACKUP_UNABLE_TO_DELETE_FILE

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-243
SQLSTATE	WB004
Sybase エラーコード	13660

考えられる原因

データベースファイルを削除しようとしましたが、削除できませんでした。現在使用中のデータベースファイルと同名のファイルを指定しないでください。

データベースファイルが指定されていません。

エラー定数	SQLE_NO_DATABASE_FILE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-72
SQLSTATE	08W39
Sybase エラーコード	4001

考えられる原因

データベースサーバは起動しましたが、データベースファイルが指定されていません。サーバは停止しました。

その他の情報

- 「データベースの開始と停止」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「START DATABASE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

データベースページの検証は次のコードで失敗しました：%1

エラー定数	SQLE_CORRUPT_ULTRALITE_DATABASE

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つかった破損の具体的な種類。
重大度	23
SQLCODE	-1186
SQLSTATE	WI003
Sybase エラーコード	13329

考えられる原因

Ultra Light データベース検証が、データベースページの検証中に失敗しました。コードによって、検証の失敗に関するより具体的な情報がわかります。

その他の情報

- 「Ultra Light データベースの検証」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「Ultra Light データベース検証ユーティリティ (ulvalid)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベース名 'utility_db' はユーティリティデータベース用に予約されています。

エラー定数	SQLE_DB_ALIAS_RESERVED_UTILDB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-985
SQLSTATE	08W20
Sybase エラーコード	13504

考えられる原因

"utility_db" という名前のデータベースを起動しようとしています。この名前は、ユーティリティデータベースのために予約されています。

データベース名がユニークではありません。

エラー定数	SQLE_ALIAS_CLASH
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-77
SQLSTATE	08W27
Sybase エラーコード	1801

考えられる原因

先に起動したデータベースと名前が競合するため、データベースを起動できませんでした。

データベースを起動中に外部環境を起動することはできません。

エラー定数	SQLE_EXTENV_START_ON_STARTUP
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1557
SQLSTATE	WP018
Sybase エラーコード	12548

考えられる原因

データベースが起動中であったため、外部環境を起動できませんでした。データベースの起動が完了するまで待機してから、外部環境を起動してください。

その他の情報

- 「START EXTERNAL ENVIRONMENT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「SQL Anywhere 外部環境のサポート」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

統合化ログイン ID ゲストは、ゲストデータベースのユーザ ID に対してのみマップできます。

エラー定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_GUESTMAP
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-247
SQLSTATE	28W06
Sybase エラーコード	13695

考えられる原因

ゲストログイン ID をゲスト以外にマッピングしようとしました。

統合化ログインが許可されていません。

エラー定数	SQLE_INVALID_STANDARD_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-205
SQLSTATE	28W02
Sybase エラーコード	13689

考えられる原因

login_mode データベースオプションが Standard に設定されていますが、統合化ログインを行おうとしました。オプション設定を変更するか、明示的なユーザ ID を指定してください。

統合化ログインが失敗しました。

エラー定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_FAILED

ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-245
SQLSTATE	28W04
Sybase エラーコード	13691

考えられる原因

統合化ログインに失敗しました。サーバコンピュータのシステムアカウントを持っていません。

統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。

エラー定数	SQLE_INVALID_INTEGRATED_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-206
SQLSTATE	28W03
Sybase エラーコード	13690

考えられる原因

login_mode データベースオプションに Integrated が設定されていますが、標準ログインを行おうとしました。オプション設定を変更するか、統合化ログインを使用してください。

統合されたユーザに対する個別のグループマッピングが多すぎます。

エラー定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_TOO_MANY_MAPPINGS
ODBC 2 ステータス	28000

ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1003
SQLSTATE	28W10
Sybase エラーコード	13490

考えられる原因

統合されたユーザはデータベースに明示的なマッピングがありませんが、グループマッピングがあります。ただし、個別のグループマッピングが多すぎます。このユーザの個別のグループマッピング数を減らすか、明示的なマッピングを追加する必要があります。

登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。

エラー定数	SQLE_APP_REG_COOKIE_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-789
SQLSTATE	5RW28
Sybase エラーコード	13799

考えられる原因

アプリケーションの登録を 1 つ解除しないと、このアプリケーションを登録できません。

閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です

エラー定数	SQLE_ULTRALITE_OBJ_CLOSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-908
SQLSTATE	55W14
Sybase エラーコード	13575

考えられる原因

閉じられた Ultra Light オブジェクトにアクセスしようとしました。

トランザクションが終了していないため、トランザクションログの名前の変更はできません。

エラー定数	SQLE_BACKUP_CANNOT_RENAME_LOG_YET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-242
SQLSTATE	WB003
Sybase エラーコード	3206

考えられる原因

db_backup への呼び出しが、トランザクションログの最後のページを読み込みました。現在アクティブな接続のいくつかが、トランザクションを部分的に終了しており、トランザクションログの名前が変更できません。db_backup 呼び出しを再発行してください。

トランザクションで 2 つ目のスナップショットの起動を試みています。

エラー定数	SQLE_SNAPSHOT_ALREADY_STARTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1232
SQLSTATE	42WC9
Sybase エラーコード	13285

考えられる原因

別のスナップショットがすでにアクティブであるときに、トランザクションが新しいスナップショットの開始 (たとえば、BEGIN SNAPSHOT 文の使用) を試みました。

トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_COMMIT_OR_ROLLBACK_WHILE_ENLISTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-800
SQLSTATE	55W09
Sybase エラーコード	13810

考えられる原因

トランザクションにエンリストされている接続で、コミットやロールバックを明示的に実行しようとしました。トランザクションの Commit/Abort プロトコルを使用する必要があります。

トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_ENLIST_WHILE_ALREADY_ENLISTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-801

SQLSTATE	55W10
Sybase エラーコード	13811

考えられる原因

トランザクションにすでにエンリストされている接続を、別のトランザクションにエンリストしようとしました。

トランザクションログはトランケートされました。

エラー定数	SQLE_LOG_TRUNCATED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-244
SQLSTATE	WB005
Sybase エラーコード	13661

考えられる原因

トランザクションログである操作が行われている間に、別の操作によってトランザクションログがトランケートされました。

トランザクションログバックアップページの一部だけが、満杯になっています。

エラー定数	SQLE_BACKUP_PAGE_INCOMPLETE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	110
SQLSTATE	01W10
Sybase エラーコード	13683

考えられる原因

トランザクションログに対して DB_LOG_BACKUP_READ_WAIT が発行され、返されたページが満杯ではありませんでした。同じページに対して要求を再発行してください。

トランザクションログファイルへの書き込みエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_ERROR_WRITING_LOG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-107
SQLSTATE	08W17
Sybase エラーコード	3619

考えられる原因

データベースサーバが、トランザクションログファイルの書き込み中に I/O エラーを受け取りました。ディスクがいっぱいであるか、ログファイル名が無効である可能性があります。

トランザクションログファイルを開けません -- %1

エラー定数	SQLE_CANNOT_OPEN_LOG
ODBC 2 ステータス	08003
ODBC 3 ステータス	08003
パラメータ 1	トランザクションログファイルを開けなかった理由。
重大度	16
SQLCODE	-106
SQLSTATE	08W05
Sybase エラーコード	2561

考えられる原因

データベースサーバが指定したトランザクションログファイルを開くことができませんでした。トランザクションログファイル名に無効なデバイスまたはディレクトリが含まれていることがあります。その場合はトランザクションログユーティリティ (dblog) を使用して、トランザクションログファイルのある位置を確認し、変更できます。

その他の情報

- 「トランザクションログユーティリティ (dblog)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「トランザクションログ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

トランザクションログミラーリングは、データベースミラーリングで使用できません

エラー定数	SQLE_MIRROR_LOG_WITH_DB_MIRROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1178
SQLSTATE	WW095
Sybase エラーコード	13336

考えられる原因

トランザクションログミラーリングは、データベースミラーリングで使用できません。DBLOG ユーティリティを使用して、トランザクションログミラーリングを無効にしてください。

トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_ENLIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-803

SQLSTATE	WL005
Sybase エラーコード	13813

考えられる原因

トランザクションをエンリストしようとしましたが、現在、DTC を使用できません。

トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_REENLIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-804
SQLSTATE	WL006
Sybase エラーコード	13814

考えられる原因

トランザクションをリカバリしようとしましたが、現在、DTC を使用できません。

トリガ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_TRIGGER_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったトリガの名前。
重大度	11
SQLCODE	-268
SQLSTATE	52W10
Sybase エラーコード	9819

考えられる原因

トリガの名前のスペルを間違えたか、トリガ名をユーザ名で修飾しませんでした。

トリガアクション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-273
SQLSTATE	2D501
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

トリガアクションの実行中に、許可されていない文を実行しようとしました。COMMIT と ROLLBACK 文はトリガからは実行できません。

トリガ定義中の REFERENCES 句が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_COL_REFS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-272
SQLSTATE	52W12
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

トリガ定義に無効な REFERENCES 句を指定しました。BEFORE INSERT トリガ中で古い相関名を指定した可能性があります。または AFTER DELETE トリガ中で新しい相関名を指定した可能性があります。いずれの場合でも値は存在しないため、参照できません。

トリガの定義が既存のトリガと矛盾しています。

エラー定数	SQLE_TRIGGER_DEFN_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S01
重大度	15
SQLCODE	-271
SQLSTATE	52W11
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

トリガを作成しようとしましたが、同じ名前のトリガがすでに存在しています。

トリガの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_IN_TRIGGER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-269
SQLSTATE	53W06
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

トリガの定義で参照されているカラムを削除しようとしたか、その名前を変更しようとしました。ALTER 文を実行する前に、トリガを削除してください。

トリガ名 '%1' はあいまいです。

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_TRIGGER_NAME

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	あいまいなトリガの名前。
重大度	16
SQLCODE	-855
SQLSTATE	42W66
Sybase エラーコード	13858

考えられる原因

文がユニークでないトリガ名を参照しました。トリガ名は、テーブル名か所有者名または両方で修飾してください。

トレーシングしたクエリ (%1、%2) は存在しません。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRACED_PLAN
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	指定されたロギングセッション ID。
パラメータ 2	指定されたクエリ ID。
重大度	16
SQLCODE	-1154
SQLSTATE	55W28
Sybase エラーコード	13359

考えられる原因

診断トレーシングによって保存され、logging_session_id とクエリ ID によって識別されるクエリのグラフィカルなプランを生成しようとしました。しかし、このデータベースにそのようなクエリは存在しません。クエリは、トレーニングされた場合、他のデータベースに送信されました。

トレースイベント '%1' が 1 つ以上のセッションによって参照されています。参照しているセッションを先に削除してください。

エラー定数	SQLE_TRACE_EVENT_IS_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1636
SQLSTATE	WE022
Sybase エラーコード	12476

考えられる原因

指定したトレースイベント名は使用されており、参照しているセッションを削除しないと削除はできません。

トレースイベント '%1' の引数が多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_PARAMETERS_FOR_TRACE_EVENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1638
SQLSTATE	WE024
Sybase エラーコード	12471

考えられる原因

指定したトレースイベントに対する引数が多すぎます。

トレースイベント '%1' はすでに存在します

エラー定数	SQLE_TRACE_EVENT_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1635
SQLSTATE	WE021
Sybase エラーコード	12470

考えられる原因

指定されたトレースイベント名はすでに存在します。

トレースイベント '%1' は無効です

エラー定数	SQLE_INVALID_TRACE_EVENT_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1633
SQLSTATE	WE019
Sybase エラーコード	12473

考えられる原因

指定したトレースイベント名は無効です。

トレースイベントセッション '%1' にはすでにターゲットタイプ '%2' があります。

エラー定数	SQLE_TRACE_SESSION_ALREADY_HAS_TARGET_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントのセッション名。
パラメータ 2	トレースイベントのターゲットタイプ。
重大度	11
SQLCODE	-1649
SQLSTATE	WE034
Sybase エラーコード	12476

考えられる原因

指定したトレースイベントセッションにはすでにターゲットタイプが指定されています。

トレースイベントセッション '%1' にはすでにトレースイベント '%2' があります。

エラー定数	SQLE_TRACE_SESSION_ALREADY_HAS_EVENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントのセッション名。
パラメータ 2	トレースイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1645
SQLSTATE	WE030
Sybase エラーコード	12472

考えられる原因

指定したトレースイベントセッションにはすでにイベントが指定されています。

トレースイベントセッション '%1' にはトレースイベント '%2' がありません。

エラー定数	SQLE_TRACE_SESSION_DOES_NOT_HAVE_TARGET_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントのセッション名。
パラメータ 2	トレースイベントのターゲットタイプ。
重大度	11
SQLCODE	-1651
SQLSTATE	WE036
Sybase エラーコード	12478

考えられる原因

トレースイベントセッションにトレースターゲットタイプが指定されていません。

トレースイベントセッション '%1' にはトレースイベント '%2' がありません。

エラー定数	SQLE_TRACE_SESSION_DOES_NOT_HAVE_TRACE_EVENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントのセッション名。
パラメータ 2	トレースイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1650

SQLSTATE	WE035
Sybase エラーコード	12477

考えられる原因

トレースイベントセッションにトレースイベントが指定されていません。

トレースイベントセッション '%1' の 1 つ以上のターゲットが開始に失敗しました。

エラー定数	SQLE_ONE_OR_MORE_TRACE_SESSION_TARGETS_FAILED_TO_START
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントのセッション名。
重大度	11
SQLCODE	-1642
SQLSTATE	WE027
Sybase エラーコード	12469

考えられる原因

指定したトレースイベントセッションはすでにアクティブです。

トレースイベントセッション '%1' の開始に失敗しました。

エラー定数	SQLE_TRACE_SESSION_FAILED_TO_START
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントのセッション名。
重大度	11
SQLCODE	-1643

SQLSTATE	WE028
Sybase エラーコード	12470

考えられる原因

指定したトレースイベントセッションの起動に失敗しました。

トレースイベントセッション '%1' はアクティブです。アクティブなセッションを停止してからセッションを削除してください。

エラー定数	SQLE_TRACE_EVENT_SESSION_IS_ACTIVE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントのセッション名。
重大度	11
SQLCODE	-1637
SQLSTATE	WE023
Sybase エラーコード	12472

考えられる原因

指定したトレースイベントセッションはアクティブです。アクティブなセッションは削除できません。

トレースイベントセッション '%1' はすでにアクティブです。

エラー定数	SQLE_TRACE_SESSION_ALREADY_ACTIVE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントのセッション名。
重大度	11

SQLCODE	-1641
SQLSTATE	WE026
Sybase エラーコード	12468

考えられる原因

指定したトレースイベントセッションはすでにアクティブです。

トレースイベントセッション '%1' はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_TRACE_SESSION_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントのセッション名。
重大度	11
SQLCODE	-1652
SQLSTATE	WE037
Sybase エラーコード	12479

考えられる原因

この名前のトレースイベントセッションはすでに存在します。

トレースイベントセッション '%1' はすでに停止しています。

エラー定数	SQLE_TRACE_SESSION_ALREADY_STOPPED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースイベントのセッション名。
重大度	11
SQLCODE	-1644

SQLSTATE	WE029
Sybase エラーコード	12471

考えられる原因

指定したトレースイベントセッションはすでに停止しています。

トレース接続はすでにアクティブになっています

エラー定数	SQLE_TRACING_ALREADY_ATTACHED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1098
SQLSTATE	08W96
Sybase エラーコード	13417

考えられる原因

このデータベースは、送信側 (トレース対象のデータベース) または受信側 (トレーシングデータベース) として、すでにトレース接続が確立しています。1 つのデータベースでは、一度に 1 ストリームのトレーシングデータだけを送信または受信できます。

トレースターゲットオプション '%1' は、すでに使用されているオプション '%2' と競合します。

エラー定数	SQLE_TARGET_OPTIONS_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	トレースのターゲットオプション名。
パラメータ 2	トレースのターゲットオプション名。
重大度	11
SQLCODE	-1684

SQLSTATE	WE038
Sybase エラーコード	12440

考えられる原因

トレースターゲットオプションが、使用されている別のターゲットオプションと競合しています。

その他の情報

- 「CREATE TEMPORARY TRACE EVENT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「イベントのトレース」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

トレースを再表示できません : sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRACING_SPEC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なローのプライマリキー。
重大度	16
SQLCODE	-1082
SQLSTATE	WW066
Sybase エラーコード	13432

考えられる原因

トレーシングレベルに無効な値の組み合わせを指定しました。たとえば、指定した条件がトレーシングタイプに有効ではないか、指定したトレーシングタイプがスコープに有効ではない可能性があります。

トレースを再表示できません : 少なくとも 1 つの有効化されているトレースレベルを指定する必要があります。

エラー定数	SQLE_NO_TRACING_LEVELS
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1081
SQLSTATE	55W24
Sybase エラーコード	13433

考えられる原因

テーブル sa_diagnostic_tracing_level にロー (トレーシングレベル) がないか、有効になっているトレーシングレベルがありません。

トレースを再表示できません : ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。

エラー定数	SQLE_TRACING_OBJ_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定したオブジェクトの名前。
パラメータ 2	チェックに失敗したローのプライマリキー。
重大度	11
SQLCODE	-1083
SQLSTATE	WW067
Sybase エラーコード	13431

考えられる原因

オブジェクト名のスペルを間違えたか、オブジェクト名をユーザ名 (テーブル名) で修飾しませんでした。たとえば、"DBA"."Employees" ではなく Employees を参照しているか、"DBA"."Employees"."Employees_trigger" ではなく Employees_trigger を参照している可能性があります。

トレースを再表示できません：ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります

エラー定数	SQLE_NO_VOLATILE_LEVEL_SPEC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの原因となったトレーシングレベル。
パラメータ 2	チェックに失敗したローのプライマリキー。
重大度	16
SQLCODE	-1087
SQLSTATE	WW068
Sybase エラーコード	13427

考えられる原因

不揮発性と接続の統計値を収集するには、揮発性の統計値を収集する必要があります。

同期オプション '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SYNC_OPTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	同期オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-805
SQLSTATE	5RW33
Sybase エラーコード	13815

考えられる原因

定義されていない同期オプションを削除しようとしました。

同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれているか、オプションが NULL です。

エラー定数	SQLE_BAD_SYNC_OPTION_VALUE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	同期オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-797
SQLSTATE	5RW32
Sybase エラーコード	13807

考えられる原因

無効な値で同期オプションを設定しようとしました。

同期オプションが長すぎます。

エラー定数	SQLE_SYNC_OPTION_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-809
SQLSTATE	5RW34
Sybase エラーコード	13819

考えられる原因

同期オプションのリストをデータベースのページサイズよりも長くすることはできません。

同期がすでに進行中のため、Ultra Light は同期できません

エラー定数	SQLE_SYNC_NOT_REENTRANT

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1110
SQLSTATE	WW080
Sybase エラーコード	13404

考えられる原因

すでに同期を実行中の Ultra Lite データベースに対して同期を実行しようとしました。別の同期を開始するには、現在実行中の同期が完了するまで待機する必要があります。Ultra Lite では、同期によってほとんどの操作を同時に実行できますが、一度にアクティブにできるのは 1 つの同期だけです。一般に、これは 2 つの異なるスレッドによって同時に、同期または文の呼び出しが行われたことによって発生します。

同期サーバがアップロードのコミットに失敗しました。

エラー定数	SQLE_UPLOAD_FAILED_AT_SERVER
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-794
SQLSTATE	0AW09
Sybase エラーコード	13804

考えられる原因

Ultra Light データベースを同期しようとしました。同期セッション中に完全なアップロードストリームが送信されましたが、統合データベースにコミットできませんでした。アップロードが失敗した理由は、同期ログファイルを参照してください。

その他の情報

- 「アップロードの処理方法」『Mobile Link クイックスタート』

同期処理ではテーブル '%1' にプライマリキーを含める必要があります。

エラー定数	SQLE_PK_NOT_IN_SYNC_ARTICLE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-778
SQLSTATE	5RW17
Sybase エラーコード	13788

考えられる原因

テーブルのプライマリキーを同期のエントリに含める必要があります。

同期スキーマ変更では、データを修正することはできません。

エラー定数	SQLE_SYNC_SCHEMA_CHANGE_DISALLOWS_DML
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1342
SQLSTATE	5RW42
Sybase エラーコード	13214

考えられる原因

同期スキーマ変更内でデータ変更操作を実行しようとしました。

同期スキーマ変更はすでに進行中です。

エラー定数	SQLE_SYNC_SCHEMA_IN_PROGRESS

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1322
SQLSTATE	WW140
Sybase エラーコード	13234

考えられる原因

START SYNCHRONIZATION SCHEMA CHANGE 文はすでに進行中です。

同期するテーブルがデータベースに含まれていません。

エラー定数	SQLE_NO_TABLES_TO_SYNCHRONIZE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	150
SQLSTATE	01W28
Sybase エラーコード	12598

考えられる原因

このデータベースには同期するテーブルがありません。Mobile Link サーバへのアクセスは行われませんでした。

同期ダウンロードは完了しませんでした

エラー定数	SQLE_INCOMPLETE_SYNCHRONIZATION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16

SQLCODE	-1271
SQLSTATE	0AW23
Sybase エラーコード	13899

考えられる原因

Ultra Light データベースを同期しようとしました。同期セッション中、統合データベースから不完全なダウンロードストリームを受信しました。アップロードが失敗した理由は、同期ログファイルを参照してください。

同期に失敗し、内部エラー %1 が返されました。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_INTERNAL_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	内部エラー番号。
重大度	16
SQLCODE	-1373
SQLSTATE	5RW43
Sybase エラーコード	13189

考えられる原因

SYNCHRONIZE 文の実行中に、内部エラーが発生しました。

同期に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

エラー定数	SQLE_MLA_SYNC_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1385

SQLSTATE	WW161
Sybase エラーコード	13183

考えられる原因

同期が正常に終了しませんでした。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

同期に失敗しました。詳細については、sp_get_last_synchronize_result (%1) への呼び出しの結果を確認してください。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_SYNCH_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	同期でエラーが発生した接続 ID
重大度	16
SQLCODE	-1374
SQLSTATE	5RW44
Sybase エラーコード	13190

考えられる原因

同期が完了しましたが、同期の終了コードでは、同期が正常に終了しなかったことが示されています。詳細については、sp_get_last_synchronize_result() の呼び出し結果をチェックしてください。

同期の情報が指定されていません

エラー定数	SQLE_SYNC_INFO_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1111

SQLSTATE	WW081
Sybase エラーコード	13403

考えられる原因

同期呼び出しには、同期に関する情報を指定する必要があります。

同期の情報が不完全か無効です。'%1' を確認してください。

エラー定数	SQLE_SYNC_INFO_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	正しく初期化されていないパラメータの名前。
重大度	16
SQLCODE	-956
SQLSTATE	WW036
Sybase エラーコード	13532

考えられる原因

同期の情報が不完全か無効です。示されたパラメータを修正してから、同期を再度実行してください。'init_verify' と示されている場合は、InitSyncInfo 関数が呼び出されていません。

その他の情報

- 「Ultra Light の同期パラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- ULSyncParms クラス [Ultra Light.NET]『Ultra Light .NET プログラミング』
- ul_sync_info 構造体 [Ultra Light C および Embedded SQL データタイプ]『Ultra Light C/C++ プログラミング』

同期はすでに進行中です

エラー定数	SQLE_SYNCHRONIZATION_IN_PROGRESS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16

SQLCODE	-1272
SQLSTATE	0AW24
Sybase エラーコード	13893

考えられる原因

Ultra Light データベースを同期しようとしましたが、このデータベースは別のスレッドで同期中です。

同期プロファイル '%1' が見つかりません

エラー定数	SQLE_SYNC_PROFILE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	同期プロファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1217
SQLSTATE	42W75
Sybase エラーコード	13302

考えられる原因

データベースが見つけることができない同期プロファイルにアクセスしようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere : 「Mobile Link 同期プロファイル」『Mobile Link クライアント管理』
- SQL Anywhere : 「CREATE SYNCHRONIZATION PROFILE 文 [Mobile Link]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light : 「同期プロファイルオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light : 「CREATE SYNCHRONIZATION PROFILE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

同期プロファイル '%1' に無効なパラメータ '%2' があります

エラー定数	SQLE_SYNC_PROFILE_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な同期プロファイルの名前。
パラメータ 2	問題があるプロファイルのパラメータの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1224
SQLSTATE	42W77
Sybase エラーコード	13293

考えられる原因

無効なパラメータ設定を含む文字列を使用して、同期プロファイルを作成または変更しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「Mobile Link 同期プロファイル」『Mobile Link クライアント管理』
- SQL Anywhere： 「CREATE SYNCHRONIZATION PROFILE 文 [Mobile Link]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「同期プロファイルオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「CREATE SYNCHRONIZATION PROFILE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

同期プロファイル '%1' はすでに存在します

エラー定数	SQLE_SYNC_PROFILE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	同期プロファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1223
SQLSTATE	42W76
Sybase エラーコード	13294

考えられる原因

すでに存在する同期プロファイルを作成しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「Mobile Link 同期プロファイル」『Mobile Link クライアント管理』
- SQL Anywhere： 「CREATE SYNCHRONIZATION PROFILE 文 [Mobile Link]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「同期プロファイルオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「CREATE SYNCHRONIZATION PROFILE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

同期メッセージタイプ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_NOT_SYNC_TYPE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	同期メッセージタイプの名前。
重大度	16
SQLCODE	-765
SQLSTATE	5RW11
Sybase エラーコード	13775

考えられる原因

このデータベースで定義されていない同期メッセージタイプを参照しました。

動的メモリが足りません。

エラー定数	SQLE_DYNAMIC_MEMORY_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	S1001
ODBC 3 ステータス	HY001
重大度	17
SQLCODE	-78
SQLSTATE	08W26
Sybase エラーコード	9119

考えられる原因

データベースサーバが動的メモリを割り当てようとしたときに、エラーが発生しました。

その他の情報

- 「-ca データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました：%1

エラー定数	SQLE_JAVA_VM_HEAP_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	内部関数はデバッグ用。
重大度	16
SQLCODE	-165
SQLSTATE	WP008
Sybase エラーコード	13740

考えられる原因

Java 仮想マシンに割り当てられた領域の量が不十分なため、新規オブジェクトの割り当てを続行できません。次のように指定してサイズを増やしてください。SET OPTION PUBLIC.java_heap_size = nnnnnnnn。

内部関数でネームスペースのヒープが足りなくなりました：%1

エラー定数	SQLE_NAMESPACE_HEAP_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	内部関数はデバッグ用。
重大度	16
SQLCODE	-164

SQLSTATE	WP007
Sybase エラーコード	13739

考えられる原因

Java の Namespace に割り当てた領域の量が不十分なため、Java クラスのロードを続行できません。次のように指定してサイズを増やしてください。SET OPTION PUBLIC.java_namespace_size = nnnnnnnn。

内部用のスレッドが起動できませんでした。

エラー定数	SQLE_THREAD_START_FAILURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-626
SQLSTATE	WW011
Sybase エラーコード	13681

考えられる原因

このエラーは、Windows 95 固有のエラーです。外部関数の実行に必要なオペレーティングシステムのスレッドを開始できませんでした。

内部ロールバックログが破損しています。

エラー定数	SQLE_LOG_CORRUPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	22
SQLCODE	-311
SQLSTATE	WI004
Sybase エラーコード	932

考えられる原因

COMMIT または ROLLBACK の処理中に、内部ロールバックログに破損が発見されました。これは致命的な内部エラーです。

名前付きの制約が存在するのに名前のないカラム制約の変更が試みられました。

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_CONSTRAINT
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S24
重大度	16
SQLCODE	-930
SQLSTATE	42U05
Sybase エラーコード	13555

考えられる原因

名前のないカラムの制約の変更を要求しましたが、1 つ以上の名前付き制約があります。

入力パラメータインデックスが範囲外です。

エラー定数	SQLE_BAD_PARAM_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-689
SQLSTATE	WJ005
Sybase エラーコード	13717

考えられる原因

有効なパラメータの範囲は、1 から、準備された文または呼び出し可能な文に指定したホスト変数の数までです。

その他の情報

- SQL Anywhere : 「準備文の実行」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- Ultra Light : ULPreparedStatement クラス [Ultra Light C++]『Ultra Light C/C++ プログラミング』

入力文字列は base64 でエンコードされていません。

エラー定数	SQLE_BASE64_DECODING_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-961
SQLSTATE	WW039
Sybase エラーコード	13528

考えられる原因

base64 のデコード中にエラーが発生しました。

認証違反です。

エラー定数	SQLE_AUTHENTICATION_VIOLATION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-98
SQLSTATE	08W21
Sybase エラーコード	13620

考えられる原因

特定のアプリケーションだけが使用できるように設定されたサーバに接続しようとしました。

認証に失敗しました。

エラー定数	SQLE_AUTHENTICATION_FAILED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-218
SQLSTATE	08W48
Sybase エラーコード	13621

考えられる原因

database_authentication オプションまたは connection_authentication オプションの設定が正しくありません。

配列要素エラー：配列インデックス '%1' が範囲から外れています。

エラー定数	SQLE_INVALID_ARRAY_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	配列インデックス式の値
重大度	16
SQLCODE	-1598
SQLSTATE	2202E
Sybase エラーコード	12508

考えられる原因

宣言した配列サイズの外部にインデックスのある配列要素にアクセスしようとしました。サイズ N の配列の場合、有効な配列要素は 1 ～ N です。

その他の情報

- 「複合データ型」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「ARRAY コンストラクタ [複合]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

派生テーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。

エラー定数	SQLE_NO_COLUMN_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	派生テーブルの名前。
パラメータ 2	名前がないカラムの番号。
重大度	16
SQLCODE	-163
SQLSTATE	52004
Sybase エラーコード	209

考えられる原因

派生テーブルの指定カラムには、カラム名がありません。クエリの指定に SELECT リストのエイリアスを使用するか、派生カラム指定子を使用してください。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「FROM 句：テーブルの指定」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

派生テーブル '%1' の SELECT リストに '%2' と一致する式がありません

エラー定数	SQLE_NO_MATCHING_SELECT_ITEM
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	派生テーブルの名前。

パラメータ 2	一致する式がないエイリアスの名前。
重大度	15
SQLCODE	-812
SQLSTATE	42W59
Sybase エラーコード	13822

考えられる原因

派生テーブルの AS 句で指定したエイリアスには、派生テーブルの SELECT 文で一致する式がありません。SELECT リストの各項目には、派生テーブルの AS 句に一致するエイリアスがあることを確認します。その逆も確認します。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「FROM 句：テーブルの指定」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「FROM 句」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「式のサブクエリ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

破損したページ (ページ '%1') の読み込みをリトライしています。

エラー定数	SQLE_CORRUPT_PAGE_READ_RETRY
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	ページ ID。
重大度	10
SQLCODE	143
SQLSTATE	WW115
Sybase エラーコード	13275

考えられる原因

Ultra Light が、破損したデータベースページを検出したため、読み込み操作を再度試みます。ミラーファイルは、有効になっている場合、再試行に使用されます。再試行が失敗した場合、エラーが通知されます。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「チェックサムを使用した破損の検出」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light データベースの破損」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ハッシュエラー：%1

エラー定数	SQLE_HASH_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	発生したエラーの説明。
重大度	11
SQLCODE	-1259
SQLSTATE	08W92
Sybase エラーコード	13255

考えられる原因

ハッシュ中にエラーが発生しました。

ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_DEVICE_FULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ディスクに書き込めなかったファイルの名前。
重大度	17
SQLCODE	-304
SQLSTATE	40W03
Sybase エラーコード	3618

考えられる原因

ハードディスクに空き領域がありません。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

バックアップはデータベースファイル '%1' を開けません。

エラー定数	SQLE_BACKUP_UNABLE_TO_OPEN_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1079
SQLSTATE	WB017
Sybase エラーコード	13435

考えられる原因

バックアップ時にデータベースファイルを開くことができません。ファイルが消去されたか、破損している可能性があります。

バックアップファイル '%1' はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_BACKUP_FILE_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-967
SQLSTATE	WB012
Sybase エラーコード	13523

考えられる原因

通常この BACKUP 文で作成されるファイルが、すでに存在しています。

バックアップファイルの内容が矛盾しています。

エラー定数	SQLE_RESTORE_INCONSISTENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	23
SQLCODE	-715
SQLSTATE	WB006
Sybase エラーコード	13724

考えられる原因

複数のディスクデバイスまたはテープデバイスにバックアップされた内容の不一致が RESTORE 中に検出されました。

バックアップファイルのフォーマットが無効です。

エラー定数	SQLE_RESTORE_INVALID_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	21
SQLCODE	-716
SQLSTATE	WB007
Sybase エラーコード	13725

考えられる原因

RESTORE に使用するアーカイブファイルのフォーマットが無効です。

バックアップログ '%1' が開けません。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_OPEN_BACKUP_LOG
ODBC 2 ステータス	OK

ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	バックアップのログファイル名。
重大度	10
SQLCODE	119
SQLSTATE	WB011
Sybase エラーコード	13776

考えられる原因

サーバで、バックアップログを開くことができず、BACKUP または RESTORE 文の実行を記録できません。バックアップログファイルを見つけるのに使用した環境変数の設定を確認してください。ログを保存するディレクトリは、すでに存在している必要があります。

その他の情報

- 「SALOGDIR 環境変数」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「BACKUP 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

バックアップ／リストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できませんでした

エラー定数	SQLE_BACKUP_ENTRY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったエントリポイントの名前。
重大度	19
SQLCODE	-692
SQLSTATE	08W45
Sybase エラーコード	13719

考えられる原因

バックアップ／リストア DLL エントリポイントを検索または実行しようとしましたが、失敗しました。

バックアップ／リストア中にエラーが発生しました：%1

エラー定数	SQLE_BACKUP_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	21
SQLCODE	-697
SQLSTATE	08W46
Sybase エラーコード	13720

考えられる原因

BACKUP 文または RESTORE 文の実行中にエラーが発生しました。

バックアップ／リストア用 DLL "%1" をロードできません。

エラー定数	SQLE_BACKUP_NOT_LOADED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードできなかった DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-691
SQLSTATE	08W44
Sybase エラーコード	13718

考えられる原因

バックアップ／リストア DLL をロードしようとしましたが、失敗しました。

パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。

エラー定数	SQLE_PASSTHROUGH_INCONSISTENT
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-287
SQLSTATE	5RW08
Sybase エラーコード	13649

考えられる原因

パススルーは追加されます。つまり、後続する PASSTHROUGH 文によって、パススルーを受信するユーザのリストにユーザが追加されます。PASSTHROUGH 文は、すべて PASSTHROUGH ONLY であるか、すべて PASSTHROUGH ONLY 以外にしてください。

パススルーモードでは文を使用できません。

エラー定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_IN_PASSTHROUGH
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-707
SQLSTATE	0AW05
Sybase エラーコード	13631

考えられる原因

文を実行しようとしましたが、パススルーモードでは実行できません。たとえば、バッチ文を実行しました。

パスワードなしでの LDAP サーバ %1 とのバインドは許可されていません。

エラー定数	SQLE_LDAPUA_UTP
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	検索を指定する LDAP サーバ名または検索 URL。
重大度	16
SQLCODE	-1622
SQLSTATE	WW219
Sybase エラーコード	12484

考えられる原因

LDAPUA の検索または検証が失敗し、ターゲットの LDAP サーバの無効な設定が原因で LDAP_UNWILLING_TO_PERFORM を返しました。アクセスアカウント値を調べ、名前付き LDAP サーバまたは検索 URL がないか確認してください。

パスワードに不正な文字が含まれています。

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_PASSWORD
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	11
SQLCODE	-963
SQLSTATE	08005
Sybase エラーコード	13528

考えられる原因

指定したパスワードに不正な文字が含まれています。

パスワードの暗号化が失敗しました。エラーメッセージ '%1'。

エラー定数	SQLE_PWD_CIPHER_ERROR
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	ブロックエンクリプタによってレポートされるエラーメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-1601
SQLSTATE	WW212
Sybase エラーコード	12505

考えられる原因

ランタイムブロックエンクリプタの初期化に失敗しました。

パスワードの長さは %1 文字以内です。

エラー定数	SQLE_PASSWORD_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメータ 1	パスワードの最大長。
重大度	15
SQLCODE	-958
SQLSTATE	54W08
Sybase エラーコード	13530

考えられる原因

パスワードの長さが、サーバで許可されている長さを超えています。

パスワードの有効期限が切れています。

エラー定数	SQLE_PASSWORD_EXPIRED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1152
SQLSTATE	08WA0
Sybase エラーコード	13361

考えられる原因

有効なユーザ ID を使用して接続しようとしましたが、有効期限が切れたパスワードが使用されました。有効期限が切れた現在のパスワードとともに NewPassword 接続パラメータを指定することによって、パスワードを変更できます。

パスワードの有効期限が切れていますが、変更できません。データベースは読み込み専用です。

エラー定数	SQLE_PASSWORD_EXPIRED_READONLY_DB
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1153
SQLSTATE	08WA1
Sybase エラーコード	13360

考えられる原因

有効なユーザ ID を使用して読み込み専用データベースに接続しようとしましたが、有効期限が切れたパスワードが使用されました。データベースサーバコマンドラインで -r オプションなしでデータベースを起動しないと、パスワードを変更できません。-r を削除すると、データベースを修正できます。

パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。

エラー定数	SQLE_PASSWORD_TOO_SHORT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメータ 1	パスワードの最小長。
重大度	14
SQLCODE	-738
SQLSTATE	54W07
Sybase エラーコード	573

考えられる原因

min_password_length の現在のオプション設定で許可されているよりも短いパスワードを指定しています。

その他の情報

- 「min_password_length オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

パターンが長すぎます。

エラー定数	SQLE_PATTERN_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-606
SQLSTATE	WW001
Sybase エラーコード	7706

考えられる原因

LIKE 演算子のパターンが長すぎます。126 文字以下のパターンは、すべてサポートされています。内容によっては、254 文字の長さのパターンもサポートされています。254 文字より長いパターンはサポートされていません。

パブリケーション '%1' から定義されているよりも多いアーティクルを削除しようとしています。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_ARTICLES_DELETED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	アーティクルを削除できなかったパブリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1318
SQLSTATE	42W89
Sybase エラーコード	13238

考えられる原因

パブリケーション内のアーティクル数が 1 未満になることはありません。ALTER PUBLICATION には、アーティクルの削除を行う (DROP/DELETE) 句が現在のパブリケーション内のアーティクル数よりも多く存在します。

パブリケーション '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_PUBLICATION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったパブリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-280
SQLSTATE	5RW01
Sybase エラーコード	13642

考えられる原因

パブリケーションの名前のスペルを間違えたか、パブリケーション名をユーザ名で修飾しませんでした。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「パブリケーション」『Mobile Link クライアント管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light パブリケーション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

パブリケーション '%2' のテーブル '%1' のカラムサブセットが、パブリケーション '%3' データベース指定した値と一致しません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_SUBSET_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブルの名前。
パラメータ 2	1 番目のパブリケーションの名前。
パラメータ 3	2 番目のパブリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1325
SQLSTATE	WW138
Sybase エラーコード	13231

考えられる原因

テーブル内のカラムは、そのテーブルを参照する、サブスクライブされたすべてのパブリケーションと同じである必要があります。

パブリケーションタイプで操作が競合しています。

エラー定数	SQLE_CONFLICTING_PUB_TYPE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-1060

SQLSTATE	5RW38
Sybase エラーコード	13453

考えられる原因

パブリケーションのタイプに適用できない操作を実行しようとしました。たとえば、スクリプト化されたアップロードパブリケーションに固有の操作をログスキャンのパブリケーションに適用しました。

パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリキーを更新できません。

エラー定数	SQLE_ARTICLE_PK_CANNOT_BE_UPDATED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-780
SQLSTATE	5RW19
Sybase エラーコード	13790

考えられる原因

パブリケーションに含まれるテーブルのプライマリキーは更新できません。データベースオプションの prevent_article_pkey_update を Off に設定すると、パブリケーションに含まれるテーブルのプライマリキーを更新できます。

パブリケーションの述部は評価されませんでした

エラー定数	SQLE_PUBLICATION_PREDICATE_IGNORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10

SQLCODE	138
SQLSTATE	01W25
Sybase エラーコード	13423

考えられる原因

SQL サポートなしで Ultra Light が初期化されたので、パブリケーションの述部が評価されませんでした。テーブルは、パブリケーションの述部が指定されていない場合と同じようにアップロードされます。

その他の情報

- ULTableSchema.GetPublicationPredicate メソッド [Ultra Light C++]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULTableSchema.GetPublicationPredicate メソッド [Ultra Light.NET]『Ultra Light .NET プログラミング』

パラメータ '%1' に NULL は指定できません

エラー定数	SQLE_PARAMETER_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	パラメータの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1277
SQLSTATE	WW229
Sybase エラーコード	13862

考えられる原因

指定されたパラメータには NULL を指定できません。

パーミッションがありません : %1

エラー定数	SQLE_PERMISSION_DENIED
ODBC 2 ステータス	42000

ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	必要なパーミッションの説明。
重大度	16
SQLCODE	-121
SQLSTATE	42501
Sybase エラーコード	262

考えられる原因

特定の動作を行うために必要なパーミッションがありません。メッセージは、実際に必要なパーミッションと動作が行われているオブジェクトを指定します。

その他の情報

- 「ロールと権限の継承」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「GRANT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

比較 '%1' はジオメトリでは使用できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_COMPARISON_PREDICATE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	比較関係のタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1440
SQLSTATE	2FW33
Sybase エラーコード	13132

考えられる原因

ジオメトリ値は、< or > などの演算子を使用して比較することができません。ジオメトリの比較には、= と <> のみを使用できます。

引数 "%1" はカラム参照である必要があります。

エラー定数	SQLE_TEXT_BAD_COLUMN_REFERENCE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	引数番号。
重大度	16
SQLCODE	-1156
SQLSTATE	WT001
Sybase エラーコード	13357

考えられる原因

CONTAINS の引数はカラム参照である必要があります。

引数の名前がありません。

エラー定数	SQLE_NO_SQLX_ARGUMENT_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-907
SQLSTATE	WX014
Sybase エラーコード	13576

考えられる原因

名前のない引数は、XML 要素名または属性名として使用できません。AS を使用して、引数リストの名前のない項目に名前を付けてください。

非決定的な結果が返されました

エラー定数	SQLE_NONDETERMINISTIC_RESULT

ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
重大度	10
SQLCODE	122
SQLSTATE	01W18
Sybase エラーコード	13883

考えられる原因

FIRST n または TOP n は、結果のサイズを制限するために SELECT 文で使用されます。また、結果を適切に定義するためには、文に ORDER BY を指定する必要があります。文に ORDER BY がない場合は、サーバは、要求された数のローが含まれていれば、どのような結果のサブセットでも返すことができます。

その他の情報

- 「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「SELECT、UPDATE、DELETE クエリブロック内のロー制限句」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

非地理空間参照系に楕円パラメータが指定されていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_ELLIPSOID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1466
SQLSTATE	2FW59
Sybase エラーコード	13106

考えられる原因

ELLIPSOID パラメータは、地理空間参照系に対してのみ指定できます。

必要な演算子が含まれていません。

エラー定数	SQLE_REQUIRED_OPERATORS_EXCLUDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	18
SQLCODE	-969
SQLSTATE	WI011
Sybase エラーコード	13521

考えられる原因

exclude_operators オプションによって必要なデータフロー演算子が除外されているため、データベースサーバは、指定された要求に対して有効なアクセスプランを作成できませんでした。必要な演算子を再び有効にして、文を実行してください。

ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガと WITH CHECK OPTION が競合しています。

エラー定数	SQLE_CHECK_TRIGGER_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	INSTEAD OF トリガのあるビューの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1125
SQLSTATE	42W39
Sybase エラーコード	13388

考えられる原因

INSTEAD OF トリガと競合している WITH CHECK OPTION 句が含まれるオペレーションを試みました。WITH CHECK OPTION 句で定義されたビューは、INSTEAD OF トリガのあるビュー (ネストされている可能性あり) を参照できません。

ビュー '%1' のトリガタイプが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_VIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ビューの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1133
SQLSTATE	42W3C
Sybase エラーコード	13380

考えられる原因

ビューにトリガを作成しようとしましたが、そのトリガのタイプはベーステーブルのみでサポートされています。ビューに作成できるのは INSTEAD OF トリガだけです。

ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。

エラー定数	SQLE_VIEW_INVALID
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ビューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1040
SQLSTATE	55W18
Sybase エラーコード	13471

考えられる原因

無効なビューを参照しようとしました。ビューを有効にすると、再度使用できるようになります。

ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。

エラー定数	SQLE_VIEW_DISABLED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ビューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1038
SQLSTATE	55W17
Sybase エラーコード	13473

考えられる原因

無効になっているビューを参照しようとしました。ビューを有効にすると、再度使用できるようになります。

ビューがテンポラリオブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。

エラー定数	SQLE_VIEW_OVER_TEMP_OBJECT
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	テンポラリオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-766
SQLSTATE	42U00
Sybase エラーコード	4412

考えられる原因

ローカルテンポラリテーブルなどの一時的なオブジェクトではなく、永久オブジェクトだけを参照してください。

ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。

エラー定数	SQLE_NO_COLUMN_PERMS_FOR_VIEWS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-635
SQLSTATE	52W22
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

ビューに対して、カラムのパーミッションを付与することはできません。

ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。

エラー定数	SQLE_VIEW_DEFINITION_ERROR
ODBC 2 ステータス	21S02
ODBC 3 ステータス	21S02
重大度	20
SQLCODE	-114
SQLSTATE	53011
Sybase エラーコード	4409

考えられる原因

ビューを作成しようとしましたが、CREATE VIEW 文の一部として指定したカラムリストは、ビューの SELECT 文の項目リストと対応しません。

ビューまたは派生テーブル '%1' では、CONTAINS クエリは許可されません。

エラー定数	SQLE_TEXT_INVALID_VIEW_FOR_CONTAINS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	CONTAINS を使用して問い合わせることができないビューまたは派生テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1283
SQLSTATE	WT020
Sybase エラーコード	13791

考えられる原因

CONTAINS を使用してビューまたは派生テーブルに問い合わせることができるのは、ビューまたは派生テーブルによって TOP、FIRST、DISTINCT、GROUP BY、FOR XML のいずれも使用していない場合のみです。また、検索するカラムのリストは、ビューの FROM 句内の 1 つのベーステーブルによって揃うものにしてください。カラムを複数のテーブルのカラムにしたり、FROM 句内の別のビューや派生テーブルのカラムにしたりすることはできません。

その他の情報

- 「FROM 句」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「通常のビュー」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「FROM 句：テーブルの指定」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

ファイル %1 はすでに存在します

エラー定数	SQLE_FILE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	すでに存在するファイルのファイル名
重大度	16
SQLCODE	-1609

SQLSTATE	08WB5
Sybase エラーコード	12497

考えられる原因

そのファイルまたはディレクトリがすでに存在しているため、ファイルまたはディレクトリの作成要求が失敗しました

ファイル %1 をコピーできません

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_COPY_FILE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	コピーするファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1611
SQLSTATE	08WB7
Sybase エラーコード	12495

考えられる原因

ファイルのコピー要求に失敗しました。

ファイル %1 を削除できません

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_DELETE_FILE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	削除するファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1608
SQLSTATE	08WB4

Sybase エラーコード	12498

考えられる原因

ファイルの削除要求に失敗しました。

ファイル %1 を送信先 %2 にコピーできません

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_COPY_DB_FILE_INTO_CLOUD
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	クライアントコンピュータ上のファイルのファイル名。
パラメータ 2	クラウド内の送信先ファイル名。
重大度	16
SQLCODE	-1593
SQLSTATE	08WB2
Sybase エラーコード	12512

考えられる原因

リクエストされた送信先クラウドにクライアントデータベースファイルをコピーできませんでした。

ファイル '%1' にアクセスできません -- %2

エラー定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイル名。
パラメータ 2	エラーの原因。
重大度	19
SQLCODE	-602

SQLSTATE	WL002
Sybase エラーコード	13670

考えられる原因

ファイルにアクセスできません。たとえば、LOAD TABLE が参照したファイルが存在しないか、読み込むことができません。メッセージでは、エラーの原因が説明されています。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「LOAD TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「LOAD TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ファイル '%1' のフルパスを見つけるときに、データベース '%1' でディスクサンドボックスエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_DISKSANDBOX_FULLPATH_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイルのフルパスを検出できなかったデータベースの名前。
パラメータ 2	無効なファイルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1673
SQLSTATE	57W08
Sybase エラーコード	12450

考えられる原因

操作に渡されたファイルのフルパスを検出するときにエラーが発生しました。

その他の情報

- disk_sandbox 接続プロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- DiskSandbox サーバプロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- DiskSandbox データベースプロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sbx データベースオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sbx データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「disk_sandbox オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

ファイル '%2' のディスクサンドボックスのステータスを決定するときに、データベース '%1' でディスクサンドボックスエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_DISKSANDBOX_UNABLE_TO_DETERMINE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイルのディスクサンドボックスのステータスを判別できなかったデータベースの名前。
パラメータ 2	無効なファイルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1672
SQLSTATE	57W07
Sybase エラーコード	12451

考えられる原因

操作に渡されたファイルで、ディスクサンドボックスのステータスを判別するときにエラーが発生しました。

その他の情報

- disk_sandbox 接続プロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- DiskSandbox サーバプロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- DiskSandbox データベースプロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sbx データベースオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sbx データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「disk_sandbox オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

ファイルシステムエラー : %1

エラー定数	SQLE_OMNI_FILE_SYSTEM_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの説明。

重大度	12
SQLCODE	-1066
SQLSTATE	WO027
Sybase エラーコード	13448

考えられる原因

このエラーは、ファイルディレクトリをプロキシテーブルとしてアクセスしているときに発生した、基本となるファイルシステムのエラーに起因します。

ファイルまたはディレクトリ %1 が見つかりません

エラー定数	SQLE_FILE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	存在しないか、あるいはアクセスに失敗したファイルまたはディレクトリの名前
重大度	16
SQLCODE	-1659
SQLSTATE	08WB9
Sybase エラーコード	12461

考えられる原因

存在しないか、あるいはアクセスに失敗したファイルまたはディレクトリの名前を使用して操作を実行しようとしました。

ファンクション '%1' に無効なパラメータ '%2' ('%3') があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_PARAMETER_W_PARM
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004

パラメータ 1	関数の名前。
パラメータ 2	パラメータの名前。
パラメータ 3	エラーの原因となったパラメータに関する情報。
重大度	18
SQLCODE	-1090
SQLSTATE	08W94
Sybase エラーコード	13424

考えられる原因

パラメータを評価中にエラーが発生しました。

フィールドに対して不正な型を参照しました。

エラー定数	SQLE_INVALID_FIELD_REFERENCE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-94
SQLSTATE	WW014
Sybase エラーコード	13738

考えられる原因

式が非 Java 値のフィールドまたはメソッドを参照しようとしました。. と >> によるフィールド参照は、Java オブジェクトに適用された場合だけ有効です。

フォーマット '%1' は、UNLOAD 文ではサポートされていません

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_UNLOAD_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定したフォーマット。
重大度	19
SQLCODE	-1530
SQLSTATE	WL018
Sybase エラーコード	12575

考えられる原因

UNLOAD 文でサポートされていないファイル形式が指定されました。

フォーマット指定構文が無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_FORMAT_SPECIFICATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1431
SQLSTATE	2FW24
Sybase エラーコード	13141

考えられる原因

フォーマット指定が無効です。

フォーマットタイプ '%1' はここでは使用できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_FMT_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なフォーマットタイプ。

重大度	16
SQLCODE	-1429
SQLSTATE	2FW22
Sybase エラーコード	13143

考えられる原因

指定されたフォーマットタイプは、このコンテキストでは使用できません。

フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_FORMAT_STRING_ARG_NUM
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	引数番号。
重大度	16
SQLCODE	-294
SQLSTATE	53W08
Sybase エラーコード	2749

考えられる原因

PRINT または RAISERROR 文のフォーマット文字列で無効な引数番号を指定しました。この番号は、1 ～ 20 の数値でなければならず、指定した引数の数を超えることはできません。

複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_COMPOSITE_ORDERBY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-966

SQLSTATE	42WAA
Sybase エラーコード	13524

考えられる原因

RANGE キーワードを使用する Window 関数には、1 つのカラムでのみ ORDER BY を指定できます。

復号化エラー：%1

エラー定数	SQLE_DECRYPT_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	発生したエラーの説明。
重大度	11
SQLCODE	-851
SQLSTATE	08W63
Sybase エラーコード	13855

考えられる原因

復号化中にエラーが発生しました。

複数のテーブルパラメータはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_ONLY_SINGLE_TABLE_PARM_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1606
SQLSTATE	WP021
Sybase エラーコード	12501

考えられる原因

パラメータ化されたテーブル関数には、最大で単一のテーブルパラメータしか使用できません。

複数の統合ユーザを定義することはできません。

エラー定数	SQLE_CONSOLIDATED_USER_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-289
SQLSTATE	5RW10
Sybase エラーコード	13767

考えられる原因

データベースにすでに統合ユーザが存在するときに、統合パーミッションを付与しようとしたか、1 つの文で複数のユーザに統合パーミッションを付与しようとしました。

不正な JAR ファイルです。

エラー定数	SQLE_BAD_JAR_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-730
SQLSTATE	WP010
Sybase エラーコード	13737

考えられる原因

INSTALL JAVA 文に受け渡されるファイルが、有効な JAR ファイルではありませんでした。

不正なカラム定義：%1

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_COLUMN_DEFINITION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-1046
SQLSTATE	55W19
Sybase エラーコード	13465

考えられる原因

許可されていない方法でカラムを定義しようとしています。

不正なカラム名：'%1'

エラー定数	SQLE_BAD_FOR_XML_EXPLICIT_COLUMN_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラム名が不正である理由。
重大度	16
SQLCODE	-899
SQLSTATE	WX007
Sybase エラーコード	13582

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT カラムと FOR JSON EXPLICIT カラムの名前は、感嘆符 (!) で区切られた最大 4 個のフィールドで構成できます。最初の 2 つのカラムの名前は、Tag と Parent でなければなりません。

その他の情報

- 「FOR XML EXPLICIT」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

不正なカーソル処理をしようとしました。

エラー定数	SQLE_CURSOROP_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	07005
ODBC 3 ステータス	07005
重大度	16
SQLCODE	-187
SQLSTATE	09W02
Sybase エラーコード	9526

考えられる原因

不正なカーソル処理をしようとしました。たとえば、SELECT でも BATCH でもない文のカーソルを OPEN しています。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「カーソルの使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- SQL Anywhere： 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「複数ローのフェッチ」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

不正なタグ値：'%1'

エラー定数	SQLE_BAD_FOR_XML_EXPLICIT_TAG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	不正なタグ値。
重大度	16
SQLCODE	-897
SQLSTATE	WX005
Sybase エラーコード	13584

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT タグ値と FOR JSON EXPLICIT タグ値は、0 より大きく、256 より小さい値でなければなりません。また、Tag カラムでは NULL 値は使用できません。

その他の情報

- 「FOR XML EXPLICIT」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

不正なデータ変換

エラー定数	SQLE_CANNOT_CONVERT
ODBC 2 ステータス	01S01
ODBC 3 ステータス	01S01
重大度	10
SQLCODE	103
SQLSTATE	01W03
Sybase エラーコード	518

考えられる原因

データベースは、値を要求された型に変換できませんでした。変換しようとしている値は、挿入時、更新時、またはホストのバインド変数としてデータベースに提供された値か、データベースからホスト変数または SQLDA に取り出された値です。

不正なデータ変換：ロー %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。

エラー定数	SQLE_CANNOT_CONVERT_LOAD_TABLE
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメータ 1	NULL が挿入されたカラムの名前。
パラメータ 2	無効なデータ変換が発生したデータファイルのロー番号。
重大度	10
SQLCODE	124
SQLSTATE	01W01
Sybase エラーコード	13886

考えられる原因

データベースは、値を要求された型に変換できませんでした。変換しようとしている値は、データファイルでデータベースに提供され、LOAD TABLE を使用して挿入されました。カラムに NULL 値が挿入されています。

その他の情報

- 「データ型変換」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

不正なパラメータです。

エラー定数	SQLE_INVALID_PARAMETER
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	18
SQLCODE	-735
SQLSTATE	08W24
Sybase エラーコード	5864

考えられる原因

パラメータを評価中にエラーが発生しました。

不正な比較です。

エラー定数	SQLE_INVALID_COMPARISON
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-710
SQLSTATE	52W25
Sybase エラーコード	13749

考えられる原因

サポートされていない 2 つの引数を比較しようとしました。たとえば、オブジェクトのクラスが有効な compareTo メソッドをサポートしている場合を除いて、Java オブジェクトを他の Java オブジェクトと比較はできません。

不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ : '%1'

エラー定数	SQLE_BAD_FOR_XML_EXPLICIT_DIRECTIVE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	不明なディレクティブ。
重大度	16
SQLCODE	-898
SQLSTATE	WX006
Sybase エラーコード	13583

考えられる原因

有効な FOR XML EXPLICIT ディレクティブは、id、idref、idrefs、hide、element、xml、cdata です。有効な FOR JSON EXPLICIT ディレクティブは、hide、element です。

その他の情報

- 「FOR XML EXPLICIT」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「FOR JSON EXPLICIT」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

不明なバックアップ操作です。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_BACKUP_OPERATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-240
SQLSTATE	WB001

Sybase エラーコード	3206

考えられる原因

db_backup への呼び出し中に、無効なバックアップ文操作が指定されました。

部分ダウンロードが見つかりませんでした

エラー定数	SQLE_PARTIAL_DOWNLOAD_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1103
SQLSTATE	WW075
Sybase エラーコード	13411

考えられる原因

同期しているユーザの部分ダウンロードが見つかりませんでした。このエラーは、存在しない部分ダウンロードから再開しようとしたとき、または存在しない部分ダウンロードをロールバックしようとしたときに発生する可能性があります。

その他の情報

- 「ダウンロードの失敗の再開」『Mobile Link サーバ管理』

文がタイムアウトになりました : '%1'

エラー定数	SQLE_STATEMENT_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	文のタイプ
重大度	16
SQLCODE	-1231
SQLSTATE	57W05

Sybase エラーコード	13286

考えられる原因

文が、割り当てられた時間または指定された時間内に完了しなかったため、失敗しました。

文が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-130
SQLSTATE	07W02
Sybase エラーコード	13628

考えられる原因

準備文が無効です。Embedded SQL では、OPEN または EXECUTE はエラーになります。

その他の情報

- 「準備文の概要」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。

エラー定数	SQLE_INVALID_NUMBER
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-864
SQLSTATE	42W71
Sybase エラーコード	13869

考えられる原因

NUMBER 関数と IDENTITY 関数は、最も外側にある SELECT ブロックの SELECT リストの中でのみ使用できます。サブクエリまたは述部の中では使用できません。

文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。

エラー定数	SQLE_NONDETERMINISTIC_FUNCTION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	エラーが発生したユーザ定義非決定的関数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-889
SQLSTATE	42W79
Sybase エラーコード	13594

考えられる原因

非決定的関数は、検査制約またはその他の種類の整合性制約に表示できません。クエリ、ビュー、または派生テーブル内であれば、どこにでも表示できます。ただし、SELECT リストのエイリアスの式に非決定的関数が含まれる場合、そのエイリアスはクエリの他の場所で参照できません。

文のサイズの制限値が無効です

エラー定数	SQLE_INVALID_CURSOR_RANGE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-674
SQLSTATE	09W07
Sybase エラーコード	13713

考えられる原因

FIRST n または TOP n は、結果のサイズを制限するために SELECT 文で使用されます。サイズ制限は定数で、1 ～ 32766 の整数にしてください。

文のサイズまたは複雑度がサーバの制限を超えています。

エラー定数	SQLE_SYNTACTIC_LIMIT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
重大度	19
SQLCODE	-890
SQLSTATE	54W01
Sybase エラーコード	404

考えられる原因

文に、処理が不可能なサイズの構成が 1 つ以上含まれています。最大キャッシュサイズ、ページサイズ、またはスタックサイズを増やすと、このエラーが解決する場合があります。内部の制限を超えないようにクエリを再作成することを検討してください。たとえば、サイズの大きい IN-list がクエリに含まれている場合は、IN-list の値をテンポラリテーブルに挿入することを検討します。次に、このテンポラリテーブルを、元の文の中の別のテーブルにジョインするクエリを再作成します。

文の実行がユーザによって中断させられました。

エラー定数	SQLE_INTERRUPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-299
SQLSTATE	57014
Sybase エラーコード	3621

考えられる原因

文を実行中にキャンセルしました。データベースはロールバックなしで操作を停止できました。文が INSERT、UPDATE、または DELETE の場合、変更はすべてキャンセルされます。文がデータ定義文 (CREATE TABLE など) の場合、その文はキャンセルされますが、関連する動作として実行された COMMIT はキャンセルされません。

その他の情報

- データベースユーザまたはアプリケーションによって明示的に文がキャンセルされた場合に、このエラーが返される可能性があります。Web ブラウザのタイムアウトや再表示といった動作、または接続を閉じる要求によっても、このエラーが発生する場合があります。

文はマテリアライズドビューのテキストインデックスでは許可されていません。

エラー定数	SQLE_TEXT_MV_TIND_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1555
SQLSTATE	WT038
Sybase エラーコード	12550

考えられる原因

マテリアライズドビュー用に作成されたテキストインデックスには、REFRESH TEXT INDEX および TRUNCATE TEXT INDEX を使用できません。別の再表示タイプを使用するようにテキストインデックスを変更することはできません。

文を実行することができませんでした。

エラー定数	SQLE_CANNOT_EXECUTE_STMT
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	111

SQLSTATE	01W08
Sybase エラーコード	590

考えられる原因

PREPARE...WITH EXECUTE 文に対し、実行できない SQL 文を指定しました。出力 SQLDA を指定している場合は、その中に準備した文の DESCRIBE が格納されます。文の実行中に、要求ログにこの警告が表示されるのは正常な現象です。

その他の情報

- 「SQLDA (SQL descriptor area)」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「PREPARE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

プライマリキーカラム '%1' はすでに定義されています。

エラー定数	SQLE_PRIMARY_KEY_COLUMN_DEFINED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでにプライマリキーに入っているカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-119
SQLSTATE	52009
Sybase エラーコード	1909

考えられる原因

プライマリキーの定義の中に、同じカラム名を 2 度リストしました。

プライマリキーがないためテーブル '%1' と同期できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_SYNC_TABLE_WITHOUT_PK
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前。

重大度	16
SQLCODE	-777
SQLSTATE	5RW16
Sybase エラーコード	13787

考えられる原因

同期するテーブルには、プライマリキーが含まれている必要があります。

プライマリサーバにクォーラムがないため、トランザクションがコミットされない可能性があります

エラー定数	SQLE_LOST_QUORUM_ON_COMMIT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1597
SQLSTATE	WW166
Sybase エラーコード	12509

考えられる原因

パートナサーバと監視サーバとのクォーラムが失われたばかりのプライマリサーバでトランザクションをコミットしようとしました。トランザクションはコミットされた可能性もあれば、コミットされていない可能性もあります。パートナサーバがどのサーバを新しいプライマリサーバとするかを決定しようとします。

その他の情報

- 「データベースミラーリング」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「トラブルシューティング：プライマリサーバの障害からのリカバリ方法」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「コミットされていない操作のリカバリ (Sybase Central の場合)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

プランがありません。このタイプの文またはデータベースでは、HTML_PLAN 関数はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_HTML_PLAN_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1177
SQLSTATE	0AW21
Sybase エラーコード	1333336

考えられる原因

クエリ (SQL Anywhere クエリまたはリモートデータアクセス/CIS 分解クエリ) の HTML プランを取得しようとしました。純正な IQ クエリでは HTML_PLAN はサポートされています。

プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります

エラー定数	SQLE_USING_VIRTUAL_INDEXES
ODBC 2 ステータス	01S01
ODBC 3 ステータス	01S01
重大度	10
SQLCODE	129
SQLSTATE	01W20
Sybase エラーコード	13596

考えられる原因

仮想インデックスが、この接続で現在有効になっています。生成されるプランには、仮想インデックスが含まれていることがあります。

その他の情報

- 「インデックスコンサルタントの推奨内容」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。

エラー定数	SQLE_ROLLBACK_ON_PREFETCH
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-684
SQLSTATE	WW019
Sybase エラーコード	1205

考えられる原因

プリフェッチ可能としてオープンカーソルのいずれかがフェッチ操作を実行中であり、プリフェッチ中にデッドロックが発生しました。これはデッドロック状態であり、トランザクションがロールバックされるよう選択されました。このエラーを受け取った要求は実行されませんでした。ただし、カーソルを閉じる要求の場合、カーソルは閉じられました。

プリンシパルミラーサーバはすでに定義されています。

エラー定数	SQLE_MIRROR_PARTNERS_ALREADY_DEFINED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1311
SQLSTATE	WW134
Sybase エラーコード	13278

考えられる原因

親サーバを持たないミラーサーバを作成しようとしましたが、2 つのプリンシパルミラーサーバがデータベースですでに定義されています。

プロシージャ '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_RETURNS_VOID
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメータ 1	プロシージャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-705
SQLSTATE	53019
Sybase エラーコード	257

考えられる原因

Java の void 型は、SQL のどの型にもマッピングされません。したがって、void を返すプロシージャは SQL 式で使用できません。

プロシージャ '%1' の呼び出しに必要なパラメータ名がありません。

エラー定数	SQLE_PARAMETER_NAME_MISSING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	プロシージャ名。
重大度	16
SQLCODE	-639
SQLSTATE	42W42
Sybase エラーコード	201

考えられる原因

このプロシージャの呼び出しで、位置を指定する引数が名前付きパラメータの後に指定されています。

プロシージャ '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。

エラー定数	SQLE_UNHANDLED_EXTENV_EXCEPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	未処理の例外を返したプロシージャの名前。
パラメータ 2	未処理の例外の、Java クラスの完全修飾名。
重大度	16
SQLCODE	-91
SQLSTATE	WP001
Sybase エラーコード	13735

考えられる原因

Java プロシージャは、アクティブな例外によって終了しました。また、この例外は、SQL ではエラーステータスとして示されます。

プロシージャ '%1' は見つかりません。

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったプロシージャの名前。
重大度	11
SQLCODE	-265
SQLSTATE	52W09
Sybase エラーコード	504

考えられる原因

プロシージャの名前のスペルを間違えたか、プロシージャ名をユーザ名で修飾しませんでした。

プロシージャ '%1' は有効でなくなりました。

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_NO_LONGER_VALID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	プロシージャの名前。
重大度	15
SQLCODE	-836
SQLSTATE	42W63
Sybase エラーコード	13842

考えられる原因

プロシージャ定義をカタログからロードできません。テーブルまたはカラムの名前が変更されていないか、予約語が使用されていないかを調べてください。このプロシージャが内部プロシージャの場合、古いバージョンを使用している可能性があります。正常に実行するには、データベースのアップグレードが必要な場合があります。

プロシージャ '%2' にパラメータ '%1' がありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_PARAMETER_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	見つからなかったパラメータの名前。
パラメータ 2	パラメータが見つからなかったプロシージャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-615
SQLSTATE	42W47
Sybase エラーコード	201

考えられる原因

このプロシージャのパラメータと一致しないプロシージャのパラメータ名を指定しました。パラメータ名のスペルをチェックしてください。

プロシージャ '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。

エラー定数	SQLE_ARGUMENT_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	NULL であってはならない引数番号。
パラメータ 2	NULL パラメータを受け取ることができないプロシージャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-90
SQLSTATE	WP000
Sybase エラーコード	409

考えられる原因

スカラ引数を予期しているプロシージャに NULL 値を引き渡しました。たとえば、'int' 引数を持つ Java プロシージャは、NULL 値を受け取ることができません。

プロシージャ、トリガ、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。

エラー定数	SQLE_SETUSER_NOT_IN_PROCEDURES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-877
SQLSTATE	42W09
Sybase エラーコード	13888

考えられる原因

ストアドプロシージャ、トリガ、イベントハンドラ、またはバッチでは SETUSER 文を使用できません。また、EXECUTE IMMEDIATE 文から SETUSER 文を呼び出すこともできません。

プロシージャが完了しました。

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_COMPLETE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	105
SQLSTATE	01W05
Sybase エラーコード	13618

考えられる原因

このプロシージャで取得できる結果セットはこれ以上ありません。OPEN 文または RESUME 文によってプロシージャの実行が完了された可能性があります。

プロシージャ結果セットのカラムが多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_IN_PROC_RES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1237
SQLSTATE	54W15
Sybase エラーコード	13281

考えられる原因

GROUP BY リスト内の式が多すぎる文を実行しました。GROUP BY リスト内の式の数は 60000 個までに制限されています。CREATE PROCEDURE 文または ALTER PROCEDURE 文を実行しました。結果的にプロシージャの結果セット内に作成されたカラムの数がサーバの制限を超えています。

プロシージャタイプ '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_PROCEDURE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャのタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-986
SQLSTATE	WW055
Sybase エラーコード	13503

考えられる原因

関数またはプロシージャが無効のタイプを使って指定されました。

プロシージャタイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_NAMESPACE_ATTRIBUTE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの NAMESPACE 属性。
重大度	16
SQLCODE	-989
SQLSTATE	WW058
Sybase エラーコード	13500

考えられる原因

NAMESPACE 属性はタイプ SOAP のプロシージャにのみ適用可能です。

プロシージャタイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_WITH_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性。
パラメータ 2	プロシージャのタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1034
SQLSTATE	WW064
Sybase エラーコード	13477

考えられる原因

このプロシージャタイプには、この属性を使用できません。

プロシージャは '%1' によって使用されています。

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-215
SQLSTATE	42W23
Sybase エラーコード	3702

考えられる原因

データベースの他のアクティブユーザが使用しているプロシージャを、削除しようとしました。

プロシージャは現在変更中または削除中です。

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_IN_USE_DDL
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-1681
SQLSTATE	42WF0
Sybase エラーコード	12452

考えられる原因

変更中または削除中のプロシージャを使用しようとしました。

プロシージャまたは関数 '%2' のパラメータ '%1' にデフォルト値がありません。

エラー定数	SQLE_NO_DEFAULT_FOR_PARM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	パラメータの名前。
パラメータ 2	プロシージャまたはファンクションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1001
SQLSTATE	08W71
Sybase エラーコード	13491

考えられる原因

プロシージャまたはファンクションの引数として DEFAULT を使おうとしましたが、対応するパラメータにデフォルト値がありません。

プロシージャまたはトリガ内では、データ定義文は使用できません。

エラー定数	SQLE_DDL_NOT_ALLOWED_IN_PROCEDURES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-623
SQLSTATE	52W21
Sybase エラーコード	154

考えられる原因

プロシージャまたはトリガの定義にデータ定義文 (CREATE、DROP、GRANT、REVOKE、ALTER など) が含まれています。これらの文は、プロシージャまたはトリガの内部では使用できません。

プロシージャまたはトリガの呼び出しのネストが深すぎます。

エラー定数	SQLE_NESTING_TOO_DEEP
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-274
SQLSTATE	42W29
Sybase エラーコード	217

考えられる原因

定義されたプロシージャまたはトリガが、無限再帰の原因となっています。

変換定義 '%1' は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_TRANSFORM_DEF

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な変換定義文字列。
重大度	16
SQLCODE	-1442
SQLSTATE	2FW35
Sybase エラーコード	13130

考えられる原因

指定された文字列は、有効な変換定義を表していません。

変換定義が長すぎます。

エラー定数	SQLE_SLERR_TRANSFORM_DEF_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1443
SQLSTATE	2FW36
Sybase エラーコード	13129

考えられる原因

指定された変換定義が長すぎます。

変数 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_VARIABLE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

パラメータ 1	見つからなかった変数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-260
SQLSTATE	42W14
Sybase エラーコード	137

考えられる原因

作成されていない SQL 変数または削除された SQL 変数を削除しようとしたか、値を設定しようとしました。

別のテーブルからの外部キー参照があるテンポラリテーブルには、LOAD TABLE は使用できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOAD_TABLE_WITH_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1146
SQLSTATE	WL009
Sybase エラーコード	13366

考えられる原因

LOAD TABLE 文は、障害が発生するとテンポラリテーブル内のすべてのローを削除します。ロードされるテンポラリテーブルによってエラーが発生する場合、外部キーが孤立します。

ベーステーブル '%1' の挿入／更新に対して WITH CHECK OPTION が違反しています。

エラー定数	SQLE_WITH_CHECK_OPTION_VIOLATION
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	44000

パラメータ 1	更新するベーステーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-632
SQLSTATE	44000
Sybase エラーコード	550

考えられる原因

ビューによって (ネストされて) 示されたベーステーブルで、挿入または更新操作を実行しようとしました。しかし、修正したロー内の 1 つ以上の値が WITH CHECK OPTION 違反をトリガしました。この違反は、そのローの FALSE または UNKNOWN を評価するビューの WHERE 句を作成することで、修正された値によって 1 つ以上のローがビューの範囲外になったときに発生します。

ホスト変数が足りません。

エラー定数	SQLE_NOT_ENOUGH_HOST_VARS
ODBC 2 ステータス	07002
ODBC 3 ステータス	07002
重大度	16
SQLCODE	-188
SQLSTATE	07001
Sybase エラーコード	13638

考えられる原因

バインド変数、文、SELECT リスト項目のいずれかに、ホスト変数の数が不足しています。

ホスト変数はバッチで使用できません。

エラー定数	SQLE_HOSTVARS_IN_BATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	15
SQLCODE	-807
SQLSTATE	07W07
Sybase エラーコード	13817

考えられる原因

ホスト変数の参照を含むバッチを実行しようとしました。ホスト変数は、バッチ内ではサポートされていません。

ポイント %1 の変換に失敗しました (エラー %2)

エラー定数	SQLE_SLERR_TRANSFORM_POINT_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	変換できなかったポイント。
パラメータ 2	投影ライブラリからのエラーコード。
重大度	16
SQLCODE	-1532
SQLSTATE	2FF17
Sybase エラーコード	12573

考えられる原因

空間参照系を別の空間参照系に変換していたときにエラーが発生しました。このエラーは、最初のジオメトリ内のポイントが、変換定義の境界の範囲外にある場合に発生する可能性があります。このエラーは、特定の変換定義に関して報告されている可能性もあります。変換ライブラリの整数エラーコードが、変換定義の診断に使用されている可能性があります。

ポイント 3 つの CircularString が、ポイント 5 つの CircularString に変換されました。

エラー定数	SQLE_SLWARN_CIRCULARSTRING_3POINT

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1491
SQLSTATE	01FW2
Sybase エラーコード	13081

考えられる原因

3 つのポイントを持つ円の CircularString を含む曲線が、5 つのポイントを持つ円を使用するように変換されました。これは単なる通知です。

その他の情報

- 「ST_CircularString タイプ」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』

ポイントが %1 と重複しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_DUPLICATE_POINT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	重複したポイント。
重大度	16
SQLCODE	-1400
SQLSTATE	2FF05
Sybase エラーコード	13172

考えられる原因

2 つの同一の隣接ポイントが LineString または CircularString ジオメトリに含まれています。このことは、無効なジオメトリであることを示しています。

ポイントのないジオメトリ間の距離を算出する際、SRID=%1 のジオメトリはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_ROUND_EARTH_UNSUPPORTED_DIS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ジオメトリの SRID。
重大度	16
SQLCODE	-1436
SQLSTATE	2FW29
Sybase エラーコード	13136

考えられる原因

曲面データを操作する場合、ポイントのないジオメトリ間の距離はサポートされません。

SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、ま～わ)

まだデータベースに接続されています。

エラー定数	SQLE_STILL_ACTIVE_CONNECTIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-109
SQLSTATE	08W06
Sybase エラーコード	6001

考えられる原因

まだ接続しているデータベースを停止しようとしました。

マテリアライズドビュー "%2" のインデックス "%1" の再表示タイプの修正エラー

エラー定数	SQLE_TEXT_INDEX_MV_ALTER_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テキストインデックスの名前。
パラメータ 2	マテリアライズドビューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1586
SQLSTATE	WT039
Sybase エラーコード	12519

考えられる原因

マテリアライズドビューに依存するテキストインデックスの再表示タイプを変更するときに内部エラーが発生しました。

マテリアライズドビュー %1 では、LOAD TABLE は許可されません

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_ON_MATVIEW_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードが試行されたマテリアライズドビューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1190
SQLSTATE	WL014
Sybase エラーコード	13325

考えられる原因

マテリアライズドビューでは、LOAD TABLE 文は許可されません。

マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。NULL 入力不可なカラムにユニークなインデックスがありません。

エラー定数	SQLE_IMMEDIATE_MV_NO_UNIQUE_INDEX
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	マテリアライズドビューの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1233
SQLSTATE	42WCA
Sybase エラーコード	13284

考えられる原因

NULL 入力不可のカラムにユニークインデックスがないマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。マテリアライズドビューにユニークインデックスを作成してから、再表示タイプを変更してください。

マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。すでに初期化されています。

エラー定数	SQLE_IMMEDIATE_MV_REFRESH_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	マテリアライズドビューの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1170
SQLSTATE	42WC3

Sybase エラーコード	13343

考えられる原因

初期化済みのステータスにすでになっているマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。ビューをトランケートしてから、再表示タイプを変更してください。

マテリアライズドビュー '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_MATVIEW_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったマテリアライズドビューの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1041
SQLSTATE	42WB5
Sybase エラーコード	13470

考えられる原因

マテリアライズドビューの名前のスペルを間違えたか、マテリアライズドビュー名をユーザ名で修飾しませんでした。たとえば、"DBA"."Employees" ではなく "Employees" を参照しています。

マテリアライズドビュー '%1' でトリガを作成できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	マテリアライズドビューの名前
重大度	14
SQLCODE	-1134
SQLSTATE	42W3D

Sybase エラーコード	13379

考えられる原因

マテリアライズドビューでトリガを作成しようとしました。マテリアライズドビューは、トリガの有効な対象ではありません。

マテリアライズドビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_USE_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	マテリアライズドビューの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1077
SQLSTATE	42WBC
Sybase エラーコード	13437

考えられる原因

マテリアライズドビューを使用しようとしましたが、ビューはまだ初期化されていません。マテリアライズドビューを作成または有効にした後に初めて使用するには、REFRESH MATERIALIZED VIEW 文を使用して 1 回以上初期化する必要があります。

マテリアライズドビューのサポートは、このデータベースでは利用できません

エラー定数	SQLE_MAT_VIEWS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1029

SQLSTATE	0AW15
Sybase エラーコード	13481

考えられる原因

実行している文には、マテリアライズドビューのサポートが必要ですが、使用されているデータベースにはマテリアライズドビューの機能がありません。

マテリアライズドビューのテキストインデックスタイプが無効です。

エラー定数	SQLE_TEXT_MV_INVALID_COMBO
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1552
SQLSTATE	WT037
Sybase エラーコード	12553

考えられる原因

マテリアライズドビューで指定の再表示タイプのテキストインデックスを作成できません。マテリアライズドビューで作成できるのは IMMEDIATE REFRESH テキストインデックスのみです。

マテリアライズドビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	設定が間違っているオプションの名前。
重大度	14

SQLCODE	-1052
SQLSTATE	42WB7
Sybase エラーコード	13461

考えられる原因

マテリアライズドビューを更新または再表示しようとしましたが、データベースオプションのいずれかが現在、マテリアライズドビューの更新時に許可されない値に設定されているか、オプションの設定が、ビュー作成時の値と一致しません。

マテリアライズドビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。

エラー定数	SQLE_CANNOT_CREATE_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	設定が間違っているオプションの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1051
SQLSTATE	42WB6
Sybase エラーコード	13460

考えられる原因

マテリアライズドビューを作成しようとしましたが、データベースオプションのいずれかが現在、マテリアライズドビューの作成時に許可されない値に設定されています。

マテリアライズドビューを即時に変更できません。COUNT(*) が SELECT リストの一部に必要です。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_MISSING_COUNT
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	15
SQLCODE	-1199
SQLSTATE	42WC6
Sybase エラーコード	13316

考えられる原因

定義の SELECT リストに COUNT(*) が含まれていないマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

マテリアライズドビューを即時に変更できません。非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_NON_AGGR_INDEX
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1218
SQLSTATE	42WC7
Sybase エラーコード	13299

考えられる原因

非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークインデックスがないマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。マテリアライズドビューにユニークインデックスを作成してから、再表示タイプを変更してください。

マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に複数のクエリブロックを含めることはできません。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_MULTIBLE_BLOCK_ERR

ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1181
SQLSTATE	42WC5
Sybase エラーコード	13334

考えられる原因

定義に複数のクエリブロックが含まれているマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に不正な構成体が含まれています。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_ERR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1268
SQLSTATE	42WCB
Sybase エラーコード	13786

考えられる原因

定義に不正な構成体が含まれているマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

マルチパッチのシェイプファイルの形状はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_SHAPE_MULTIPATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1425
SQLSTATE	2FW16
Sybase エラーコード	13147

考えられる原因

シェイプファイルにマルチパッチオブジェクトが含まれていますが、このようなタイプはサポートされていません。

ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。

エラー定数	SQLE_MIRROR_FILE_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ミラーファイルの名前
パラメータ 2	データベースファイルの名前
重大度	16
SQLCODE	-1138
SQLSTATE	WW090
Sybase エラーコード	13375

考えられる原因

指定したミラーファイルが、データベースファイルと対応していません。このエラーは、データベースが正常に停止されなかった場合、または誤ったミラーファイルが指定された場合に発生します。ミラーファイルを移動または破棄してから続行するか、別のミラーを指定する必要があります。

ミラー子サーバの作成に失敗しました。

エラー定数	SQLE_CHILD_SERVER_CREATION_FAILED

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1351
SQLSTATE	WW154
Sybase エラーコード	13206

考えられる原因

プライマリサーバでの子サーバの作成が失敗したか、または許可されませんでした。

ミラーサーバ "%1" が見つかりません。

エラー定数	SQLE_MIRROR_SERVER_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ミラーサーバの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1308
SQLSTATE	WW131
Sybase エラーコード	13409

考えられる原因

指定されたミラーサーバがデータベースで見つかりませんでした。

ミラーサーバ "%1" はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_MIRROR_SERVER_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	ミラーサーバの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1309
SQLSTATE	WW132
Sybase エラーコード	13365

考えられる原因

データベースにすでに存在するミラーサーバを作成しようとしました。

ミラーサーバ "%1" は別のサーバによって参照されています。

エラー定数	SQLE_MIRROR_SERVER_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ミラーサーバの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1310
SQLSTATE	WW133
Sybase エラーコード	13364

考えられる原因

データベース内の別のサーバによって参照されているミラーサーバを削除しようとしました。

ミラーサーバ "%1" は有効な親サーバではありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_MIRROR_PARENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ミラーサーバの名前。

重大度	16
SQLCODE	-1312
SQLSTATE	WW135
Sybase エラーコード	13267

考えられる原因

循環を引き起こす原因となる、ミラーサーバの親を定義しようとしました。

ミラーサーバタイプを %1 から %2 に変更できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_CHANGE_MIRROR_SERVER_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	元のミラーサーバのタイプ
パラメータ 2	提案する新しいミラーサーバのタイプ
重大度	16
SQLCODE	-1683
SQLSTATE	42WF2
Sybase エラーコード	12442

考えられる原因

CREATE OR REPLACE MIRROR SERVER 文または ALTER MIRROR SERVER 文を使用してミラーサーバのタイプを変更使用としましたが、提案する変更がサポートされていません。

その他の情報

- 「CREATE MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「ALTER MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「トラブルシューティング：プライマリサーバが起動できない」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「ユーザが開始したロールの切り替え (フェイルオーバ)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

ミラーサーバに接続できません。サーバ名 '%1' を使用してプライマリサーバを探してください。

エラー定数	SQLE_CONNECTED_TO_MIRROR_SERVER
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	ミラーリングシステムのサーバ名。
重大度	11
SQLCODE	-1039
SQLSTATE	08W91
Sybase エラーコード	13472

考えられる原因

ミラーリングシステムでミラーサーバに接続しようとしました。ミラーリングシステムのサーバ名を使用するように接続文字列または DSN を変更してください。

ミラーサーバ名 '%1' は、現在のサーバ名に一致しません。

エラー定数	SQLE_INVALID_CHILD_SERVER_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サーバ名。
重大度	16
SQLCODE	-1348
SQLSTATE	WW151
Sybase エラーコード	13209

考えられる原因

CREATE MIRROR SERVER 文で指定されたサーバ名は、この文が子サーバで実行される場合、現在のサーバ名と一致する必要があります。

ミラーファイルには、これより高い checksum_level が必要です。

エラー定数	SQLE_MIRROR_FILE_REQUIRES_CHECKSUMS
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	144
SQLSTATE	WW116
Sybase エラーコード	13274

考えられる原因

メディア障害から効果的に保護するために、ミラーファイルを使用しているときはページチェックサムを有効にしてください。checksum_level データベース作成オプションを指定してください。

その他の情報

- 「Ultra Light checksum_level 作成パラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ミラーリングされたデータベースに対して '%1' 文を使用することはできません

エラー定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_WITH_MIRRORING
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーを起こす文。
重大度	16
SQLCODE	-1288
SQLSTATE	WW120
Sybase エラーコード	13666

考えられる原因

ミラーリングされたデータベースの使用中に、許可されていない文を実行しようとしました。

無効な多角形です：曲線がリンクではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_NON_RING
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1487
SQLSTATE	2FW82
Sybase エラーコード	13085

考えられる原因

いずれかの曲線がリングではないため、多角形の作成に使用できません。

その他の情報

- 「多角形リングの方向操作」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』

無効な多角形です：リングが SRID=%1 で許可されている値を超えています ('%2' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_RE_SIZE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	空間参照系の識別子。
パラメータ 2	エラーが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1488
SQLSTATE	2FW83

Sybase エラーコード	13084

考えられる原因

いずれかのリングが、指定された空間参照系でサポートされている値を超過しています。

その他の情報

- 「多角形リングの方向操作」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』

無効な多角形です：リングが閉じていません ('%1' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_RING_CLOSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1485
SQLSTATE	2FW80
Sybase エラーコード	13087

考えられる原因

指定されたいずれかの曲線が、閉じたリングではありません。

その他の情報

- 「多角形リングの方向操作」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』

無効な多角形です：リングにゼロ領域があります ('%1' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_EMPTY_RING
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーが検出された値またはメソッド。
重大度	16

SQLCODE	-1486
SQLSTATE	2FW81
Sybase エラーコード	13086

考えられる原因

指定されたいずれかのリングにゼロ領域が含まれているため、有効な多角形リングではありません。

その他の情報

- 「多角形リングの方向操作」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』

無効なデータベースページサイズです。

エラー定数	SQLE_PAGE_SIZE_INVALID
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-644
SQLSTATE	08W32
Sybase エラーコード	927

考えられる原因

無効なページサイズのデータベースを作成しようとしました。SQL Anywhere データベースのページサイズは、2048、4096、8192、16384、または 32768 バイトである必要があります。Ultra Light データベースのページサイズは、1024、2048、4096、8192、または 16384 バイトである必要があります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「ヒント：適切なページサイズの使用」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- Ultra Light： 「Ultra Light page_size 作成パラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

無効なドメイン '%1'

エラー定数	SQLE_INVALID_DOMAIN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効なドメイン指定。
重大度	16
SQLCODE	-1275
SQLSTATE	54W52
Sybase エラーコード	13881

考えられる原因

無効なドメインを作成しようとしました。サイズ、位取り、精度が無効です。

無効なバックアップ操作です。

エラー定数	SQLE_INVALID_BACKUP_OPERATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1021
SQLSTATE	WB013
Sybase エラーコード	3206

考えられる原因

前回のバックアップ操作が原因で、指定したバックアップ操作は無効です。

無効なバックアップパラメータ値です。

エラー定数	SQLE_INVALID_BACKUP_PARM_VALUE

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1045
SQLSTATE	WB015
Sybase エラーコード	13466

考えられる原因

バックアップ操作に指定した 1 つまたは複数のパラメータに無効な値があります。

無効なパスワード：%1

エラー定数	SQLE_INVALID_NEW_PASSWORD
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	パスワードが無効である理由、またはパスワードを検証する関数を呼び出せなかった理由。
重大度	16
SQLCODE	-1044
SQLSTATE	28W11
Sybase エラーコード	13467

考えられる原因

新しいユーザ ID の作成、またはパスワードの変更に失敗しました。verify_password_function オプションで指定した関数によってパスワードが無効になりました。

その他の情報

- 「verify_password_function オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

無効な変数またはタイプ

エラー定数	SQLE_PARSE_JSON_INVALID_VARIABLE_TYPE

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1680
SQLSTATE	WX024
Sybase エラーコード	12443

考えられる原因

名前付き変数が無効であるか、JSON の結果のデータ型が正しくありません。

無効なホスト変数です。

エラー定数	SQLE_VARIABLE_INVALID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	17
SQLCODE	-155
SQLSTATE	42W07
Sybase エラーコード	7201

考えられる原因

C 言語インタフェースを使用して、データベースに無効なホスト変数を指定しました。変数をホスト変数として指定したか、SQLDA を通して指定した可能性があります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- Ultra Light： 「ホスト変数の宣言」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

無効なユーザ ID またはロール名 '%1' が指定されています。

エラー定数	SQLE_INVALID_USER_ROLE_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定された無効なユーザまたはロールの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1536
SQLSTATE	28000
Sybase エラーコード	12569

考えられる原因

ユーザまたはロールに無効な名前を指定しました。

無効なユーザ選択性の評価が指定されました。

エラー定数	SQLE_INVALID_USER_ESTIMATE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
重大度	10
SQLCODE	118
SQLSTATE	01W16
Sybase エラーコード	13617

考えられる原因

リテラル定数でないか、0.0 から 100.0 (推定値はパーセントで指定されます) の範囲を超えたユーザ選択推定値を指定しました。推定値は無視されました。

その他の情報

- 「ESTIMATE_SOURCE 関数 [その他]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

メソッド '%1' は、%2 引数で呼び出すことはできません ('%3' 付近)。

エラー定数	SQLE_METHOD_NO_OVERLOAD_N_ARGS

ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	メソッドの名前。
パラメータ 2	指定された引数の数。
パラメータ 3	無効な式。
重大度	11
SQLCODE	-1339
SQLSTATE	42X04
Sybase エラーコード	13217

考えられる原因

指定されたメソッドのオーバロードは、指定された引数の数を使用して呼び出すことができません。

メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。

エラー定数	SQLE_METHOD_CANNOT_BE_CALLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	メソッドの名前。
重大度	16
SQLCODE	-669
SQLSTATE	WJ001
Sybase エラーコード	13711

考えられる原因

このメソッドは今回呼び出すことができません。メソッドが適切に呼び出されているかどうかを確認してください。

メソッド呼び出し '%1' は過負荷と一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。

エラー定数	SQLE_METHOD_NO_OVERLOAD
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	メソッドの呼び出しで使用されるメソッド名とデータ型。
パラメータ 2	無効な式。
パラメータ 3	使用可能なメソッドのオーバロード。
重大度	11
SQLCODE	-1337
SQLSTATE	42X02
Sybase エラーコード	13219

考えられる原因

メソッドの呼び出しを一致させようとしましたが、指定された引数タイプに一致する定義済みオーバロードが見つかりませんでした。CAST を使用して適切な呼び出しを選択することが必要となる場合があります。

メッセージまたはデータ型を所有するユーザは削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_MESSAGES_OR_DATATYPES
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-614
SQLSTATE	55W05
Sybase エラーコード	13632

考えられる原因

メッセージまたはユーザ定義データ型の作成者であるユーザを削除しようとしました。まず、メッセージまたはユーザ定義のデータ型を削除してください。

メモリエラー -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_MEMORY_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	24
SQLCODE	-309
SQLSTATE	40W08
Sybase エラーコード	3013

考えられる原因

Ultra Light ランタイムは、Ultra Light データベースを格納するために使用されるシステムコールから予期しないエラーを受け取りました。たとえば、永続的なメモリへの書き込みの失敗などです。このエラーは、デバイス上に不良または破損した記憶領域があることを示す内部エラーです。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

その他の情報

- 「Ultra Light でのトランザクション処理」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。

エラー定数	SQLE_CHAR_FIELD_SIZE_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1093
SQLSTATE	54W09

Sybase エラーコード	13422

考えられる原因

宣言または変換で、バイト長が 32767 を超える文字型が指定されました。

文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_CONVERT_CHARSET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	入力文字列の文字セット。
パラメータ 2	出力文字列の文字セット。
重大度	16
SQLCODE	-1075
SQLSTATE	WC011
Sybase エラーコード	13439

考えられる原因

サーバは、指定された 2 つの文字セット間で変換できませんでした。これは、dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていない場合に発生する可能性があります。

文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_CHARSET_AND_LANGUAGE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	サポートできない文字セットの名前。
パラメータ 2	サポートできない言語の名前。
パラメータ 3	サーバが言語文字列を送信するために使用する言語の名前。

重大度	10
SQLCODE	117
SQLSTATE	01W15
Sybase エラーコード	13616

考えられる原因

アプリケーションが要求した文字セットは、アプリケーションが接続しているサーバではサポートされていません。アプリケーションが要求した言語もサポートされていません。言語文字列は指定した言語で送信されます。

その他の情報

- 「文字セット変換」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

モジュールの前処理でのユーザ ID またはパスワードが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_MODULE_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	14
SQLCODE	-104
SQLSTATE	28W01
Sybase エラーコード	4002

考えられる原因

モジュールの前処理で、無効なユーザ ID またはパスワードを指定しました。

文字列 '%1' は、有効な座標名ではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_COORDNAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	無効な座標名。
重大度	16
SQLCODE	-1457
SQLSTATE	2FW50
Sybase エラーコード	13115

考えられる原因

指定された文字列は、座標の名前ではありません。座標名は、X、Y、Z、M、Latitude、および Longitude です。

文字列 '%1' は、有効な軸順序ではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_AXISORDER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な軸順序。
重大度	16
SQLCODE	-1456
SQLSTATE	2FW49
Sybase エラーコード	13116

考えられる原因

指定された文字列は、有効な軸順序ではありません。

文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_DUMP_STRING_HISTOGRAM
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	文字列データが含まれているカラムの名前。

重大度	10
SQLCODE	132
SQLSTATE	01W23
Sybase エラーコード	13585

考えられる原因

文字列が含まれているカラムのヒストグラムを取得しようとしました。文字列情報のヒストグラムは、読み込み可能なフォーマットで出力できません。この結果、情報は取得されません。カラムの特定の値または範囲の情報を取得するには、ESTIMATE 関数の使用を検討してください。

その他の情報

- 「ヒストグラムユーティリティ (dbhist)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「ESTIMATE 関数 [その他]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

文字列が長すぎます (%1)。

エラー定数	SQLE_STRING_PARM_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメータ 1	サーバで許可されている長さを超えている文字列。
重大度	15
SQLCODE	-973
SQLSTATE	54W06
Sybase エラーコード	13515

考えられる原因

文字列の長さが、サーバで許可されている長さを超えています。

文字列データの右側がトランケートされます。

エラー定数	SQLE_STRING_RIGHT_TRUNCATION
ODBC 2 ステータス	22001

ODBC 3 ステータス	22001
重大度	16
SQLCODE	-638
SQLSTATE	22001
Sybase エラーコード	9502

考えられる原因

文字列データを割り当てるときに、スペースではない文字がトランケートされました。

その他の情報

- 「string_rtruncation オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「Transact-SQL と SQL/2008 の互換性オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

もっと情報が必要です。

エラー定数	SQLE_MORE_INFO
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	112
SQLSTATE	01W09
Sybase エラーコード	13686

考えられる原因

この処理を完了するには、より詳細な情報が必要です。この情報は、統一化ログインを処理するために、データベースインタフェースライブラリの内部で使用されます。アプリケーションには返しません。

唯一の LDAP サーバであり、login_mode の値が "LDAPUA" であるため、LDAP サーバ "%1" の削除が妨げられました。

エラー定数	SQLE_ONLY_LDAP_SERVER

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	LDAP サーバの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1664
SQLSTATE	WW246
Sybase エラーコード	12459

考えられる原因

サーバ全体の login_mode オプションの設定が LDAPUA になっているため、ロックアウトされるユーザが接続できないようにするには、LDAP サーバのみの削除を防止してください。login_mode を変更してから DROP LDAP SERVER <サーバ名> を実行します。

ユーザ '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。

エラー定数	SQLE_MUST_NOT_BE_REPLICATING
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1080
SQLSTATE	42WBE
Sybase エラーコード	13434

考えられる原因

レプリケーションを実行中のトランザクションがあるユーザのパーミッションを取り消そうとしました。これは許可されていません。

ユーザ '%1' にはすでに GRANT OPTION が付与されています

エラー定数	SQLE_ALREADY_HAS_GRANT_PERMS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでに GRANT OPTION を持つユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-120
SQLSTATE	42W01
Sybase エラーコード	13625

考えられる原因

GRANT OPTION を付与しようとしたユーザには、すでにそのパーミッションがあります。

ユーザ '%1' はこのデータベースのリモートユーザではありません。

エラー定数	SQLE_NOT_REMOTE_USER
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-285
SQLSTATE	5RW06
Sybase エラーコード	13647

考えられる原因

このデータベースのリモートユーザではないユーザに対して CREATE SUBSCRIPTION または PASSTHROUGH を実行しようとしました。このユーザに対して GRANT REMOTE または GRANT CONSOLIDATE を実行してから、この操作を続行してください。

ユーザ '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを付与されています。

エラー定数	SQLE_ALREADY_HAS_EXEC_PERMS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでに EXECUTE パーミッションを持つユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-968
SQLSTATE	42WAB
Sybase エラーコード	13522

考えられる原因

ストアドプロシージャの EXECUTE パーミッションをユーザに与えようとしましたが、そのユーザは、該当するプロシージャの EXECUTE パーミッションをすでに持っていました。

ユーザ '%1' はすでにグループ '%2' のメンバーです。

エラー定数	SQLE_ALREADY_HAS_GROUP_MEMBERSHIP
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでにメンバーシップを持つユーザの名前。
パラメータ 2	グループの名前。
重大度	16
SQLCODE	-312
SQLSTATE	42W34
Sybase エラーコード	13627

考えられる原因

特定のグループのメンバーシップをあるユーザに与えようとしましたが、そのユーザはすでにそのメンバーシップを持っています。

ユーザ '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャです。

エラー定数	SQLE_ONLY_ONE_PUBLISHER
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリッシャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-284
SQLSTATE	5RW05
Sybase エラーコード	13646

考えられる原因

パブリッシャがすでに存在するときに、ユーザ ID に GRANT PUBLISH を実行しようとしました。

ユーザ '%1' はすでに存在します

エラー定数	SQLE_USER_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1198
SQLSTATE	WW101
Sybase エラーコード	13317

考えられる原因

データベースにすでに存在するユーザを作成しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「ユーザ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「CREATE USER 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「Sybase Central を使用した Ultra Light ユーザの作成」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「CREATE USER 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ユーザ '%1' はユーザグループではありません。

エラー定数	SQLE_NOT_A_GROUP
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	グループと認識していたユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-123
SQLSTATE	42W03
Sybase エラーコード	13626

考えられる原因

グループにメンバーを追加しようとしましたが、そのグループに指定したユーザ ID は GROUP パーミッションを付与されていませんでした (つまり、それはグループではありませんでした)。

ユーザ '%1'に対するテンポラリオプションを設定することはできません。

エラー定数	SQLE_TEMPORARY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	オプションを変更する必要があるユーザ ID。
重大度	16
SQLCODE	-203

SQLSTATE	42W45
Sybase エラーコード	13687

考えられる原因

TEMPORARY オプションは接続単位に設定するものであり、データベースサーバに認識されている特定のオプションに対してのみ指定します。別のユーザのオプションを変更するには、SET OPTION 文に TEMPORARY を指定しないでください。

ユーザ '%2' に対するデータベースオプション '%1' は不正な設定です。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPTION_ON_CONNECT
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	無効な値を持つデータベースオプションの名前。
パラメータ 2	接続しようとしたユーザの名前。
重大度	10
SQLCODE	113
SQLSTATE	01W11
Sybase エラーコード	13688

考えられる原因

特定ユーザの接続要求を処理するときに、サーバが、無効な値が設定されているデータベースオプションを処理しました。サーバではデフォルトのオプション値が使用されます。

ユーザ ID またはパスワードが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	14

SQLCODE	-103
SQLSTATE	28000
Sybase エラーコード	4002

考えられる原因

無効なユーザ ID または間違ったパスワードを入力しました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「ユーザ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light ユーザ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ユーザ設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。

エラー定数	SQLE_UNSET_PUBLIC_ID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	オプションの名前。
重大度	15
SQLCODE	-896
SQLSTATE	42W82
Sybase エラーコード	13587

考えられる原因

PUBLIC オプションを削除しようとしましたが、同じオプションを対象としたユーザ設定が存在します。ユーザ設定を削除してから、PUBLIC オプションを削除してください。

ユーザ定義データ型 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_USER_TYPE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000

パラメータ 1	ユーザ定義型の名前。
重大度	16
SQLCODE	-613
SQLSTATE	52W18
Sybase エラーコード	2715

考えられる原因

この名前のユーザ定義型はデータベースには存在しません。

ユーザ定義の例外が通知されました。

エラー定数	SQLE_USER_DEFINED_EXCEPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-297
SQLSTATE	99999
Sybase エラーコード	13662

考えられる原因

ストアドプロシージャまたはトリガにより、ユーザ定義の例外が通知されました。このエラーは、例外ハンドラのあるストアドプロシージャまたはトリガ内でしか使用できません。データベースサーバによるエラー発生ではないことが確実な、例外通知に使用されます。有効な SQLSTATE 値は 99000 ～ 99999 です。この値は、例外通知の SQL 文を実行するときにユーザによって設定されます。

ユーザによって中断させられました -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_TERMINATED_BY_USER
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-302
SQLSTATE	40W02
Sybase エラーコード	3618

考えられる原因

データベースが文を実行中にその文をキャンセルしました。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

ユーザは使用中のシーケンスを所有しています。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_SEQUENCES_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-1367
SQLSTATE	42WE2
Sybase エラーコード	13195

考えられる原因

データベースの他のアクティブユーザが使用中のシーケンスを所有しているユーザを削除しようとしました。

ユーザは使用中のテーブルを所有しています。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_TABLES_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16

SQLCODE	-751
SQLSTATE	42W56
Sybase エラーコード	3702

考えられる原因

データベースの他のアクティブユーザが使用中のテーブルを所有するユーザから、REVOKE CONNECT を実行しようとしました。

ユーザは使用中のプロシージャを所有しています。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_PROCEDURES_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-750
SQLSTATE	42W55
Sybase エラーコード	3702

考えられる原因

データベースの他のアクティブユーザが使用中のプロシージャを所有しているユーザを削除しようとしました。

ユーザまたはロール ID '%1' は存在していません。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_USER_ROLE_ID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったユーザまたはロールの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1538

SQLSTATE	28000
Sybase エラーコード	12567

考えられる原因

存在しないユーザ ID またはロール ID を使用しました。

ユーザメッセージ %1 が見つかりません。

エラー定数	SQLE_MESSAGE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	メッセージ番号。
重大度	16
SQLCODE	-612
SQLSTATE	52W17
Sybase エラーコード	2748

考えられる原因

このエラー番号のメッセージは、データベースには存在しません。

ユーザメッセージ %1 はすでに存在しています。

エラー定数	SQLE_MESSAGE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	データベースに存在するユーザメッセージのエラー番号。
重大度	16
SQLCODE	-610
SQLSTATE	52W16

Sybase エラーコード	13624

考えられる原因

このエラー番号のメッセージはすでにデータベースに存在します。

要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。

エラー定数	SQLE_VALUE_IS_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1050
SQLSTATE	22030
Sybase エラーコード	13461

考えられる原因

データベースから NULL である値を取り出し、NULL にはできない変数に割り当てようとしました。

要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_START_CONVERTER_2_CHARSETS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	1 番目の要求された文字セットエンコードの名前。
パラメータ 2	2 番目の要求された文字セットエンコードの名前。
重大度	16
SQLCODE	-891
SQLSTATE	WC008

Sybase エラーコード	13592

考えられる原因

サーバは、指定された 2 つの文字セット間で変換できません。これは、dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていない場合に発生する可能性があります。

要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_START_CONVERTER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	要求された文字セットエンコードの名前。
パラメータ 2	データベースの文字セットエンコードの名前。
重大度	16
SQLCODE	-870
SQLSTATE	WC002
Sybase エラーコード	13874

考えられる原因

サーバは、指定された接続文字セットをデータベース文字セットに変換できません。これは、dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていない場合に発生する可能性があります。

要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。

エラー定数	SQLE_NO_ROOM_TO_GROW_DBSPACE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	DB 領域の名前。
重大度	16

SQLCODE	-1121
SQLSTATE	57W03
Sybase エラーコード	13392

考えられる原因

ALTER DBSPACE 文を使用して DB 領域を拡張しようとしましたが、指定した容量分拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。

要素は空セットです ('%1' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_ELEMENT_IS_EMPTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	空のジオメトリが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1401
SQLSTATE	2FF06
Sybase エラーコード	13171

考えられる原因

ジオメトリの要素が空のセットです。空のジオメトリは、LineString または CircularString でのポイントとして使用できません。空の曲線は、複合曲線の要素として使用できません。空の曲線は多角形のリングとして使用できません。

呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。

エラー定数	SQLE_FEATURE_NOT_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1092
SQLSTATE	0A001
Sybase エラーコード	13442

考えられる原因

有効になっていないメソッドを呼び出そうとしたか、有効になっていない機能を使用しようとしました。Ultra Light では、ULEnable 関数を使用するか、ULInitDatabaseManagerNoSQL ではなく ULInitDatabaseManager を使用して機能を有効にします。

読み込み専用データベースに対しての修正は禁止されています。

エラー定数	SQLE_READ_ONLY_DATABASE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-757
SQLSTATE	55W08
Sybase エラーコード	13768

考えられる原因

読み込み専用と宣言されているデータベース上で更新操作を実行しようとしました。

読み込み専用のカーソルを更新しようとしました。

エラー定数	SQLE_READ_ONLY_CURSOR
ODBC 2 ステータス	S1009
ODBC 3 ステータス	HY092
重大度	16
SQLCODE	-633
SQLSTATE	42W30

Sybase エラーコード	7732

考えられる原因

読み込み専用と明示的に宣言されているカーソル上で、更新操作を実行しようとしました。

ラベル '%1' は見つかりません。

エラー定数	SQLE_LABEL_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	見つからなかったラベルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-262
SQLSTATE	42W24
Sybase エラーコード	133

考えられる原因

LEAVE 文でラベルを参照しましたが、ラベルは見つかりませんでした。

ランタイムサーバでは、Web サービスを持つロールを削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_WEB_SERVICES
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1565
SQLSTATE	55W40
Sybase エラーコード	12540

考えられる原因

ランタイムサーバの使用中に、Web サービスを所有しているロールを削除しようとしました。この操作を行うと、Web サービスが削除されますが、ランタイムサーバでは Web サービスを削除できません。

ランタイムサーバでは、イベントを持つロールを削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_EVENTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1564
SQLSTATE	55W39
Sybase エラーコード	12541

考えられる原因

ランタイムサーバの使用中に、イベントを所有しているロールを削除しようとしました。この操作を行うと、イベントが削除されますが、ランタイムサーバではイベントを削除できません。

ランタイムサーバでは、外部環境オブジェクトを持つロールを削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_EXTERNENVOBJECTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1566
SQLSTATE	55W41
Sybase エラーコード	12539

考えられる原因

ランタイムサーバの使用中に、外部環境オブジェクトを所有しているロールを削除しようとしました。この操作を行うと、外部環境オブジェクトが削除されますが、ランタイムサーバでは外部環境オブジェクトを削除できません。

その他の情報

- 「複合データ型」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「ARRAY コンストラクタ [複合]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

ランタイムサーバでは、シーケンスを持つロールを削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_SEQUENCES
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1563
SQLSTATE	55W38
Sybase エラーコード	12542

考えられる原因

ランタイムサーバの使用中に、プロシージャを所有しているロールを削除しようとしました。この操作を行うと、シーケンスが削除されますが、ランタイムサーバではシーケンスを削除できません。

ランタイムサーバでは、プロシージャを持つユーザを削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_PROCEDURES
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-270

SQLSTATE	55W04
Sybase エラーコード	13641

考えられる原因

ランタイムサーバの使用中に、プロシージャを所有しているユーザを削除しようとしました。この操作を行うと、プロシージャが削除されますが、ランタイムサーバではプロシージャを削除できません。フルサーバを使用してください。

ランタイムシステムでは、テーブルを所有しているユーザを削除することはできません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_TABLES
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-128
SQLSTATE	55W03
Sybase エラーコード	13731

考えられる原因

ランタイムサーバの使用中に、テーブルを持つユーザを削除しようとしました。この操作を行うと、テーブルが削除されますが、ランタイムサーバではテーブルを削除できません。フルサーバを使用してください。

リモート カラム %1 は、間違って指定されました。

エラー定数	SQLE_OMNI_RMT_COLUMN_WRONG_CASE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモートカラムの完全な名前。
重大度	11

SQLCODE	-1704
SQLSTATE	WO035
Sybase エラーコード	12432

考えられる原因

リモートサーバでは、カラムの大文字と小文字を正しく指定する必要があります。

リモートサーバ '%1' が見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_OMNI_SERVER_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモートサーバの名前。
重大度	11
SQLCODE	-659
SQLSTATE	WO004
Sybase エラーコード	11214

考えられる原因

追加されていないサーバに対してオブジェクトを定義しようとしました。CREATE SERVER を使用して、リモートサーバ定義を追加してください。

リモートサーバ '%1' は現在読み込み専用に設定されています。

エラー定数	SQLE_OMNI_READONLY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモートサーバの名前。
重大度	16
SQLCODE	-658

SQLSTATE	WO003
Sybase エラーコード	11248

考えられる原因

読み込み専用として設定されているサーバに配置されたオブジェクトを更新しようとしました。ALTER SERVER を使用して、リモートサーバを更新可能に再設定してください。

リモートサーバにはこの文をサポートする機能がありません。

エラー定数	SQLE_OMNI_SERVER_NOT_CAPABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-706
SQLSTATE	WO012
Sybase エラーコード	11227

考えられる原因

リモートサーバでサポートされていない機能を必要とする文を実行しようとしました。

リモートサーバはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。

エラー定数	SQLE_OMNI_AUTOINC_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	12
SQLCODE	-698
SQLSTATE	WO011
Sybase エラーコード	11205

考えられる原因

オートインクリメントデータ型は、リモートサーバがその機能をサポートしている場合にプロキシテーブルでのみサポートされます。

リモート接続を確立するときに、セキュリティトークンを使用できません

エラー定数	SQLE_INVALID_USE_OF_SECURITY_TOKEN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1590
SQLSTATE	WO032
Sybase エラーコード	12515

考えられる原因

セキュリティトークンを、リモードデータにアクセスするための接続の作成に使用できません。

リモートテーブル '%1' が見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_OMNI_RMT_TABLE_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモートテーブルの完全な名前。
重大度	11
SQLCODE	-666
SQLSTATE	WO007
Sybase エラーコード	11214

考えられる原因

リモートサーバにはテーブルが見つかりませんでした。リモートテーブルの名前と、そのテーブルのユーザ権限をチェックしてください。

リモートデータアクセス機能はこのプラットフォームではサポートされていません

エラー定数	SQLE_OMNI_FEATURE_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-1139
SQLSTATE	0AW18
Sybase エラーコード	13374

考えられる原因

リモートデータアクセス機能を使用しようとしましたが、リモートデータアクセスはこのプラットフォームではサポートされていません。

リモートの文が失敗しました。

エラー定数	SQLE_REMOTE_STATEMENT_FAILED
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-288
SQLSTATE	5RW09
Sybase エラーコード	13650

考えられる原因

この SQLSTATE は、トリガ内だけで信号を送ることができ、SQL Remote Message Agent (dbremote) が出力装置にエラーメッセージを表示できないようにします。この例外は、トリガま

たはプロシージャが信号を送るときに発生します。これは、設計上許容されているレプリケーションエラーを無視するときに役立ちます。

その他の情報

- 「レプリケーションエラーの無視」『SQL Remote』

リモートホストへの安全な接続に失敗しました：%1

エラー定数	SQLE_SECURE_CONNECTION_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	19
SQLCODE	-990
SQLSTATE	WW059
Sybase エラーコード	13499

考えられる原因

サーバがリモートホストとの安全な接続を開始できませんでした。

リモートメッセージタイプ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_NOT_REMOTE_TYPE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	リモートメッセージタイプの名前。
重大度	16
SQLCODE	-286
SQLSTATE	5RW07
Sybase エラーコード	13648

考えられる原因

このデータベースで定義されていないリモートメッセージタイプを参照しました。リモートメッセージタイプを定義するには、CREATE REMOTE TYPE を使用します。

レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザを削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_REPLICATED_OBJECTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-731
SQLSTATE	55W06
Sybase エラーコード	13633

考えられる原因

レプリケーションに含まれるデータベースオブジェクトの作成者であるユーザを削除しようとしました。たとえば、ユーザはパブリケーションの一部であるテーブルを所有していることがあります。

ログイン ID '%1' はすでにユーザ ID '%2' にマップされています。

エラー定数	SQLE_LOGON_MAPPED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	マッピング済みのログイン ID の名前。
パラメータ 2	そのログイン ID がマップ済みのユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-249
SQLSTATE	28W08

Sybase エラーコード	13697

考えられる原因

ログイン ID を 2 回マッピングしようとしました。

ログイン ID '%1' はどのデータベースユーザ ID にもマップされていません。

エラー定数	SQLE_LOGON_UNMAPPED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	マッピングされていないログイン ID の名前。
重大度	16
SQLCODE	-313
SQLSTATE	28W09
Sybase エラーコード	13698

考えられる原因

データベースユーザ ID にマッピングされていないログイン ID を使用して接続しようとし、データベースユーザ ID ゲストがないか、マッピングされていないログイン ID を取り消そうとしました。このエラーは、マッピングされた複数のグループのメンバーである統合化ログイン ID を使用して接続しようとした場合にも発生する可能性があります。

ログインポリシー "%1" が見つかりません

エラー定数	SQLE_LOGIN_POLICY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ログインポリシーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1195

SQLSTATE	WW098
Sybase エラーコード	13320

考えられる原因

データベースに、指定されたログインポリシーが見つかりませんでした。

ログインポリシー "%1" は使用中です

エラー定数	SQLE_LOGIN_POLICY_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ログインポリシーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1197
SQLSTATE	WW100
Sybase エラーコード	13318

考えられる原因

指定されたログインポリシーは、データベース内のユーザに関連付けられています。ログインポリシーに関連付けられているすべてのユーザを他のログインポリシーに割り当ててから、指定されたログインポリシーを削除してください。

ログインポリシー '%1' はすでに存在します

エラー定数	SQLE_LOGIN_POLICY_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ログインポリシーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1194

SQLSTATE	WW097
Sybase エラーコード	13321

考えられる原因

データベースにすでに存在するログインポリシーを作成しようとしました。

ログインポリシーオプション "%1" の値が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOGIN_POLICY_OPTION_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ログインポリシーオプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1655
SQLSTATE	WW243
Sybase エラーコード	12464

考えられる原因

ログインポリシーオプション用に指定された値が有効な境界内にありません。

ログインモード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。

エラー定数	SQLE_LOGON_MODE_NOT_PERMITTED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	現在の login_mode データベースオプション設定にはないログインモードの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1074

SQLSTATE	28W14
Sybase エラーコード	13440

考えられる原因

現在の login_mode データベースオプション設定にはないログインモードを使用して接続しようとしました。オプションの設定を変更するか、別のログインモードで接続してください。

ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。

エラー定数	SQLE_LOCAL_CONNECTION_NOT_TO_CURRENT_DB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-997
SQLSTATE	WO025
Sybase エラーコード	710

考えられる原因

指定した接続 ID は、現在のデータベース以外のデータベースへの接続の ID です。

ローカルテンポラリとして宣言されたテーブルにコメントを追加できません。

エラー定数	SQLE_COMMENT_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-1042
SQLSTATE	WW065
Sybase エラーコード	13469

考えられる原因

LOCAL TEMPORARY と宣言されたテーブルにコメントを追加しようとしました。これは許可されていません。

ローカルデータベースオプションが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOCAL_OPTION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	18
SQLCODE	-79
SQLSTATE	08W25
Sybase エラーコード	5864

考えられる原因

DBS (DatabaseSwitches) 接続パラメータで無効なデータベースオプションが見つかりました。

その他の情報

- 「DatabaseSwitches (DBS) 接続パラメータ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

ローが新しいスキーマフォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。

エラー定数	SQLE_ROW_DROPPED_DURING_SCHEMA_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	130
SQLSTATE	01W21
Sybase エラーコード	13588

考えられる原因

古いスキーマで有効だったローが無効になりました。このことは、カラムドメインが変更され、古い値を新しいドメインにキャストできないことによって発生する場合があります。一意性制約または外部キー制約が守られない場合も、ローが削除されます。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「テーブル変更」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「一意性制約の追加」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- SQL Anywhere： 「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ローがデータベースのページサイズを超えているため、ローを格納できません。

エラー定数	SQLE_ROW_EXCEEDS_PAGE_SIZE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1117
SQLSTATE	WW083
Sybase エラーコード	13396

考えられる原因

データベースのページに格納するには大きすぎるローを挿入または更新しようとしました。Ultra Light では、BLOB カラムを除き、ロー全体が単一のデータベースページに収まる必要があります。ページサイズを大きくすると、大きいローを格納できます。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「最大ページサイズの考慮事項」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「ヒント：適切なページサイズの使用」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- Ultra Light：「Ultra Light データベース初期化ユーティリティ (ulinit)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』 の -p オプションの項
- Ultra Light： 「Ultra Light page_size 作成パラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ローが見つかりません。

エラー定数	SQLE_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	16
SQLCODE	100
SQLSTATE	02000
Sybase エラーコード	560

考えられる原因

クエリの先頭または末尾を超えた位置にカーソルを配置しています。その位置にはローはありません。

その他の情報

- 「Embedded SQL でのカーソル」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

ローの値が無効またはサポートされていないため、ダウンロードに失敗しました。

エラー定数	SQLE_INVALID_DOWNLOAD_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1382
SQLSTATE	0AW26
Sybase エラーコード	13186

考えられる原因

ダウンロードされたローに無効またはサポートされていないカラム値が含まれていたため、同期ダウンロードに失敗しました。

その他の情報

- 「ダウンロードの失敗」『Mobile Link サーバ管理』

ロール "%1" がすでに存在しています。

エラー定数	SQLE_ROLE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロールの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1537
SQLSTATE	28000
Sybase エラーコード	12568

考えられる原因

データベースにすでに存在するロールを作成しようとしました。

ロール '%1' は他のユーザまたはロールに付与されるため、削除されませんでした。削除するには、'WITH REVOKE' オプションを使用します。

エラー定数	SQLE_CONTAINS_PRIV_GRANTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	削除されるロールの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1562
SQLSTATE	28000
Sybase エラーコード	12543

考えられる原因

削除対象のロールが、WITH NO ADMIN OPTION または WITH ADMIN OPTION により別のユーザまたはロールに付与されています。ロールを削除できるのは、付与がすべて WITH ADMIN ONLY OPTION によって行われている場合か、DROP ROLE コマンドで WITH REVOKE オプションが指定されている場合です。または、このようなすべての付与を取り消すか、DROP ROLE で WITH REVOKE オプションを使用してください。

ロールの付与は許可されていません。

エラー定数	SQLE_ROLE_GRANT_ID_NOT_AVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1528
SQLSTATE	28W19
Sybase エラーコード	12577

考えられる原因

ロールの付与の上限に達しています。これ以上のロールの付与は許可されていません。ロールの付与を一部削除して、再試行してください。

割り当てのエラー

エラー定数	SQLE_ERROR_IN_ASSIGNMENT
ODBC 2 ステータス	22005
ODBC 3 ステータス	22018
重大度	20
SQLCODE	-641
SQLSTATE	22005
Sybase エラーコード	8205

考えられる原因

GET DESCRIPTOR 文では、ホスト変数のデータ型は記述子項目のデータ型に対応している必要があります。

その他の情報

- 「GET DESCRIPTOR 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

ワークロードキャプチャ (%1) はすでに進行中です。

エラー定数	SQLE_WORKLOAD_CAPTURE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでに進行中のワークロードキャプチャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-942
SQLSTATE	WW029
Sybase エラーコード	13546

考えられる原因

ワークロードキャプチャがすでに進行中であるときに、これを初期化しようとしました。進行中のキャプチャが完了するまで待つ必要があります。

ワークロードキャプチャは現在行われていません。

エラー定数	SQLE_WORKLOAD_CAPTURE_DOES_NOT_EXIST
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-943
SQLSTATE	WW030
Sybase エラーコード	13545

考えられる原因

ワークロードキャプチャの停止、一時停止、再開、またはステータスの取得を実行しましたが、ワークロードキャプチャは現在存在しません。

SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、特殊文字)

"%1" と同じ設定でこのテーブルに新しいテキストを作成できませんでした。

エラー定数	SQLE_TEXT_INDEX_SAME_SETTING_IDX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	同じ設定を持つもう一方のテキストインデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1304
SQLSTATE	WT021
Sybase エラーコード	13455

考えられる原因

1 つのテーブルに対して、同じカラムリストおよび設定を持つ 2 つのテキストインデックスは作成できません。

"%1" の LDAP サーバの定義は不完全です。検索 URL、アクセス識別名、パスワード、認証 URL が必要です。

エラー定数	SQLE_LDAPSERVER_INCOMPLETE_DEF
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	LDAP サーバの名前。
重大度	16

SQLCODE	-1594
SQLSTATE	WW208
Sybase エラーコード	12511

考えられる原因

名前付き LDAP サーバにおいて、ユーザの識別名を検索したりユーザを認証したりするために必要な 1 つ以上の値が欠落しています。ALTER LDAP SERVER <サーバ名> を使用して欠落した値を指定してください。

%1

エラー定数	SQLE_OMNI_DEBUG
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	コンソール用のデバッグメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-682
SQLSTATE	WO010
Sybase エラーコード	13734

考えられる原因

このメッセージは、メッセージウィンドウにコンポーネント統合サービスのデバッグメッセージを表示する場合に使用されます。

%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_MULTIBYTE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	入力文字列の文字セット。

パラメータ 2	出力文字列の文字セット。
重大度	16
SQLCODE	-879
SQLSTATE	WC003
Sybase エラーコード	13890

考えられる原因

サーバで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、無効なマルチバイト文字が検出されました。処理がアボートされました。

%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_MULTIBYTE_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	入力文字列の文字セット。
パラメータ 2	出力文字列の文字セット。
重大度	10
SQLCODE	125
SQLSTATE	01WC1
Sybase エラーコード	13892

考えられる原因

サーバで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、無効なマルチバイト文字が検出されました。不正な文字は変換されないまま直接コピーされました。不正な文字の後のデータは正しく解釈されていない可能性があります。on_charset_conversion_failure オプションを参照してください。

その他の情報

- 「文字セット変換」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。

エラー定数	SQLE_SIMPLE_SUBSTITUTION_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	入力文字列の文字セット。
パラメータ 2	出力文字列の文字セット。
重大度	10
SQLCODE	127
SQLSTATE	01WC3
Sybase エラーコード	13896

考えられる原因

サーバで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、データベース文字セットで表現できない文字がありました。そのような文字は置換されました。
on_charset_conversion_failure オプションを参照してください。

その他の情報

- 「on_charset_conversion_failure オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。

エラー定数	SQLE_SIMPLE_SUBSTITUTION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	入力文字列の文字セット。
パラメータ 2	出力文字列の文字セット。
重大度	16
SQLCODE	-881
SQLSTATE	WC005

Sybase エラーコード	13894

考えられる原因

サーバで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、データベース文字セットで表現できない文字がありました。処理がアボートされました。on_charset_conversion_failure オプションを参照してください。

%1 から %2 に変換できません (%3 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_ST_TO_XXX_FAILN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	値のジオメトリタイプ。
パラメータ 2	ターゲットのジオメトリタイプ。
パラメータ 3	エラーが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1411
SQLSTATE	2FF16
Sybase エラーコード	13161

考えられる原因

指定されたターゲットタイプに値を変換できませんでした。

%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。

エラー定数	SQLE_BAD_RESULT_SET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	不正な結果セットを返すプロシージャの名前。
重大度	12

SQLCODE	-866
SQLSTATE	WP012
Sybase エラーコード	13870

考えられる原因

SELECT 文の FROM 句でプロシージャを呼び出す場合、予期される結果のスキーマが WITH 句から取得されます。WITH 句を使用しない場合、予期されるスキーマはシステムカタログから取得されます。呼び出しから返される結果セットは、予期されるスキーマに一致するか、一致するように各カラムを変換できるようになっている必要があります。

%1 から結果セットが返されません。

エラー定数	SQLE_NO_RESULT_SET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-872
SQLSTATE	WP014
Sybase エラーコード	13876

考えられる原因

SELECT 文の FROM 句で呼び出されたプロシージャが結果セットを返す必要があります。

%1 から複数の結果セットが返されました。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_RESULT_SETS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの名前。
重大度	16

SQLCODE	-873
SQLSTATE	WP013
Sybase エラーコード	13877

考えられる原因

SELECT 文の FROM 句で呼び出されたプロシージャは、複数の結果セットを返すことができません。

%1 と %2 の比較に失敗しました

エラー定数	SQLE_FILE_COMPARE_FAIL
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	比較に失敗したソースファイルまたはディレクトリの名前
パラメータ 2	比較に失敗したターゲットファイルまたはディレクトリの名前
重大度	16
SQLCODE	-1660
SQLSTATE	08WC1
Sybase エラーコード	12462

考えられる原因

ファイルまたはディレクトリの比較に失敗しました。

%1 と %2 は同じである必要があります

エラー定数	SQLE_SAME_SOURCE_TARGET
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	ソースファイルまたはディレクトリの名前
パラメータ 2	ターゲットファイルまたはディレクトリの名前

重大度	16
SQLCODE	-1662
SQLSTATE	08WC3
Sybase エラーコード	12464

考えられる原因

同じソースファイル、ターゲットファイル、またはディレクトリを使用して操作を実行しようとしました。

%1 の操作を完了するのに十分なメモリがありませんでした。

エラー定数	SQLE_SFC_MEM_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーが検出されたプロシージャの名前。
重大度	17
SQLCODE	-1685
SQLSTATE	08S01
Sybase エラーコード	12439

考えられる原因

メモリ不足のため、指定したプロシージャのコールが操作を完了できませんでした。

%1 のリソースガバナーが制限を超えています。

エラー定数	SQLE_RESOURCE_GOVERNOR_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	制限を超えたリソース。
重大度	19

SQLCODE	-685
SQLSTATE	WP009
Sybase エラーコード	13715

考えられる原因

表示されているリソースのリソースガバナーが、リソースの使用率が制限を超えていると判断しました。

その他の情報

- 「ヒント：リソースガバナを使用する」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「max_cursor_count オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「max_statement_count オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「max_priority オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「priority オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

%1 はディレクトリではありません

エラー定数	SQLE_NOT_A_DIRECTORY
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	フォルダ以外のパス名
重大度	16
SQLCODE	-1661
SQLSTATE	08WC2
Sybase エラーコード	12463

考えられる原因

フォルダ名を使用した操作の実行に失敗しました。

%1 秒間で外部環境は起動に失敗し接続を確立できませんでした。

エラー定数	SQLE_EXTENV_START_TIMED_OUT

 Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	外部環境が起動し接続が確立されるまで、サーバが待機する秒数。
重大度	16
SQLCODE	-1556
SQLSTATE	WP017
Sybase エラーコード	12549

考えられる原因

外部環境の起動およびサーバとの接続の確立に時間がかかりすぎました。システムの負荷が高すぎるか、または正しく設定されていないために、問題が発生している可能性があります。

その他の情報

- 「START EXTERNAL ENVIRONMENT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「SQL Anywhere 外部環境のサポート」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のキーは、MANAGE_FEATURES 機能と MANAGE_KEYS 機能を持つ最後のキーです。

エラー定数	SQLE_SFC_CANNOT_REMOVE_LAST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャ名。
パラメータ 2	セキュリティ機能キーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1696
SQLSTATE	08S12
Sybase エラーコード	12450

考えられる原因

MANAGE_FEATURES と MANAGE_KEYS の両方を有効にする前回のセキュリティ機能キーを削除しようとして、許可されませんでした。

その他の情報

- 「セキュリティ機能」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sf データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「sa_server_option システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のセキュア機能キーがすでに存在しています。

エラー定数	SQLE_SFC_KEY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャ名。
パラメータ 2	セキュリティ機能キーの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1693
SQLSTATE	08S09
Sybase エラーコード	12447

考えられる原因

すでに存在しているキーの名前を使用してユーザがセキュリティ機能キーを作成しようとしました。

その他の情報

- 「セキュリティ機能」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sf データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「sa_server_option システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のセキュア機能キーに指定された認証キーが不正です。

エラー定数	SQLE_SFC_NOT_MATCH

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャ名。
パラメータ 2	セキュリティ機能キーの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1695
SQLSTATE	08S11
Sybase エラーコード	12449

考えられる原因

付与された認証キーが、指定の名前付きキーに格納された値と一致しませんでした。

その他の情報

- 「セキュリティ機能」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sf データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「sa_server_option システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

%1 への呼び出しが失敗しました。'%2' という名前のセキュア機能キーは存在しません。

エラー定数	SQLE_SFC_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャ名。
パラメータ 2	セキュリティ機能キーの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1694
SQLSTATE	08S10
Sybase エラーコード	12448

考えられる原因

存在しないセキュリティ機能キーをユーザが参照しようとしました。

その他の情報

- 「セキュリティ機能」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sf データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「sa_server_option システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

%1 への呼び出しが失敗しました。最大数のセキュア機能キーがすでに作成されました。

エラー定数	SQLE_SFC_HIT_MAX_LIMIT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャ名。
重大度	17
SQLCODE	-1692
SQLSTATE	08S08
Sybase エラーコード	12446

考えられる原因

セキュリティ機能キーの上限数に達しました。

その他の情報

- 「セキュリティ機能」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sf データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「sa_server_option システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

%1 への呼び出しで、無効なセキュア機能リスト '%2' が指定されました。

エラー定数	SQLE_SFC_INVALID_FEAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	プロシージャ名。
パラメータ 2	セキュリティ機能のリスト。
重大度	15
SQLCODE	-1689
SQLSTATE	08S05
Sybase エラーコード	12443

考えられる原因

無効なセキュリティ機能のリストが指定のプロシージャに渡されました。

その他の情報

- 「セキュリティ機能」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sf データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「sa_server_option システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

%1 への呼び出しで、無効な認証キーが指定されました。

エラー定数	SQLE_SFC_INVALID_KEY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャ名。
重大度	15
SQLCODE	-1688
SQLSTATE	08S04
Sybase エラーコード	12442

考えられる原因

無効なセキュリティ機能キーの値が指定のプロシージャに渡されました。

その他の情報

- 「セキュリティ機能」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sf データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「sa_server_option システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

%1 への呼び出しで無効なパラメータが使用されました。

エラー定数	SQLE_SFC_INVALID_PARM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャ名。
重大度	15
SQLCODE	-1686
SQLSTATE	08S02
Sybase エラーコード	12440

考えられる原因

無効なパラメータ値が指定のプロシージャに渡されました。

その他の情報

- 「セキュリティ機能」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sf データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「sa_server_option システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

%1 リモートデータアクセスクラスはサポートされなくなりました。代わりに %2 を使用してください。

エラー定数	SQLE_OMNI_JDBC_NO_LONGER_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	JDBC ベースのリモートデータアクセスクラス。
パラメータ 2	推奨の ODBC ベースのリモートデータアクセスクラス。
重大度	16
SQLCODE	-1617
SQLSTATE	WO033
Sybase エラーコード	12489

考えられる原因

サポートの終了している JDBC ベースのリモートデータアクセスクラスを使用しようとしました。適切な ODBC ベースのクラスを使用してください。

%1 を %2 に変換できません。データファイルのロー %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています

エラー定数	SQLE_CONVERSION_ERROR_LOAD_TABLE
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメータ 1	変換できなかった値。
パラメータ 2	変換しようとしたデータ型。
パラメータ 3	値を挿入しようとしたカラム名。
パラメータ 4	無効なデータが発生したデータファイルの行番号。
重大度	16
SQLCODE	-162
SQLSTATE	53017
Sybase エラーコード	13887

考えられる原因

LOAD TABLE に指定したデータファイルに、必要なデータ型に変換できない値があります。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「LOAD TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「LOAD TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

%1 を使用して、'%2' という名前のセキュア機能キーを変更する権限がありません。

エラー定数	SQLE_SFC_NO_AUTH_FOR_KEY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	プロシージャ名。
パラメータ 2	セキュリティ機能キーの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1691
SQLSTATE	08S07
Sybase エラーコード	12445

考えられる原因

名前付きセキュリティ機能キーを変更する権限がありません。

その他の情報

- 「セキュリティ機能」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sf データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「sa_server_option システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

%1 を使用して、セキュア機能に機能リスト '%2' を割り当てる権限がありません。

エラー定数	SQLE_SFC_NO_AUTH_FOR_FEAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャ名。
パラメータ 2	セキュリティ機能のリスト。
重大度	14
SQLCODE	-1690
SQLSTATE	08S06
Sybase エラーコード	12444

考えられる原因

使用または割り付けの権限を付与されていないセキュリティ機能を使用するためのセキュリティ機能キーを定義しようとしました。

その他の情報

- 「セキュリティ機能」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-sf データベースサーバオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「sa_server_option システムプロシージャ」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

'%1' %2 の近くに構文エラーがあります。

エラー定数	SQLE_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	構文エラーが見つかった単語または記号。
パラメータ 2	行番号。
重大度	15
SQLCODE	-131
SQLSTATE	42W04
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

実行しようとしている文を、データベースサーバが理解できません。カラム名にキーワードを使う場合は、キーワードを引用符で囲んでください (たとえば DATE は "DATE")。

'%1' が見つからないため、外部環境を起動できませんでした。

エラー定数	SQLE_EXTENV_NOT_STARTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	VM の実行に必要だが見つからなかったコンポーネント (実行可能プログラムまたはファイル)。
重大度	16
SQLCODE	-675
SQLSTATE	WP006

Sybase エラーコード	13747

考えられる原因

外部環境の起動時に問題が発生しました。外部環境の実行に必要なコンポーネントが見つかりませんでした。

'%1' システム権限またはオプション '%2' を設定する権限がありません。

エラー定数	SQLE_OPTION_REQUIRES_DBA
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	オプションを設定するのに必要なシステム権限の名前。
パラメータ 2	設定できなかったオプションの名前。
重大度	14
SQLCODE	-204
SQLSTATE	42W46
Sybase エラーコード	5878

考えられる原因

SET OPTION 文で指定したオプションを設定できるのは、オプションに応じて、DBA 権限のあるユーザ、または SET ANY SYSTEM OPTION/SET ANY SECURITY OPTION/SET ANY PUBLIC OPTION 権限のあるユーザのみです。

'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。

エラー定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_MISMATCH_BRACES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性。
パラメータ 2	属性の値。

重大度	16
SQLCODE	-1129
SQLSTATE	WW086
Sybase エラーコード	13384

考えられる原因

丸カッコ (ポートオプションを指定した場合は中カッコ) が対応していないため、属性の値が無効です。

'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。

エラー定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_MISSING_COMMA
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性。
パラメータ 2	属性の値。
重大度	16
SQLCODE	-1130
SQLSTATE	WW087
Sybase エラーコード	13383

考えられる原因

カンマがないため、属性の値が無効です。

'%1' で指定されたリモートホストに接続できません。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_CONNECT_TO_HOST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモートホストを参照している URI。

重大度	19
SQLCODE	-981
SQLSTATE	WW050
Sybase エラーコード	13508

考えられる原因

リモートサーバへの接続を開始できませんでした。

'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。

エラー定数	SQLE_MUST_BE_ONLY_CONNECTION
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	データベースを使用している接続の名前。
重大度	16
SQLCODE	-211
SQLSTATE	42W19
Sybase エラーコード	13652

考えられる原因

データ定義言語操作を行おうとしましたが、この操作は他のユーザが接続しているときには実行できません。

'%1' では結果セットは許可されません。

エラー定数	SQLE_RESULT_SET_NOT_PERMITTED
ODBC 2 ステータス	07005
ODBC 3 ステータス	07005
パラメータ 1	無効な文を含むオブジェクトの名前。
重大度	16

SQLCODE	-946
SQLSTATE	09W03
Sybase エラーコード	13542

考えられる原因

結果セットが許可されないコンテキストで、SELECT 文を実行しようとしました。

'%1' という名前のイベントオブジェクトはすでに存在します

エラー定数	SQLE_EVENT_OBJECT_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	イベントオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1265
SQLSTATE	WE016
Sybase エラーコード	13245

考えられる原因

指定された名前のイベントオブジェクト (通知キューまたはユーザイベント) はすでに存在します。

その他の情報

- Ultra Light： 「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。

エラー定数	SQLE_SYNCHRONIZATION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	サブスクリプションの名前。

重大度	16
SQLCODE	-767
SQLSTATE	5RW12
Sybase エラーコード	13777

考えられる原因

同期サブスクリプションの名前のスペルを間違えたか、同期サブスクリプション名をユーザ名で正しく修飾しませんでした。

'%1' という名前の同期ユーザが見つかりません。

エラー定数	SQLE_SYNC_SITE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	同期ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-843
SQLSTATE	5RW37
Sybase エラーコード	13849

考えられる原因

同期サイトの名前のスペルを間違えたか、同期サイト名をユーザ名で正しく修飾しませんでした。

'%1' という変数はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_VARIABLE_EXISTS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでに存在する変数の名前。

重大度	15
SQLCODE	-261
SQLSTATE	42W15
Sybase エラーコード	134

考えられる原因

すでに存在する変数の名前を使って、変数を作成しようとしました。

'%1' というユーザ ID はありません。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_USERID
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	見つからなかったユーザの名前。
重大度	11
SQLCODE	-140
SQLSTATE	08004
Sybase エラーコード	509

考えられる原因

存在しないユーザ ID を使用しました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「ユーザ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- SQL Anywhere： 「CREATE USER 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「Sybase Central を使用した Ultra Light ユーザの作成」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light： 「CREATE USER 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

'%1' にサブスクリプションを作成できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_SUBSCRIBE

ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-768
SQLSTATE	5RW13
Sybase エラーコード	13778

考えられる原因

同期パブリケーションなど、一部のパブリケーションはサブスクリプションを作成できません。

'%1' にジョインする方法がありません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_JOIN_TABEXPR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ジョインできないテーブルまたはビューの名前。
重大度	15
SQLCODE	-875
SQLSTATE	42W73
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

このテーブルに関する有効なジョイン条件をサーバが検出できませんでした。ジョインが外部ジョインである場合は、ON 句が欠落している可能性があります。ジョインが KEY JOIN である場合は、ジョイン条件を生成するために使用できるこのテーブルの外部キーとプライマリキーの関係をサーバが検出できませんでした。ジョインが NATURAL JOIN である場合は、テーブルに、ジョインされるテーブル式と共通のカラム名がありません。

'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_GROUP_SELECT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	直接または式の中で参照される、GROUP BY 句に入れる必要があるカラムの名前。
重大度	15
SQLCODE	-149
SQLSTATE	53003
Sybase エラーコード	7321

考えられる原因

SELECT リストまたはネストされたクエリブロックの中で、GROUP BY 句にない非集合関数またはカラム参照を使用しました。GROUP BY を使ったクエリでは、集合関数以外の SELECT リスト項目は GROUP BY 句中にも入れてください。SELECT リスト項目がカラム参照またはエイリアスである場合は、GROUP BY 句にカラム名かエイリアスを追加します。SELECT リスト項目がスカラ関数である場合は、GROUP BY 句中の関数の引数が、SELECT リスト内のものと必ず一致するようにしてください。場合によっては、GROUP BY 句にカラムを追加する代わりに、カラム名に MAX 関数 (または別の集合関数) を使用できます。

'%1' のインデックスの型の指定は不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_INDEX_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なインデックスの型指定。
重大度	16
SQLCODE	-650
SQLSTATE	WW016
Sybase エラーコード	13704

考えられる原因

IQ インデックスデータ型は IQ インデックスだけに指定できます。Ultra Light では、LONG 型のカラムにインデックスを指定できません。

その他の情報

- 「CREATE INDEX 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

'%1' の機能は、この接続によってロックされていません。

エラー定数	SQLE_FEATURE_NOT_LOCKED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	機能名
重大度	16
SQLCODE	-1333
SQLSTATE	WW145
Sybase エラーコード	13223

考えられる原因

機能のロックを解除しようとしましたが、この機能は接続によってロックされていませんでした。

'%1' の機能は、同期が進行中のためロックされています。

エラー定数	SQLE_FEATURE_LOCKED_SYNC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	機能名
重大度	16
SQLCODE	-1343
SQLSTATE	WW147

Sybase エラーコード	13213

考えられる原因

同期が進行中であるためにロックされていた機能を使用しようとしました。

'%1' の機能は、別の接続によってロックされています。

エラー定数	SQLE_FEATURE_LOCKED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	機能名
重大度	16
SQLCODE	-1334
SQLSTATE	WW146
Sybase エラーコード	13222

考えられる原因

別の接続によってロックされた機能を使用しようとしました。

'%1' の機能は実装されていません。

エラー定数	SQLE_NOT_IMPLEMENTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	実装されていない機能の名前。
重大度	16
SQLCODE	-134
SQLSTATE	0A000
Sybase エラーコード	401

考えられる原因

このバージョンの SQL Anywhere で実装されていない操作を実行したり、機能を使用しようとしました。Ultra Lite では、LONG VARCHAR または LONG BINARY のカラムでサポートされていない操作を実行しようとしたときに、このエラーがよく発生します。たとえば、SUBSTRING 関数は LONG VARCHAR のカラムでは使用できません。同様に、LONG のカラムにはインデックスを作成できません。

その他の情報

- SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード

'%1' の機能は認識できないか無効です。

エラー定数	SQLE_FEATURE_UNKNOWN_OR_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	機能名
重大度	16
SQLCODE	-1332
SQLSTATE	WW144
Sybase エラーコード	13224

考えられる原因

認識できない機能をロックまたはロック解除しようとしました。

'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューの定義では次の構成体を使用できません : '%2'

エラー定数	SQLE_MATVIEW_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	使用できない機能のロケーション。
パラメータ 2	使用できない機能。

重大度	15
SQLCODE	-1031
SQLSTATE	42WB3
Sybase エラーコード	13479

考えられる原因

定義が制限の 1 つに違反するマテリアライズドビューを作成しようとしました。

'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に次の不正な構成体が含まれています : '%2'

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	使用できない機能のロケーション。
パラメータ 2	使用できない機能。
重大度	15
SQLCODE	-1032
SQLSTATE	42WB4
Sybase エラーコード	13480

考えられる原因

定義が制限の 1 つに違反するマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

'%1' のファイル I/O に失敗しました。

エラー定数	SQLE_DEVICE_IO_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイル名。
重大度	16
SQLCODE	-974
SQLSTATE	WW043
Sybase エラーコード	13959

考えられる原因

ファイルにアクセスしようとしてエラーが発生しました。ファイルがリムーバブルメディアカードにある場合は、カードが取り出された可能性があります。

'%1' の変換中にアンダーフローが発生しました

エラー定数	SQLE_UNDERFLOW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	変換する型。
重大度	16
SQLCODE	-1280
SQLSTATE	WW232
Sybase エラーコード	13806

考えられる原因

指定された型の変換中にアンダーフローが発生しました。変換元の型が小さすぎる (たとえば、長さ 0 のバイナリ) 場合もあれば、変換先の型によって表現するには値が小さすぎる場合もあります。

'%1' のボリューム ID が不正です。

エラー定数	SQLE_INCORRECT_VOLUME_ID
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイル名。
重大度	16
SQLCODE	-975
SQLSTATE	WW044
Sybase エラーコード	13960

考えられる原因

ファイルにはアクセスできますが、ボリューム ID が変更されています。元のリムーバブルメディアカードを挿入してください。

'%1' は '%2' に対して無効な値です。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPTION_VALUE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な値。
パラメータ 2	オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1053
SQLSTATE	42W85
Sybase エラーコード	5849

考えられる原因

無効な値をオプションに指定しました。オプションには、数値だけを指定できるオプションや、true または false だけを指定できるオプションがあります。また、多くのオプションでは、値として空の文字列を指定できません。

その他の情報

- 「Ultra Light 接続パラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「Ultra Light 接続文字列とパラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。

エラー定数	SQLE_INVALID_NCHAR_COLLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	NCHAR 照合として使用できない照合。
重大度	16
SQLCODE	-1073
SQLSTATE	WC010
Sybase エラーコード	13442

考えられる原因

指定した照合は NCHAR 照合として使用できません。NCHAR では常に UTF-8 が使用されるので、照合は UCA または UTF8BIN である必要があります。

'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セットエンコードではありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_ENCODING_FOR_COLLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な文字セットエンコード。
パラメータ 2	文字セットエンコードが無効な照合。
重大度	16
SQLCODE	-1072
SQLSTATE	WC009
Sybase エラーコード	13441

考えられる原因

指定した文字セットは、指定した照合で使用できません。

'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_LOAD_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定したフォーマット。
重大度	19
SQLCODE	-601
SQLSTATE	WL001
Sybase エラーコード	13669

考えられる原因

LOAD TABLE または UNLOAD TABLE でサポートされていないファイルフォーマットが指定されました。

'%1' は認識されていないサービスタイプです。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_SERVICE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	認識されていないサービスタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-916
SQLSTATE	42W94
Sybase エラーコード	13568

考えられる原因

認識できないサービスタイプを指定しました。

'%1' は認識されないフォーマット指定オプションです。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_FORMAT_SPECIFICATION_OPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なオプション。
重大度	16
SQLCODE	-1432
SQLSTATE	2FW25
Sybase エラーコード	13140

考えられる原因

指定されたオプションは、このフォーマット指定ではサポートされていません。

'%1' は認識されないフォーマットタイプです。

エラー定数	SQLE_SLERR_FMT_UNKNOWN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なフォーマットタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1428
SQLSTATE	2FW21
Sybase エラーコード	13144

考えられる原因

指定されたフォーマットタイプが認識されません。

'%1' は認識できないオプションです。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_OPTION
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	サーバに認識されないオプション。
重大度	10
SQLCODE	120
SQLSTATE	01W17
Sybase エラーコード	13751

考えられる原因

サーバに認識されていないオプションの値を設定しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「データベースオプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- Ultra Light： 「Ultra Light データベースオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

'%1' は認識できないプロパティです。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロパティ名 (または ID)。
重大度	16
SQLCODE	-1498
SQLSTATE	WU001
Sybase エラーコード	13605

考えられる原因

指定されたプロパティは不明です。

その他の情報

- 「DB_PROPERTY 関数 [システム]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- ULGetDatabaseProperty メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULDatabaseSchema.GetDatabaseProperty メソッド [Ultra Light.NET]『Ultra Light .NET プログラミング』
- Connection.getDatabaseProperty メソッド [Ultra Light J]『Ultra Light Java プログラミング』

'%1' は認識できない文字セットエンコードラベルです。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_CHARSET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	認識されない文字セットエンコードラベル。
重大度	16
SQLCODE	-868
SQLSTATE	WC001
Sybase エラーコード	13872

考えられる原因

指定した文字セットラベルが認識されないので、その文字セットとの変換を実行できません。

'%1' は複数のテーブルで使用されています。

エラー定数	SQLE_CORRELATION_NAME_AMBIGUOUS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	あいまいな相関名。
重大度	16
SQLCODE	-139
SQLSTATE	52012

Sybase エラーコード	7364

考えられる原因

同じ FROM 句の中で、同じ相関名を使ってテーブルを 2 つ指定しました。

'%1' は有効なクラスファイルではありません。

エラー定数	SQLE_BAD_CLASS_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-92
SQLSTATE	WP002
Sybase エラーコード	13736

考えられる原因

INSTALL JAVA 文に受け渡されるファイルが、有効な Java クラスファイルではありませんでした。

その他の情報

- 「INSTALL JAVA 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

'%1' フォーマットの入力文字列はここでは使用できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_WRONG_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なフォーマット。
重大度	16
SQLCODE	-1430

SQLSTATE	2FW23
Sybase エラーコード	13142

考えられる原因

このコンテキストでは、指定されたフォーマットを持つ文字列を使用できません。

'%1' 付近に非連続の曲線があります。

エラー定数	SQLE_SLERR_COMPOUNDCURVE_NOT_CONTIGUOUS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	非連続曲線が検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1403
SQLSTATE	2FF11
Sybase エラーコード	13169

考えられる原因

複合曲線ジオメトリが複数の曲線で構成されており、隣接する曲線をそれらの終了点でジョインする必要があります。

'%1' 付近に無効な式があります。

エラー定数	SQLE_EXPRESSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な式。
重大度	16
SQLCODE	-156
SQLSTATE	42W08

Sybase エラーコード	401

考えられる原因

データベースサーバが理解できない式を指定しました。たとえば、2 つの日付を加算しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere： 「式」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- Ultra Light： 「Ultra Light の式」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

'%1' プロパティはサポートされなくなりました。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なプロパティの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1119
SQLSTATE	42WC2
Sybase エラーコード	13394

考えられる原因

指定したプロパティは、現在のリリースではサポートされていません。

'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。

エラー定数	SQLE_CANNOT_PERFORM_CHAR_TRANSLATION
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	アプリケーションが要求した文字セットの名前。
パラメータ 2	データベースが使用する文字セットの名前。

重大度	10
SQLCODE	114
SQLSTATE	01W12
Sybase エラーコード	13613

考えられる原因

サーバは、データベースが使用する文字セットからアプリケーションが要求した文字セットに文字変換を実行できません。

その他の情報

- 「文字セット変換」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

'%1' を '%2' データのエンコード指定として使用することはできません。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPENSTRING_ENCODING
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定されたエンコード
パラメータ 2	エンコードが指定されたデータ型
重大度	16
SQLCODE	-1144
SQLSTATE	WC017
Sybase エラーコード	13368

考えられる原因

指定されたエンコードは、指定されたデータを解釈するために使用することはできません。エンコードは、CHAR データの場合はデータベースの CHAR 文字エンコード、NCHAR データの場合はデータベースの NCHAR 文字エンコードにしてください。

'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_JOIN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ジョインできない最初のテーブルの名前。
パラメータ 2	ジョインできない 2 番目のテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-147
SQLSTATE	52W08
Sybase エラーコード	301

考えられる原因

2 つのテーブルをキージョインしようとしましたが、それらのテーブルが 2 つ以上の外部キーで関連付けられていました。最初のテーブルから 2 番目のテーブルに外部キーが 2 つある可能性があります。その原因は、それぞれのテーブルに、他方のテーブルへの外部キーがあるからです。プライマリキーテーブルには、相関名を使用してください。これは外部キー関係の役割名と同じです。

'%1' を '%2' にジョインできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_JOIN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ジョインできない最初のテーブルの名前。
パラメータ 2	ジョインできない 2 番目のテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-146
SQLSTATE	53W04
Sybase エラーコード	301

考えられる原因

2 つのテーブル間で KEY JOIN を行おうとしましたが、一方のテーブルのプライマリキーを参照する外部キーが、もう一方のテーブルにありません。または、NATURAL JOIN を行おうとしましたが、テーブル間に共通のカラム名がありません。

'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。

エラー定数	SQLE_SUBSCRIPTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリケーションの名前。
パラメータ 2	ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-283
SQLSTATE	5RW04
Sybase エラーコード	13645

考えられる原因

存在しないサブスクリプションを削除、開始、または同期しようとしました。

'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。

エラー定数	SQLE_SUBSCRIPTION_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリケーションの名前。
パラメータ 2	ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-282

SQLSTATE	5RW03
Sybase エラーコード	13644

考えられる原因

すでに存在するサブスクリプションを作成しようとしました。

'%2' のパブリケーション '%1' に対するサブスクリプションが文から除外されました。

エラー定数	SQLE_SUBSCRIPTION_OMITTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	パブリケーションの名前。
パラメータ 2	Mobile Link ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1323
SQLSTATE	WW141
Sybase エラーコード	13233

考えられる原因

START SYNCHRONIZATION SCHEMA CHANGE 文によって、変更するテーブルがリストされましたが、そのテーブルを参照するサブスクリプションがその文で省略されていました。

'%2' のローは、ユーザ '%1' によってロックされています。

エラー定数	SQLE_LOCKED
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	別のユーザの名前。
パラメータ 2	エラーを引き起こすテーブル。

重大度	21
SQLCODE	-210
SQLSTATE	42W18
Sybase エラーコード	8405

考えられる原因

変更しようとしているオブジェクトは、他の接続よってロックがかけられているため、操作がエラーになりました。INSERT、UPDATE、DELETE、SELECT または MERGE といった文では、データベースオプションでブロッキングが Off に設定されているときに、他のユーザによてロックされているローに対して読み込みまたは書き込みを実行しようとすることによって、このエラーがよく発生します。CREATE, DROP、GRANT、REVOKE、REFRESH、または ALTER などのデータ定義文では、DDL 文を実行している接続が変更したいオブジェクト (テーブル、ビュー、マテリアライズドビュー、インデックスなど) に対する排他ロックを取得できず、操作を続行できない状態のときに、このエラーが生成される場合があります。

その他の情報

- (マテリアライズドビューの再表示など) 一部の操作では、操作を完了させるために、実行中にブロッキングを一時的に Off に設定できます。この設定は一時的なものであり、この接続にのみ適用されるため、初期設定が On の場合には操作が完了するとリセットされます。ただし、ブロッキングが Off に設定されている間は、SQLCODE -210 SQLSTATE 42W18 エラーが生成される可能性があります。blocking 接続プロパティ『SQL Anywhere サーバ データベース管理』と「blocking オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』を参照してください。

(メッセージなし)

エラー定数	SQLE_NOERROR
ODBC 2 ステータス	00000
ODBC 3 ステータス	00000
重大度	10
SQLCODE	0
SQLSTATE	00000
Sybase エラーコード	13600

考えられる原因

このコードは、エラーまたは警告がなかったことを示します。

SQL プリプロセッサのエラーメッセージ

この項では、SQL プリプロセッサが生成するメッセージをリストします。設定するコマンドラインオプションによって、各メッセージはエラー、警告、または非準拠フラグです。非準拠フラグ自体もエラーまたは警告です。

SQL プリプロセッサとコマンドラインオプションの詳細については、「SQL プリプロセッサ」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』を参照してください。

SQL プリプロセッサのエラーメッセージ (エラーコード順)

エラーコード	メッセージテキスト
2601	「サブスクリプト値 %1 が大きすぎます。」
2602	「ホストタイプにはポインタ配列を使用できません。」
2603	「CHAR 型でサポートされる配列は 1 次元配列だけです。」
2604	「VARCHAR 型には長さの指定が必要です。」
2605	「VARCHAR 型の配列はサポートされません。」
2606	「VARCHAR 型のホスト変数をポインタとすることはできません。」
2607	「VARCHAR 型のホスト変数は初期化できません。」
2608	「FIXCHAR 型には長さの指定が必要です。」
2609	「FIXCHAR 型の配列はサポートされません。」
2610	「この型の配列はサポートされません。」
2611	「DECIMAL 型には精度を指定する必要があります。」
2612	「DECIMAL 型の配列はサポートされていません。」
2613	「不明なホスト変数の型です。」

エラーコード	メッセージテキスト
2614	「無効な整数です。」
2615	「ホスト変数 '%1' は C の文字列型でなければなりません。」
2617	「シンボル '%1' はすでに定義されています。」
2618	「無効な型の SQL 文変数です。」
2619	「インクルードファイル '%1' が見つかりません。」
2620	「ホスト変数 '%1' は認識できません。」
2621	「インジケータ変数 '%1' は認識できません。」
2622	「インジケータ変数 '%1' の型が無効です。」
2623	「'%1' に無効な型のホスト変数があります。」
2625	「ホスト変数 '%1' に 2 つの異なる定義があります。」
2626	「文 '%1' が準備されていません。」
2627	「カーソル '%1' が宣言されていません。」
2628	「文 '%1' は認識できません。」
2629	「このカーソルではホスト変数がサポートされていません。」
2630	「ホスト変数が、DECLARE および OPEN で 2 回指定されました。」
2631	「%1 にホストリストまたは USING 句を指定してください。」
2633	「SELECT 文に INTO 句がありません。」
2636	「不正な Embedded SQL 構文です。」
2637	「文字列リテラルの終わりに引用符がありません。」
2639	「トークンが長すぎます。」

エラーコード	メッセージテキスト
2640	「ホスト変数 '%1' は整数型でなければなりません。」
2641	「DESCRIBE 文には必ず SQLDA を指定してください。」
2642	「同じ種類 (INTO または USING) の SQLDA が 2 つ指定されています。」
2646	「静的カーソルは記述できません。」
2647	「マクロは再定義できません。」
2648	「配列の次元が正しくありません。」
2649	「記述子のインデックスが正しくありません。」
2650	「SET DESCRIPTOR に対する不正なフィールドです。」
2651	「SET DESCRIPTOR 文ですでに使用されたフィールドです。」
2652	「データの値はホスト変数でなければなりません。」
2660	「INTO 句は DECLARE CURSOR 文でサポートされておらず、無視されます。」
2661	「認識できない SQL 構文です。」
2662	「不明な SQL 関数 '%1' です。」
2663	「SQL 関数 '%1' に対する引数の数が正しくありません。」
2664	「静的文の名前は、2 つのスレッドで使用する場合、正しく機能しません。」
2665	「ホスト変数 '%1' が再定義されています。」
2666	「構文にサポートされていない言語の拡張機能が検出されました。」
2667	「構文に言語の拡張機能が検出されました。」

エラーコード	メッセージテキスト
2680	「DECLARE SECTION 文と INCLUDE SQLCA 文がありません。」
2681	「デンポラリファイルを開けません。」
2682	「デンポラリファイルの読み込み中にエラーが発生しました。」
2683	「出力ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。」
2690	「このカーソルのホスト変数の数が不一致です。」
2691	「このカーソルのホスト変数のタイプが不一致です。」
2692	「このカーソルのインジケータ変数が不一致です。」
2694	「カーソル '%1' に対する OPEN はありません。」
2695	「カーソル '%1' に対する FETCH または PUT はありません。」
2696	「ホスト変数 '%1' は異なるインジケータですでに使用されています。」
2697	「LONG BINARY/LONG VARCHAR のサイズ制限は、Ultra Light では 65535 です。」
2698	「WCHAR 型および TCHAR 型のホスト変数はサポートされません。」
2699	「char、WCHAR、および TCHAR の文字列パラメータを混合することはできません。」
2700	「SQL 構文は Ultra Light だけでサポートされています」
2701	「PREPARE では (DECLARE CURSOR ではない)、FOR UPDATE または FOR READ ONLY 句を指定します。」

SQL プリプロセッサのエラーメッセージ (五十音順)

%1 にホストリストまたは USING 句を指定してください。

エラーコード	2631

考えられる原因

指定された文には、ホスト変数がホスト変数リストまたは SQLDA から指定される必要があります。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

'%1' に無効な型のホスト変数があります。

エラーコード	2623

考えられる原因

プリプロセッサが文字列型のホスト変数を期待している場所に、文字列型ではないホスト変数が使われました。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

CHAR 型でサポートされる配列は 1 次元配列だけです。

エラーコード	2603

考えられる原因

ホスト変数を文字の配列として宣言しようとしました。これはサポートされているホスト変数型ではありません。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

char、WCHAR、および TCHAR の文字列パラメータを混合することはできません。

エラーコード	2699

考えられる原因

1 つの文で、すべて char 文字列、すべて WCHAR 文字列、またはすべて TCHAR 文字列ではないパラメータを使用しようとしました。1 つの文の文字列パラメータ (INTO パラメータと USING パラメータを除く) はすべて同じ型の文字列である必要があります。リテラル文字列は CHAR 文字列として処理されます。

DECIMAL 型には精度を指定する必要があります。

エラーコード	2611

考えられる原因

DECL_DECIMAL マクロを使用して、パックされた 10 進数のホスト変数を宣言するときは、精度を指定する必要があります。小数点以下の桁数はオプションです。

その他の情報

- 「DESCRIBE 実行後の SQLDA の sqllen フィールドの値」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「Embedded SQL のデータ型」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

DECIMAL 型の配列はサポートされていません。

エラーコード	2612

考えられる原因

ホスト変数を DECIMAL 型の配列として宣言しようとしました。DECIMAL 型の配列は、ホスト変数の型としてはサポートされません。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

DECLARE SECTION 文と INCLUDE SQLCA 文がありません。

エラーコード	2680

考えられる原因

EXEC SQL INCLUDE SQLCA 文がソースファイルにありません。

その他の情報

- 「INCLUDE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

DESCRIBE 文には必ず SQLDA を指定してください。

エラーコード	2641

考えられる原因

SQLDA が指定されていない DESCRIBE 文があります。SQLDA が必要です。

その他の情報

- 「DESCRIBE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

FIXCHAR 型には長さの指定が必要です。

エラーコード	2608

考えられる原因

DECL_FIXCHAR マクロを使用して FIXCHAR 型のホスト変数を宣言しましたが、長さを指定しませんでした。

FIXCHAR 型の配列はサポートされません。

エラーコード	2609

考えられる原因

ホスト変数を FIXCHAR の配列として宣言しようとしました。これはサポートされているホスト変数型ではありません。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

INTO 句は DECLARE CURSOR 文でサポートされておらず、無視されます。

エラーコード	2660

考えられる原因

DECLARE CURSOR 文で INTO 句を使用しました。INTO 句は無視されます。

その他の情報

- 「DECLARE CURSOR 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

LONG BINARY/LONG VARCHAR のサイズ制限は、Ultra Light では 65535 です。

エラーコード	2697

考えられる原因

Ultra Light で DECL_LONGBINARY または DECL_LONGVARCHAR を使用する場合、配列の最大サイズは 64 KB です。

その他の情報

- 「データ型」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

PREPARE では (DECLARE CURSOR ではない)、FOR UPDATE または FOR READ ONLY 句を指定します。

エラーコード	2701

考えられる原因

DECLARE CURSOR 文に FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句を指定しました。FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句は、DECLARE CURSOR 文ではなく、PREPARE 文で指定する必要があります。パフォーマンスは低下しますが、以前のバージョンとの互換性のために、sqlpp -m HISTORICAL オプションを指定すると、DECLARE CURSOR 文で FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句を使用できるようになります。

その他の情報

- 「DECLARE CURSOR 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「PREPARE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「SQL プリプロセッサ」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

SELECT 文に INTO 句がありません。

エラーコード	2633

考えられる原因

Embedded Static SELECT 文は指定しましたが、結果のための INTO 句は指定しませんでした。

その他の情報

- 「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

SET DESCRIPTOR に対する不正なフィールドです。

エラーコード	2650

考えられる原因

SET DESCRIPTOR 文に不正なキーワードまたは未知のキーワードがあります。使用できるキーワードは、TYPE、PRECISION、SCALE、LENGTH、INDICATOR、DATA のいずれかです。

その他の情報

- 「SET DESCRIPTOR 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

SET DESCRIPTOR 文ですでに使用されたフィールドです。

エラーコード	2651

考えられる原因

単一の SET DESCRIPTOR 文で、同じキーワードが 2 回以上使用されました。

その他の情報

- 「SET DESCRIPTOR 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

SQL 関数 '%1' に対する引数の数が正しくありません。

エラーコード	2663

考えられる原因

SQL 関数のパラメータ数が正しくありません。正しくないプラットフォームの番号を指定すると、文がデータベースサーバに送信されるときにエラーが発生することがあります。

SQL 構文は Ultra Light だけでサポートされています

エラーコード	2700

考えられる原因

Ultra Light 用のコードを生成していないときに、Ultra Light だけでサポートされている文を使用しようとしました。

その他の情報

- 「Embedded SQL」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

VARCHAR 型には長さの指定が必要です。

エラーコード	2604

考えられる原因

DECL_VARCHAR または DECL_BINARY マクロを使用して、VARCHAR または BINARY ホスト変数を宣言しましたが、配列のサイズを指定しませんでした。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

VARCHAR 型の配列はサポートされません。

エラーコード	2605

考えられる原因

ホスト変数を VARCHAR 型または BINARY 型の配列として宣言しようとしました。このデータ型はサポートされているホスト変数型ではありません。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

VARCHAR 型のホスト変数は初期化できません。

エラーコード	2607

考えられる原因

VARCHAR または BINARY データ型のホスト変数に、C 変数イニシャライザは指定できません。この変数は、通常の C プログラムコードで初期化する必要があります。

その他の情報

- 「C ホスト変数型」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

VARCHAR 型のホスト変数をポインタとすることはできません。

エラーコード	2606

考えられる原因

ホスト変数を VARCHAR または BINARY 型のポインタとして宣言しようとしました。この型はサポートされているホスト変数型ではありません。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

WCHAR 型および TCHAR 型のホスト変数はサポートされません。

エラーコード	2698

考えられる原因

ホスト変数を WCHAR 文字列または TCHAR 文字列として宣言しようとしました。これらの型は Windows プラットフォームの Ultra Light だけでサポートされます。

インクルードファイル '%1' が見つかりません。

エラーコード	2619

考えられる原因

指定されたインクルードファイルが見つかりませんでした。プロセッサは、インクルードファイルの検索に INCLUDE 環境変数を使用します。

インジケータ変数 '%1' の型が無効です。

エラーコード	2622

考えられる原因

インジケータ変数の型は a_sql_len である必要があります。サポートされていない型の変数が使われました。

その他の情報

- 「インジケータ変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

インジケータ変数 '%1' は認識できません。

エラーコード	2621

考えられる原因

文の中でインジケータ変数を使用しましたが、DECLARE SECTION 内で宣言されていません。

その他の情報

- 「インジケータ変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「宣言セクション [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

同じ種類 (INTO または USING) の SQLDA が 2 つ指定されています。

エラーコード	2642

考えられる原因

この文に 2 つの INTO DESCRIPTOR 句または 2 つの USING DESCRIPTOR 句を指定しました。

その他の情報

- 「PREPARE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「GET DATA 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「UPDATE (位置付け) 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「EXPLAIN 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

カーソル '%1' が宣言されていません。

エラーコード	2627

考えられる原因

Embedded SQL カーソル名を最初に宣言 (DECLARE) せずに、(FETCH 文、OPEN 文、CLOSE 文などで) 使用しました。

その他の情報

- 「DECLARE CURSOR 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

カーソル '%1' に対する FETCH または PUT はありません。

エラーコード	2695

考えられる原因

カーソルが宣言されて開かれましたが、使用されませんでした。

その他の情報

- 「FETCH 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

カーソル '%1' に対する OPEN はありません。

エラーコード	2694

考えられる原因

カーソルが宣言され、開かれずに使用されたことが考えられます。

その他の情報

- 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「カーソルの原則」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

記述子のインデックスが正しくありません。

エラーコード	2649

考えられる原因

ALLOCATE DESCRIPTOR 文で変数が 1 つも割り付けられていません。

その他の情報

- 「ALLOCATE DESCRIPTOR 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

構文に言語の拡張機能が検出されました。

エラーコード	2667

考えられる原因

現在のフラグレベル (-w オプションで設定) でサポートされていない SQL Anywhere の機能を使用しました。

その他の情報

- -e オプション、「SQL プリプロセッサ」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

構文にサポートされていない言語の拡張機能が検出されました。

エラーコード	2666

考えられる原因

現在のフラグレベル (sqlpp -e オプションで設定) でサポートされていない SQL Anywhere の機能を使用しました。

その他の情報

- 「SQL プリプロセッサ」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

このカーソルではホスト変数がサポートされていません。

エラーコード	2629

考えられる原因

DECLARE 文で、指定したカーソルのホスト変数がサポートされていません。ホスト変数を通してカーソル名を与える場合は、完全な動的 SQL を使用して文を作成してください。作成された文中にはホスト変数があってもかまいません。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「DECLARE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

このカーソルのインジケータ変数が不一致です。

エラーコード	2692

考えられる原因

以前にカーソルで使用していないインジケータ変数を使用しました。または、以前にカーソルで使用したインジケータ変数を使用していません。カーソルに対して一貫したインジケータ変数を使用してください。

その他の情報

- 「インジケータ変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

 Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.0

このカーソルのホスト変数の数が不一致です。

エラーコード	2690

考えられる原因

ホスト変数の数が以前にカーソルで使用した数と異なっています。カーソルに対して同じ数のホスト変数を使用してください。

このカーソルのホスト変数のタイプが不一致です。

エラーコード	2691

考えられる原因

使用したホスト変数の型や長さが、以前にカーソルで使用したものとは異なります。カーソルに対して一貫したホスト変数の型を使用してください。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

この型の配列はサポートされません。

エラーコード	2610

考えられる原因

サポートされていないデータ型のホスト変数の配列を宣言しようとしました。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

サブスクリプト値 %1 が大きすぎます。

エラーコード	2601

考えられる原因

配列には大きすぎる値を持つホスト変数のインデックスを作成しようとしました。

その他の情報

- 「ワイドフェッチまたは配列フェッチ」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

出力ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。

エラーコード	2683

考えられる原因

出力ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。

その他の情報

- 「SQL プリプロセッサ」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

シンボル '%1' はすでに定義されています。

エラーコード	2617

考えられる原因

ホスト変数を 2 回定義しました。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

静的カーソルは記述できません。

エラーコード	2646

考えられる原因

静的カーソルを記述しました。カーソルを記述するときは、ホスト変数にカーソル名を指定してください。

その他の情報

- 「insensitive カーソル」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

静的文の名前は、2 つのスレッドで使用する場合、正しく機能しません。

エラーコード	2664

考えられる原因

静的文の名前を使って、-r リエントランシオプションで前処理を行いました。静的文の名前により、データベースが格納する静的変数が生成されます。2 つのスレッドが同じ文を使うと、この

変数の競合が生じます。文識別子には静的な名前ではなく、ローカルなホスト変数を使用してください。

その他の情報

- 「静的 SQL 文」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「SQL プリプロセッサ」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

データの値はホスト変数でなければなりません。

エラーコード	2652

考えられる原因

ホスト変数として宣言されていない変数を SET DESCRIPTOR 文で使用しようとしました。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「SET DESCRIPTOR 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

デンポラリファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

エラーコード	2682

考えられる原因

テンポラリファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

デンポラリファイルを開けません。

エラーコード	2681

考えられる原因

テンポラリファイルを開こうとしたときにエラーが発生しました。

トークンが長すぎます。

エラーコード	2639

考えられる原因

SQL プリプロセッサの最大トークン長は 2 KB です。これより長いトークンはエラーになります。Embedded SQL コマンド内の定数文字列で長い文字列を作成するには、文字列連結を使用してください。

その他の情報

- 「SQL プリプロセッサ」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

認識できない SQL 構文です。

エラーコード	2661

考えられる原因

データベースサーバに送信されるとエラーになる可能性のある SQL 文を使いました。

配列の次元が正しくありません。

エラーコード	2648

考えられる原因

配列の次元が負の値になっています。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

不正な Embedded SQL 構文です。

エラーコード	2636

考えられる原因

Embedded SQL 文 (OPEN、DECLARE、FETCH など) に構文エラーがあります。

その他の情報

- 「アプリケーションでの SQL 文の実行」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

不明な SQL 関数 '%1' です。

エラーコード	2662

考えられる原因

プリプロセッサが認識できない SQL 関数を使いました。これがデータベースサーバに送信されると、エラーになる可能性があります。

不明なホスト変数の型です。

エラーコード	2613

考えられる原因

SQL プリプロセッサが理解できないデータ型で、ホスト変数を宣言しました。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

文 '%1' が準備されていません。

エラーコード	2626

考えられる原因

Embedded SQL 文の名前が、準備しないで文 (EXECUTE、DROP など) の中で使用されています。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「PREPARE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

文 '%1' は認識できません。

エラーコード	2628

考えられる原因

存在しない Embedded SQL 文を削除しようとしました。

ホストタイプにはポインタ配列を使用できません。

エラーコード	2602

考えられる原因

ポインタの配列をホスト変数として使用しました。これはサポートされていません。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

ホスト変数 '%1' が再定義されています。

エラーコード	2665

考えられる原因

同一のホスト変数を、異なるホストの型で再定義しています。ホスト変数はグローバルであるため、型の異なる 2 つのホスト変数に同じ名前をつけることはできません。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

ホスト変数 '%1' に 2 つの異なる定義があります。

エラーコード	2625

考えられる原因

同じモジュール中で、同じホスト変数名に対して 2 つの異なった型が定義されています。ホスト変数名は C モジュールに対してグローバルです。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

ホスト変数 '%1' は C の文字列型でなければなりません。

エラーコード	2615

考えられる原因

Embedded SQL 文 (カーソル名、オプション名など) 中で、C 文字列が要求されましたが、違う型の値が渡されました。

その他の情報

- 「C ホスト変数型」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

ホスト変数 '%1' は異なるインジケータですでに使用されています。

エラーコード	2696

考えられる原因

同じ文の中で、異なるインジケータ変数を使用して同じホスト変数が複数回使用されています。これはサポートされていません。

その他の情報

- 「インジケータ変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

ホスト変数 '%1' は整数型でなければなりません。

エラーコード	2640

考えられる原因

整数型のホスト変数だけが許可される文中で、整数型ではないホスト変数を使いました。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

ホスト変数 '%1' は認識できません。

エラーコード	2620

考えられる原因

文の中でホスト変数を使用しましたが、DECLARE SECTION 内で宣言されていません。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「Embedded SQL プログラムの構造」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

ホスト変数が、DECLARE および OPEN で 2 回指定されました。

エラーコード	2630

考えられる原因

DECLARE 文と OPEN 文の両方でカーソルにホスト変数を指定しました。静的の場合は、DECLARE 文でホスト変数を指定してください。動的の場合は、OPEN 文で指定してください。

その他の情報

- 「DECLARE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

マクロは再定義できません。

エラーコード	2647

考えられる原因

ヘッダファイルで、プリプロセッサマクロが 2 回定義されていることが考えられます。

その他の情報

- 「データベースツールインタフェース (DBTools)」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

無効な型の SQL 文変数です。

エラーコード	2618

考えられる原因

文識別子として使われるホスト変数の型は a_sql_statement_number になります。サポートされていない型のホスト変数を使用しようとしました。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

無効な整数です。

エラーコード	2614

考えられる原因

Embedded SQL 文 (フェッチオフセット、ホスト変数配列インデックスなど) 中で、整数が要求されましたが、プリプロセッサは入力された内容を整数に変換できませんでした。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

文字列リテラルの終わりに引用符がありません。

エラーコード	2637

考えられる原因

Embedded SQL 文中で文字列リテラルを指定しましたが、文字列を囲む引用符の後ろの方が行の最後またはファイルの最後までに見つかりません。

その他の情報

- 「SQL プリプロセッサ」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

Mobile Link サーバのエラーメッセージ

各エラーには、数値エラーコードがあります。エラーコードは、常に負の値となります。警告コードは、常に正の値となります。0 はエラーと警告がないことを示します。

多くのエラーメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメータに置き換えられてエラーメッセージに表示されます。

参照

- 「Mobile Link サーバの警告メッセージ」1029 ページ
- 「Mobile Link 通信エラーメッセージ」1073 ページ

Mobile Link サーバのエラーメッセージ (エラーコード順)

エラーコード	メッセージテキスト
-10410	「クライアントがコマンドシーケンスを送信しきれませんでした。」
-10409	「クライアントは要求されたファイル '%1' をアップロードする権限がありません。」
-10408	「クライアントは要求されたファイル '%1' をダウンロードする権限がありません。」
-10407	「LDAP ユーザ認証は、現在のプラットフォームでは使用できません。」
-10406	「QAnywhere はサポートされなくなりました。」
-10405	「テーブル '%1' では、%2 スクリプトが SQL で書かれている必要があります。」
-10403	「クラス '%2' にある '%1' を一致させる方法は、void を返す必要があります。」
-10402	「クラス '%2' にある '%1' を一致させる方法は、void を返す必要があります。」
-10401	「ネットワーク プロトコルのバージョンが一致しないため、クライアントは要求をアボートしました。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10400	「リモート ID '%1' の同期シーケンス ID が無効です。」
-10399	「LDAP サーバに対するユーザ '%1' の認証に失敗しました。」
-10398	「テーブル '%1' からデータを取得できません。」
-10397	「ユーザ認証ポリシー '%1' には、NULL プライマリ LDAP サーバがあります。」
-10396	「URL '%1' とのバインドは失敗しました。報告されたもっとも新しい LDAP API エラーは、'%2' です。」
-10395	「TLS ON は、URL '%1' と一緒には使用できません。」
-10394	「LDAP サーバ '%1' は適切に定義されていません。」
-10393	「LDAP サーバ '%1' での検索は、一致する結果なしで完了しました。」
-10392	「パスワードなしでの LDAP サーバ '%1' とのバインドは許可されていません。」
-10391	「LDAP サーバ '%1' は、匿名のバインドを受け入れない可能性があります。」
-10390	「1 つ以上の無効な値が設定されているため、'%1' を使用した検索が失敗しました。」
-10389	「リモート ID '%2' の同期キー '%1' が無効です。」
-10388	「同期シーケンス番号 '%1' が統合データベースの番号 '%2' 以下であるため、同期要求を処理できません。」
-10387	「現時点では同期要求を処理できません。」
-10386	「テーブル '%1' には競合解決スクリプトがありますが、upload_fetch スクリプトが定義されていません。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10385	「認証メッセージを変換できません。」
-10384	「%1 ストリームに無効なポート '%2' が指定されました。」
-10383	「一度に 1 つのファイル転送要求しか処理できません。」
-10382	「Mobile Link サーバは起動に失敗しました」
-10381	「Mobile Link サーバは、64 ビットオペレーティングシステムで、64 ビットアプリケーションとして実行する必要があります」
-10380	「同期が ORACLE 'gv$transaction' テーブルにアクセスする必要があるため、要求を処理できません」
-10379	「ODBC 接続文字列に、64 ビット Mobile Link と互換性のないドライバが指定されています」
-10378	「予期しないエンドツーエンド暗号化トラフィックをポート%1 で受信しました」
-10377	「予期しない暗号化トラフィックをポート %1 で受信しました」
-10376	「予期しない HTTP トラフィックをポート %1 で受信しました」
-10375	「ユーザパラメータ '%1' の値を設定できません -- 値が %2 文字を超えています」
-10374	「シャットダウン中に開始したリクエストをアボートしています。」
-10373	「受信したファイルが予期していたファイルと一致しないため、%1 のアップロードは失敗しました」
-10372	「この同期はクライアント要求によってアボートされました。」
-10371	「この CPU では、空間のサポートは利用できません」

エラーコード	メッセージテキスト
-10370	「テーブル '%1' の upload_fetch または upload_fetch_column_conflict スクリプトは、無視されるスクリプトとして定義することはできません」
-10369	「この Mobile Link サーバは、高可用性モードで実行するようにライセンスされていません。」
-10368	「要求を完了できません」
-10367	「テーブル '%1' には upload_fetch スクリプトがありますが、競合解決スクリプトが定義されていません」
-10366	「テーブル '%1' には %2 スクリプトがありません」
-10362	「クラス '%2' に、'%1' に一致する過負荷はありません。」
-10361	「update_poll_every プロパティは無効です。有効なフォーマットは、秒数に <num> を使用します。」
-10360	「'%1' 付近でコマンドラインにエラーが発生しました」
-10359	「Mobile Link サーバの重要なコンポーネントが正しく起動できませんでした。」
-10358	「最大 -x oe スイッチ 1 つを使用できます。」
-10357	「-lsc と -ca 両方のオプションを指定する必要があります。」
-10355	「テーブル '%1' に %2 構文がありません。」
-10354	「<OE>: %1」
-10353	「プライマリサーバロックがなくなりました。」
-10352	「プライマリサーバ情報を保存できません。」
-10351	「プライマリ Mobile Link サーバをロックできません。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10350	「監視サーバに接続する際に、設定問題が検出されました。」
-10349	「監視サーバに接続できませんでした。」
-10348	「リモート ID '%1' の RID を取得できません。」
-10347	「ユーザ '%1' のユーザ ID を取得できません。」
-10346	「2 つ以上の Mobile Link クライアントが同時にファイル '%1' をアップロードしているか、テンポラリファイル '%2' を開くのに失敗しました。」
-10345	「2 つ以上の Mobile Link クライアントが同時にファイル '%1' をアップロードしています。」
-10344	「リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期している可能性があります。孤立した Ultra Light 同期が検出されました。」
-10343	「リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期しているか、データベース接続が使用できません。同じリモート ID のロックにアクセスできません。」
-10342	「リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期しています。同じリモート ID のロックは、別の同期によって変更されました。」
-10341	「リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期している可能性があります。そのリモート ID はロックできません。」
-10340	「Notifier は統合データベースに接続できませんでした。」
-10339	「前のエラーにより、RTNotifier の要求カーソルを実行できません。」
-10338	「プロパティセット名 '%1' に正しいカッコが含まれていません。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10337	「プロパティ名のプレフィクス '%1!s.' が不正です。」
-10336	「Notifier '%1' の poll_every プロパティが無効です。有効なフォーマットは、秒数に <num> を使用します。」
-10335	「RTNotifier は '%1' という名前のプロパティを認識しません。」
-10334	「Notifier '%1' の request_cursor が指定されていません。」
-10333	「空間ジオメトリパラメータ '%1' に無効な修飾子が見つかりました。」
-10332	「空間ジオメトリパラメータ %1 に無効な修飾子が見つかりました。」
-10331	「テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードした値に、リモートデータベースでは使用できない NULL SRID が含まれています。」
-10330	「空間ライブラリエラー : '%1'」
-10329	「テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードした値のタイムゾーンのタイムスタンプが無効です。」
-10327	「'-rrp' オプションが使用されましたが、ローカルサーバ接続文字列が指定されていません。'-rrp' オプションを使用するには、'-lsc' オプションを使用してローカルサーバ接続文字列を指定する必要があります。」
-10325	「サーバがレコーダーの初期化に失敗しました。」
-10324	「記録されたプロトコルファイルを閉じられません。」
-10323	「ファイルアップロードのファイル名またはサブディレクトリ '%1' が無効です。」
-10322	「転送用にファイル '%1' を書き込めませんでした。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10321	「要求ファイルをアップロードできませんでした。アップロードルートディレクトリが設定されていません。」
-10320	「ファイルアップロードのルートディレクトリ '%1' が見つかりませんでした。」
-10319	「ファイルに書き込めません。」
-10318	「同期の一部を記録できません。」
-10317	「レコーダーで必要なスレッドとの結び付きマスクを設定できません。」
-10316	「記録用のファイル '%1 を開けません。」
-10314	「このサーバには dbmlsync を使用するためのライセンスが付与されていません。」
-10313	「このサーバには QAnywhere を使用するためのライセンスが付与されていません。」
-10312	「このサーバにはダイレクトロー API を使用するためのライセンスが付与されていません。」
-10309	「このサーバには、次のタイプの統合データベースに接続するためのライセンスが付与されていません : %1」
-10308	「テーブル '%2' のカラム %1 のアップロードデータが無効です。」
-10307	「リモートクライアントで使用されている文字セット (%1) を、Mobile Link サーバがマップできません。」
-10306	「リモートクライアントで使用されている文字セット (%1) を、Mobile Link サーバがマップできません。」
-10297	「不明なスクリプトフラグ '%1' のため、SQL パススルースクリプトを送信できません。」
-10296	「MLSD をサポートできません。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10295	「Mobile Link サーバとクライアントの実装 ID が一致しません。」
-10292	「ネットワークリスナポートで新規接続を受け入れられません。」
-10291	「クライアントから受信したサブスクリプションリストは、破損しているか無効です。」
-10290	「分散トランザクションをアボートできません (イベント : %1) -- システムエラー : '%2'」
-10289	「分散トランザクションをコミットできません (イベント : %1) -- システムエラー : '%2'」
-10288	「分散トランザクションコーディネーターにデータベースをエンリストできません。」
-10287	「分散トランザクションを初期化できません -- システムエラー : '%1'」
-10286	「DTC トランザクションマネージャを取得できません -- システムエラー : '%1'」
-10283	「ホスト名 '%1' を解決できません (エラー : '%2')。」
-10282	「共有メモリファイルを作成できません。」
-10281	「テーブル '%1' で、ml_column テーブルでのカラム名が '%2' であるカラムのインデックスが、リモートカラムの数よりも大きくなっています。」
-10280	「クライアントテーブル '%1' のカラム数が ml_column で定義された値と一致していません。」
-10279	「ネットワークアクティビティがないため、接続が切断されました。」
-10278	「通知パイプでエラーが発生しました。」
-10277	「通知パイプからの読み込み中にエラーが発生しました (システムエラー : %1)」

エラーコード	メッセージテキスト
-10276	「受信接続を受け入れられません (システムエラー : %1)」
-10275	「通知できません (システムエラー : %1)」
-10274	「ソケットをポーリングできません (システムエラー : %1)」
-10273	「アドレスを再利用できません (システムエラー : %1)」
-10272	「ソケットセレクター通知の UNIX パイプを作成できません (システムエラー : %1)」
-10271	「ソケットを閉じられません (システムエラー : %1)」
-10270	「完了ポートで待機できません (システムエラー : %1)」
-10269	「リスナ削除要求を完了キューに通知できません (システムエラー : %1)」
-10268	「リスナソケットでハードクローズを実行できません。」
-10267	「ソケット削除要求を完了キューに通知できません (システムエラー : %1)」
-10266	「ソケット '%1' でハードクローズを実行できません。」
-10265	「接続の受け入れを開始できません (システムエラー : %1)」
-10264	「接続ソケットを作成できません (システムエラー : %1)」
-10263	「ソケットを完了ポートに関連付けられませんでした (システムエラー : %1)」
-10262	「ポートで受信できません (システムエラー : %1)」
-10261	「リスナソケットをポートにバインドできません (システムエラー : %1)」

エラーコード	メッセージテキスト
-10260	「リスナソケットを作成できません (システムエラー : %1)」
-10259	「ネットワークアドレス '%1' はローカルのアドレスではありません。」
-10258	「I/O 完了ポートを作成できません (システムエラー : %1)」
-10255	「再起動可能な同期を開始できません。」
-10254	「スクリプトのバージョン '%1' を追加できませんでした。」
-10253	「転送用にファイル '%1' を読み込めませんでした。」
-10252	「転送用にファイル '%1' を開けませんでした。」
-10251	「ダウンロードルートディレクトリまたは '%2' サブディレクトリに要求ファイル '%1' が見つかりませんでした。」
-10250	「要求ファイルを転送できませんでした。転送ルートが設定されていません。」
-10249	「ファイル転送のルートディレクトリ '%1' が見つかりませんでした。」
-10247	「スナップショットにトランザクションの独立性レベルを設定できません。」
-10246	「統合データベースでのスナップショットアイソレーションで競合する更新を検出後に、現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。」
-10245	「アップロードテーブル '%1' (カラム #%2) にはデータ型 '%3' がありますが、ODBC ドライバは '%4' をサポートしていません。」
-10244	「Mobile Link サーバでエラーが発生したため、同期がアボートされました。」
-10243	「スクリプト '%1' は、不明な認証パラメータ '%2' を参照しています。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10242	「スクリプト '%1' は、認証パラメータ %2 を参照していますが、%3 しかありません。」
-10241	「スクリプト '%1' は、テーブル '%2' のカラム %3 を参照していますが、テーブルには %4 カラムしかありません。」
-10240	「スクリプト '%1' には、無効なユーザパラメータが含まれています : '%2'」
-10239	「スクリプト '%1' には、無効なパラメータ参照が含まれています : '%2'」
-10237	「スクリプト '%1' は、入出力パラメータ '%2' を 2 回以上参照しています。」
-10236	「スクリプト '%1' には、名前付きパラメータを使用するための無効な構文が含まれています。」
-10235	「スクリプト '%1' には、無効な文字を含む名前付きパラメータが含まれています。」
-10234	「スクリプト '%1' はプレイメージのローデータを処理できません。」
-10233	「テーブル '%1' には '%2' という名前のカラムがありません。」
-10232	「名前付きローパラメータを使用するには、ml_column テーブルでカラム名を設定するか、リモートクライアントからアップロードする必要があります。」
-10231	「スクリプト '%1' はローデータを処理できません。」
-10230	「パラメータ %1 に NULL が設定されています。」
-10229	「システムパラメータ %1 に NULL が設定されています。」
-10228	「スクリプト '%2' のシステムパラメータ '%1' が無効です。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10227	「スクリプト '%2' のシステムパラメータ '%1' が不明です。」
-10226	「スクリプト '%1' のパラメータ名が無効です (名前が短すぎるか長すぎます)。」
-10225	「ユーザが指定したコードをサーバで実行中にエラーが発生しました。」
-10224	「テーブル '%1' には BLOB が含まれているため、カラムレベルの競合を検出することはできません。」
-10223	「handle_UploadData イベントスクリプトを void にするか、NULL を返す必要があります。」
-10222	「UploadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。」
-10221	「DownloadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。」
-10220	「upload_fetch または upload_fetch_column_conflict スクリプトのいずれか 1 つしかテーブル '%1' に定義できません」
-10216	「テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値は、無効なユニーク識別子の文字列です。」
-10215	「不正なパラメータ '%1' です。」
-10214	「%1 スクリプトから不正な戻り値 (%2) が返されました。デフォルトのアクションコード (%3) を使用します。」
-10213	「文字列 %1 を数値に変換できません。」
-10212	「テンポラリファイル '%1' を開けません。」
-10211	「テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値に、変換できない文字データが含まれています。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10209	「Java VM 共有ライブラリをロードできません。 共有ライブラリのパスおよび LD_PRELOAD が正しく設定されており、ダイナミックローダのバージョンでサポートされていることを確認してください。」
-10207	「認識されないイベント名 : %1」
-10206	「'%1'」
-10205	「スクリプト '%1' を実行できません。」
-10204	「スクリプト '%1' は、'%2' のメンバーですが、スクリプトバージョンでは %3 クラスのみ許可されています。」
-10203	「無効なハンドルを持つ接続を使用しようとしました。」
-10202	「この接続のトランザクションは、コミットまたはロールバックできません。」
-10201	「パラメータ %1 のバインドには、タイプ '%2' の値が必要ですが、'%3' が指定されました。」
-10200	「作成された SQL 文 '%1' には %2 パラメータが必要ですが、パラメータ %3 が指定されています。」
-10199	「MLDBCommand.Prepare() を呼び出す前にバウンドパラメータを持つ SQL 文を実行しようとしました。」
-10198	「作成された SQL 文 '%1' には %2 パラメータが必要ですが、パラメータ %3 が指定されていません。」
-10197	「MLDBCommand.Close() を呼び出した後に、SQL 文 '%1' を実行しようとしました。」
-10196	「NULL SQL 文を実行しようとしました。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Execute メソッドを呼び出してください。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10195	「NULL SQL 文を準備しようとしました。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Prepare() を呼び出してください。」
-10194	「MLDBCommand.Close() を呼び出した後に、SQL 文 '%1' を準備しようとしました。」
-10193	「アセンブリ '%1' をドメイン '%2' にロードできません。」
-10192	「ドメイン '%1' を作成できませんでした。」
-10191	「.NET ドメイン設定ファイル '%1' が見つかりません。」
-10190	「スクリプト '%1' で致命的なエラーが報告されました。」
-10189	「スクリプト '%1' でエラーが発生しました。」
-10188	「スクリプト '%1' でサーバエラーが報告されました。」
-10187	「.NET 開始クラス '%1' をロードできませんでした。」
-10186	「スクリプト '%1' で同期エラーが報告されました。」
-10183	「スクリプトバージョンごとに 1 つのドメインのみ使用できます。スクリプト '%2' がドメイン '%3' の使用を試みたとき、ドメイン '%1' は使用中でした。」
-10182	「スクリプト '%1' に不正なフォーマットが使用されています。」
-10181	「.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。%1 ワーカーがまだ付加されています。」
-10180	「.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。」
-10179	「ドメイン '%1' にタイプ '%2' のアセンブリがありません。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10178	「ドメイン '%1' はドメイン設定ファイルで指定されていません。」
-10177	「名前 '%1' は、有効な .NET 開始クラス名ではありません。」
-10176	「.NET ドメイン設定ファイルが壊れています。」
-10175	「.NET スクリプト VM には Mobile Link Script DLL のバージョン %1 が必要ですが、バージョン %2 が指定されています。」
-10174	「.NET スクリプト VM には Mobile Link ODBC Bridge DLL のバージョン %1 が必要ですが、バージョン %2 が指定されています。」
-10172	「アセンブリ '%1' に '%2' が含まれていません。」
-10171	「アセンブリ '%1' は、'%3' のバージョン %2 に対してコンパイルされています。バージョン %4 に対して再コンパイルしてください。」
-10170	「スクリプトの実行に必要なメモリを割り付けることができません。」
-10169	「ワーカーを VM から分離できません。」
-10168	「スレッドを .NET ランタイムに付加できません。」
-10167	「.NET CLR Host で予期しないエラーが発生しました。」
-10166	「ファイル "%1" が見つかりません。」
-10165	「.NET CLR Host DLL をロードできません。」
-10164	「.NET Framework CLR バージョン %1 をロードできません。」
-10163	「オプション '%1' は無効であるか、Mobile Link コマンドラインで正しく指定されませんでした。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10162	「オプション '%1' は以前に、Mobile Link コマンドラインで値 '%2' を使用して定義されました。」
-10161	「クラス '%1' の有効なコンストラクタが見つかりませんでした。」
-10160	「JDBC 接続を付加できません。」
-10159	「新規データベース接続を作成できません。」
-10158	「メソッド '%1' で例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタックトレース : '%3'」
-10157	「タイプ '%2' の引数を持つメソッド '%1' を呼び出せませんでした。」
-10156	「内部エラー : '%1'」
-10155	「クラス '%1' のコンストラクタでシステム例外がスローされました。エラーの説明 : '%2'」
-10154	「クラス '%1' のコンストラクタで例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタックトレース : '%3'」
-10153	「クラス '%1' に適当なコンストラクタが見つかりませんでした。」
-10151	「スクリプトクラス '%1' にパブリックメソッドがありませんでした。」
-10150	「クラス '%1' をロードしているときにリンクエラーが発生しました。エラーの説明 : '%2'」
-10149	「クラス '%1' のイニシャライザで例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタックトレース : '%3'」
-10148	「Java 例外」
-10147	「JVM 設定ファイル %1 内にエントリが多すぎます。」
-10146	「オプションが多すぎて、Java VM に送ることができません。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10145	「%1 にある JRE にアクセスできません。」
-10144	「共有インストールディレクトリが不正です : %1」
-10143	「共有コンポーネントディレクトリを見つけられません。 JRE の格納場所がオプションで指定されていません。 JRE がどこに格納されているかわかりません。」
-10142	「インストールディレクトリまたはクラスパス内に JAR ファイル '%1' が見つかりません。」
-10140	「オプション '%1' にはパスが必要です。」
-10139	「オプション '%1' および '%2' は同時に使用しないでください。」
-10138	「JVM 設定ファイル %1 にエントリがありません。」
-10137	「JVM 設定ファイル %1 に不正な行があります。 行が長すぎます。」
-10136	「JVM 設定ファイル %1 内に不正な行があります。 行はすべて、「#」または「-」で始まる必要があります。」
-10133	「%1」
-10130	「スクリプト '%1.%2' を実行するための引数が足りません。 %3 の引数が必要なのに対し、利用できるのは %4 だけです。」
-10128	「Java クラス %2 に必要なメソッド '%1' をロードできませんでした。」
-10127	「必要な Java クラス %1 をロードできませんでした。」
-10126	「スレッドを Java VM に付加しているときにエラーが発生しました。」
-10125	「スクリプト %1 のクラスおよびメソッド名を解析できません。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10124	「次の非デーモンスレッドは破壊されました : %1」
-10123	「未知のエラーのため Java VM をロードできません。」
-10122	「メモリエラーのため Java VM をロードできません。」
-10121	「バージョンエラーのため Java VM をロードできません。」
-10120	「%1 は ScriptExecutionException の認識できないサブクラスです。」
-10119	「例外情報をダンプできません。例外処理中に例外を受け取りました。」
-10118	「Java 例外を取得しました。タイプ : %1 例外メッセージ : %2」
-10117	「ストリームエラー : %1」
-10112	「バックグラウンドスレッドを作成できません。」
-10110	「通信ストリーム %1 を初期化できません : %2」
-10108	「ストリーム %2 の DLL または共有オブジェクト %1 をロードできません : %3」
-10107	「DLL または共有オブジェクトをロードできません : %1」
-10105	「不正なストリーム指定 : %1」
-10101	「テーブル '%1' には、ml_table テーブルのエントリがありません。」
-10100	「Mobile Link システムテーブル '%1' がないか、テーブルカラムがありません。」
-10099	「UNILIB 照合 %1 をロードできません : %2」

エラーコード	メッセージテキスト
-10094	「クライアントから %1 認証パラメータを予期していましたが、スクリプト %3 に対して %2 を受け取りました。」
-10091	「この接続は、以前のエラーのために中止されます。」
-10088	「DLL ('%1') からエントリポイントをロードできません。」
-10087	「DLL または共有オブジェクト ('%1') のバージョンの不一致。 必要なバージョン : %2、取得したバージョン : %3」
-10086	「DLL または共有オブジェクト '%1' (スクリプト言語 : '%2') をロードできません。」
-10085	「LANG: %1 - データベース接続の割り付けに失敗しました。」
-10084	「LANG: %1 - スレッドの付加に失敗しました。」
-10083	「ユーザ名 '%1' を ml_user_table から削除できません。」
-10081	「Mobile Link サーバの DLL または共有オブジェクトのバージョンが、データレイヤの DLL または共有オブジェクトのバージョンと一致しません。」
-10076	「Mobile Link サーバは、ml_scripts_modified テーブルを使用して統合データベースのタイムスタンプ精度を計算できませんでした。タイムスタンプ精度に関する警告は生成されません。」
-10075	「必須 ODBC 関数 %1 がドライバでサポートされていません。」
-10074	「%2 を使用してテーブル '%1' を更新できません。」
-10073	「%2 を使用してテーブル '%1' から削除できません。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10072	「%2 を使用してテーブル '%1' に挿入できません。」
-10071	「%2 を使用してテーブル '%1' からフェッチできません。」
-10067	「接続を割り付けることができません。」
-10066	「ODBC を初期化できません。」
-10065	「トランザクションをコミットできません : %1 -- ロールバックを試みます。」
-10064	「トランザクションをロールバックできません : %1」
-10063	「テーブル '%1' への更新ローのアップロード中にエラーが発生しました。更新されたカラムの値は次のとおりです。」
-10062	「テーブル '%1' への削除ローのアップロード中にエラーが発生しました。削除されたカラムの値は次のとおりです。」
-10061	「テーブル '%1' への挿入ローをアップロード中にエラーが発生しました。挿入したカラムの値は次のとおりです。」
-10060	「メモリの割り付けに失敗しました。」
-10058	「ファイル %1 を開けません。」
-10057	「ユーザ %1 のパスワードは不正です。」
-10056	「ユーザ名 '%1' が ml_user テーブルに見つかりません。」
-10055	「ユーザ %1 を認証できません」
-10054	「ユーザ名 '%1' を ml_user テーブルに挿入できません。」
-10052	「%1 スクリプトが %2 を返しました。」
-10050	「カーソルで %1 カラムを予期しましたが、%2 が見つかりました。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10048	「スクリプトで最低 %1 のパラメータを予期しましたが、%2 しか見つかりませんでした : %3」
-10047	「スクリプトで %1 パラメータを予期しましたが、%2 しか見つかりませんでした : %3」
-10041	「内部エラー : BLOB の取得中に発生しました -- 読み込み」
-10038	「テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値は、リモートスキーマタイプには大きすぎるか不正です。」
-10035	「クライアントエラー %1 が発生し、ダウンロードに失敗しました。」
-10032	「クライアントエラー %1 が発生し、アップロードに失敗しました。」
-10031	「進行状況情報を統合データベースに格納しようとしていたときにエラーが発生しました。」
-10030	「ネットワークの読み込みに失敗しました。リモートクライアントからデータを読み込めません。」
-10029	「NULL を使用できないカラムに NULL を設定しようとしています。」
-10028	「統合データベースに接続できません。同期処理をアボートします。」
-10024	「ドメイン ID %1 は認識できません。」
-10021	「統合データベースでのデッドロック後に現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。」
-10020	「スクリプトをフラッシュできません。」
-10019	「テーブルスクリプト %1.%2 をフェッチしているときにエラーが発生しました。」
-10018	「接続スクリプト %1 をフェッチしているときにエラーが発生しました。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10016	「'%1' をユニコードに変換できません。」
-10013	「バージョン '%1' が ml_script_version テーブルに見つかりません。同期できません。」
-10004	「プロトコルのバージョンが一致しません。%1 を予期していましたが、%2 を受け取りました。」
-10003	「メモリ割り付けが失敗しました。%1 バイトを割り付けようとしました。」
-10002	「統合データベースサーバまたは ODBC エラー : %1」
-10001	「プロトコルエラー : %1」
0	「エラーはありません。」

Mobile Link サーバのエラーメッセージ (五十音順)

%1

エラーコード	-10133
エラー定数	EL_JAVA_GENERIC_ERROR
パラメータ 1	メッセージ文字列。

考えられる原因

Java 同期論理の一般エラーです。詳細は、メッセージの本文にあります。

その他の情報

- 「Java 同期論理の設定」『Mobile Link サーバ管理』

%1 スクリプトが %2 を返しました。

エラーコード	-10052
エラー定数	GENERIC_ERROR_HANDLER_RETURN
パラメータ 1	ユーザ認証スクリプト名。

パラメータ 2	スクリプトの戻り値。

考えられる原因

ユーザ認証スクリプトが 3000 より大きな値を返しました。

その他の情報

- 「認証処理」『Mobile Link クライアント管理』
- 「認証パラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

%1 スクリプトから不正な戻り値 (%2) が返されました。デフォルトのアクションコード (%3) を使用します。

エラーコード	-10214
エラー定数	ERROR_HANDLER_BAD_RETURN
パラメータ 1	不正な値を返すスクリプトの名前。
パラメータ 2	スクリプトから返されたアクションの値。
パラメータ 3	使用されるアクションの値。

考えられる原因

呼び出されたエラーハンドラのスクリプトが許容値の範囲外の値を返しました。デフォルト値が使用されます。

その他の情報

- 「エラーを処理するスクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

%1 ストリームに無効なポート '%2' が指定されました。

エラーコード	-10384
エラー定数	INVALID_STREAM_PORT
パラメータ 1	ストリーム名。
パラメータ 2	ホストポート。

考えられる原因

指定したポートが無効です。1 ～ 65535 の数でなければなりません。

%1 にある JRE にアクセスできません。

エラーコード	-10145
エラー定数	EL_JAVA_JRE_PATH_INCORRECT
パラメータ 1	JRE のパス。

考えられる原因

-jrepath オプションの引数を修正して、Mobile Link で必要な Java VM をロードできるようにしてください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

%1 は ScriptExecutionException の認識できないサブクラスです。

エラーコード	-10120
エラー定数	EL_JAVA_UNKNOWN_SCRIPTEXECUTIONEXCEPTION
パラメータ 1	クラス名。

考えられる原因

指定したクラス名は、ScriptExecutionException の認識できないサブクラスです。指定できるサブクラス名には 'SynchronizationException' と 'ServerException' があります。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- SynchronizationException クラス [Mobile Link サーバ Java]『Mobile Link サーバ管理』
- ServerException クラス [Mobile Link サーバ Java]『Mobile Link サーバ管理』

%2 を使用してテーブル '%1' から削除できません。

エラーコード	-10073
エラー定数	DELETE_FROM
パラメータ 1	テーブル名。

パラメータ 2	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが統合データベースの指定されたテーブルからローを削除しているときに、エラーが発生しました。

%2 を使用してテーブル '%1' からフェッチできません。

エラーコード	-10071
エラー定数	FETCH_FROM
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが統合データベースの指定されたテーブルからローを検索しているときに、エラーが発生しました。

%2 を使用してテーブル '%1' に挿入できません。

エラーコード	-10072
エラー定数	INSERT_INTO
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが統合データベースの指定されたテーブルにローを挿入しているときに、エラーが発生しました。

%2 を使用してテーブル '%1' を更新できません。

エラーコード	-10074
エラー定数	UPDATE
パラメータ 1	テーブル名。

パラメータ 2	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが統合データベースの指定されたテーブルに対してローを更新しているときに、エラーが発生しました。

'%1'

エラーコード	-10206
エラー定数	EL_DNET_WRITE_STREAM_ERROR
パラメータ 1	エラーメッセージ。

考えられる原因

.Net CLR、または同期中に呼び出されたメソッドによって生成される一般エラーメッセージです。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET の同期スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

'%1' 付近でコマンドラインにエラーが発生しました

エラーコード	-10360
エラー定数	INVALID_SETTING_NEAR_COMMAND_OPTION
パラメータ 1	コマンドラインオプション。

考えられる原因

コマンドラインオプションが無効です。Mobile Link サーバのすべてのコマンドラインオプションと設定が有効であることを確認してください。

その他の情報

- 「mlsrv16 構文」『Mobile Link サーバ管理』

'%1' をユニコードに変換できません。

エラーコード	-10016

エラー定数	ERROR_CANNOT_CONVERT_TO_UNICODE
パラメータ 1	変換される文字列。

考えられる原因

Mobile Link サーバは、Unilib を使用して指定された文字列を Unicode に変換できませんでした。

その他の情報

- 「同期中の文字セット変換」『Mobile Link サーバ管理』

<OE>: %1

エラーコード	-10354
エラー定数	OUTBOUND_ERROR
パラメータ 1	エラー。

考えられる原因

統合化 Outbound Enabler でエラーが発生しました。

その他の情報

- 「統合化 Outbound Enabler (Mobile Link が対象)」『Relay Server』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

'-rrp' オプションが使用されましたが、ローカルサーバ接続文字列が指定されていません。'-rrp' オプションを使用するには、'-lsc' オプションを使用してローカルサーバ接続文字列を指定する必要があります。

エラーコード	-10327
エラー定数	RRP_WITH_NO_LSC

考えられる原因

'-rrp' オプションが使用されましたが、ローカルサーバの接続文字列が指定されていません。'-rrp' オプションを使用するには、'-lsc' オプションを使用してローカルサーバの接続文字列を指定する必要があります。

その他の情報

- 「-rrp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバ管理』

.NET CLR Host DLL をロードできません。

エラーコード	-10165
エラー定数	EL_DNET_HOST_LOAD_FAIL

考えられる原因

.NET CLR はロードを拒否しました。.NET CLR ユーティリティを使用してバインドとロードのログを記録して、問題を特定してください。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

.NET CLR Host で予期しないエラーが発生しました。

エラーコード	-10167
エラー定数	EL_DNET_SERVER_ERROR_FAIL

考えられる原因

Mobile Link は、ルーチン .NET 呼び出しの実行時にエラーを受け取りました。使用している .NET のインストール環境を確認してください。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバの配備」『Mobile Link サーバ管理』

.NET Framework CLR バージョン %1 をロードできません。

エラーコード	-10164
エラー定数	EL_DNET_CLR_LOAD_FAIL
パラメータ 1	CLR バージョン。

考えられる原因

この CLR バージョンがインストールされていることを確認してください。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

.NET 開始クラス '%1' をロードできませんでした。

エラーコード	-10187
エラー定数	EL_DNET_STARTCLASS_LOAD_FAIL
パラメータ 1	クラス名。

考えられる原因

Mobile Link サーバで、起動時にこのクラスをロードできませんでした。

その他の情報

- 「.NET への同期スクリプトの実装」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET の同期スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

.NET スクリプト VM には Mobile Link ODBC Bridge DLL のバージョン %1 が必要ですが、バージョン %2 が指定されています。

エラーコード	-10174
エラー定数	EL_DNET_ODBC_VER_MISMATCH
パラメータ 1	必要なバージョン。
パラメータ 2	指定したバージョン。

考えられる原因

おそらくインストールの問題です。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

.NET スクリプト VM には Mobile Link Script DLL のバージョン %1 が必要ですが、バージョン %2 が指定されています。

エラーコード	-10175
エラー定数	EL_DNET_SCRIPT_DLL_VER_MISMATCH
パラメータ 1	必要なバージョン。
パラメータ 2	指定したバージョン。

考えられる原因

おそらくインストールの問題です。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。

エラーコード	-10180
エラー定数	EL_DNET_VM_FINI_FAIL

考えられる原因

Mobile Link サーバで .NET スクリプト VM を停止できませんでした。起動クラスによって実行されたシャットダウン処理が正常に完了しない可能性があります。

その他の情報

- 「.NET への同期スクリプトの実装」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET の同期スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバ .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。%1 ワーカーがまだ付加されています。

エラーコード	-10181
エラー定数	EL_DNET_WORKERS_NOT_DETACHED
パラメータ 1	ワーカスレッドの数。

考えられる原因

ワーカスレッドがまだ付加されているので、Mobile Link サーバで .NET スクリプト VM を停止できませんでした。シャットダウンに従っていないか、シャットダウンへの応答を遅らせている起動クラスがある可能性があります。

その他の情報

- 「.NET への同期スクリプトの実装」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET の同期スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバ .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

.NET ドメイン設定ファイル '%1' が見つかりません。

エラーコード	-10191
エラー定数	EL_DNET_DOMAIN_CONFIG_FILE_MISSING
パラメータ 1	ファイル名。

考えられる原因

指定されたドメイン設定ファイルが見つかりません。ファイルの場所と設定ファイルの設定を確認してください。

その他の情報

- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl dnet mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

.NET ドメイン設定ファイルが壊れています。

エラーコード	-10176
エラー定数	EL_DNET_DOMAIN_CONFIG_FILE_CORRUPT

考えられる原因

.NET 設定ファイルの内容にエラーがないか確認してください。

その他の情報

- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバ .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

1 つ以上の無効な値が設定されているため、'%1' を使用した検索が失敗しました。

エラーコード	-10390
エラー定数	LDAPUA_SEARCHFAIL
パラメータ 1	検索を指定する LDAP サーバ名または検索 URL。

考えられる原因

LDAPUA の検索または検証が失敗し、無効な設定が原因で、LDAP_INVALID_CREDENTIALS、LDAP_INSUFFICIENT_ACCESS、LDAP_INVALID_DN_SYNTAX、LDAP_NO_SUCH_OBJECT、または LDAP_FILTER_ERROR を返しました。アクセスアカウント値を調べ、名前付き LDAP サーバまたは検索 URL がないか確認してください。

2 つ以上の Mobile Link クライアントが同時にファイル '%1' をアップロードしています。

エラーコード	-10345
エラー定数	SIMULTANEOUS_CLIENT_UPLOADS
パラメータ 1	アップロードファイル名。

考えられる原因

ファイルが 1 つ以上のクライアントによってアップロードされています。1 つのクライアントで一度にアップロードできるファイルは 1 つのみです。

その他の情報

- 「同期処理」『Mobile Link クイックスタート』

2 つ以上の Mobile Link クライアントが同時にファイル '%1' をアップロードしているか、テンポラリファイル '%2' を開くのに失敗しました。

エラーコード	-10346
エラー定数	SIMULTANEOUS_CLIENT_UPLOADS_OR_OPEN_FAILED
パラメータ 1	アップロードファイル名。

パラメータ 2	テンポラリアップロードファイル名。

考えられる原因

ファイルが 1 つ以上のクライアントによってアップロードされているか、または Mobile Link サーバでテンポラリファイルを開くことができませんでした。1 つのクライアントで一度にアップロードできるファイルは 1 つのみであり、テンポラリファイルが必要です。

その他の情報

- 「ダウンロードの失敗の再開」『Mobile Link サーバ管理』

DLL ('%1') からエントリポイントをロードできません。

エラーコード	-10088
エラー定数	EL_UNABLE_TO_LOAD_ENTRY_POINTS
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前。

考えられる原因

使用している Mobile Link サーバのインストール環境を確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバの配備」『Mobile Link サーバ管理』

DLL または共有オブジェクト '%1' (スクリプト言語 : '%2') をロードできません。

エラーコード	-10086
エラー定数	EL_UNABLE_TO_LOAD_LANG_DLL
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前。
パラメータ 2	スクリプト言語名。

考えられる原因

スクリプト言語が有効であることを確認してください。現在のところ、Mobile Link サーバがサポートするスクリプト言語は、SQL (sql)、Java (java)、.NET (dnet) です。

その他の情報

- 「サーバ側の同期論理の作成オプション」『Mobile Link クイックスタート』

DLL または共有オブジェクト ('%1') のバージョンの不一致。必要なバージョン : %2、取得したバージョン : %3

エラーコード	-10087
エラー定数	EL_WRONG_LANG_DLL_VERSION
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前。
パラメータ 2	必要なバージョン番号。
パラメータ 3	指定したバージョン番号。

考えられる原因

使用している Mobile Link サーバのインストール環境を確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバの配備」『Mobile Link サーバ管理』

DLL または共有オブジェクトをロードできません : %1

エラーコード	-10107
エラー定数	CANNOT_LOAD_DLL
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前。

考えられる原因

この DLL または共有オブジェクトをロードできませんでした。正しいバージョンの DLL または共有オブジェクトが正しいロケーションにあることを確認してください。

DownloadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。

エラーコード	-10221
エラー定数	EL_JAVA_FAILED_ALLOC_DOWNLOAD_DATA

考えられる原因

Java VM がメモリ不足です。Java VM に使用できるメモリ容量を増やしてみてください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバでのメモリの使用」『Mobile Link サーバ管理』

DTC トランザクションマネージャを取得できません -- システムエラー : '%1'

エラーコード	-10286
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_GET_TRANS_MANAGER

考えられる原因

Mobile Link サーバが、トランザクションマネージャを取得できませんでした。ローカルコンピュータで分散トランザクションコーディネーター (DTC) のサービスが実行されていることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-cs mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

handle_UploadData イベントスクリプトを void にするか、NULL を返す必要があります。

エラーコード	-10223
エラー定数	HANDLE_UPLOAD_DATA_SHOULD_BE_VOID

考えられる原因

この handle_UploadData スクリプトを書き直し、戻り値のタイプを void にするか、戻り値を NULL にしてください。

その他の情報

- 「handle_UploadData 接続イベント」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ダイレクトローハンドリング」『Mobile Link サーバ管理』

I/O 完了ポートを作成できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10258
エラー定数	CANNOT_CREATE_COMPLETION_PORT

パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

Java VM 共有ライブラリをロードできません。 共有ライブラリのパスおよび LD_PRELOAD が正しく設定されており、ダイナミックローダのバージョンでサポートされていることを確認してください。

エラーコード	-10209
エラー定数	EL_JAVA_VM_HP_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバで Java VM 共有ライブラリをロードできませんでした。Java VM 共有ライブラリがインストールされ、パスが正しく設定されているか、また LD_PRELOAD が正しく設定され、使用しているダイナミックローダのバージョンでサポートされているか確認してください。

その他の情報

- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Java クラス %2 に必要なメソッド '%1' をロードできませんでした。

エラーコード	-10128
エラー定数	EL_JAVA_BOOT_CLASS_METH_LOAD_ERR
パラメータ 1	メソッド名。
パラメータ 2	クラス名。

考えられる原因

これは内部の起動エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

Java 例外

エラーコード	-10148
エラー定数	EL_JAVA_EXCEPTION

考えられる原因

詳細については、Mobile Link ログの、このエラーに隣接するエラーメッセージを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-o mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Java 例外を取得しました。タイプ : %1 例外メッセージ : %2

エラーコード	-10118
エラー定数	EL_JAVA_CAUGHT_JAVA_EXCEPTION_WITH_TYPE
パラメータ 1	クラス名。
パラメータ 2	エラーメッセージ。

考えられる原因

Java スクリプトが原因で例外が発生しました。例外の原因となった問題を解決するか、コードを変更して例外を回避してください。

その他の情報

- 「Java 同期論理」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

JDBC 接続を付加できません。

エラーコード	-10160
エラー定数	EL_JAVA_JDBC_UNABLE_TO_ATTACH

考えられる原因

JDBC 接続を作成するために ODBC 接続をラップできませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

JVM 設定ファイル %1 内にエントリが多すぎます。

エラーコード	-10147
エラー定数	EL_JAVA_TOO_MANY_ENTRIES_IN_JVM_CFG
パラメータ 1	設定ファイル。

考えられる原因

jvm.cfg が破損している可能性があります。jvm.cfg ファイルの内容を確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

JVM 設定ファイル %1 内に不正な行があります。 行はすべて、「#」または「-」で始まる必要があります。

エラーコード	-10136
エラー定数	EL_JAVA_INVALID_LINE_IN_JVM_CFG
パラメータ 1	設定ファイル名。

考えられる原因

jvm.cfg 設定ファイルを解析できませんでした。このファイルの内容が有効であることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

JVM 設定ファイル %1 にエントリがありません。

エラーコード	-10138

エラー定数	EL_JAVA_NO_ENTRIES_IN_JVM_CFG
パラメータ 1	設定ファイル名。

考えられる原因

jvm.cfg ファイルが見つかった場合は、1 行以上あることが予期されます。jvm.cfg を削除するか設定してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

JVM 設定ファイル %1 に不正な行があります。 行が長すぎます。

エラーコード	-10137
エラー定数	EL_JAVA_LINE_TOO_LONG_IN_JVM_CFG
パラメータ 1	設定ファイル名。

考えられる原因

jvm.cfg 設定ファイルを解析できませんでした。行が最大長を超えています。このファイルの内容が有効であることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

LANG: %1 - スレッドの付加に失敗しました。

エラーコード	-10084
エラー定数	EL_FAILED_TO_ATTACH_THREAD
パラメータ 1	スクリプト言語の名前。

考えられる原因

Mobile Link サーバのスレッドが、指定されたスクリプト言語を処理するのに使用される DLL または共有オブジェクトにスレッド自身を付加できませんでした。Mobile Link サーバのインストール環境に、必要な DLL または共有オブジェクトがすべて含まれていることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ」『Mobile Link サーバ管理』

LANG: %1 - データベース接続の割り付けに失敗しました。

エラーコード	-10085
エラー定数	EL_FAILED_TO_ALLOCATE_CONNECTION
パラメータ 1	スクリプト言語の名前。

考えられる原因

データベースサーバに接続できませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ」『Mobile Link サーバ管理』

LDAP サーバ '%1' での検索は、一致する結果なしで完了しました。

エラーコード	-10393
エラー定数	LDAPUA_NO_SEARCH_RESULTS
パラメータ 1	検索を指定する LDAP サーバ名または検索 URL。

考えられる原因

LDAPUA の検索または検証が失敗し、LDAP_NO_RESULTS_RETURNED を返しました。このエラーは、ユーザが LDAP サーバに存在しない場合に発生が想定されています。

LDAP サーバ '%1' は、匿名のバインドを受け入れない可能性があります。

エラーコード	-10391
エラー定数	LDAPUA_ANONBINDERR
パラメータ 1	検索を指定する LDAP サーバ名または検索 URL。

考えられる原因

LDAPUA の検索または検証が失敗し、ターゲットの LDAP サーバの無効な設定が原因で LDAP_INAPPROPRIATE_AUTH を返しました。アクセスアカウント値を調べ、名前付き LDAP サーバまたは検索 URL がないか確認してください。

LDAP サーバ '%1' は適切に定義されていません。

エラーコード	-10394
エラー定数	LDAPUA_SERVER_INCOMPLETE
パラメータ 1	LDAP サーバの名前。

考えられる原因

少なくとも 1 つのパラメータ、検索 URL、アクセスアカウント DN、アクセスパスワード、認証 URL が NULL であるため、LDAP サーバが正しく定義されませんでした。

LDAP サーバに対するユーザ '%1' の認証に失敗しました。

エラーコード	-10399
エラー定数	FAILED_TO_AUTHUSER_WITH_LDAP
パラメータ 1	ユーザ名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが、LDAP サーバに対してユーザを認証できませんでした。現在のユーザに対するユーザパスワードや LDAP サーバの設定を確認してください。

LDAP ユーザ認証は、現在のプラットフォームでは使用できません。

エラーコード	-10407
エラー定数	LDAPUA_NOT_SUPPORTED_ON_PLATFORM

考えられる原因

現在のプラットフォーム上で Mobile Link サーバにより LDAP ユーザ認証がサポートされていません。

-lsc と -ca 両方のオプションを指定する必要があります。

エラーコード	-10357
エラー定数	NEED_BOTH_LSC_CA_SETTINGS

考えられる原因

Mobile Link サーバがサーバファームで稼働している場合に、Notifier／QAnywhere で必要とされるプライマリ／セカンダリサーバ論理を有効にするには、Mobile Link サーバでは、-lsc 設定と -ca 設定の両方が必要となります。

その他の情報

- 「-lsc mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-ca mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「サーバファーム内の Mobile Link サーバ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Windows 用 Mobile Link 監視サーバユーティリティ (mlarbiter)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「UNIX 用 Mobile Link 監視サーバユーティリティ (mlarbiter.sh)」『Mobile Link サーバ管理』

MLDBCommand.Close() を呼び出した後に、SQL 文 '%1' を実行しようとしました。

エラーコード	-10197
エラー定数	EL_DNET_NO_EXECUTE_ON_CLOSED
パラメータ 1	SQL 文。

考えられる原因

データベース接続が閉じているときに SQL 文が実行されています。データベース接続が開いていることを確認してから、文を実行してください。

MLDBCommand.Close() を呼び出した後に、SQL 文 '%1' を準備しようとしました。

エラーコード	-10194
エラー定数	EL_DNET_NO_PREPARE_ON_CLOSED
パラメータ 1	SQL 文。

考えられる原因

データベース接続が閉じているときに SQL 文が準備されています。データベース接続が開いていることを確認してから、文を準備してください。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

MLDBCommand.Prepare() を呼び出す前にバウンドパラメータを持つ SQL 文を実行しようとしました。

エラーコード	-10199
エラー定数	EL_DNET_NO_STMT_PREPARED_ON_BIND

考えられる原因

準備されていない文にパラメータをバインドしようとしました。文を準備してからパラメータをバインドしてください。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「準備文の実行」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「バウンドパラメータを使用した文の実行」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- sqlany_prepare メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- sqlany_bind_param メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

MLSD をサポートできません。

エラーコード	-10296
エラー定数	MLSD_NOT_SUPPORTED

考えられる原因

Mobile Link サーバが、統合データベース以外のデータベースに格納されているシステムオブジェクトをサポートできませんでした。このデータベースサーバの ODBC ドライバは Microsoft 分散トランザクションをサポートしていません。統合データベースに Mobile Link サーバシステムオブジェクトをインストールし、-cs オプションをコマンドラインから削除してください。

その他の情報

- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-cs mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Mobile Link サーバでエラーが発生したため、同期がアボートされました。

エラーコード	-10244
エラー定数	DEFAULT_SERVER_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバでエラーが発生しました。このエラーの詳細については、Mobile Link サーバメッセージログを参照してください。

その他の情報

- 「-dl mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-o mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Mobile Link サーバとクライアントの実装 ID が一致しません。

エラーコード	-10295
エラー定数	MISMATCH_IMPLEMENTATION_ID

考えられる原因

サーバとクライアントの実装 ID が一致しないため、Mobile Link サーバは同期要求を受け入れることができませんでした。

Mobile Link サーバの DLL または共有オブジェクトのバージョンが、データレイヤの DLL または共有オブジェクトのバージョンと一致しません。

エラーコード	-10081
エラー定数	DL_VERSION_MISMATCH

考えられる原因

アップロードデータとダウンロードデータを処理する Mobile Link サーバの DLL または共有オブジェクトが、データベースと対話するために使用されるデータレイヤ DLL または共有オブジェクト (ODBC) のバージョンと一貫性がありません。使用している Mobile Link サーバのインストール環境を確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバの配備」『Mobile Link サーバ管理』

Mobile Link サーバの重要なコンポーネントが正しく起動できませんでした。

エラーコード	-10359
エラー定数	CRITICAL_SERVER_COMPONENT_FAILED_TO_START

考えられる原因

起動時のその他のエラーによってこの問題が発生していないかどうかを調べてください。他にエラーがない場合は、内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

Mobile Link サーバは、64 ビットオペレーティングシステムで、64 ビットアプリケーションとして実行する必要があります

エラーコード	-10381
エラー定数	UNSUPPORTED_OS

考えられる原因

64 ビットのオペレーティングシステム上で 32 ビットバージョンの Mobile Link サーバが実行されています。64 ビットバージョンを使用してください。

Mobile Link サーバは、ml_scripts_modified テーブルを使用して統合データベースのタイムスタンプ精度を計算できませんでした。タイムスタンプ精度に関する警告は生成されません。

エラーコード	-10076
エラー定数	UNKNOWN_CONSOLIDATED_TIMESTAMP_PRECISION

考えられる原因

Mobile Link サーバでは、時間関係のすべての値を適切に同期するために、統合データベースの最大タイムスタンプ精度を計算する必要があります。このエラーは通常、推奨されていない ODBC ドライバが使用されている場合に発生します。推奨された ODBC ドライバを使用して Mobile Link サーバを起動してください。

その他の情報

- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバ」『Mobile Link サーバ管理』

Mobile Link サーバは起動に失敗しました

エラーコード	-10382
エラー定数	FAILED_STARTUP

考えられる原因

起動中に発生したエラーが原因でサーバを実行できません。

Mobile Link システムテーブル '%1' がないか、テーブルカラムがありません。

エラーコード	-10100
エラー定数	ML_TABLE_OR_COLUMN_MISSING
パラメータ 1	テーブル名。

考えられる原因

統合データベースにテーブルまたはテーブルカラムが見つかりません。Mobile Link テーブルがインストールされていないか、アップグレードが必要です。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバのシステムテーブル」『Mobile Link サーバ管理』

Notifier '%1' の poll_every プロパティが無効です。有効なフォーマットは、秒数に <num> を使用します。

エラーコード	-10336
エラー定数	NOTIFIER_INVALID_POLL_EVERY
パラメータ 1	Notifier 名。

考えられる原因

指定した Notifier の poll_every プロパティが無効です。秒数の有効なフォーマットは <num> です。

Notifier '%1' の request_cursor が指定されていません。

エラーコード	-10334
エラー定数	NOTIFIER_NO_REQUEST_CURSOR
パラメータ 1	Notifier 名。

考えられる原因

特定の Notifier に request_cursor が指定されていません。

その他の情報

- 「request_cursor イベント」『Mobile Link サーバ起動同期』

Notifier は統合データベースに接続できませんでした。

エラーコード	-10340
エラー定数	NOTIFIER_UNABLE_TO_CONNECT_TO_CONSOLIDATED

考えられる原因

Notifier が統合データベースに接続できませんでした。

その他の情報

- 「Notifier」『Mobile Link サーバ起動同期』
- 「Notifier イベントとプロパテの設定」『Mobile Link サーバ起動同期』

NULL SQL 文を実行しようとしました。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Execute メソッドを呼び出してください。

エラーコード	-10196
エラー定数	EL_DNET_NO_EXECUTE_ON_NULL

考えられる原因

NULL の SQL 文が実行されています。SQL 文が NULL ではないことを確認してから、実行してください。

NULL SQL 文を準備しようとしました。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Prepare() を呼び出してください。

エラーコード	-10195
エラー定数	EL_DNET_NO_PREPARE_ON_NULL

考えられる原因

NULL の SQL 文が準備されています。SQL 文が NULL ではないことを確認してから、準備してください。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

NULL を使用できないカラムに NULL を設定しようとしています。

エラーコード	-10029
エラー定数	NULL_FOR_NONNULL

考えられる原因

Mobile Link サーバが、NULL 入力が不可能なカラムに NULL をダウンロードしようとしました。

その他の情報

- 「競合解決」『Mobile Link サーバ管理』

ODBC 接続文字列に、64 ビット Mobile Link と互換性のないドライバが指定されています

エラーコード	-10379
エラー定数	DRIVER_NOT_64BIT_SAFE

考えられる原因

使用しているドライバは 64 ビットの Mobile Link では安全に使用できません。ドライバの設定をやり直すか、または別のドライバを指定します。Mobile Link の推奨 ODBC ドライバのリストを参照してください。

ODBC を初期化できません。

エラーコード	-10066
エラー定数	ODBC_UNABLE_TO_INITIALIZE

考えられる原因

Mobile Link サーバが、ODBC レイヤを初期化できませんでした。Mobile Link サーバを起動するのに十分なメモリがあることを確認し、推奨された ODBC ドライバで Mobile Link サーバを起動してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバでのメモリの使用」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバ」『Mobile Link サーバ管理』

QAnywhere はサポートされなくなりました。

エラーコード	-10406
エラー定数	QANY_PROTOCOL_NOT_SUPPPORTED

考えられる原因

QAnywhere はサポートされなくなりました。

RTNotifier は '%1' という名前のプロパティを認識しません。

エラーコード	-10335
エラー定数	RTNOTIFIER_INVALID_PROPERTY
パラメータ 1	プロパティ名。

考えられる原因

指定したプロパティは、RTNotifier で認識されません。

その他の情報

- 「リモートタスク Notifier (RTNotifier)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ml_add_property システムプロシージャ」『Mobile Link サーバ管理』

TLS ON は、URL '%1' と一緒には使用できません。

エラーコード	-10395
エラー定数	LDAPUA_TLS_WITH_LDAPS
パラメータ 1	セキュア LDAP を使用している LDAP URL。

考えられる原因

TLS ON で LDAP サーバが指定され、指定された LDAP URL でセキュア LDAP を使用しています。つまり、'ldap' ではなく 'ldaps' となっていますが、これは有効な組み合わせではありません。TLS ON か 'ldaps' の URL のどちらかを使用してください。

UNILIB 照合 %1 をロードできません：%2

エラーコード	-10099
エラー定数	UNABLE_TO_LOAD_CID2
パラメータ 1	Unilib 文字セット ID。
パラメータ 2	Unilib エラー文字列。

考えられる原因

Mobile Link サーバが Unilib コンバーターを初期化できません。インストールが破損しているか、必要な照合が使用不可です。

update_poll_every プロパティは無効です。有効なフォーマットは、秒数に <num> を使用します。

エラーコード	-10361
エラー定数	INVALID_UPDATE_POLL_EVERY

考えられる原因

update_poll_every SIRT グローバルプロパティが無効です。秒数の有効なフォーマットは <num> です。update_poll_every が ml_property テーブルの有効なフォーマットになっていることを確認してください。

その他の情報

- 「リモートタスク Notifier (RTNotifier)」『Mobile Link サーバ管理』

upload_fetch または upload_fetch_column_conflict スクリプトのいずれか 1 つしかテーブル '%1' に定義できません

エラーコード	-10220
エラー定数	MULTIPLE_UPLOAD_FETCH_SCRIPTS
パラメータ 1	テーブル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバでは、これらのいずれか 1 つのスクリプトを使用して競合が検出されます。いずれか 1 つのスクリプトだけを定義してください。

その他の情報

- 「upload_fetch スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』
- 「upload_fetch テーブルイベント」『Mobile Link サーバ管理』
- 「upload_fetch_column_conflict テーブルイベント」『Mobile Link サーバ管理』

UploadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。

エラーコード	-10222
エラー定数	EL_JAVA_FAILED_ALLOC_UPLOADED_TRANSACTION

考えられる原因

Java VM がメモリ不足です。Java VM に使用できるメモリ容量を増やしてみてください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバでのメモリの使用」『Mobile Link サーバ管理』

URL '%1' とのバインドは失敗しました。報告されたもっとも新しい LDAP API エラーは、'%2' です。

エラーコード	-10396
エラー定数	LDAPUA_BINDFAIL
パラメータ 1	bind() で使用する LDAP URL。
パラメータ 2	LDAP API のエラーメッセージ。

考えられる原因

メッセージは、LDAP API クライアントから、LDAP のユーザ認証方式のコンテキストで報告されます。LDAP 管理者または Sybase テクニカルサポートは、これらの低レベルメッセージを使用して問題の解決方法を DBA に指示する場合があります。

アセンブリ '%1' に '%2' が含まれていません。

エラーコード	-10172
エラー定数	EL_DNET_SCRIPT_NOT_IN_ASM
パラメータ 1	アセンブリ名。
パラメータ 2	見つからないメソッド名。

考えられる原因

メソッドは実装されているが、名前が間違っている場合は、名前を変更してください。メソッドがない場合は、アセンブリにメソッドを追加する必要があります。

その他の情報

- 「.NET への同期スクリプトの実装」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバ管理』

アセンブリ '%1' は、'%3' のバージョン %2 に対してコンパイルされています。バージョン %4 に対して再コンパイルしてください。

エラーコード	-10171
エラー定数	EL_DNET_SCRIPT_VER_MISMATCH
パラメータ 1	アセンブリ名。
パラメータ 2	アセンブリのバージョン。
パラメータ 3	DLL 名。
パラメータ 4	必要なアセンブリのバージョン。

考えられる原因

表示されたバージョンの不一致を修正してから再実行してください。

その他の情報

- 「.NET への同期スクリプトの実装」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバ管理』

アセンブリ '%1' をドメイン '%2' にロードできません。

エラーコード	-10193
エラー定数	EL_DNET_ASM_LOAD_FAIL
パラメータ 1	アセンブリ名。
パラメータ 2	ドメイン名。

考えられる原因

指定されたアセンブリをロードできませんでした。.NET CLR ユーティリティを使用してバインドとロードのログを記録して、問題を特定してください。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバ管理』

アップロードテーブル '%1' (カラム #%2) にはデータ型 '%3' がありますが、ODBC ドライバは '%4' をサポートしていません。

エラーコード	-10245
エラー定数	DATATYPE_NOT_SUPPORTED_BY_DRIVER
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	カラムのインデックス。
パラメータ 3	SQL Anywhere データ型。
パラメータ 4	ODBC データ型。

考えられる原因

アップロードテーブルに、ODBC ドライバでサポートされていないデータ型のカラムがあります。Mobile Link サーバで、推奨される ODBC ドライバを使用していることを確認してください。

その他の情報

- 「リモートデータベースと統合データベース間での Mobile Link データマッピング」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link 統合データベース」『Mobile Link サーバ管理』
- http://www.sybase.com/detail?id=1011880

アドレスを再利用できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10273
エラー定数	UNABLE_TO_REUSE_ADDRESS
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

一度に 1 つのファイル転送要求しか処理できません。

エラーコード	-10383
エラー定数	ONLY_ONE_FT_REQUEST

考えられる原因

クライアントが同時に複数のファイル転送を要求しました。

インストールディレクトリまたはクラスパス内に JAR ファイル '%1' が見つかりません。

エラーコード	-10142
エラー定数	EL_JAVA_JAR_NOT_FOUND
パラメータ 1	JAR ファイル名。

考えられる原因

見つからない JAR ファイルをインストールしてください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバの配備」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Java 同期論理の設定」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

エラーはありません。

エラーコード	0
エラー定数	NONE

考えられる原因

このコードはエラーがなかったことを示しています。

オプション '%1' および '%2' は同時に使用しないでください。

エラーコード	-10139
エラー定数	EL_JAVA_EXCLUSIVE_FLAGS
パラメータ 1	オプション名。
パラメータ 2	オプション名。

考えられる原因

いずれか一方のオプションを使用するか、両方とも使用しないことを検討してください。両方とも使用することはできません。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

オプション '%1' にはパスが必要です。

エラーコード	-10140
エラー定数	EL_JAVA_FLAG_NEEDS_PATH
パラメータ 1	オプション名。

考えられる原因

このオプションに続いてパスを指定する必要があります。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

オプション '%1' は以前に、Mobile Link コマンドラインで値 '%2' を使用して定義されました。

エラーコード	-10162
エラー定数	EL_DNET_OPTION_DEFINED
パラメータ 1	オプションの名前。
パラメータ 2	余分なオプションの値。

考えられる原因

指定したオプションは、複数回指定できません。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

オプション '%1' は無効であるか、Mobile Link コマンドラインで正しく指定されませんでした。

エラーコード	-10163
エラー定数	EL_DNET_INVALID_OPTION
パラメータ 1	オプションの名前。

考えられる原因

オプションの指定方法が間違っています。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバ .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

オプションが多すぎて、Java VM に送ることができません。

エラーコード	-10146

エラー定数	EL_JAVA_TOO_MANY_OPTIONS

考えられる原因

Java VM に渡されたオプションの数が多すぎます。コマンドライン引数の数を減らしてください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

カーソルで %1 カラムを予期しましたが、%2 が見つかりました。

エラーコード	-10050
エラー定数	ODBC_WRONG_NUM_COLUMNS
パラメータ 1	想定されていたカラム数。
パラメータ 2	見つかったカラム数。

考えられる原因

アップロードスクリプトまたはダウンロードスクリプトで検出されたパラメータの数が、指定されたテーブルに対するカラム数またはプライマリキーカラム数と一致しません。指定されたスクリプトに対するパラメータの数を確認してください。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「同期イベント」『Mobile Link サーバ管理』

監視サーバに接続する際に、設定問題が検出されました。

エラーコード	-10350
エラー定数	WRONG_DBTYPE_FOR_ARBITER

考えられる原因

監視サーバへの接続時に、Mobile Link で構成の問題が検出されました。インストール環境を確認してください。

その他の情報

- 「Windows 用 Mobile Link 監視サーバユーティリティ (mlarbiter)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「UNIX 用 Mobile Link 監視サーバユーティリティ (mlarbiter.sh)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-ca mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-lsc mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

監視サーバに接続できませんでした。

エラーコード	-10349
エラー定数	UNABLE_TO_CONNECT_TO_ARBITER

考えられる原因

Mobile Link サーバで、監視サーバに接続できませんでした。監視サーバが稼働していることと、接続パラメータを確認してください。

その他の情報

- 「Windows 用 Mobile Link 監視サーバユーティリティ (mlarbiter)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「UNIX 用 Mobile Link 監視サーバユーティリティ (mlarbiter.sh)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-ca mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-lsc mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

完了ポートで待機できません (システムエラー：%1)

エラーコード	-10270
エラー定数	UNABLE_TO_WAIT_ON_COMPLETION_PORT
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

共有インストールディレクトリが不正です：%1

エラーコード	-10144
エラー定数	EL_JAVA_SHARED_LOCATION_INCORRECT

パラメータ 1	SQL Anywhere の共有ディレクトリ。

考えられる原因

正しい場所を指すように共有コンポーネント環境変数を修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

共有コンポーネントディレクトリを見つけられません。 JRE の格納場所がオプションで指定されていません。 JRE がどこに格納されているかわかりません。

エラーコード	-10143
エラー定数	EL_JAVA_COULD_NOT_FIND_JRE

考えられる原因

正しい場所を指すように共有コンポーネント環境変数を設定するか、-jrepath オプションを使用して JRE の場所を指定してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

共有メモリファイルを作成できません。

エラーコード	-10282
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_SHARED_MEMORY

考えられる原因

Mobile Link サーバは、指定された Mobile Link サーバ名を使用して共有メモリファイルを作成できませんでした。ローカルマシンで同名の Mobile Link サーバが実行中であるかどうかを確認してください。

記録されたプロトコルファイルを閉じられません。

エラーコード	-10324

エラー定数	RECORDER_CLOSE_FAILED

考えられる原因

サーバで、記録済みのプロトコルファイルを閉じることができませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-rp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-rrp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

記録用のファイル '%1 を開けません。

エラーコード	-10316
エラー定数	RECORDER_OPEN_FAILED
パラメータ 1	ファイル名。

考えられる原因

サーバで、記録用のファイルを開くことができませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-rrp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-rp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-lsc mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

空間ジオメトリパラメータ %1 に無効な修飾子が見つかりました。

エラーコード	-10332
エラー定数	INVALID_GEOM_TYPE_NUM
パラメータ 1	パラメータのカラム番号。

考えられる原因

パラメータは :srid または :data で修飾する必要があります。

その他の情報

- 「空間データの同期」『Mobile Link サーバ管理』

空間ジオメトリパラメータ '%1' に無効な修飾子が見つかりました。

エラーコード	-10333
エラー定数	INVALID_GEOM_TYPE_NAME
パラメータ 1	パラメータのカラム名。

考えられる原因

パラメータは :srid または :data で修飾する必要があります。

その他の情報

- 「空間データの同期」『Mobile Link サーバ管理』

空間ライブラリエラー : '%1'

エラーコード	-10330
エラー定数	SPATIALLIB_ERROR
パラメータ 1	空間ライブラリによって生成される実際のエラーコードまたはエラーメッセージ。

考えられる原因

エラーの原因を特定するには、空間ライブラリの実際のエラーメッセージを確認してください。

クライアントエラー %1 が発生し、アップロードに失敗しました。

エラーコード	-10032
エラー定数	UPLOAD_FAILED
パラメータ 1	クライアントが送信したエラー番号。

考えられる原因

クライアントがアップロード中にリモートサイトに問題があることを示したので、Mobile Link サーバは同期をアボートしました。

その他の情報

- 「ダウンロードの失敗」『Mobile Link サーバ管理』

クライアントエラー %1 が発生し、ダウンロードに失敗しました。

エラーコード	-10035
エラー定数	DOWNLOAD_FAILED_WITH_ERROR
パラメータ 1	クライアントが送信したエラー番号。

考えられる原因

クライアントがダウンロード中にリモートサイトに問題があることを示した場合、Mobile Link サーバは同期をアボートします。

その他の情報

- 「ダウンロードの失敗」『Mobile Link サーバ管理』

クライアントがコマンドシーケンスを送信しきれませんでした。

エラーコード	-10410
エラー定数	INCOMPLETE_SYNC_COMMANDS

考えられる原因

クライアントから、同期の実行のための完全なコマンドセットが送信されませんでした。クライアントのアボートやネットワーク接続の中断が原因である可能性があります。

クライアントから %1 認証パラメータを予期していましたが、スクリプト %3 に対して %2 を受け取りました。

エラーコード	-10094
エラー定数	WRONG_AUTH_PARM_COUNT
パラメータ 1	想定されていたパラメータ数。
パラメータ 2	クライアントから渡されたパラメータ数。
パラメータ 3	パラメータが必要なスクリプト。

考えられる原因

クライアントから受信した認証パラメータの数が、予期した数と一致しません。クライアントパラメータの数は、authenticate_parameters スクリプトが要求する数より 2 小さい数です。

その他の情報

- 「認証パラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

クライアントから受信したサブスクリプションリストは、破損しているか無効です。

エラーコード	-10291
エラー定数	CORRUPT_MLSUBS_DATA

考えられる原因

Mobile Link サーバが、クライアントから破損しているデータを受信しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

クライアントテーブル '%1' のカラム数が ml_column で定義された値と一致していません。

エラーコード	-10280
エラー定数	INVALID_NUMBER_OF_CLIENT_COLUMNS
パラメータ 1	テーブルの名前。

考えられる原因

クライアントからテーブルに対して送信されたカラムの数が ml_column で定義された数よりも多くなっています。ml_column が最新の状態であることを確認してください。

その他の情報

- 「ml_add_column システムプロシージャ (廃止予定)」『Mobile Link サーバ管理』

クライアントは要求されたファイル '%1' をアップロードする権限がありません。

エラーコード	-10409
エラー定数	FILETRANSFER_UPLOAD_AUTH_FAILED
パラメータ 1	ファイル名。

考えられる原因

authenticate_file_upload スクリプトが 2000 以上の値を返しました。

クライアントは要求されたファイル '%1' をダウンロードする権限がありません。

エラーコード	-10408
エラー定数	FILETRANSFER_DOWNLOAD_AUTH_FAILED
パラメータ 1	ファイル名。

考えられる原因

authenticate_file_transfer スクリプトが 2000 以上の値を返しました。

クラス '%1' に適当なコンストラクタが見つかりませんでした。

エラーコード	-10153
エラー定数	EL_JAVA_NO_SUITABLE_CONSTRUCTOR
パラメータ 1	クラス名。

考えられる原因

インスタンスを作成するために Mobile Link が呼び出すことができるパブリックコンストラクタが、ユーザ指定クラスにあることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「コンストラクタ」『Mobile Link サーバ管理』

クラス '%1' のイニシャライザで例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタックトレース : '%3'

エラーコード	-10149
エラー定数	EL_JAVA_USER_EXCEPTION_IN_INIT
パラメータ 1	クラス名。
パラメータ 2	エラーテキスト。
パラメータ 3	スタックトレース。

考えられる原因

ユーザ指定のクラスのスタック初期化で例外がスローされました。スタックトレースを確認し、問題を修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

クラス '%1' のコンストラクタでシステム例外がスローされました。エラーの説明 : '%2'

エラーコード	-10155
エラー定数	EL_JAVA_SYSTEM_EXCEPTION_IN_CONSTRUCTOR
パラメータ 1	クラス名。
パラメータ 2	エラーテキスト。

考えられる原因

ユーザクラスのコンストラクタの呼び出し時にシステム例外がスローされました。スタックトレースを確認し、エラーを修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

クラス '%1' のコンストラクタで例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタックトレース : '%3'

エラーコード	-10154
エラー定数	EL_JAVA_USER_EXCEPTION_IN_CONSTRUCTOR
パラメータ 1	クラス名。
パラメータ 2	エラーテキスト。
パラメータ 3	スタックトレース。

考えられる原因

ユーザクラスのコンストラクタの呼び出し時にユーザ例外がスローされました。スタックトレースを確認し、エラーを修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

クラス '%1' の有効なコンストラクタが見つかりませんでした。

エラーコード	-10161
エラー定数	EL_DNET_NO_VALID_CONSTRUCTOR_ERROR
パラメータ 1	クラス名。

考えられる原因

Mobile Link サーバで、このクラスの有効なコンストラクタを見つけることができませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET への同期スクリプトの実装」『Mobile Link サーバ管理』

クラス '%1' をロードしているときにリンクエラーが発生しました。エラーの説明 : '%2'

エラーコード	-10150
エラー定数	EL_JAVA_LINKAGE_ERROR

パラメータ 1	クラス名。
パラメータ 2	エラーテキスト。

考えられる原因

Java VM がクラスをロードできませんでした。出力されたエラーの説明を確認し、問題を修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Java 同期論理の設定」『Mobile Link サーバ管理』

クラス '%2' に、'%1' に一致する過負荷はありません。

エラーコード	-10362
エラー定数	EL_JAVA_NO_OVERLOAD
パラメータ 1	検索対象のメソッドシグネチャ。
パラメータ 2	クラス。

考えられる原因

指定されたパラメータと一致するメソッドがありませんでした。

その他の情報

- 「メソッド」『Mobile Link サーバ管理』

クラス '%2' にある '%1' を一致させる方法は、void を返す必要があります。

エラーコード	-10403
エラー定数	EL_DNET_BAD_RETURN_TYPE
パラメータ 1	検索対象のメソッドシグネチャ。
パラメータ 2	クラス。

考えられる原因

Mobile Link サーバで実行されるメソッドからオブジェクトを返すことはできません。

クラス '%2' にある '%1' を一致させる方法は、void を返す必要があります。

エラーコード	-10402
エラー定数	EL_JAVA_BAD_RETURN_TYPE
パラメータ 1	検索対象のメソッドシグネチャ。
パラメータ 2	クラス。

考えられる原因

Mobile Link サーバで実行されるメソッドからオブジェクトを返すことはできません。

現時点では同期要求を処理できません。

エラーコード	-10387
エラー定数	UNABLE_TO_SYNC

考えられる原因

統合データベースが利用できないと思われるため、同期要求の処理を続行することができません。

この CPU では、空間のサポートは利用できません

エラーコード	-10371
エラー定数	SPATIAL_SUPPORT_UNAVAILABLE

考えられる原因

32 ビット Windows と 32 ビット Linux の空間データサポートには、SSE2 命令をサポートする CPU が必要となります。

この Mobile Link サーバは、高可用性モードで実行するようにライセンスされていません。

エラーコード	-10369
エラー定数	NO_HA_LICENCE

考えられる原因

同じ統合データベースを使用する別の Mobile Link サーバが検出されました。これは、現在のライセンスでは許可されていません。

このサーバには dbmlsync を使用するためのライセンスが付与されていません。

エラーコード	-10314
エラー定数	UNLICENSED_FOR_MLSYNC

考えられる原因

Mobile Link サーバの一部のライセンスでは、dbmlsync の使用が許可されていません。このサーバとの同期に dbmlsync を使用することはできません。

その他の情報

- 「サーバライセンス取得ユーティリティ (dblic)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- http://www.sybase.com/detail?id=1056242
- http://www.sybase.com/detail?id=1068247

このサーバには QAnywhere を使用するためのライセンスが付与されていません。

エラーコード	-10313
エラー定数	UNLICENSED_FOR_QANYWHERE

考えられる原因

Mobile Link サーバの一部のライセンスでは、QAnywhere の使用が許可されていません。-m オプションは使用できません。

その他の情報

- 「サーバライセンス取得ユーティリティ (dblic)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- http://www.sybase.com/detail?id=1056242
- http://www.sybase.com/detail?id=1068247

このサーバには、次のタイプの統合データベースに接続するためのライセンスが付与されていません：%1

エラーコード	-10309
エラー定数	UNLICENSED_FOR_THIS_CONSOLIDATED_TYPE
パラメータ 1	統合データベースのタイプ。

考えられる原因

いくつかの Mobile Link サーバライセンスが特定のタイプの統合データベースに制限されています。ライセンスが付与されているタイプの統合データベースに接続する DSN を使用してください。

その他の情報

- 「サーバライセンス取得ユーティリティ (dblic)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- http://www.sybase.com/detail?id=1056242
- http://www.sybase.com/detail?id=1068247

このサーバにはダイレクトロー API を使用するためのライセンスが付与されていません。

エラーコード	-10312
エラー定数	UNLICENSED_FOR_DIRECT_ROW_API

考えられる原因

Mobile Link サーバの一部のライセンスでは、ダイレクトロー API の使用が許可されていません。handle_UploadData または handle_DownloadData スクリプトを指定することはできません。

その他の情報

- 「サーバライセンス取得ユーティリティ (dblic)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- http://www.sybase.com/detail?id=1056242
- http://www.sybase.com/detail?id=1068247

この接続のトランザクションは、コミットまたはロールバックできません。

エラーコード	-10202
エラー定数	EL_DNET_TRANSACTS_NOT_ALLOWED

考えられる原因

Mobile Link サーバによって制御されているデータベース接続でトランザクションのコミットまたはロールバックが試行されました。スクリプトとして呼び出されるメソッドから、Mobile Link サーバのデータベース接続をコミットまたはロールバックしないでください。

この接続は、以前のエラーのために中止されます。

エラーコード	-10091
エラー定数	CONNECTION_ABANDONED

考えられる原因

アップロードストリームの処理中に発生したエラーが重大なため、今後の作業は無効になります。おそらく I/O エラーまたはプロトコルの問題が原因です。

この同期はクライアント要求によってアボートされました。

エラーコード	-10372
エラー定数	CLIENT_ABORT

考えられる原因

クライアントにより、現在の同期の終了を要求されました。

サーバがレコーダーの初期化に失敗しました。

エラーコード	-10325
エラー定数	RECORDER_INIT_FAILED

考えられる原因

サーバで、記録済みの同期ファイルを閉じることができませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-rp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-rrp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

再起動可能な同期を開始できません。

エラーコード	-10255
エラー定数	UNABLE_TO_RESTART_SYNC

考えられる原因

クライアントから要求された再起動可能な同期を Mobile Link サーバで開始できませんでした。同期はすでに完了しているか、Mobile Link サーバが再起動された可能性があります。

その他の情報

- 「ダウンロードの失敗の再開」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-ds mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

最大 -x oe スイッチ 1 つを使用できます。

エラーコード	-10358
エラー定数	TOO_MANY_X_OE

考えられる原因

Mobile Link サーバでは、統合化 OE は 1 つのみサポートされています。同一の Mobile Link サーバで複数の Relay Server ファームを使用する必要がある場合は、rsoe.exe を使用してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Outbound Enabler」『Relay Server』

作成された SQL 文 '%1' には %2 パラメータが必要ですが、パラメータ %3 が指定されています。

エラーコード	-10200
エラー定数	EL_DNET_NUM_BOUND_PARAM_MISMATCH
パラメータ 1	SQL 文。
パラメータ 2	必要なパラメータ数。
パラメータ 3	指定したパラメータ数。

考えられる原因

実行した文のパラメータ数が間違っています。正しい数のパラメータを指定してから文を実行してください。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「準備文の実行」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「バウンドパラメータを使用した文の実行」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- sqlany_prepare メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- sqlany_bind_param メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

作成された SQL 文 '%1' には %2 パラメータが必要ですが、パラメータ %3 が指定されていません。

エラーコード	-10198
エラー定数	EL_DNET_PARAM_NOT_BOUND
パラメータ 1	SQL 文。
パラメータ 2	必要なパラメータ数。
パラメータ 3	指定したパラメータ数。

考えられる原因

実行した文のパラメータ数が少なすぎます。正しい数のパラメータを指定してから文を実行してください。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「準備文の実行」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- 「バウンドパラメータを使用した文の実行」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- sqlany_prepare メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- sqlany_bind_param メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

システムパラメータ %1 に NULL が設定されています。

エラーコード	-10229
エラー定数	SYSTEM_PARAMETER_NULL
パラメータ 1	システムパラメータ名。

考えられる原因

システムパラメータは変更できますが、NULL には設定できません。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

シャットダウン中に開始したリクエストをアボートしています。

エラーコード	-10374
エラー定数	REQUEST_DURING_SHUTDOWN

考えられる原因

シャットダウン要求を受信した後に開始した要求を、Mobile Link サーバがアボートしました。

受信したファイルが予期していたファイルと一致しないため、%1 のアップロードは失敗しました

エラーコード	-10373
エラー定数	FILETRANSFER_UPLOAD_FAILED
パラメータ 1	ファイル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが受信したファイルが想定されていたファイルと一致しなかったため、ファイル転送に失敗しました。ファイル転送をリトライします。

受信接続を受け入れられません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10276
エラー定数	UNABLE_TO_ACCEPT_INCOMING_CONNECTION
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

新規データベース接続を作成できません。

エラーコード	-10159
エラー定数	EL_JAVA_JDBC_UNABLE_TO_CONNECT

考えられる原因

新しい JDBC ラッパを作成するために必要な新しい ODBC 接続を作成できませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

進行状況情報を統合データベースに格納しようとしていたときにエラーが発生しました。

エラーコード	-10031
エラー定数	TXN_LOG_COOKIE_UPDATE_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバは、同期ステータスを統合データベースに保存できません。データベースサーバが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

その他の情報

- 「SQL Anywhere データベースサーバの構文」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

スクリプト %1 のクラスおよびメソッド名を解析できません。

エラーコード	-10125
エラー定数	EL_JAVA_SCRIPT_FORMAT_ERROR
パラメータ 1	スクリプト名。

考えられる原因

Java 同期スクリプトの正しいフォーマットは 'myPackage.myClass.myMethod' です。

その他の情報

- 「Java 同期論理の設定」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' でエラーが発生しました。

エラーコード	-10189
エラー定数	EL_DNET_USER_SCRIPT_ERROR
パラメータ 1	スクリプト。

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに ScriptExecutionException がトリガされました。

その他の情報

- 「.NET への同期スクリプトの実装」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET の同期スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' でサーバエラーが報告されました。

エラーコード	-10188
エラー定数	EL_DNET_SERVER_ERROR
パラメータ 1	スクリプト。

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに ServerException がトリガされました。

その他の情報

- 「.NET への同期スクリプトの実装」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET の同期スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' で致命的なエラーが報告されました。

エラーコード	-10190
エラー定数	EL_DNET_FATAL_ERROR
パラメータ 1	スクリプト。

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに FatalException がトリガされました。

その他の情報

- FatalException クラス [Mobile Link サーバ .NET]『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET の同期スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' で同期エラーが報告されました。

エラーコード	-10186
エラー定数	EL_DNET_SYNC_ERROR
パラメータ 1	スクリプト。

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに SynchronizationException がトリガされました。

その他の情報

- 「.NET への同期スクリプトの実装」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET の同期スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' には、名前付きパラメータを使用するための無効な構文が含まれています。

エラーコード	-10236
エラー定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_SCRIPT
パラメータ 1	スクリプト名。

考えられる原因

スクリプトに、正しい形式の名前付きパラメータシーケンスが含まれません。スクリプトパラメータを名前で参照するには、{ml parameter } のように、パラメータを中カッコで囲み、前に ml を付けます。たとえば、{ml s.action_code} のように指定します。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' には、無効なパラメータ参照が含まれています : '%2'

エラーコード	-10239
エラー定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_NUMBER
パラメータ 1	スクリプト名。
パラメータ 2	パラメータ番号。

考えられる原因

スクリプトに、0 であるか、大きすぎるパラメータへの数値参照が含まれます。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' には、無効な文字を含む名前付きパラメータが含まれています。

エラーコード	-10235
エラー定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_CHAR
パラメータ 1	スクリプト名。

考えられる原因

SQL Anywhere 識別子の命名規則に従う必要があります。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「識別子」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

スクリプト '%1' には、無効なユーザパラメータが含まれています : '%2'

エラーコード	-10240
エラー定数	INVALID_NAMED_USER_PARAMETER
パラメータ 1	スクリプト名。

パラメータ 2	パラメータ番号。

考えられる原因

スクリプトに、ユーザパラメータへの数値参照が含まれます。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' に不正なフォーマットが使用されています。

エラーコード	-10182
エラー定数	EL_DNET_INVALID_SCRIPT_NAME
パラメータ 1	スクリプト。

考えられる原因

スクリプトのフォーマットが無効です。正しいフォーマットは myDomain:myClass.myMethod または just myClass.myMethod です。

その他の情報

- 「.NET への同期スクリプトの実装」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET の同期スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバ .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' のパラメータ名が無効です (名前が短すぎるか長すぎます)。

エラーコード	-10226
エラー定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_LENGTH
パラメータ 1	スクリプト名。

考えられる原因

名前付きパラメータが検出されましたが、名前がないか、名前が長すぎます。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' は、'%2' のメンバーですが、スクリプトバージョンでは %3 クラスのみ許可されています。

エラーコード	-10204
エラー定数	EL_DNET_TOO_MANY_CLASSES_PER_VERSION
パラメータ 1	メソッド名。
パラメータ 2	クラス名。
パラメータ 3	許可されているクラス数。

考えられる原因

1 つのスクリプトバージョンで、この数よりも多いクラス数を明示的に参照することはできません。このエラーが発生した場合は、各イベントで使用しているすべてのメソッドを含むラッパクラスを作成してください。

その他の情報

- 「スクリプトバージョン」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバ .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' は、テーブル '%2' のカラム %3 を参照していますが、テーブルには %4 カラムしかありません。

エラーコード	-10241
エラー定数	INVALID_TABLE_COLUMN
パラメータ 1	スクリプト名。
パラメータ 2	テーブルの名前。
パラメータ 3	パラメータ番号。
パラメータ 4	テーブルカラムの数。

考えられる原因

スクリプトに、0 であるか、大きすぎるパラメータへの参照が含まれます。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' は、入出力パラメータ '%2' を 2 回以上参照しています。

エラーコード	-10237
エラー定数	MULTI_USE_INOUT_PARAMETER
パラメータ 1	スクリプト名。
パラメータ 2	パラメータ名。

考えられる原因

入出力パラメータは、スクリプトに 1 回だけ渡すことができます。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' は、認証パラメータ %2 を参照していますが、%3 しかありません。

エラーコード	-10242
エラー定数	INVALID_AUTH_PARM_NUMBER
パラメータ 1	スクリプト名。
パラメータ 2	パラメータ番号。
パラメータ 3	パラメータ数。

考えられる原因

スクリプトに、存在しない認証パラメータへの参照が含まれます。

その他の情報

- 「認証パラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' は、不明な認証パラメータ '%2' を参照しています。

エラーコード	-10243

エラー定数	UNKNOWN_AUTH_PARM
パラメータ 1	スクリプト名。
パラメータ 2	パラメータ名。

考えられる原因

スクリプトに、存在しない認証パラメータへの参照が含まれます。

その他の情報

- 「認証パラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' はプレイメージのローデータを処理できません。

エラーコード	-10234
エラー定数	SCRIPT_NO_OLD_ROW_DATA
パラメータ 1	スクリプト名。

考えられる原因

プレイメージのローデータを参照する名前付きパラメータを使用できるのは、プレイメージのローデータを処理するスクリプトだけです。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' はローデータを処理できません。

エラーコード	-10231
エラー定数	SCRIPT_NO_ROW_DATA
パラメータ 1	スクリプト名。

考えられる原因

ローデータを参照する名前付きパラメータを使用できるのは、ローデータを処理するスクリプトだけです。

その他の情報

- 「名前付きスクリプトパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1' を実行できません。

エラーコード	-10205
エラー定数	EL_DNET_SCRIPT_EXEC_FAIL
パラメータ 1	スクリプト。

考えられる原因

Mobile Link サーバで、このスクリプトを呼び出すことができませんでした。Mobile Link サーバのログで以前のエラーを確認してください。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET の同期スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%1.%2' を実行するための引数が足りません。 %3 の引数が必要なのに対し、利用できるのは %4 だけです。

エラーコード	-10130
エラー定数	EL_JAVA_NOT_ENOUGH_PARMS
パラメータ 1	クラス名。
パラメータ 2	メソッド名。
パラメータ 3	必要なパラメータ数。
パラメータ 4	指定したパラメータ数。

考えられる原因

マニュアルで、このスクリプトに関連するイベントに関する説明を参照してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%2' のシステムパラメータ '%1' が不明です。

エラーコード	-10227
エラー定数	UNKNOWN_NAMED_SYSTEM_PARAMETER

パラメータ 1	不明なシステムパラメータ名。
パラメータ 2	スクリプト名。

考えられる原因

この名前付きシステムパラメータは、有効なシステムパラメータのリストにありません。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプト '%2' のシステムパラメータ '%1' が無効です。

エラーコード	-10228
エラー定数	INVALID_NAMED_SYSTEM_PARAMETER
パラメータ 1	無効なシステムパラメータ名。
パラメータ 2	スクリプト名。

考えられる原因

このスクリプトでは名前付きシステムパラメータを使用できません。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプトクラス '%1' にパブリックメソッドがありませんでした。

エラーコード	-10151
エラー定数	EL_JAVA_NO_PUBLIC_METHODS
パラメータ 1	クラス名。

考えられる原因

Mobile Link によって呼び出すことができるように、スクリプトクラスにはパブリックメソッドが必要です。修正したクラスを指定してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「メソッド」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプトで %1 パラメータを予期しましたが、%2 しか見つかりませんでした：%3

エラーコード	-10047
エラー定数	ODBC_WRONG_NUM_PARAMETERS
パラメータ 1	想定されていたパラメータ数。
パラメータ 2	見つかったパラメータ数。
パラメータ 3	スクリプト名。

考えられる原因

指定されたスクリプトで検出されたパラメータの数が多すぎます。指定されたスクリプトに対するパラメータの数を確認してください。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「同期イベント」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプトで最低 %1 のパラメータを予期しましたが、%2 しか見つかりませんでした：%3

エラーコード	-10048
エラー定数	ODBC_WRONG_NUM_PARAMETERS_AT_LEAST
パラメータ 1	想定されていたパラメータの最小数。
パラメータ 2	見つかったパラメータ数。
パラメータ 3	スクリプト名。

考えられる原因

指定されたスクリプトで検出されたパラメータの数が十分ではありません。指定されたスクリプトに対するパラメータの数を確認してください。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「同期イベント」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプトの実行に必要なメモリを割り付けることができません。

エラーコード	-10170
エラー定数	EL_DNET_MEM_ALLOC_FAIL

考えられる原因

RAM を追加するか、他のプログラムを終了するか、.NET 同期スクリプトに必要なメモリを減らすことを検討してください。

その他の情報

- 「Mobile Link のパフォーマンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバ .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプトのバージョン '%1' を追加できませんでした。

エラーコード	-10254
エラー定数	UNABLE_TO_ADD_VERSION
パラメータ 1	バージョン文字列。

考えられる原因

サーバでこのスクリプトバージョンを自動的に追加できませんでした。このエラーは、通常はモニタを接続するときに発生します。モニタでは、for_ML_Monitor_only というスクリプトバージョンが使用されます。データベースのパーミッションを確認するか、スクリプトバージョンを直接追加してください。

その他の情報

- 「スクリプトバージョン」『Mobile Link サーバ管理』
- 「統合データベースへのスクリプトバージョンの追加」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプトバージョンごとに 1 つのドメインのみ使用できます。スクリプト '%2' がドメイン '%3' の使用を試みたとき、ドメイン '%1' は使用中でした。

エラーコード	-10183
エラー定数	EL_DNET_ONE_DOMAIN_PER_VERSION

パラメータ 1	ドメイン名。
パラメータ 2	スクリプト。
パラメータ 3	余分なドメイン名。

考えられる原因

スクリプトが myDomain:myClass.myMethod の形式で、同じスクリプトバージョンの別のスクリプトで別のドメイン名が使用されました。同じスクリプトバージョンのスクリプトには同じドメインを使用してください。

その他の情報

- 「.NET への同期スクリプトの実装」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET の同期スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバ .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

スクリプトをフラッシュできません。

エラーコード	-10020
エラー定数	ERROR_FLUSH_SCRIPTS

考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベースサーバに接続して ml_scripts_modified テーブルを問い合わせることによって、常に各同期の始めにキャッシュされたスクリプトを更新します。Mobile Link サーバが、スクリプトをフラッシュしているときに問題が発生しました。

ストリーム %2 の DLL または共有オブジェクト %1 をロードできません : %3

エラーコード	-10108
エラー定数	CANNOT_LOAD_DLL_FOR_STREAM
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前。
パラメータ 2	ストリームタイプ。
パラメータ 3	ストリーム名。

考えられる原因

このストリームの DLL または共有オブジェクトをロードできませんでした。正しいバージョンの DLL または共有オブジェクトが正しいロケーションにあることを確認してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

ストリームエラー：%1

エラーコード	-10117
エラー定数	STREAM_ERROR
パラメータ 1	エラーメッセージ。

考えられる原因

一般的なストリームエラーです。エラーの詳細は、メッセージの本文にあります。

スナップショットにトランザクションの独立性レベルを設定できません。

エラーコード	-10247
エラー定数	UNABLE_TO_SET_SNAPSHOT_ISOLATION

考えられる原因

Mobile Link サーバでトランザクションの独立性レベルをスナップショットに設定できませんでした。Mobile Link サーバを統合データベースに接続するためのユーザ ID に、独立性レベルを変更するパーミッションがあることと、データベースでスナップショットアイソレーションが許可されていることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link 独立性レベル」『Mobile Link サーバ管理』
- 「スナップショットアイソレーション」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「スナップショットアイソレーションを有効化する方法」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

スレッドを .NET ランタイムに付加できません。

エラーコード	-10168

エラー定数	EL_DNET_WORKER_ATTACH_FAIL

考えられる原因

これは内部の起動エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

スレッドを Java VM に付加しているときにエラーが発生しました。

エラーコード	-10126
エラー定数	EL_JAVA_THREAD_ATTACH_ERROR

考えられる原因

これは内部の起動エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

接続スクリプト %1 をフェッチしているときにエラーが発生しました。

エラーコード	-10018
エラー定数	ERROR_FETCHING_CONNECTION_SCRIPT
パラメータ 1	接続スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが、接続スクリプトを再表示できませんでした。データベースサーバが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

その他の情報

- 「SQL Anywhere データベースサーバの構文」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「ネットワーク通信の起動時の問題をデバッグする」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

接続ソケットを作成できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10264
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_CONNECT_SOCKET
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

接続の受け入れを開始できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10265
エラー定数	UNABLE_TO_START_ACCEPTING_CONNECT
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

接続を割り付けることができません。

エラーコード	-10067
エラー定数	ODBC_UNABLE_TO_ALLOCATE_A_CONNECTION

考えられる原因

Mobile Link サーバが、接続を割り付けられませんでした。Mobile Link サーバを起動するのに十分なメモリがあることを確認してください。また、データベースサーバが稼働中で、ユーザ ID とパスワードが有効であることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバでのメモリの使用」『Mobile Link サーバ管理』
- 「SQL Anywhere データベースサーバの構文」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

ソケット '%1' でハードクローズを実行できません。

エラーコード	-10266
エラー定数	UNABLE_TO_PERFORM_HARD_CLOSE_ON_SOCKET
パラメータ 1	ソケット。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ソケット削除要求を完了キューに通知できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10267
エラー定数	UNABLE_TO_POST_SOCKET_DELETION_REQUEST
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ソケットセレクター通知の UNIX パイプを作成できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10272
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_UNIX_PIPE
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ソケットを完了ポートに関連付けられませんでした (システムエラー : %1)

エラーコード	-10263
エラー定数	UNABLE_TO_ASSOCIATE_SOCKET_WITH_COMPL_PORT
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ソケットを閉じられません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10271
エラー定数	UNABLE_TO_CLOSE_SOCKET
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ソケットをポーリングできません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10274
エラー定数	UNABLE_TO_POLL_SOCKET
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

タイプ '%2' の引数を持つメソッド '%1' を呼び出せませんでした。

エラーコード	-10157
エラー定数	EL_JAVA_WRONG_PARM_TYPE
パラメータ 1	メソッド名。
パラメータ 2	タイプ名。

考えられる原因

この呼び出しで予期されている引数のタイプを判断するには、Mobile Link のマニュアルを参照してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

ダウンロードルートディレクトリまたは '%2' サブディレクトリに要求ファイル '%1' が見つかりませんでした。

エラーコード	-10251
エラー定数	FILETRANSFER_FILE_NOT_FOUND
パラメータ 1	ファイル名。
パラメータ 2	ルートダウンロードディレクトリのサブフォルダ。

考えられる原因

転送が要求されたファイルがサーバで見つかりませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link ファイル転送ユーティリティ (mlfiletransfer)」『Mobile Link クライアント管理』

通信ストリーム %1 を初期化できません : %2

エラーコード	-10110
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_STREAM
パラメータ 1	ストリーム番号。
パラメータ 2	ストリーム指定。

考えられる原因

ストリームを初期化できませんでした。ストリーム名とストリームオプションが有効であることを確認してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

通知できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10275
エラー定数	UNABLE_TO_NOTIFY
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

通知パイプからの読み込み中にエラーが発生しました (システムエラー : %1)

エラーコード	-10277
エラー定数	ERROR_IN_READ_FROM_NOTIFICATION_PIPE
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

通知パイプでエラーが発生しました。

エラーコード	-10278
エラー定数	ERROR_ON_NOTIFICATION_PIPE

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

次の非デーモンスレッドは破壊されました：%1

エラーコード	-10124
エラー定数	EL_JAVA_THREADS_DESTROYED
パラメータ 1	スレッド識別子のリスト。

考えられる原因

これらの Java スレッドはシャットダウン中に強制的に破棄されました。ShutdownListener インタフェースを使用して、Mobile Link サーバのシャットダウン時にスレッドを正常に終了してください。

その他の情報

- ShutdownListener インタフェース [Mobile Link サーバ Java]『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードした値のタイムゾーンのタイムスタンプが無効です。

エラーコード	-10329
エラー定数	INVALID_TIMESTAMP_WITH_ZONE
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	カラムのインデックス。

考えられる原因

統合データベースの特定のテーブルのカラムに、無効なタイムゾーン付きタイムスタンプがあります。このカラムに有効なタイムゾーン付きタイムスタンプが含まれていることと、このデータがテーブル定義で VARCHAR または CHAR として定義されている場合は 'yyyy-mm-dd hh:nn:ss.Ssssss [+|-]hh:mm' のような形式になっていることを確認してください。

その他の情報

- 「リモートデータベースと統合データベース間での Mobile Link データマッピング」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値に、変換できない文字データが含まれています。

エラーコード	-10211
エラー定数	DOWNLOAD_DATA_TRANS_ERROR
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	カラムのインデックス。

考えられる原因

統合データベースで生成された文字データは、クライアントの文字セットに変換してからクライアントに送信する必要がありますが、Mobile Link サーバがデータを変換できませんでした。

その他の情報

- 「同期中の文字セット変換」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値は、無効なユニーク識別子の文字列です。

エラーコード	-10216
エラー定数	INVALID_UUID_STRING
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	カラムのインデックス。

考えられる原因

Mobile Link サーバが文字列をユニークな識別子に変換できません。SQL Anywhere 以外の統合データベースでデータ型 CHAR または VARCHAR を使用して、リモートデータベースの

UNIQUEIDENTIFIER をマッピングし、統合データベースの文字列が有効でユニークな識別子であることを確認してください。

その他の情報

- 「リモートデータベースと統合データベース間での Mobile Link データマッピング」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値は、リモートスキーマタイプには大きすぎるか不正です。

エラーコード	-10038
エラー定数	STRING_TOO_BIG
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	カラムのインデックス。

考えられる原因

指定されたテーブルのカラム幅が、統合データベースとリモートデータベースで一貫して定義されていない可能性があります。テーブルの定義を確認してください。

その他の情報

- 「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードした値に、リモートデータベースでは使用できない NULL SRID が含まれています。

エラーコード	-10331
エラー定数	NULL_SRID
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	カラムのインデックス。

考えられる原因

リモートデータベース SQL Anywhere と Ultra Light のいずれにおいても、NULL の SRID を持つ空間データは許可されていません。統合データベースで空間データが入力された場合は、必ず有効な SRID を入力してください。

その他の情報

- 「空間データ型」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「空間参照系 (SRS) と空間参照系識別子 (SRID)」『SQL Anywhere サーバ 空間データサポート』

テーブル '%1' からデータを取得できません。

エラーコード	-10398
エラー定数	UNABLE_TO_FETCH_FROM_MLTABLE
パラメータ 1	Mobile Link サーバのシステムテーブルの名前。

考えられる原因

Mobile Link サーバが、統合データベースのシステムテーブルからデータをフェッチできませんでした。問題の原因については、前のエラーを参照してください。

テーブル '%1' で、ml_column テーブルでのカラム名が '%2' であるカラムのインデックスが、リモートカラムの数よりも大きくなっています。

エラーコード	-10281
エラー定数	INVALID_REF_TO_ML_COLUMN_NAME
パラメータ 1	テーブルの名前。
パラメータ 2	ml_column テーブルのカラムの名前。

考えられる原因

同期スクリプトに無効な名前付きパラメータ参照が含まれています。このスクリプトのバージョンやテーブルを ml_column テーブルで確認し、カラムの名前と順序がリモートからの名前や順序と一致するようにします。名前付きパラメータで無効なカラムが指定されたか、または、ml_column テーブルで、有効なカラムエントリよりも前に無効なエントリがあることが主な原因と考えられます。

その他の情報

- 「ml_add_column システムプロシージャ (廃止予定)」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' では、%2 スクリプトが SQL で書かれている必要があります。

エラーコード	-10405
エラー定数	SCRIPT_MUST_BE_SQL
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	スクリプト名。

考えられる原因

ローデータを処理するテーブルスクリプトを SQL で記述する必要があります。Java または .NET で記述されたスクリプトでは SQL が返されない可能性があります。

テーブル '%1' に %2 構文がありません。

エラーコード	-10355
エラー定数	NO_UPLOAD_SCRIPT
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	スクリプト名。

考えられる原因

クライアントからのアップロードデータにデータが含まれていますが、データを処理するスクリプトがありません。このデータを無視するには、記述されたスクリプトに --{ml_ignore} を付加してください。

その他の情報

- 「同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバ管理』
- 「スクリプトの追加と削除」『Mobile Link サーバ管理』
- 「無視されたスクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' には %2 スクリプトがありません

エラーコード	-10366
エラー定数	NO_DOWNLOAD_SCRIPT
パラメータ 1	テーブル名。

パラメータ 2	スクリプト名。

考えられる原因

ダウンロードデータスクリプトがありません。このスクリプトを無視するには、記述されたスクリプトに --{ml_ignore} を付加してください。

その他の情報

- 「ローをダウンロードするスクリプト」『Mobile Link サーバ管理』
- 「無視されたスクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' には '%2' という名前のカラムがありません。

エラーコード	-10233
エラー定数	UNKNOWN_TABLE_COLUMN
パラメータ 1	テーブルの名前。
パラメータ 2	カラムの名前。

考えられる原因

スクリプトで参照しているカラム名が、テーブルのカラム名のリストにありません。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' には BLOB が含まれているため、カラムレベルの競合を検出することはできません。

エラーコード	-10224
エラー定数	COLUMN_CONFLICT_DET_WITH_BLOB
パラメータ 1	テーブル名。

考えられる原因

BLOB を含むテーブルには、カラムレベルの競合検出を使用できません。BLOB を含むテーブルには、ローレベルの競合検出スクリプト upload_fetch を使用してください。

その他の情報

- 「競合の検出と解決」『Mobile Link クイックスタート』
- 「upload_fetch スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』
- 「upload_fetch テーブルイベント」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' には upload_fetch スクリプトがありますが、競合解決スクリプトが定義されていません

エラーコード	-10367
エラー定数	NO_CONFLICT_RESOLVE
パラメータ 1	テーブル名。

考えられる原因

指定したテーブルに upload_fetch スクリプトが定義されていますが、競合解決スクリプトが定義されていません。upload_fetch スクリプトを削除するか、または少なくとも 1 つの競合解決スクリプトを追加してください。

その他の情報

- 「upload_fetch スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』
- 「upload_fetch テーブルイベント」『Mobile Link サーバ管理』
- 「競合の解決」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' には、ml_table テーブルのエントリがありません。

エラーコード	-10101
エラー定数	TABLE_NO_SCRIPT
パラメータ 1	テーブル名。

考えられる原因

テーブル ml_table、ml_table_script、ml_script には、同期に参加する各テーブル用のスクリプトが含まれています。Mobile Link サーバは、スクリプトを持たない、またはテーブル ml_table にエントリがないすべての同期テーブルについてこの警告を表示します。

その他の情報

- 「テーブルスクリプト」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバのシステムテーブル」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' には競合解決スクリプトがありますが、upload_fetch スクリプトが定義されていません。

エラーコード	-10386
エラー定数	NO_UPLOAD_FETCH
パラメータ 1	テーブル名。

考えられる原因

指定したテーブルに競合解決スクリプトが定義されていますが、upload_fetch スクリプトが定義されていません。競合解決スクリプトを削除するか、または upload_fetch スクリプトを追加してください。

テーブル '%1' の upload_fetch または upload_fetch_column_conflict スクリプトは、無視されるスクリプトとして定義することはできません

エラーコード	-10370
エラー定数	IGNORED_UPLOAD_FETCH_SCRIPTS
パラメータ 1	テーブル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバでは、upload_fetch スクリプトまたは upload_fetch_column_conflict スクリプトを実際の SQL スクリプトとして定義するか、またはスクリプト自体を定義しない状態にする必要があります。

その他の情報

- 「アップロード中のイベント」『Mobile Link サーバ管理』
- 「upload_fetch テーブルイベント」『Mobile Link サーバ管理』
- 「upload_fetch_column_conflict テーブルイベント」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' への更新ローのアップロード中にエラーが発生しました。更新されたカラムの値は次のとおりです。

エラーコード	-10063
エラー定数	UPDATED_ROW_ERROR

パラメータ 1	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが更新されたローを統合データベースの指定されたテーブルにアップロードしているときに、エラーが発生しました。

その他の情報

- 「download_cursor スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' への削除ローのアップロード中にエラーが発生しました。削除されたカラムの値は次のとおりです。

エラーコード	-10062
エラー定数	DELETED_ROW_ERROR
パラメータ 1	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが削除されたローを統合データベースの指定されたテーブルにアップロードしているときに、エラーが発生しました。

その他の情報

- 「download_delete_cursor スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' への挿入ローをアップロード中にエラーが発生しました。挿入したカラムの値は次のとおりです。

エラーコード	-10061
エラー定数	INSERTED_ROW_ERROR
パラメータ 1	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが挿入されたローを統合データベースの指定されたテーブルにアップロードしているときに、エラーが発生しました。

その他の情報

- 「download_cursor スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%2' のカラム %1 のアップロードデータが無効です。

エラーコード	-10308
エラー定数	INVALID_TABLE_DATA
パラメータ 1	カラムのインデックス。
パラメータ 2	テーブル名。

考えられる原因

クライアントからアップロードされたデータを処理できません。データが範囲外であるか、データを変換できません。

テーブルスクリプト %1.%2 をフェッチしているときにエラーが発生しました。

エラーコード	-10019
エラー定数	ERROR_FETCHING_TABLE_SCRIPT
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが、テーブルスクリプトを再表示できませんでした。データベースサーバが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

その他の情報

- 「SQL Anywhere データベースサーバの構文」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「ネットワーク通信の起動時の問題をデバッグする」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

転送用にファイル '%1' を開けませんでした。

エラーコード	-10252
エラー定数	FILETRANSFER_OPEN_FAILED
パラメータ 1	ファイル名。

考えられる原因

転送が要求されたファイルはサーバで見つかりましたが、ファイルを開くことができませんでした。ファイルのパーミッションを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link ファイル転送ユーティリティ (mlfiletransfer)」『Mobile Link クライアント管理』

転送用にファイル '%1' を書き込めませんでした。

エラーコード	-10322
エラー定数	FILETRANSFER_WRITE_FAILED
パラメータ 1	ファイル名。

考えられる原因

見つかったサーバでは、クライアントからアップロードされたファイルに書き込むことができません。ファイルのパーミッションを確認してください。

その他の情報

- 「authenticate_file_transfer 接続イベント」『Mobile Link サーバ管理』
- 「authenticate_file_upload 接続イベント」『Mobile Link サーバ管理』

転送用にファイル '%1' を読み込めませんでした。

エラーコード	-10253
エラー定数	FILETRANSFER_READ_FAILED
パラメータ 1	ファイル名。

考えられる原因

転送が要求されたファイルはサーバで見つかりましたが、ファイルを読み込むことができませんでした。ファイルのパーミッションを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link ファイル転送ユーティリティ (mlfiletransfer)」『Mobile Link クライアント管理』

テンポラリファイル '%1' を開けません。

エラーコード	-10212

エラー定数	CANNOT_OPEN_TEMP_FILE
パラメータ 1	ファイル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバは中間データの保管にテンポラリファイルを使用する場合があります。Mobile Link サーバにテンポラリファイルを作成するパーミッションがあることを確認してください。

その他の情報

- 「必要な権限」『Mobile Link サーバ管理』

同期が ORACLE 'gv$transaction' テーブルにアクセスする必要があるため、要求を処理できません

エラーコード	-10380
エラー定数	UNABLE_TO_ACCESS_GVTRANSACTION

考えられる原因

タイムスタンプベースのダウンロードでデータが失われないようにするために、Mobile Llink サーバでは、Oracle の gv$transaction テーブルにアクセスする必要があります。Mobile Link サーバのログイン ID に、gv$transaction に対する SELECT パーミッションを付与してください。

同期シーケンス番号 '%1' が統合データベースの番号 '%2' 以下であるため、同期要求を処理できません。

エラーコード	-10388
エラー定数	SEQ_TOO_SMALL
パラメータ 1	リモートの同期シーケンス番号。
パラメータ 2	統合データベース内の同期シーケンス番号。

考えられる原因

同期シーケンス番号が統合データベースの番号以下であるため、Mobile Link サーバにより同期要求の処理を拒否されました。この問題は、Mobile Link サーバで同じリモートデータベースからの後の同期要求がすでに適用されている場合に発生します。

同期の一部を記録できません。

エラーコード	-10318
エラー定数	RECORDER_UNABLE_TO_RECORD_PART_OF_SYNC

考えられる原因

サーバで、同期の一部を記録できませんでした。サーバで記録用のファイルを開くことができたかどうかを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-rp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

統合データベースサーバまたは ODBC エラー : %1

エラーコード	-10002
エラー定数	ERROR_SQL_ERROR
パラメータ 1	データベースサーバまたは ODBC ドライバによって送信される実際のエラーメッセージ。

考えられる原因

これは、構文エラーなどの SQL エラーである可能性があります。

その他の情報

- SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス

統合データベースでのスナップショットアイソレーションで競合する更新を検出後に、現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。

エラーコード	-10246
エラー定数	CANNOT_RETRY_AFTER_CONFLICT_UPDATE

考えられる原因

Mobile Link サーバが現在のトランザクションをリトライしましたが、依然として競合する更新の問題が発生しています。統合データベースに対して実行中の開いているトランザクションをすべてコミットし、同期の実行を再試行してください。

その他の情報

- 「Mobile Link 独立性レベル」『Mobile Link サーバ管理』
- 「スナップショットアイソレーション」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

統合データベースでのデッドロック後に現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。

エラーコード	-10021
エラー定数	CANNOT_RETRY_AFTER_DEADLOCK

考えられる原因

Mobile Link サーバが現在のトランザクションをリトライしましたが、依然としてデッドロック問題が発生しています。同期論理を再設計するか、Mobile Link サーバのコマンドラインオプション -r を使用してください。

その他の情報

- 「-r mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link アプリケーションの設計」『Mobile Link クイックスタート』

統合データベースに接続できません。同期処理をアボートします。

エラーコード	-10028
エラー定数	UNABLE_TO_CONNECT_TO_CONSOLIDATED

考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベースへ接続できませんでした。データベースサーバが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

その他の情報

- 「SQL Anywhere データベースサーバの構文」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

ドメイン '%1' にタイプ '%2' のアセンブリがありません。

エラーコード	-10179
エラー定数	EL_DNET_NO_ASM_CONTAINS_TYPE

パラメータ 1	ドメイン名。
パラメータ 2	タイプ名。

考えられる原因

指定したドメインでタイプが定義されていることを確認してください。

その他の情報

- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl dnet mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバ .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

ドメイン '%1' はドメイン設定ファイルで指定されていません。

エラーコード	-10178
エラー定数	EL_DNET_DOMAIN_NOT_FOUND
パラメータ 1	ドメイン名。

考えられる原因

イベントスクリプトのドメイン名は、設定済みのいずれのドメインにも一致しません。

その他の情報

- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl dnet mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバ .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

ドメイン '%1' を作成できませんでした。

エラーコード	-10192
エラー定数	EL_DNET_CREATE_DOMAIN_FAIL
パラメータ 1	ドメイン名。

考えられる原因

.NET CLR は、示されたドメインの作成を拒否しました。ドメインの設定を修正してから再実行してください。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバ管理』

ドメイン ID %1 は認識できません。

エラーコード	-10024
エラー定数	ERROR_UNSUPPORTED_DOMAIN_ID
パラメータ 1	ドメイン ID。

考えられる原因

クライアントが要求したドメイン ID (データ型) がサポートされていません。使用している Mobile Link サーバが最新のものであるか確認してください。

その他の情報

- 「ドメイン」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「Mobile Link のアップグレード」『SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード』

トランザクションをコミットできません : %1 -- ロールバックを試みます。

エラーコード	-10065
エラー定数	UNABLE_TO_COMMIT
パラメータ 1	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバは、指定されたスクリプトのトランザクションをコミットできませんでした。常にデッドロックを避けるようにスクリプトを作成することをおすすめします。

その他の情報

- 「同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバ管理』

トランザクションをロールバックできません : %1

エラーコード	-10064
エラー定数	UNABLE_TO_ROLLBACK

パラメータ 1	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが、トランザクションをロールバックできませんでした。

その他の情報

- 「同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバ管理』

内部エラー : BLOB の取得中に発生しました -- 読み込み

エラーコード	-10041
エラー定数	BLOB_READ_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバが、メモリまたはテンポラリファイルからアップロードデータを検索できません。これは内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

内部エラー : '%1'

エラーコード	-10156
エラー定数	EL_JAVA_INTERNAL_ERROR
パラメータ 1	エラーテキスト。

考えられる原因

Java 内部エラーが発生しました。出力されたエラー情報を確認し、問題を修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

名前 '%1' は、有効な .NET 開始クラス名ではありません。

エラーコード	-10177

エラー定数	EL_DNET_INVALID_STARTCLASS_NAME
パラメータ 1	開始クラス名。

考えられる原因

開始クラス名の形式が不正です。名前を修正してから再実行してください。

その他の情報

- 「ユーザ定義起動クラス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバ .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』

名前付きローパラメータを使用するには、ml_column テーブルでカラム名を設定するか、リモートクライアントからアップロードする必要があります。

エラーコード	-10232
エラー定数	NO_COLUMN_NAMES

考えられる原因

名前付きパラメータ機能を使用するには、スクリプトで使用するリモートカラム名を ml_column テーブルで定義するか、リモートデータベースから (SendColumnNames オプションを使用して) アップロードする必要があります。

その他の情報

- 「ml_add_column システムプロシージャ (廃止予定)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「名前付きスクリプトパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

認識されないイベント名：%1

エラーコード	-10207
エラー定数	UNKNOWN_EVENT
パラメータ 1	認識されないイベントの名前。

考えられる原因

Mobile Link サーバでは、接続イベントとテーブルイベントだけが認識され、これらのイベントは ml_connection_script と ml_table_script のテーブルに格納されています。すべての接続イベントとテーブルイベントが有効であることを確認してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

その他の情報

- 「同期イベント」『Mobile Link サーバ管理』

認証メッセージを変換できません。

エラーコード	-10385
エラー定数	UNABLE_TO_TRANSLATE_AUTH_STRING

考えられる原因

Mobile Link サーバは、認証スクリプトによって返された認証メッセージをリモートデータベースで必要な文字セットに変換することができませんでした。認証スクリプトを確認してください。

ネットワーク プロトコルのバージョンが一致しないため、クライアントは要求をアボートしました。

エラーコード	-10401
エラー定数	INCOMPATIBLE_PROTOCOL

考えられる原因

クライアントが古すぎるか新しすぎるため、このサーバと通信できません。処理を続行するにはクライアントをアップグレードしてください。

ネットワークアクティビティがないため、接続が切断されました。

エラーコード	-10279
エラー定数	CONNECTION_DROPPED_DUE_TO_IDLE_TIMEOUT

考えられる原因

アクティビティがなかったため、Mobile Link サーバがこの接続を切断しました。リモートの場合は、ネットワーク接続が失われている可能性があります。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01001

ネットワークアドレス '%1' はローカルのアドレスではありません。

エラーコード	-10259
エラー定数	NOT_LOCAL_IP_ADDRESS
パラメータ 1	ホスト名。

考えられる原因

指定されたネットワークアドレスは、このマシンのネットワークアダプタに解決されませんでした。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

ネットワークの読み込みに失敗しました。リモートクライアントからデータを読み込めません。

エラーコード	-10030
エラー定数	STREAM_READ_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバは、ネットワークの読み込みを完了できませんでした。ネットワークを確認してください。

ネットワークリスナポートで新規接続を受け入れられません。

エラーコード	-10292
エラー定数	UNABLE_TO_ACCEPT_ON_LISTEN_PORT

考えられる原因

Mobile Link サーバが、受信接続を受け入れられませんでした。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

バージョン '%1' が ml_script_version テーブルに見つかりません。同期できません。

エラーコード	-10013
エラー定数	VERSION_NOT_FOUND
パラメータ 1	バージョン文字列。

考えられる原因

クライアントが指定したバージョンが、統合データベースに存在しません。スクリプトバージョンを作成してください。

その他の情報

- 「スクリプトバージョン」『Mobile Link サーバ管理』
- 「統合データベースへのスクリプトバージョンの追加」『Mobile Link サーバ管理』

バージョンエラーのため Java VM をロードできません。

エラーコード	-10121
エラー定数	EL_JAVA_VM_VER_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバに Java VM をロードできませんでした。正しい Java VM がインストールされていることを確認してください。

その他の情報

- 「Java 同期論理の設定」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

パスワードなしでの LDAP サーバ '%1' とのバインドは許可されていません。

エラーコード	-10392
エラー定数	LDAPUA_UTP
パラメータ 1	検索を指定する LDAP サーバ名または検索 URL。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01003

考えられる原因

LDAPUA の検索または検証が失敗し、ターゲットの LDAP サーバの無効な設定が原因で LDAP_UNWILLING_TO_PERFORM を返しました。アクセスアカウント値を調べ、名前付き LDAP サーバまたは検索 URL がないか確認してください。

バックグラウンドスレッドを作成できません。

エラーコード	-10112
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_BACKGROUND_THREAD

考えられる原因

Mobile Link サーバでバックグラウンド処理用のスレッドを作成できませんでした。メモリ不足が主な原因と考えられます。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバでのメモリの使用」『Mobile Link サーバ管理』

パラメータ %1 に NULL が設定されています。

エラーコード	-10230
エラー定数	PARAMETER_N_NULL
パラメータ 1	パラメータ番号。

考えられる原因

パラメータは変更できますが、NULL には設定できません。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメータ」『Mobile Link サーバ管理』

パラメータ %1 のバインドには、タイプ '%2' の値が必要ですが、'%3' が指定されました。

エラーコード	-10201
エラー定数	EL_DNET_PARAM_TYPE_MISMATCH
パラメータ 1	パラメータ番号。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パラメータ 2	必要なタイプ。
パラメータ 3	指定したタイプ。

考えられる原因

指定したパラメータタイプが間違っています。パラメータを正しいタイプに変更してください。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』
- sqlany_bind_param メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

必須 ODBC 関数 %1 がドライバでサポートされていません。

エラーコード	-10075
エラー定数	ODBC_MISSING_REQUIRED_FUNCTION
パラメータ 1	ODBC 関数の名前。

考えられる原因

Mobile Link サーバは、ODBC ドライバから関数を検出できませんでした。推奨された ODBC ドライバを使用して Mobile Link サーバを起動してください。

その他の情報

- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバ」『Mobile Link サーバ管理』

必要な Java クラス %1 をロードできませんでした。

エラーコード	-10127
エラー定数	EL_JAVA_BOOT_CLASS_LOAD_ERR
パラメータ 1	クラス名。

考えられる原因

これは内部の起動エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01005

ファイル "%1" が見つかりません。

エラーコード	-10166
エラー定数	EL_DNET_MDGHOST_DLL_NOT_FOUND
パラメータ 1	ファイル名。

考えられる原因

.NET スクリプトを起動するために必要ないずれかのファイルが見つかりませんでした。インストール環境と環境変数を確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバの配備」『Mobile Link サーバ管理』

ファイル %1 を開けません。

エラーコード	-10058
エラー定数	UNABLE_TO_OPEN_TABLE_SCRIPT
パラメータ 1	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが、指定されたテーブルスクリプトの実行に失敗しました。スクリプトに有効な SQL が含まれていることを確認してください。

その他の情報

- 「テーブルスクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

ファイルアップロードのファイル名またはサブディレクトリ '%1' が無効です。

エラーコード	-10323
エラー定数	FILETRANSFER_BAD_PATH
パラメータ 1	パス名。

考えられる原因

ファイルアップロードのファイル名には、スラッシュを使用しないでください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

ファイルアップロードのルートディレクトリ '%1' が見つかりませんでした。

エラーコード	-10320
エラー定数	FILETRANSFER_ROOT_UPLOAD_DIR_NOT_FOUND
パラメータ 1	ユーザが指定したルートパス。

考えられる原因

指定したパスがサーバで見つかりませんでした。指定したパスが正しいことを確認してください。

その他の情報

- 「-ftru mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-ftr mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

ファイル転送のルートディレクトリ '%1' が見つかりませんでした。

エラーコード	-10249
エラー定数	FILETRANSFER_ROOT_DIR_NOT_FOUND
パラメータ 1	ユーザが指定したルートパス。

考えられる原因

指定したパスがサーバで見つかりませんでした。指定したパスが正しいことを確認してください。

その他の情報

- 「-ftr mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-ftru mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link ファイル転送ユーティリティ (mlfiletransfer)」『Mobile Link クライアント管理』

ファイルに書き込めません。

エラーコード	-10319
エラー定数	RECORDER_WRITE_FAILED

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01007

考えられる原因

ファイルへの書き込みができないため、サーバで同期の一部を記録できませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-rp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

不正なストリーム指定：%1

エラーコード	-10105
エラー定数	BAD_STREAM_SPEC
パラメータ 1	ストリーム名。

考えられる原因

ストリーム名が間違って指定されました。マニュアルで -x スイッチと -xo スイッチに関する説明を参照してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

不正なパラメータ '%1' です。

エラーコード	-10215
エラー定数	INVALID_STREAM_PARAMETER
パラメータ 1	無効なパラメータの名前。

考えられる原因

通信プロトコルに 1 つまたは複数の無効なパラメータが検出されました。コマンドラインオプションを調べて、プロトコルオプションがすべて有効かどうか確認してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

不明なスクリプトフラグ '%1' のため、SQL パススルースクリプトを送信できません。

エラーコード	-10297
エラー定数	UNKNOWN_PASSTHROUGH_SCRIPT_FLAG

考えられる原因

Mobile Link サーバで、このユーザの不明な SQL パススルースクリプトフラグが見つかりました。このユーザのスクリプトを確認してください。

その他の情報

- 「ml_add_passthrough_script システムプロシージャ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ml_add_passthrough_repair システムプロシージャ」『Mobile Link サーバ管理』

プライマリ Mobile Link サーバをロックできません。

エラーコード	-10351
エラー定数	UNABLE_TO_LOCK_PRIMARY_SERVER

考えられる原因

Mobile Link サーバで、プライマリサーバをロックできませんでした。ml_primary_server_lock テーブルが存在し、かつ、このテーブルにローが 1 つのみ含まれていることを確認してください。

その他の情報

- 「Windows 用 Mobile Link 監視サーバユーティリティ (mlarbiter)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「UNIX 用 Mobile Link 監視サーバユーティリティ (mlarbiter.sh)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-ca mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-lsc mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

プライマリサーバ情報を保存できません。

エラーコード	-10352
エラー定数	UNABLE_TO_UPDATE_PRIMARY_INFO

考えられる原因

Mobile Link サーバで、プライマリサーバの情報を統合データベースまたは Mobile Link システムデータベースに格納できませんでした。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01009

その他の情報

- 「Windows 用 Mobile Link 監視サーバユーティリティ (mlarbiter)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「UNIX 用 Mobile Link 監視サーバユーティリティ (mlarbiter.sh)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-ca mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-lsc mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

プライマリサーバロックがなくなりました。

エラーコード	-10353
エラー定数	LOST_PRIMARY_SERVER_LOCK

考えられる原因

Mobile Link で、プライマリサーバのステータスが失われました。監視サーバが稼働していることを確認してください。

その他の情報

- 「Windows 用 Mobile Link 監視サーバユーティリティ (mlarbiter)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「UNIX 用 Mobile Link 監視サーバユーティリティ (mlarbiter.sh)」『Mobile Link サーバ管理』

プロトコルエラー：%1

エラーコード	-10001
エラー定数	PROTOCOL_ERROR
パラメータ 1	エラー番号。

考えられる原因

Mobile Link サーバは、クライアントが送信した要求を理解できません。クライアントが Mobile Link サーバより新しい場合、このエラーが発生することがあります。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support
- 「バージョンに関する考慮事項」『Mobile Link クライアント管理』
- 「SQL Anywhere Mobile Link クライアントのアップグレード」『SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード』
- 「Mobile Link のアップグレード」『SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

プロトコルのバージョンが一致しません。%1 を予期していましたが、%2 を受け取りました。

エラーコード	-10004
エラー定数	STREAM_INCORRECT_VERSION
パラメータ 1	許容される最大バージョン。
パラメータ 2	クライアントから送信されたバージョン。

考えられる原因

Mobile Link サーバは、別のプロトコルバージョンを使用してクライアントと通信しています。クライアントが Mobile Link サーバでサポートされていないバージョンを送信すると、このエラーが発生します。Mobile Link サーバの古いバージョンと通信するために、より新しいクライアント (DBMLSync または Ultra Light アプリケーション) を使用していないか確認してください。

その他の情報

- 「バージョンに関する考慮事項」『Mobile Link クライアント管理』
- 「SQL Anywhere Mobile Link クライアントのアップグレード」『SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード』
- 「Mobile Link のアップグレード」『SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード』

プロパティセット名 '%1' に正しいカッコが含まれていません。

エラーコード	-10338
エラー定数	PROPERTY_SET_MISSING_BRACKET
パラメータ 1	プロパティセット名。

考えられる原因

指定したプロパティセット名に正しいカッコが含まれていません。

その他の情報

- 「ml_add_property システムプロシージャ」『Mobile Link サーバ管理』

プロパティ名のプレフィクス '%1!s.' が不正です。

エラーコード	-10337

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01011

エラー定数	NOTIFIER_UNKNOWN_TYPE
パラメータ 1	Notifier のタイプ。

考えられる原因

指定したプロパティ名のプレフィクスが無効です。

その他の情報

- 「ml_add_property システムプロシージャ」『Mobile Link サーバ管理』

分散トランザクションコーディネーターにデータベースをエンリストできません。

エラーコード	-10288
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_ENLIST_TRANS

考えられる原因

Mobile Link サーバが、データベースを分散トランザクションコーディネーターにエンリストできませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-cs mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

分散トランザクションをアボートできません (イベント : %1) -- システムエラー : '%2'

エラーコード	-10290
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_ABORT

考えられる原因

Mobile Link サーバが、分散トランザクションをアボートできませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-cs mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

分散トランザクションをコミットできません (イベント : %1) -- システムエラー : '%2'

エラーコード	-10289
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_COMMIT

考えられる原因

Mobile Link サーバが、分散トランザクションをコミットできませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-cs mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

分散トランザクションを初期化できません -- システムエラー : '%1'

エラーコード	-10287
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_START_TRANS

考えられる原因

Mobile Link サーバが、分散トランザクションを初期化できませんでした。データベースのトランザクションログが満杯でないことを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-cs mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

ポートで受信できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10262
エラー定数	UNABLE_TO_LISTEN_ON_PORT
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01013

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ホスト名 '%1' を解決できません (エラー : '%2')。

エラーコード	-10283
エラー定数	UNABLE_TO_RESOLVE_HOST_NAME
パラメータ 1	ホスト名。
パラメータ 2	エラー番号。

考えられる原因

指定されたホスト名を解決できませんでした。OS 固有のエラー番号が表示されます。

前のエラーにより、RTNotifier の要求カーソルを実行できません。

エラーコード	-10339
エラー定数	UNABLE_TO_EXECUTE_RTNOTIFIER_REQUEST_CURSOR

考えられる原因

前回のエラーにより、RTNotifier の要求カーソルを実行できません。

その他の情報

- 「リモートタスク Notifier (RTNotifier)」『Mobile Link サーバ管理』

未知のエラーのため Java VM をロードできません。

エラーコード	-10123
エラー定数	EL_JAVA_VM_LOAD_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバに Java VM をロードできませんでした。理由は以前の出力に表示されています。

その他の情報

- 「Java 同期論理の設定」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

無効なハンドルを持つ接続を使用しようとしました。

エラーコード	-10203
エラー定数	EL_DNET_INVALID_CONN_HANDLE

考えられる原因

接続ハンドルが有効であることを確認してから使用してください。

メソッド '%1' で例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタックトレース : '%3'

エラーコード	-10158
エラー定数	EL_JAVA_USER_EXCEPTION_IN_METHOD
パラメータ 1	メソッド名。
パラメータ 2	エラーテキスト。
パラメータ 3	スタックトレース。

考えられる原因

ユーザ指定のコードでエラーが発生しました。例外情報を確認し、エラーを修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバ Java API リファレンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Java での Mobile Link サーバエラーの処理」『Mobile Link サーバ管理』

メモリエラーのため Java VM をロードできません。

エラーコード	-10122
エラー定数	EL_JAVA_VM_MEM_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバに Java VM をロードできませんでした。RAM を増やすか、他のプロセスを終了することでメモリを解放することを検討してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバでのメモリの使用」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01015

メモリの割り付けに失敗しました。

エラーコード	-10060
エラー定数	OUT_OF_MEMORY

考えられる原因

使用しているシステムのメモリが不足しています。アプリケーションを閉じるか、システムにメモリを追加する必要があります。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバでのメモリの使用」『Mobile Link サーバ管理』

メモリ割り付けが失敗しました。%1 バイトを割り付けようとしました。

エラーコード	-10003
エラー定数	MEMORY_ALLOCATION_FAILED
パラメータ 1	割り付けようとしていたバイト数。

考えられる原因

使用しているシステムのメモリが不足しています。アプリケーションを閉じるか、システムにメモリを追加する必要があります。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバでのメモリの使用」『Mobile Link サーバ管理』

文字列 %1 を数値に変換できません。

エラーコード	-10213
エラー定数	UNABLE_TO_CONVERT_STR_TO_NUMERIC
パラメータ 1	変換される文字列。

考えられる原因

Mobile Link サーバが文字列を数値に変換できません。これは内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ユーザ %1 のパスワードは不正です。

エラーコード	-10057
エラー定数	USER_BAD_PASSWORD
パラメータ 1	ユーザ名。

考えられる原因

リモートから送信されたパスワードは、指定されたユーザに対して無効です。注意 : パスワードは、大文字と小文字が区別されます。

その他の情報

- 「Mobile Link ユーザ」『Mobile Link クライアント管理』
- 「Mobile Link ユーザ認証ユーティリティ (mluser)」『Mobile Link サーバ管理』

ユーザ %1 を認証できません

エラーコード	-10055
エラー定数	ERROR_AUTHENTICATING
パラメータ 1	ユーザ名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが、指定されたユーザを認証できませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link ユーザ認証ユーティリティ (mluser)」『Mobile Link サーバ管理』

ユーザ '%1' のユーザ ID を取得できません。

エラーコード	-10347
エラー定数	UNABLE_TO_GET_USERID
パラメータ 1	ユーザ名。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01017

考えられる原因

Mobile Link サーバで、統合データベースまたは Mobile Link システムデータベース (MLSD) の ml_user テーブルから user_id を取得できませんでした。統合データベースまたは MLSD が稼働していることを確認してください。

その他の情報

- 「統合データベースの設定」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link ユーザ」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-cs mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

ユーザが指定したコードをサーバで実行中にエラーが発生しました。

エラーコード	-10225
エラー定数	EL_FAILURE_IN_USER_CODE

考えられる原因

ユーザが指定したコードを実行中にエラーが発生しました。サーバのログを確認し、ユーザが指定したコードを修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバログの表示」『Mobile Link サーバ管理』

ユーザ認証ポリシー '%1' には、NULL プライマリ LDAP サーバがあります。

エラーコード	-10397
エラー定数	LDAPUA_PRIMARY_SERVER_CANNOT_BE_NULL
パラメータ 1	ユーザ認証ポリシー名。

考えられる原因

ユーザ認証ポリシー用のプライマリ LDAP サーバを NULL とすることはできません。ユーザ認証用の LDAP サーバを使用していない場合、ユーザ認証ポリシーを指定しないユーザを作成してください。Mobile Link サーバでユーザ認証用にデフォルトのスクリプトベースのロジックが使用されます。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

ユーザパラメータ '%1' の値を設定できません -- 値が %2 文字を超えています

エラーコード	-10375
エラー定数	USER_PARAMETER_TOO_LONG
パラメータ 1	ユーザパラメータ名。

考えられる原因

指定された文字数を超えるユーザ定義変数は設定できません。

ユーザ名 '%1' が ml_user テーブルに見つかりません。

エラーコード	-10056
エラー定数	USER_NOT_FOUND
パラメータ 1	ユーザ名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが、ml_user テーブルからユーザを検出できませんでした。mluser を使用してこのユーザを ml_user テーブルに追加するか、-zu+ オプションで Mobile Link サーバを起動してください。

その他の情報

- 「Mobile Link ユーザ」『Mobile Link クライアント管理』
- 「Mobile Link ユーザ認証ユーティリティ (mluser)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-zu mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

ユーザ名 '%1' を ml_user テーブルに挿入できません。

エラーコード	-10054
エラー定数	ERROR_ADDING_USER
パラメータ 1	ユーザ名。

考えられる原因

Mobile Link サーバは、指定されたユーザを ml_user テーブルに追加できませんでした。統合データベースサーバが稼働中で、Mobile Link ユーザが ml_user テーブルを修正するパーミッションを持っているか確認してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01019

その他の情報

- 「必要な権限」『Mobile Link サーバ管理』
- 「統合データベースのアップグレード」『SQL Anywhere 16 変更点とアップグレード』

ユーザ名 '%1' を ml_user_table から削除できません。

エラーコード	-10083
エラー定数	ERROR_DELETING_USER
パラメータ 1	削除するユーザの名前。

考えられる原因

Mobile Link ユーザが有効であり、現在他のスレッドによって使用されていないことを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link ユーザ」『Mobile Link クライアント管理』

要求ファイルをアップロードできませんでした。アップロードルートディレクトリが設定されていません。

エラーコード	-10321
エラー定数	FILETRANSFER_ROOT_UPLOAD_DIR_NOT_SET

考えられる原因

サーバがクライアントのファイルアップロード要求を受け取りましたが、サーバでアップロードのルートディレクトリが設定されていません。

その他の情報

- 「-ftru mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-ftr mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

要求ファイルを転送できませんでした。転送ルートが設定されていません。

エラーコード	-10250
エラー定数	FILETRANSFER_ROOT_DIR_NOT_SET

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

サーバがクライアントのファイル転送要求を受け取りましたが、サーバで転送のルートディレクトリが設定されていません。

その他の情報

- 「-ftr mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-ftru mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link ファイル転送ユーティリティ (mlfiletransfer)」『Mobile Link クライアント管理』

要求を完了できません

エラーコード	-10368
エラー定数	UNABLE_TO_COMPLETE_REQUEST

考えられる原因

Mobile Link サーバで、クライアント要求を完了できませんでした。詳細については、Mobile Link サーバメッセージログを確認してください。

その他の情報

- 「-o mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-dl mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

予期しない HTTP トラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	-10376
エラー定数	HTTP_INSTEAD_OF_TCP
パラメータ 1	リスニングポート。

考えられる原因

非 HTTP トラフィックを処理していたポートで、HTTP トラフィックを受信したため、Mobile Link サーバが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバ側と一致していることを確認します。

予期しない暗号化トラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	-10377
エラー定数	ENCRYPTED_INSTEAD_OF_TCP

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01021

パラメータ 1	リスニングポート。

考えられる原因

暗号化されていないトラフィックを処理していたポートで、暗号化されている可能性の高いトラフィックを受信したため、Mobile Link サーバが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバ側と一致していることを確認します。

予期しないエンドツーエンド暗号化トラフィックをポート%1 で受信しました

エラーコード	-10378
エラー定数	E2EE_INSTEAD_OF_TCP
パラメータ 1	リスニングポート。

考えられる原因

エンドツーエンドで暗号化されたトラフィックを想定されていないポートで受信したため、Mobile Link サーバが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバ側と一致していることを確認します。

リスナ削除要求を完了キューに通知できません (システムエラー：%1)

エラーコード	-10269
エラー定数	UNABLE_TO_POST_LISTENER_DELETION_REQUEST
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

リスナソケットでハードクローズを実行できません。

エラーコード	-10268

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラー定数	UNABLE_TO_CLOSE_LISTENER_SOCKET

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

リスナソケットを作成できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10260
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_LISTENER_SOCKET
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

リスナソケットをポートにバインドできません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10261
エラー定数	UNABLE_TO_BIND_LISTENER_PORT
パラメータ 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01023

リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期しています。同じリモート ID のロックは、別の同期によって変更されました。

エラーコード	-10342
エラー定数	SYNCH_KEY_CHANGED
パラメータ 1	リモート ID。

考えられる原因

Mobile Link サーバでリモート ID のロックを確認したとき、同時同期が検出されました。同一リモートデータベースに対する別の同期によってリモート ID がすでにロックされている場合に、この問題が発生します。同期を再試行してください。

その他の情報

- 「リモート ID」『Mobile Link クライアント管理』

リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期しているか、データベース接続が使用できません。同じリモート ID のロックにアクセスできません。

エラーコード	-10343
エラー定数	UNABLE_TO_ACCESS_RID
パラメータ 1	リモート ID。

考えられる原因

Mobile Link サーバで、統合データベースまたは Mobile Link システムデータベースのリモート ID に対するロックにアクセスできませんでした。リモート ID が別の同期によってロックされたか、またはデータベース接続が使用できなくなっている可能性があります。データベース接続を確認して、同期を再試行してください。

その他の情報

- 「リモート ID」『Mobile Link クライアント管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期している可能性があります。孤立した Ultra Light 同期が検出されました。

エラーコード	-10344
エラー定数	SYNC_KEY_NOT_NULL
パラメータ 1	リモート ID。

考えられる原因

Mobile Link でリモート ID のロックを確認したとき、孤立した Ultra Light 同期が検出されました。Mobile Link データベースワーカスレッドの待機中にキューイングされる同期が Ultra Light クライアントによってキャンセルされると、同期が孤立します。その後、孤立した同期によってデータベースワーカスレッドが取得されたとき、別の同期によってそのリモート ID のロックが変更済みである場合は、このエラーが発生し、この孤立した同期が閉じられます。

その他の情報

- 「リモート ID」『Mobile Link クライアント管理』
- 「同期処理」『Mobile Link クイックスタート』

リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期している可能性があります。そのリモート ID はロックできません。

エラーコード	-10341
エラー定数	UNABLE_TO_LOCK_RID
パラメータ 1	リモート ID。

考えられる原因

Mobile Link サーバで、統合データベースまたは Mobile Link システムデータベースのリモート ID をロックできませんでした。リモート ID が別の同期によってロックされたか、またはデータベース接続が使用できなくなっている可能性があります。後で同期を試行してください。

その他の情報

- 「リモート ID」『Mobile Link クライアント管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01025

リモート ID '%1' の RID を取得できません。

エラーコード	-10348
エラー定数	UNABLE_TO_GET_RID
パラメータ 1	リモート ID。

考えられる原因

Mobile Link サーバで、統合データベースまたは Mobile Link システムデータベース (MLSD) の ml_database テーブルから RID を取得できませんでした。統合データベースまたは MLSD が稼働していることを確認してください。

その他の情報

- 「統合データベースの設定」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバ管理』
- 「リモート ID」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-cs mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

リモート ID '%1' の同期シーケンス ID が無効です。

エラーコード	-10400
エラー定数	INVALID_SEQUENCE_ID
パラメータ 1	リモート ID。

考えられる原因

統合データベース内の同期シーケンス ID が、クライアントによって送信されたシーケンス ID と一致しません。リモート ID がユニークであることを確認してください。データベースをバックアップからリストアした場合、ml_reset_sync_state ストアドプロシージャを実行してリモート ID の同期状態をリセットしてください。

リモート ID '%2' の同期キー '%1' が無効です。

エラーコード	-10389
エラー定数	INVALID_SYNC_KEY
パラメータ 1	同期キー。
パラメータ 2	リモート ID。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

指定されたリモート ID の統合データベース内の同期キーが整数でも GUID でもありません。'0' にリセットすることができます。同期キーをリセットする前に、現在のクライアントのインスタンスが動作していないことを確認してください。

リモートクライアントで使用されている文字セット (%1) を、Mobile Link サーバがマップできません。

エラーコード	-10307
エラー定数	UNKNOWN_CHARSET
パラメータ 1	文字セットラベル。

考えられる原因

リモートによって提供された文字データを、統合データベースに必要な文字セットに変換できません。

その他の情報

- 「文字セットの考慮事項」『Mobile Link サーバ管理』
- 「同期中の文字セット変換」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ODBC ドライバの文字セットの変換」『Mobile Link サーバ管理』

リモートクライアントで使用されている文字セット (%1) を、Mobile Link サーバがマップできません。

エラーコード	-10306
エラー定数	UNKNOWN_CID
パラメータ 1	文字セット ID。

考えられる原因

リモートによって提供された文字データを、統合データベースに必要な文字セットに変換できません。

その他の情報

- 「文字セットの考慮事項」『Mobile Link サーバ管理』
- 「同期中の文字セット変換」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ODBC ドライバの文字セットの変換」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01027

例外情報をダンプできません。例外処理中に例外を受け取りました。

エラーコード	-10119
エラー定数	EL_JAVA_EXCEPTION_WHILE_PROCESSING_EXCEPTION

考えられる原因

Java スクリプトが原因で例外が発生しましたが、続いて例外が発生したので、Mobile Link サーバで例外情報を表示できませんでした。

レコーダーで必要なスレッドとの結び付きマスクを設定できません。

エラーコード	-10317
エラー定数	RECORDER_UNABLE_TO_SET_THREAD_AFFINITY

考えられる原因

サーバで、レコーダーに必要なスレッドアフィニティマスクを設定できませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバ管理』

ワーカーを VM から分離できません。

エラーコード	-10169
エラー定数	EL_DNET_WORKER_DETACH_FAIL

考えられる原因

これは内部のシャットダウンエラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

Mobile Link サーバの警告メッセージ

警告メッセージは、Mobile Link サーバのメッセージログに書き込まれます。

各エラーには、数値エラーコードがあります。エラーコードの値も警告コードの値も正となります。警告コードは、10001 以上の値となります。

多くのエラーメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメータに置き換えられてエラーメッセージに表示されます。

参照

- 「Mobile Link サーバのエラーメッセージ」889 ページ
- 「Mobile Link 通信エラーメッセージ」1073 ページ

各警告には、1 ～ 5 のレベルが割り当てられます。

レベル	説明
1	Mobile Link サーバの起動または停止時に発生するサーバレベルまたは高い ODBC レベルの警告
2	同期の開始および終了時に発生する同期レベルとユーザレベルの警告
3	スキーマレベル (パブリケーションとテーブルを含む) の警告
4	スクリプトレベルと低い ODBC レベルの警告
5	テーブルレベルとローレベルの警告

Mobile Link サーバの警告メッセージ (エラーコード順)

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10001	1	「データベース最大接続数が %1 に設定されました (データベースワーカスレッド数以上に指定します)。」
10003	1	「ODBC 独立性レベル (%1) はサポートされていません。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01029

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10004	1	「ODBC 関数 %1 がドライバでサポートされていません。」
10005	1	「ODBC 文のオプション %1 は %2 (%3) から %4 (%5) に変更されています。」
10006	1	「ODBC 文のオプション %1 は %2 から %3 に変更されています。」
10007	2	「統合データベースでのデッドロック後に begin_connection トランザクションをリトライします。」
10009	2	「Mobile Link テーブル '%1' が破損しています。」
10010	2	「handle_error スクリプトが定義されていません。エラー動作はデフォルトアクションコード (%1) に従います。」
10012	2	「統合データベースとリモートデータベース間で、最後に同期をとった時点が一致しません。進行状況オフセットが、統合データベースでは %1、リモートデータベースでは %2 です。既知の最後の同期時点から始まる新規アップロードの送信をリモートデータベースに要求しています。」
10014	4	「カーソルのパラメータとして予期していたのは最大 %1 個ですが、%2 個見つかりました。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10015	3	「テーブル '%1' には少なくとも 1 つのタイムスタンプカラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、アップロードされるタイムスタンプの精度が失われ、ダウンロードフィルタリングが無効になる場合があります。」
10016	3	「テーブル '%1' には少なくとも 1 つのタイムスタンプカラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、ダウンロードされるタイムスタンプの精度が失われ、データの一貫性が失われる場合があります。」
10017	3	「統合データベースとリモートデータベースでタイムスタンプの精度が異なります。統合データベースのタイムスタンプ精度は秒の小数点以下第 %1 位、リモートデータベースのタイムスタンプ精度は小数点第 %2 位です。」
10018	3	「タイムスタンプ精度の不一致を解決するには、リモートデータベースの SQL Anywhere DEFAULT_TIMESTAMP_INCREMENT オプションを %1 に、TRUNCATE_TIMESTAMP_VALUES を 'On' に設定してください。Ultra Light リモートでは、TIMESTAMP_INCREMENT オプションを %2 に設定してください。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01031

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10019	3	「リモートデータベースでは、統合データベースのタイムスタンプ精度を一致させることができません。アプリケーション、スキーマ、スクリプト側で精度の不一致に対処するロジックを用意する必要があります。」
10020	3	「タイムスタンプ精度の不一致は、アップロード時の競合の検出に影響を及ぼす場合があります。-zp オプションを使用すると、Mobile Link サーバは最も低い精度のタイムスタンプを使用して競合の検出を行います。」
10021	3	「リモートデータベースと統合データベースでタイムスタンプ精度が異なります。競合を検出するために、精度の低い側よりも高い精度のタイムスタンプ値が使用されました。-zp オプションの使用を検討してください。」
10022	3	「パブリケーション '%1' は、いずれのテーブルでも参照されていません。」
10023	3	「アップロードはロールバックされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。」
10032	2	「クライアントの同期ログを格納するファイルを開けません。ファイル名は '%1' です。」
10033	2	「リモートクライアントの同期ログを読み込んでいるときにエラーが発生しました。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10034	2	「リモート同期ログを含むローカルファイルに書き込めません。」
10035	2	「リモートクライアントの同期ログが不完全なまま終了しています。トランケートされたと思われます。」
10036	2	「クライアント同期ログは、Mobile Link サーバのメッセージログファイルまたは Mobile Link サーバのメッセージウィンドウに表示されます。」
10039	2	「マルチロー操作中にエラーが検出されました。シングルローモードでリトライする前にロールバックを実行しています。」
10040	2	「テーブル %2 へのデータのアップロードで %1 ローが無視されました。」
10041	2	「アップロードはコミットされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。」
10043	4	「統合データベースから現在のタイムスタンプを決定できません。」
10045	2	「統合データベースでのデッドロック後にアップロードをリトライします。」
10048	2	「統合データベースでのデッドロック後に begin_synchronization トランザクションをリトライします。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01033

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10049	2	「統合データベースでのデッドロック後に end_synchronization トランザクションをリトライします。」
10050	4	「%1」
10051	1	「認識されない ODBC ドライバ '%1' です。ODBC ドライバは、種類によって機能と品質が大幅に異なります。このドライバには同期化に必要な機能がありません。ユーザ自身の責任でご使用ください。」
10055	2	「クライアントから %1 認証パラメータが提供されましたが、authenticate_parameters スクリプトがありません。」
10064	1	「未知のユーザは自動的に追加されます (authenticate_user スクリプトがない場合)。」
10068	5	「'%1'」
10073	1	「Windows XP ファイアウォールが有効であり、Mobile Link サーバが例外リストにありません。リモートマシン上のクライアントがこのサーバに接続できない可能性があります。」
10074	4	「統合データベースからダウンロードタイムスタンプをフェッチできません。」
10075	1	「ORACLE テーブル 'v_$transaction' にアクセスできません。タイムスタンプベースのダウンロードを利用する場合は、データの損失を防ぐためにアクセスが必要です。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10078	1	「Microsoft SQL Server 仮想テーブル 'sys.dm_tran_active_transactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバは、スナップショットアイソレーションを使用しません。」
10079	1	「コマンドラインオプション '%1' は無視されます。」
10080	5	「統合データベースでの競合する更新後にアップロードをリトライします。」
10081	3	「統合データベースからテーブル '%1' のカラムのデータ型を取得できません。」
10082	1	「Mobile Link サーバがデータページをスワップしました。ディスクアウト : %1 ページ、ディスクイン : %2 ページ、同時使用可能 : %3 ページ」
10083	1	「同時同期上の制限のため、Mobile Link サーバはこの同期でのネットワークの読み込みを停止しています。」
10084	1	「同時同期数が減少したため、Mobile Link サーバはこの同期でのネットワークの読み込みを再開しました。」
10085	1	「テーブル '%1' で、ml_column テーブルのエントリ数が、リモートテーブルのカラム数よりも大きくなっています。」
10087	1	「ASE テーブル 'master..systransactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバはダウンロードにシステム時間を使用します。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01035

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10088	5	「統合データベースで現在実行されている SQL 文の実行時間が長すぎます。接続 ID は '%1' です。」
10089	1	「パフォーマンス警告 -- データベース接続の再使用率が %1% です。」
10091	2	「リモートクライアントでパススルースクリプトが失敗しました。実行順序 : %1、スクリプト ID : %2、エラーコード : %3、エラーテキスト : '%4'」
10092	2	「無効なログの冗長性オプション : '%1'」
10093	1	「Mobile Link サーバは現在、パフォーマンスを低下させる -zf で実行中です。」
10094	1	「最小キャッシュサイズが小さすぎます。%1 バイトから %2 バイトに増加しています。」
10095	1	「最大キャッシュサイズが小さすぎます。%1 バイトから %2 バイトに増加しています。」
10096	1	「初期キャッシュサイズが小さすぎます。%1 バイトから %2 バイトに増加しています。」
10097	1	「初期キャッシュサイズが最小キャッシュサイズよりも小さくなっています。初期サイズを %1 バイトに増加しています。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10098	1	「最大キャッシュサイズが初期キャッシュサイズよりも小さくなっています。最大サイズを %1 バイトに増加しています。」
10099	1	「スキーマを記録できません。」
10100	1	「Mobile Link サーバにはすべての同期が記録されます。」
10101	2	「クライアント '%1' からの同期の要求は拒否されました。」
10102	5	「空間ライブラリ警告 : '%1'」
10103	5	「Z/M 値がアップロード空間データから削除されました。」
10104	1	「エージェント %1 に一度に送信するリモートタスクが多すぎます。エージェントが一度に受信できる最大リモートタスク数は 255 です。」
10105	1	「RTNotifier が開始されていないため、エージェントで受信するリモートタスクはありません。」
10106	2	「リモート ID '%1' をロックできません。 再試行します。」
10107	1	「<OE>: %1」
10108	1	「次のオプションは推奨されていません : %1」
10109	1	「クライアント Java VM をロードしています。」
10110	1	「%1 が存在しないか、記録されたプロトコルファイル (拡張子 .mlr) が含まれていません。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01037

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10115	3	「パフォーマンス警告 : リモートテーブル '%2' のカラム '%1' が '%3' から '%4' に再度マップされました」
10116	2	「最初のトランザクションは '%1' 秒間実行されています」
10117	5	「接続 ID '%1' は、現在、%4 で %3 秒間、接続 ID '%2' によってブロックされています。」
10118	1	「LDAP サーバに対してユーザ '%1' を認証できません。」
10119	1	「データベースサーバから UTC 時間をフェッチできません。」
10120	2	「クライアントネットワークプロトコルバージョンが古すぎます。」
10121	2	「クライアントネットワークプロトコルバージョンが新しすぎます。」
10122	2	「ODBC トレーシングは現在有効です。これはパフォーマンスに影響します。」

Mobile Link サーバの警告メッセージ (五十音順)

%1

エラーコード	10050
エラー定数	WARN_SQL_SUCCESS_WITH_INFO
パラメータ 1	ODBC ドライバからのメッセージ。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

Mobile Link サーバからの ODBC 呼び出しは成功しましたが、ODBC ドライバは警告メッセージを表示しました。このメッセージを回避する方法は、特定の警告に依存します。

その他の情報

- 「同期中の文字セット変換」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link の ODBC ドライバ」『Mobile Link サーバ管理』

%1 が存在しないか、記録されたプロトコルファイル (拡張子 .mlr) が含まれていません。

エラーコード	10110
エラー定数	NO_MLR_FILES_FOUND
パラメータ 1	rrp オプションで指定されたディレクトリ。

考えられる原因

記録されたプロトコルファイル (拡張子が mlr のファイル) が存在するディレクトリを '-rrp' オプションに指定するか、または -rrp を使用しないようにします。

その他の情報

- 「-rrp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

'%1'

エラーコード	10068
エラー定数	EL_DNET_WRITE_STREAM_WARNING
パラメータ 1	警告メッセージ。

考えられる原因

.Net CLR によって生成された警告メッセージです。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「.NET の同期スクリプト」『Mobile Link サーバ管理』
- 「CLR 外部環境」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01039

<OE>: %1

エラーコード	10107
エラー定数	OUTBOUND_WARNING
パラメータ 1	警告。

考えられる原因

統合化 Outbound Enabler で警告が発生しました。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Outbound Enabler」『Relay Server』

ASE テーブル 'master..systransactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバはダウンロードにシステム時間を使用します。

エラーコード	10087
エラー定数	ASE_ACCESS_MASTER_PERMISSION

考えられる原因

Mobile Link サーバは、同期時にトランザクションの開始時刻を取得するために、master データベース内のいくつかのテーブルにアクセスする必要があります。Mobile Link サーバと Microsoft SQL Server の接続に使用するユーザ ID に、'master..systransactions' テーブルにアクセスするパーミッションがあることを確認してください。

その他の情報

- 「Adaptive Server Enterprise 統合データベース」『Mobile Link サーバ管理』

handle_error スクリプトが定義されていません。エラー動作はデフォルトアクションコード (%1) に従います。

エラーコード	10010
エラー定数	NO_ERROR_HANDLER
パラメータ 1	エラーアクションコード。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

同期中に Mobile Link サーバでエラーが発生しました。しかし、統合データベースには定義された handle_error スクリプトがありません。サーバは、そのエラーに対してデフォルトのアクションを実行します。この警告を回避するには、handle_error スクリプトを定義してください。

その他の情報

- 「handle_error 接続イベント」『Mobile Link サーバ管理』

LDAP サーバに対してユーザ '%1' を認証できません。

エラーコード	10118
エラー定数	UNABLE_TO_AUTHUSER_WITH_LDAP
パラメータ 1	ユーザ名。

考えられる原因

Mobile Link サーバが、LDAP サーバに対してユーザを認証できませんでした。LDAP サーバが動作していること、または認証ポリシーが正しく設定されていることを確認してください。

Microsoft SQL Server 仮想テーブル 'sys.dm_tran_active_transactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバは、スナップショットアイソレーションを使用しません。

エラーコード	10078
エラー定数	MSS_SNAPSHOT_PERMISSION

考えられる原因

Mobile Link サーバは、同期時にスナップショットアイソレーションを使用するために、いくつかの仮想テーブルにアクセスする必要があります。Mobile Link サーバと Microsoft SQL Server の接続に使用するユーザ ID に、'sys.dm_tran_active_transactions' テーブルにアクセスするパーミッションがあることを確認してください。

その他の情報

- 「スナップショットを使った同期」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Microsoft SQL Server 統合データベース」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01041

Mobile Link サーバがデータページをスワップしました。ディスクアウト：%1 ページ、ディスクイン：%2 ページ、同時使用可能：%3 ページ

エラーコード	10082
エラー定数	SWAPPED_LOTS_OF_PAGES
パラメータ 1	スワップアウトされたページの合計数。
パラメータ 2	スワップインされたページの合計数。
パラメータ 3	同時使用可能なディスクページの数。

考えられる原因

Mobile Link サーバは、キャッシュメモリに収まらなかったときにディスクに書き出す場合があります。この場合、これがパフォーマンスの問題であるかどうかをユーザが判断できるように、ログに警告メッセージが出力されます。-cm オプションでサーバのキャッシュメモリのサイズを制御できます。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバでのメモリの使用」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-cm mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Mobile Link サーバにはすべての同期が記録されます。

エラーコード	10100
エラー定数	RECORDING_ON

考えられる原因

Mobile Link サーバでは、すべての同期が記録されます。

その他の情報

- 「スクリプトと同期処理」『Mobile Link サーバ管理』

Mobile Link サーバは現在、パフォーマンスを低下させる -zf で実行中です。

エラーコード	10093

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラー定数	OPTION_ZF

考えられる原因

-zf を指定して Mobile Link サーバを起動すると、各同期の開始時にスクリプトの変更がチェックされます。このスイッチは、Mobile Link サーバの起動後にスクリプトが変更される可能性のある開発環境で使用するためのものです。

その他の情報

- 「-zf mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Mobile Link テーブル '%1' が破損しています。

エラーコード	10009
エラー定数	TABLE_DAMAGED
パラメータ 1	Mobile Link システムテーブル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバは、リストされたテーブルから情報を取得できませんでした。そのテーブルが存在し、データベースサーバが実行されていることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバのシステムテーブル」『Mobile Link サーバ管理』

ODBC 関数 %1 がドライバでサポートされていません。

エラーコード	10004
エラー定数	ODBC_MISSING_FUNCTION
パラメータ 1	ODBC 関数名。

考えられる原因

この関数は、Mobile Link サーバが動作するのに必要です。ODBC ドライバを更新してください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/detail?id=1011880
- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバ」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01043

ODBC 独立性レベル (%1) はサポートされていません。

エラーコード	10003
エラー定数	ODBC_MISSING_REQUIRED_ISOLATION_LEVEL
パラメータ 1	要求された独立性レベル。

考えられる原因

要求された独立性レベルは、統合データベースではサポートされていません。他のレベルが適切かどうか判断してください。

その他の情報

- 「Mobile Link 独立性レベル」『Mobile Link サーバ管理』
- 「スナップショットアイソレーション」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』
- 「スナップショットアイソレーションを有効化する方法」『SQL Anywhere サーバ SQL の使用法』

ODBC トレーシングは現在有効です。これはパフォーマンスに影響します。

エラーコード	10122
エラー定数	ODBC_TRACING_ENABLED

考えられる原因

ODBC トレーシングを有効にすると、Mobile Link サーバのパフォーマンスが低下します。サーバオプション (-t) でトレーシングを有効にしている場合、この警告は表示されません。

その他の情報

- 「イベントのトレース」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

ODBC 文のオプション %1 は %2 (%3) から %4 (%5) に変更されています。

エラーコード	10005
エラー定数	OPTION_CHANGED_1
パラメータ 1	ODBC 文オプションの名前。
パラメータ 2	設定の元の名前。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パラメータ 3	設定の元の値。
パラメータ 4	設定の新しい名前。
パラメータ 5	設定の新しい値。

考えられる原因

オプションが ODBC ドライバによって変更されています。この変更は望ましくない場合があります。

その他の情報

- http://www.sybase.com/detail?id=1011880
- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバ」『Mobile Link サーバ管理』

ODBC 文のオプション %1 は %2 から %3 に変更されています。

エラーコード	10006
エラー定数	OPTION_CHANGED_2
パラメータ 1	ODBC 文オプションの名前。
パラメータ 2	設定の元の値。
パラメータ 3	設定の新しい値。

考えられる原因

オプションが ODBC ドライバによって変更されています。この変更は望ましくない場合があります。

その他の情報

- http://www.sybase.com/detail?id=1011880
- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバ」『Mobile Link サーバ管理』

ORACLE テーブル 'v_$transaction' にアクセスできません。タイムスタンプベースのダウンロードを利用する場合は、データの損失を防ぐためにアクセスが必要です。

エラーコード	10075

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01045

エラー定数	ORACLE_VTXN_PERMISSION

考えられる原因

ORACLE の非ブロッキング読み込み機能が原因で、ダウンロードのフィルタ用に生成されたタイムスタンプが正しくない可能性があります。Mobile Link サーバと ORACLE データベースの接続に使用するユーザ ID に、gv$transaction テーブルにアクセスするパーミッションがあることを確認してください。

その他の情報

- 「Oracle 統合データベース」『Mobile Link サーバ管理』

RTNotifier が開始されていないため、エージェントで受信するリモートタスクはありません。

エラーコード	10105
エラー定数	NO_RT_NOTIFIER

考えられる原因

No RTNotifier が開始されました。このため、エージェントではリモートタスクが受信されなくなります。ml_property テーブルに RTNotifier が存在することを確認してください。

その他の情報

- 「リモートタスク Notifier (RTNotifier)」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ml_add_property システムプロシージャ」『Mobile Link サーバ管理』

Windows XP ファイアウォールが有効であり、Mobile Link サーバが例外リストにありません。リモートマシン上のクライアントがこのサーバに接続できない可能性があります。

エラーコード	10073
エラー定数	XP_FIREWALL_ENABLED

考えられる原因

Windows XP ファイアウォールが有効になり、Mobile Link サーバが例外リストにないか、例外リストにあっても無効になっています。この設定では、リモートクライアントがサーバに接続できません。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

Z/M 値がアップロード空間データから削除されました。

エラーコード	10103
エラー定数	DROP_GEOMETRY_ZM_VALUE

考えられる原因

統合データベースの WKB で許可されないため、Mobile Link サーバでは Z/M 値がアップロード空間データから削除されました。

その他の情報

- 「空間データの同期」『Mobile Link サーバ管理』

アップロードはコミットされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。

エラーコード	10041
エラー定数	LOSE_COMMITTED_UPLOAD

考えられる原因

これは、主にテスト用に使用される内部警告ですが、テクニカルサポート契約の一部です。

その他の情報

- 「ローをアップロードするスクリプト」『Mobile Link サーバ管理』
- 「COMMIT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

アップロードはロールバックされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。

エラーコード	10023
エラー定数	LOSE_UPLOAD

考えられる原因

これは、主にテスト用に使用される内部警告ですが、テクニカルサポート契約の一部です。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01047

その他の情報

- 「ローをアップロードするスクリプト」『Mobile Link サーバ管理』
- 「COMMIT 文」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

エージェント %1 に一度に送信するリモートタスクが多すぎます。エージェントが一度に受信できる最大リモートタスク数は 255 です。

エラーコード	10104
エラー定数	SIRT_TOO_MANY_TIIDS
パラメータ 1	エージェント名。

考えられる原因

エージェントに一度に送信するリモートタスクが多すぎます。エージェントが一度に受信できる最大リモートタスク数は 255 です。

その他の情報

- 「サーバ起動リモートタスク (SIRT)」『Mobile Link サーバ管理』

カーソルのパラメータとして予期していたのは最大 %1 個ですが、%2 個見つかりました。

エラーコード	10014
エラー定数	ODBC_EXTRA_PARAMETERS
パラメータ 1	想定されていたパラメータの最大数。
パラメータ 2	見つかったパラメータ数。

考えられる原因

Mobile Link サーバには、各カーソルスクリプトについてパラメータの最大数が決まっています。指定したカーソルスクリプトのパラメータの数がパラメータの最大数より多い場合、サーバはこの警告を表示します。

その他の情報

- 「ローをダウンロードするスクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

空間ライブラリ警告 : '%1'

エラーコード	10102
エラー定数	SPATIALLIB_WARNING
パラメータ 1	空間ライブラリによって生成される実際の警告コード。

考えられる原因

警告の原因を特定するには、空間ライブラリの実際の警告メッセージを確認してください。

その他の情報

- 「空間データの同期」『Mobile Link サーバ管理』

クライアント '%1' からの同期の要求は拒否されました。

エラーコード	10101
エラー定数	SESSION_REJECTED_DUE_TO_SM
パラメータ 1	リモート ID。

考えられる原因

同時に発行された同期要求の数が、同時にアクティブにできる同期の最大数 (-sm で指定) を超過したため、クライアントによって発行された同期要求が Mobile Link サーバによって拒否されました。

その他の情報

- 「Mobile Link のパフォーマンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「同期中の同時実行性」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-sm mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

クライアント Java VM をロードしています。

エラーコード	10109
エラー定数	EL_JAVA_CLIENT_JAVA_VM

考えられる原因

サーバで、サーバ Java VM を検出できなかったため、代わりにクライアント VM がロードされました。クライアント VM のパフォーマンスはサーバ VM よりも著しく低くなります。意図的にクライアント VM を使用している場合にこの警告を非表示にするには、-sl Java オプションに -client を追加します。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01049

その他の情報

- 「-sl java mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

クライアントから %1 認証パラメータが提供されましたが、authenticate_parameters スクリプトがありません。

エラーコード	10055
エラー定数	NO_AUTH_PARMS_SCRIPT
パラメータ 1	認証パラメータの数。

考えられる原因

Mobile Link 同期クライアントは、リストされた数の同期パラメータを送信しました。しかし、統合データベースには定義された同期パラメータがありません。この警告を回避するには、同期サーバにある authenticate_parameters スクリプトを定義してください。または、クライアントから同期パラメータを送信しないでください。

その他の情報

- 「認証パラメータ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「authenticate_parameters 接続イベント」『Mobile Link サーバ管理』

クライアント同期ログは、Mobile Link サーバのメッセージログファイルまたは Mobile Link サーバのメッセージウィンドウに表示されます。

エラーコード	10036
エラー定数	ERROR_LOG_TO_OUTPUT_LOG

考えられる原因

同期中にクライアント側でエラーが発生した場合、クライアントはサーバに出力ファイルを送信し、サーバはコマンドラインオプション -e または -et を使用して指定されたファイルにこの出力ファイルを保存します。しかし、Mobile Link サーバが書き込み時にこのファイルを開けなかった場合、この警告メッセージが表示され、リモートログはメッセージログファイルまたはメッセージウィンドウに書き込まれます。この警告を回避するには、Mobile Link サーバにそのファイルへの書き込み権限があることを確認してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

その他の情報

- 「-e mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-et mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ErrorLogSendLimit (el) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』

クライアントネットワークプロトコルバージョンが新しすぎます。

エラーコード	10121
エラー定数	CLIENT_VERSION_TOO_NEW

考えられる原因

Mobile Link サーバが新しすぎるため、この要求を処理できません。クライアントでは古いネットワークプロトコルを引き続き使用することもできます。要求の処理の失敗が続く場合、サーバを更新してください。

クライアントネットワークプロトコルバージョンが古すぎます。

エラーコード	10120
エラー定数	CLIENT_VERSION_TOO_OLD

考えられる原因

クライアントが古すぎるため、Mobile Link サーバがこの要求を処理できません。クライアントを更新してください。

クライアントの同期ログを格納するファイルを開けません。ファイル名は '%1' です。

エラーコード	10032
エラー定数	ERROR_OPENING_ERROR_LOG
パラメータ 1	ファイル名。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01051

考えられる原因

Mobile Link サーバは、-e または -et オプションによって指定されたローカルのリモートログファイルを開けませんでした。ファイル名およびパスが有効で、ファイルが書き込み可能であることを確認してください。

その他の情報

- 「-e mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-et mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ErrorLogSendLimit (el) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』

コマンドラインオプション '%1' は無視されます。

エラーコード	10079
エラー定数	CMD_SWITCH_IGNORED
パラメータ 1	コマンドラインオプション。

考えられる原因

Mobile Link サーバがコマンドラインオプションを無視しました。コマンドラインオプションを適用できるかどうかを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバオプション」『Mobile Link サーバ管理』

最小キャッシュサイズが小さすぎます。%1 バイトから %2 バイトに増加しています。

エラーコード	10094
エラー定数	CACHE_MIN_TOO_SMALL
パラメータ 1	指定されたキャッシュサイズ。
パラメータ 2	新しい最小キャッシュサイズ。

考えられる原因

-cmin オプションの値が小さすぎます。

その他の情報

- 「-cmin mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

最初のトランザクションは '%1' 秒間実行されています

エラーコード	10116
エラー定数	TXN_OPEN_FOR_TOO_LONG
パラメータ 1	最も古いトランザクションの実行時間 (秒単位)

考えられる原因

ダウンロード用のスナップショットアイソレーションで、開いたトランザクションによって Mobile Link サーバが次の最終ダウンロード時間を現在のタイムスタンプに進めるのが妨げられ、次のダウンロードで多数の冗長なローが生成されます。この問題を回避するには、トランザクションのオープン時間を短くしてみてください。

その他の情報

- 「スナップショットを使った同期」『Mobile Link サーバ管理』

最大キャッシュサイズが初期キャッシュサイズよりも小さくなっています。最大サイズを %1 バイトに増加しています。

エラーコード	10098
エラー定数	CACHE_MAX_LT_INIT
パラメータ 1	新しい最大キャッシュサイズ。

考えられる原因

-cmax オプションの値が -cinit オプションの値より小さくなっています。

その他の情報

- 「-cinit mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-cmax mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

最大キャッシュサイズが小さすぎます。%1 バイトから %2 バイトに増加しています。

エラーコード	10095
エラー定数	CACHE_MAX_TOO_SMALL
パラメータ 1	指定されたキャッシュサイズ。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01053

パラメータ 2	新しい最大キャッシュサイズ。

考えられる原因

-cmax オプションの値が小さすぎます。

その他の情報

- 「-cmax mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

初期キャッシュサイズが最小キャッシュサイズよりも小さくなっています。初期サイズを %1 バイトに増加しています。

エラーコード	10097
エラー定数	CACHE_INIT_LT_MIN
パラメータ 1	新しい初期キャッシュサイズ。

考えられる原因

-cinit オプションの値が -cmin オプションの値より小さくなっています。

その他の情報

- 「-cinit mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-cmin mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

初期キャッシュサイズが小さすぎます。%1 バイトから %2 バイトに増加しています。

エラーコード	10096
エラー定数	CACHE_INIT_TOO_SMALL
パラメータ 1	指定されたキャッシュサイズ。
パラメータ 2	新しい初期キャッシュサイズ。

考えられる原因

-cinit オプションの値が小さすぎます。

その他の情報

- 「-cinit mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

スキーマを記録できません。

エラーコード	10099
エラー定数	RECORDER_NO_SCHEMA

考えられる原因

Mobile Link サーバで、同期のスキーマを記録できませんでした。このことは、この同期を異なるデータでリプレイできないことを意味します。

接続 ID '%1' は、現在、%4 で %3 秒間、接続 ID '%2' によってブロックされています。

エラーコード	10117
エラー定数	CONN_BLOCKED_ON
パラメータ 1	Mobile Link サーバのデータベース接続 ID。
パラメータ 2	別のデータベース接続 ID。
パラメータ 3	秒数。
パラメータ 4	現在ブロックされているテーブル名またはデータベース操作。

考えられる原因

Mobile Link サーバは、規定の時間よりも長くかかっているデータベース操作を検出し、Mobile Link サーバの接続をブロックしている接続 ID をレポートします。この問題を回避するには、トランザクションのオープン時間を短くしてみてください。

タイムスタンプ精度の不一致は、アップロード時の競合の検出に影響を及ぼす場合があります。-zp オプションを使用すると、Mobile Link サーバは最も低い精度のタイムスタンプを使用して競合の検出を行います。

エラーコード	10020
エラー定数	MAY_USE_AUTO_TIMESTAMP_TOLERANCE

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01055

考えられる原因

タイムスタンプ精度が、リモートデータベースと統合データベースの間で一致していないことが検出されました。Mobile Link サーバが 2 つのデータベースのローを比較するときに、精度の不一致はアップロード競合検出に影響する場合があります。使用している同期システムに関連するデータベースの精度を揃えないと決定した場合、-zp スイッチを使用して、Mobile Link サーバを起動できます。-zp コマンドラインオプションが使用されている場合、Mobile Link サーバは、2 つのデータベース間で精度が低い方より小さいタイムスタンプの違いによって発生した競合は許容します。

その他の情報

- 「競合の解決」『Mobile Link サーバ管理』
- 「日付と時刻をデータベースに送信する方法」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「TIMESTAMP データ型」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「-zp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

タイムスタンプ精度の不一致を解決するには、リモートデータベースの SQL Anywhere DEFAULT_TIMESTAMP_INCREMENT オプションを %1 に、TRUNCATE_TIMESTAMP_VALUES を 'On' に設定してください。Ultra Light リモートでは、TIMESTAMP_INCREMENT オプションを %2 に設定してください。

エラーコード	10018
エラー定数	REMOTE_MAY_MATCH_CONSOLIDATE_TIMESTAMP_PRECISION
パラメータ 1	秒の小数点以下第何位という形式で表した統合データベースのタイムスタンプ精度。

考えられる原因

これは、タイムスタンプ精度を揃える方法を通知する警告です。SQL Anywhere クライアントデータベースまたは Ultra Light クライアント用の SQL Anywhere リファレンスデータベースでタイムスタンプ精度を調整します。精度を調整してから、Ultra Light クライアントを再生成する必要があります。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

その他の情報

- 「default_timestamp_increment オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「truncate_timestamp_values オプション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「Ultra Light timestamp_increment 作成パラメータ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「Ultra Light データベース初期化ユーティリティ (ulinit)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

次のオプションは推奨されていません : %1

エラーコード	10108
エラー定数	DEPRECATED_OPTION
パラメータ 1	廃止されたオプション。

考えられる原因

このオプションは廃止されました。このオプションは今後のバージョンで削除される予定です。このオプションの指定を中止する方法については、マニュアルを参照してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバオプション」『Mobile Link サーバ管理』

データベースサーバから UTC 時間をフェッチできません。

エラーコード	10119
エラー定数	UNABLE_TO_FETCH_UTC_TIME

考えられる原因

Mobile Link サーバは、同期要求の順序を管理するためにデータベースサーバの UTC 時刻を使用します。ただし、データベースサーバから 1 秒未満の間に UTC 時刻をフェッチすることができなかったため、ローカル OS の UTC 時刻を使用します。

データベース最大接続数が %1 に設定されました (データベースワーカスレッド数以上に指定します)。

エラーコード	10001
エラー定数	MAX_DB_CONNECTIONS_SET_TO

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01057

パラメータ 1	接続の最大数。

考えられる原因

Mobile Link サーバでは、データベースのワーカスレッドごとに 1 つの接続が確立されます。したがって、接続の最大数は、データベースワーカスレッド数以上にしてください。

その他の情報

- 「Mobile Link のパフォーマンス」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link のパフォーマンスのチューニング」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-cn mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-w mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-wm mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-wu mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル %2 へのデータのアップロードで %1 ローが無視されました。

エラーコード	10040
エラー定数	IGNORED_ROWS_FOR_TABLE
パラメータ 1	無視されたローの合計数。
パラメータ 2	テーブル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベースに適用されなかったすべてのアップロードローを無視されたローとして数えます。これは、クライアントからアップロードされる挿入、更新、削除があっても、リストされているテーブルの upload_insert、upload_update、upload_delete スクリプトが統合データベースにない場合か、このテーブルにデータをアップロード中にエラーが発生しても handle_error または handle_odbc_error が 1000 を返した場合に発生します。

その他の情報

- 「ローをアップロードするスクリプト」『Mobile Link サーバ管理』
- 「エラーを処理するスクリプト」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' で、ml_column テーブルのエントリ数が、リモートテーブルのカラム数よりも大きくなっています。

エラーコード	10085

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラー定数	TOO_MANY_ML_COLUMN_ENTRIES
パラメータ 1	テーブル名。

考えられる原因

この警告は、指定されたテーブルで ml_column テーブルに余計なカラムエントリがあることを示します。これは、(1) 同期スクリプトが名前付きパラメータによってカラム名を参照していて、(2) テーブルのカラム数よりも大きいインデックスのカラム名を参照している場合にかぎり、問題になります。この場合は、この警告後にエラーが発行されます。

その他の情報

- 「ml_add_column システムプロシージャ (廃止予定)」『Mobile Link サーバ管理』

テーブル '%1' には少なくとも 1 つのタイムスタンプカラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、アップロードされるタイムスタンプの精度が失われ、ダウンロードフィルタリングが無効になる場合があります。

エラーコード	10015
エラー定数	LOSING_UPLOAD_TIMESTAMP_PRECISION
パラメータ 1	テーブル名。

考えられる原因

リモートデータベースは少なくとも 1 つのタイムスタンプカラムを持つテーブルを同期していますが、リモートデータベースのタイムスタンプ精度は統合データベースのタイムスタンプ精度よりも高くなっています。アップロードされた値は、統合データベースに格納されると正確さを失います。Mobile Link サーバでは、アップロードローとダウンロードローを比較し、冗長なダウンロードローをフィルタします。精度が失われるため、事実上の相違が生じてダウンロードフィルタリングが無効になる場合があります。この状況は、ダウンロードのパフォーマンスに影響する可能性があります。このパフォーマンスの低下を回避するには、使用している同期システムに関連するすべてのデータベースでタイムスタンプ精度を揃える必要があります。

その他の情報

- 「日付と時刻をデータベースに送信する方法」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「TIMESTAMP データ型」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「-zp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01059

テーブル '%1' には少なくとも 1 つのタイムスタンプカラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、ダウンロードされるタイムスタンプの精度が失われ、データの一貫性が失われる場合があります。

エラーコード	10016
エラー定数	LOSING_DOWNLOAD_TIMESTAMP_PRECISION
パラメータ 1	テーブル名。

考えられる原因

リモートデータベースは少なくとも 1 つのタイムスタンプカラムを持つテーブルを同期していますが、リモートデータベースのタイムスタンプ精度は統合データベースのタイムスタンプ精度よりも低くなっています。ダウンロードされた値は、リモートデータベースに格納されると正確さを失います。この状況によって、統合データベースとリモートデータベースの間で、同期されたタイムスタンプデータが事実上異なることになります。このデータ整合性の問題を回避するには、使用している同期システムに関連するすべてのデータベースでタイムスタンプ精度を揃える必要があります。

その他の情報

- 「日付と時刻をデータベースに送信する方法」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「TIMESTAMP データ型」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「-zp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

統合データベースから現在のタイムスタンプを決定できません。

エラーコード	10043
エラー定数	ODBC_UNABLE_TO_GET_TIMESTAMP

考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベースから現在のタイムスタンプを取得できませんでした。データベースサーバが実行中であり、ネットワーク接続に異常がないかどうか確認してください。

その他の情報

- 「CURRENT TIMESTAMP 特別値」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

統合データベースからダウンロードタイムスタンプをフェッチできません。

エラーコード	10074
エラー定数	ODBC_UNABLE_TO_GET_DOWNLOAD_TIMESTAMP

考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベースからダウンロードタイムスタンプを取得できませんでした。データベースサーバが実行中であり、ネットワーク接続に異常がないかどうか確認してください。

その他の情報

- 「ダウンロードタイムスタンプの生成および使用方法」『Mobile Link サーバ管理』
- 「modify_last_download_timestamp 接続イベント」『Mobile Link サーバ管理』

統合データベースからテーブル '%1' のカラムのデータ型を取得できません。

エラーコード	10081
エラー定数	UNABLE_TO_RETRIEVE_DATA_TYPES
パラメータ 1	テーブル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバで、SQLDescribeParam を使用して、統合データベースからこのテーブルのカラムのデータ型を取得できませんでした。したがって、サーバでは、統合データベース内のこのテーブルのデータ型は、リモートデータベースで定義されているデータ型と同じであると見なされます。

その他の情報

- 「64 ビット ODBC での考慮事項」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

統合データベースで現在実行されている SQL 文の実行時間が長すぎます。接続 ID は '%1' です。

エラーコード	10088
エラー定数	SQL_STMT_TIMEOUT

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01061

考えられる原因

Mobile Link サーバが、現在実行されている SQL 文の実行時間が長すぎて同期がスタック状態になっている可能性があることを検出しました。統合データベースサーバをチェックして、接続がまだ正常であるかどうかを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link のパフォーマンス」『Mobile Link サーバ管理』

統合データベースでの競合する更新後にアップロードをリトライします。

エラーコード	10080
エラー定数	RETRY_AFTER_CONFLICT_UPDATE

考えられる原因

Mobile Link サーバが、スナップショットアイソレーションでアップロードストリームを適用しているときに競合する更新が発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。この警告を回避するには、この統合データベースに接続している他のすべてのアプリケーションで開いているすべてのトランザクションをコミットしてください。

その他の情報

- 「競合の解決」『Mobile Link サーバ管理』
- 「スナップショットを使った同期」『Mobile Link サーバ管理』

統合データベースでのデッドロック後に begin_connection トランザクションをリトライします。

エラーコード	10007
エラー定数	RETRY_BC_AFTER_DEADLOCK

考えられる原因

統合データベースの begin_transaction のトランザクションで、デッドロックが発生しました。この警告を回避するには、デッドロックを発生させないように begin_connection スクリプトを書き直してください。

その他の情報

- 「Mobile Link イベントの概要」『Mobile Link サーバ管理』
- 「begin_connection 接続イベント」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

統合データベースでのデッドロック後に begin_synchronization トランザクションをリトライします。

エラーコード	10048
エラー定数	RETRY_BS_AFTER_DEADLOCK

考えられる原因

Mobile Link サーバが begin_synchronization スクリプトを実行したときに、デッドロックが発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。

その他の情報

- 「Mobile Link イベントの概要」『Mobile Link サーバ管理』
- 「begin_synchronization 接続イベント」『Mobile Link サーバ管理』

統合データベースでのデッドロック後に end_synchronization トランザクションをリトライします。

エラーコード	10049
エラー定数	RETRY_ES_AFTER_DEADLOCK

考えられる原因

Mobile Link サーバが end_synchronization スクリプトを実行したときに、デッドロックが発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。

その他の情報

- 「Mobile Link イベントの概要」『Mobile Link サーバ管理』
- 「end_synchronization 接続イベント」『Mobile Link サーバ管理』

統合データベースでのデッドロック後にアップロードをリトライします。

エラーコード	10045
エラー定数	RETRY_AFTER_DEADLOCK

考えられる原因

Mobile Link サーバがアップロードストリームを適用したときに、デッドロックが発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。この警告を回避する

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01063

には、同期スクリプト間の競合を解消してください。同期スクリプトと他のアプリケーション間で競合が発生している場合もあります。

その他の情報

- 「同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバ管理』

統合データベースとリモートデータベース間で、最後に同期をとった時点が一致しません。進行状況オフセットが、統合データベースでは %1、リモートデータベースでは %2 です。既知の最後の同期時点から始まる新規アップロードの送信をリモートデータベースに要求しています。

エラーコード	10012
エラー定数	TXN_LOG_COOKIE_MISMATCH

考えられる原因

各同期の後、Mobile Link サーバはシステムテーブルにリモート終了ログオフセットを格納し、新しい同期が発生するとこれらの終了ログオフセットをリモート開始オフセットと比較します。終了オフセットが開始オフセットと一致しない場合は、サーバはこの警告を表示し、オフセットの不一致に関する情報をクライアントに通知します。

その他の情報

- 「ログ変換ユーティリティ (dbtran)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

統合データベースとリモートデータベースでタイムスタンプの精度が異なります。統合データベースのタイムスタンプ精度は秒の小数点以下第 %1 位、リモートデータベースのタイムスタンプ精度は小数点第 %2 位です。

エラーコード	10017
エラー定数	LOSING_TIMESTAMP_PRECISION
パラメータ 1	秒の小数点以下第何位という形式で表した統合データベースのタイムスタンプ精度。
パラメータ 2	秒の小数点以下第何位という形式で表したリモートデータベースのタイムスタンプ精度。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

リモートデータベースと統合データベースの間で、タイムスタンプ精度の整合性が失われています。パフォーマンスの低下またはデータの不整合を避けるために、両データベースの精度を揃えてください。

その他の情報

- 「日付と時刻をデータベースに送信する方法」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「TIMESTAMP データ型」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「-zp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

同時同期上の制限のため、Mobile Link サーバはこの同期でのネットワークの読み込みを停止しています。

エラーコード	10083
エラー定数	PLACED_SYNCHRONIZATION_IN_BACKLOG

考えられる原因

同時同期が最大数を超えた場合、Mobile Link サーバは新しい同期接続をすべて中断します。この制限は、-sm オプションを使用して設定されます。

その他の情報

- 「-sm mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

同時同期数が減少したため、Mobile Link サーバはこの同期でのネットワークの読み込みを再開しました。

エラーコード	10084
エラー定数	RESTARTED_SYNCHRONIZATION_IN_BACKLOG

考えられる原因

Mobile Link サーバは、同時同期の制限によって停止された同期の読み込みを再開します。この制限は、-sm オプションを使用して設定されます。

その他の情報

- 「-sm mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01065

認識されない ODBC ドライバ '%1' です。ODBC ドライバは、種類によって機能と品質が大幅に異なります。このドライバには同期化に必要な機能がありません。ユーザ自身の責任でご使用ください。

エラーコード	10051
エラー定数	DRIVER_IS_NOT_RECOMMENDED
パラメータ 1	ODBC ドライバのファイル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバは、一連の ODBC ドライバを使用して十分なテストを行っています。しかし、現在使用している ODBC ドライバはリストにありません。この警告を回避するには、推奨された ODBC ドライバを使用して Mobile Link サーバを実行してください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/detail?id=1011880
- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバ」『Mobile Link サーバ管理』

パフォーマンス警告 -- データベース接続の再使用率が %1% です。

エラーコード	10089
エラー定数	CONN_THRASHING
パラメータ 1	接続の再使用率。

考えられる原因

Mobile Link サーバは、パフォーマンスを向上させるために統合データベースへの接続のプールを維持しています。プールにあるそれぞれの接続は、スクリプトバージョンに関連付けられています。プールが満杯であり、かつ要求されたバージョンに対して使用可能な接続がない場合、プールにある接続は、必要なバージョンを取得するために再接続されます。詳細については、-cn スイッチを参照してください。

その他の情報

- 「Mobile Link のパフォーマンスのチューニング」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-cn mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パフォーマンス警告：リモートテーブル '%2' のカラム '%1' が '%3' から '%4' に再度マップされました

エラーコード	10115
エラー定数	DATA_TYPE_REMAPPING
パラメータ 1	カラムのインデックス。
パラメータ 2	テーブル名。
パラメータ 3	リモートのデータ型。
パラメータ 4	統合データベースの型。

考えられる原因

同期要求を適切に完了させるために、Mobile Link サーバでは、カラム型が再マップされました。この再マッピングによって、同期のパフォーマンスが低下する場合があります。統合データベースとリモートデータベース間でのデータ型のマッピングの詳細については、マニュアルを参照してください。

その他の情報

- 「リモートデータベースと統合データベース間での Mobile Link データマッピング」『Mobile Link サーバ管理』

パブリケーション '%1' は、いずれのテーブルでも参照されていません。

エラーコード	10022
エラー定数	WARN_PUB_NO_TABLE
パラメータ 1	パブリケーション名。

考えられる原因

Mobile Link 同期クライアントは、アップロードデータ、アップロードテーブル、パブリケーションなどのアップロードストリームを送信します。これらのパブリケーションはすべて、1 つ以上のアップロードテーブルによって参照される必要があります。アップロードテーブルによって参照されないパブリケーションがある場合、サーバはこの警告を表示します。この問題が発生した場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01067

その他の情報

- 「DROP PUBLICATION 文 [Mobile Link] [SQL Remote]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「パブリケーション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「スクリプト化されたアップロードのパブリケーション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「配備された SQL Anywhere リモートデータベースへのテーブルの追加」『Mobile Link クライアント管理』

マルチロー操作中にエラーが検出されました。シングルローモードでリトライする前にロールバックを実行しています。

エラーコード	10039
エラー定数	RETRY_AFTER_MULTIPLE_ROW

考えられる原因

Mobile Link サーバがマルチローモードを使用してアップロードストリームを適用したときに、エラーが検出されました。アップロードストリームをロールバックし、シングルローモードを使用してアップロードトランザクションを再試行します。

未知のユーザは自動的に追加されます (authenticate_user スクリプトがない場合)。

エラーコード	10064
エラー定数	REPORT_AUTO_ADD_USERS

考えられる原因

これは、Mobile Link サーバのコマンドラインオプション -zu+ が使用されるときの通知メッセージです。

その他の情報

- 「-zu mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「authenticate_user 接続イベント」『Mobile Link サーバ管理』

無効なログの冗長性オプション : '%1'

エラーコード	10092
エラー定数	INVALID_LOG_VERBOSITY

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パラメータ 1	冗長性オプション。

考えられる原因

ml_property テーブルのログの冗長性オプションが無効です。有効な冗長性オプションは、Mobile Link サーバの使用法ウィンドウに記載されています。

その他の情報

- 「ml_add_property システムプロシージャ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-v mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

リモート ID '%1' をロックできません。 再試行します。

エラーコード	10106
エラー定数	FAIL_TO_LOCK_RID
パラメータ 1	リモート ID。

考えられる原因

Mobile Link サーバでは、同一リモート ID の同時同期を検出するために、リモート ID をロックする必要があります。サーバで特定のリモート ID をロックできませんでしたが、もう一度試行されます。

リモートクライアントでパススルースクリプトが失敗しました。実行順序：%1、スクリプト ID：%2、エラーコード：%3、エラーテキスト：'%4'

エラーコード	10091
エラー定数	PASSTHROUGH_SCRIPT_FAILED
パラメータ 1	失敗したパススルースクリプトの実行順序。
パラメータ 2	失敗したパススルースクリプトのスクリプト ID。
パラメータ 3	失敗したパススルースクリプトのエラーコード。
パラメータ 4	失敗したパススルースクリプトのエラーテキスト。

考えられる原因

エラーコードとエラーテキストを確認し、このスクリプトの修復アクションを作成してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01069

その他の情報

- 「ml_add_passthrough_repair システムプロシージャ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ml_delete_passthrough_repair システムプロシージャ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ml_add_passthrough システムプロシージャ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ml_add_passthrough_script システムプロシージャ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ml_delete_passthrough システムプロシージャ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ml_delete_passthrough_script システムプロシージャ」『Mobile Link サーバ管理』

リモートクライアントの同期ログが不完全なまま終了しています。トランケートされたと思われます。

エラーコード	10035
エラー定数	ERROR_LOG_TRUNCATED

考えられる原因

Mobile Link サーバは、クライアントからリモートエラーログを完全には取得できませんでした。そのため、リモートエラーログはトランケートされた可能性があります。この警告を回避するには、実行中のクライアントを強制終了しないで、ネットワーク接続に異常がないかどうかを確認してください。

その他の情報

- 「-e mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-et mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ErrorLogSendLimit (el) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』

リモートクライアントの同期ログを読み込んでいるときにエラーが発生しました。

エラーコード	10033
エラー定数	ERROR_READING_ERROR_LOG

考えられる原因

Mobile Link サーバは、クライアントからリモートエラーログを取得できませんでした。この警告を回避するには、実行中のクライアントを強制終了しないで、ネットワーク接続に異常がないかどうかを確認してください。

その他の情報

- 「-e mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-et mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ErrorLogSendLimit (el) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

リモートデータベースでは、統合データベースのタイムスタンプ精度を一致させることができません。アプリケーション、スキーマ、スクリプト側で精度の不一致に対処するロジックを用意する必要があります。

エラーコード	10019
エラー定数	REMOTE_CANNOT_MATCH_CONSOLIDATE_TIMESTAMP_PRECISION

考えられる原因

統合データベースのタイムスタンプ精度が、リモートデータベースで達成できる精度を超過しています。可能であれば統合データベースのタイムスタンプ精度を低くして、リモートデータベースと統合データベースの間のタイムスタンプデータの不整合を回避します。それ以外の場合、同期スキーマにおけるタイムスタンプの同期を回避するか、実質的な相違を検出する競合検出スクリプトを作成するか、-zp コマンドラインオプションを使用して競合を許容する必要があります。また、使用しているアプリケーションが不整合を処理できる必要があります。

その他の情報

- 「日付と時刻をデータベースに送信する方法」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「TIMESTAMP データ型」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「-zp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

リモートデータベースと統合データベースでタイムスタンプ精度が異なります。競合を検出するために、精度の低い側よりも高い精度のタイムスタンプ値が使用されました。-zp オプションの使用を検討してください。

エラーコード	10021
エラー定数	SUSPICIOUS_TIMESTAMP_DIFFERENCE

考えられる原因

-zp コマンドラインオプションが使用されていない場合に、許容できるタイムスタンプの違いに基づいて、アップロードの競合が検出されました。使用している同期システムに関連するデータベースの精度を揃えないと決定した場合、-zp スイッチを使用して、Mobile Link サーバを起動できます。-zp コマンドラインオプションが使用されている場合、Mobile Link サーバは、2 つのデータベース間で精度が低い方より小さいタイムスタンプの違いによって発生した競合は許容します。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01071

その他の情報

- 「競合の解決」『Mobile Link サーバ管理』
- 「日付と時刻をデータベースに送信する方法」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「TIMESTAMP データ型」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「-zp mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

リモート同期ログを含むローカルファイルに書き込めません。

エラーコード	10034
エラー定数	ERROR_WRITING_ERROR_LOG

考えられる原因

Mobile Link サーバは、リモートエラーログをローカルファイルに書き込めませんでした。この警告を回避するには、-e または -et オプションによって指定されたファイル名およびパスが有効で、ファイルが書き込み可能であることを確認してください。

その他の情報

- 「-e mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-et mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「ErrorLogSendLimit (el) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

Mobile Link 通信エラーメッセージ

エラーメッセージは、Mobile Link サーバのメッセージログと Mobile Link SQL Anywhere クライアントのメッセージログに書き込まれます。エラーコードは、stream_error パラメータの ss_error_code メンバーで Ultra Light クライアントに返されます。

多くのエラーメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメータに置き換えられてエラーメッセージに表示されます。

各エラーには、数値エラーコードがあります。エラーコードの値も警告コードの値も正となります。警告コードは、10001 以上の値となります。

参照

- 「Mobile Link サーバのエラーメッセージ」889 ページ
- 「Mobile Link サーバの警告メッセージ」1029 ページ

Mobile Link 通信エラーメッセージ (エラーコード順)

エラーコード	メッセージテキスト
0	「エラーはありません。」
1	「不正なパラメータ '%1' です。」
2	「パラメータ値 '%1' は符号なし整数ではありません。」
3	「パラメータ値 '%1' は符号なし整数値または範囲ではありません。範囲の形式は NNN-NNN です。」
4	「パラメータ値 '%1' は有効なブール値ではありません。値を 0 または 1 に指定します。」
5	「パラメータ値 '%1' は有効な 16 進数値ではありません。」
6	「十分なメモリを割り付けることができません。」
7	「パラメータ文字列 '%1' を解析できません。」
8	「%1 バイトを読み込めません。」
9	「%1 バイトを書き込めません。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01073

エラーコード	メッセージテキスト
10	「終了書き込みが失敗しました。」
11	「終了読み込みが失敗しました。」
12	「この機能は実装されていません。」
13	「この操作を行うとブロッキングが発生します。」
14	「乱数を生成できません。」
15	「乱数ジェネレーターを初期化できません。」
16	「乱数ジェネレーターにシードを設定できません。」
17	「乱数オブジェクトを作成できません。」
18	「シャットダウン時にエラーが発生しました。」
19	「接続キューからデキューできません。」
20	「不正なルート証明書です。」
21	「認識されない組織 '%1' です。」
24	「信頼できないサーバ証明書です。」
25	「セキュリティコンテキストを複製できません。」
26	「ネットワークレイヤをセキュリティレイヤに付加できません。」
33	「証明書ファイル '%1' を開けません。」
34	「証明書を読み込めません。」
35	「プライベートキーを読み込めません。」
36	「プライベートキーを設定できません。」
37	「証明書有効期日をフェッチできません。」
38	「証明書をコピーできません。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
39	「証明書を証明書チェーンに追加できません。」
40	「信頼できる証明書ファイル '%1' を見つけられません。」
41	「信頼できる証明書ファイル '%1' から読み込み中にエラーが発生しました。」
42	「信頼できる証明書が %1 で見つかりません。」
43	「証明書を割り付けることができません。」
44	「証明書をインポートできません。」
48	「信頼できる証明書を追加できません。」
49	「プライベートキーオブジェクトを作成できません。」
50	「証明書が失効しました。」
51	「認識されない組織単位 '%1' です。」
52	「認識されない通称 '%1' です。」
53	「ハンドシェイクエラー」
54	「認識されない HTTP バージョン : %1」
57	「ホスト名 '%1' を見つけられませんでした。」
58	「TCP/IP ソケットを作成できません。」
59	「UDP ソケットを作成できません。」
60	「ポート %1 にソケットをバインドできません。」
61	「ソケットレイヤをクリーンアップできません。」
62	「ソケットを閉じられません。」
63	「ソケットを接続できません。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01075

エラーコード	メッセージテキスト
64	「ソケットのローカル名を取得できません。」
65	「ソケットのオプション番号 %1 を取得できません。」
66	「ソケットのオプション番号 %1 を設定できません。」
67	「ソケットで受信できません。バックログは %1 です。」
68	「ソケットをシャットダウンできません。」
69	「ソケットのステータスを選択できません。」
70	「ソケットレイヤを初期化できません。」
71	「localhost を判別できません。」
72	「アドレスからホストを取得できません。」
73	「ネットワークインタフェースライブラリをロードできません。」
74	「不正なポート番号 %1 です。値は、0 ～ 65535 でなければなりません。」
75	「ActiveSync 同期をアプリケーション側から開始できません。」
76	「ActiveSync プロバイダがインストールされていません。」
77	「'%1' は未知の内容タイプです。」
78	「クライアント ID は HTTP ヘッダでは使用できません。」
79	「指定された HTTP バッファサイズは有効な範囲を越えています。」
80	「HTTP 本文に余分なデータが見つかりました : %1」
81	「コード化された CR LF の読み込みに失敗しました。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
82	「CR LF の読み込みに失敗しました。」
83	「この同期で次の HTTP 要求を待機中にタイムアウトが発生しました。」
84	「コード化されたチャンク長の読み込みに失敗しました。」
85	「チャンク長を解析中に予期しない文字が読み込まれました。%1」
86	「エラーステータスが返されました : '%1'」
87	「未知の転送エンコードです : '%1'」
88	「cookie を解析できません : '%1'」
89	「リモートからの予期されたデータですが、現在の要求は POST ではありません。」
200	「活性タイムアウト値 %1 が無効です。値は 0 ～ 65535 の範囲でなければなりません。」
201	「%1 バイトを読み込もうとしてタイムアウトになりました。」
202	「%1 バイトを書き込もうとしてタイムアウトになりました。」
203	「自動ダイヤルアップはこのマシンではサポートされていません。」
204	「%1 へのダイヤル接続に失敗しました。」
205	「サーバ証明書が指定されていません。」
206	「サーバ証明書のパスワードが指定されていません。」
207	「信頼できるルート証明書が指定されていません。」
208	「暗号化されていないサーバキーに対してパスワードが指定されました。」
209	「HTTP 認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01077

エラーコード	メッセージテキスト
210	「HTTP プロキシ認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。」
211	「HTTP 認証に失敗しました。」
212	「HTTP プロキシの認証に失敗しました。」
213	「ユーザ ID が指定されていません。」
214	「パスワードが指定されていません。」
215	「HTTP 認証アルゴリズムがサポートされていません : %1」
216	「HTTP ヘッダの解析エラーです : %1」
217	「HTTP サーバの認証に失敗しました。」
218	「操作が中断されました。」
219	「無効な HTTP 文字です。」
220	「内部エラー (%1) です。」
221	「システム証明書ストアを開けませんでした。」
222	「システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。」
223	「システム証明書ストアに証明書がありませんでした。」
224	「ライブラリ %1 をロードできませんでした。」
225	「関数 %1 が見つかりませんでした。」
226	「無効な同期プロトコルです : %1」
227	「内部プロトコルがロードされませんでした : %1」
228	「サーバエラー %1 です。」
229	「パラメータがありません : %1」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
230	「%1 を書き込み用に開けませんでした。」
231	「プロトコルエラー」
232	「無効な圧縮型です : %1」
233	「%1 に指定した値が範囲から外れています。」
234	「予期しない要求タイプです : %1」
235	「不正なセッション cookie (ML_SESSION_ID) 値です : %1」
236	「ヘッダを復号化しているときに予期しない HTTP ステータス %1 になりました。」
237	「予期しない内部 HTTP 要求タイプ %1 です。」
238	「内部エラー : %1 が %2 を返しました。」
240	「認識できない TLS タイプ %1 です。」
241	「接続試行がタイムアウトになりました。」
242	「セキュアストリームの FIPS は明示的に無効になっていますが、-fips オプションが有効になっています。」
243	「ダウンロードしたファイルの保存先パス %1 が無効です。」
244	「'%1' は未知のセッションキータイプです。」
245	「ネットワークインタフェースライブラリが不正か破損しています : %1」
248	「ネットワークインタフェースライブラリのバージョンが一致しません。予期されたバージョンは %1.%2 ですが、バージョン %3.%4 が見つかりました。」
249	「Mobile Link 認証に失敗しました。」
250	「SACI 実装が一致しません。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01079

エラーコード	メッセージテキスト
251	「クライアントから、不明なパブリックキーエンドツーエンド暗号化タイプ %1 が送信されました。」
252	「予期しないパブリックキーエンドツーエンド暗号化タイプです。%1 を予期していましたが、%2 を受信しました。」
253	「エンドツーエンド暗号化キーが一致しません。」
254	「予期しないプライベートキータイプです。%1 を予期していましたが、e2ee_private_key ファイル '%3' に %2 が見つかりました。」
255	「e2ee_private_key ファイル '%1' を読み込めません。エラーコードは %2 です。」
256	「e2ee_private_key ファイル '%1' にプライベートキーがありません。」
257	「e2ee_private_key ファイル '%1' を復号化できません。エラーコードは %2 です。」
258	「e2ee_private_key ファイル '%1' を読み込めません。エラーコードは %2 です。」
259	「e2ee_private_key ファイル '%1' の e2ee_private_key_password がありません。」
260	「e2ee_private_key がありません。」
261	「e2ee_type '%1' が不正です。」
263	「e2ee パブリックキーを読み込めません。」
264	「ファイル '%1' を開けません。」
265	「不明な HTTP セッションを続行できません。」
266	「%1」
277	「不完全な HTTP 要求の読み込みに失敗しました。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
278	「不明な HTTP User-Agent または要求タイプです。」
279	「この接続は、以前のエラーのために中止されます。」
280	「非 HTTP トラフィックをポート %1 で受信しました」
281	「HTTP トラフィックの代わりに暗号化されたトラフィックをポート %1 で受信しました」
282	「HTTP トラフィックの代わりにエンドツーエンドの暗号化されたトラフィックをポート %1 で受信しました」
283	「暗号化されていないトラフィックをポート %1 で受信しました」
284	「暗号化されていない HTTP トラフィックをポート %1 で受信しました」
285	「エンドツーエンドなのにトランスポートレイヤではない暗号化されたトラフィックをポート %1 で受信しました」
286	「アウトオブオーダ HTTP 要求がポート %1 で受信されました」
287	「プライベートキーのパスワードが不正です」
288	「要求ヘッダが大きすぎます。」

Mobile Link 通信エラーメッセージ (五十音順)

%1

エラーコード	266
エラー定数	SACI_ERROR
パラメータ 1	SACI エラーの説明。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01081

考えられる原因

SACI 暗号化／復号化ライブラリがエラーをレポートしています。SACI 暗号化／復号化ライブラリのプロバイダを参照して、問題を解決してください。

%1 に指定した値が範囲から外れています。

エラーコード	233
エラー定数	VALUE_OUT_OF_RANGE
パラメータ 1	パラメータの名前。

考えられる原因

指定された値が、パラメータに許可される値の範囲内ではありませんでした。マニュアルでパラメータの説明を参照して、値に許可される範囲を確認してください。

%1 バイトを書き込めません。

エラーコード	9
エラー定数	WRITE
パラメータ 1	書き込めなかったバイト数。

考えられる原因

指定されたバイト数をネットワークレイヤに書き込むことができません。書き込みは、より規模の大きいネットワーク操作の一部として行われます。たとえば、ネットワークレイヤによっては、サブレイヤを設定して、ここで上位レイヤの基本操作の一部として読み込みと書き込みを行います。通常、書き込みエラーは次のような事柄が原因で発生します。1) ネットワークに、書き込みを失敗させる問題が生じた。もう一度接続と操作を行ってください。2) 接続がタイムアウトした。もう一度接続と操作を行ってください。3) 反対側の接続が完全に終了した。クライアントかサーバまたはその両方のログで、接続が削除された理由を示すエラーを確認してください。出力ログのエラーを調べて原因を解決し、もう一度操作を行ってください。4) 接続の反対側で処理がアボートされた。クライアントかサーバまたはその両方の出力ログで、処理がアボートされた理由を示すエラーを確認してください。通常の方法以外のやり方で処理が停止された場合は、出力ログにエラーは記録されません。もう一度接続と操作を行ってください。5) システムリソースが不足しており、書き込みを実行できない。システムリソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。再度行ってもうまくいかない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

%1 バイトを書き込もうとしてタイムアウトになりました。

エラーコード	202
エラー定数	WRITE_TIMEOUT
パラメータ 1	書き込めなかったバイト数。

考えられる原因

ネットワークレイヤによって指定されたバイト数を指定時間内に書き込めませんでした。ネットワークが正常に機能しており、受信側アプリケーションがまだ動作中であることを確認してください。

その他の情報

- 「timeout」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-ct mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

%1 バイトを読み込めません。

エラーコード	8
エラー定数	READ
パラメータ 1	読み込めなかったバイト数。

考えられる原因

ネットワークレイヤによって指定されたバイト数を読み込めませんでした。読み込みは、より規模の大きいネットワーク操作の一部として行われます。たとえば、ネットワークレイヤによっては、サブレイヤを設定して、ここで上位レイヤの基本操作の一部として読み込みと書き込みを行います。通常、読み込みエラーは次のような事柄が原因で発生します。1) ネットワークに、読み込みを失敗させる問題が生じた。もう一度接続と操作を行ってください。2) 接続がタイムアウトした。もう一度接続と操作を行ってください。3) 反対側の接続が完全に終了した。クライアントかサーバまたはその両方のログで、接続が削除された理由を示すエラーを確認してください。出力ログのエラーを調べて原因を解決し、もう一度操作を行ってください。4) 接続の反対側で処理がアボートされた。クライアントかサーバまたはその両方の出力ログで、処理がアボートされた理由を示すエラーを確認してください。通常の方法以外のやり方で処理が停止された場合は、出力ログにエラーは記録されません。もう一度接続と操作を行ってください。5) システムリソースが不足しており、読み込みを実行できない。システムリソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。再度行ってもうまくいかない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01083

%1 バイトを読み込もうとしてタイムアウトになりました。

エラーコード	201
エラー定数	READ_TIMEOUT
パラメータ 1	読み込めなかったバイト数。

考えられる原因

ネットワークレイヤによって指定されたバイト数を指定時間内に読み込めませんでした。ネットワークが正常に機能しており、送信側アプリケーションがまだ動作中であることを確認してください。

その他の情報

- 「timeout」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-ct mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

%1 へのダイヤル接続に失敗しました。

エラーコード	204
エラー定数	DUN_DIAL_FAILED

考えられる原因

指定されたダイヤルアップネットワークに自動ダイヤルアップで接続を確立できませんでした。

%1 を書き込み用に開けませんでした。

エラーコード	230
エラー定数	COULD_NOT_OPEN_FILE_FOR_WRITE
パラメータ 1	ファイルの名前。

考えられる原因

指定されたファイルを書き込み用に開くことができませんでした。このファイルが正しいファイルであること、またファイルが他のアプリケーションで使用されていないことを確認してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

'%1' は未知のセッションキータイプです。

エラーコード	244
エラー定数	HTTP_INVALID_SESSION_KEY
パラメータ 1	セッションキータイプ。

考えられる原因

未知のセッションキータイプが指定されました。マニュアルを参照し、サポートされるセッションキータイプに変更してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

'%1' は未知の内容タイプです。

エラーコード	77
エラー定数	HTTP_CONTENT_TYPE_NOT_SPECIFIED
パラメータ 1	内容タイプ。

考えられる原因

未知の内容タイプが指定されました。マニュアルを参照し、サポートされる内容タイプに変更してください。

ActiveSync 同期をアプリケーション側から開始できません。

エラーコード	75
エラー定数	ACTSYNC_NO_PORT

考えられる原因

ActiveSync 同期を開始できるのは、ActiveSync だけです。開始するには、クレードル内にデバイスを置くか、ActiveSync マネージャの [同期] を選択します。アプリケーションから同期を開始するには、TCP/IP ソケットの同期ストリームを使用してください。

その他の情報

- 「Microsoft ActiveSync プロバイダインストールユーティリティ (mlasinst)」『Mobile Link クライアント管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01085

ActiveSync プロバイダがインストールされていません。

エラーコード	76
エラー定数	ACTSYNC_NOT_INSTALLED

考えられる原因

ActiveSync プロバイダがインストールされていません。mlasinst を実行して ActiveSync プロバイダをインストールしてください (詳細についてはマニュアルを参照してください)。

その他の情報

- 「Microsoft ActiveSync プロバイダインストールユーティリティ (mlasinst)」『Mobile Link クライアント管理』

cookie を解析できません : '%1'

エラーコード	88
エラー定数	HTTP_UNABLE_TO_PARSE_COOKIE
パラメータ 1	set cookie ヘッダ。

考えられる原因

破損している set cookie ヘッダを判別してください。

その他の情報

- 「cookie を使用してセッションを管理する方法」『SQL Anywhere サーバ プログラミング』

CR LF の読み込みに失敗しました。

エラーコード	82
エラー定数	HTTP_CRLF_MISSING

考えられる原因

使用しているプロキシが Mobile Link と互換性がない可能性があります。設定を確認してください。

e2ee パブリックキーを読み込めません。

エラーコード	263

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラー定数	E2EE_PUBLIC_KEY

考えられる原因

エンドツーエンド暗号化のパブリックキーを読み込もうとして、エラーが発生しました。

その他の情報

- 「e2ee_public_key」『Mobile Link クライアント管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

e2ee_private_key がありません。

エラーコード	260
エラー定数	E2EE_MISSING_PRIVATE_KEY

考えられる原因

別のエンドツーエンド暗号化オプションが指定されましたが、e2ee_private_key オプションではありません。すべてのエンドツーエンド暗号化オプションを指定するか、削除してください。必要なエンドツーエンド暗号化オプションに、e2ee_private_key、e2ee_private_key_password があります。

その他の情報

- 「e2ee_public_key」『Mobile Link クライアント管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

e2ee_private_key ファイル '%1' にプライベートキーがありません。

エラーコード	256
エラー定数	E2EE_NO_PRIVATE_KEY_IN_FILE
パラメータ 1	e2ee_private_key オプションによるプライベートキーファイル。

考えられる原因

指定されたファイル名にプライベートキーが含まれていません。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01087

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

e2ee_private_key ファイル '%1' の e2ee_private_key_password がありません。

エラーコード	259
エラー定数	E2EE_MISSING_PRIVATE_KEY_PASSWORD
パラメータ 1	e2ee_private_key オプションによるプライベートキーファイル。

考えられる原因

e2ee_private_key ファイルは、e2ee_private_key_password がないと読み込めません。e2ee_private_key_password を入力してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

e2ee_private_key ファイル '%1' を復号化できません。エラーコードは %2 です。

エラーコード	257
エラー定数	E2EE_DECODING_PRIVATE_KEY_FILE
パラメータ 1	e2ee_private_key オプションによるプライベートキーファイル。
パラメータ 2	エラーコード。

考えられる原因

ファイルが見つかり、内容を読み込みましたが、ファイルのデコード中にエラーが発生しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに連絡して、エラーコードを報告してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

その他の情報

- http://www.sybase.com/support
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

e2ee_private_key ファイル '%1' を読み込めません。エラーコードは %2 です。

エラーコード	258
エラー定数	E2EE_READING_PRIVATE_KEY_FILE
パラメータ 1	e2ee_private_key オプションによるプライベートキーファイル。
パラメータ 2	エラーコード。

考えられる原因

指定されたファイルが読み込めませんでした。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに連絡して、エラーコードを報告してください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

e2ee_private_key ファイル '%1' を読み込めません。エラーコードは %2 です。

エラーコード	255
エラー定数	E2EE_READING_PRIVATE_KEY
パラメータ 1	e2ee_private_key オプションによるプライベートキーファイル。
パラメータ 2	エラーコード。

考えられる原因

e2ee_private_key ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに連絡して、エラーコードを報告してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01089

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

e2ee_type '%1' が不正です。

エラーコード	261
エラー定数	E2EE_INVALID_TYPE
パラメータ 1	無効なエンツーエンドプライベートキータイプ

考えられる原因

無効な e2ee_type が指定されました。有効な値を指定してください。

その他の情報

- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

HTTP サーバの認証に失敗しました。

エラーコード	217
エラー定数	HTTP_SERVER_AUTH_FAILED

考えられる原因

サーバから送信された認証情報ヘッダに不正な値が含まれているため、認証に失敗しました。正規の HTTP サーバに接続していることを確認してください。

HTTP トラフィックの代わりに暗号化されたトラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	281
エラー定数	ENCRYPTED_INSTEAD_OF_HTTP
パラメータ 1	リスニングポート。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

HTTP トラフィックを処理していたポートで、暗号化された、非 HTTP トラフィックを受信したため、Mobile Link サーバが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバ側と一致していることを確認します。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

HTTP トラフィックの代わりにエンドツーエンドの暗号化されたトラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	282
エラー定数	E2EE_INSTEAD_OF_HTTP
パラメータ 1	リスニングポート。

考えられる原因

HTTP トラフィックを処理していたポートで、エンドツーエンドで暗号化された、非 HTTP トラフィックを受信したため、Mobile Link サーバが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバ側と一致していることを確認します。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

HTTP 認証アルゴリズムがサポートされていません：%1

エラーコード	215
エラー定数	HTTP_UNSUPPORTED_AUTH_ALGORITHM

考えられる原因

サーバが要求した HTTP ダイジェスト認証アルゴリズムは、サポートされていません。サポートされているのは「MD5」と「MD5-sess」だけです。

その他の情報

- 「http_proxy_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_proxy_password」『Mobile Link クライアント管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01091

HTTP 認証に失敗しました。

エラーコード	211
エラー定数	HTTP_AUTHENTICATION_FAILED

考えられる原因

入力したユーザ ID とパスワードは拒否されました。正しく入力したかどうか確認してください。入力した場合は、正しいアクセス権があることをシステム管理者に確認してください。

その他の情報

- 「http_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_password」『Mobile Link クライアント管理』

HTTP 認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。

エラーコード	209
エラー定数	HTTP_AUTHENTICATION_REQUIRED

考えられる原因

HTTP サーバまたはゲートウェイが HTTP 認証を要求しました。HTTP 同期パラメータ http_userid と http_password を使用してユーザ ID とパスワードを指定してください。

その他の情報

- 「http_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_password」『Mobile Link クライアント管理』

HTTP プロキシ認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。

エラーコード	210
エラー定数	HTTP_PROXY_AUTHENTICATION_REQUIRED

考えられる原因

HTTP プロキシが HTTP 認証を要求しました。HTTP 同期パラメータ http_proxy_userid と http_proxy_password を使用してユーザ ID とパスワードを指定してください。

その他の情報

- 「http_proxy_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_proxy_password」『Mobile Link クライアント管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

HTTP プロキシの認証に失敗しました。

エラーコード	212
エラー定数	HTTP_PROXY_AUTHENTICATION_FAILED

考えられる原因

入力したユーザ ID とパスワードがプロキシサーバで拒否されました。正しく入力したかどうか確認してください。入力した場合は、正しいアクセス権があることをシステム管理者に確認してください。

その他の情報

- 「http_proxy_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_proxy_password」『Mobile Link クライアント管理』

HTTP ヘッダの解析エラーです : %1

エラーコード	216
エラー定数	HTTP_HEADER_PARSE_ERROR

考えられる原因

HTTP ヘッダを解析しようとしてエラーが発生しました。ヘッダの形式が間違っている可能性があります。

その他の情報

- 「custom_header」『Mobile Link クライアント管理』
- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』

HTTP 本文に余分なデータが見つかりました : %1

エラーコード	80
エラー定数	HTTP_EXTRA_DATA_END_READ
パラメータ 1	余分なデータの最初の数文字。

考えられる原因

HTTP 本文に余分なデータが追加されています。このデータは、プロキシエージェントによって追加された可能性があります。プロキシを削除してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01093

その他の情報

- 「buffer_size」『Mobile Link クライアント管理』

localhost を判別できません。

エラーコード	71
エラー定数	SOCKET_LOCALHOST_NAME_NOT_FOUND

考えられる原因

ネットワークレイヤが "localhost" の IP アドレスを判別できませんでした。次の項目を確認してください。1) ドメインネームサーバ (DNS) またはそれに相当するものが使用できる。DNS が使用できない場合には、代わりに localhost の IP アドレスを明示的に指定してみます (通常は 127.0.0.1)。2) HOSTS ファイルに、"localhost" 名を IP アドレスにマッピングするエントリが入っている。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

その他の情報

- 「host」『Mobile Link クライアント管理』
- 「CommunicationAddress (adr) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Mobile Link 認証に失敗しました。

エラーコード	249
エラー定数	AUTHENTICATION_FAILED

考えられる原因

クライアントが Mobile Link への認証に失敗しました。

その他の情報

- 「認証パラメータ」『Mobile Link サーバ管理』
- 「認証処理」『Mobile Link クライアント管理』
- 「カスタムユーザ認証」『Mobile Link クライアント管理』

SACI 実装が一致しません。

エラーコード	250
エラー定数	SACI_IMPLEMENTATION_MISMATCH

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

SACI 実装に互換性のない実装 ID が設定されていたため、ロードできませんでした。

TCP/IP ソケットを作成できません。

エラーコード	58
エラー定数	SOCKET_CREATE_TCPIP

考えられる原因

ネットワークレイヤが TCP/IP ソケットを作成できませんでした。次の項目を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されている。2) ソケットレイヤは適切に初期化されている。3) オープンしているソケット数について、デバイスに制限が設けられている場合は、その値に達していないことを確認する。4) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「port」『Mobile Link クライアント管理』

UDP ソケットを作成できません。

エラーコード	59
エラー定数	SOCKET_CREATE_UDP

考えられる原因

ネットワークレイヤが UDP ソケットを作成できませんでした。次の項目を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されている。2) ソケットレイヤは適切に初期化されている。3) client_port オプションが使用された場合は、指定したポートがまだ使用されていないことを確認する。クライアントポートを 1 つだけ指定した場合は、NNN-NNN などの範囲を使用することを検討してください。範囲が指定されていた場合は、その範囲を広げるか、別の範囲にすることを検討してください。4) client_port オプションが使用された場合は、ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。5) オープンしているソケット数について、デバイスに制限が設けられている場合は、その値に達していないことを確認する。6) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

その他の情報

- 「client_port」『Mobile Link クライアント管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01095

アウトオブオーダ HTTP 要求がポート %1 で受信されました

エラーコード	286
エラー定数	OUT_OF_ORDER_HTTP_REQUEST
パラメータ 1	リスニングポート。

考えられる原因

サーバで処理済みの別の要求に先立ち、クライアントから HTTP 要求を受信したため、Mobile Link サーバが要求をアボートしました。

アドレスからホストを取得できません。

エラーコード	72
エラー定数	SOCKET_GET_HOST_BY_ADDR

考えられる原因

ネットワークレイヤが、IP アドレスを使用してホスト名を取得できませんでした。このエラーは、パブリケーション時に定義されましたが使用されませんでした。

その他の情報

- 「host」『Mobile Link クライアント管理』
- 「CommunicationAddress (adr) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

暗号化されていない HTTP トラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	284
エラー定数	HTTP_INSTEAD_OF_ENCR
パラメータ 1	リスニングポート。

考えられる原因

暗号化トラフィックを処理していたポートで、暗号化されていない HTTP トラフィックを受信したため、Mobile Link サーバが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバ側と一致していることを確認します。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

暗号化されていないサーバキーに対してパスワードが指定されました。

エラーコード	208
エラー定数	SECURE_REDUNDANT_SERVER_CERTIFICATE_PASSWORD

考えられる原因

サーバのプライベートキーがパスワードで暗号化されていないのに、パスワードが指定されました。

暗号化されていないトラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	283
エラー定数	TCP_INSTEAD_OF_ENCR
パラメータ 1	リスニングポート。

考えられる原因

暗号化トラフィックを処理していたポートで、暗号化されていないトラフィックを受信したため、Mobile Link サーバが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバ側と一致していることを確認します。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

エラーステータスが返されました : '%1'

エラーコード	86
エラー定数	HTTP_BAD_STATUS_CODE
パラメータ 1	読み込まれたステータス行。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01097

考えられる原因

ステータス行を調べて失敗の原因を判別してください。

その他の情報

エラーのパラメータは標準の HTTP ステータスコードです。

エラーはありません。

エラーコード	0
エラー定数	NONE

考えられる原因

このコードは、ネットワークエラーがなかったことを示しています。

エンドツーエンド暗号化キーが一致しません。

エラーコード	253
エラー定数	E2EE_MISMATCHED_KEYS

考えられる原因

リモートでのエンドツーエンド暗号化に使用された e2ee_public_key がサーバでの e2ee_private_key に一致しないため、クライアントとサーバが通信できません。

その他の情報

- 「e2ee_public_key」『Mobile Link クライアント管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

エンドツーエンドなのにトランスポートレイヤではない暗号化されたトラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	285
エラー定数	E2EE_INSTEAD_OF_ENCR
パラメータ 1	リスニングポート。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

TLS 暗号化トラフィックを処理していたポートで、TLS ではない、エンドツーエンドで暗号化された受信したため、Mobile Link サーバが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバ側と一致していることを確認します。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

活性タイムアウト値 %1 が無効です。値は 0 ～ 65535 の範囲でなければなりません。

エラーコード	200
エラー定数	SOCKET_LIVENESS_OUT_OF_RANGE
パラメータ 1	活性タイムアウト値。

考えられる原因

無効な活性タイムアウト値が指定されました。活性タイムアウト値は、0 ～ 65535 の間の整数にしてください。

その他の情報

- 「timeout」『Mobile Link クライアント管理』

関数 %1 が見つかりませんでした。

エラーコード	225
エラー定数	LIBRARY_ENTRY_POINT_NOT_FOUND

考えられる原因

指定されたライブラリのエントリポイントが見つかりませんでした。

クライアント ID は HTTP ヘッダでは使用できません。

エラーコード	78
エラー定数	HTTP_CLIENT_ID_NOT_SET

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01099

考えられる原因

クライアント ID が HTTP クライアントコードに渡されませんでした。修正プログラムについては、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタにお問い合わせください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

クライアントから、不明なパブリックキーエンドツーエンド暗号化タイプ %1 が送信されました。

エラーコード	251
エラー定数	E2EE_UNKNOWN_PUBLIC_KEY_ENC_TYPE
パラメータ 1	エンドツーエンド暗号化タイプコード

考えられる原因

クライアントは、サーバで認識されない e2ee_type 値を送信しました。サーバのバージョンがリモートのバージョンと同じかそれ以上であることを確認してください。

その他の情報

- 「e2ee_public_key」『Mobile Link クライアント管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

コード化された CR LF の読み込みに失敗しました。

エラーコード	81
エラー定数	HTTP_CRLF_ENCODED_MISSING

考えられる原因

使用しているプロキシが Mobile Link と互換性がない可能性があります。設定を確認してください。

コード化されたチャンク長の読み込みに失敗しました。

エラーコード	84
エラー定数	HTTP_CHUNK_LEN_ENCODED_MISSING

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

固定長の HTTP 本文を使用してください。

その他の情報

- 「CREATE FUNCTION 文 [Web サービス]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』
- 「CREATE PROCEDURE 文 [Web サービス]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

この機能は実装されていません。

エラーコード	12
エラー定数	NOT_IMPLEMENTED

考えられる原因

実装されていない内部機能が要求されました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

この接続は、以前のエラーのために中止されます。

エラーコード	279
エラー定数	CONNECTION_ABANDONED

考えられる原因

前回のエラーにより、サーバによってこの接続が強制的に閉じられました。

この操作を行うとブロッキングが発生します。

エラーコード	13
エラー定数	WOULD_BLOCK

考えられる原因

ブロッキングが不要または予期されないところで、要求された操作がブロックした可能性があります。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01101

その他の情報

- 「Mobile Link のパフォーマンスのチューニング」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link 独立性レベル」『Mobile Link サーバ管理』

この同期で次の HTTP 要求を待機中にタイムアウトが発生しました。

エラーコード	83
エラー定数	HTTP_NO_CONTD_CONNECTION

考えられる原因

リモートサイトから送信される次の HTTP 要求の待機中に、サーバがタイムアウトになりました。この要求がサーバに届かなかった原因を判別するか、永続的な接続を試みてください。

その他の情報

- 「persistent」『Mobile Link クライアント管理』

サーバエラー %1 です。

エラーコード	228
エラー定数	SERVER_ERROR
パラメータ 1	サーバによってレポートされたエラー。

考えられる原因

サーバによってエラーがレポートされました。詳細については、Mobile Link の管理者に問い合わせてください。

サーバ証明書が指定されていません。

エラーコード	205
エラー定数	SECURE_NO_SERVER_CERTIFICATE

考えられる原因

サーバの証明書が指定されていません。通信のセキュリティを保護するには、サーバの証明書が必要です。指定するファイルには、サーバの証明書とプライベートキーが含まれている必要があります。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

サーバ証明書のパスワードが指定されていません。

エラーコード	206
エラー定数	SECURE_NO_SERVER_CERTIFICATE_PASSWORD

考えられる原因

サーバ証明書のパスワードが入力されていません。サーバの暗号化されたプライベートキーを復号化するには、パスワードが必要です。

システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。

エラーコード	222
エラー定数	SECURE_IMPORT_CERT_FROM_SYSTEM_STORE

考えられる原因

システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

システム証明書ストアに証明書がありませんでした。

エラーコード	223
エラー定数	SECURE_NO_CERTS_IN_SYS_STORE

考えられる原因

システム証明書ストアで証明書が見つかりませんでした。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

システム証明書ストアを開けませんでした。

エラーコード	221
エラー定数	SECURE_OPEN_SYSTEM_CERT_STORE

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01103

考えられる原因

システム証明書ストアを開けませんでした。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

指定された HTTP バッファサイズは有効な範囲を越えています。

エラーコード	79
エラー定数	HTTP_BUFFER_SIZE_OUT_OF_RANGE

考えられる原因

HTTP バッファサイズを修正してください。有効なバッファサイズは正の値で、ホストプラットフォームにとって大きすぎないように指定してください。

その他の情報

- 「buffer_size」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_buffer_responses」『Mobile Link クライアント管理』

自動ダイヤルアップはこのマシンではサポートされていません。

エラーコード	203
エラー定数	DUN_NOT_SUPPORTED

考えられる原因

システムサポートが十分でないため、ダイヤルアップに失敗しました。PocketPC では cellcore.dll を使用し、Windows では IE 4.0 以降の wininet.dll を使用する必要があります。他のプラットフォームではダイヤルアップはサポートされていません。

シャットダウン時にエラーが発生しました。

エラーコード	18
エラー定数	SHUTTING_DOWN

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

シャットダウン中、Mobile Link サーバがネットワークレイヤでエラーを検出しました。シャットダウン時に保留中であったネットワーク操作の一部が影響を受けた可能性があります。

十分なメモリを割り付けることができません。

エラーコード	6
エラー定数	MEMORY_ALLOCATION

考えられる原因

ネットワークレイヤで十分なバイト数の記憶領域を割り付けることができませんでした。システムメモリを解放してもう一度操作を行ってください。システムメモリを解放する方法は、オペレーティングシステムとその設定方法によって異なります。最も簡単な方法は、アクティブな処理の数を減らすことです。詳細については、使用しているオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバでのメモリの使用」『Mobile Link サーバ管理』

終了書き込みが失敗しました。

エラーコード	10
エラー定数	END_WRITE

考えられる原因

ネットワークへの一連の書き込みを完了できません。参照：WRITE

その他の情報

- 「%1 バイトを書き込めません。」1082 ページ

終了読み込みが失敗しました。

エラーコード	11
エラー定数	END_READ

考えられる原因

ネットワークからの一連の読み込みを完了できません。参照：READ

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01105

その他の情報

- 「%1 バイトを読み込めません。」1083 ページ

証明書が失効しました。

エラーコード	50
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_EXPIRED

考えられる原因

証明書チェーンにある証明書の有効期限が切れています。有効期限が切れていない新しい証明書を入手して、再度操作を行ってください。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

証明書ファイル '%1' を開けません。

エラーコード	33
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_FILE_NOT_FOUND
パラメータ 1	証明書ファイル名。

考えられる原因

証明書ファイルを開けませんでした。次の項目を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。5) 証明書ファイルを開こうとしているプログラムにファイルを読み込む権限がある。この項目は、ユーザパーミッションかファイルパーミッション (またはその両方) を持つオペレーティングシステムだけに適用されます。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

証明書有効期日をフェッチできません。

エラーコード	37
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_EXPIRY_DATE

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

証明書の有効期日を読み込むことができませんでした。次の項目を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_company」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_name」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_unit」『Mobile Link クライアント管理』
- 「証明書フィールドの確認」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

証明書をインポートできません。

エラーコード	44
エラー定数	SECURE_IMPORT_CERTIFICATE

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤが、証明書をインポートできませんでした。次の項目を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

証明書をコピーできません。

エラーコード	38
エラー定数	SECURE_EXPORT_CERTIFICATE

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤが、証明書をコピーできませんでした。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

その他の情報

- 「トランスポートレイヤセキュリティ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01107

証明書を証明書チェーンに追加できません。

エラーコード	39
エラー定数	SECURE_ADD_CERTIFICATE

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤが、証明書チェーンに証明書を追加できませんでした。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

その他の情報

- 「トランスポートレイヤセキュリティ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

証明書を読み込めません。

エラーコード	34
エラー定数	SECURE_READ_CERTIFICATE

考えられる原因

証明書ファイルが読み込めませんでした。次の項目を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

証明書を割り付けることができません。

エラーコード	43
エラー定数	SECURE_CREATE_CERTIFICATE

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤが、証明書用の記憶領域を割り付けることができませんでした。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

信頼できないサーバ証明書です。

エラーコード	24
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_NOT_TRUSTED

考えられる原因

サーバの証明書は信頼できる認証局によって署名されていません。次の項目を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 信頼できるルート証明書のクライアント側のリストに、サーバ側のルート証明書が含まれている。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

信頼できる証明書が %1 で見つかりません。

エラーコード	42
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_COUNT

考えられる原因

指定されたファイルに証明書が入っていません。次の項目を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

信頼できる証明書ファイル '%1' から読み込み中にエラーが発生しました。

エラーコード	41
エラー定数	SECURE_TRUSTED_CERTIFICATE_READ
パラメータ 1	信頼できる証明書ファイル名。

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤが、信頼できる証明書ファイルを読み込むことができませんでした。次の項目を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。4) 証明書ファイルに

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01109

適切な証明書が入っている。5) 証明書ファイルを開こうとしているプログラムにファイル参照の権限がある。この項目は、ユーザパーミッションかファイルパーミッション (またはその両方) を持つオペレーティングシステムだけに適用されます。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

信頼できる証明書ファイル '%1' を見つけられません。

エラーコード	40
エラー定数	SECURE_TRUSTED_CERTIFICATE_FILE_NOT_FOUND
パラメータ 1	信頼できる証明書ファイル名。

考えられる原因

証明書ファイルが見つかりませんでした。次の項目を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。5) 証明書ファイルを開こうとしているプログラムにファイル参照の権限がある。この項目は、ユーザパーミッションかファイルパーミッション (またはその両方) を持つオペレーティングシステムだけに適用されます。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

信頼できる証明書を追加できません。

エラーコード	48
エラー定数	SECURE_ADD_TRUSTED_CERTIFICATE

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤが、証明書チェーンに信頼できる証明書を追加できませんでした。システムリソースの不足が主な原因と考えられます。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

信頼できるルート証明書が指定されていません。

エラーコード	207
エラー定数	SECURE_NO_TRUSTED_ROOTS

考えられる原因

信頼できるルート証明書が指定されていません。通信のセキュリティを保護するには、信頼できるルート証明書が少なくとも 1 つ必要です。

セキュアストリームの FIPS は明示的に無効になっていますが、-fips オプションが有効になっています。

エラーコード	242
エラー定数	INCONSISTENT_FIPS

考えられる原因

Mobile Link サーバのコマンドラインで -fips スイッチを使用するには、すべてのセキュアストリームが FIPS に準拠している必要があります。セキュアストリームに fips オプションが設定されていない場合は、自動的に FIPS 準拠 (fips=y など) になります。セキュアストリームから fips オプションを削除するか、fips=y で有効にしてください。

その他の情報

- 「-fips mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「FIPS 認定の暗号化テクノロジ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

セキュリティコンテキストを複製できません。

エラーコード	25
エラー定数	SECURE_DUPLICATE_CONTEXT

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤが、セキュリティコンテキストを複製できませんでした。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01111

接続キューからデキューできません。

エラーコード	19
エラー定数	DEQUEUING_CONNECTION

考えられる原因

キューイングされている接続 (同期) 要求を取得しようとしているときに、Mobile Link サーバでエラーが発生しました。システムリソースを解放してください。問題が解決しなければ、Mobile Link サーバを再起動してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバでのメモリの使用」『Mobile Link サーバ管理』
- 「Mobile Link サーバ」『Mobile Link サーバ管理』

接続試行がタイムアウトになりました。

エラーコード	241
エラー定数	CONNECT_TIMEOUT

考えられる原因

接続試行がタイムアウトになりました。サーバが指定のホストとポートで実行されていないか、タイムアウト値を大きくして接続の試行に使用できる時間を増やす必要があります。

その他の情報

- 「timeout」『Mobile Link クライアント管理』
- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』

操作が中断されました。

エラーコード	218
エラー定数	INTERRUPTED

考えられる原因

現在の操作は呼び出し元によって中断されました。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

ソケットで受信できません。バックログは %1 です。

エラーコード	67
エラー定数	SOCKET_LISTEN
パラメータ 1	要求されたリスナバックログ。

考えられる原因

サーバがソケットで受信できません。バックログとは、ある一定期間に保留中になっている可能性がある、キューイングされた接続要求の最大数のことです。次の項目を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 現在のマシンでソケットリスナが動作するのを妨げるファイアウォールやその他の制限事項がない。3) マシンに制限がある場合、バックログ設定が制限内に収まっている。4) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットのオプション番号 %1 を取得できません。

エラーコード	65
エラー定数	SOCKET_GET_OPTION
パラメータ 1	検索中のソケットオプション。

考えられる原因

ネットワークレイヤがソケットオプションを取得できませんでした。このエラーは、接続が失われたことを示す最初の徴候であると考えられます。次の項目を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットのオプション番号 %1 を設定できません。

エラーコード	66
エラー定数	SOCKET_SET_OPTION
パラメータ 1	設定中のソケットオプション。

考えられる原因

ネットワークレイヤがソケットオプションを設定できませんでした。このエラーは、接続が失われたことを示す最初の徴候であると考えられます。次の項目を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01113

は正常に動作している。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットのステータスを選択できません。

エラーコード	69
エラー定数	SOCKET_SELECT

考えられる原因

ネットワークレイヤで、読み込みまたは書き込み可能状態のソケットに対して待ち状態に入ろうとするエラーが発生しました。次の項目を確認してください。1) ネットワークにマシンが接続されており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットのローカル名を取得できません。

エラーコード	64
エラー定数	SOCKET_GET_NAME

考えられる原因

ネットワークレイヤがソケットのローカル名を判別できませんでした。TCP/IP 接続には、各接続の両端にポート専用に付加されたソケットがあります。ソケットのローカル名にはこのポート番号が含まれており、これは、接続時にネットワークによって割り当てられます。次の項目を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットレイヤをクリーンアップできません。

エラーコード	61
エラー定数	SOCKET_CLEANUP

考えられる原因

ネットワークレイヤがソケットレイヤをクリーンアップできませんでした。これは、すべての接続が終了した後にだけ発生するエラーです。したがって現在の接続には影響しません。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

ソケットレイヤを初期化できません。

エラーコード	70
エラー定数	SOCKET_STARTUP

考えられる原因

ネットワークレイヤがソケットレイヤを初期化できませんでした。次の項目を確認してください。1) ソケットレイヤが適切にインストールされている。正しいネットワークインタフェースライブラリが存在し、アクセス可能になっていなければなりません。2) ネットワークにマシンが接続されており、ネットワークからの応答がある。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットをシャットダウンできません。

エラーコード	68
エラー定数	SOCKET_SHUTDOWN

考えられる原因

ネットワークレイヤがソケットをシャトダウンできませんでした。次の項目を確認してください。1) ネットワークにマシンが接続されており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットを接続できません。

エラーコード	63
エラー定数	SOCKET_CONNECT

考えられる原因

ネットワークレイヤがソケットを接続できませんでした。次の項目を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されている。2) ソケットレイヤは適切に初期化されている。3) 適切なホストマシンとポートが指定されている。4) ホストサーバが正常に稼働しており、適切なポートで受信している。5) ホストマシンが、適切なソケットタイプ (TCP/IP と UDP) で受信を行っている。6) client_port オプションが使用された場合は、ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。7) オープンしているソケット数について、デバイスに制限が設けられている場合は、その値に達していないことを確認する。8) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01115

その他の情報

- 「client_port」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

ソケットを閉じられません。

エラーコード	62
エラー定数	SOCKET_CLOSE

考えられる原因

ネットワークレイヤがソケットを閉じることができませんでした。フラッシュされなかった保留中の書き込みが原因で、ネットワークセッションが不完全なまま終了した可能性があります(または、終了していない可能性があります)。次の項目を確認してください。1) ネットワーク接続のどちらか一方の側でエラーが発生した。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。

ダウンロードしたファイルの保存先パス %1 が無効です。

エラーコード	243
エラー定数	INVALID_LOCAL_PATH
パラメータ 1	ローカルパス。

考えられる原因

ダウンロードされたファイルのインストール先パスが無効です。詳細については、マニュアルを参照してください。

その他の情報

- 「Mobile Link ファイル転送ユーティリティ (mlfiletransfer)」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-ftr mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

チャンク長を解析中に予期しない文字が読み込まれました。%1

エラーコード	85
エラー定数	HTTP_CHUNK_LEN_BAD_CHARACTER
パラメータ 1	予期しない文字。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

固定長の HTTP 本文を使用してください。

内部エラー (%1) です。

エラーコード	220
エラー定数	INTERNAL
パラメータ 1	内部エラーコード。

考えられる原因

ネットワークレイヤで内部エラーが発生しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

内部エラー : %1 が %2 を返しました。

エラーコード	238
エラー定数	INTERNAL_API
パラメータ 1	内部 API の名前。
パラメータ 2	内部エラーコード。

考えられる原因

ネットワークレイヤで内部エラーが発生しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

内部プロトコルがロードされませんでした : %1

エラーコード	227
エラー定数	INTERNAL_PROTOCOL_NOT_LOADED

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01117

考えられる原因

同期プロトコルをロードできませんでした。Ultra Light を使用している場合は、適切な ULEnable メソッドを呼び出していることを確認してください。

その他の情報

- 「クライアントのネットワークプロトコル」『Mobile Link クライアント管理』
- ULEnableAesDBEncryption メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableAesFipsDBEncryption メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableRsaE2ee メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableHttpSynchronization メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableRsaFipsE2ee メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableRsaFipsSyncEncryption メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableRsaSyncEncryption メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableTcpipSynchronization メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableZlibSyncCompression メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』

認識されない HTTP バージョン : %1

エラーコード	54
エラー定数	HTTP_VERSION
パラメータ 1	要求された HTTP バージョン。

考えられる原因

要求された HTTP バージョンはサポートされていません。マニュアルを調べて、サポート対象の HTTP バージョンを指定してください。パブリケーション時のサポート対象 HTTP バージョンは 1.0 と 1.1 です。

その他の情報

- 「version」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

認識されない組織 '%1' です。

エラーコード	21
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_COMPANY_NAME
パラメータ 1	組織名。

考えられる原因

指定された組織名は証明書チェーンに存在しません。次の項目を確認してください。1) 組織名が正しく入力されている。2) 適切な証明書ファイルが指定されている。3) 証明書チェーンに組織名が存在している。viewcert ユーティリティを使用して上記を確認できます。

その他の情報

- 「certificate_company」『Mobile Link クライアント管理』
- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』
- 「証明書ビューアユーティリティ (viewcert)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

認識されない組織単位 '%1' です。

エラーコード	51
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_COMPANY_UNIT
パラメータ 1	組織単位名。

考えられる原因

指定された組織単位は証明書チェーンに存在しません。次の項目を確認してください。1) 会社名が正しく入力されている。2) 適切な証明書ファイルが指定されている。3) 証明書チェーンに会社名が存在している。viewcert ユーティリティを使用して上記を確認できます。

その他の情報

- 「certificate_company」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_unit」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_name」『Mobile Link クライアント管理』
- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』
- 「証明書ビューアユーティリティ (viewcert)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

認識されない通称 '%1' です。

エラーコード	52
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_COMMON_NAME

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01119

パラメータ 1	通称。

考えられる原因

指定された通称は証明書チェーンに存在しません。次の項目を確認してください。1) 通称が正しく入力されている。2) 適切な証明書ファイルが指定されている。3) 証明書チェーンに通称が存在している。viewcert ユーティリティを使用して上記を確認できます。

その他の情報

- 「certificate_company」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_unit」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_name」『Mobile Link クライアント管理』
- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』
- 「証明書ビューアユーティリティ (viewcert)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

認識できない TLS タイプ %1 です。

エラーコード	240
エラー定数	UNRECOGNIZED_TLS_TYPE
パラメータ 1	TLS タイプ

考えられる原因

TLS タイプが無効です。有効なタイプについては、マニュアルを参照してください。

その他の情報

- 「トランスポートレイヤセキュリティ」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

ネットワークインタフェースライブラリが不正か破損しています：%1

エラーコード	245
エラー定数	INVALID_NETWORK_LIBRARY
パラメータ 1	ネットワークライブラリのパス。

考えられる原因

指定されたネットワークインタフェース DLL または共有オブジェクトがロードできませんでした。不正か破損している可能性があります。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

ネットワークインタフェースライブラリのバージョンが一致しません。予期されたバージョンは %1.%2 ですが、バージョン %3.%4 が見つかりました。

エラーコード	248
エラー定数	NETWORK_LIBRARY_VERSION_MISMATCH
パラメータ 1	想定されていたメジャーバージョン。
パラメータ 2	想定されていたマイナーバージョン。
パラメータ 3	見つかったメジャーバージョン。
パラメータ 4	見つかったマイナーバージョン。

考えられる原因

バージョンが間違っているため、ネットワークインタフェース DLL または共有オブジェクトがロードできませんでした。

ネットワークインタフェースライブラリをロードできません。

エラーコード	73
エラー定数	LOAD_NETWORK_LIBRARY

考えられる原因

ネットワークインタフェースライブラリを検出してロードすることができませんでした (またはそのいずれか)。次の項目を確認してください。1) ソケットレイヤが適切にインストールされている。適切なネットワークインタフェースライブラリ (または DLL か共有オブジェクト) が存在しており、アクセス可能になっていなければなりません。2) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

その他の情報

- 「インタフェースライブラリ通信プロトコル」『SQL Anywhere 16 紹介』
- 「トラブルシューティング : インタフェースライブラリのロケーション」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

ネットワークレイヤをセキュリティレイヤに付加できません。

エラーコード	26

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01121

エラー定数	SECURE_SET_IO

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤをネットワークレイヤに付加できませんでした。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

パスワードが指定されていません。

エラーコード	214
エラー定数	HTTP_NO_PASSWORD

考えられる原因

HTTP 認証にユーザ ID が入力されましたが、パスワードが入力されていません。認証には両方が必要です。

その他の情報

- 「http_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_password」『Mobile Link クライアント管理』

パラメータ値 '%1' は符号なし整数値または範囲ではありません。範囲の形式は NNN-NNN です。

エラーコード	3
エラー定数	PARAMETER_NOT_UINT32_RANGE
パラメータ 1	不正なパラメータ値。

考えられる原因

ネットワークパラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメータ値は、符号なし整数値または範囲のいずれでもありません。パラメータ指定の違反箇所を探して、パラメータ値を符号なしの整数値か範囲に変更してください。符号なしの範囲の形式は NNN-NNN です。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パラメータ値 '%1' は符号なし整数ではありません。

エラーコード	2
エラー定数	PARAMETER_NOT_UINT32
パラメータ 1	不正なパラメータ値。

考えられる原因

ネットワークパラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメータ値は、符号なし整数ではありません。パラメータ指定の違反箇所を探して、パラメータ値を符号なしの整数に変更してください。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

パラメータ値 '%1' は有効な 16 進数値ではありません。

エラーコード	5
エラー定数	PARAMETER_NOT_HEX
パラメータ 1	不正なパラメータ値。

考えられる原因

ネットワークパラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメータ値は、16 進数値 (基数 16) ではありません。パラメータ指定の違反箇所を探して、パラメータ値を 16 進数値に変更してください。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

パラメータ値 '%1' は有効なブール値ではありません。値を 0 または 1 に指定します。

エラーコード	4
エラー定数	PARAMETER_NOT_BOOLEAN

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01123

パラメータ 1	不正なパラメータ値。

考えられる原因

ネットワークパラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメータ値はブール値ではありません。パラメータ指定の違反箇所を探して、パラメータ値を 0 (off または False に対応) または 1 (on または True に対応) に変更してください。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

パラメータがありません：%1

エラーコード	229
エラー定数	MISSING_PARAMETER
パラメータ 1	見つからないパラメータの名前。

考えられる原因

必要なパラメータが指定されていません。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

パラメータ文字列 '%1' を解析できません。

エラーコード	7
エラー定数	PARSE
パラメータ 1	解析できなかったパラメータ文字列。

考えられる原因

ネットワークパラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。オプションで、カッコ内にパラメータの全リストを入力できます。入力された文字列はこの表記規則に従っていません。文字列を検査して、フォーマット上の問題を修正してからもう一度操作を行ってください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

ハンドシェイクエラー

エラーコード	53
エラー定数	SECURE_HANDSHAKE

考えられる原因

安全なハンドシェイクに失敗しました。次の項目を確認してください。1) クライアントでは、正しいホストマシンとポート番号が指定されている。2) サーバでは、正しいポート番号が指定されている。3) クライアントでは、正しい信頼できる証明書が指定されていて、サーバでは、正しい ID ファイルが指定されている。

その他の情報

- 「certificate_company」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_unit」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_name」『Mobile Link クライアント管理』
- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

非 HTTP トラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	280
エラー定数	TCP_INSTEAD_OF_HTTP
パラメータ 1	リスニングポート。

考えられる原因

HTTP トラフィックを処理していたポートで、非 HTTP トラフィックを受信したため、Mobile Link サーバが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバ側と一致していることを確認します。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01125

ファイル '%1' を開けません。

エラーコード	264
エラー定数	COULD_NOT_OPEN_FILE
パラメータ 1	ファイルの名前。

考えられる原因

指定されたファイルを開けませんでした。

不完全な HTTP 要求の読み込みに失敗しました。

エラーコード	277
エラー定数	HTTP_FAILED_READING_HEADERS

考えられる原因

Mobile Link サーバで、不完全な HTTP ヘッダのセットが受信されました。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

不正なセッション cookie (ML_SESSION_ID) 値です : %1

エラーコード	235
エラー定数	HTTP_MALFORMED_SESSION_COOKIE
パラメータ 1	cookie の値

考えられる原因

同期セッションの管理用の HTTP cookie が破損しています。cookie が破損している箇所を特定してください。クライアントエラーか、HTTP の仲介者が正しく動作していないことが主な原因と考えられます。

不正なパラメータ '%1' です。

エラーコード	1

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラー定数	PARAMETER
パラメータ 1	不正なパラメータ値。

考えられる原因

ネットワークパラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このコードは、不正なパラメータ値を示しています。該当するパラメータ名について説明したマニュアルを参照して、パラメータ値を修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

不正なポート番号 %1 です。値は、0 ～ 65535 でなければなりません。

エラーコード	74
エラー定数	SOCKET_PORT_OUT_OF_RANGE
パラメータ 1	ポート番号。

考えられる原因

不正なポート番号を指定しています。ポート番号は、0 ～ 65535 の間の整数にしてください。

その他の情報

- 「port」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

不正なルート証明書です。

エラーコード	20
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_ROOT

考えられる原因

チェーンのルート証明書が不正です。このエラーは、パブリケーション時に定義されましたが使用されませんでした。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01127

その他の情報

- 「trusted_certificates」『Mobile Link クライアント管理』

不明な HTTP User-Agent または要求タイプです。

エラーコード	278
エラー定数	HTTP_BAD_REQUEST

考えられる原因

Mobile Link サーバで、不明な User-Agent ヘッダまたは不明な要求タイプが指定された HTTP 要求が受信されました。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

不明な HTTP セッションを続行できません。

エラーコード	265
エラー定数	HTTP_UNKNOWN_SESSION

考えられる原因

同期セッションの管理用の HTTP cookie が認識されていません。同一セッションに対するすべての HTTP 要求は、同一の Mobile Link サーバインスタンスに送信される必要があります。HTTP の仲介者によって、同一セッションに対する HTTP 要求の一部が、同一の Mobile Link サーバに送信されなかったことが主な原因と考えられます。また、このエラーは、同一セッションに対して実行された複数の HTTP 要求の間に、短時間でサーバがシャットダウンおよび再起動した場合に発生することもあります。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

プライベートキーオブジェクトを作成できません。

エラーコード	49

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラー定数	SECURE_CREATE_PRIVATE_KEY_OBJECT

考えられる原因

プライベートキーを読み込む前に、セキュアネットワークレイヤがプライベートキーのオブジェクトを作成できませんでした。システムリソースの不足が主な原因と考えられます。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

その他の情報

- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

プライベートキーのパスワードが不正です

エラーコード	287
エラー定数	BAD_PRIVATE_KEY_PASSWORD

考えられる原因

暗号化されたプライベートキーのパスワードが不正です。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

プライベートキーを設定できません。

エラーコード	36
エラー定数	SECURE_SET_PRIVATE_KEY

考えられる原因

プライベートキーを使用できませんでした。次の項目を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01129

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「identity」『Mobile Link クライアント管理』
- 「identity_password」『Mobile Link クライアント管理』

プライベートキーを読み込めません。

エラーコード	35
エラー定数	SECURE_READ_PRIVATE_KEY

考えられる原因

証明書ファイルからプライベートキーを読み込めませんでした。次の項目を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「identity」『Mobile Link クライアント管理』
- 「identity_password」『Mobile Link クライアント管理』

プロトコルエラー

エラーコード	231
エラー定数	PROTOCOL_ERROR

考えられる原因

予期しない値またはトークンが読み込まれました。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.0

ヘッダを復号化しているときに予期しない HTTP ステータス %1 になりました。

エラーコード	236
エラー定数	HTTP_INTERNAL_HEADER_STATE
パラメータ 1	ヘッダの内部ステータス

考えられる原因

HTTP ヘッダをデコードできませんでした。これは通常は起こるはずのない内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ポート %1 にソケットをバインドできません。

エラーコード	60
エラー定数	SOCKET_BIND
パラメータ 1	ポート番号。

考えられる原因

ネットワークレイヤが、指定ポートにソケットをバインドできませんでした。次の項目を確認してください。1) (サーバのみ) ポートがまだ使用されていないことを確認する。ポートが使用中の場合は、そのポートで受信しているアプリケーションを停止するか、別のポートを指定してください。2) (サーバのみ) ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。3) (クライアントのみ) client_port オプションが使用された場合は、指定したポートがまだ使用されていないことを確認する。クライアントポートを 1 つだけ指定した場合は、NNN-NNN などの範囲を使用することを検討してください。範囲が指定されていた場合は、その範囲を広げるか、別の範囲にすることを検討してください。4) (クライアントのみ) client_port オプションが使用された場合は、ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「client_port」『Mobile Link クライアント管理』
- 「port」『Mobile Link クライアント管理』

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01131

ホスト名 '%1' を見つけられませんでした。

エラーコード	57
エラー定数	SOCKET_HOST_NAME_NOT_FOUND
パラメータ 1	ホスト名。

考えられる原因

指定されたホスト名が見つかりませんでした。次の項目を確認してください。1) ホスト名が正しく指定されている。2) ホストがアクセス可能である。多くのシステムには、名前を指定したホストへのアクセスを検証できる ping ユーティリティが組み込まれています。3) ドメインネームサーバ (DNS) またはそれに相当するものが使用できる。DNS を使用できない場合は、ホスト名の代わりにホストの IP アドレス (例 : NNN.NNN.NNN.NNN) を指定してみてください。4) HOSTS ファイルに、ホスト名を IP アドレスにマッピングするエントリが入っている。

その他の情報

- 「host」『Mobile Link クライアント管理』
- 「proxy_host」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

未知の転送エンコードです : '%1'

エラーコード	87
エラー定数	HTTP_UNKNOWN_TRANSFER_ENCODING
パラメータ 1	未知のエンコード。

考えられる原因

未知の転送エンコードがどのように生成されているかを判別してください。

その他の情報

- 「HTTP_RESPONSE_HEADER 関数 [Web サービス]」『SQL Anywhere サーバ SQL リファレンス』

無効な HTTP 文字です。

エラーコード	219
エラー定数	HTTP_INVALID_CHARACTER

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

HTTP ヘッダで予期しない文字が読み込まれました。ヘッダの形式が間違っているか、通信先から HTTP が送信されていない可能性があります。

その他の情報

- 「custom_header」『Mobile Link クライアント管理』
- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』

無効な圧縮型です：%1

エラーコード	232
エラー定数	INVALID_COMPRESSION_TYPE
パラメータ 1	無効な圧縮型

考えられる原因

指定された圧縮型が認識されませんでした。

その他の情報

- 「compression」『Mobile Link クライアント管理』

無効な同期プロトコルです：%1

エラーコード	226
エラー定数	INVALID_SYNC_PROTOCOL

考えられる原因

指定されたプロトコルは有効な同期プロトコルではありません。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

ユーザ ID が指定されていません。

エラーコード	213

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01133

エラー定数	HTTP_NO_USERID

考えられる原因

HTTP 認証にパスワードが入力されましたが、ユーザ ID が入力されていません。認証には両方が必要です。

その他の情報

- 「http_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_password」『Mobile Link クライアント管理』

要求ヘッダが大きすぎます。

エラーコード	288
エラー定数	HTTP_HEADERS_TOO_BIG

考えられる原因

この HTTP ヘッダのヘッダが大きすぎます。header_limit HTTP オプションの値を大きくすることを検討してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』

予期しない内部 HTTP 要求タイプ %1 です。

エラーコード	237
エラー定数	HTTP_INTERNAL_REQUEST_TYPE
パラメータ 1	内部 HTTP 要求タイプ

考えられる原因

HTTP 要求タイプを判別できませんでした。これは通常は起こるはずのない内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

予期しないパブリックキーエンドツーエンド暗号化タイプです。%1 を予期していましたが、%2 を受信しました。

エラーコード	252
エラー定数	E2EE_UNEXPECTED_PUBLIC_KEY_ENC_TYPE
パラメータ 1	サーバによるエンツーエンド暗号化タイプ。
パラメータ 2	クライアントによるエンツーエンド暗号化タイプ。

考えられる原因

クライアントは、サーバで指定された e2ee_type とは異なる e2ee_type 値を送信しました。両者が同じであることを確認してください。

その他の情報

- 「e2ee_public_key」『Mobile Link クライアント管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

予期しないプライベートキータイプです。%1 を予期していましたが、e2ee_private_key ファイル '%3' に %2 が見つかりました。

エラーコード	254
エラー定数	E2EE_UNEXPECTED_PRIVATE_KEY_TYPE
パラメータ 1	e2ee_type オプションによるエンツーエンドプライベートキータイプ。
パラメータ 2	ファイルによるエンツーエンドプライベートキータイプ。
パラメータ 3	e2ee_private_key オプションによるプライベートキーファイル。

考えられる原因

e2ee_private_key ファイルで見つかったプライベートキータイプは、e2ee_type で指定されたタイプと一致しません。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01135

その他の情報

- 「-x mlsrv16 オプション」『Mobile Link サーバ管理』
- 「キーペアジェネレータユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

予期しない要求タイプです：%1

エラーコード	234
エラー定数	UNEXPECTED_HTTP_REQUEST_TYPE
パラメータ 1	HTTP 要求タイプ

考えられる原因

この HTTP 要求タイプはこの時点では予期されていませんでした。Mobile Link クライアントではない HTTP クライアントが主な原因と考えられます。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントの概要」『Mobile Link クライアント管理』

ライブラリ %1 をロードできませんでした。

エラーコード	224
エラー定数	LOAD_LIBRARY_FAILURE

考えられる原因

パスでダイナミックライブラリを見つけることができませんでした。同期に TLS 暗号化を使用しようとしている場合は、適切なライセンスを取得していることを確認してください。

その他の情報

- 「トランスポートレイヤセキュリティの設定」『SQL Anywhere サーバ データベース管理』

乱数オブジェクトを作成できません。

エラーコード	17
エラー定数	CREATE_RANDOM_OBJECT

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤが、乱数生成オブジェクトを作成できませんでした。システムリソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

乱数ジェネレーターにシードを設定できません。

エラーコード	16
エラー定数	SEED_RANDOM

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤが、乱数ジェネレータにシードを設定できませんでした。システムリソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

乱数ジェネレーターを初期化できません。

エラーコード	15
エラー定数	INIT_RANDOM

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤが、乱数ジェネレータを初期化できませんでした。システムリソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

乱数を生成できません。

エラーコード	14
エラー定数	GENERATE_RANDOM

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤでは乱数が必要ですが、それを生成できませんでした。システムリソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

リモートからの予期されたデータですが、現在の要求は POST ではありません。

エラーコード	89

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01137

エラー定数	HTTP_EXPECTED_POST

考えられる原因

使用しているプロキシが Mobile Link と互換性がない可能性があります。設定を確認してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

Mobile Link Replay ユーティリティのエラーメッセージ

メッセージは、Mobile Link Replay ユーティリティメッセージログに書き込まれます。

多くのメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメータに置き換えられてメッセージに表示されます。

各メッセージには、数値エラーコードがあります。

参照

- 「Mobile Link Replay ユーティリティの警告メッセージ」1165 ページ

Mobile Link Replay ユーティリティのエラーメッセージ (エラーコード順)

エラーコード	メッセージテキスト
-5077	「リプレイ API ジェネレーターは、%1 を作成できませんでした」
-5076	「%1 は、このバージョンの Replay API Generator とは互換性のない、記録されたプロトコルバージョンです」
-5075	「%1 は、このバージョンの MLReplay とは互換性のない、記録されたプロトコルバージョンです」
-5074	「MLReplay は予期しない進行状況オフセット不一致警告を Mobile Link サーバから受信しました」
-5073	「活性タイムアウト値 %1 が無効です。 値は 0 ～ 65535 の範囲でなければなりません。」
-5072	「指定したスクリプトバージョンは長すぎます。」
-5071	「Replay API バージョン '%1' は有効ではありません。」
-5070	「空間ライブラリエラー : '%1'」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01139

エラーコード	メッセージテキスト
-5069	「MLReplay は繰り返し %1 の準備に次の理由で失敗しました : '%2'」
-5068	「MLReplay は繰り返し %1 の準備に失敗しました」
-5067	「-n オプションを使用して指定されたシミュレートされたクライアント数が、シミュレートされたクライアントの情報ファイルに指定されているシミュレートされたクライアント数を上回っています」
-5066	「この CPU では、空間のサポートは利用できません」
-5065	「次のネットワークエラーが原因で、MLReplay は失敗しました : '%1'」
-5064	「次の理由により、MLReplay は、正しく初期化できませんでした : '%1'」
-5062	「記録されたプロトコルが DBMLSync クライアントから発生したのかどうかを確認できません」
-5061	「GlobalInit コールバックは失敗しました」
-5060	「MLReplay で、シミュレートされたクライアントは成功したと確認されたのに、ReportEndOfReplay コールバックは false を返しました」
-5059	「MLReplay は、GetRow コールバックをロードできませんでした。GetRow コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です」
-5058	「MLReplay は、GetNumRows コールバックをロードできませんでした。GetNumRows コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です」
-5057	「MLReplay は、GetUploadTable コールバックをロードできませんでした。GetUploadTable コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
-5056	「MLReplay は、GetNumUploadTables コールバックをロードできませんでした。GetNumUploadTables コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です」
-5055	「MLReplay は、FreeAllUploadRows コールバックをロードできませんでした。FreeAllUploadRows コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するのに必要です」
-5054	「テーブル '%2' のカラム '%1' は NULL にできません」
-5053	「Replay API Generator は、リプレイ API の生成に失敗しました」
-5052	「Replay API Generator は、ファイル%1 と閉じられませんでした」
-5051	「Replay API Generator は、ファイル %1 に書き込みできませんでした」
-5050	「MLReplay は、DestroyMLReplayUploadTransaction コールバックをロードできませんでした。DestroyMLReplayUploadTransaction コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です」
-5048	「MLReplay は、必須コールバックである FiniIdentifySimulatedClient をロードできませんでした」
-5047	「IdentifySimulatedClient コールバックに失敗しました」
-5046	「GetUploadTransaction コールバックに失敗しました」
-5045	「CreateAndInitMLReplayUploadTransaction コールバックに失敗しました。CreateAndInitMLReplayUploadTransaction コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01141

エラーコード	メッセージテキスト
-5044	「記録されたプロトコルからトランザクション情報を確認するときに、不明 SQL ドメインタイプが見つかりました」
-5043	「MLReplay は、Mobile Link サーバから予期せぬデータを受信しました」
-5042	「MLReplay は、データを Mobile Link サーバにアップロードできませんでした」
-5039	「MLReplay は、必須コールバックである IdentifySimulatedClient をロードできませんでした」
-5038	「MLReplay は CreateAndInitMLReplayUploadTransaction コールバックをロードできませんでした。CreateAndInitMLReplayUploadTransaction コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です」
-5036	「MLReplay は %1 をロードできませんでした」
-5035	「記録されたプロトコルへのアクセス中にエラーが発生しました」
-5034	「MLReplay は、記録されたプロトコルファイルを閉じることができませんでした」
-5032	「MLReplay は、シミュレートされた指定のクライアント情報ファイルを閉じることができませんでした」
-5031	「Mobile Link サーバを待機中に MLReplay がタイムアウトしたので、MLReplay はダウンロードのリプレイに失敗しました」
-5030	「Mobile Link サーバの応答を待機中に、MLReplay がタイムアウトしました」
-5029	「リプレイ API ジェネレーターは、正常に初期化することができませんでした」
-5028	「記録されたプロトコルから、トランザクション情報を確認できません」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
-5026	「記録されたプロトコルから読み取られたスキーマ情報は、正常に解析されませんでした」
-5024	「記録されたプロトコルからスキーマ情報を取得できませんでした」
-5023	「記録されたプロトコルファイルは破損しています」
-5022	「Replay API Generator は、ファイル %1 を開くことができませんでした」
-5020	「MLReplay が、シミュレートされた指定のクライアント情報ファイルにアクセスするときに、ファイル I/O エラーが発生しました」
-5019	「シミュレートされた指定のクライアント情報ファイルのフォーマットが、予期していたフォーマットと異なります。フォーマットは、'[ユーザ名]、[パスワード]、[リモート ID]、[最終ダウンロード時刻]' の形式の行から構成されていなければなりません」
-5018	「MLReplay は、ファイル %1 を開いて、シミュレートされたクライアント情報を取得することができませんでした」
-5017	「ログを初期化できません」
-5016	「ログファイル %1 を開くことができません」
-5012	「指定したパスワードは長すぎます」
-5011	「指定したリモート ID は長すぎます」
-5010	「指定したユーザ名は長すぎます」
-5009	「メモリの割り付けに失敗しました」
-5008	「MLReplay は、リモート ID の GUID を生成できませんでした」
-5007	「MLReplay は、予期しない量のデータを Mobile Link サーバに送信しています」
-5006	「記録されたプロトコルを読み取る際にエラーが発生しました」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01143

エラーコード	メッセージテキスト
-5005	「MLReplay は、記録されたプロトコルファイル %1 を開けませんでした」
-5003	「次の理由により、MLReplay は Mobile Link サーバに接続できませんでした : '%1'」
-5002	「MLReplay は正しく初期化できませんでした」
-5001	「リプレイに失敗しました」
0	「エラーはありません、または未知のエラーです」

Mobile Link Replay ユーティリティのエラーメッセージ (五十音順)

%1 は、このバージョンの MLReplay とは互換性のない、記録されたプロトコルバージョンです

エラーコード	-5075
エラー定数	MLREPLAY_INCOMPATIBLE_RECORDED_PROTOCOL_VERSION
パラメータ 1	記録されたプロトコルファイルから取得された記録済みプロトコルバージョン

考えられる原因

記録されたプロトコルファイルから取得された記録済みプロトコルバージョンが、使用している MLReplay のバージョンより新しい Mobile Link サーバによって記録されています。

%1 は、このバージョンの Replay API Generator とは互換性のない、記録されたプロトコルバージョンです

エラーコード	-5076
エラー定数	MLGENREPLAYAPI_INCOMPATIBLE_RECORDED_PROTOCOL_VERSION

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パラメータ 1	記録されたプロトコルファイルから取得された記録済みプロトコルバージョン

考えられる原因

記録されたプロトコルファイルから取得された記録済みプロトコルバージョンが、使用している Replay API Generator のバージョンより新しい Mobile Link サーバによって記録されています。

CreateAndInitMLReplayUploadTransaction コールバックに失敗しました。CreateAndInitMLReplayUploadTransaction コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です

エラーコード	-5045
エラー定数	MLREPLAY_CREATE_UPLOAD_TRANS_FAILED

考えられる原因

CreateAndInitMLReplayUploadTransaction コールバックは失敗しました。GetUploadTransaction コールバックを使用するには、CreateAndInitMLReplayUploadTransaction コールバックが必要です。

GetUploadTransaction コールバックに失敗しました

エラーコード	-5046
エラー定数	MLREPLAY_GET_UPLOAD_TRANS_FAILED

考えられる原因

GetUploadTransaction コールバックに失敗しました。

GlobalInit コールバックは失敗しました

エラーコード	-5061
エラー定数	MLREPLAY_GLOBAL_INIT_FAILED

考えられる原因

GlobalInit コールバックに失敗しました。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01145

IdentifySimulatedClient コールバックに失敗しました

エラーコード	-5047
エラー定数	MLREPLAY_IDENTIFY_SIMULATED_CLIENT_FAILED

考えられる原因

IdentifySimulatedClient コールバックに失敗しました。

MLReplay が、シミュレートされた指定のクライアント情報ファイルにアクセスするときに、ファイル I/O エラーが発生しました

エラーコード	-5020
エラー定数	MLREPLAY_SIMULATED_CLIENT_INFO_FILE_IO_ERROR

考えられる原因

MLReplay が、シミュレートされた指定のクライアント情報ファイルにアクセスするときに、ファイル I/O エラーが発生しました。

MLReplay で、シミュレートされたクライアントは成功したと確認されたのに、ReportEndOfReplay コールバックは false を返しました

エラーコード	-5060
エラー定数	MLREPLAY_REPORT_END_OF_REPLAY_FAILED

考えられる原因

MLReplay で、シミュレートされたクライアントは成功したと確認されたのに、ReportEndOfReplay コールバックは false を返しました。

MLReplay は %1 をロードできませんでした

エラーコード	-5036
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_DLL_FAILED

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

MLReplay が指定のリプレイ DLL をロードできませんでした。

MLReplay は CreateAndInitMLReplayUploadTransaction コールバックをロードできませんでした。CreateAndInitMLReplayUploadTransaction コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です

エラーコード	-5038
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_CREATE_UPLOAD_TRANS_FAILED

考えられる原因

MLReplay は CreateAndInitMLReplayUploadTransaction コールバックをロードできませんでした GetUploadTransaction コールバックを使用するには、CreateAndInitMLReplayUploadTransaction コールバックが必要です。CreateAndInitMLReplayUploadTransaction コールバックが mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

MLReplay は、DestroyMLReplayUploadTransaction コールバックをロードできませんでした。DestroyMLReplayUploadTransaction コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です

エラーコード	-5050
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_DESTROY_MLREPLAY_UPLOAD_TRANS_FAILED

考えられる原因

MLReplay は DestroyMLReplayUploadTransaction コールバックをロードできませんでした GetUploadTransaction コールバックを使用するには、DestroyMLReplayUploadTransaction コールバックが必要です。DestroyMLReplayUploadTransaction コールバックが mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01147

MLReplay は、FreeAllUploadRows コールバックをロードできませんでした。FreeAllUploadRows コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するのに必要です

エラーコード	-5055
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_FREE_ALL_UPLOAD_ROWS_FAILED

考えられる原因

MLReplay は FreeAllUploadRows コールバックをロードできませんでした。GetUploadTransaction コールバックを使用するには、FreeAllUploadRows コールバックが必要です。FreeAllUploadRows コールバックが mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

MLReplay は、GetNumRows コールバックをロードできませんでした。GetNumRows コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です

エラーコード	-5058
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_GET_NUM_ROWS_FAILED

考えられる原因

MLReplay は GetNumRows コールバックをロードできませんでした GetUploadTransaction コールバックを使用するには、GetNumRows コールバックが必要です。GetNumRows コールバックが mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

MLReplay は、GetNumUploadTables コールバックをロードできませんでした。GetNumUploadTables コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です

エラーコード	-5056
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_GET_NUM_UPLOAD_TABLES_FAILED

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

MLReplay は GetNumUploadTables コールバックをロードできませんでした。GetUploadTransaction コールバックを使用するには、GetNumUploadTables コールバックが必要です。GetNumUploadTables コールバックが mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

MLReplay は、GetRow コールバックをロードできませんでした。GetRow コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です

エラーコード	-5059
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_GET_ROW_FAILED

考えられる原因

MLReplay は GetRow コールバックをロードできませんでした。GetUploadTransaction コールバックを使用するには、GetRow コールバックが必要です。GetRow コールバックが mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

MLReplay は、GetUploadTable コールバックをロードできませんでした。GetUploadTable コールバックは、GetUploadTransaction コールバックを使用するために必要です

エラーコード	-5057
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_GET_UPLOAD_TABLE_FAILED

考えられる原因

MLReplay は GetUploadTable コールバックをロードできませんでした。GetUploadTransaction コールバックを使用するには、GetUploadTable コールバックが必要です。GetUploadTable コールバックが mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

MLReplay は、Mobile Link サーバから予期せぬデータを受信しました

エラーコード	-5043

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01149

エラー定数	MLREPLAY_RECEIVED_UNEXPECTED_DATA

考えられる原因

MLReplay は、Mobile Link サーバから予期せぬデータを受信しました。

MLReplay は、記録されたプロトコルファイル %1 を開けませんでした

エラーコード	-5005
エラー定数	MLREPLAY_OPEN_RECORDED_PROTOCOL_FILE_FAILED
パラメータ 1	ファイル名。

考えられる原因

MLReplay は、記録されたプロトコルファイルを開くことができませんでした。

MLReplay は、記録されたプロトコルファイルを閉じることができませんでした

エラーコード	-5034
エラー定数	MLREPLAY_CLOSE_RECORDED_PROTOCOL_FILE_FAILED

考えられる原因

MLReplay は、記録されたプロトコルファイルを閉じることができませんでした。

MLReplay は、シミュレートされた指定のクライアント情報ファイルを閉じることができませんでした

エラーコード	-5032
エラー定数	MLREPLAY_SIMULATED_CLIENT_INFO_FILE_CLOSE_ERROR

考えられる原因

MLReplay は、シミュレートされた指定のクライアント情報ファイルを閉じることができませんでした。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

MLReplay は、データを Mobile Link サーバにアップロードできませんでした

エラーコード	-5042
エラー定数	MLREPLAY_FAILED_UPLOAD

考えられる原因

MLReplay は、データを Mobile Link サーバにアップロードできませんでした。

MLReplay は、必須コールバックである FiniIdentifySimulatedClient をロードできませんでした

エラーコード	-5048
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_FINI_IDENTIFY_SIMULATED_CLIENT_FAILED

考えられる原因

MLReplay は、必須コールバックである FiniIdentifySimulatedClient をロードできませんでした。FiniIdentifySimulatedClient コールバックが mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

MLReplay は、必須コールバックである IdentifySimulatedClient をロードできませんでした

エラーコード	-5039
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_IDENTIFY_SIMULATED_CLIENT_FAILED

考えられる原因

MLReplay は、必須コールバックである IdentifySimulatedClient をロードできませんでした。IdentifySimulatedClient コールバックが mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

MLReplay は、ファイル %1 を開いて、シミュレートされたクライアント情報を取得することができませんでした

エラーコード	-5018

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01151

エラー定数	MLREPLAY_OPEN_SIMULATED_CLIENT_INFO_FAILED
パラメータ 1	ファイル名。

考えられる原因

MLReplay はシミュレートされたクライアント情報を含むファイルを開くことができませんでした。

MLReplay は、予期しない量のデータを Mobile Link サーバに送信しています

エラーコード	-5007
エラー定数	MLREPLAY_SENDING_UNEXPECTED_AMOUNT_OF_DATA

考えられる原因

MLReplay は、予期しない量のデータを Mobile Link サーバに送信しています。

MLReplay は、リモート ID の GUID を生成できませんでした

エラーコード	-5008
エラー定数	MLREPLAY_COULD_NOT_GENERATE_GUID

考えられる原因

MLReplay は、リモート ID の GUID を生成できませんでした。

MLReplay は繰り返し %1 の準備に失敗しました

エラーコード	-5068
エラー定数	MLREPLAY_FAILED_PREPARING_REPETITION
パラメータ 1	繰り返し番号

考えられる原因

MLReplay が繰り返しの準備に失敗しました。このエラーの原因として可能性が高いのは、メモリ割り付けエラーか、MLReplay のいずれかのコールバックの失敗です。原因の詳細は、ログを確認してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

MLReplay は繰り返し %1 の準備に次の理由で失敗しました : '%2'

エラーコード	-5069
エラー定数	MLREPLAY_FAILED_PREPARING_REPETITION_REASON
パラメータ 1	繰り返し番号
パラメータ 2	ストリームからのエラーメッセージ。

考えられる原因

特定の理由により、MLReplay が繰り返しの準備に失敗しました。

MLReplay は正しく初期化できませんでした

エラーコード	-5002
エラー定数	MLREPLAY_FAILED_INIT

考えられる原因

MLReplay は正しく初期化されませんでした。

MLReplay は予期しない進行状況オフセット不一致警告を Mobile Link サーバから受信しました

エラーコード	-5074
エラー定数	MLREPLAY_RECEIVED_UNEXPECTED_SUB_MISMATCH

考えられる原因

このエラーの原因として可能性が高いのは、記録済みの同じプロトコルファイルが同じクライアントによって 2 回以上置き換えられたことです。この問題を解決するには、MLReplay に -ap オプションを指定して実行してください。

Mobile Link サーバの応答を待機中に、MLReplay がタイムアウトしました

エラーコード	-5030

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01153

エラー定数	MLREPLAY_TIMED_OUT

考えられる原因

Mobile Link サーバの応答を待機中に、MLReplay がタイムアウトしました。

Mobile Link サーバを待機中に MLReplay がタイムアウトしたので、MLReplay はダウンロードのリプレイに失敗しました

エラーコード	-5031
エラー定数	MLREPLAY_REPLAY_DOWNLOAD_FAILED_TIMED_OUT

考えられる原因

Mobile Link サーバを待機中に MLReplay がタイムアウトしたので、MLReplay はダウンロードのリプレイに失敗しました。

-n オプションを使用して指定されたシミュレートされたクライアント数が、シミュレートされたクライアントの情報ファイルに指定されているシミュレートされたクライアント数を上回っています

エラーコード	-5067
エラー定数	MLREPLAY_INVALID_NUM_SIM_CLIENTS_SCI

考えられる原因

-n <シミュレートされるクライアントの数> オプションに -sci オプションを指定して使用した場合、-n で指定されるシミュレートされるクライアントの数は、シミュレートされるクライアント情報ファイルで指定されるシミュレートされるクライアントの数以下でなければなりません。

Replay API Generator は、ファイル %1 に書き込みできませんでした

エラーコード	-5051
エラー定数	MLGENREPLAYAPI_FILE_WRITE_FAILED
パラメータ 1	ファイル名

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

Replay API Generator は、ファイルへの書き込みができませんでした。

Replay API Generator は、ファイル %1 を開くことができませんでした

エラーコード	-5022
エラー定数	MLGENREPLAYAPI_FILE_OPEN_FAILED
パラメータ 1	ファイル名

考えられる原因

Replay API Generator は、ファイルを開くことができませんでした。

Replay API Generator は、ファイル%1 と閉じられませんでした

エラーコード	-5052
エラー定数	MLGENREPLAYAPI_FILE_CLOSE_FAILED
パラメータ 1	ファイル名

考えられる原因

Replay API Generator は、ファイルを閉じることができませんでした。

Replay API Generator は、リプレイ API の生成に失敗しました

エラーコード	-5053
エラー定数	MLGENREPLAYAPI_FAILED

考えられる原因

Replay API Generator は、リプレイ API の生成に失敗しました。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01155

Replay API バージョン '%1' は有効ではありません。

エラーコード	-5071
エラー定数	MLREPLAY_INVALID_API_VERSION
パラメータ 1	リプレイ API のバージョン

考えられる原因

指定の DLL または共有オブジェクトから取得したリプレイ API のバージョンが有効ではありません。mlgenreplayapi を使用してコードを再生成してください。

エラーはありません、または未知のエラーです

エラーコード	0
エラー定数	MLREPLAY_NONE

考えられる原因

このコードは、エラーが発生しなかったか、未知のエラーが発生したことを示します。

活性タイムアウト値 %1 が無効です。 値は 0 ～ 65535 の範囲でなければなりません。

エラーコード	-5073
エラー定数	MLREPLAY_TIMEOUT_OUT_OF_RANGE
パラメータ 1	コマンドラインで指定されたタイムアウト

考えられる原因

無効な活性タイムアウト値が指定されました。活性タイムアウト値は、0 ～ 65535 の間の整数にしてください。

記録されたプロトコルが DBMLSync クライアントから発生したのかどうかを確認できません

エラーコード	-5062
エラー定数	MLGENREPLAYAPI_FAILED_TO_DETERMINE_CLIENT_TYPE

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

記録されたプロトコルが DBMLSync クライアントからのものであるか判断できません。原因として可能性が高いのは、記録されたプロトコルファイルの破損です。

記録されたプロトコルから、トランザクション情報を確認できません

エラーコード	-5028
エラー定数	MLGENREPLAYAPI_FAILED_TO_LOAD_TRANS_INFO

考えられる原因

テーブルあたり、トランザクションあたり、記録されたプロトコルからの同期あたりの挿入、更新、削除の数を特定することができませんでした。

記録されたプロトコルからスキーマ情報を取得できませんでした

エラーコード	-5024
エラー定数	MLREPLAY_FAILED_TO_GET_SCHEMA

考えられる原因

記録されたプロトコルからスキーマ情報を取得できませんでした。スキーマ情報は、リプレイ API の一部を生成するのに必要です。

記録されたプロトコルからトランザクション情報を確認するときに、不明 SQL ドメインタイプが見つかりました

エラーコード	-5044
エラー定数	MLGENREPLAYAPI_UNKNOWN_DOMAIN

考えられる原因

記録されたプロトコルからトランザクション情報を確認するときに、不明 SQL ドメインタイプが見つかりました。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01157

記録されたプロトコルから読み取られたスキーマ情報は、正常に解析されませんでした

エラーコード	-5026
エラー定数	MLREPLAY_FAILED_TO_PARSE_SCHEMA

考えられる原因

記録されたプロトコルから読み取られたスキーマ情報は、正常に解析されませんでした。

記録されたプロトコルファイルは破損しています

エラーコード	-5023
エラー定数	MLREPLAY_CORRUPT_RECORDED_PROTOCOL_FILE

考えられる原因

記録されたプロトコルファイルは破損しています。ファイルの記録中に Mobile Link サーバでエラーが発生していないことを確認してください。

記録されたプロトコルへのアクセス中にエラーが発生しました

エラーコード	-5035
エラー定数	MLREPLAY_RECORDED_PROTOCOL_ACCESS_ERROR

考えられる原因

記録されたプロトコルへのアクセス中にエラーが発生しました。

記録されたプロトコルを読み取る際にエラーが発生しました

エラーコード	-5006
エラー定数	MLREPLAY_READ_RECORDED_PROTOCOL_ERROR

考えられる原因

記録されたプロトコルを読み取る際にエラーが発生しました。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

空間ライブラリエラー : '%1'

エラーコード	-5070
エラー定数	MLREPLAY_SPATIALLIB_ERROR
パラメータ 1	空間ライブラリによって生成される実際のエラーコードまたはエラーメッセージ。

考えられる原因

エラーの原因を特定するには、空間ライブラリの実際のエラーメッセージを確認してください。

この CPU では、空間のサポートは利用できません

エラーコード	-5066
エラー定数	MLREPLAY_SPATIAL_SUPPORT_UNAVAILABLE

考えられる原因

32 ビット Windows と 32 ビット Linux の空間データサポートには、SSE2 命令をサポートする CPU が必要となります。

指定したスクリプトバージョンは長すぎます。

エラーコード	-5072
エラー定数	MLREPLAY_SCRIPT_VERSION_TO_LONG

考えられる原因

指定したスクリプトバージョンは長すぎます。スクリプトバージョンを 128 バイト以内にしてください。

指定したパスワードは長すぎます

エラーコード	-5012
エラー定数	MLREPLAY_PASSWORD_TO_LONG

考えられる原因

指定したパスワードは長すぎます。パスワードを 128 バイト以内にしてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01159

指定したユーザ名は長すぎます

エラーコード	-5010
エラー定数	MLREPLAY_USER_NAME_TO_LONG

考えられる原因

指定したユーザ名は長すぎます。ユーザ名を 128 バイト以内にしてください。

指定したリモート ID は長すぎます

エラーコード	-5011
エラー定数	MLREPLAY_REMOTE_ID_TO_LONG

考えられる原因

指定したリモート ID は長すぎます。リモート ID を 128 バイト以内にしてください。

シミュレートされた指定のクライアント情報ファイルのフォーマットが、予期していたフォーマットと異なります。フォーマットは、'[ユーザ名]、[パスワード]、[リモート ID]、[最終ダウンロード時刻]' の形式の行から構成されていなければなりません

エラーコード	-5019
エラー定数	MLREPLAY_WRONG_FORMAT_IN_SIMULATED_CLIENT_INFO_FILE

考えられる原因

シミュレートされた指定のクライアント情報ファイルのフォーマットが、予期していたフォーマットと異なります。フォーマットは、'[ユーザ名]、[パスワード]、[リモート ID]、[最終ダウンロード時刻]' の形式の行から構成されていなければなりません。

次のネットワークエラーが原因で、MLReplay は失敗しました : '%1'

エラーコード	-5065

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラー定数	MLREPLAY_STREAM_ERROR
パラメータ 1	ストリームからのエラーメッセージ。

考えられる原因

指定のネットワークエラーにより、MLReplay でエラーが発生しました。ネットワークを確認してください。

次の理由により、MLReplay は Mobile Link サーバに接続できませんでした : '%1'

エラーコード	-5003
エラー定数	MLREPLAY_REPLAY_NEW_CONN_FAILED
パラメータ 1	ストリームからのエラーメッセージ。

考えられる原因

MLReplay が Mobile Link サーバに接続できませんでした。

次の理由により、MLReplay は、正しく初期化できませんでした : '%1'

エラーコード	-5064
エラー定数	MLREPLAY_FAILED_INIT_REASON
パラメータ 1	ストリームからのエラーメッセージ。

考えられる原因

MLReplay は正しく初期化されませんでした。

テーブル '%2' のカラム '%1' は NULL にできません

エラーコード	-5054
エラー定数	MLREPLAY_NULL_VALUE
パラメータ 1	カラム名

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01161

パラメータ 2	テーブル名

考えられる原因

NULL 入力不可のカラムへの NULL 値の挿入はできません。

メモリの割り付けに失敗しました

エラーコード	-5009
エラー定数	MLREPLAY_OUT_OF_MEMORY

考えられる原因

使用しているシステムのメモリが不足しています。アプリケーションを閉じるか、システムにメモリを追加する必要があります。

リプレイ API ジェネレーターは、%1 を作成できませんでした

エラーコード	-5077
エラー定数	MLGENREPLAYAPI_MKDIR_ERROR
パラメータ 1	生成されたコードを格納するディレクトリ

考えられる原因

Replay API Generator が、生成されたコードを格納するためのディレクトリの作成に失敗しました。手動でディレクトリを作成してから、再試行してください。

リプレイ API ジェネレーターは、正常に初期化することができませんでした

エラーコード	-5029
エラー定数	MLGENREPLAYAPI_FAILED_INIT

考えられる原因

リプレイ API ジェネレータは、正常に初期化することができませんでした。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

リプレイに失敗しました

エラーコード	-5001
エラー定数	MLREPLAY_REPLAY_FAILED

考えられる原因

MLReplay は、記録されたプロトコルファイルを正常にリプレイすることができませんでした。

ログファイル %1 を開くことができません

エラーコード	-5016
エラー定数	MLREPLAY_OPEN_LOG_FAILED
パラメータ 1	ログファイル名。

考えられる原因

MLReplay または MLReplay API Generator はログファイルを開くことができませんでした。

ログを初期化できません

エラーコード	-5017
エラー定数	MLREPLAY_INIT_LOG_FAILED

考えられる原因

MLReplay または MLReplay API Generator はログファイルの初期化ができませんでした。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01163

Mobile Link Replay ユーティリティの警告メッセージ

メッセージは、Mobile Link Replay ユーティリティメッセージログに書き込まれます。

多くのメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメータに置き換えられてメッセージに表示されます。

各メッセージには、数値エラーコードがあります。

参照

- 「Mobile Link Replay ユーティリティのエラーメッセージ」1139 ページ

Mobile Link Replay ユーティリティの警告メッセージ (エラーコード順)

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
5001	1	「リプレイ中の記録されたプロトコルは、スキーマ情報をアップロードしています。そのため、この記録されたプロトコルは、Mobile Link サーバを再起動しないで再びリプレイすることはできません。」
5002	1	「MLReplay は ReportEndOfReplay コールバックをロードできませんでした」
5003	1	「MLReplay は GetUploadTransaction コールバックをロードできませんでした」
5004	1	「MLReplay は DelayCreationOfSimulatedClient コールバックをロードできませんでした」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01165

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
5005	1	「MLReplay は GetDownloadApplyTime コールバックをロードできませんでした」
5006	1	「MLReplay は GlobalInit コールバックをロードできませんでした」
5007	1	「MLReplay は GlobalFini コールバックをロードできませんでした」
5009	1	「リプレイ API の一部を生成するのに必要な記録されたプロトコルに、スキーマ情報がありませんでした。」
5010	1	「DelayCreationOfSimulatedClient が false を返したため、シミュレートされたクライアント '%1' が作成されませんでした。」
5011	1	「DelayStartOfReplay が false を返したため、記録されたプロトコルのリプレイの繰り返し %1 がスキップされています。」
5012	1	「MLReplay は DelayStartOfReplay コールバックをロードできませんでした」
5013	1	「MLReplay は DelayDestructionOfSimulatedClient コールバックをロードできませんでした」
5014	1	「ログファイルの名前は変更できませんでした。引き続き元のログファイルに追加しています。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
5015	1	「Replay API バージョン '%1' は、最新バージョンのリプレイ API ではありません。」
5016	1	「空間ライブラリ警告 : '%1'」
5017	1	「使用中のシミュレートされたクライアント情報ファイルの形式は、最新の形式と一致しません。」
5018	1	「ディレクトリ %1 が存在しません。Replay API Generator が作成しています。」

Mobile Link Replay ユーティリティの警告メッセージ (五十音順)

DelayCreationOfSimulatedClient が false を返したため、シミュレートされたクライアント '%1' が作成されませんでした。

エラーコード	5010
エラー定数	MLREPLAY_NOT_CREATING_SIMULATED_CLIENT
パラメータ 1	シミュレートされたクライアントの番号

考えられる原因

DelayCreationOfSimulatedClient が false を返したため、シミュレートされた指定のクライアントが作成されませんでした。

DelayStartOfReplay が false を返したため、記録されたプロトコルのリプレイの繰り返し %1 がスキップされています。

エラーコード	5011
エラー定数	MLREPLAY_SKIPPING_REPLAY
パラメータ 1	繰り返し番号

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01167

考えられる原因

DelayStartOfReplay が false を返したため、記録されたプロトコルのリプレイに対する指定の繰り返しがスキップされています。

MLReplay は DelayCreationOfSimulatedClient コールバックをロードできませんでした

エラーコード	5004
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_DELAY_CREATION_OF_SIMULATED_CLIENT_FAILED

考えられる原因

MLReplay は DelayCreationOfSimulatedClient コールバックをロードできませんでした。MLRepay で DelayCreationOfSimulatedClient コールバックを使用することを想定している場合、mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

MLReplay は DelayDestructionOfSimulatedClient コールバックをロードできませんでした

エラーコード	5013
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_DELAY_DESTRUCTION_OF_SIMULATED_CLIENT_FAILED

考えられる原因

MLReplay は DelayDestructionOfSimulatedClient コールバックをロードできませんでした。MLRepay で DelayDestructionOfSimulatedClient コールバックを使用することを想定している場合、mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

MLReplay は DelayStartOfReplay コールバックをロードできませんでした

エラーコード	5012
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_DELAY_START_OF_REPLAY_FAILED

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

MLReplay は DelayStartOfReplay コールバックをロードできませんでした。MLRepay で DelayStartOfReplay コールバックを使用することを想定している場合、mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

MLReplay は GetDownloadApplyTime コールバックをロードできませんでした

エラーコード	5005
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_GET_DOWNLOAD_APPLY_TIME_FAILED

考えられる原因

MLReplay は GetDownloadApplyTime コールバックをロードできませんでした。MLRepay で GetDownloadApplyTime コールバックを使用することを想定している場合、mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

MLReplay は GetUploadTransaction コールバックをロードできませんでした

エラーコード	5003
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_GET_UPLOAD_TRANS_FAILED

考えられる原因

MLReplay は GetUploadTransaction コールバックをロードできませんでした。

MLReplay は GlobalFini コールバックをロードできませんでした

エラーコード	5007
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_GLOBAL_FINI_FAILED

考えられる原因

MLReplay は GlobalFini コールバックをロードできませんでした。MLRepay で GlobalFini コールバックを使用することを想定している場合、mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01169

MLReplay は GlobalInit コールバックをロードできませんでした

エラーコード	5006
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_GLOBAL_INIT_FAILED

考えられる原因

MLReplay は GlobalInit コールバックをロードできませんでした。MLRepay で GlobalInit コールバックを使用することを想定している場合、mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

MLReplay は ReportEndOfReplay コールバックをロードできませんでした

エラーコード	5002
エラー定数	MLREPLAY_LOAD_REPORT_END_OF_REPLAY_FAILED

考えられる原因

MLReplay は ReportEndOfReplay コールバックをロードできませんでした。MLRepay で ReportEndOfReplay コールバックを使用することを想定している場合、mlreplaycallbacks.cpp 内で定義されていることを確認してください。

Replay API バージョン '%1' は、最新バージョンのリプレイ API ではありません。

エラーコード	5015
エラー定数	MLREPLAY_OLD_API_VERSION
パラメータ 1	API のバージョン

考えられる原因

使用しているリプレイ API が最新バージョンではありません。最新の mlgenreplayapi を使用してコードを再生成し、最新のリプライ API を取得してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

空間ライブラリ警告 : '%1'

エラーコード	5016
エラー定数	MLREPLAY_SPATIALLIB_WARNING
パラメータ 1	空間ライブラリによって生成される実際の警告コード。

考えられる原因

警告の原因を特定するには、空間ライブラリの実際の警告メッセージを確認してください。

使用中のシミュレートされたクライアント情報ファイルの形式は、最新の形式と一致しません。

エラーコード	5017
エラー定数	MLREPLAY_OLD_SCI_VERSION

考えられる原因

シミュレートされたクライアント情報ファイルのフォーマットが、最新のフォーマットと異なります。フォーマットは、<ユーザ名>,<パスワード>,<リモート ID>,<最終ダウンロード時刻>,<スクリプトのバージョン> の形式の行となります。

ディレクトリ %1 が存在しません。Replay API Generator が作成しています。

エラーコード	5018
エラー定数	MLGENREPLAYAPI_MKDIR_WARNING
パラメータ 1	生成されたコードが格納されるディレクトリ

考えられる原因

生成されたコードを格納するディレクトリが存在しないため、Replay API Generator によって作成されています。この警告が表示されないようにするには、手動でディレクトリを作成してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01171

リプレイ API の一部を生成するのに必要な記録されたプロトコルに、スキーマ情報がありませんでした。

エラーコード	5009
エラー定数	MLREPLAY_NO_SCHEMA

考えられる原因

記録されたプロトコルに、リプレイ API の一部を生成するのに必要なスキーマ情報が含まれていませんでした。スキーマ情報が不要なリプレイ API の部分は生成されます。

リプレイ中の記録されたプロトコルは、スキーマ情報をアップロードしています。そのため、この記録されたプロトコルは、Mobile Link サーバを再起動しないで再びリプレイすることはできません。

エラーコード	5001
エラー定数	MLREPLAY_SCHEMA_INFO_SENT

考えられる原因

リプレイ中の記録されたプロトコルは、スキーマ情報をアップロードしています。そのため、この記録されたプロトコルは、Mobile Link サーバを再起動しないで再びリプレイすることはできません。

ログファイルの名前は変更できませんでした。引き続き元のログファイルに追加しています。

エラーコード	5014
エラー定数	MLREPLAY_CANNOT_RENAME_LOG

考えられる原因

ログファイルを YYMMDDxx.rlg のようなファイル名に変更できませんでした。この日付に対して YYMMDDxx.rlg のすべてのファイル名の組み合わせがすでに使用されています。この問題が発生しないようにするには、-os オプションで指定する値を大きくしてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

Relay Server のエラーメッセージ

各エラーには、数値エラーコードがあります。各エラーメッセージのテキストには、エラーまたは警告の種類を説明するプレフィクスが付けられています。

- **RSE**　Relay Server のエラー。
- **RSF**　Relay Server の致命的なエラー。このメッセージにより、SQL Anywhere モニタ警告が発生します。
- **RSW**　Relay Server の警告。

多くのエラーメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメータに置き換えられてエラーメッセージに表示されます。

参照

- 「Relay Server の警告メッセージ」1235 ページ

Relay Server のエラーメッセージ (エラーコード順)

エラーコード	メッセージテキスト
0	「RSE0: エラーはありません」
1000	「RSE1000: クライアントはバックエンドファームが指定されていない URL を使用しました」
1001	「RSE1001: クライアントは URL で認識されないファーム名 '%1' を指定しました」
1002	「RSE1002: Outbound Enabler で認識されないファーム名 '%1' を指定しました」
1003	「RSE1003: クライアントからのデコードセッション ID '%1' は失敗しました」
1004	「RSE1004: Outbound Enabler が無効なファームインデックスで接続しようとしました : %1」
1005	「RSE1005 : Relay Server の設定要求はキャンセルされました」
1006	「RSE1006: SA モニタコマンドの待機中に SA がタイムアウトしました」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01173

エラーコード	メッセージテキスト
1007	「RSE1007: SA モニタは途中で切断されました」
1008	「RSE1008: SA モニタ要求を読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
1009	「RSE1009: SA モニタに応答を書き戻しているときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
1010	「RSE1010: 設定を同時に更新できません」
1011	「RSE1011: URL で無効または不正なセッションパラメータが発生しました : '%1'」
1012	「RSE1012: Outbound Enabler からの要求はチャンクしないでください」
1013	「RSE1013: Outbound Enabler からの要求は最小パケットサイズより小さくできません」
1014	「RSE1014: Outbound Enabler からの最初のパケットを待機しているときにタイムアウトしました」
1015	「RSE1015: Outbound Enabler から無効な最初の '%1' パケットです」
1016	「RSE1016: ファーム '%2' でサーバ '%1' の上りチャネルを切断しているときにタイムアウトしました」
1017	「RSE1017: ソフトシャットダウン中に下りチャネルおよびクライアントが共有メモリから切断するのを待機しているときに、タイムアウトしました」
2000	「RSE2000: バックエンドファーム '%1' は現在無効です」
2001	「RSE2001: ファーム '%1' でクライアントセキュリティ要件が満たされていません」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
2002	「RSE2002: アプリケーションタイムアウトの %2 秒以内にクライアント要求をファーム '%1' のバックエンドサーバに割り当てることができませんでした」
2003	「RSE2003: バックエンドサーバ '%1' がファーム '%2' で見つからなかったため、クライアントからのセッション ID を使用できませんでした」
2004	「RSE2004: バックエンドファーム '%1' でバックエンドセキュリティ要件が満たされていません」
2005	「RSE2005: バックエンドサーバ '%1' は、バックエンドファーム '%2' でメンバーとして認識されていません」
2006	「RSE2006: Outbound Enabler はファーム '%2' で無効なサーバインデックス %1 のチャネルに接続しています」
3000	「RSE3000: バックエンドファーム '%3' のバックエンドサーバ '%2' の MAC アドレス '%1' が不正です」
3001	「RSE3001: ファーム '%3' のバックエンドサーバ '%2' のトークン '%1' を取得しましたが、予期したのは '%4' でした」
3002	「RSE3002: バックエンドファーム '%1' のバックエンドサーバ '%2' は、サポートされていない Outbound Enabler を使用しています」
3003	「RSE3003: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' に対する冗長 Outbound Enabler 接続は無視されました」
3004	「RSE3004: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' の下りチャネルから読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
3005	「RSE3005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler インスタンスが一致しません」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01175

エラーコード	メッセージテキスト
3006	「バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Relay Server インスタンスが一致しません。」
3007	「RSE3007: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' で再接続された上りチャネルを使用しましたが、%3 秒後にタイムアウトしました」
3008	「RSE3008: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' が Relay Server 設定から削除されたか無効になったため、バックエンドサーバチャネルがアボートされました。」
3009	「RSE3009: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' の上りチャネルに書き込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
3010	「RSE3010: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler では -af スイッチが使用されていますが、このスイッチはサポートされなくなりました。Outbound Enabler をアップグレードしてください」
3011	「RSE3011: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' で、未知のイベントが発生しました」
3012	「RSE3012: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' からのパケットが不正です」
3013	「RSE3013: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler によるアクティビティを待機していましたが、%3 秒後にタイムアウトしました」
3014	「RSE3014: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler は、途中で切断されました」
3015	「RSE3015:急ぎのキューのロックに失敗しました。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
3016	「RSE3016:%1 の理由で、Outbound Enabler にフロー制御のために通知するのに失敗しました。」
4000	「RSE4000: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の上りチャネルを待機していましたが、%3 秒後にタイムアウトしました」
4001	「RSE4001: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントから読み込んでいましたが、%3 秒後にタイムアウトしました」
4002	「RSE4002: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' のクライアントから読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
4003	「RSE4003: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントはバックエンドサーバの応答を待機していましたが、%3 秒後にタイムアウトしました」
4004	「RSE4004:バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler は、パラメータ '%4'、'%5'、'%6' のセッションエラー %7%3 をレポートしました。」
4005	「RSE4005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアント要求は、バックエンドサーバが使用不可であるためアボートしています」
4006	「RSE4006: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアント要求は、Outbound Enabler がシャットダウンしているためアボートしています」
4007	「RSE4007:バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアント要求は、Outbound Enabler から予期しない下りチャネルパケット opcode %3 が返されたためアボートしています。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01177

エラーコード	メッセージテキスト
4008	「RSE4008: '%5' のときにバックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' のクライアントに応答を書き込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
4009	「RSE4009: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントから読み込んでいるときに、予期しない要求の終わりがありました」
4010	「RSE4010: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントが、誤ってルーティングされた要求インデックス %3 の OE_SERVER_RESPONSE パケットを無視しています」
4011	「RSE4011: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントが、誤ってルーティングされたセッション番号 %3 の OE_SERVER_RESPONSE パケットを無視しました」
4012	「RSE4012: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントが、誤ってルーティングされたセッションフィンガープリント %3 の OE_SERVER_RESPONSE パケットを無視しました。予期されたセッションフィンガープリントは %4 です。」
4013	「RSE4013:フォワーダ証明書の件名 '%1' がパターン '%2' と一致しません。」
4014	「RSE4014:フォワーダ証明書の発行者 '%1' がパターン '%2' と一致しません。」
4015	「RSE4015:バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler は、パラメータ '%4'、'%5'、'%6' のセッションエラー %3 をレポートしました。」
11000	「RSF11000：Relay Server のリストが長すぎます。Outbound Enabler 接続はアボートされました」
11001	「RSF11001: '%1' のときに共有メモリが足りなくなりました」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
11002	「RSF11002: リモート管理のリソースを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11003	「RSF11003: 設定全体をファイル '%3' に書き込んでいるときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11004	「RSF11004: 新しい設定を読み込んでいるときに、メモリ不足が発生しました」
11005	「RSF11005: '%1' のときに、プロトコルエラーが発生しました」
11006	「RSF11006: '%1' を開いて設定の更新を適用できませんでした」
11007	「RSF11007: 設定を更新しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11008	「RSF11008: 管理コマンドを待機していましたが、%1 秒後にタイムアウトしました」
11009	「RSF11009: リモート管理ツールは途中で切断されました」
11010	「RSF11010: リモート管理ツールから読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11011	「RSF11011: 先のエラーが原因で、ADMIN_CMD_CONFIG_CONTINUE パケットの処理を続行できません」
11012	「RSF11012: 設定ファイル '%2' の行 %1 でセクションヘッダを予期しています」
11013	「RSF11013: ログファイル '%3' を '%4' にアーカイブしているときに、システムエラー [SYS %1: %2] が発生しました」
11014	「RSF11014: リモート管理ツールに応答を書き戻しているときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01179

エラーコード	メッセージテキスト
11015	「RSF11015: モニタコマンドパケットの opcode が不正です」
11016	「RSF11016: 共有メモリですでに解放されたメモリブロックを解放しています」
11017	「RSE11017: バックエンドサーバ '%2' を追加しているときに、バックエンドファーム名 '%1' が見つかりませんでした」
11018	「RSF11018: バックエンドサーバ '%1' は、バックエンドファーム '%2' ですでに定義されているため追加できません」
11019	「RSF11019: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' へのアクセスに使用するリソースを初期化できませんでした」
11020	「RSF11020: 設定ファイル '%2' で必須のセクション '%1' が見つかりません」
11021	「RSF11021: 共有ログの準備に失敗しました」
11022	「RSF11022 : 設定内のすべての Relay Server でデータ構造体を設定できませんでした」
11023	「RSF11023: Relay Server '%1' は、すでに設定で定義されています。」
11024	「RSF11024: バックエンドファーム情報の準備に失敗しました」
11025	「RSF11025: ヒープメモリが不足しています」
11026	「RSF11026: 起動時に内部データ構造体を作成しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11027	「RSF11027: 内部データ構造体を初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
11028	「RSF11028: システムエラー [SYS%1:%2] が共有メモリの作成中に発生しました。実行中の rshost プロセスをすべてシャットダウンし、Web サーバを再起動してから、やり直してください。」
11029	「RSF11029: セマフォマネージャの作成に失敗しました」
11030	「RSF11030: 共有データ構造体を初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11031	「RSF11031: Relay Server '%1' の共有メモリに付加できませんでした」
11032	「RSF11032: 共有ログ '%3' に付加しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11033	「RSF11033 : 設定内の Relay Server のリストのデータ構造体を更新できませんでした」
11034	「RSF11034: バックエンドファームの変更を適用できませんでした」
11035	「RSF11035: バックエンドサーバの変更を適用できませんでした」
11036	「RSF11036: 上りチャネルがビジー状態であるため、バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' へブロードキャストできませんでした」
11037	「RSF11037: ファーム '%1' は、すでに定義されています」
11038	「RSF11038: ログファイル '%3' の名前を変更しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11039	「RSF11039: 共有メモリでメモリブロックがリークしました」
11040	「RSF11040 : Relay Server 設定ファイル '%1' を開けません」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01181

エラーコード	メッセージテキスト
11041	「RSF11041: Relay Server 設定ファイル '%1' の非表示は解除できません」
11042	「RSF11042: 設定ファイル '%2' の行 %1 の構文が正しくありません」
11043	「RSF11043: 設定ファイル '%2' の行 %1 のセクション名が不正です」
11044	「RSF11044: 設定ファイル '%2' の行 %1 のプロパティ名が不正です」
11045	「RSF11045: 設定ファイル '%2' の行 %1 のプロパティ値が不正です」
11046	「RSF11046: 設定ファイル '%3' の行 %2 の '%1' セクションが重複しています」
11047	「RSF11047: 設定ファイル '%3' の行 %2 の必須のプロパティ '%1' が見つかりません」
12000	「RSF12000: バックエンドファーム '%3' へのアクセスに使用するリソースを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
13000	「RSF13000: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' に使用するアクセプター UUID を生成しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
13001	「RSF13001: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' へのアクセスに使用するリソースを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
13002	「RSF13002: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の要求リストを書き込むためにロックしようとして失敗しました」
13003	「RSF13003: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' の要求リストを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
13004	「RSF13004: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' の上りチャネルのアイドルセマフォを解放しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
13005	「RSF13005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler がチャネル制限を %3 バイト超えて送信しています」
13006	「RSF13006: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の要求リストを読み込むためにロックしようとして失敗しました」
13007	「RSF13007: %3 パケットをプッシュするためにバックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントのダウンロードパケットキューをロックしようとして失敗しました」
13008	「RSF13008: %5 パケットのプッシュ中、バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' のダウンロードパケットキューに使用するセマフォを初期化するときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
13009	「RSF13009: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の要求リストが見つかりません」
13010	「RSF13010: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' で不正な要求インデックスのリサイクルが検出されました」
13011	「RSF13011: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントトラフィック統計情報コレクターに使用する共有メモリブロックを割り当てることができませんでした」
14000	「RSF14000: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' へのアクセスを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01183

エラーコード	メッセージテキスト
14001	「RSF14001: '%3' のときにバックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の要求リストを書き込むためにロックしようとして失敗しました」
14002	「RSF14002: '%3' のときにバックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントに使用する共有メモリブロックを割り当てることができませんでした」
14003	「RSF14003: バックエンドファーム '%4' の要求対象バックエンドサーバ '%3' を初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
14004	「RSF14004: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントが '%3' のときに、ヒープメモリが足りなくなりました」
14005	「RSF14005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の要求リストから予期しない要求を削除しました」

Relay Server のエラーメッセージ (五十音順)

RSE0: エラーはありません

エラーコード	0
エラー定数	RSE_NO_ERROR

考えられる原因

このコードはエラーがなかったことを示しています。

RSE1000: クライアントはバックエンドファームが指定されていない URL を使用しました

エラーコード	1000
エラー定数	RSE_ROOT_NO_FARM_IN_URL

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

クライアントによって、URL にバックエンドファームが指定されませんでした。要求がアボートされました。

RSE1001: クライアントは URL で認識されないファーム名 '%1' を指定しました

エラーコード	1001
エラー定数	RSE_ROOT_FARM_NOT_FOUND_BY_CLIENT
パラメータ 1	バックエンドファーム名

考えられる原因

指定されたバックエンドファームが、Relay Server に設定されていません。要求がアボートされました。クライアントから送信されたバックエンドファーム名が、設定されているバックエンドファーム名と一致することを確認してください。ファーム名の比較では、大文字と小文字が区別されます。

RSE1002: Outbound Enabler で認識されないファーム名 '%1' を指定しました

エラーコード	1002
エラー定数	RSE_ROOT_FARM_NOT_FOUND_BY_SERVER
パラメータ 1	バックエンドファーム名

考えられる原因

指定されたバックエンドファームが Relay Server に設定されていないため、接続が拒否されました。Outbound Enabler で指定されているバックエンドファーム名が、設定されているバックエンドファーム名と一致することを確認してください。ファーム名の比較では、大文字と小文字が区別されます。

RSE1003: クライアントからのデコードセッション ID '%1' は失敗しました

エラーコード	1003
エラー定数	RSE_ROOT_BAD_SESSION_ID

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01185

パラメータ 1	Relay Server のセッション ID

考えられる原因

クライアントによって、無効なセッション ID が送信されました。要求がアボートされました。クライアントでセッションを再開すると、このエラーは解決されます。

RSE1004: Outbound Enabler が無効なファームインデックスで接続しようとしました : %1

エラーコード	1004
エラー定数	RSE_ROOT_CHANNEL_CONNECT_WITH_INVALID_FARM_ID X
パラメータ 1	バックエンドファームインデックス

考えられる原因

このバックエンドファームは前に Relay Server 設定から削除されました。接続が拒否されました。設定済みのバックエンドファーム名が Outbound Enabler で使用されていることを確認してから、Outbound Enabler を再起動してください。

RSE1005 : Relay Server の設定要求はキャンセルされました

エラーコード	1005
エラー定数	RSE_ROOT_ADMIN_CANCEL

考えられる原因

設定の要求がキャンセルされました。以前の設定が引き続き有効となります。新しい Relay Server 設定を使用する場合は、再適用してください。

RSE1006: SA モニタコマンドの待機中に SA がタイムアウトしました

エラーコード	1006
エラー定数	RSE_ROOT_MON_READ_TIMEOUT

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

SA モニタは、指定時間内に応答しなかったため、切断されました。このエラーが発生した後、SA モニタは自動的に再接続されます。このエラーが解決されない場合は、SA モニタを実行しているマシンに十分なリソースがあることを確認してください。

RSE1007: SA モニタは途中で切断されました

エラーコード	1007
エラー定数	RSE_ROOT_MON_DISCONNECT_EARLY

考えられる原因

SA モニタが不完全なまま切断されました。このエラーが発生した後、SA モニタは自動的に再接続されます。

RSE1008: SA モニタ要求を読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	1008
エラー定数	RSE_ROOT_MON_READ_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

SA モニタからの読み込みで通信エラーが発生し、SA モニタの接続が切断されました。SA モニタが引き続き正常に実行されている場合は、このエラーが発生した後、SA モニタが自動的に再接続されています。

RSE1009: SA モニタに応答を書き戻しているときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	1009
エラー定数	RSE_ROOT_MON_WRITE_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01187

考えられる原因

SA モニタへの書き込みで通信エラーが発生し、SA モニタの接続が切断されました。SA モニタが引き続き正常に実行されている場合は、このエラーが発生した後、SA モニタが自動的に再接続されています。

RSE1010: 設定を同時に更新できません

エラーコード	1010
エラー定数	RSE_ROOT_NO_CONCUR_CONFIG_UPDATE

考えられる原因

別の設定要求の進行中に、2 番目の設定要求が試行されました。2 番目の設定要求がアボートされました。現在の設定更新が完了するまで待機してから、別の設定更新を試行してください。

RSE1011: URL で無効または不正なセッションパラメータが発生しました : '%1'

エラーコード	1011
エラー定数	RSE_ROOT_BAD_AFQ
パラメータ 1	IAS-RS-AFQ セッションパラメータの値

考えられる原因

Relay Server が、クライアントから送信された URL 内のセッションパラメータを解釈できませんでした。要求がアボートされました。Relay Server とクライアントソフトウェアまたはバックエンドサーバとの間に、互換性の問題が存在する可能性があります。ご使用のクライアントかバックエンドサーバまたはその両方に関して、マニュアルを参照するか、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSE1012: Outbound Enabler からの要求はチャンクしないでください

エラーコード	1012
エラー定数	RSE_ROOT_INVALID_CHUNKED_OE_REQUEST

考えられる原因

おそらく Outbound Enabler からではない、不正な要求が発行されました。要求が無視されました。Outbound Enabler だけがサーバの拡張機能にアクセスしていることを確認してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

このエラーが解決されず、Relay Server がバックエンドファームにアクセスできない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSE1013: Outbound Enabler からの要求は最小パケットサイズより小さくできません

エラーコード	1013
エラー定数	RSE_ROOT_OE_REQUEST_TOO_SMALL

考えられる原因

おそらく Outbound Enabler からではない、不正な要求が発行されました。要求が無視されました。Outbound Enabler だけがサーバの拡張機能にアクセスしていることを確認してください。このエラーが解決されず、Relay Server がバックエンドファームにアクセスできない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSE1014: Outbound Enabler からの最初のパケットを待機しているときにタイムアウトしました

エラーコード	1014
エラー定数	RSE_ROOT_OE_FIRST_READ_TIMEOUT

考えられる原因

Outbound Enabler が指定時間内に応答しなかったため、接続が切断されました。チャネルが確立されるまでの最初の読み込みタイムアウトは 60 秒です。

RSE1015: Outbound Enabler から無効な最初の '%1' パケットです

エラーコード	1015
エラー定数	RSE_ROOT_INVALID_FIRST_OE_PACKET
パラメータ 1	Outbound Enabler のパケットタイプ

考えられる原因

おそらく Outbound Enabler からではない、不正な要求が発行されました。Outbound Enabler だけがサーバの拡張機能にアクセスしていることを確認してください。このエラーが解決されず、

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01189

Relay Server がバックエンドファームにアクセスできない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSE1016: ファーム '%2' でサーバ '%1' の上りチャネルを切断しているときにタイムアウトしました

エラーコード	1016
エラー定数	RSE_ROOT_TIMEOUT_DISCONNECT_CHANNEL

考えられる原因

Outbound Enabler が、指定時間内に Relay Server のシャットダウンに応答しませんでした。ハードシャットダウンが開始され、未処理のチャネルとクライアント接続がすべて突然アボートされました。

RSE1017: ソフトシャットダウン中に下りチャネルおよびクライアントが共有メモリから切断するのを待機しているときに、タイムアウトしました

エラーコード	1017
エラー定数	RSE_ROOT_DETACH_TOO_LONG

考えられる原因

すべての上りチャネルが停止されましたが、一部のクライアント接続または下りチャネルが、指定時間内に Relay Server のシャットダウンに応答しませんでした。ハードシャットダウンが開始され、未処理のチャネルとクライアント接続がすべて突然アボートされました。

RSE11017: バックエンドサーバ '%2' を追加しているときに、バックエンドファーム名 '%1' が見つかりませんでした

エラーコード	11017
エラー定数	RSF_ROOT_FARM_NOT_FOUND_ADDING_SERVER
パラメータ 1	バックエンドファーム名
パラメータ 2	バックエンドサーバ名

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

各バックエンドファームを設定に追加してから、バックエンドサーバをバックエンドファームに追加する必要があります。Outbound Enabler に正しいバックエンドファーム名が設定されていることを確認してください。

RSE2000: バックエンドファーム '%1' は現在無効です

エラーコード	2000
エラー定数	RSE_FARM_DISABLED
パラメータ 1	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドファームが Relay Server 設定で見つかりましたが、無効になっていました。クライアントまたは Outbound Enabler から送信されるバックエンドファーム名を有効な名前に変更するか、指定されたバックエンドファームを有効にしてください。

RSE2001: ファーム '%1' でクライアントセキュリティ要件が満たされていません

エラーコード	2001
エラー定数	RSE_FARM_CLIENT_SECURITY_DISALLOWED
パラメータ 1	バックエンドファーム名

考えられる原因

client_security プロパティを使用して特定のクライアントセキュリティを要求するようにバックエンドファームが設定されましたが、ファームにアクセスするクライアントがこの要件を満たしていません。要求がアボートされました。

RSE2002: アプリケーションタイムアウトの %2 秒以内にクライアント要求をファーム '%1' のバックエンドサーバに割り当てることができませんでした

エラーコード	2002
エラー定数	RSE_FARM_SERVER_NOT_AVAILABLE

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01191

パラメータ 1	バックエンドファーム名
パラメータ 2	アプリケーションのタイムアウト制限値 (秒)

考えられる原因

利用可能なバックエンドサーバがその時点で存在しなかったか、サーバが非常にビジーでした。要求がアボートされました。要求を後でリトライしてください。

RSE2003: バックエンドサーバ '%1' がファーム '%2' で見つからなかったため、クライアントからのセッション ID を使用できませんでした

エラーコード	2003
エラー定数	RSE_FARM_BAD_SERVER_NAME_IN_SESSION_ID
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

クライアント要求のセッション ID に不正なバックエンドサーバ名が含まれていました。要求がアボートされました。Relay Server 設定で、このバックエンドサーバが削除されたか、無効になった可能性があります。通常、このエラーは設定の変更によって一時的に発生します。ファーム内に少なくとも 1 つのアクティブなバックエンドサーバが存在する場合、新しいクライアントセッションを開始すると、そのセッションは成功します。

RSE2004: バックエンドファーム '%1' でバックエンドセキュリティ要件が満たされていません

エラーコード	2004
エラー定数	RSE_FARM_SERVER_SECURITY_DISALLOWED
パラメータ 1	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドファームは、backend_security プロパティを使用して特定のバックエンドセキュリティを要求するように設定されましたが、ファームにアクセスする Outbound Enabler で要件が満たされていません。接続がアボートされました。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

RSE2005: バックエンドサーバ '%1' は、バックエンドファーム '%2' でメンバーとして認識されていません

エラーコード	2005
エラー定数	RSE_FARM_SERVER_NOT_CONFIGURED
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

指定されたバックエンドサーバ名は、指定されたバックエンドファームの既知のメンバーではありません。Outbound Enabler に指定されたバックエンドサーバ名とバックエンドファーム名が、Relay Server 設定での対応する名前と一致することを確認してください。ファーム名とサーバ名の比較では、大文字と小文字が区別されます。

RSE2006: Outbound Enabler はファーム '%2' で無効なサーバインデックス %1 のチャネルに接続しています

エラーコード	2006
エラー定数	RSE_FARM_CHANNEL_CONNECT_WITH_INVALID_SERVER_IDX
パラメータ 1	バックエンドサーバインデックス
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

通常、マルチ要求セッションがアクティブなときに、Relay Server 設定でバックエンドサーバが削除されるか、または無効になると、無効なサーバインデックスが発生します。接続が拒否されました。通常、このエラーは設定の変更によって一時的に発生します。ファーム内に少なくとも 1 つのアクティブなバックエンドサーバが存在する場合、新しいクライアントセッションを開始すると、そのセッションは成功します。

RSE3000: バックエンドファーム '%3' のバックエンドサーバ '%2' の MAC アドレス '%1' が不正です

エラーコード	3000
エラー定数	RSE_SERVER_UNAUTHORIZED_MAC

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01193

パラメータ 1	Outbound Enabler の MAC アドレス
パラメータ 2	バックエンドサーバ名
パラメータ 3	バックエンドファーム名

考えられる原因

Relay Server は、指定されたバックエンドサーバに Outbound Enabler が接続する場合に MAC アドレス検証を要求するように設定されましたが、接続する Outbound Enabler が必須 MAC アドレスに一致しませんでした。接続が拒否されました。設定された MAC アドレスが正しいことを確認してください。

RSE3001: ファーム '%3' のバックエンドサーバ '%2' のトークン '%1' を取得しましたが、予期したのは '%4' でした

エラーコード	3001
エラー定数	RSE_SERVER_UNAUTHORIZED_TOKEN
パラメータ 1	受信されたトークン
パラメータ 2	バックエンドサーバ名
パラメータ 3	バックエンドファーム名
パラメータ 4	予期されたトークン

考えられる原因

バックエンドサーバは、指定されたバックエンドサーバに Outbound Enabler が接続する場合にトークン検証を要求するように設定されましたが、接続する Outbound Enabler が必須トークンに一致しませんでした。接続が拒否されました。設定されたトークンが正しいことを確認してください。

RSE3002: バックエンドファーム '%1' のバックエンドサーバ '%2' は、サポートされていない Outbound Enabler を使用しています

エラーコード	3002
エラー定数	RSE_SERVER_BETA_OE_NOT_SUPPORTED
パラメータ 1	バックエンドサーバ名

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

Outbound Enabler をサポートされている新しいバージョンにアップグレードする必要があります。

RSE3003: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' に対する冗長 Outbound Enabler 接続は無視されました

エラーコード	3003
エラー定数	RSE_SERVER_REDUNDANT_OE
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

2 番目の Outbound Enabler が、接続済みの既存の Outbound Enabler と同じサーバ ID を使用して接続しました。新しいインスタンスは拒否されました。すべての Outbound Enabler が、ユニークなサーバ ID を使用して適切に設定されていることを確認してください。

RSE3004: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' の下りチャネルから読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	3004
エラー定数	RSE_SERVER_READ_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	バックエンドサーバ名
パラメータ 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

このエラーは、Relay Server と Outbound Enabler 間のネットワークの問題によって発生している可能性があります。通常、このエラーが発生した後、Outbound Enabler では再接続を試みます。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01195

RSE3005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler インスタンスが一致しません

エラーコード	3005
エラー定数	RSE_SERVER_CONNECT_WITH_MISMATCH_OE_UUID
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

このエラーは、同じサーバ ID を使用しているために競合している Outbound Enabler が存在する場合に発生する可能性があります。各 Outbound Enabler にユニークなサーバ ID を設定する必要があります。バックエンドサーバトークンの機密性が保持されるようにしてください。トークンが危険にさらされている恐れがある場合は、Relay Server の管理者に依頼して、バックエンドサーバトークンを更新してください。

RSE3007: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' で再接続された上りチャネルを使用しましたが、%3 秒後にタイムアウトしました

エラーコード	3007
エラー定数	RSE_SERVER_FAIL_ENGAGE_UPCHANNEL
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	Outbound Enabler のタイムアウト制限値

考えられる原因

このエラーが繰り返し発生する場合は、Relay Server を再起動する必要がある場合があります。

RSE3008: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' が Relay Server 設定から削除されたか無効になったため、バックエンドサーバチャネルがアボートされました。

エラーコード	3008

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラー定数	RSE_SERVER_DISABLED
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバへの既存の要求が中断されます。通常、このエラーは一時的に発生します。既存の要求が一度アボートされると、Relay Server は指定されたバックエンドサーバにトラフィックをリダイレクトしなくなります。

RSE3009: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' の上りチャネルに書き込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	3009
エラー定数	RSE_SERVER_WRITE_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	バックエンドサーバ名
パラメータ 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバへの書き込み時に、ネットワーク通信エラーが発生しました。通常、このエラーが発生した後、Outbound Enabler では再接続を試みます。

RSE3010: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler では -af スイッチが使用されていますが、このスイッチはサポートされなくなりました。Outbound Enabler をアップグレードしてください

エラーコード	3010
エラー定数	RSE_SERVER_OLD_OE_WITH_DASH_AF
パラメータ 1	バックエンドサーバ名

パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

Afaria サーバ用の -af スイッチが Outbound Enabler に導入されましたが、このスイッチの使用は現在の Relay Server ではサポートされなくなりました。現在の Relay Server では、Outbound Enabler で -af スイッチを使用する必要がなくなりました。Outbound Enabler をアップグレードしてください。

RSE3011: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' で、未知のイベントが発生しました

エラーコード	3011
エラー定数	RSE_SERVER_UNKNOWN_OE_EVENT
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

Outbound Enabler だけがサーバの拡張機能にアクセスしていることを確認してください。この問題が解決しない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSE3012: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' からのパケットが不正です

エラーコード	3012
エラー定数	RSE_SERVER_PROTOCOL_ERROR
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

Outbound Enabler だけがサーバの拡張機能にアクセスしていることを確認してください。この問題が解決しない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

RSE3013: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler によるアクティビティを待機していましたが、%3 秒後にタイムアウトしました

エラーコード	3013
エラー定数	RSE_SERVER_LIVENESS_TIMEOUT
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	Outbound Enabler のタイムアウト制限値

考えられる原因

Outbound Enabler が応答せず、関連付けられているチャネルがアボートされました。指定されたバックエンドサーバを対象とする、現在のマルチ要求セッションも失敗した可能性があります。Outbound Enabler が自動的に再接続されない場合は、Outbound Enabler が適切に機能していることを確認します。

RSE3014: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler は、途中で切断されました

エラーコード	3014
エラー定数	RSE_SERVER_DISCONNECT_EARLY
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

このことは、ネットワークの問題、または Outbound Enabler プロセスが突然終了したことによって発生している可能性があります。指定されたバックエンドサーバを対象とする、現在のマルチ要求セッションが失敗した可能性があります。Outbound Enabler が自動的に再接続されない場合は、Outbound Enabler が適切に機能していることを確認します。

RSE3015:急ぎのキューのロックに失敗しました。

エラーコード	3015
エラー定数	RSE_SERVER_LOCK_URGENT_QUEUE_FAIL

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01199

考えられる原因

Relay Server でフロー制御のために急ぎのキューのロッキングがタイムアウトしました。このエラーは高負荷の状況で発生する可能性があります。このエラーが頻繁に発生する場合は、より多くの Relay Server をファームに追加してみてください。

RSE3016:%1 の理由で、Outbound Enabler にフロー制御のために通知するのに失敗しました。

エラーコード	3016
エラー定数	RSE_SERVER_URGENT_SIGNAL_FAIL
パラメータ 1	エラーの理由 (テクニカルサポート用)

考えられる原因

このエラーは非常に負荷が高い状況で発生する可能性があり、Relay Server で共有メモリが不足している可能性があります。このエラーが頻繁に発生する場合は、より多くの Relay Server をファームに追加してみてください。

RSE4000: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の上りチャネルを待機していましたが、%3 秒後にタイムアウトしました

エラーコード	4000
エラー定数	RSE_CLIENT_TIMEOUT_WAITING_FOR_UP_CHANNEL
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	アプリケーションのタイムアウト制限値

考えられる原因

タイムアウトになったため、バックエンドサーバを利用できなくなりました。要求がアボートされました。Outbound Enabler が自動的に再接続されない場合は、Outbound Enabler が適切に機能していることを確認します。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

RSE4001: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントから読み込んでいましたが、%3 秒後にタイムアウトしました

エラーコード	4001
エラー定数	RSE_CLIENT_READ_TIMEOUT
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	アプリケーションのタイムアウト制限値

考えられる原因

Relay Server では、要求内により多くのバイトが含まれていることを予期していましたが、クライアントから送信されませんでした。要求がアボートされました。クライアントでは、エラーが表示される場合があり、要求がリトライされます。

RSE4002: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' のクライアントから読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	4002
エラー定数	RSE_CLIENT_READ_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	バックエンドサーバ名
パラメータ 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

このことは、Relay Server とクライアントの間のネットワーク通信の問題によって発生している可能性があります。要求がアボートされました。クライアントでは、エラーが表示される場合があり、要求がリトライされます。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01201

RSE4003: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントはバックエンドサーバの応答を待機していましたが、%3 秒後にタイムアウトしました

エラーコード	4003
エラー定数	RSE_CLIENT_TIMEOUT_WAITING_FOR_RESPONSE
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	アプリケーションのタイムアウト制限値

考えられる原因

クライアントはバックエンドサーバからの応答を予期していましたが、バックエンドサーバから時間内に送信されませんでした。要求がアボートされました。クライアントでは、エラーが表示される場合があり、要求がリトライされます。

RSE4004:バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler は、パラメータ '%4'、'%5'、'%6' のセッションエラー %7%3 をレポートしました。

エラーコード	4004
エラー定数	RSE_CLIENT_RSOE_REPORT_SESSION_ERROR
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	Outbound Enabler のエラーコード
パラメータ 4	Outbound Enabler のエラーパラメータ番号 1
パラメータ 5	Outbound Enabler のエラーパラメータ番号 2
パラメータ 6	Outbound Enabler のエラーパラメータ番号 3
パラメータ 7	エラーのクラスの修飾子。致命的なエラーの場合は OEF、致命的でないエラーの場合は OEE。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

Outbound Enabler によって、クライアントセッションのトラフィック処理のエラーが報告されました。セッションがアボートされました。クライアントでは、エラーが表示される場合があり、要求がリトライされます。

RSE4005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアント要求は、バックエンドサーバが使用不可であるためアボートしています

エラーコード	4005
エラー定数	RSE_CLIENT_ABORT_BY_BACKEND_DOWN
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

Outbound Enabler は、引き続きバックエンドサーバをモニタリングし、バックエンドサーバがリストアされると、サービスを自動的にリカバリしようとします。

RSE4006: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアント要求は、Outbound Enabler がシャットダウンしているためアボートしています

エラーコード	4006
エラー定数	RSE_CLIENT_ABORT_BY_OE_SHUTDOWN
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバのサービスは、バックエンドサーバの Outbound Enabler が再起動しないと使用できません。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01203

RSE4007:バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアント要求は、Outbound Enabler から予期しない下りチャネルパケット opcode %3 が返されたためアボートしています。

エラーコード	4007
エラー定数	RSE_CLIENT_ABORT_BY_RSOE_PROTOCOL_ERROR
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	下りチャネルパケット opcode

考えられる原因

Outbound Enabler だけがサーバの拡張機能にアクセスしていることを確認してください。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSE4008: '%5' のときにバックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' のクライアントに応答を書き込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	4008
エラー定数	RSE_CLIENT_WRITE_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード (存在する場合)。それ以外の場合は 0
パラメータ 2	システムエラーメッセージ (存在する場合)。それ以外の場合は NULL
パラメータ 3	バックエンドサーバ名
パラメータ 4	バックエンドファーム名
パラメータ 5	内部コンテキスト

考えられる原因

クライアント要求がアボートされましたが、他のクライアントはバックエンドサーバを引き続き使用できます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

RSE4009: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントから読み込んでいるときに、予期しない要求の終わりがありました

エラーコード	4009
エラー定数	RSE_CLIENT_READ_NOT_ENOUGH_CONTENT
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

クライアントまたは仲介者でエラーが発生したため、要求が不完全なまま終了しました。クライアントによって要求がリトライされます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSE4010: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントが、誤ってルーティングされた要求インデックス %3 の OE_SERVER_RESPONSE パケットを無視しています

エラーコード	4010
エラー定数	RSE_CLIENT_UNEXPECTED_REQUEST_INDEX
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	内部要求インデックス

考えられる原因

誤ってルーティングされたパケットが無視され、クライアントに配信されませんでした。誤ってルーティングされたパケットの本来の配信先であるクライアントからの要求は、アボートされます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01205

RSE4011: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントが、誤ってルーティングされたセッション番号 %3 の OE_SERVER_RESPONSE パケットを無視しました

エラーコード	4011
エラー定数	RSE_CLIENT_UNEXPECTED_SESSION_NUMBER
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	内部セッション番号

考えられる原因

誤ってルーティングされたパケットが無視され、クライアントに配信されませんでした。誤ってルーティングされたパケットの本来の配信先であるクライアントからのセッションは、アボートされます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSE4012: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントが、誤ってルーティングされたセッションフィンガープリント %3 の OE_SERVER_RESPONSE パケットを無視しました。予期されたセッションフィンガープリントは %4 です。

エラーコード	4012
エラー定数	RSE_CLIENT_UNEXPECTED_SESSION_FINGER_PRINT
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	受信されたパケットの内部セッションフィンガープリント
パラメータ 4	パケットを受信した要求の内部セッションフィンガープリント

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

誤ってルーティングされたパケットが無視され、クライアントに配信されませんでした。誤ってルーティングされたパケットの本来の配信先であるクライアントからのセッションは、アボートされます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSE4013:フォワーダ証明書の件名 '%1' がパターン '%2' と一致しません。

エラーコード	4013
エラー定数	RSE_CLIENT_MISMATCH_FORWARDER_SUBJECT
パラメータ 1	フォワーダ証明書の件名
パラメータ 2	必要なパターン

考えられる原因

フォワーダ証明書が、Relay Server 設定のバックエンドファームの forwarder_certificate_subject プロパティで指定された必要なパターンに一致しない件名で発行されました。フォワーダに有効な証明書があることと、パターンが正しく指定されていることを確かめてください。

RSE4014:フォワーダ証明書の発行者 '%1' がパターン '%2' と一致しません。

エラーコード	4014
エラー定数	RSE_CLIENT_MISMATCH_FORWARDER_ISSUER
パラメータ 1	フォワーダ証明書の発行元
パラメータ 2	必要なパターン

考えられる原因

フォワーダ証明書の発行元が、Relay Server 設定のバックエンドファームの forwarder_certificate_issuer プロパティで指定された必要なパターンに一致していません。フォワーダに有効な証明書があることと、パターンが正しく指定されていることを確かめてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01207

RSE4015:バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler は、パラメータ '%4'、'%5'、'%6' のセッションエラー %3 をレポートしました。

エラーコード	4015
エラー定数	RSE_CLIENT_RSOE_REPORT_SESSION_ERR
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	Outbound Enabler のエラー名と ID
パラメータ 4	Outbound Enabler のエラーパラメータ番号 1
パラメータ 5	Outbound Enabler のエラーパラメータ番号 2
パラメータ 6	Outbound Enabler のエラーパラメータ番号 3

考えられる原因

Outbound Enabler によって、クライアントセッションのトラフィック処理のエラーが報告されました。セッションがアボートされました。クライアントでは、エラーが表示される場合があり、要求がリトライされます。

RSF11000：Relay Server のリストが長すぎます。Outbound Enabler 接続はアボートされました

エラーコード	11000
エラー定数	RSF_ROOT_RS_LIST_TOO_LONG

考えられる原因

このエラーが発生することはまれです。Relay Server では、設定の合計サイズに制限があります。ファーム内の Relay Server の数とホスト名のサイズが、合計リストサイズに影響を及ぼします。ドット文字を使用した IP アドレスにホスト名を置き換えるか、設定エントリからドメイン名を削除するか、または Relay Server の数を減らすことによって、この問題を解決できます。これらの変更は、Relay Server の設定を更新することによって実行できます。

RSF11001: '%1' のときに共有メモリが足りなくなりました

エラーコード	11001

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラー定数	RSF_ROOT_OUT_OF_SHM
パラメータ 1	内部コンテキスト

考えられる原因

Relay Server では、起動時に決定される固定サイズを持つ、事前に割り付けられた共有メモリから、メモリブロックを割り付けできませんでした。このサイズは、Relay Server 設定ファイルのオプションセクションで、shared_mem プロパティを使用して任意で指定できます。デフォルト値は 10 M です。この値を変更する場合は、Relay Server を再起動する必要があります。

RSF11002: リモート管理のリソースを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11002
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_USE_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

リモート管理を妨げるリソース問題があります。システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11003: 設定全体をファイル '%3' に書き込んでいるときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11003
エラー定数	RSF_ROOT_WRITE_CONFIG_FILE_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

設定が Relay Server に適用され、有効になっていますが、設定ファイルの更新は失敗しました。Relay Server を再起動すると、最後に保存された設定に戻ります。システムエラーに応じて、問題を修正してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01209

RSF11004: 新しい設定を読み込んでいるときに、メモリ不足が発生しました

エラーコード	11004
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_OUT_OF_MEM

考えられる原因

メモリ不足のため、設定の更新がアボートされました。IIS ベースの Relay Server の場合は、Relay Server の Web サーバ拡張機能のメモリ使用量がアプリケーションプール設定によって制限されているかどうかを確認してください。32 ビット IIS でアプリケーションプールの最大ワーカプロセス数を増やすと、負荷の分散に役立ちます。また、64 ビットの Relay Server にアップグレードしたり、Relay Server ファームに Relay Server を追加したりすることも、有効な解決法です。Relay Server マシン上で実行されている他のアプリケーションを他のマシンにオフロードすることも有効です。

RSF11005: '%1' のときに、プロトコルエラーが発生しました

エラーコード	11005
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_PROTOCOL_ERROR
パラメータ 1	内部コンテキスト

考えられる原因

管理要求が無効です。管理拡張機能へのリモートアクセスは、不正なアクセスから保護するために、HTTP 認証と HTTPS を使用してセキュリティ保護する必要があります。

RSF11006: '%1' を開いて設定の更新を適用できませんでした

エラーコード	11006
エラー定数	RSF_ROOT_OPEN_CONFIG_FILE_FAIL
パラメータ 1	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

設定が Relay Server に適用され、有効になっていますが、設定ファイルの更新は失敗しました。Relay Server を再起動すると、最後に保存された設定に戻ります。Relay Server のステイトマネージャプロセスが、更新する設定を開くことができる十分なパーミッションを持っていることを確認してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

RSF11007: 設定を更新しているときに、システムエラー [SYS %1: %2] が発生しました

エラーコード	11007
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_RECONFIG_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

Relay Server の再設定に失敗しました。結果として行われた設定は破損している可能性があり、さらに設定更新を行って修正する必要がある場合があります。元の設定ファイルは、失敗した設定で更新されることはありません。システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11008: 管理コマンドを待機していましたが、%1 秒後にタイムアウトしました

エラーコード	11008
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_READ_TIMEOUT
パラメータ 1	管理のタイムアウト制限値

考えられる原因

Relay Server は追加の管理コマンドが発行されることを予期していましたが、リモート管理ツールによって時間内に送信されませんでした。要求がアボートされました。リトライしてください。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSF11009: リモート管理ツールは途中で切断されました

エラーコード	11009
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_DISCONNECT_EARLY

考えられる原因

このことは、ネットワークの問題、またはリモート管理ツールが突然終了したことによって発生している可能性があります。もう一度実行してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01211

RSF11010: リモート管理ツールから読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11010
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_READ_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

このことは、Relay Server とリモート管理ツール間のネットワーク通信の問題によって発生している可能性があります。要求がアボートされました。もう一度実行してください。

RSF11011: 先のエラーが原因で、ADMIN_CMD_CONFIG_CONTINUE パケットの処理を続行できません

エラーコード	11011
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_CONTINUE_FAIL

考えられる原因

同じ行ラベルを持つ前のエラーを参照して、問題の原因を確認してください。

RSF11012: 設定ファイル '%2' の行 %1 でセクションヘッダを予期しています

エラーコード	11012
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_EXPECT_SECTION_HEADER
パラメータ 1	行番号
パラメータ 2	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルには、指定された行番号に必須のセクションヘッダのエントリがありません。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

RSF11013: ログファイル '%3' を '%4' にアーカイブしているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11013
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_ARCHIVE_LOG_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	現在のログファイル名
パラメータ 4	アーカイブログファイル名 (使用できる場合)。それ以外の場合は空

考えられる原因

アーカイブログの作成、現在のログの内容のコピー、または現在のログのトランケーションを実行しているとき、システムエラーが発生しました。システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11014: リモート管理ツールに応答を書き戻しているときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11014
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_WRITE_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

リモート管理ツールに報告を返すときに通信エラーが発生しました。再設定が行われた後に、要求がアボートされました。もう一度実行してください。

RSF11015: モニタコマンドパケットの opcode が不正です

エラーコード	11015
エラー定数	RSF_ROOT_MON_PROTOCOL_ERROR

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01213

考えられる原因

SA モニタだけが、モニタ拡張機能にアクセスしていることを確認してください。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSF11016: 共有メモリですでに解放されたメモリブロックを解放しています

エラーコード	11016
エラー定数	RSF_ROOT_MEMORY_ALREADY_FREED

考えられる原因

これは内部エラーです。Relay Server 内の共有メモリマネージャは、このタイプのエラーが発生しないように保護されており、Relay Server は引き続き安定した状態であり、再起動も必要ありません。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSF11018: バックエンドサーバ '%1' は、バックエンドファーム '%2' ですでに定義されているため追加できません

エラーコード	11018
エラー定数	RSF_ROOT_SERVER_PREVIOUSLY_DEFINED
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

このエラーは、Relay Server の設定時に発生し、設定操作の他の部分には影響しません。ただし、前に定義されたバックエンドサーバの新しい設定は、Relay Server に適用されません。Relay Server の設定を再適用することが必要となる場合があります。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSF11019: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' へのアクセスに使用するリソースを初期化できませんでした

エラーコード	11019

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラー定数	RSF_ROOT_INIT_SERVER_FAIL
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

このことは、起動時に決定される固定サイズを持つ、事前に割り付けられた共有メモリからメモリブロックを割り付けできなかったことによって、発生する場合があります。このサイズは、Relay Server 設定ファイルのオプションセクションで、shared_mem プロパティを使用して任意で指定できます。デフォルト値は 10 M です。この値を変更する場合は、Relay Server を再起動する必要があります。このエラーは、他のシステムリソース制限によって発生することもあります。

RSF11020: 設定ファイル '%2' で必須のセクション '%1' が見つかりません

エラーコード	11020
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_MISSING_SECTION
パラメータ 1	設定セクション名
パラメータ 2	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルには、指定された行番号に必須のセクションのエントリがありません。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF11021: 共有ログの準備に失敗しました

エラーコード	11021
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_PREPARE_SHARED_LOG

考えられる原因

ステイトマネージャが実行されていることを確認してください。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01215

RSF11022 : 設定内のすべての Relay Server でデータ構造体を設定できませんでした

エラーコード	11022
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_SETUP_RS_LIST

考えられる原因

このことは、設定に Relay Server が重複しているか、または全 Relay Server のリストの作成時に Relay Server のリソースが不足すると発生する場合があります。設定内の Relay Server の名前がユニークであること、および Relay Server を実行しているマシンに十分なリソースがあることを確認してください。

RSF11023: Relay Server '%1' は、すでに設定で定義されています。

エラーコード	11023
エラー定数	RSF_ROOT_RS_PREVIOUSLY_DEFINED
パラメータ 1	Relay Server のホスト名

考えられる原因

2 つの Relay Server が同じホスト名を使用できません。Relay Server ファーム内の各 Relay Server にユニークな名前が付けられていることを確認してください。

RSF11024: バックエンドファーム情報の準備に失敗しました

エラーコード	11024
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_PREPARE_FARMS

考えられる原因

一部のバックエンドファームの準備に失敗しました。ログファイル内の、このエラーの前にある同じ行ラベルを持つエラーに、詳細情報が示されている場合があります。

RSF11025: ヒープメモリが不足しています

エラーコード	11025

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラー定数	RSF_ROOT_OUT_OF_MEM

考えられる原因

IIS ベースの Relay Server の場合は、Relay Server の Web サーバ拡張機能のメモリ使用量がアプリケーションプール設定によって制限されているかどうかを確認してください。32 ビット IIS でアプリケーションプールの最大ワーカプロセス数を増やすと、負荷の分散に役立ちます。また、64 ビットの Relay Server にアップグレードしたり、Relay Server ファームに Relay Server を追加したりすることも、有効な解決法です。Relay Server コンピュータ上で実行されている他のアプリケーションを他のコンピュータにオフロードすることも有効です。

RSF11026: 起動時に内部データ構造体を作成しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11026
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_CREATE_ROOT
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11027: 内部データ構造体を初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11027
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_INIT_ROOT
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01217

RSF11028: システムエラー [SYS%1:%2] が共有メモリの作成中に発生しました。実行中の rshost プロセスをすべてシャットダウンし、Web サーバを再起動してから、やり直してください。

エラーコード	11028
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_CRT_SHM
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

実行中のすべての rshost プロセスをシャットダウンし、Web サーバを再起動してから、リトライしてください。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSF11029: セマフォマネージャの作成に失敗しました

エラーコード	11029
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_CREATE_SEM_MGR

考えられる原因

ご使用のシステムで System V セマフォが不足していないことを確認してください。

RSF11030: 共有データ構造体を初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11030
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_INIT_ROOT_USE
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

RSF11031: Relay Server '%1' の共有メモリに付加できませんでした

エラーコード	11031
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_ATTACH_SHM
パラメータ 1	Relay Server の内部名

考えられる原因

Windows システムの場合は、rshost が付加プロセスと同じネームスペースの下で実行されていることを確認してください。このエラーは、ステイトマネージャが無効な設定ファイルによる自動起動に失敗した場合も発生することがあります。管理ツールを使用して、設定を生成および展開することをおすすめします。設定ファイルを手動で作成する場合は、検証手順の一部として rshost ユーティリティを使用して設定を検証してから、設定ファイルの使用を開始すると有益です。ステイトマネージャの起動は、ステイトマネージャを運用システムのサービスとして設定して行うことをおすすめします。

RSF11032: 共有ログ '%3' に付加しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11032
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_ATTACH_LOG
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	共有ログファイル名

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11033 : 設定内の Relay Server のリストのデータ構造体を更新できませんでした

エラーコード	11033
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_UPDATE_RS_LIST

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01219

考えられる原因

接続された Outbound Enabler への更新のブロードキャストでエラーが発生したか、または更新操作時に共有メモリ不足がありました。ログファイル内の、このエラーの前にある同じ行ラベルを持つエラーに、詳細情報が示されている場合があります。Relay Server 設定内のオプションセクションの shared_mem プロパティを増やして、Relay Server を再起動します。

RSF11034: バックエンドファームの変更を適用できませんでした

エラーコード	11034
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_UPDATE_FARM

考えられる原因

一部のバックエンドファームの設定の更新に失敗しました。設定の更新は一部のみ適用されました。リトライしてください。ログファイル内の、このエラーの前にある同じ行ラベルを持つエラーに、詳細情報が示されている場合があります。

RSF11035: バックエンドサーバの変更を適用できませんでした

エラーコード	11035
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_UPDATE_SERVER

考えられる原因

一部のバックエンドサーバの設定の更新に失敗しました。設定の更新は一部のみ適用されました。リトライしてください。ログファイル内の、このエラーの前にある同じ行ラベルを持つエラーに、詳細情報が示されている場合があります。

RSF11036: 上りチャネルがビジー状態であるため、バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' へブロードキャストできませんでした

エラーコード	11036
エラー定数	RSF_ROOT_BROADCAST_UPCH_TOO_BUSY
パラメータ 1	バックエンドサーバ名

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバへのブロードキャストがスキップされました。設定の更新をリトライしてください。

RSF11037: ファーム '%1' は、すでに定義されています

エラーコード	11037
エラー定数	RSF_ROOT_FARM_PREVIOUSLY_DEFINED
パラメータ 1	バックエンドファーム名

考えられる原因

Relay Server の設定に重複したバックエンドファーム名を含めることはできません。バックエンドファーム名がユニークであることを確認してください。

RSF11038: ログファイル '%3' の名前を変更しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11038
エラー定数	RSF_ROOT_RENAME_LOG_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	現在のログファイル名

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11039: 共有メモリでメモリブロックがリークしました

エラーコード	11039
エラー定数	RSF_ROOT_SHM_LEAK

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01221

考えられる原因

これは内部エラーです。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSF11040：Relay Server 設定ファイル '%1' を開けません

エラーコード	11040
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_CANT_OPEN_FILE
パラメータ 1	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

Relay Server 設定ファイルが存在し、rshost プロセスにアクセスできることを確認してください。

RSF11041: Relay Server 設定ファイル '%1' の非表示は解除できません

エラーコード	11041
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_CANT_UNHIDE
パラメータ 1	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

設定ファイルが破損している可能性があります。新しい非表示の設定ファイルは、dbfhide ユーティリティを使用して作成する必要があります。

RSF11042: 設定ファイル '%2' の行 %1 の構文が正しくありません

エラーコード	11042
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_BAD_LINE_FMT
パラメータ 1	行番号
パラメータ 2	Relay Server 設定ファイル

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルの指定された行番号の構文が不正です。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF11043: 設定ファイル '%2' の行 %1 のセクション名が不正です

エラーコード	11043
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_BAD_SECTION_NAME
パラメータ 1	行番号
パラメータ 2	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルの指定された行番号のセクション名が不正です。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF11044: 設定ファイル '%2' の行 %1 のプロパティ名が不正です

エラーコード	11044
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_BAD_PROP_NAME
パラメータ 1	行番号
パラメータ 2	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルの指定された行番号のプロパティ名が無効です。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01223

RSF11045: 設定ファイル '%2' の行 %1 のプロパティ値が不正です

エラーコード	11045
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_BAD_VALUE
パラメータ 1	行番号
パラメータ 2	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルの指定された行番号のプロパティ値が不正です。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF11046: 設定ファイル '%3' の行 %2 の '%1' セクションが重複しています

エラーコード	11046
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_CANT_REPEAT_SECTION
パラメータ 1	設定セクション名
パラメータ 2	行番号
パラメータ 3	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルの指定された行番号のセクションが重複しています。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF11047: 設定ファイル '%3' の行 %2 の必須のプロパティ '%1' が見つかりません

エラーコード	11047
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_MISSING_PROP
パラメータ 1	プロパティ名

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パラメータ 2	行番号
パラメータ 3	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルの指定された行番号に必須のプロパティのエントリがありません。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF12000: バックエンドファーム '%3' へのアクセスに使用するリソースを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	12000
エラー定数	RSF_FARM_FAIL_ACCESS
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	バックエンドファーム名

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF13000: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' に使用するアクセプター UUID を生成しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	13000
エラー定数	RSF_SERVER_RS_UUID_GENERATION_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	バックエンドサーバ名
パラメータ 4	バックエンドファーム名

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01225

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF13001: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' へのアクセスに使用するリソースを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	13001
エラー定数	RSF_SERVER_INIT_FAIL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	バックエンドサーバ名
パラメータ 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF13002: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の要求リストを書き込むためにロックしようとして失敗しました

エラーコード	13002
エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_WLOCK_REQUEST_LIST
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバは、Outbound Enabler が再起動されるまで使用できない可能性があります。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

RSF13003: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' の要求リストを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	13003
エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_INIT_REQUEST_LIST
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	バックエンドサーバ名
パラメータ 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。Outbound Enabler によって、サービスが自動的にリカバリされます。

RSF13004: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' の上りチャネルのアイドルセマフォを解放しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	13004
エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_SIGNIFYING_UPCHANNEL_IDLE
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	バックエンドサーバ名
パラメータ 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバは、Relay Server が再起動されるまで不安定である可能性があります。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01227

RSF13005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Outbound Enabler がチャネル制限を %3 バイト超えて送信しています

エラーコード	13005
エラー定数	RSF_SERVER_CONTENT_OVERFLOW
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	余分なバイト数

考えられる原因

これは内部 Outbound Enabler エラーです。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSF13006: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の要求リストを読み込むためにロックしようとして失敗しました

エラーコード	13006
エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_RLOCK_REQUEST_LIST
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバは、Outbound Enabler が再起動されるまで使用できない可能性があります。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSF13007: %3 パケットをプッシュするためにバックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントのダウンロードパケットキューをロックしようとして失敗しました

エラーコード	13007

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_LOCK_PUSH_DNQ
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	パケット名

考えられる原因

クライアント要求への応答が配信されませんでしたが、他のクライアントはバックエンドサーバを引き続き使用できます。このクライアントでは、エラーを受信する場合があり、リトライが実行されます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSF13008: %5 パケットのプッシュ中、バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' のダウンロードパケットキューに使用するセマフォを初期化するときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	13008
エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_INIT_DNQ_SEMA
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	バックエンドサーバ名
パラメータ 4	バックエンドファーム名
パラメータ 5	パケット名

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF13009: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の要求リストが見つかりません

エラーコード	13009

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01229

エラー定数	RSF_SERVER_MISSING_REQUEST_LIST
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

Outbound Enabler によって、サービスが自動的にリカバリされます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSF13010: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' で不正な要求インデックスのリサイクルが検出されました

エラーコード	13010
エラー定数	RSF_SERVER_FAULTY_REQUEST_IDX_RECYCLING
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

クライアント要求と応答が適切にルーティングされなかった可能性がありますが、他のクライアントはバックエンドサーバを引き続き使用できます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSF13011: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントトラフィック統計情報コレクターに使用する共有メモリブロックを割り当てることができませんでした

エラーコード	13011
エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_NEWING_CLIENT_STATISTIC
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

クライアント要求がアボートされましたが、バックエンドサーバは引き続き使用できます。メモリ不足は、一時的な大量トラフィックによって発生する可能性があります。このエラーが解決されない場合は、共有メモリの制限値を増やすことを検討し、Relay Server を再起動してください。

RSF14000: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバ '%3' へのアクセスを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	14000
エラー定数	RSF_CLIENT_FAIL_INIT_SERVER_ACCESS
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	バックエンドサーバ名
パラメータ 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

クライアント要求がアボートされました。システムエラーに応じて、問題の修正を試行してください。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

RSF14001: '%3' のときにバックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の要求リストを書き込むためにロックしようとして失敗しました

エラーコード	14001
エラー定数	RSF_CLIENT_FAIL_WLOCK_REQUEST_LIST
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	内部コンテキスト

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01231

考えられる原因

バックエンドサーバがビジー状態でした。クライアント要求がアボートされました。負荷に対処するために、バックエンドサーバまたは Relay Server を追加する必要がある場合があります。

RSF14002: '%3' のときにバックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントに使用する共有メモリブロックを割り当てることができませんでした

エラーコード	14002
エラー定数	RSF_CLIENT_OUT_OF_SHM
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	内部コンテキスト

考えられる原因

クライアント要求がアボートされましたが、他のクライアントはバックエンドサーバを引き続き使用できます。メモリ不足は、一時的な大量トラフィックによって発生する可能性があります。このエラーが解決されない場合は、共有メモリの制限値を増やすことを検討し、Relay Server を再起動してください。

RSF14003: バックエンドファーム '%4' の要求対象バックエンドサーバ '%3' を初期化しているときに、システムエラー [SYS %1: %2] が発生しました

エラーコード	14003
エラー定数	RSF_CLIENT_FAIL_INIT_REQUEST
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	バックエンドサーバ名
パラメータ 4	バックエンドファーム名

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

クライアント要求がアボートされましたが、他のクライアントはバックエンドサーバを引き続き使用できます。システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF14004: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' のクライアントが '%3' のときに、ヒープメモリが足りなくなりました

エラーコード	14004
エラー定数	RSF_CLIENT_OUT_OF_MEM
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名
パラメータ 3	内部コンテキスト

考えられる原因

クライアント要求がアボートされましたが、他のクライアントはバックエンドサーバを引き続き使用できます。メモリ不足は、一時的な大量トラフィックによって発生する可能性があります。このエラーが IIS ベースの Relay Server で解決されない場合は、Relay Server の Web サーバ拡張機能のメモリ使用量がアプリケーションプール設定によって制限されているかどうかを確認してください。32 ビット IIS でアプリケーションプールの最大ワーカプロセス数を増やすと、負荷の分散に役立ちます。また、64 ビットの Relay Server にアップグレードしたり、Relay Server ファームに Relay Server を追加したりすることも、有効な解決法です。Relay Server マシン上で実行されている他のアプリケーションを他のマシンにオフロードすることも有効です。

RSF14005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の要求リストから予期しない要求を削除しました

エラーコード	14005
エラー定数	RSF_CLIENT_REMOVED_WRONG_REQUEST
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01233

考えられる原因

クライアント要求がアボートされましたが、他のクライアントはバックエンドサーバを引き続き使用できます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンタに問い合わせてください。

バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバ '%1' の Relay Server インスタンスが一致しません。

エラーコード	3006
エラー定数	RSE_SERVER_CONNECT_WITH_MISMATCH_RS_UUID
パラメータ 1	バックエンドサーバ名
パラメータ 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

このエラーは、同じサーバ ID を使用しているために競合している Outbound Enabler が存在する場合に発生する可能性があります。各 Outbound Enabler にユニークなサーバ ID を設定する必要があります。バックエンドサーバトークンの機密性が保持されるようにしてください。トークンが危険にさらされている恐れがある場合は、Relay Server の管理者に依頼して、バックエンドサーバトークンを更新してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

Relay Server の警告メッセージ

警告メッセージは、Relay Server のメッセージログに書き込まれます。

多くのエラーメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメータに置き換えられてエラーメッセージに表示されます。

各エラーには、数値エラーコードがあります。各エラーメッセージのテキストには、エラーまたは警告の種類を説明するプレフィクスが付けられています。

- **RSE** Relay Server のエラー。
- **RSF** Relay Server の致命的なエラー。これにより、SQL Anywhere モニタ警告が発生します。
- **RSW** Relay Server の警告。

参照

- 「Relay Server のエラーメッセージ」1173 ページ

各警告には、1 ～ 5 のレベルが割り当てられます。

レベル	説明
1	Relay Server の起動または停止時に発生するサーバレベルまたは高い ODBC レベルの警告
2	同期の開始および終了時に発生する同期レベルとユーザレベルの警告
3	スキーマレベル (パブリケーションとテーブルを含む) の警告
4	スクリプトレベルと低い ODBC レベルの警告
5	テーブルレベルとローレベルの警告

Relay Server の警告メッセージ (エラーコード順)

エラーコード	メッセージテキスト
0	「RSW0:警告なし」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01235

エラーコード	メッセージテキスト
100	「RSW100:'%3' を呼び出し中に、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました。」
101	「RSW101: このプラットフォームでは CPU 監視機能は使用できません。」
102	「RSW102:チャンクされた応答本文全体が受信される前に、バックエンド接続が終了しました。」
103	「RSW103:コンテンツ長の応答本文全体が受信される前に、バックエンド接続が終了しました。%2 バイトの残りの %1」

Relay Server の警告メッセージ (五十音順)

RSW0:警告なし

エラーコード	0
エラー定数	RSW_NO_WARNING

考えられる原因

警告は発生していません。

RSW100:'%3' を呼び出し中に、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました。

エラーコード	100
エラー定数	RSW_SYS_CALL
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	システム呼び出しの名前

考えられる原因

致命的でないシステム呼び出しが失敗しました。Relay Server は引き続き稼働しています。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

RSW101: このプラットフォームでは CPU 監視機能は使用できません。

エラーコード	101
エラー定数	RSW_CPU_MON_NOT_AVAILABLE

考えられる原因

Relay Server は、このプラットフォーム上の Relay Server 関連のすべてのプロセスによる合計 CPU 使用率を正確に報告できません。

RSW102:チャンクされた応答本文全体が受信される前に、バックエンド接続が終了しました。

エラーコード	102
エラー定数	RSW_CHUNKED_RESPONSE_NOT_COMPLETED

考えられる原因

この警告の結果はアプリケーションプロトコルによって異なります。

RSW103:コンテンツ長の応答本文全体が受信される前に、バックエンド接続が終了しました。%2 バイトの残りの %1

エラーコード	103
エラー定数	RSW_CONTENT_LENGTH_RESPONSE_NOT_COMPLETED

考えられる原因

この警告の結果はアプリケーションプロトコルによって異なります。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01237

Outbound Enabler エラーメッセージ

メッセージは、Outbound Enabler メッセージログに書き込まれます。

各メッセージには、数値エラーコードがあります。

多くのメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメータに置き換えられてメッセージに表示されます。

参照

- 「Outbound Enabler 警告メッセージ」1275 ページ

Outbound Enabler エラーメッセージ (エラーコード順)

エラーコード	メッセージテキスト
0	「OEE0 : エラーはありません」
1000	「OEE1000:http://%1:%2/%3 を使用して、バックエンドサーバへの ping を実行する GET 要求を書き込めません。再び ping を実行します」
1001	「OEE1001:http://%1:%2/%3 を使用して、バックエンドサーバの ping から応答のヘッダを読み込めません。再び ping を実行しています」
1002	「OEE1002:http://%2:%3/%4 を使用したバックエンドサーバの ping からの予期しない HTTP ステータスコード %1。再び ping を実行しています」
1003	「OEE1003:http://%1:%2/%3 を使用したバックエンドサーバの ping に対する Content-Length ヘッダがありません。再び ping を実行しています」
1004	「OEE1004:http://%1:%2/%3 を使用したバックエンドサーバの ping へに応答で見つかった不正な本文がありません。再び ping を実行しています」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01239

エラーコード	メッセージテキスト
1005	「OEE1005:http://%1:%2/%3 からのバックエンドステータスの ping 応答本文で 'AVAILABLE=' が見つかりません。再び ping を実行しています」
1006	「OEE1006:Outbound Enabler は、http://%2:%3/%4 へのバックエンドサーバステータス ping に対する 'AVAILABLE=%1' を認識しません。有効な値は 1、T、TRUE、ON、0。F、FALSE、OFF です。再び ping を実行しています」
1007	「OEE1007:http://%1:%2/%3 への Output Enabler バックエンドサーバステータス ping は、サービスが利用できないことをレポートしました。再び ping を実行しています」
1008	「OEE1008:リレーサーバ '%3%4' を使用したファーム '%2' のサーバ '%1' 用の Outbound Enabler が見つからず、シャットダウンできませんでした。」
1009	「OEE1009:[MLC%1: %2] のために、Relay Server からネットワークの読み込みを実行できません。」
1010	「OEE1010:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、応答の WWW-Authenticate ヘッダを処理できません。」
1011	「OEE1011:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、応答の Proxy-Authenticate ヘッダを処理できません。」
1012	「OEE1012:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、応答の Authentication-Info ヘッダを処理できません。」
1013	「OEE1013:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、応答の Proxy-Authentication-Info ヘッダを処理できません。」
1014	「OEE1014:Relay Server から受信した HTTP チャンク長が大きすぎます。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
1015	「OEE1015:Relay Server から受信した HTTP チャンク長が不正です。」
1016	「OEE1016:Relay Server から受信した HTTP チャンクに、後続の CRLF がありません。」
1017	「OEE1017:Outbound Enabler は、Relay Server から HTTP エラーステータスを受信しました。\r %1」
1018	「OEE1018:Outbound Enabler の Relay Server Web サーバとの接続には HTTP 認証が必要ですが、クレデンシャルが提供されませんでした。」
1019	「OEE1019:Outbound Enabler の Relay Server との接続で、HTTP 認証が失敗しました。」
1020	「OEE1020:Outbound Enabler の Relay Server Web サーバとの接続でプロキシ HTTP 認証が必要なプロキシを行っていますが、クレデンシャルが提供されませんでした。」
1021	「OEE1021:Outbound Enabler の Relay Server との接続で、HTTP プロキシ認証が失敗しました。」
1022	「OEE1022:Outbound Enabler は予期しない HTTP エラーステータスを受信しました。\r %1」
1023	「OEE1023:Outbound Enabler には -cr http_password パラメータがありません。」
1024	「OEE1024:Outbound Enabler には -cr http_proxy_password パラメータがありません。」
1025	「OEE1025:Outbound Enabler には -cr http_userid パラメータがありません。」
1026	「OEE1026:Outbound Enabler には -cr http_proxy_userid パラメータがありません。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01241

エラーコード	メッセージテキスト
1027	「OEE1027:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、Relay Server に HTTP ヘッダを書き込めませんでした。」
1028	「OEE1028:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、Relay Server に HTTP 本文を書き込めませんでした。」
1029	「OEE1029:Outbound Enabler は、クライアントが以前の Relay Server 設定からキャッシュしたことを示す HTTP の cookie またはヘッダをクライアントから受信しました。予期しない Relay Server インデックスは、%1 です。」
1030	「OEE1030:Outbound Enabler は、[MLC%2: %3] のために、'%1' を使用して Relay Server に接続できませんでした。リトライしています」
1031	「OEE1031:Outbound Enabler のアクセスが Relay Server により拒否されました。」
1032	「OEE1032:Relay Server の問題によるリトライ」
1033	「OEE1033:Outbound Enabler は、%1:%2 のバックエンドサーバに接続して ping を実行できません。再び ping を実行しています」
1034	「OEE1034:バックエンドサーバ '%1' との通信エラー」
1035	「OEE1035:Outbound Enabler の -cs スイッチに与えられた tls_type %1 が無効です。rsa のみがサポートされています。」
1036	「OEE1036:ネットワーク接続は Relay Server によって閉じられたか、Outbound Enabler が接続から読み込んでいる間に媒介するものによって閉じられました。」
1037	「OEE1037:Outbound Enabler の -cr スイッチに %1 パラメータがありません。」
1038	「OEE1038:'%1' の近くの Outbound Enabler コマンドラインが無効です。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
1039	「OEE1039:[MLC%2: %3] のために、'%1' を使用した Outbound Enabler の Relay Server との接続が失敗しました。」
1040	「OEE1040:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、バックエンドサーバとのセキュアな通信を初期化できませんでした。」
1041	「OEE1041:Outbound Enabler の -cr スイッチが有効な Relay Server を指定しません。サーバからの HTTP の応答に次のヘッダがあります。 %1」
1042	「OEE1042:Relay Server は、この Outbound Enabler と互換性をもつにはアップグレードする必要があります。」
1043	「OEE1043:ホスト '%1' の Relay Server では、Relay Server 設定に %2 エントリがありません。」
1044	「OEE1044:Outbound Enabler は、このマシンの MAC アドレスを決定できませんでした。」
1045	「OEE1045:システムエラー [SYS%1: %2] バックエンドサーバとの %3 が sidx=%4 socket=%5 sfp=%6 である間」
1046	「OEE1046:[MLC%3: %4] のために、%1:%2 のバックエンドサーバとの接続が失敗しました。」
1047	「OEE1047:Outbound Enabler の -cs %1 パラメータの値の解析中にエラーが発生しました。」
1048	「OEE1048:%3. sidx=%4 socket=%5 sfp=%6 のとき、[MLC%1: %2] によって、Outbound Enabler とバックエンドサーバの間の通信が失敗しました。」
1049	「OEE1049:要求 URL が長すぎます。sidx=%1 sfp=%2 による要求はアボートされます。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01243

エラーコード	メッセージテキスト
1050	「OEE1050:%4 パケットで ridx=%1 snum=%2 sfp=%3 から開始されたばかりのセッションのルックアップに失敗しました。」
1051	「OEE1051:Outbound Enabler は、%6 のために、%5 パケットで ridx=%1 sidx=%2 snum=%3 sfp=%4 のセッションにアクセスできませんでした。」
1052	「OEE1052:Outbound Enabler は、[MCL%2: %3] のために、Relay Server に %1 パケットを書き込めませんでした。」
1053	「OEE1053:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、Relay Server にパケットをフラッシュできませんでした。」
1054	「OEE1054:Outbound Enabler は、[MLC%6: %7] のために、ridx=%1 sidx=%2 snum=%3 sfp=%4 が失敗した %5 パケットを書き込めませんでした。」
1055	「OEE1055:Outbound Enabler は、Relay Server インデックス %6 の ridx=%1 sidx=%2 snum=%3 sfp=%4 err=%5 のセッションエラーパケットが見つからないため、作成できませんでした。」
10000	「OEF10000:ソケットライブラリ [MLC%1: %2] の初期化に失敗しました。」
10001	「OEF10001:メモリ不足です」
10002	「OEF10002:Outbound Enabler は、通信シャットダウンのための共有メモリディレクトリを作成できませんでした。」
10003	「OEF10003:Outbound Enabler は、通信シャットダウンのための共有メモリを作成できませんでした。」
10004	「OEF10004:'rsoe -s' コマンドは、リレーサーバ '%3%4' を使用したファーム '%2' のサーバ '%1' 用の Outbound Enabler のシャットダウンに失敗しました。」

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラーコード	メッセージテキスト
10005	「OEF10005:Outbound Enabler のサポートライブラリをロードできません : %1 -- %2」
10006	「OEF10006:Outbound Enabler は､'%1' ライブラリから必要な機能をロードできませんでした。」
10007	「OEF10007:Outbound Enabler のサポートライブラリ '%1' の初期化に失敗しました。」
10008	「OEF10008:%1 パケットを読み込み中のプロトコルエラー」
10009	「OEF10009:サポートされているもっとも低いプロトコルバージョンまで下げましたが、Relay Server にはまだ互換性がありません。」
10010	「OEF10010:Relay Server から受信された opcode が不正です。」
10011	「OEF10011:Outbound Enabler は、[%2] のために %1 暗号化ライブラリをロードできませんでした。正しくインストールされていることを確認してください。」
10012	「OEF10012:Outbound Enabler は、暗号化ライブラリ %2 から機能 %1 をロードできませんでした。」
10013	「OEF10013:暗号化ライブラリのバージョンが一致しません。実装 ID %3 のバージョン %1.%2 が見つかりました。」
10014	「OEF10014:内部エラー : %1」

Outbound Enabler エラーメッセージ (五十音順)

OEE0 : エラーはありません

エラーコード	0
エラー定数	OEE_NO_ERROR

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01245

考えられる原因

このコードは Outboud Enabler のエラーがなかったことを示しています。

OEE1000:http://%1:%2/%3 を使用して、バックエンドサーバへの ping を実行する GET 要求を書き込めません。再び ping を実行します

エラーコード	1000
エラー定数	OEE_BE_STATUS_PING_FAILED_WRITE
パラメータ 1	-cs host パラメータで指定されたバックエンドサーバホスト
パラメータ 2	-cs port パラメータで指定されたバックエンドサーバポート
パラメータ 3	-cs status_url パラメータで指定されたバックエンドサーバステータス URL

考えられる原因

Outbound Enabler が、ステータスチェック中にバックエンドサーバに対して GET 要求を書き込むことができませんでした。-cs ホストおよびポートパラメータがバックエンドサーバの HTTP ポートを指していることを確認してください。バックエンドサーバが起動中でなかったことも確認してください。

OEE1001:http://%1:%2/%3 を使用して、バックエンドサーバの ping から応答のヘッダを読み込めません。再び ping を実行しています

エラーコード	1001
エラー定数	OEE_BE_STATUS_PING_FAILED_READ_HDR
パラメータ 1	-cs host パラメータで指定されたバックエンドサーバホスト
パラメータ 2	-cs port パラメータで指定されたバックエンドサーバポート
パラメータ 3	-cs status_url パラメータで指定されたバックエンドサーバステータス URL

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

Outbound Enabler が、ステータスチェック中にバックエンドサーバから応答ヘッダを読み込むことができませんでした。バックエンドサーバが、指定のホストおよびポート上でステータス URL の HTTP 要求のサービスが可能であることを確認してください。

OEE1002:http://%2:%3/%4 を使用したバックエンドサーバの ping からの予期しない HTTP ステータスコード %1。再び ping を実行しています

エラーコード	1002
エラー定数	OEE_BE_STATUS_PING_FAILED_HTTP_OK
パラメータ 1	ping 応答の HTTP ステータスコード
パラメータ 2	-cs host パラメータで指定されたバックエンドサーバホスト
パラメータ 3	-cs port パラメータで指定されたバックエンドサーバポート
パラメータ 4	-cs status_url パラメータで指定されたバックエンドサーバステータス URL

考えられる原因

予期しない HTTP ステータスコードのため、Outbound Enabler がバックエンドサーバの ping を確認できませんでした。バックエンドサーバの可用性に関係なく、HTTP ステータスコードは通常は 200 になるはずです。指定された URL が正しいことを確認し、応答 HTTP ステータスコードが常に 200 であることを確認してください。URL が正しいにも関わらずこのエラーが続くようであれば、バックエンドサーバのベンダーのテクニカルサポートチームに連絡してください。

OEE1003:http://%1:%2/%3 を使用したバックエンドサーバの ping に対する Content-Length ヘッダがありません。再び ping を実行しています

エラーコード	1003
エラー定数	OEE_BE_STATUS_PING_FAILED_CONTENT_LENGTH
パラメータ 1	-cs host パラメータで指定されたバックエンドサーバホスト
パラメータ 2	-cs port パラメータで指定されたバックエンドサーバポート

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01247

パラメータ 3	-cs status_url パラメータで指定されたバックエンドサーバステータス URL

考えられる原因

応答にヘッダがないため、Outbound Enabler がバックエンドサーバの ping を確認できませんでした。バックエンドサーバの可用性に関係なく、応答には Content-Length ヘッダが組み込まれていなければなりません。指定された URL が正しいことを確認してください。URL が正しいのに、このエラーが解決されない場合は、バックエンドサーバベンダの技術サポートチームに連絡してください。

OEE1004:http://%1:%2/%3 を使用したバックエンドサーバの ping へに応答で見つかった不正な本文がありません。再び ping を実行しています

エラーコード	1004
エラー定数	OEE_BE_STATUS_PING_FAILED_READ_BODY
パラメータ 1	-cs host パラメータで指定されたバックエンドサーバホスト
パラメータ 2	-cs port パラメータで指定されたバックエンドサーバポート
パラメータ 3	-cs status_url パラメータで指定されたバックエンドサーバステータス URL

考えられる原因

応答本文がないか、不正であるため、Outbound Enabler がバックエンドサーバの ping を確認できませんでした。応答本文は Content-Length ヘッダに一致していなければなりません。指定された URL が正しいことを確認してください。URL が正しいのに、このエラーが解決されない場合は、バックエンドサーバベンダの技術サポートチームに連絡してください。

OEE1005:http://%1:%2/%3 からのバックエンドステータスの ping 応答本文で 'AVAILABLE=' が見つかりません。再び ping を実行しています

エラーコード	1005
エラー定数	OEE_BE_STATUS_PING_AVAILABLE_NOT_FOUND
パラメータ 1	-cs host パラメータで指定されたバックエンドサーバホスト

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パラメータ 2	-cs port パラメータで指定されたバックエンドサーバポート
パラメータ 3	-cs status_url パラメータで指定されたバックエンドサーバステータス URL

考えられる原因

本文に 'AVAILABLE=' が含まれていないため、Outbound Enabler がバックエンドサーバの ping を確認できませんでした。指定された URL が正しいことを確認してください。URL が正しいのに、このエラーが解決されない場合は、バックエンドサーバベンダの技術サポートチームに連絡してください。

OEE1006:Outbound Enabler は、http://%2:%3/%4 へのバックエンドサーバステータス ping に対する 'AVAILABLE=%1' を認識しません。有効な値は 1、T、TRUE、ON、0。F、FALSE、OFF です。再び ping を実行しています

エラーコード	1006
エラー定数	OEE_BE_STATUS_PING_FAILED_PARSE_AVAILABLE_VAL
パラメータ 1	AVAILABLE=value から取得した値
パラメータ 2	-cs host パラメータで指定されたバックエンドサーバホスト
パラメータ 3	-cs port パラメータで指定されたバックエンドサーバポート
パラメータ 4	-cs status_url パラメータで指定されたバックエンドサーバステータス URL

考えられる原因

本文に想定される 'AVAILABLE=' が含まれていないため、Outbound Enabler がバックエンドサーバの ping を確認できませんでした。指定された URL が正しいことを確認してください。URL が正しいのに、このエラーが解決されない場合は、バックエンドサーバベンダの技術サポートチームに連絡してください。

OEE1007:http://%1:%2/%3 への Output Enabler バックエンドサーバステータス ping は、サービスが利用できないことをレポートしました。再び ping を実行しています

エラーコード	1007

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01249

エラー定数	OEE_BE_STATUS_DOWN
パラメータ 1	-cs host パラメータで指定されたバックエンドサーバホスト
パラメータ 2	-cs port パラメータで指定されたバックエンドサーバポート
パラメータ 3	-cs status_url パラメータで指定されたバックエンドサーバステータス URL

考えられる原因

バックエンドサーバの Outbound Enabler の ping により、サーバが利用できない状態であることが示されました。バックエンドサーバへの ping が同じステータスを返し続ける間、リレーは行われません。バックエンドサーバへのリレーを再開するには、available というステータスを返すように設定してください。

OEE1008:リレーサーバ '%3%4' を使用したファーム '%2' のサーバ '%1' 用の Outbound Enabler が見つからず、シャットダウンできませんでした。

エラーコード	1008
エラー定数	OEE_SHUTDOWN_NOT_FOUND
パラメータ 1	-id スイッチで指定されたバックエンドサーバ名
パラメータ 2	-f スイッチで指定されたバックエンドファーム名
パラメータ 3	-cs host パラメータで指定された Relay Server ホスト
パラメータ 4	-cs url_suffix パラメータで指定される Relay Server URL サフィックス

考えられる原因

Outbound Enabler が、指定のバックエンドサーバ、ファーム、Relay Server 用にすでに動作している Outbound Enabler を見つけることもシャットダウンすることもできませんでした。Outbound Enabler が動作している場合、バックエンドサーバ、ファーム、Relay Server、url サフィックスが正しく指定されていることを確認してください。

OEE1009:[MLC%1: %2] のために、Relay Server からネットワークの読み込みを実行できません。

エラーコード	1009

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

エラー定数	OEE_NET_READ_FAILED
パラメータ 1	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

Outbound Enabler が、Relay Server からのネットワークを通して送信されたバイトを読み込むことができませんでした。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEE1010:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、応答の WWW-Authenticate ヘッダを処理できません。

エラーコード	1010
エラー定数	OEE_PARSE_AUTH_HDR_FAILED
パラメータ 1	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

Outbound Enabler は、WWW-Authenticate ヘッダの値を処理できません。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEE1011:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、応答の Proxy-Authenticate ヘッダを処理できません。

エラーコード	1011
エラー定数	OEE_PARSE_PROXY_AUTH_HDR_FAILED
パラメータ 1	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

Outbound Enabler は、Proxy-Authenticate ヘッダの値を処理できません。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01251

OEE1012:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、応答の Authentication-Info ヘッダを処理できません。

エラーコード	1012
エラー定数	OEE_PARSE_AUTH_INFO_HDR_FAILED
パラメータ 1	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

Outbound Enabler は、Authentication-Info ヘッダの値を処理できません。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEE1013:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、応答の Proxy-Authentication-Info ヘッダを処理できません。

エラーコード	1013
エラー定数	OEE_PARSE_PROXY_AUTH_INFO_HDR_FAILED
パラメータ 1	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

Outbound Enabler は、Authentication-Info ヘッダの値を処理できません。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEE1014:Relay Server から受信した HTTP チャンク長が大きすぎます。

エラーコード	1014
エラー定数	OEE_CHUNK_LEN_TOO_LONG

考えられる原因

Outbound Enabler が、Relay Server からの応答で想定外に長い HTTP チャンク長を受信しました。正規の Relay Server では、この問題は発生しません。-cr スイッチをチェックして、Relay Server

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

が Web ブラウザを使用して実行され、Relay Server から [ステータス] ページをフェッチしていることを確認してください。一般的な [ステータス] ページの URL は、IIS の場合は http://MyHost:80/ias_relay_server/server/rs_server.dll、Apache の場合は http://MyHost:80/srv/iarelayserver です。

OEE1015:Relay Server から受信した HTTP チャンク長が不正です。

エラーコード	1015
エラー定数	OEE_MALFORMED_CHUNK_LEN

考えられる原因

Outbound Enabler が、Relay Server からの応答で不正なチャンク長を受信しました。正規の Relay Server では、この問題は発生しません。-cr スイッチをチェックして、Relay Server が Web ブラウザを使用して実行され、Relay Server から [ステータス] ページをフェッチしていることを確認してください。一般的な [ステータス] ページの URL は、IIS の場合は http://MyHost:80/ias_relay_server/server/rs_server.dll、Apache の場合は http://MyHost:80/srv/iarelayserver です。

OEE1016:Relay Server から受信した HTTP チャンクに、後続の CRLF がありません。

エラーコード	1016
エラー定数	OEE_MALFORMED_CHUNK_END

考えられる原因

Outbound Enabler が、Relay Server からの応答で不正なチャンクを検出しました。正規の Relay Server では、この問題は発生しません。-cr スイッチをチェックして、Relay Server が Web ブラウザを使用して実行され、Relay Server から [ステータス] ページをフェッチしていることを確認してください。一般的な [ステータス] ページの URL は、IIS の場合は http://MyHost:80/ias_relay_server/server/rs_server.dll、Apache の場合は http://MyHost:80/srv/iarelayserver です。

OEE1017:Outbound Enabler は、Relay Server から HTTP エラーステータスを受信しました。¥r %1

エラーコード	1017
エラー定数	OEE_HTTP_ERR_FROM_RS
パラメータ 1	Relay Server からの応答ヘッダ

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01253

考えられる原因

HTTP ステータスおよびメッセージの意味を調べて、それに応じて対処してください。-cr スイッチをチェックし、ステータスページを使用してここで Relay Server が動作していることを確認してください。ネットワーク仲介者によって Outbound Enabler と Relay Server の間の HTTP トラフィックが不正に変更されていないことを確認してください。

OEE1018:Outbound Enabler の Relay Server Web サーバとの接続には HTTP 認証が必要ですが、クレデンシャルが提供されませんでした。

エラーコード	1018
エラー定数	OEE_NO_CREDENTIAL

考えられる原因

Relay Server を実行している Web サーバが HTTP 認証を要求しています。-cr スイッチで正しいホストおよびポートが指定されていることを確認してください。-cr http_userid および http_password を使用して Outbound Enabler を再起動してください。

OEE1019:Outbound Enabler の Relay Server との接続で、HTTP 認証が失敗しました。

エラーコード	1019
エラー定数	OEE_AUTH_FAILED

考えられる原因

Relay Server を実行している Web サーバが HTTP 認証を要求しています。-cr スイッチで正しいホストおよびポートが指定されていることを確認してください。-cr http_userid および http_password パラメータをチェックしてください。

OEE1020:Outbound Enabler の Relay Server Web サーバとの接続でプロキシ HTTP 認証が必要なプロキシを行っていますが、クレデンシャルが提供されませんでした。

エラーコード	1020
エラー定数	OEE_NO_PROXY_CREDENTIAL

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

HTTP の仲介者がプロキシ HTTP 認証を要求しています。-cr スイッチで正しい proxy_host および proxy_port が指定されていることを確認してください。-cr http_proxy_userid および http_proxy_password を使用して Outbound Enabler を再起動してください。

OEE1021:Outbound Enabler の Relay Server との接続で、HTTP プロキシ認証が失敗しました。

エラーコード	1021
エラー定数	OEE_PROXY_AUTH_FAILED

考えられる原因

HTTP の仲介者がプロキシ HTTP 認証を要求しています。-cr スイッチで正しい proxy_host および proxy_port が指定されていることを確認してください。-cr http_proxy_userid および http_proxy_password パラメータをチェックしてください。

OEE1022:Outbound Enabler は予期しない HTTP エラーステータスを受信しました。¥r %1

エラーコード	1022
エラー定数	OEE_UNEXPECTED_HTTP_ERR
パラメータ 1	応答ヘッダ

考えられる原因

Relay Server または仲介者が HTTP エラーステータスにより想定外の応答をしました。HTTP ステータスおよびメッセージの意味を調べて、それに応じて対処してください。

OEE1023:Outbound Enabler には -cr http_password パラメータがありません。

エラーコード	1023
エラー定数	OEE_MISSING_HTTP_PWD

考えられる原因

-cr http_userid を使用する場合はこのパラメータが必要です。http_password パラメータを追加するか、または http_userid パラメータを削除してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01255

OEE1024:Outbound Enabler には -cr http_proxy_password パラメータがありません。

エラーコード	1024
エラー定数	OEE_MISSING_HTTP_PROXY_PWD

考えられる原因

-cr http_proxy_userid を使用する場合はこのパラメータが必要です。http_proxy_password パラメータを追加するか、または http_proxy_userid パラメータを削除してください。

OEE1025:Outbound Enabler には -cr http_userid パラメータがありません。

エラーコード	1025
エラー定数	OEE_MISSING_HTTP_UID

考えられる原因

-cr http_password を使用する場合はこのパラメータが必要です。http_userid パラメータを追加するか、または http_password パラメータを削除してください。

OEE1026:Outbound Enabler には -cr http_proxy_userid パラメータがありません。

エラーコード	1026
エラー定数	OEE_MISSING_HTTP_PROXY_UID

考えられる原因

-cr http_proxy_password を使用する場合はこのパラメータが必要です。http_proxy_userid パラメータを追加するか、または http_proxy_password パラメータを削除してください。

OEE1027:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、Relay Server に HTTP ヘッダを書き込めませんでした。

エラーコード	1027
エラー定数	OEE_NET_WRITE_HDR_FAILED

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パラメータ 1	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

Outbound Enabler は、Relay Server に HTTP ヘッダを書き込めませんでした。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEE1028:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、Relay Server に HTTP 本文を書き込めませんでした。

エラーコード	1028
エラー定数	OEE_NET_WRITE_PKT_FAILED
パラメータ 1	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

Outbound Enabler は、Relay Server に HTTP 本文を書き込めませんでした。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEE1029:Outbound Enabler は、クライアントが以前の Relay Server 設定からキャッシュしたことを示す HTTP の cookie またはヘッダをクライアントから受信しました。予期しない Relay Server インデックスは、%1 です。

エラーコード	1029
エラー定数	OEE_RS_IDX_NOT_FOUND
パラメータ 1	古い Relay Server 設定ファイルにある、Relay Server の 0 から始まるインデックス

考えられる原因

Relay Server ファームが Relay Server の数を減らした後に、Outbound Enabler により、有効でなくなった HTTP クッキーまたはヘッダをクライアントがキャッシュした可能性のあると判断されました。Relay Server は自動的に、このエラーの受信時にキャッシュ済みの値を有効期限切れに

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01257

するようクライアントのソフトウェアに指示します。このエラーに対して必要なユーザのアクションはありません。クッキーを有効期限切れにするための変更は非効率であるためです。このエラーを防止するには、クライアントでクッキーやヘッダのキャッシングを無効にしてください。

OEE1030:Outbound Enabler は、[MLC%2: %3] のために、'%1' を使用して Relay Server に接続できませんでした。リトライしています

エラーコード	1030
エラー定数	OEE_NET_CONNECT_FAILED
パラメータ 1	接続パラメータ
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 3	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

特定の理由のため、Outbound Enabler が Relay Server に接続できませんでした。リトライされます。-cr スイッチで、正しいターゲット Relay Server が指定されていることを確認してください。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEE1031:Outbound Enabler のアクセスが Relay Server により拒否されました。

エラーコード	1031
エラー定数	OEE_RS_ERR_AUTH

考えられる原因

-f スイッチが Relay Server 設定のバックエンドファーム ID と一致していて、バックエンドファームが有効になっていて、backend_security が -cr https パラメータと互換性があることを確認してください。-id スイッチがバックエンドサーバのバックエンドサーバ ID と一致していて、有効になっていることを確認してください。-t スイッチが Relay Server 設定のバックエンドサーバトークンと一致していることを確認してください。MAC アドレスが Relay Server 設定のバックエンドサーバ MAC と一致していることを確認してください。そして、同じ認証情報が Outbound Enabler の別のインスタンスによって共有されていないことを確認してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

OEE1032:Relay Server の問題によるリトライ

エラーコード	1032
エラー定数	OEE_RS_ERR_SERVER_ERROR

考えられる原因

Relay Server で内部的な問題が発生し、Outboudn Enabler に上りと下りの両チャネルを再接続するよう通知しました。このエラーが続く場合、Relay Server の管理者に連絡して Relay Server の調査を依頼してください。

OEE1033:Outbound Enabler は、%1:%2 のバックエンドサーバに接続して ping を実行できません。再び ping を実行しています

エラーコード	1033
エラー定数	OEE_BE_STATUS_PING_CONNECT_FAILED
パラメータ 1	-cs host パラメータで指定されたバックエンドサーバホスト
パラメータ 2	-cs port パラメータで指定されたバックエンドサーバポート

考えられる原因

-cs host および port パラメータが正しく設定されていて、バックエンドサービスが正常に起動されることを確認してください。

OEE1034:バックエンドサーバ '%1' との通信エラー

エラーコード	1034
エラー定数	OEE_BE_IO_FAILED
パラメータ 1	Mobile Link サーバの I/O サブシステムからのエラーメッセージ

考えられる原因

このエラーメッセージは、Mobile Link サーバで統合された Outbound Enabler にのみ適用されます。サブシステムのエラーコードについては、Mobile Link サーバのエラーメッセージマニュアルを参照してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01259

OEE1035:Outbound Enabler の -cs スイッチに与えられた tls_type %1 が無効です。rsa のみがサポートされています。

エラーコード	1035
エラー定数	OEE_SACI_INVALID_TLS_TYPE
パラメータ 1	-cs tls_type パラメータ

考えられる原因

-cs tls_type パラメータがサポートしているのは rsa のみです。

OEE1036:ネットワーク接続は Relay Server によって閉じられたか、Outbound Enabler が接続から読み込んでいる間に媒介するものによって閉じられました。

エラーコード	1036
エラー定数	OEE_NET_READ_CLOSED

考えられる原因

Web サーバの接続タイムアウトの値が十分であることを確認してください。仲介者のタイムアウトの設定値が Web サーバのタイムアウトの値より短くなっていないことを確認してください。

OEE1037:Outbound Enabler の -cr スイッチに %1 パラメータがありません。

エラーコード	1037
エラー定数	OEE_MISSING_RS_CONNECT_PARAM
パラメータ 1	パラメータの名前

考えられる原因

パラメータを指定する必要があります。デフォルト値はありません。rsoe を引数なしで呼び出して Outbound Enabler の使用率を調べるか、マニュアルを参照してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

OEE1038:'%1' の近くの Outbound Enabler コマンドラインが無効です。

エラーコード	1038
エラー定数	OEE_BAD_SWITCH
パラメータ 1	問題のあるスイッチ

考えられる原因

無効なコマンドラインにより、Outbound Enabler が起動できません。rsoe を引数なしで呼び出して Outbound Enabler の使用率を調べるか、マニュアルを参照してください。

OEE1039:[MLC%2: %3] のために、'%1' を使用した Outbound Enabler の Relay Server との接続が失敗しました。

エラーコード	1039
エラー定数	OEE_INIT_RS_COMMUNICATION_FAILED
パラメータ 1	通信パラメータ
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 3	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

特定の理由により、Relay Server への Outbound Enabler の接続に失敗しました。-cr スイッチで、正しいターゲット Relay Server が指定されていることを確認してください。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEE1040:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、バックエンドサーバとのセキュアな通信を初期化できませんでした。

エラーコード	1040
エラー定数	OEE_INIT_SECURED_BACKEND_COMMUNICATION_FAILED
パラメータ 1	Mobile Link 通信エラーコード

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01261

パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

Outbaound Enabler で、バックエンドサーバとのセキュアな通信の初期化においてエラーが発生しました。-cs スイッチの指定が正しいことを確認してください。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEE1041:Outbound Enabler の -cr スイッチが有効な Relay Server を指定しません。サーバからの HTTP の応答に次のヘッダがあります。 %1

エラーコード	1041
エラー定数	OEE_NON_RS
パラメータ 1	HTTP 応答ヘッダ

考えられる原因

-cs スイッチのホストおよびポートパラメータが正しく設定されていることを確認してください。

OEE1042:Relay Server は、この Outbound Enabler と互換性をもつにはアップグレードする必要があります。

エラーコード	1042
エラー定数	OEE_RS_TOO_OLD

考えられる原因

Relay Server のバージョンでプロトコルバージョンのネゴシエーションがサポートされていません。Relay Server をアップグレードしてください。

OEE1043:ホスト '%1' の Relay Server では、Relay Server 設定に %2 エントリがありません。

エラーコード	1043
エラー定数	OEE_MISSING_RS_PORT

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パラメータ 1	Relay Server のホスト名
パラメータ 2	Outbound Enabler の -cs スイッチによって示された Relay Server の設定の欠落

考えられる原因

Outbound Enabler の -cs スイッチの https パラメータは Relay Server の設定に対応していなければなりません。Relay Server の設定に欠落した設定を追加するか、Relay Server の設定に合わせて Outbound Enabler の -cs スイッチを変更してください。

OEE1044:Outbound Enabler は、このマシンの MAC アドレスを決定できませんでした。

エラーコード	1044
エラー定数	OEE_GET_MAC_FAILED

考えられる原因

ネットワークインタフェースが有効であることを確認してください。

OEE1045:システムエラー [SYS%1: %2] バックエンドサーバとの %3 が sidx=%4 socket=%5 sfp=%6 である間

エラーコード	1045
エラー定数	OEE_BACKEND_IO_SYS_ERROR
パラメータ 1	システムエラーコード
パラメータ 2	システムエラーメッセージ
パラメータ 3	I/O エラーが発生した Outbound Enabler のコンテキスト (テクニカルサポート用)
パラメータ 4	セッションインデックス (テクニカルサポート用)
パラメータ 5	ソケットハンドル (テクニカルサポート用)
パラメータ 6	セッションフィンガープリント (テクニカルサポート用)

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01263

考えられる原因

システムエラー情報を使用して問題を解決してください。支援が必要な場合、ネットワーク管理者またはテクニカルサポートに連絡してください。

OEE1046:[MLC%3: %4] のために、%1:%2 のバックエンドサーバとの接続が失敗しました。

エラーコード	1046
エラー定数	OEE_BACKEND_CONNECT_TEST_FAILED
パラメータ 1	-cs host パラメータで指定されたバックエンドサーバホスト
パラメータ 2	-cs port パラメータで指定されたバックエンドサーバポート
パラメータ 3	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 4	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

バックエンドサーバが、80 以外のポートで HTTP の受信を行う場合は、バックエンドサーバが実行中であり、Outbound Enabler の -cs ポートパラメータが正しく指定されていることを確認してください。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEE1047:Outbound Enabler の -cs %1 パラメータの値の解析中にエラーが発生しました。

エラーコード	1047
エラー定数	OEE_PARSE_RS_CONNECT_PARAM_FAILED
パラメータ 1	接続パラメータ名

考えられる原因

指定した値がパラメータの型に合っていることを確認してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

OEE1048:%3. sidx=%4 socket=%5 sfp=%6 のとき、[MLC%1: %2] によって、Outbound Enabler とバックエンドサーバの間の通信が失敗しました。

エラーコード	1048
エラー定数	OEE_BACKEND_IO_ERROR
パラメータ 1	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーメッセージ
パラメータ 3	I/O エラーが発生したコンテキスト (テクニカルサポート用)
パラメータ 4	セッションインデックス (テクニカルサポート用)
パラメータ 5	ソケットハンドル (テクニカルサポート用)
パラメータ 6	セッションフィンガープリント (テクニカルサポート用)

考えられる原因

バックエンドサーバが、80 以外のポートで HTTP の受信を行う場合は、バックエンドサーバが実行中であり、Outbound Enabler の -cs ポートパラメータが正しく指定されていることを確認してください。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEE1049:要求 URL が長すぎます。sidx=%1 sfp=%2 による要求はアボートされます。

エラーコード	1049
エラー定数	OEE_CANT_INJECT_AFQ_HDR
パラメータ 1	セッションインデックス (テクニカルサポート用)
パラメータ 2	セッションフィンガープリント (テクニカルサポート用)

考えられる原因

Outbound Enabler は 1 行目が 64k より長い要求ヘッダを処理できません。クエリ文字列を含む URL のサイズを減らすことにより、問題を回避できる場合があります。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01265

OEE1050:%4 パケットで ridx=%1 snum=%2 sfp=%3 から開始されたばかりのセッションのルックアップに失敗しました。

エラーコード	1050
エラー定数	OEE_SESSION_NOT_FOUND
パラメータ 1	要求インデックス (テクニカルサポート用)
パラメータ 2	セッション番号 (テクニカルサポート用)
パラメータ 3	セッションフィンガープリント (テクニカルサポート用)
パラメータ 4	パケット名 (テクニカルサポート用)

考えられる原因

タイムアウトにより、セッションでガーベジコレクションが発生した可能性があります。Relay Server はこの失敗したセッションにクッキーを割り当てません。そのため、クライアントから Outbound Enabler への要求の送信が遅くなります。問題が引き続き発生する場合、Relay Server の管理者に報告して調査を依頼してください。

OEE1051:Outbound Enabler は、%6 のために、%5 パケットで ridx=%1 sidx=%2 snum=%3 sfp=%4 のセッションにアクセスできませんでした。

エラーコード	1051
エラー定数	OEE_SESSION_ACCESS_FAILED
パラメータ 1	要求インデックス (テクニカルサポート用)
パラメータ 2	セッションインデックス (テクニカルサポート用)
パラメータ 3	セッション番号 (テクニカルサポート用)
パラメータ 4	セッションフィンガープリント (テクニカルサポート用)
パラメータ 5	パケット名 (テクニカルサポート用)
パラメータ 6	エラーの理由 (テクニカルサポート用)

考えられる原因

タイムアウト、またはクライアントが古いクッキーをキャッシュしたために、セッションでガーベジコレクションが発生した可能性があります。Relay Server はクライアントのソフトウェアに

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

クッキーを有効期限切れにするよう通知します。クライアントは新しいセッションから再起動する必要があります。

OEE1052:Outbound Enabler は、[MCL%2: %3] のために、Relay Server に %1 パケットを書き込めませんでした。

エラーコード	1052
エラー定数	OEE_NOTIFICATION_PACKET_FAILED
パラメータ 1	パケット名 (テクニカルサポート用)
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 3	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

Outbound Enabler と Relay Server の間で通信エラーが発生しました。Outbound Enabler は自動的に、上りと下りの両チャネルをリカバリして、Relay Server との通信をリストアしようとします。このリカバリ期間中には、突然のサービス中断が予想されます。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEE1053:Outbound Enabler は、[MLC%1: %2] のために、Relay Server にパケットをフラッシュできませんでした。

エラーコード	1053
エラー定数	OEE_NET_FLUSH_FAILED
パラメータ 1	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

Outbound Enabler と Relay Server の間で通信エラーが発生しました。Outbound Enabler は自動的に、上りと下りの両チャネルをリカバリして、Relay Server との通信をリストアしようとします。このリカバリ期間中には、突然のサービス中断が予想されます。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01267

OEE1054:Outbound Enabler は、[MLC%6: %7] のために、ridx=%1 sidx=%2 snum=%3 sfp=%4 が失敗した %5 パケットを書き込めませんでした。

エラーコード	1054
エラー定数	OEE_NET_WRITE_RESPONSE_FAILED
パラメータ 1	要求インデックス (テクニカルサポート用)
パラメータ 2	セッションインデックス (テクニカルサポート用)
パラメータ 3	セッション番号 (テクニカルサポート用)
パラメータ 4	セッションフィンガープリント (テクニカルサポート用)
パラメータ 5	パケット名 (テクニカルサポート用)
パラメータ 6	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 7	Mobile Link 通信システムのエラーメッセージ

考えられる原因

Outbound Enabler が Relay Server にパケットを書き込もうとしたときに通信エラーが発生しました。Outbound Enabler は自動的に、上りと下りの両チャネルをリカバリして、Relay Server との通信をリストアしようとします。このリカバリ期間中には、突然のサービス中断が予想されます。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEE1055:Outbound Enabler は、Relay Server インデックス %6 の ridx=%1 sidx=%2 snum=%3 sfp=%4 err=%5 のセッションエラーパケットが見つからないため、作成できませんでした。

エラーコード	1055
エラー定数	OEE_SESSION_ERROR_RS_IDX_NOT_FOUND
パラメータ 1	要求インデックス (テクニカルサポート用)
パラメータ 2	セッションインデックス (テクニカルサポート用)
パラメータ 3	セッション番号 (テクニカルサポート用)

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パラメータ 4	セッションフィンガープリント (テクニカルサポート用)
パラメータ 5	Outbound Enabler のエラーコード
パラメータ 6	古い Relay Server 設定ファイルにある、Relay Server の 0 から始まるインデックス

考えられる原因

Relay Server ファームの設定値を小さくした後に、クライアントが有効でないクッキーをキャッシュした可能性があります。Relay Server は、このエラーの受信時にクッキーのキャッシュを有効期限切れにするようクライアントのソフトウェアに指示します。

OEF10000:ソケットライブラリ [MLC%1: %2] の初期化に失敗しました。

エラーコード	10000
エラー定数	OEF_SOCKET_LIB_INIT_FAILED
パラメータ 1	Mobile Link 通信エラーコード
パラメータ 2	Mobile Link 通信エラーメッセージ

考えられる原因

Outbound Enabler がソケット (ネットワーク) ライブラリを初期化できませんでした。エラーの考えられる原因と対応策の詳細については、SQLAnywhere マニュアルの「Mobile Link 通信エラーメッセージ」セクションを参照してください。

OEF10001:メモリ不足です

エラーコード	10001
エラー定数	OEF_OUT_OF_MEMORY

考えられる原因

Outbound Enabler が動作に必要な十分なメモリを割り当てることができませんでした。RAM の容量を増やすか、スワップファイルサイズを増やすことを検討してください。またはシステムで動作しているアプリケーションの数を減らしてください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01269

OEF10002:Outbound Enabler は、通信シャットダウンのための共有メモリディレクトリを作成できませんでした。

エラーコード	10002
エラー定数	OEF_SHM_INIT_FAILED

考えられる原因

"rsoe -s" コマンドをローカルで使用して Outbound Enabler をシャットダウンするため、Outbound Enabler はシャットダウンシグナルを送信するための共有メモリを保持するディレクトリをディスク上に作成しています。しかし、作成の操作に失敗しました。必ず、Outbound Enabler の実行に十分な権限のあるアカウントを使用するようにしてください。

OEF10003:Outbound Enabler は、通信シャットダウンのための共有メモリを作成できませんでした。

エラーコード	10003
エラー定数	OEF_SHM_CREATE_FAILED

考えられる原因

"rsoe -s" コマンドをローカルで使用して Outbound Enabler をシャットダウンするため、Outbound Enabler はシャットダウンシグナルを送信するための小さなメモリマップファイルを作成しています。しかし、メモリマップファイルの作成に失敗しました。必ず、Outbound Enabler の実行に十分な権限のあるアカウントを使用するようにしてください。

OEF10004:'rsoe -s' コマンドは、リレーサーバ '%3%4' を使用したファーム '%2' のサーバ '%1' 用の Outbound Enabler のシャットダウンに失敗しました。

エラーコード	10004
エラー定数	OEF_SHUTDOWN_FAILED
パラメータ 1	-id スイッチで指定されたバックエンドサーバ名
パラメータ 2	-f スイッチで指定されたバックエンドファーム名
パラメータ 3	-cs host パラメータで指定された Relay Server ホスト

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

パラメータ 4	-cs url_suffix パラメータで指定される Relay Server URL サフィックス

考えられる原因

Outbound Enabler が応答していません。OS ユーティリティを使用して終了してください。

OEF10005:Outbound Enabler のサポートライブラリをロードできません : %1 -- %2

エラーコード	10005
エラー定数	OEF_LOAD_DLL_FAILED
パラメータ 1	Outbound Enabler サポートライブラリ名
パラメータ 2	エラーの理由 (テクニカルサポート用)

考えられる原因

サポートライブラリを起動時にロードする必要がありますが、操作に失敗しました。エラーの理由に基づいて問題を解決してください。

OEF10006:Outbound Enabler は、'%1' ライブラリから必要な機能をロードできませんでした。

エラーコード	10006
エラー定数	OEF_LOAD_DLL_FUNC_FAILED
パラメータ 1	RSOE サポートライブラリ名

考えられる原因

サポートライブラリのバージョンが Outbond Enabler と合っているか確認してください。

OEF10007:Outbound Enabler のサポートライブラリ '%1' の初期化に失敗しました。

エラーコード	10007
エラー定数	OEF_DLL_INIT_FAILED

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01271

パラメータ 1	Outbound Enabler サポートライブラリ名

考えられる原因

これはコマンドラインの問題による先行するエラーが原因で発生する可能性があります。または、メモリ不足が原因である可能性もあります。問題が引き続き発生する場合、テクニカルサポートに連絡してください。

OEF10008:%1 パケットを読み込み中のプロトコルエラー

エラーコード	10008
エラー定数	OEF_INVALID_PACKET
パラメータ 1	不正なパケットの名前

考えられる原因

正規の Relay Server では、この問題は発生しません。-cr スイッチをチェックして、Relay Server が Web ブラウザを使用して実行され、Relay Server から [ステータス] ページをフェッチしていることを確認してください。一般的な [ステータス] ページの URL は、IIS の場合は http://MyHost:80/ias_relay_server/server/rs_server.dll、Apache の場合は http://MyHost:80/srv/iarelayserver です。

OEF10009:サポートされているもっとも低いプロトコルバージョンまで下げましたが、Relay Server にはまだ互換性がありません。

エラーコード	10009
エラー定数	OEF_LOWEST_PROTOCOL

考えられる原因

Relay Server のバージョンが古いため、互換性がありません。Outbound Enable はプロトコルのバージョンを順に下げて繰り返し試みましたが、サポートされているすべてのバージョンを試しても正しく通信できませんでした。Relay Server のアップグレードが必要です。

OEF10010:Relay Server から受信された opcode が不正です。

エラーコード	10010
エラー定数	OEF_INVALID_OPCODE

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

考えられる原因

正規の Relay Server では、この問題は発生しません。-cr スイッチをチェックして、Relay Server が Web ブラウザを使用して実行され、Relay Server から [ステータス] ページをフェッチしていることを確認してください。一般的な [ステータス] ページの URL は、IIS の場合は http://MyHost:80/ias_relay_server/server/rs_server.dll、Apache の場合は http://MyHost:80/srv/iarelayserver です。

OEF10011:Outbound Enabler は、[%2] のために %1 暗号化ライブラリをロードできませんでした。正しくインストールされていることを確認してください。

エラーコード	10011
エラー定数	OEF_SACI_LOAD_FAILED
パラメータ 1	暗号化ライブラリのファイル名
パラメータ 2	エラーの理由

考えられる原因

ライブラリが検索パス内にインストールされていることを確認し、理由に基づいて問題を解決してください。

OEF10012:Outbound Enabler は、暗号化ライブラリ %2 から機能 %1 をロードできませんでした。

エラーコード	10012
エラー定数	OEF_SACI_LOAD_FUNC_FAILED
パラメータ 1	ロードする関数の名前。
パラメータ 2	使用する関数が含まれていると思われる暗号化ライブラリ

考えられる原因

使用する暗号化ライブラリのバージョンが Outbound Enabler と同じであることを確認してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01273

OEF10013:暗号化ライブラリのバージョンが一致しません。実装 ID %3 のバージョン %1.%2 が見つかりました。

エラーコード	10013
エラー定数	OEF_SACI_VER_MISMATCH
パラメータ 1	暗号化ライブラリのメジャーバージョン
パラメータ 2	暗号化ライブラリのマイナーバージョン
パラメータ 3	暗号化ライブラリの実装 ID

考えられる原因

暗号化ライブラリのバージョンが Outbound Enabler と同じであることを確認してください。

OEF10014:内部エラー : %1

エラーコード	10014
エラー定数	OEF_INTERNAL_ERROR
パラメータ 1	内部エラーの説明

考えられる原因

Outbound Enabler を再起動してください。問題が引き続き発生する場合、テクニカルサポートに連絡してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.

Outbound Enabler 警告メッセージ

メッセージは、Outbound Enabler メッセージログに書き込まれます。

各メッセージには、数値エラーコードがあります。

多くのメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメータに置き換えられてメッセージに表示されます。

参照

- 「Outbound Enabler エラーメッセージ」1239 ページ

Outbound Enabler 警告メッセージ (エラーコード順)

エラーコード	メッセージテキスト
100	「OEW0:rid=%1 snum=%2 sfp=%3 が見つからないため、バックエンドセッションを切断できません。」
101	「OEW1:プロキシが送信先 RS ポートへのパススルーを許可しません。RS ポートを CONNECT 要求の送信先として許可するようにプロキシを再設定することをおすすめします。」

Outbound Enabler 警告メッセージ (五十音順)

OEW0:rid=%1 snum=%2 sfp=%3 が見つからないため、バックエンドセッションを切断できません。

エラーコード	100
エラー定数	OEW_CANT_DISCONNECT_BE_NOT_FOUND
パラメータ 1	要求インデックス
パラメータ 2	セッション番号
パラメータ 3	セッションフィンガープリント

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company. - SAP Sybase SQL Anywhere 16.01275

考えられる原因

セッションの最初の応答によってセッションインデックスが確立される前に、Relay Server が Outbound Enabler にバックエンド接続を切断するよう通知しました。しかし、Outbound Enabler はこの警告でレポートされた他の内部情報を使用してセッションを検索することができません。

OEW1:プロキシが送信先 RS ポートへのパススルーを許可しません。RS ポートを CONNECT 要求の送信先として許可するようにプロキシを再設定することをおすすめします。

エラーコード	101
エラー定数	OEW_PROXY_FORBID_PASSTHROUGH

考えられる原因

Apache プロキシの場合、AllowCONNECT 指令の文書 mod_proxy を参照してください。

Copyright © 2013, SAP AG or an SAP affiliate company.